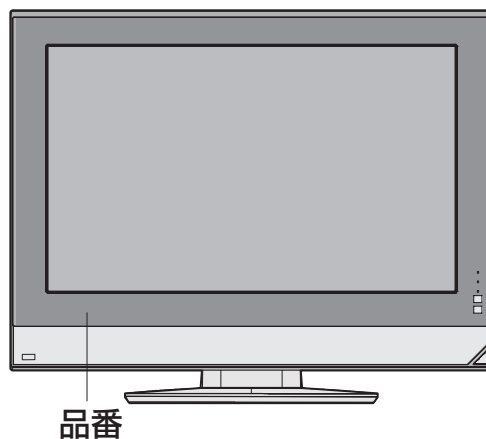
取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

品番 LCD-30HD5

LCD TV VIZON

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。とくに8～13ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

保証書は必ずお受け取りください。

上手に使って上手に節電

このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

液晶テレビについて

液晶テレビにはブラウン管式のテレビとは異なる性質があります。ご理解のうえお楽しみください。

本機の特長

省スペース＆フリーセッティング設計

液晶ディスプレイの特長である薄型・軽量・大画面を活かしたデザイン。地上アナログ放送用チューナーはもちろん、地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーなどすべての回路を本体内に収納しました。

高輝度・高精細

水平1,280×垂直768ピクセルのハイビジョン対応高画質液晶ディスプレイパネルを搭載。
デジタルハイビジョン放送やパソコンの高画質を存分に再現します。

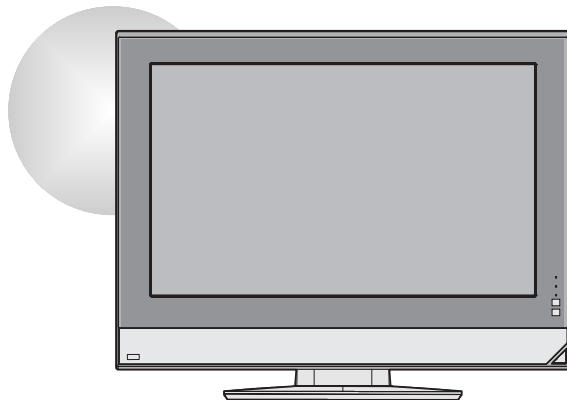
多彩な映像を映し出す
マルチメディア・液晶テレビ

D4入力端子(2系統)、PC入力端子、i.LINK端子(2系統)など多彩な接続端子を装備。
前面にはデジカメ端子を備え、デジタルカメラの静止画像を再生することができます。

高画質に負けない高音質サウンド

音声回路には出力10W＋10Wの高出力デジタルアンプを採用。高画質に負けない高音質サウンドを再現します。立体的で臨場感ある音場を再現する3DサラウンドやBBEシステムも搭載しています。

電動スイーベル(首振り)機能

左右30度の電動スイーベル(首振り)機能付き一体型スタンドを採用。ボタンひとつでセンター位置に戻すこともできます。

ご注意ください

- CS放送のSKY PerfecTV!（スカイパーフェクTV!）は受信できません。
- 本機は110度CSデジタル放送の蓄積型データサービスには対応していません。
- 本機は地上デジタル放送で予定されている移動受信、携帯受信、地上デジタル音声放送には対応していません。
- デジタル放送では、放送電波やデータ記憶媒体によって内蔵ソフトウェアをバージョンアップすることにより、受信機の機能や性能を改善できるようになっています（ダウンロード機能）。改善の内容によっては操作方法や操作画面が変更されることがあり、その場合はお手元のカタログや取扱説明書の表記と実際の機器の表示や動作が異なる場合が発生します。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に関して、当社は何ら責任を負うものではありません。

液晶テレビの優れている点

■薄型・大画面で省スペース

平面ディスプレイですので同サイズのブラウン管式テレビに比べてはるかに薄型です。

■設置の自由度が高い

薄型・軽量を活かした設置ができます。別売の専用設置ユニットを使って壁などにも設置できます。

■磁気の影響を受けません

ブラウン管は電子銃から発射された電子ビームの方向を、電磁石(偏向ヨーク)で変えて走査するしくみなので、大画面になるほど地球の磁気の影響を受けて、画像の傾きや色むらが発生することがありました。液晶テレビはひとつひとつの画素が画像を映し出すもので磁気の影響を受けません。

液晶テレビでご注意いただきたい点

■画面上に周囲と異なる点がある

液晶ディスプレイパネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点、周囲より明るい点、周囲と色が異なる点など欠点や輝点が存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■映像のあとが残る(残像、焼き付き)

液晶ディスプレイパネルの特性として、一定時間同じ画面を表示し続けますと、画面を変えたときに残像(焼き付きのような症状)が発生する場合があります。残像(焼き付き)が発生したときは、動きのある映像を映したり、電源を切っておくと次第に軽減されます(スクリーンセーバー機能 69ページ)

この取扱説明書の記載について

- この取扱説明書では、従来から広く放送されている地上放送(VHF放送、UHF放送)を、新たに開始される地上デジタル放送と区別するために「**地上アナログ放送**」と表記しています。
- また、各放送の呼び名を次のように表記しています。
  - **BSデジタル放送**:2000年12月に開始されたBS(放送衛星)によるデジタル放送
  - **110度CSデジタル放送**:2002年春から開始されたCS(通信衛星)によるデジタル放送
  - **地上デジタル放送**:2003年12月に関東・中京・近畿の3大広域圏の一部で開始された地上波によるデジタル放送

- IBMおよびVGAは、International Business Machines Corporation(米国)の登録商標です。
- AppleおよびMacintoshは、Apple Computer, Inc.(米国およびその他の国)の登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporation(米国)の登録商標です。
- VESAは、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。
- i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は、ソニー株式会社の商標です。
- SDロゴは商標です。
- 「デジカメ」は三洋電機の登録商標です。
- その他の記載の商品名は、各社の商標または登録商標です。
- この取扱説明書に掲載している図は説明のため省略や誇張をしています。実物とは異なる部分があります。
- この取扱説明書において受信画面の図などに記載されているチャンネル、番組名などは架空のものです。

目　次

目　次（つづき）

機器の接続とデジタル放送の録画

パソコンを映す

準備と設定

準備と設定

【地上アナログ放送のチャンネル設定】

【デジタル放送の設定】

デジタル放送の特殊設定／その他

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	の記号は「気をつけてほしいこと（注意）」を示します。
	の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。
	の記号は「必ず実行してほしいこと（強制）」を示します。

⚠警告

万一、異常や故障が発生したときは

万一、異常や故障が発生したときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。

次のようなときは、すぐに液晶テレビ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）
  煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
  お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。
- 水などが内部に入った
- 異物が内部に入った
- 画面が映らない・音が出ない
- 落としたり、キャビネットを破損した（故障状態）

パネル面の取り扱いについて

パネル面に衝撃を与えない

液晶ディスプレイパネルはガラスでできています。万一割れたりするとけがの原因となります。移動させるときにはとくにご注意ください。

掲載しているイラストはイメージです。実際の商品とは形状が異なる場合があります。

⚠警告

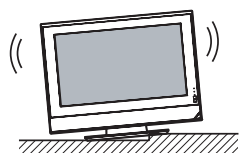
設置・使用する場所について

水の入った花びん・コップや小さな金属物を置かない

水ぬれ禁止　禁　止

液晶テレビの上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁　止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

ぬらしたり、風呂、シャワー室で使用したりしない

水ぬれ禁止　風呂、シャワー室での使用禁止

火災、感電の原因となります。

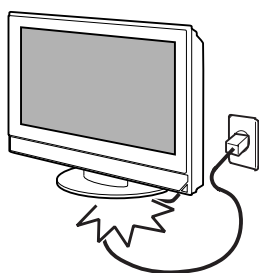
専用のスタンドやユニットを使用し、壁などに設置するときは専門の業者へ依頼する

本機は必ず本機専用のスタンドや設置ユニットを使って設置してください。倒れたり、落下して事故やけがの原因となります。
壁などに設置するときは、販売店にお問い合わせの上、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。不完全な工事は重大な事故やけがの原因となります。

- 専用のスタンドまたはユニットに付属の設置説明書に従って正しく設置してください。
- 壁などに設置した場合でも、万一異常が生じたときにすぐに電源プラグを抜くことができるコンセントから電源をとってください。

電源コードの取り扱いについて

電源コードの取り扱いはていねいに

禁　止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードを本機の下じきにしないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上をカーペットなどで覆うと気付かずに、重い物をのせてしまうことがあります。またコードを釘などで固定しないでください。
- 電源コードはていねいに扱ってください。傷つけたり、加工・曲げ・ねじれ・引っ張り・加熱はしないでください。火災・感電の原因となります。
- しん線の露出や断線など、傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

⚠ 警告

万一、液晶パネルが破損して液晶がもれ出たときは、液晶に触れないでください

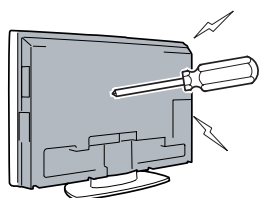
液晶に触れない・口や目に入れない

禁　止

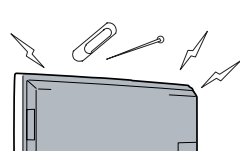
液晶パネルが破損し、液晶がもれ出たときは、液体（液晶）に触れないでください。また絶対に液体を口に入れたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。万一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で十分に洗い流して医師の診断を受けてください。そのままにしておきますと中毒を起こす恐れがあります。皮膚や衣服についた場合もすぐに水で十分に洗い流してください。付着したまま放置すると皮膚や衣服を傷めることがあります。

ご使用の際にはお守りください

裏ぶたをはずさない、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また改造は火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

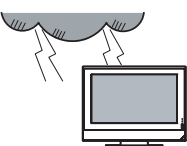
通風孔や冷却ファンの排気口から異物を入れない

禁　止

通風孔や冷却ファンの排気口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電、けがや故障の原因となります。特にお子さまにご注意ください。

表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

表示された電源電圧以外では火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

接触禁止

感電の原因となりますので、電源プラグに触れないでください。

コンセントつき延長コードについて

警　告

複数の機器を同時に接続して使用するなど、延長コードの定格を超えた使いかたをすると発熱し、火災の原因となります。延長コードの定格表示や説明書に従い正しくお使いください。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く。

そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

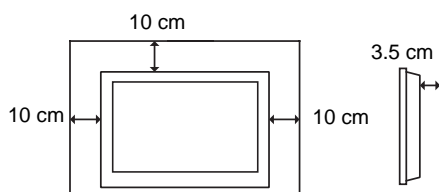
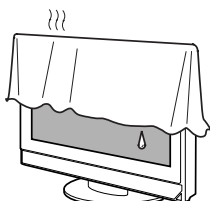
付属の電源コード以外は使用しない

禁　止

火災や感電、故障の原因となるほか、性能が低下する原因となります。

⚠注意

設置・使用する場所について

通風孔をふさがない。周囲から距離をとる

放熱をさまたげないよう次のことをお守りください。守らないと熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- テーブルクロスなどを掛けない。
- 冷却ファンの排気口をふさがない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 押し入れ、本箱など狭い所に押し込まない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- 周囲から距離をとって設置する。（左の図の距離以上離してください）

本機の内部温度が異常に高くなると、保護のため自動で電源が切れます。設置方法などを点検してください。（☞296～297ページ）

湿気・ほこり・油煙や湯気は禁物

湿気・ほこりの多い場所、調理台や加湿機のそばなどに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

上に重い物を置かない

転倒・落下してけがの原因となることがあります。

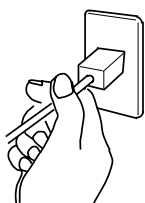
安定した所に置き、転倒防止策を行う

動いたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。キャスター付きの台の上に置くときはキャスター止めをしてください。また地震などの非常時の安全確保と事故防止のため転倒防止策を行ってください。
（転倒防止策 ☞214ページ）

開梱や持ち運びは2人以上で注意して行う

１人での作業はけがの原因となることがあります。持ち上げるときは液晶テレビ本体を持ち、スタンド取り付け部分などを持たないでください。落下やけがの原因となることがあります。

電源コード、電源プラグの取り扱いについて

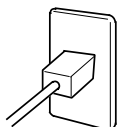
電源コードの取り扱いはていねいに

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 抜くときはコード部分を引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。

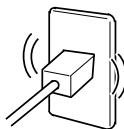
安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

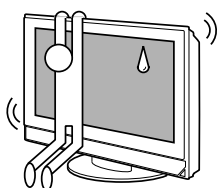
⚠注意

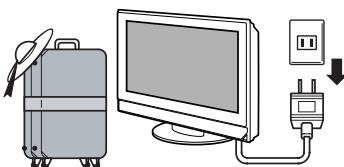
電源コード、電源プラグの取り扱いについて

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

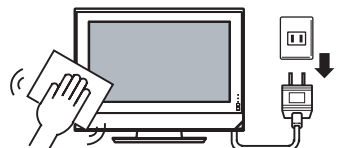
ゆるみがあるコンセントに接続しない

電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ご使用の際にはお守りください

上に乗らない。ぶらさがらない。

落下する、倒れる、こわれるなどしてけがの原因となることがあります。特にお子さまにご注意ください。

旅行などの長期不在は電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れは電源プラグを抜いて行う

電源プラグを
コンセントから抜け

感電の原因となることがあります。

移動は線をはずしてから

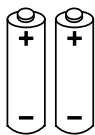
電源プラグを
コンセントから抜け

電源コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグ・外部機器・転倒防止具をはずして移動させてください。

年に一度は内部の掃除依頼を

長年の使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

⚠注意

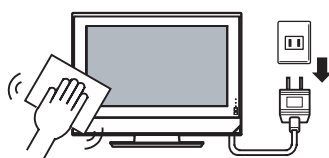
乾電池は向きを正しく！　新しいもの・古いもの・種類のちがうものを混ぜて使わない

次のことを守らないと破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ＋（プラス）と－（マイナス）の向きを正しく入れる。
- 新しいもの・古いもの・種類の違うものを混ぜて使わない。
- 指定以外の電池を使わない。
- ショートさせない。充電しない。分解しない。

アンテナ工事は販売店に依頼を（工事には技術と経験が必要です）

- アンテナは、倒れると感電の原因となることがありますので電線から離して設置してください。
- BS・CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。（内蔵機種または外部チューナー使用時）

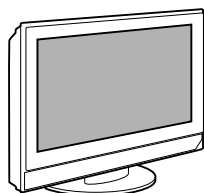
正しくお使いいただくために

お手入れについて・・・お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットのお手入れ

- 柔らかい布で軽くふいてください。ひどい汚れはうすめた中性洗剤を含ませた布を固く絞ってふき、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジンやシンナーを使わないでください。ベンジンやシンナーなどでふきますと変質・破損したり、塗料がはがれることがあります。化学ぞうきんの使用は注意書きにしたがってください。
- 殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質・破損したり塗料がはがれる原因となります。

■パネル面のお手入れ

- 液晶パネルの表面は汚れが目立ちやすいので、ふだんから、できるだけ触らないようにしてください。
- 汚れをふき取るときは、ネルなどの柔らかい、乾いた布で軽くふき取ってください。ティッシュペーパーなどで強くこすったりしないでください。
- 汚れがひどいときなど、やむをえず液体でふくときは、ネルなどの柔らかい布に水を含ませて固くしぼり、垂れないようにふいてください。有機溶剤やアルコール系の洗剤、中性洗剤は使用しないでください。

■上手な見かた

- 見る場所は目の高さよりやや低く、画面のたての長さの５～７倍くらい離れた位置が見やすくて疲れません。
- お部屋が明るすぎたり、暗すぎると目が疲れます。新聞が楽に読める程度の明るさが適当です。
- 適度な音量でお楽しみください。特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉める、ヘッドホンを使用するなどご近所への配慮を。ヘッドホンを使用するときは、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

各部の名前と働き

「左」、「右」の表記は液晶テレビを正面から見た場合の左、右です。

☞の後ろの数字は説明のあるページです。

後面

冷却ファン ☞296

（とびら内）
リセットボタン ☞298
B-CASカード挿入口 ☞26

右側面端子部 ☞16

サービス用端子

ご注意
この端子は工場での調整に使います。機器を接続しないでください。

電源コード端子 ☞215

後面端子B ☞19

後面端子A ☞18

アンテナ端子部 ☞19

配線ケーブル ☞44、199
電動スイーベルスタンドを動かすためのケーブルです。

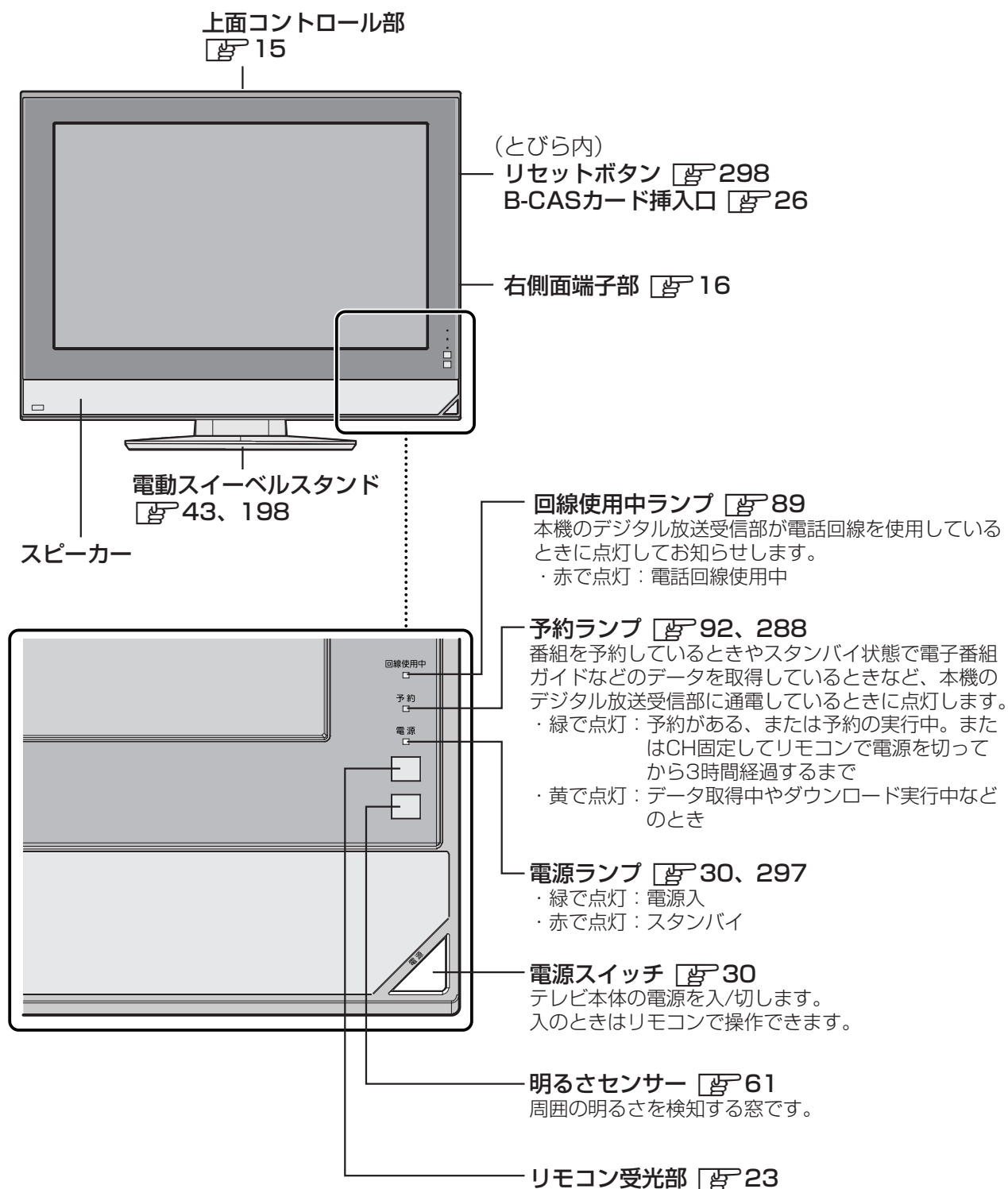
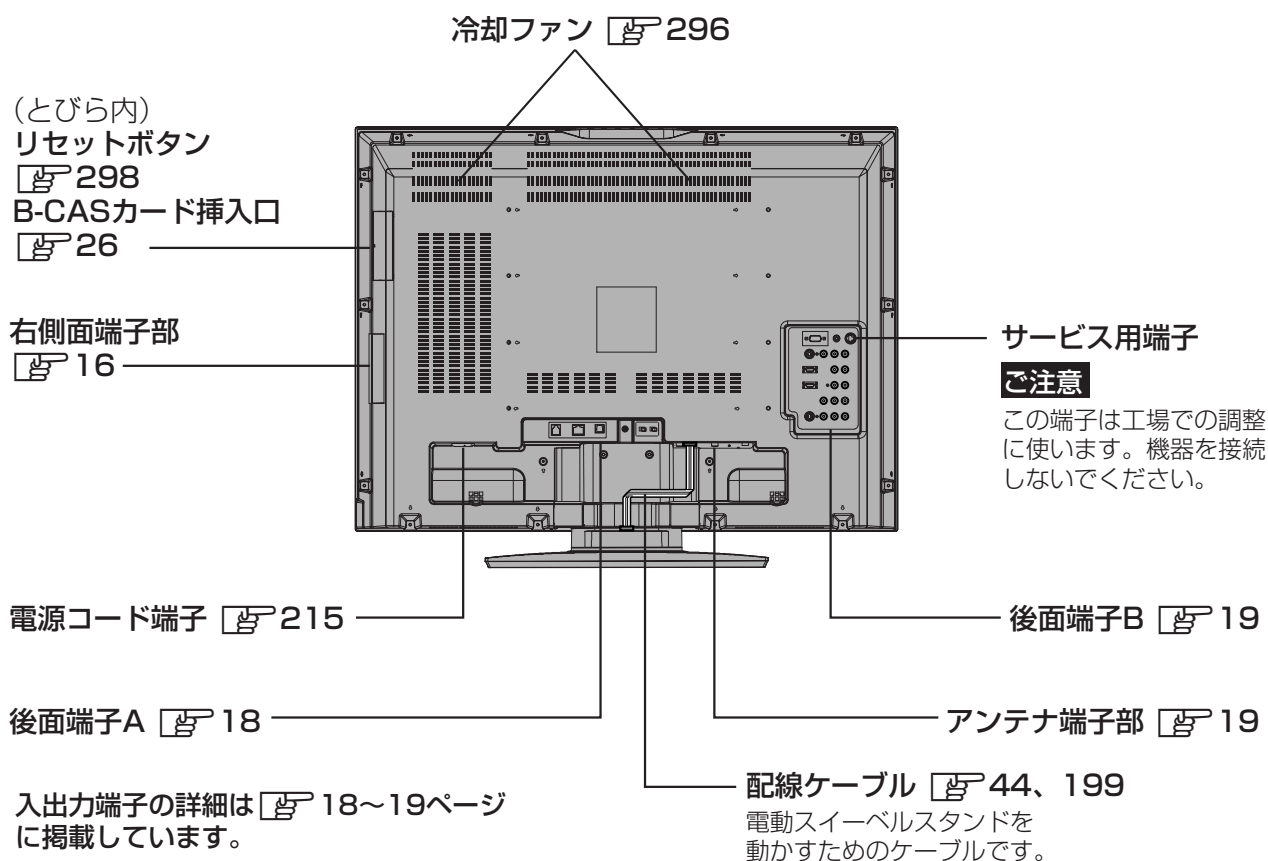
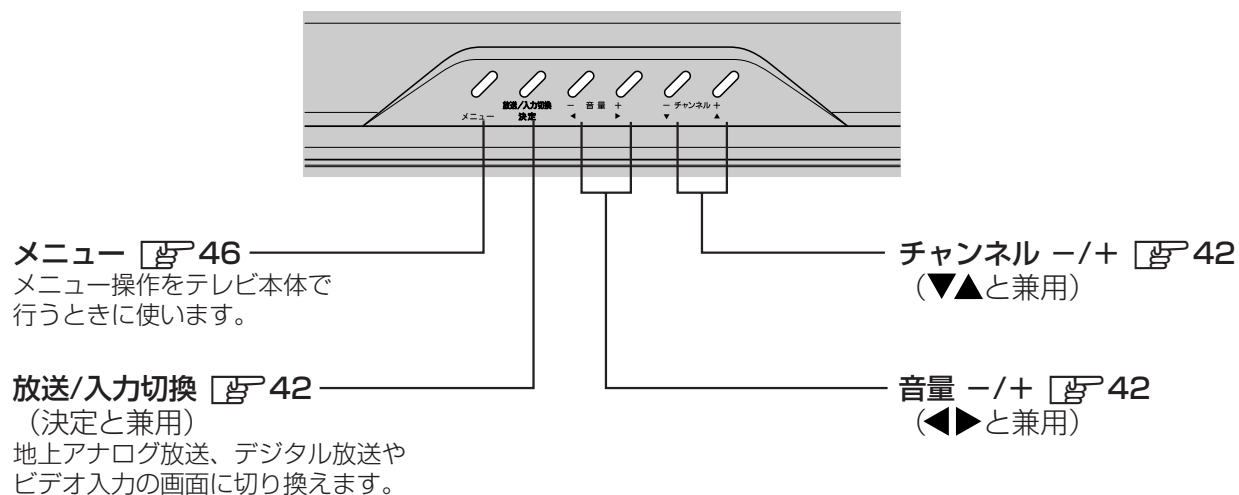
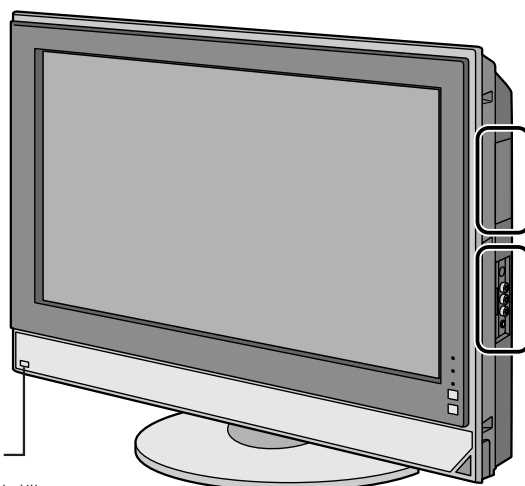
入出力端子の詳細は☞18～19ページに掲載しています。

上面コントロール部

メニュー ☞46
メニュー操作をテレビ本体で行うときに使います。

放送/入力切換 ☞42
（決定と兼用）
地上アナログ放送、デジタル放送やビデオ入力の画面に切り換えます。

チャンネル −/＋ ☞42
（▼▲と兼用）

音量 −/＋ ☞42
（◀▶と兼用）

各部の名前と働き（つづき）

デジカメ端子 ☞168

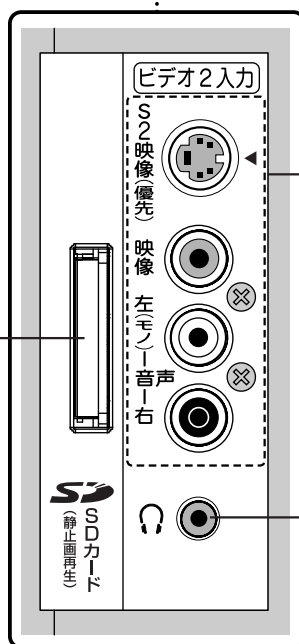
デジタルカメラを接続して、本機で静止画を映すことができます。

※
端子にはカバーがはめ込まれており、カバーを開いて差し込みます。

右側面端子部

SDメモリーカード挿入口 ☞177

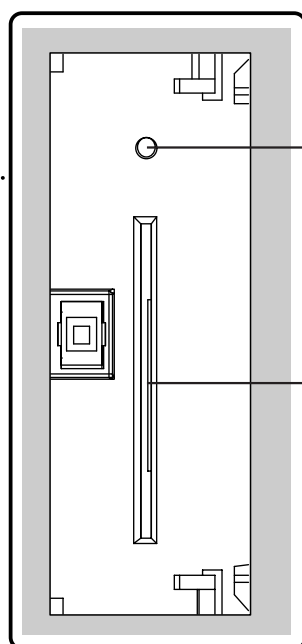
デジタルカメラで撮影した画像を記録したSDメモリーカードを差し込んで、本機で静止画を映すことができます。

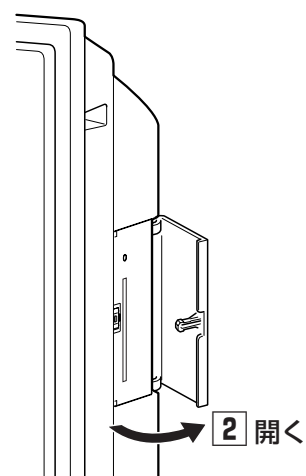
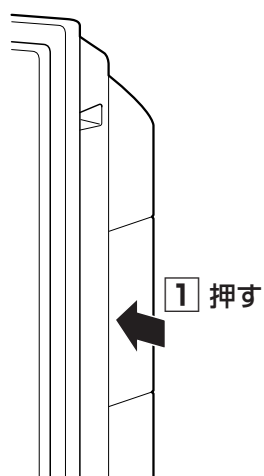
※
挿入口にはカバーがはめ込まれています。

ビデオ2入力端子 ☞139

ビデオ機器をつないで再生するための端子です。S2映像端子と映像端子の両方に接続したときはS2映像端子を優先します。音声・左（モノ）端子は音声出力がステレオでない機器の入力に使います。1本の接続で左右から同じ音（モノラル）を再生できます。

ヘッドホン端子 ☞42
（3.5φ　ミニステレオジャック）

「左」、「右」の表記は液晶テレビを正面から見た場合の左、右です。

右側面とびら内

リセットボタン
☞298
デジタル放送の操作ができなくなったときに、ペンの先などで押して操作できる状態に戻します。
B-CASカード挿入口
☞26
付属のB-CASカード(ICカード)を差し込んでおくところです。

とびらの開きかた
1 押す
2 開く

各部の名前と働き（つづき）

本機の入出力端子

アンテナ端子

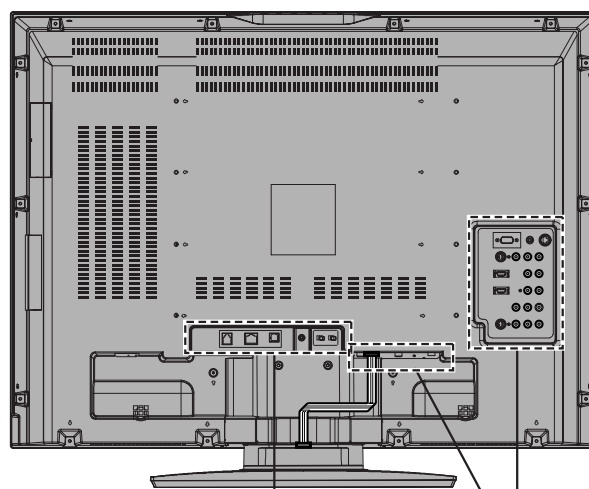
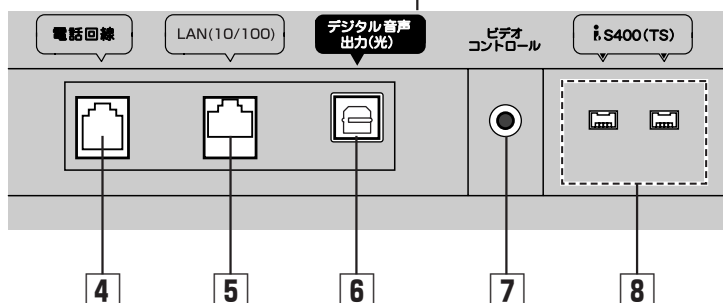
1 BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子 ☞203、205

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を受信するための、BS・110度CSアンテナを接続する端子です。接続後はデジタルメニュー「システム設定」の中にある「BS・CSコンバータ電源設定」が必要です。

2 地上デジタルアンテナ入力端子 ☞201、205

地上デジタル放送用のアンテナ入力端子です。

3 地上アンテナ入力（VHF/UHF）端子 ☞201、205

地上アナログ放送用のVHF/UHFアンテナ入力を接続します。

後面端子A

4 電話回線端子 ☞207

デジタル放送で、双方向サービスを利用したり有料放送を受信するときに必要な電話回線を接続する端子です。

5 LAN端子 ☞273

ブロードバンドへ接続するためのADSLモデムやルーターをつなぐ端子です。

6 デジタル音声出力（光）端子 ☞144、145

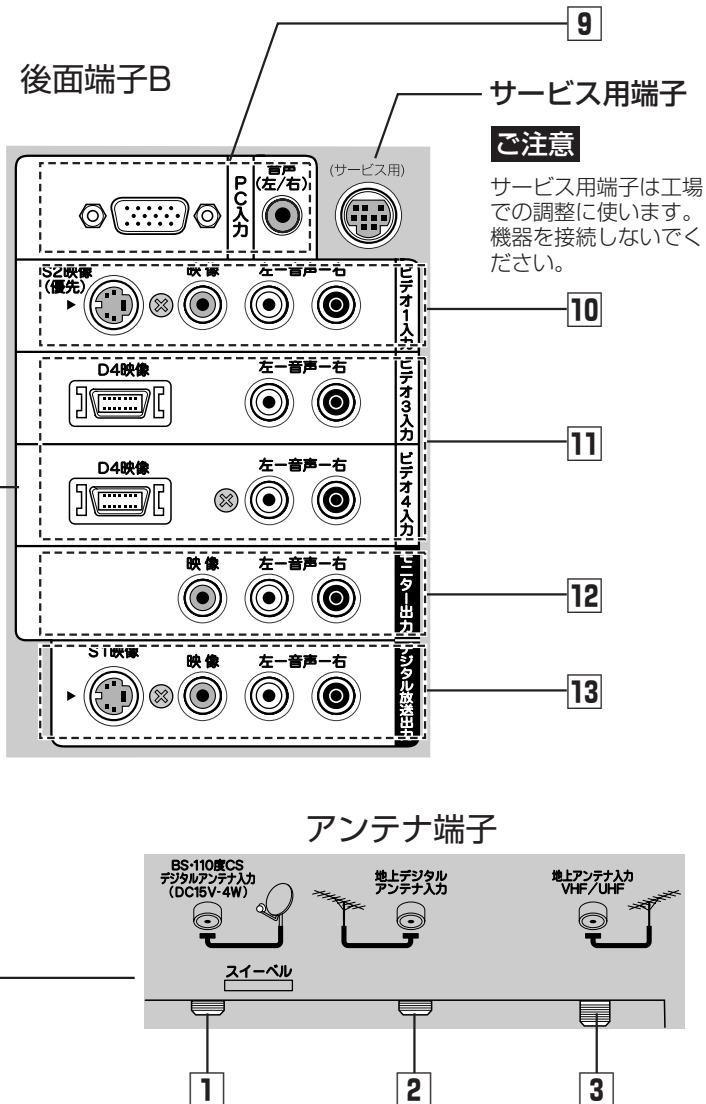
デジタル放送や地上アナログ放送、本機につないだビデオ機器の音声などをデジタル信号で出力します（光角型コネクター）。光入力のあるアンプにつないで再生したり、MDなどに録音したりできます。

7 ビデオコントロール端子 ☞212

デジタル放送の番組を録画するためのビデオコントローラー（付属）を接続する端子です。

8 i.LINK端子 ☞155

i.LINK対応機器（D-VHSビデオなど）を接続する端子です。S400は最大データ転送速度を表しており、本機は最大で約400Mbpsのデータ転送が行えます。

「左」、「右」の表記は液晶テレビを正面から見た場合の左、右です。

後面端子B

9 PC入力端子 ☞182

パソコンを接続して本機で映すための端子です(D-SUB　3列15ピン)。

10 ビデオ1入力端子 ☞138

ビデオ機器をつないで再生するための端子です。S2映像端子と映像端子の両方に接続したときはS2映像端子を優先します。

11 ビデオ3入力端子、ビデオ4入力端子 ☞140

D映像出力(D1、D2、D3、D4)を持った機器をつないで再生できます。

12 モニター出力端子 ☞142

本機で映している画面の映像と音声を出力します。ただしビデオ3、4入力の映像(コンポーネント映像)と、PC入力の映像は出力されません。(ビデオ3、4入力とPC入力の音声は出力されます)

13 デジタル放送出力端子 ☞150、152

デジタル放送の映像と音声をビデオなどに記録するときに使います。録画するときはCH固定ボタンでチャンネルと操作の一部を固定してください(予約録画のときは自動的にチャンネル固定されます)。この端子からはデジタル放送の画面に出るバナー表示、番組表、デジタルメニュー表示などは出力されませんが、CH(チャンネル)固定中にデータ放送や字幕を出すと出力されますので録画時にはご注意ください。

各部の名前と働き（つづき）

メインリモコン（RC-483）

地上アナログ放送とふだんの操作で使うボタン

スイーベル 43
本機の向きを変えるときに押します。

PC 184
パソコンの入力画面に切り換えます。

入力切換 31
ビデオ入力などの画面に切り換えるボタンです。

オフタイマー 32
自動で電源を切るオフタイマーを設定します。（30分ごと120分まで）

画面表示 33
画面の表示を出したり消したりできます。

10キー入力 40
ケーブルテレビを受信するときやデジタル放送の受信に使います。

画面サイズ 38
「フル」や「ズーム」など画面サイズを切り換えることができます。

TV 30
地上アナログ放送の画面に切り換えるボタンです。

チャンネル－/＋ 30

メニュー 47
メニュー画面を出したり消したりするボタンです。

カーソル ▲▼◀▶ 47
メニュー内で項目を選んだり調整を行うボタンです。上下左右の項目を選ぶことができます。

戻る 47
前のメニュー画面に戻るボタンです。

電池カバー
（裏面　使用電池：単4電池2本）

発光部

電源 30

音声切換 34
2カ国語など複数の音声が同時に送られている放送で音声を切り換えます。

消音 33
電話や来客のとき、一時的に音を消します。

サラウンド 33
音に広がりを加えるサラウンドをオン/オフします。

音声メニュー 37
「ミュージック」や「ムービー」など再生する音にあう音質に切り換えることができます。

静止 35
画面を約3分間静止させて表示することができます。

映像メニュー 36、186
「標準」や「シネマ」など映す映像にあう画質に切り換えることができます。

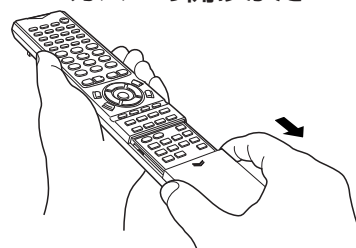
チャンネル 30
プリセットされたチャンネルを選局できます。1～10/0ボタンは数字の入力にも使います。

音量－/＋ 30

決定 47
メニュー内で選んだ項目を決定して次に移るボタンです。

（カバー内）
VTR、DVD操作ボタン 146
これらのボタンで当社製または他社製のVTRやDVDプレーヤーを操作できます。

F（不使用）
このボタンは本機では使用しません。押しても働きません。

カバーの開けかた

電源、チャンネル5、チャンネル－/＋の＋側のボタンには、手探りで操作しやすいように突起がついています。

☞の後ろの数字は説明のあるページです。

デジタル放送の操作で使うボタン

音声切換 ☞84
複数の音声があるときに音声を切り換えるボタンです。

画面表示 ☞75
画面の表示を出したり消したりできます。

10キー入力 ☞82
チャンネル番号を入力して選局するときに使います。

チャンネル ☞76
プリセットされたチャンネルを選局できます。1～10/0ボタンは数字の入力にも使います。

チャンネル－/＋ ☞77

決定 ☞107
デジタルメニュー内で選んだ項目を決定するボタンです。

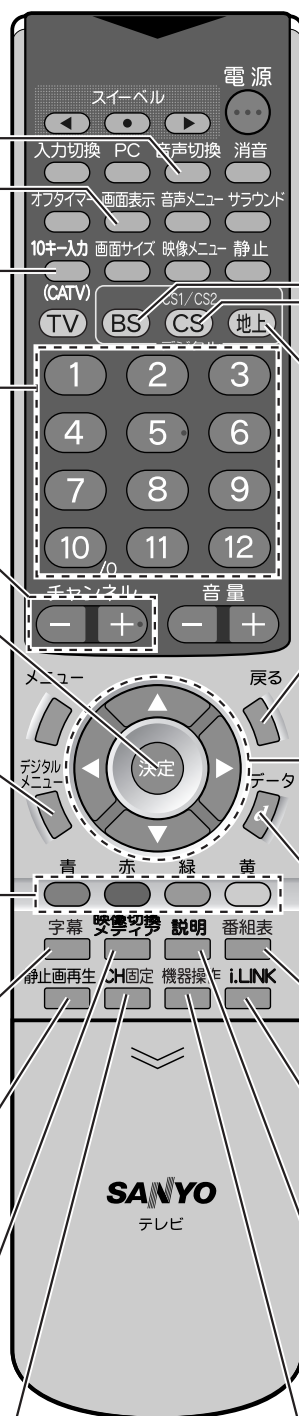
デジタルメニュー ☞107
設定や調節を行うデジタルメニューを表示させるボタンです。

カラー（青赤緑黄） ☞87
データ放送の項目を選ぶときなどに使います。

字幕 ☞101
字幕の表示モードを切り換えるボタンです。

静止画再生 ☞169,178
デジタルカメラやSDメモリーカードの静止画像を再生するとき押します。

映像切換/メディア ☞85、104
映像やメディアを切り換えるボタンです。

CH固定 ☞151
番組をビデオに録画するときにチャンネルを固定します。

BS ☞76
BSデジタル放送の画面に切り換えるボタンです。

CS1/CS2 ☞78
110度CSデジタル放送のCS1とCS2に切り換えるボタンです。

地上 ☞80
地上デジタル放送の画面に切り換えるボタンです。

戻る ☞87, 107
デジタルメニューや番組表、データ放送で前の画面に戻るときに使います。

カーソル▲▼◀▶ ☞107
デジタルメニュー内で項目を選んだり調整を行うボタンです。上下左右の項目を選ぶことができます。

d（ディー） ☞86
データ放送の画面を表示させるボタンです。

番組表 ☞90
電子番組ガイドを表示させるボタンです。

i.LINK（アイ リンク） ☞166
i.LINK端子に接続した機器の画面に切り換えるボタンです。

説明 ☞83
番組の説明を画面に表示させるボタンです。

機器操作 ☞164
接続したi-LINK機器を本機から操作するとき押します。

各部の名前と働き（つづき）

☞の後ろの数字は説明のあるページです。

サブリモコン（RC-463）

サブリモコンのボタンはメインリモコンの同名のボタンと同じ働きをします。

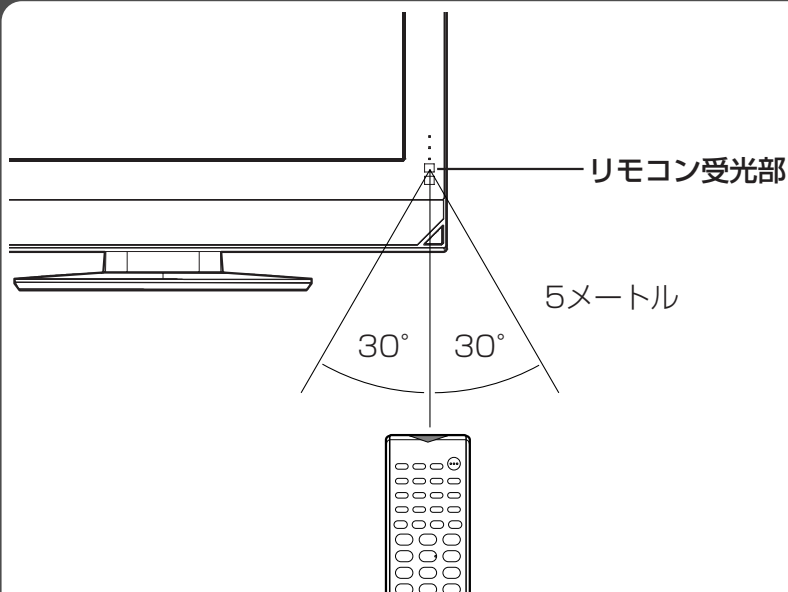
リモコンの準備と取り扱い

リモコンで操作できる範囲

テレビのリモコン受光部から約5メートル以内（左右30度ずつの角度）の範囲で操作できます。間に障害物があると操作の妨げになります。またリモコン受光部に強い光が当たっていると操作できないことがあります。

リモコンを傷めないために

リモコンを傷めないために次のことをお守りください。

- 液状のものをかけない。
- 熱や湿気をさける。
- 落としたり衝撃を与えない。

リモコンについて

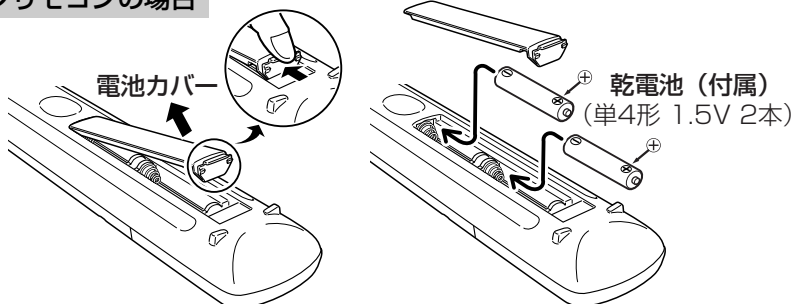
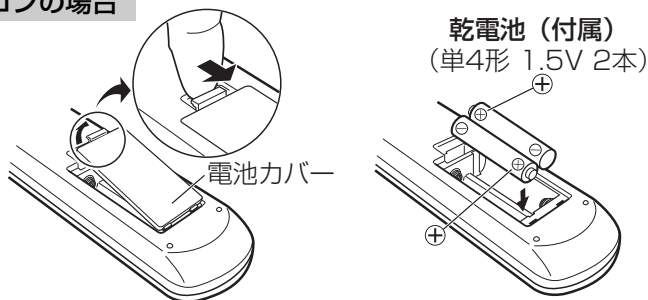
乾電池の入れかた

① 電池カバーを開ける。

② 電池ケースの表示どおりに＋（プラス）と－（マイナス）の向きを正しく入れる。

メインリモコン
　単4形　1.5V　2本
サブリモコン
　単4形　1.5V　2本

③ 電池カバーをしめる。

メインリモコンの場合

サブリモコンの場合

⚠注意

乾電池は向きを正しく入れ、新しいもの・古いもの、種類のちがうものを混ぜて使わない

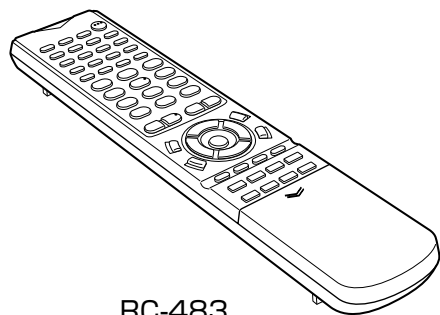
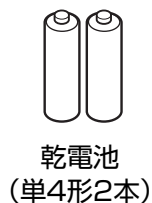
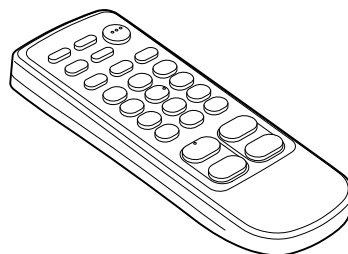
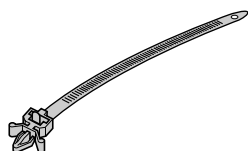
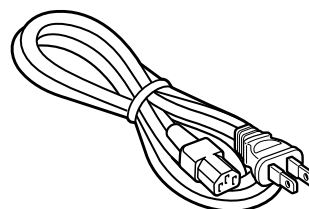
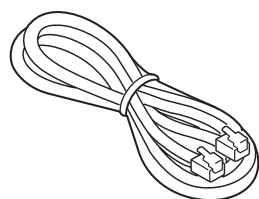
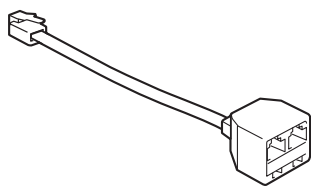
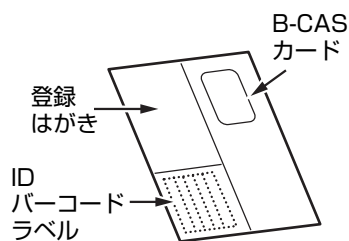
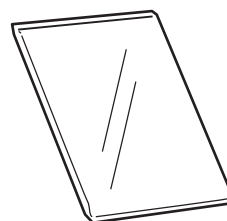
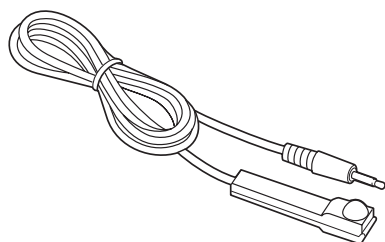
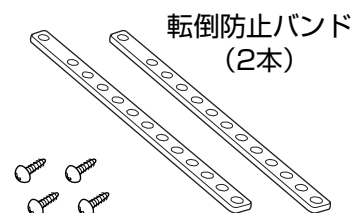
火災・けがや汚損の原因となることがあります。

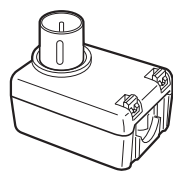
13ページの注意もお読みください。

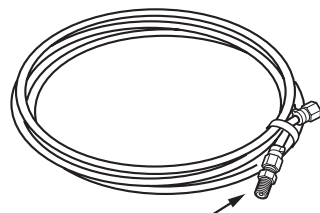
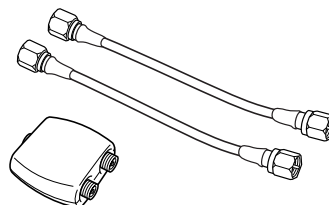
乾電池のお取り扱い

- 長期間使わないときは乾電池を取り出してください。
- 使用済み乾電池は定められた場所に廃棄してください。可燃ゴミに混ぜたり燃やしたりしないでください。
- 液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 万一、もれた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。やけどをすることがあります。

付属品をご確認ください

足りないものがないかご確認ください。

※上記の他に取扱説明書（本書）と「お客様ご登録カード」、保証書が付属しています。

■アンテナ ☞200〜205

中継コネクター

アンテナプラグ

アンテナケーブル
（1.5m）

分配器
（2分配）

アンテナケーブル
（20cm、2本）

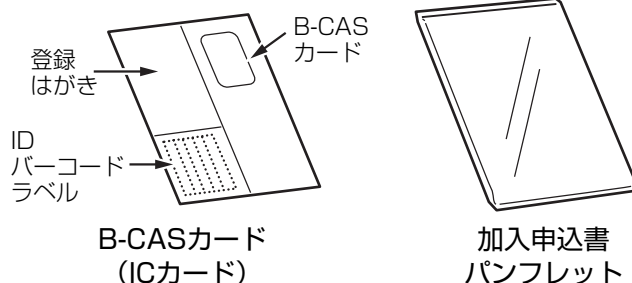
ご注意

- 本機および付属のICカード（B-CASカード）は外国為替及び外国貿易管理法の規定により規制貨物等（又は役務）に該当しますので、日本国外に輸出する場合には同法に基づき日本国政府の輸出許可が必要です。
- ICカード（B-CASカード）はデジタル放送の受信に必要です。紛失しないようご注意ください。再発行には手数料が必要です。またカードの台紙にあるはがきはユーザー登録に、IDバーコードラベルは有料放送の加入契約などに必要ですので、捨てたり紛失したりしないようにご注意ください。
- 同梱しております放送局のパンフレットと加入申込書は、（株）BS・コンディショナルアクセスシステムズが取りまとめ、受信機用として共通に配布されているものです。
- B-CASカード、加入申込書、パンフレットの形状や仕様などは、（株）B-CASの都合で変更になることがあります。

B-CASカードをテレビに差し込む

デジタル放送の受信機には、1台に1枚ずつ、ID（識別）番号の異なるB-CAS（ビーキャス）カードが付属しています。B-CASカードはお買い上げ後、すぐに本機に挿入してご使用ください。またカードの台紙についているハガキで登録を行ってください。

2004年4月以後は、B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が映りません。

ご使用の前に台紙に記載されているB-CASカード使用許諾契約約款をよくお読みください。

B-CASカード、加入申込書、パンフレットの形状や仕様などは、（株）B-CASの都合で変更になることがあります。

B-CASカードを差し込む

本機に付属しているB-CASカードは、液晶テレビ本体の電源スイッチで電源を切った状態で、下記の手順にしたがって挿入してください。

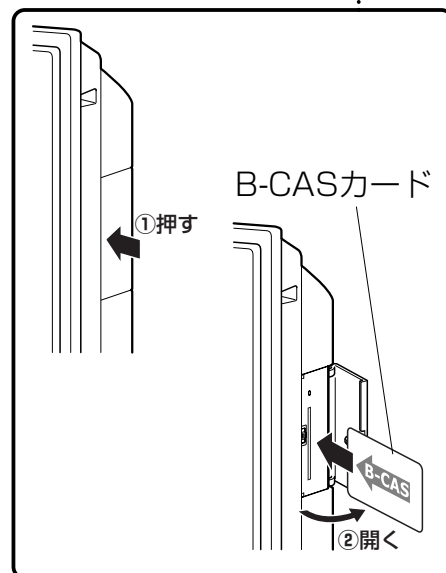
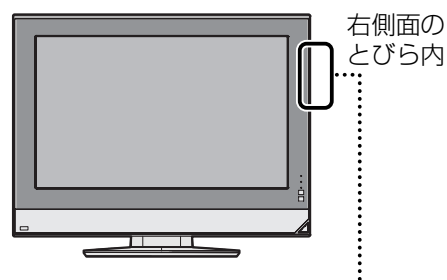
1 テレビ本体上面にあるとびらを開く

2 B-CASカードを図の向きに奥までしっかりと差し込む

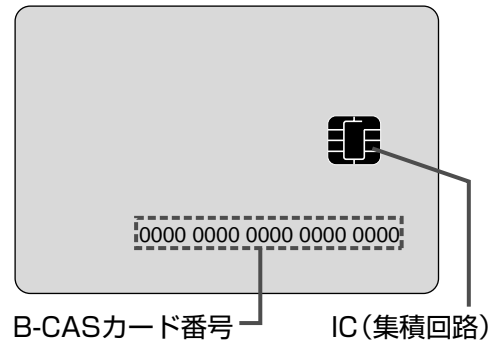
3 とびらを閉める

4 B-CASカードの台紙からユーザー登録はがきを切り離し、必要事項を記入し、ポストに投函する

5 ご希望に応じて有料放送の加入契約などを行う

付属のパンフレット類をよくお読みになり、ご希望に応じて申込みを行ってください。

- 本機のB-CASカード挿入口にはB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

B-CASカードについて

本機に付属のB-CASカードには1枚ごとに違う番号（B-CASカード番号）が付与されています。B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ☞319ページの「便利メモ」に記入しておいてください。

B-CASカード取り扱い上の留意点

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CASカードの分解加工は行わないでください。
- B-CASカードは左ページの手順をご覧のうえ、本機のB-CASカード挿入口に正しく挿入してください。B-CASカードを挿入しないと、有料放送を視聴することができません。
- ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。
- 本機に同梱しているB-CASカードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
- B-CASカードの保管には十分ご注意ください。第三者があなたのB-CASカードで有料番組を視聴したとき、料金はあなたの口座に請求されることになります。
- 破損・紛失などB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
- B-CASカードのユーザー登録や、受信契約については、B-CASカードの台紙に記載されている事項や、同封の「ファーストステップガイド」、「ファーストステップガイド申し込みブック」、約款集などをよくお読みください。

B-CASカードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本体の電源スイッチを「切」にしたあと、ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、必要なとき以外は抜き差しをしないでください。

お知らせ

コピー制御信号について

2004年4月から、BS/地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されます。そのコピー制御信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

B-CAS（ビーキャス）とは…

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（通称B-CAS、ビーキャス）は、BSデジタル放送の限定受信を管理するために放送局とメーカーが共同で設立した会社です。

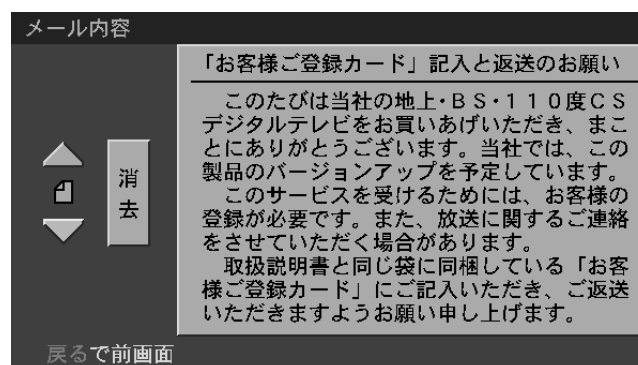
お客さまへ

「お客様ご登録カード」記入と返送のお願い

この製品は、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、地上デジタル放送の環境の変化に対応して、内蔵している受信部分のソフトウェアをバージョンアップする機能を備えています。
バージョンアップは通常の場合、放送電波によるダウンロードで行われますが、その際に当社からご連絡を差し上げる場合があります。またデジタル放送に関する情報をご連絡させていただく場合があります。
このため、この取扱説明書と同じ袋に同梱されている「お客様ご登録カード」にご記入いただき、ご返送いただきますようお願いします。

※
ご返送いただきました情報は、上記の目的と、当社製品およびサービスの企画・改善以外の目的には使用いたしません。

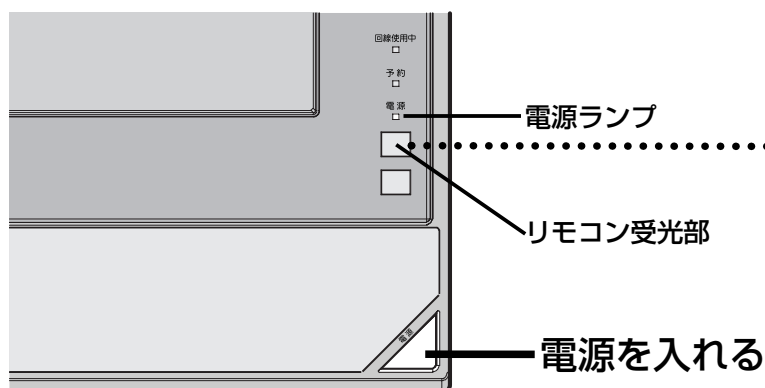
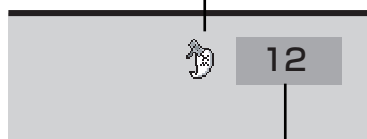
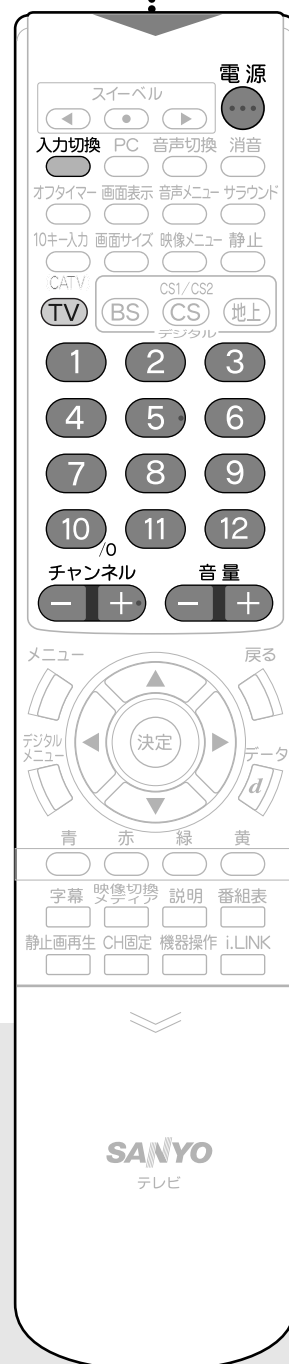
メール画面でもお願いしています

上記のお願いは、デジタル放送局からお客様へ届くメールをご覧になる画面でも掲載しています。（メールの見かた 120ページ）
※「お客様ご登録カード記入と返送のお願い」のメールは消去することができません。

※メールの内容は変わる場合があります。

テレビを見る

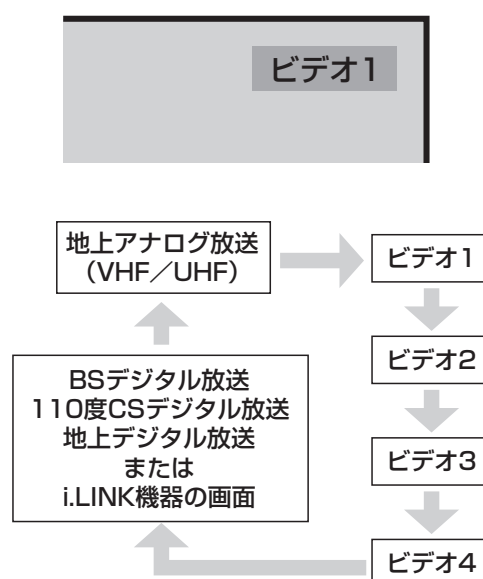
この章ではご希望の画面を選んで見る、音を聴く、楽しく便利に使うといった本機の基本動作を紹介します。

設置や接続、設定などの準備がまだの場合は、☞195ページからの「準備と設定」をご覧ください。

テレビを見る （地上アナログ放送を見る）

※
図で濃く表示しているのが操作に使うボタンです。

お知らせ

こんなときは…

- お買い上げ時（工場出荷時）は1～12のボタンにVHF放送の1～12チャンネルが設定されています。お住まいの地域の受信チャンネルを設定するときは☞216ページをご覧ください。
- GR（ゴーストリダクション）機能は、山や建物などからの反射電波で像が二重三重に映るゴースト障害を低減する機能です。（☞228ページ）
- チャンネル－／＋ボタンを押すと、1～12ボタンに設定されているチャンネルを逆／順に選局します。ただし、スキップ設定されたチャンネルは飛び越します。
- お買い上げ時、受信中の地上アナログ放送が終了すると約15分後に自動で電源を切る「放送終了オフ機能」が動くようになっています。（☞65ページ）
- 3時間操作がないとき、自動で電源を切る「無操作オフ」機能があります。（☞65ページ）

ビデオなどの画面を映す

お知らせ

- 画面表示の色は、ビデオ1、2が緑色、コンポーネントビデオ入力のビデオ3、4が水色です。
- 電源を入れたとき、ご希望のビデオ入力画面からスタートするよう設定できます。（66ページ）

ご注意

- 電源ランプが消えている場合でも、電源プラグをコンセントに差し込んだ状態では回路の一部に通電しています。
- 旅行などで長期間本機を映さないときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きましょう。
- リモコンで電源を切ったときに予約ランプが点灯しますが故障ではありません。予約ランプはデジタル放送の番組表データを取得するときなどに黄色で点灯します。データの取得などが終われば消えます。
- 表示位置移動機能（70ページ）を「する」に設定しているときは、一定時間ごとに画像がわずかに移動します。液晶ディスプレイパネルの残像（焼き付き）を防止するためで故障ではありません。

便利な機能を使う

自動で電源を切ることができるオフタイマーや消音などの便利な機能を備えています。

おやすみオフタイマーを使う

電源が切れるまでの時間を設定する

押して、
30分～120分を設定する

- 押すごとに30分単位で120分まで設定できます。設定後に電源を切ったときは設定が解除されます。
- オフタイマーを解除するときは「0分」に設定します。

オフタイマー解除＝0分

チャンネルや画面を切り換えたとき

- チャンネルや入力画面表示の近くに残り時間を表示します。（右の図は地上放送のとき）

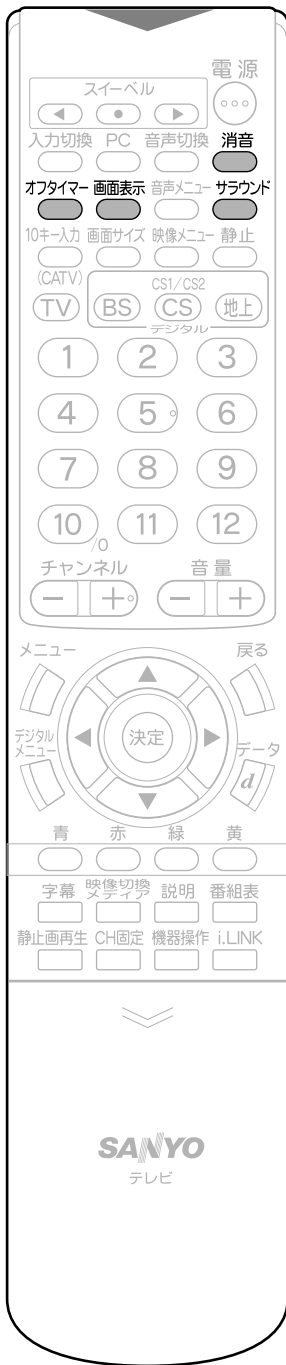
残り時間を確認するときは

- オフタイマーボタンを押すと、残り時間が表示されます。さらに押すと時間の変更ができます。

オフタイマーが働くと

- 設定した時間が経過すると「もうすぐ電源が切れます」と赤で表示されて電源が切れます。

ご注意

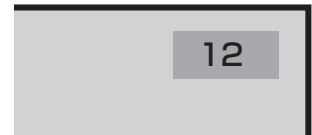
- PC画面のパワーセーブ機能が働いたときは、オフタイマーが解除されます。

消音ボタン

来客や電話のときに音だけを
消すことができます。

- 消音ボタンを押すごとに音を消したり出したりできます。
  消音は音量－／＋や電源の操作でも解除されます。

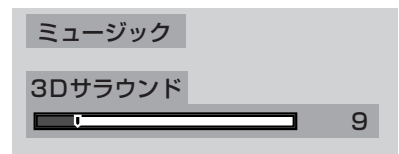
画面表示ボタン

押すと、今何チャン
ネルを見ているか
表示で確認できます。

12

- 画面表示ボタンを押すと、画面に約3秒間受信チャンネルの番号が表示されます。
- ビデオ画面のときはビデオの表示を、オフタイマー設定中は残り時間を表示します。
- デジタル放送のときは☞75ページをご覧ください。

サラウンド

押して、「サラウンド」を表示させると
音に広がりが
加わります。

ミュージック
3Dサラウンド
9

① 1回押すとそのときの状態を表示します。
② 表示中にサラウンドボタンを押すごとにオン／オフできます。

ご注意

- サラウンドの効果は音声の種類によって異なります。

番組の音声を選ぶ（地上アナログ放送）

2カ国語音声のテレビ番組などでは、音声を選んで楽しむことができます。

デジタル放送の音声切換は 84ページをご覧ください。

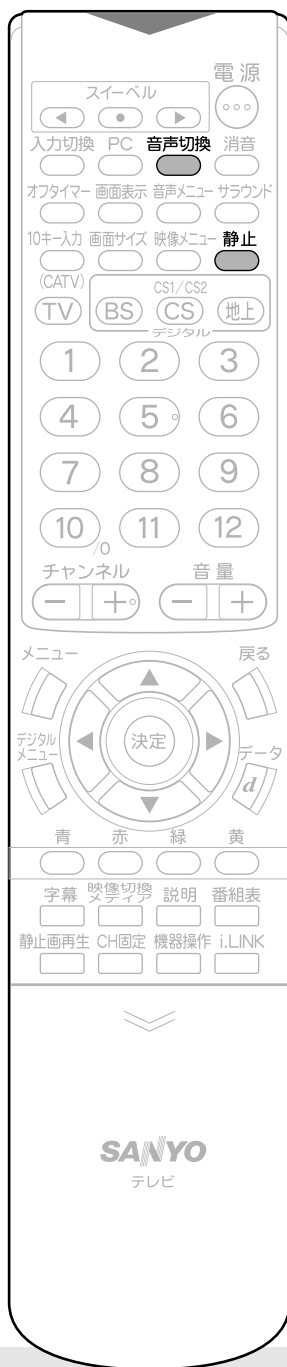
主音声	左右両方から主音声が出ます。
副音声	左右両方から副音声が出ます。
主：副	左から主が、右から副音声が出ます。

お知らせ

ステレオ音声の放送に雑音が入るときは

- 音声切換ボタンを押して、表示を青の「モノラル」に変えると、雑音が消えて聴きやすくなります（強制モノラル）。強制的にモノラルにしている間はチャンネル番号を出したとき青で表示され、音声はモノラルになります。雑音が入るステレオ放送だけ強制モノラルでお聴きください。音声切換ボタンで表示の色を青から元の色に戻すと強制モノラルは解除されます。

画面を静止させる

ご覧になっている映像を3分間静止して映すことができます。

静止ボタンを押す

静止させたい場面で
押す

- 静止した映像が映ります（約3分間まで）。もう一度押すと静止が解除されます。
（音声は止まりません）

表示は約3秒で消えます。

静止を解除するとき

次の操作を行うと静止は解除されます。

- 静止ボタンを押したとき
- 戻る、画面表示ボタンを押したとき
- チャンネルを選局したとき
- 入力切換ボタンを押したとき
- 電源を切／入したとき ......など

その他、画面表示を伴う操作を行ったときは静止が解除されます。

お好みの画質を選ぶ

バラエティー番組はメリハリあるクッキリした映像、映画はしっとり落ち着いた映像、というふうに映すソースに合わせて4種類の画質を選べます。

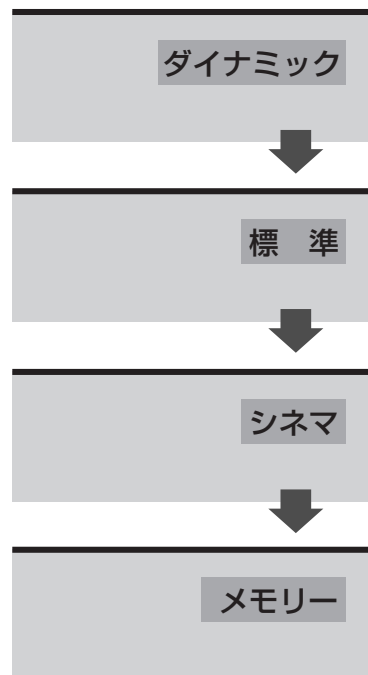
映像メニューでお好みの画質を選ぶ

押す

2 表示中、押すごとに選べます

- 本機に設定されている4種類の画質が選べます。

ダイナミック	明るく、くっきりとメリハリのある画質です。
標準	どんなソースにも合う、バランスの良い、標準的な画質です。
シネマ	映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。
メモリー	「映像調整」で調整した画質を呼び出します。

プロ設定の映像調整を行ったときは、映像メニューに「プロ設定」が加わり、選ぶことができます。
☞52ページ

本機の映像機能

本機は、美しい映像を再現するために映像メニューの他にも次のような機能をそなえています。

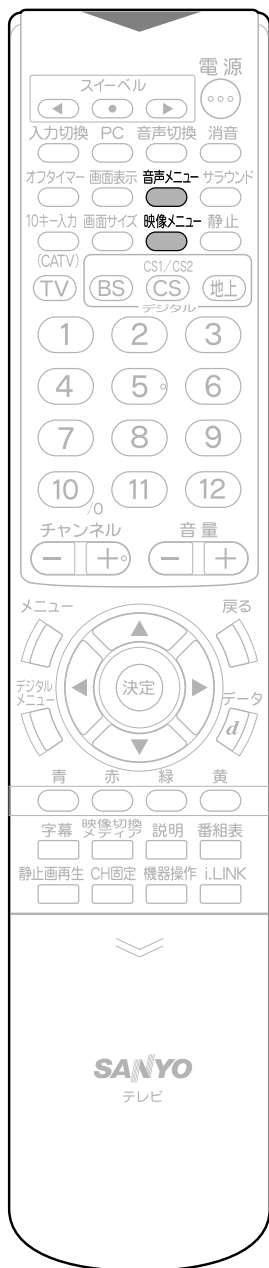
- 5つの項目を個別に調整できる映像調整機能。☞50ページ
- 映像のザラつきをおさえるノイズリダクション。☞51ページ
- 周囲の明るさに応じて映像を自動調整する。明るさセンサー。☞61ページ
- 映している映像に応じて映像を自動調整する。ダイナミックAI。☞61ページ
- 消費電力をおさえながら見やすい映像にする節約モード。☞62ページ
- 3段階に調整できる色温度。☞62ページ
- 肌色を自然な感じに補正する肌色補正。☞63ページ
- 映画などのフィルム映像をより忠実に再現するシネマオート。☞63ページ
- 詳細な調整や設定が行えるプロ設定。☞52ページ

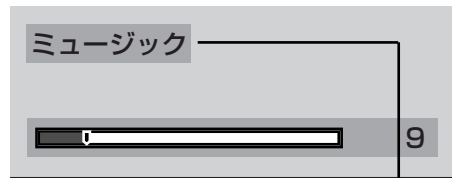
お知らせ

こんなときは…

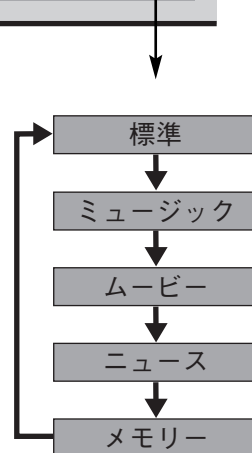
- PC(パソコン)画面のときは選べる映像メニューが変わります。☞186ページ
- 節約モードを「節約1」「節約2」に設定したときは、映像メニューの表示の下に「E」マークが表示されます。☞62ページ

お好みの音質を選ぶ

音楽番組や映画、ニュースなど、再生するソースに合わせて5種類の音質を選べます。

音声メニューでお好みの音質を選ぶ

1 押す

2 表示中、押すごとに選べます

- 本機に設定されている5種類の音質が選べます。

標準	標準的で自然な音
ミュージック	高音・低音を強調し、音楽をメリハリよく聴かせる音
ムービー	映画の迫力を伝える、低音域を強調した音
ニュース	中音域を強調して、声を聴きやすくした音
メモリー	「音声調整」で調整した音質を呼び出します。

本機の音声機能

本機は、音声メニューの他にも次のような機能をそなえています。

- 高音、低音、バランスを個別に調整できます。☞56ページ
- 明りょうで自然な音を再現するBBE機能。☞57ページ

お知らせ

- PC画面で選んだ音声メニューは、PC画面の音声メニューとして独立して記憶されます。

映像をワイドに楽しむ

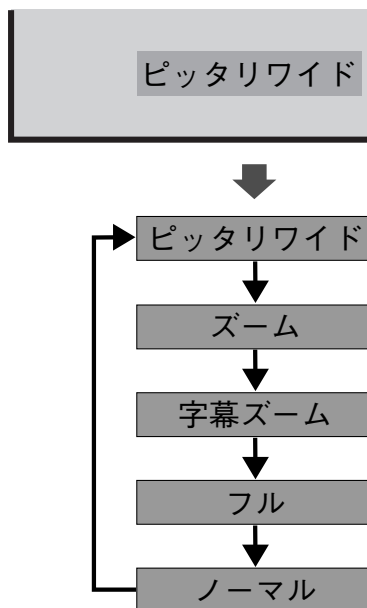
テレビ番組やビデオソフトの横長映像を画面いっぱいに映して楽しめます。

ワイド画面を楽しむには

押すごとに
ワイド画面が選べます

- 画面サイズボタンを押すと、そのときの画面サイズが表示されます。表示されている間に画面サイズボタンを押すと、押すごとに画面サイズを選ぶことができます。

※デジタル放送の画面では画面サイズの切り換えが制限される場合があります。

（例）地上アナログ放送のとき

画面モードとオリジナル映像

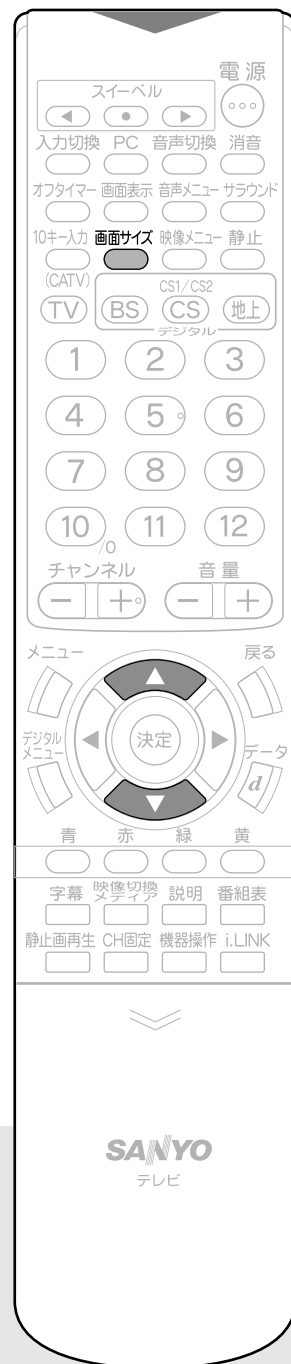
このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率（画面のタテとヨコの比率）と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

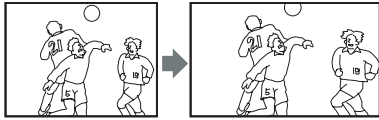
ご注意

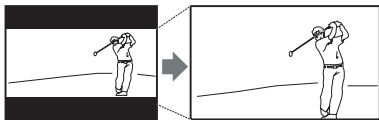
著作権について

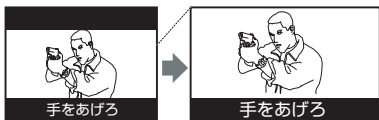
このテレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード切換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行ないますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

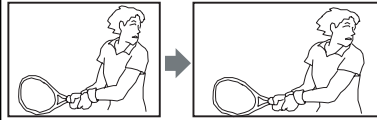
お知らせ

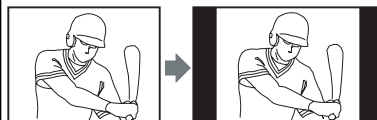
- デジタル放送やi.LINK機器、静止画再生（デジタルカメラなど）以外の画面では、リモコンのカーソル▲▼ボタンで画面を上下に移動させることができます。☞59ページ
- 静止画再生画面（デジタルカメラなど）では、画面サイズボタンが働きません。

映像に合ったワイド画面の選びかた

ピッタリワイド 4：3を画面いっぱいに楽しむときに

中心部はそのままで左右の端と上下を拡大。

ズーム 横長の映像ソフトを楽しむときに

中心部分を拡大。横長映像が画面いっぱいに映ります。

字幕ズーム 字幕入り横長映像を楽しむときに

ズームの映像を上に上げて字幕の欠けを防ぎます。

フル 16：9を圧縮した映像を映すときに

均等に左右に拡大。もとの16：9にもどします。

ノーマル オリジナルの映像を楽しむときに

4：3のまま映しますので左右に黒い帯ができます。

デジタル放送の画面のとき

デジタル放送の受信画面では、画面サイズの切り換えが制限されるときがあります。

- ハイビジョン放送など、もともと画面の比が16：9で送られてくる番組のときの画面サイズは「フル1」「フル2」のみの切り換えになります。
- 放送自体に黒い帯が入っている番組は画面サイズを切り換えても帯が消えない場合があります。

識別信号が入った映像を再生するとき

ビデオ1、2入力のS2映像端子や、ビデオ3、ビデオ4入力のD4映像端子につないだ機器から、画面サイズの識別信号が入った映像を入力したときは、識別信号にしたがって画面サイズを自動で「ズーム」または「フル」に切り換えます。

ご注意

- ワイド映像でない通常の4：3の映像を画面モード切換え機能を利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してごらんになると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでごらんになれます。

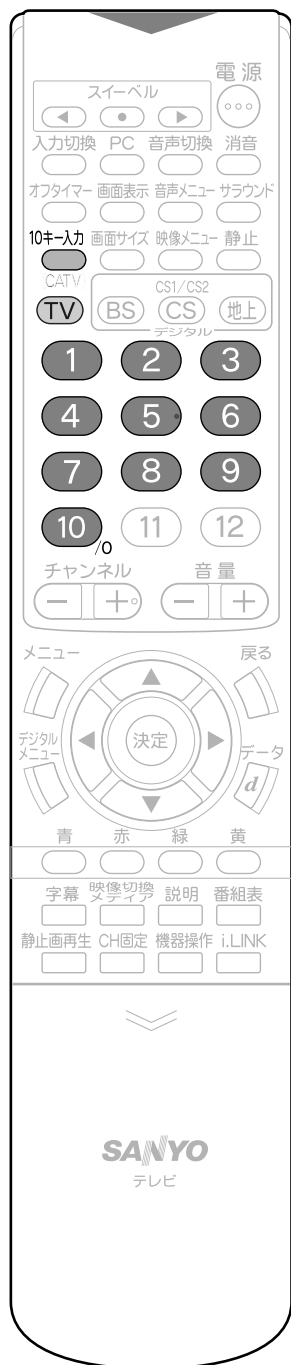
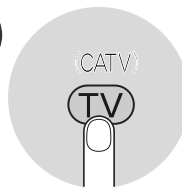
お知らせ

- 画面サイズによっては「画面調整」メニューで画面の縦サイズ、横サイズ、画面位置を調整できます。
- 拡大すると多少画質が粗くなります。

ケーブルテレビを見るには

チャンネル番号を入力してケーブルテレビを選局する方法を説明します。

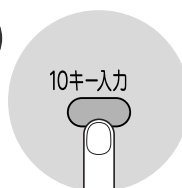
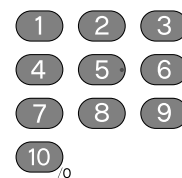
ケーブルテレビを見るとき

1 (CATV) TV

押して、地上放送の画面にする

- すでに地上放送の画面のときは次に進んでください。

2 10キー入力

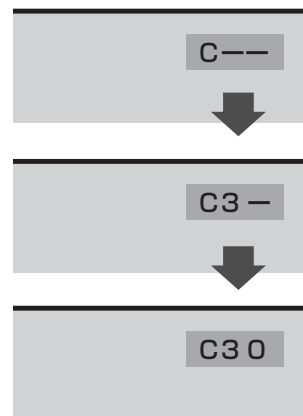
を押し、続いて、

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0

でチャンネル番号を入力する

- C13〜C63以外のチャンネル番号を入力したときはC13またはC63を受信します。
- 5秒間入力しないと表示は消えます。5秒以内に次のボタンを押してください。

10キー入力 10キー入力ボタンを押す → C−−

3 表示が出ている間に続けて押す → C3 −

10/0 受信される → C3 0

お知らせ

ケーブルテレビとは

ケーブルテレビは放送サービスが行われている地域で受信できます。受信には使用機器ごとにケーブルテレビ会社との契約が必要です。詳しくは地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

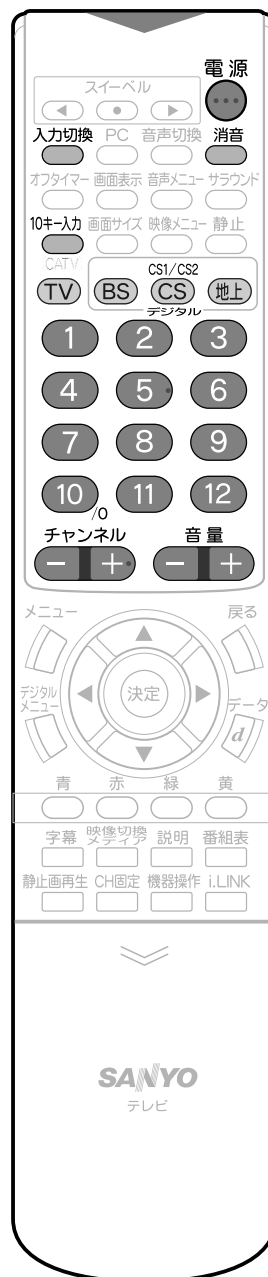
- 有料放送の視聴にはホームターミナル（アダプター）が必要です。ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- リモコンのチャンネルボタンにケーブルテレビを設定（プリセット）して受信する方法もあります。☞225ページ
- きれいに映らないケーブルテレビのチャンネルがあるときは微調整をお試しください。☞227ページ

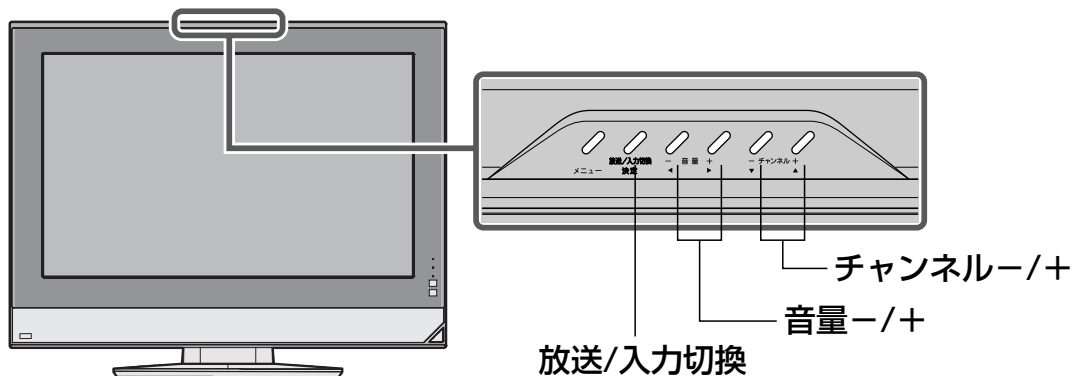
サブリモコンの使いかた

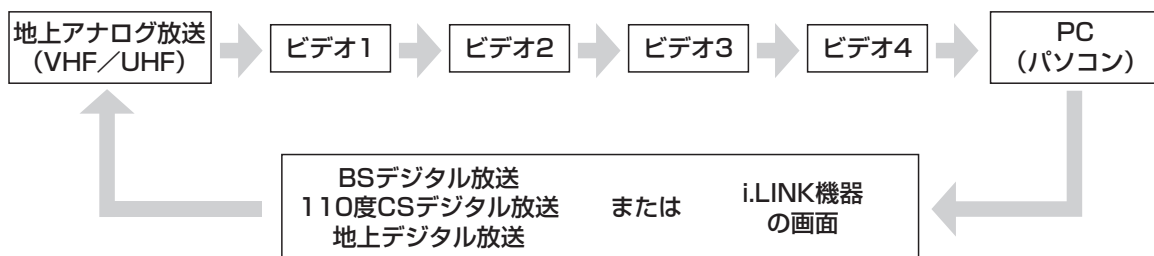
本機には、チャンネルの選局や音量など、普段よく使う機能のみを集めたサブリモコンが付属しています。
サブリモコンのそれぞれのボタンはメインリモコンのボタンと同じ働きをします。

サブリモコン

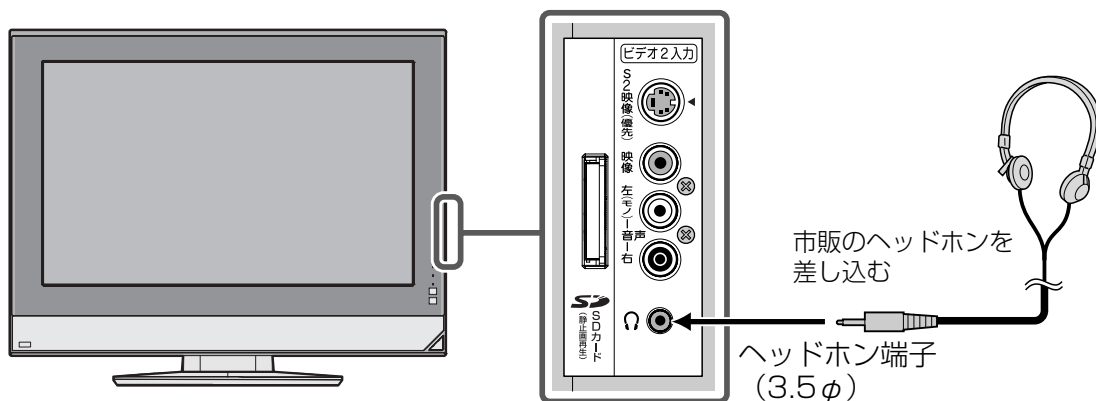
メインリモコン

よく使うボタンを集めました。
メインリモコンのボタン（右の図の濃く表示したボタン）と同じ働きをします。

液晶テレビ本体で操作する

液晶テレビ本体の上面にチャンネル－／＋、音量－／＋、入力切換ボタンなどがあり、リモコンが手元にないときでも画面を変えたり音量を調節したりできるようになっています。

放送／入力切換ボタンの働き

押すごとに次のように画面を切り換えることができます。

- ビデオ1～4は接続がない入力先には切換わりません。
  （ビデオ入力スキップ「する」のとき ☞66ページ）

ヘッドホンで音を聴くとき

側面のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを差し込みます。

スピーカーの音が消え、ヘッドホンで音を聴くことができます。
- 音量は音量－／＋ボタンで調節できます。
- 消音ボタンで音だけを消すこともできます。

ご注意

- ヘッドホンの性能によって聴こえる音の大きさが異なることがあります。本機の故障ではありません。

電動スイーベル（首振り）の使いかた

本機のスタンドには電動スイーベル（首振り）機能が搭載されており、
リモコンのボタン操作で画面の向きを変えることができます。

ご注意

- 電動スイーベルを動作させたとき、本機が周囲のものにぶつからないように設置してください。
- 電動スイーベルの可動範囲にものを置かないでください。

設置について詳しくは 198ページをご覧ください。

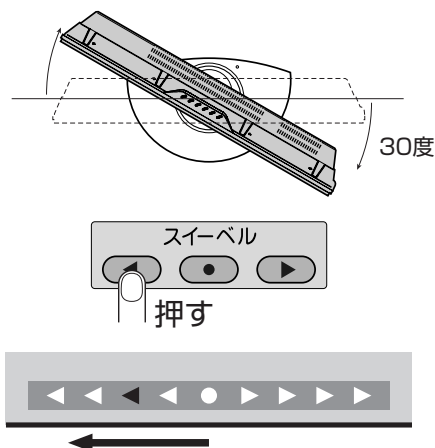
⚠注意

指のケガに注意

スイーベルスタンドの回転部付近に触れたり、液晶テレビを持ち上げるときに回転部付近を持たないでください。指をはさむなどしてケガの原因となることがあります。

画面を右へ向けるとき

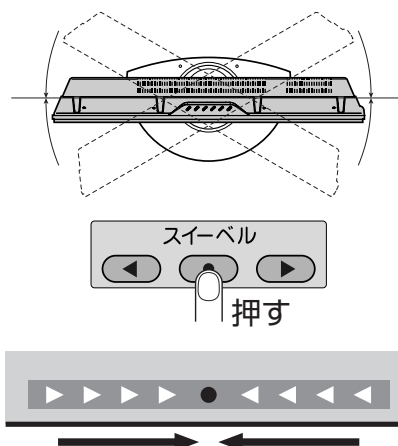
押している間、画面が右へ向きます（最大30度）。

画面を左へ向けるとき

押している間、画面が左へ向きます（最大30度）。

画面を中央へ戻すとき

1回押すと、画面が中央に戻って止まります。

お知らせ

- スイーベルボタンから指を離したあと電動スイーベル機能が止まるまでにはわずかのずれがあります。
- 電動スイーベル機能の動作中や停止時に、液晶テレビ本体がぐらつくことがあります。
- 「●」ボタンを押して中央に戻るときの停止位置には多少の誤差があります。

電動スイーベル(首振り)の使いかた (つづき)

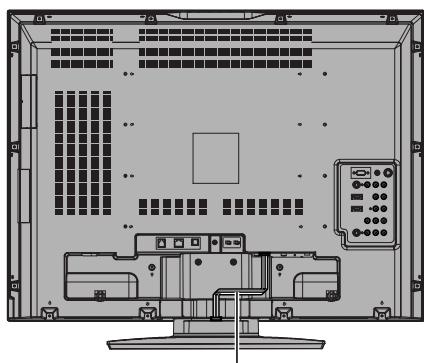
電動スイーベルが停止したとき

電動スイーベルが可動範囲いっぱいまで回転してそれ以上回転しない状態、または本機が壁などに当たってそれ以上回転しない状態で、さらにスイーベルボタンを押し続けたときは、画面に「スイーベルが自動的に停止しました」と表示され、電動スイーベルが停止します。

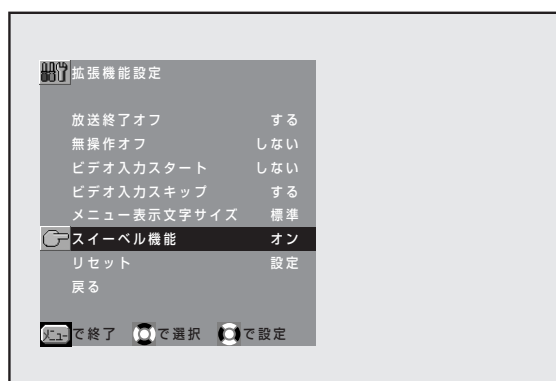
スイーベルが自動的に
停止しました

ケーブルがはずれているとき

電動スイーベル機能は、液晶テレビ本体とスタンドが配線ケーブルで接続された状態で正常に動作します。配線ケーブルがはずれた状態では動作しませんのでご注意ください。配線ケーブルがはずれた状態でスイーベルボタンを押したときは、画面に「スイーベルの配線が外れています」と表示されます。

スイーベルの配線が
外れています

配線ケーブル

電動スイーベル機能をオフするとき

- いたずら防止などの目的で電動スイーベル機能を動作させたくないときは、「拡張機能設定」メニューの「スイーベル機能」の設定を「オフ」にすると、スイーベルボタンを押しても電動スイーベル機能が動作しないようになります。

- 「スイーベル機能」の設定が「オフ」のときに、スイーベルボタンを押したときは、画面に「スイーベル機能の設定がオフになっています」と表示されます。

スイーベル機能の設定が
オフになっています

メニューで行う機能

本機の調整や設定は、画面に表示されるメニューで行うようになっています。
この章ではメニュー操作について説明します。

基本のメニュー操作

メニュー操作の基本的な手順を説明します。
（各メニューの機能と操作方法は個々のページで詳しく説明します）

メニュー画面

選んだメニューは反転表示されます。

映像調整
音声調整
画面調整
初期設定
拡張機能設定
チャンネル設定
ＰＣモードの設定
スクリーンセーバー
お知らせ

メニューで終了　で選択　で決定

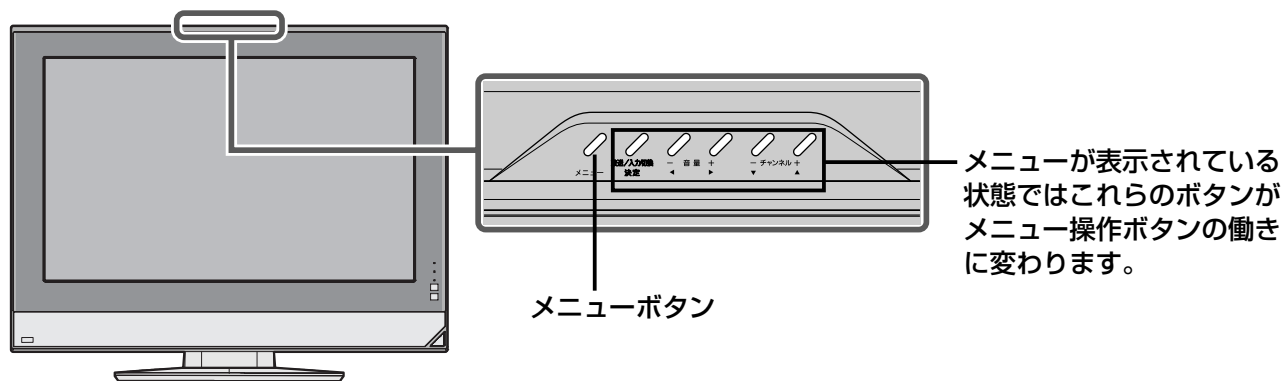
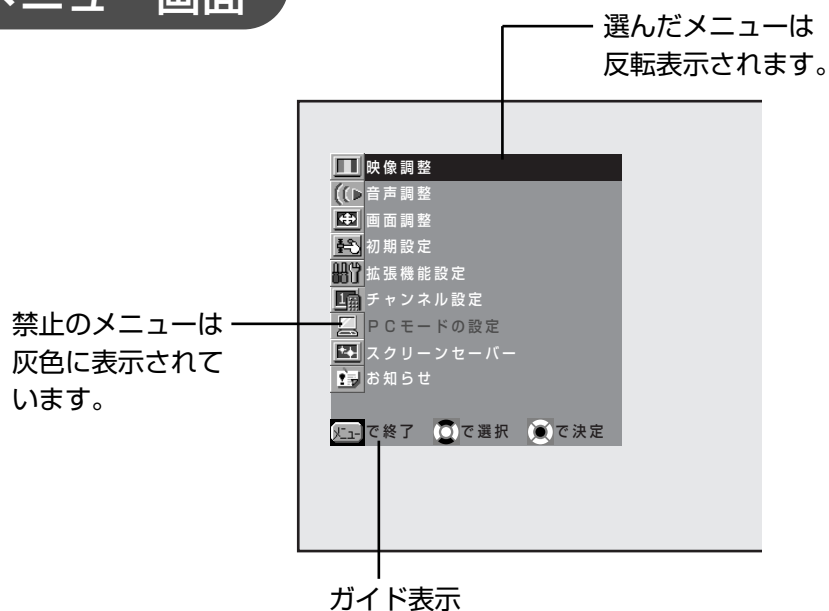
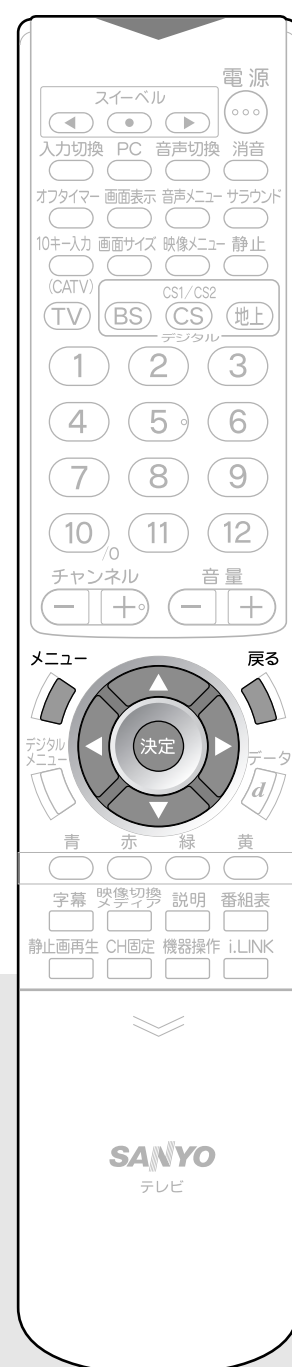
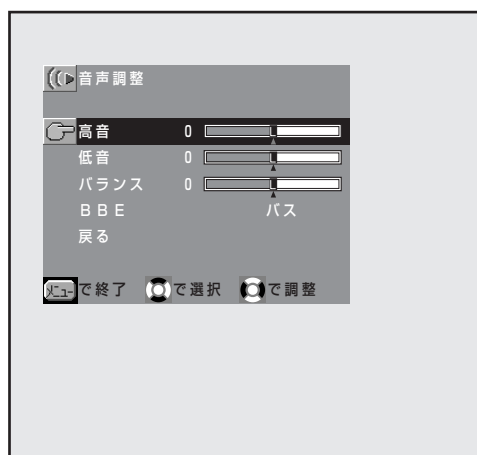
禁止のメニューは灰色に表示されています。

ガイド表示

（例）音声調整メニュー

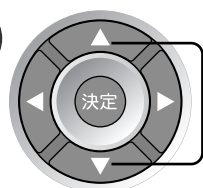
音声調整

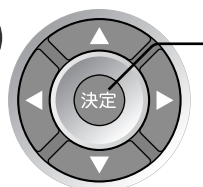
高音	0	
低音	0	
バランス	0	
ＢＢＥ		バス
戻る		

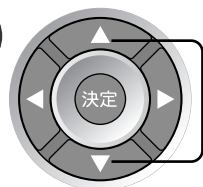
メニューで終了　で選択　で調整

お知らせ

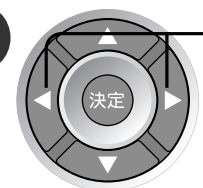
- 画面にメニューが表示された状態で約1分間次の操作がないときは、液晶ディスプレイの保護のために自動でメニューが消えます。1分以内に次の操作を行うようにしてください。

❶
押す

● メニューが表示されます。一番下のガイド表示を操作の目安にしてください。

❷
押して、メニューを選ぶ

● 選んだメニューが青で反転して表示されます。

❸
押す

● 選んだメニューの画面に切り換わります。

❹
押して、設定する項目を選ぶ

● 設定する項目を選びます。選んだ後、その画面で設定できるメニューと、さらに決定ボタンを押して次の画面に移るメニューがあります。ガイド表示を参考にしてください。

押して、設定する

● ご希望の状態に設定します。

❻
終了するときは
押す（設定終了）

● メニュー画面が消えます。

■操作を途中でやめるときは

メニューボタンを押すと画面のメニューが消えて操作を中止できます。

■前のメニューに戻るときは

●「戻る」が表示されるメニューでは、「戻る」を選んで決定ボタンを押すとひとつ前のメニューに戻ることができます。
●「戻る」ボタンを押すとひとつ前のメニューに戻ることができます。

■メニューが灰色で表示されるときは

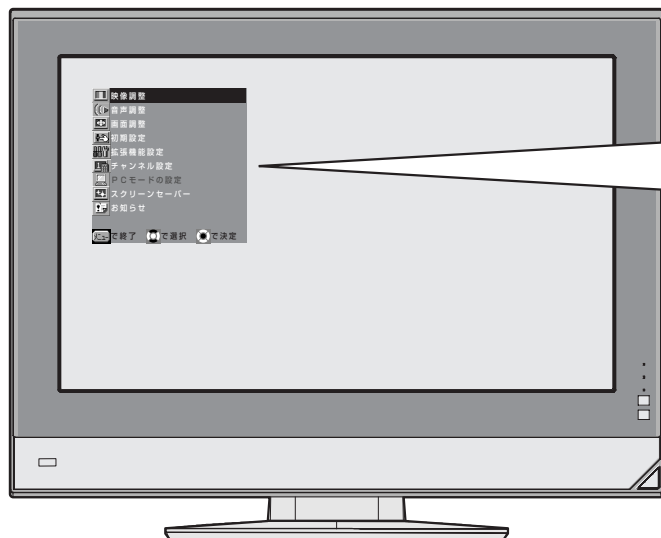
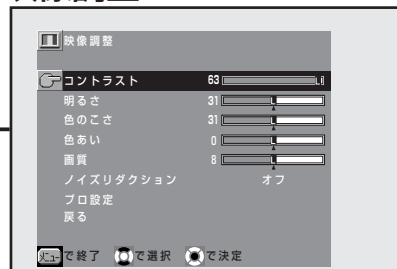
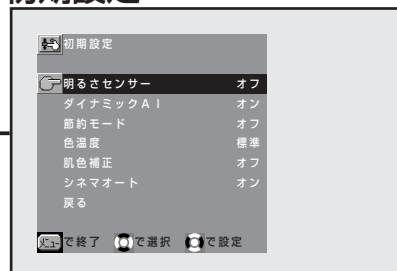
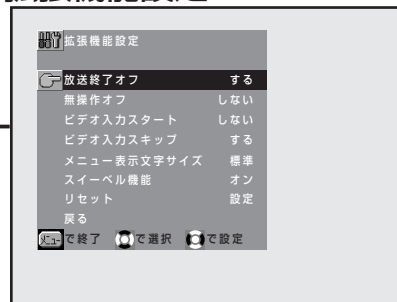
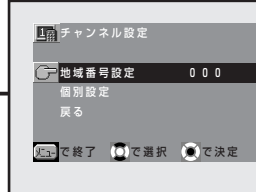
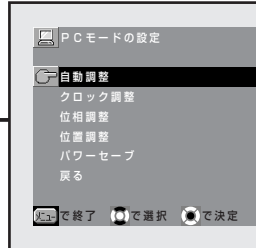
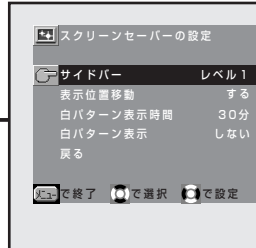
そのときどきの状況によって操作を禁止しているメニューは灰色で表示されます。灰色で表示されたメニューは選ぶことができません。
（▲▼ボタンを押したときは飛び越します）

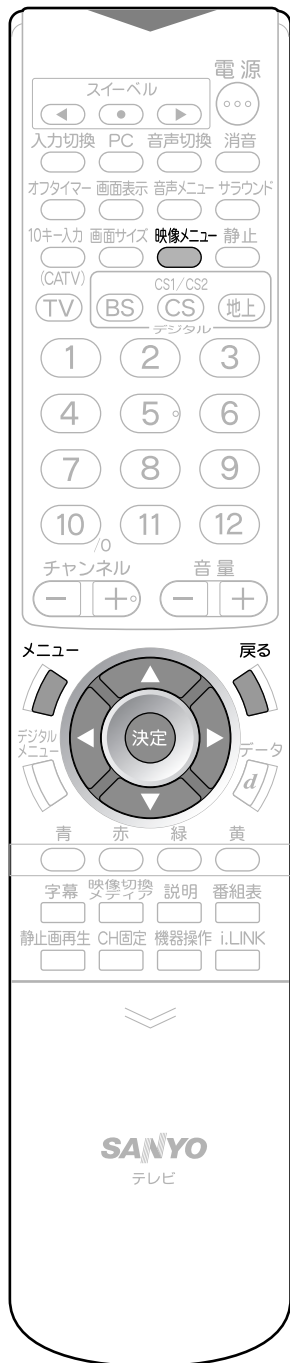
テレビ本体でメニュー操作するとき

メニュー操作はテレビ本体のボタンでも行えます。メニューボタンを押すと画面にメニューが表示されます。メニューが表示されている状態ではテレビ本体の放送／入力切換、音量－／＋、チャンネルー／＋ボタンが、メニュー操作の決定、◀ ▶ ▼ ▲ボタンの働きに変わります。これらのボタンでリモコンのときと同様に操作できます。

※
リモコンの図で濃く表示しているのが操作に使うボタンです。

基本のメニュー操作（つづき）

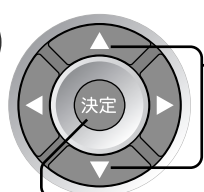
メニュー一覧

※
メニュー表示のサイズは、「拡張機能設定」メニューの中の「メニュー表示文字サイズ」で切り換えることができます。お買い上げ時は「標準」（上の図のような大きさ）に設定されています。

☞50
コントラスト
明るさ
色のこさ
色あい
画質
ノイズリダクション
プロ設定 ☞52
☞56
高音
低音
バランス
BBE
☞58
画面縦サイズ
画面横サイズ
画面位置
明るさセンサー☞61
ダイナミックAI☞61
節約モード☞62
色温度☞62
肌色補正☞63
シネマオート☞63
放送終了オフ☞65
無操作オフ☞65
ビデオ入力スタート☞66
ビデオ入力スキップ☞66
メニュー表示文字サイズ☞67
スイーベル機能☞67
リセット☞68
チャンネル設定
チャンネル設定
地域番号設定 000
個別設定
戻る
で終了 で選択 で決定
☞218
地域番号設定☞218
個別設定
・個別設定☞224
・表示変更☞226
・微調整☞226
・スキップ設定☞227
・CATV微調整☞227
・GR(ゴーストリダクション)☞228
PCモードの設定
PCモードの設定
自動調整
クロック調整
位相調整
位置調整
パワーセーブ
戻る
で終了 で選択 で決定
☞188
自動調整☞190
クロック調整☞191
位相調整☞191
位置調整☞191
パワーセーブ☞192
スクリーンセーバー
スクリーンセーバーの設定
サイドバー レベル1
表示位置移動 する
白パターン表示時間 30分
白パターン表示 しない
戻る
で終了 で選択 で設定
サイドバー☞69
表示位置移動☞70
白パターン表示時間☞70
白パターン表示☞70
お知らせ
お知らせ
内部温度 : 正常です
冷却ファン : 停止中
受信信号 : PC
1024×768
FH : 48.5KHz
FV : 60.0Hz
で終了
☞193、297

映像の調整

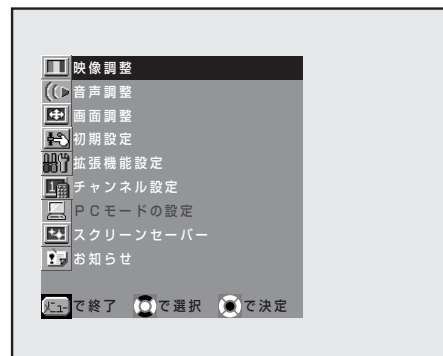
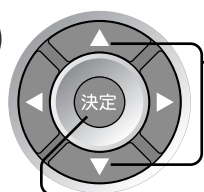
映像調整メニューでは画質を微妙な部分まで調整できます。
※映像調整のプロ設定を行うときは、コントラスト～ノイズリダクションの調整はプロ設定画面に入ってから行います。☞52ページ

映像調整のしかた

1

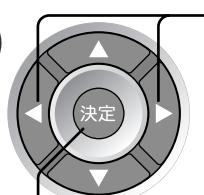
押す

● メニューが表示されます。

2

押して、「映像調整」を選び、中央の決定ボタンを押す

● 映像調整メニューに切り換わり、現在の設定値が表示されます。

3

押して、調整する項目を選び、中央の決定ボタンを押す

● 選んだ項目の調整画面に切り換わります。

4

押して、調整する

中央の決定ボタンを押す

● 画像の変化と数字、目印を見ながらご希望の状態に調整します。

■その他の項目を続けて調整するときは

調整画面で▲▼ボタンを押すと、調整画面のまま別の項目に移ることができます。希望の項目を選び◀ ▶ボタンで調整します。

■映像調整メニューに戻るときは

調整画面で決定ボタンを押すと映像調整メニューに戻ります。

5

調整を終えるときは
押す（操作終了）

● メニューが消えます。

映像調整のめやす

コントラスト

お好みの濃さに調整してください。

コントラスト

（調整範囲：0～63）

明るさ

お部屋の明るさに合わせて調整してください。

（調整範囲：0～63）

色のこさ

少し薄めの方が見やすくなります。

（調整範囲：0～63）

色あい

肌の色や植物の緑が自然な色に映るよう調整します。

色あい

（調整範囲：－31～32）

画質

映像がざらざらした感じのときはやわらかめに調整。

画質

（調整範囲：0～15）

ノイズリダクション

ザラつき（ノイズ）を軽減したいときは「オン」にしてください。

ノイズリダクション　オフ

（オフ／オン）

※目印表示と数字は、そのとき選んでいた映像メニューの映像状態を表します。「標準」でも目印が中央でない項目があります。

ノイズリダクション機能について

オンにするとザラつき（ノイズ）がやわらいで見やすくなります。受信状態のよくないチャンネルや古いビデオなどを見るときにお試しください。ノイズのない映像はオフでご覧ください。

調整した画質を呼び出すには

押して、
「メモリー」にすると、
調整した画質が
呼び出される

メモリー

● 調整した映像の状態が呼び出されます。

メモリーの内容について

映像メニューの「メモリー」モードに記憶される映像調整の内容は、テレビとビデオ1～4画面で同じ調整内容が記憶されます。PC画面で調整した内容は別に記憶されます。

ご注意

- ノイズリダクションは、ノイズがある映像をご覧になるときだけ「オン」にし、ノイズのない映像はオフでご覧ください。
- ノイズリダクションはPC画面やデジタル放送の画面では働きません。これらの画面ではメニューの「ノイズリダクション」が灰色で表示され、選択できなくなります。

プロ設定の映像調整

映像の細部まで調整したい方のために、プロ設定の映像調整を設けています。

プロ設定のしかた

❶ 「プロ設定」で設定する映像を映す

- DVDの再生映像など、「プロ設定」でご覧になる映像を映してください。
- 「プロ設定」はPC画面では働きません。設定できませんし、「プロ設定」を呼び出すこともできませんのでご注意ください。

❷ 「映像調整」の画面を出す
（☞50ページの操作❶～❷）

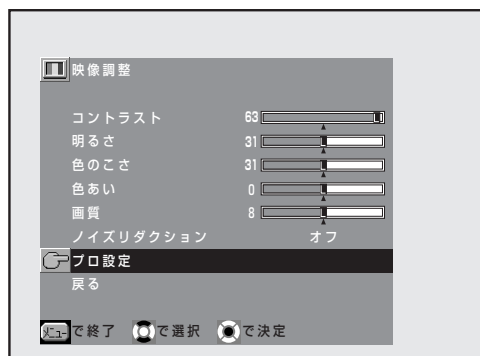
押して、「プロ設定」を選び、

決定を押す

- 「プロ設定の映像調整」画面に切り換わり、現在の設定値が表示されます。プロ設定の初期状態は、映像メニュー「シネマ」の設定値です。
- プロ設定を行うときは、コントラスト～ノイズリダクションの調整はプロ設定画面に入ってから行ってください。

❹

押して、調整する項目を選び、

決定を押す

- 選んだ項目の調整画面に切り換わります。
- コントラスト、明るさ、色のこさ、色あい、画質、ノイズリダクションの調整は、☞50～51ページと同様に調整します。

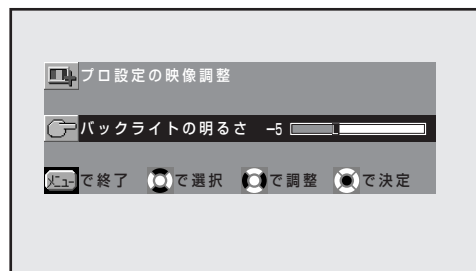
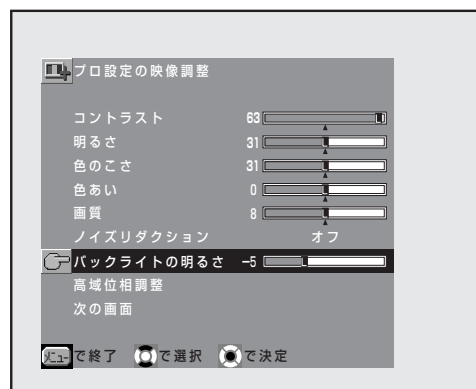
バックライト明るさの調整

プロ設定の映像調整では、液晶パネルへ光を照射しているバックライトの明るさを調整できます。映画などの暗いシーンを、より暗く再現したいときなどは次のように調整します。

設定のしかた

①「プロ設定の映像調整」画面で、▲▼ボタンを押して「バックライトの明るさ」を選び、決定ボタンを押します。
- バックライトの明るさを調整する画面に切り換わり、現在の設定値が表示されます。

② ◀▶ボタンを押して、ご希望の明るさに調整します。（調整範囲：0～－7）

③決定ボタンを押します。

プロ設定を終了するときは、メニューボタンを押してメニューを消します。

高域位相調整をするとき

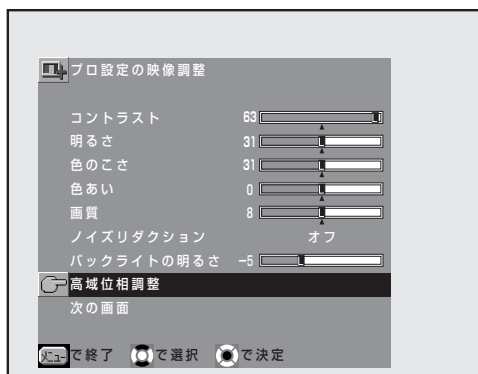
「高域位相調整」は、本機のビデオ3、4入力端子にDVDプレーヤーなどのコンポーネント映像信号（525p、750p、1125i）を入力して再生するとき、映像の細部のノイズを少なくします。

ご注意

- ビデオ3、4入力端子にコンポーネント映像を入力し、映しているとき以外は調整できません。
- この調整は、信号にずれがある場合に有効です。ずれがない場合は調整しても変化はありません。

調整のしかた

① ▲▼ボタンを押して、「高域位相調整」を選び、決定ボタンを押します。
- 高域位相調整を行う画面に切り換わり、現在の設定値が表示されます。
- 入力中の表示モードが青で反転表示され、調整を行うことができます。

② ◀▶ボタンを押して、ご希望の状態に調整し、決定ボタンを押します。

525pの高域位相調整	0～31
750pの高域位相調整	0～31
1125iの高域位相調整	0～31

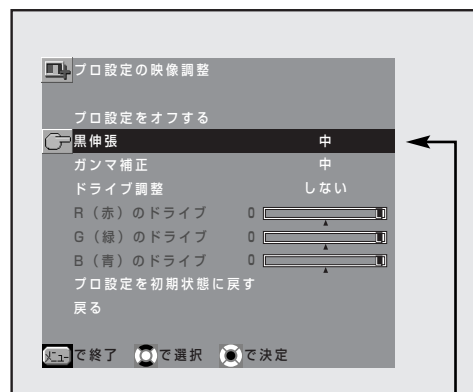
▲▼ボタンを押して「次の画面」を選び、決定ボタンを押すと、黒伸張、ガンマ補正、ドライブ調整ができる画面に変わります。

黒伸張/ガンマ補正

「黒伸張」は、映像の暗い部分の階調を調整する機能です。「ガンマ補正」は、映像の明るい部分と暗い部分のバランスを調整する機能です。

設定のしかた

①「プロ設定の映像調整」画面で、▲▼ボタンを押して「次の画面」を選び、決定ボタンを押します。
- 「プロ設定の映像調整（次画面）」の画面に切り換わり、現在の設定値が表示されます。

② ▲▼ボタンを押して「黒伸張」または「ガンマ補正」を選び、◀▶ボタンを押してご希望の状態に設定します。

黒伸張	オフ/弱/中/強
ガンマ補正	オフ/弱/中/強

プロ設定の映像調整（つづき）

映像の細部まで調整したい方のために、プロ設定の映像調整を設けています。

ドライブ調整

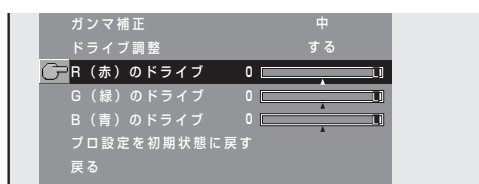
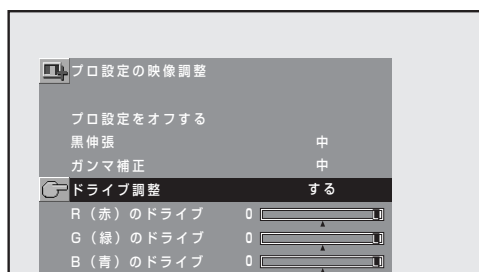
R（赤）、G（緑）、B（青）各色のドライブを調整することによって細かな色調の調整ができます。

調整のしかた

①「プロ設定の映像調整（次画面）」の画面で、▲▼ボタンを押して「ドライブ調整」を選び、◀▶ボタンを押して「する」にします。
- R（赤）、G（緑）、B（青）各色のドライブをを選べるようになります。

② ▲▼ボタンを押してR（赤）、G（緑）、B（青）各色のドライブを選び、決定ボタンを押します。
- 選んだ色のドライブを調整する画面に切り換わります。

③ ◀▶ボタンを押してご希望の状態に調整し、決定ボタンを押します。

操作②〜③を繰り返してR、G、B各色のドライブを調整します。

R（赤）のドライブ	−63〜0
G（緑）のドライブ	−63〜0
B（青）のドライブ	−63〜0

プロ設定の画質を呼び出す

プロ設定の映像調整を行うと、映像メニューに「プロ設定」が加わり、呼び出すことができるようになります。

押して、映像メニューの「プロ設定」を選ぶ

プロ設定

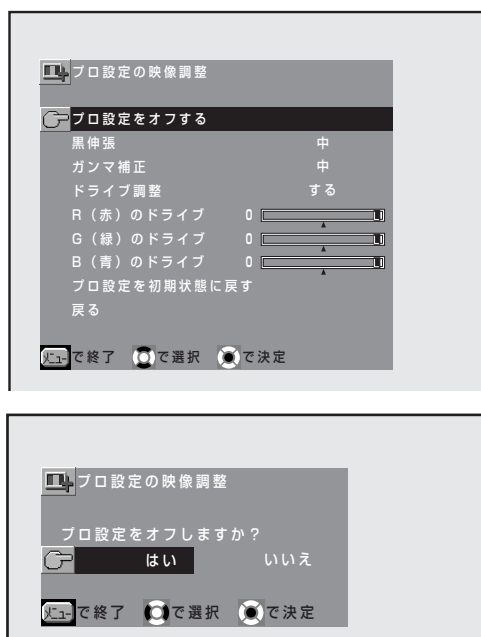
- 「プロ設定」で設定した画質が呼び出されます。

プロ設定のオフ

映像メニューボタンを押しても「プロ設定」モードを呼び出せないようにするときは、「プロ設定のオフ」を行います。オフした場合、「プロ設定」は呼び出せなくなりますが、プロ設定で調整した状態は保存され、次にプロ設定を行うときにその状態から設定を始められます。

オフのしかた

① 「プロ設定の映像調整（次画面)」の画面で、▲▼ボタンを押して「プロ設定をオフする」を選び、決定ボタンを押します。
- ●「プロ設定」をオフする画面に切り換わります。

② ◀ ▶ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押します。

「プロ設定」を呼び出せるように戻すとき

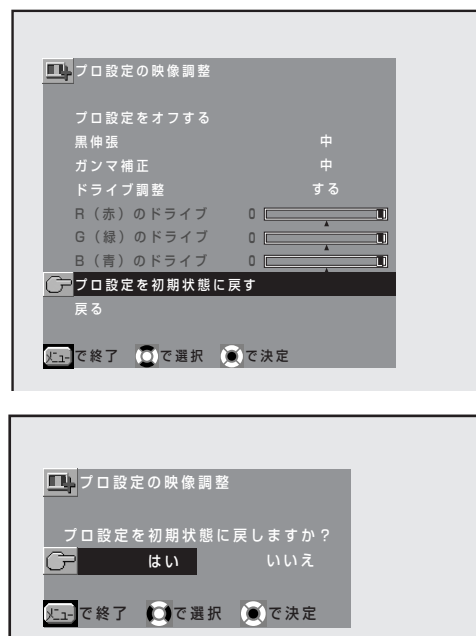
- ● 52ページの操作❶～❸を行い、「プロ設定の映像調整」画面を一度表示し、メニューボタンなどで画面を消すと「プロ設定」を呼び出せるようになります。「プロ設定」の画質は、以前にプロ設定で設定した画質です。
- ●「プロ設定の映像調整」画面を表示し、各項目の設定を行うと、以前にプロ設定で行った内容から設定を変えることができます。

設定を初期状態に戻す

「プロ設定」の設定状態を初期状態（映像メニュー「シネマ」と同じ状態）に戻すときは次のように行います。

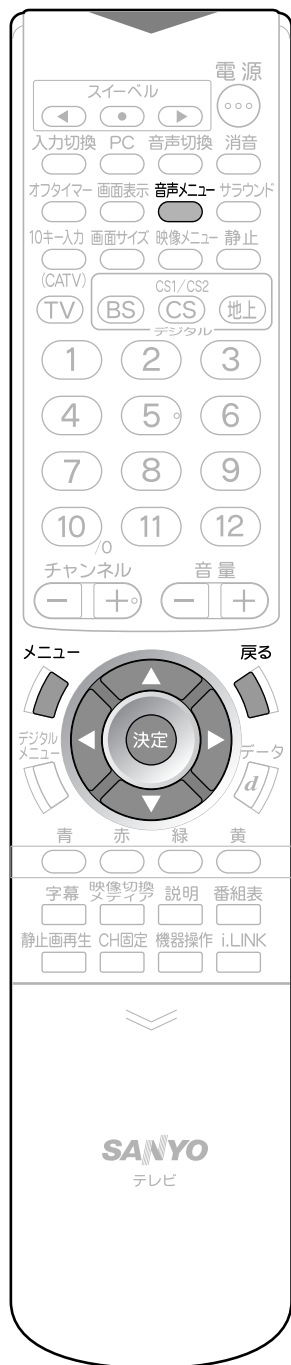
設定の戻しかた

① 「プロ設定の映像調整（次画面)」の画面で、▲▼ボタンを押して「プロ設定を初期状態に戻す」を選び、決定ボタンを押します。
- ●「プロ設定」を初期状態に戻す画面に切り換わります。

② ◀ ▶ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押します。

プロ設定に関するご注意

- ●「プロ設定」はPC画面では働きません。設定できませんし、「プロ設定」を呼び出すこともできませんのでご注意ください。
- ●映像メニューの「プロ設定」を選択しているときは、初期設定メニューの、「シネマオート」以外の機能は設定できなくなります。初期設定メニューを表示させたときは、「シネマオート」以外の項目が灰色で表示され、設定できません。
- ●各項目の設定を行わなくても「プロ設定の映像調整」画面に入っただけで、映像メニュー「プロ設定」が呼び出せるようになります。

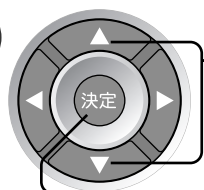
音声の調整

音声調整メニューでは高音、低音、バランスの調整のほか、自然でリアルな音にする
BBE機能のオン／オフができます。

音声調整のしかた

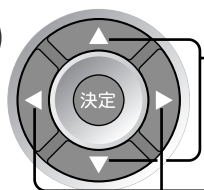
1

押す

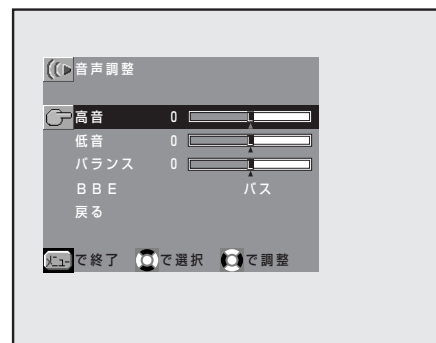
● メニューが表示されます。

2

押して、「音声調整」を選び、中央の決定ボタンを押す

● 音声調整メニューに切り換わり、現在の設定値が表示されます。

3

押して、調整する項目を選び、

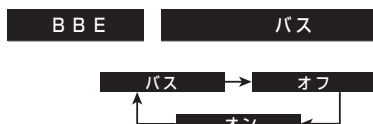
調整する

● 音の変化を聴きながら、数字と目印をめやすにご希望の状態に調整します。

4

調整を終えるときは
押す（操作終了）

● メニューが消えます。

音声調整のめやす

高音
ご希望にあわせて調整します。 （調整範囲：－32～32）
低音
ご希望にあわせて調整します。 （調整範囲：－32～32）
バランス
バランスが良くないときは調整します。 （調整範囲：－32～32）
BBE
ご希望に設定してお聴きください。

※目印表示と数字は、そのとき選んでいた音声メニューの音声状態を表します。「標準」でも目印が中央でない項目があります。

調整した音質を呼び出すには

押して、
「メモリー」にすると、
調整した音質が
呼び出される

- 調整した音声の状態が呼び出されます。

メモリーの内容について

音声メニューの「メモリー」モードに記憶される音声調整の内容は、テレビとビデオ1～4画面で同じ調整内容が記憶されます。PC画面で調整した内容は別に記憶されます。

BBE機能について

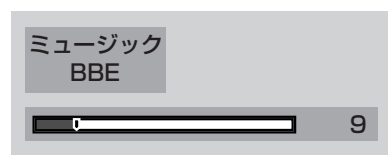
- 本機に内蔵されたBBE回路は、電気的に再生される音の波形を原音と同じ構成に戻し、減衰しやすい高音の成分を補うことで、人の声や楽器の音を自然に再生する機能です。BBEバスは低音を増強したモードです。

・この製品は BBE Sound,Inc. からの実施権に基づき製造されています。
・この製品は米国 BBE Sound, Inc. の所有する特許USP4638258,5510752及び5736897を使用しています。
・BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。

BBE®

- BBEの設定を「オン」または「バス」にしたときは、音声メニュー表示を出したときにBBEの表示が出るようになります。

（例）BBE：オンのとき

メニューで行う機能

ワイド画面の調整

画面調整メニューでは、画面からはみ出した部分を映したり、画面の帯を少なくしたりできます。

画面縦サイズ	画面の縦方向のサイズを調整できます。（調整範囲：−10～+10）
画面横サイズ	画面の横方向のサイズを調整できます。（調整範囲：−10～+10）
画面位置	画面を上下に移動させることができます。（調節範囲：−5～+5）

※字幕ズームのときの調整範囲は画面縦サイズ/横サイズともに−5～+5です。

メニュー

調整を終えるときは
押す（操作終了）
●メニューが消えます。

ご注意

- 選んでいる画面サイズによってできる調整とできない調整があります。できない調整はメニューが灰色で表示されます。
- 静止画再生画面（デジタルカメラなど）では画面調整ができません。各メニューが灰色で表示されます。

お知らせ

- 画面位置調整は、リモコンのカーソル▲▼ボタンによる画面上下と同じ働きをします。カーソル▲▼ボタンで画面上下したときは、画面位置の調整値が連動して変化します。

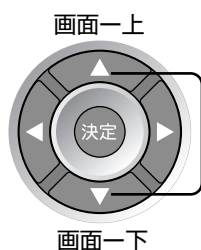
リモコンの画面上下ボタンで画面の位置を動かすには

画面の上下位置はリモコンのカーソル▲▼ボタンでも調整できます。ただし、リモコンのカーソル▲▼ボタンはデジタル放送やi.LINK機器のデジタル再生画面では働きません。これらの画面のときは画面調整メニューの「画面位置」で調整してください。

デジタル放送やi.LINK機器のデジタル再生画面のとき

左ページの「画面位置」で調整してください。

- これらの画面のときは、リモコンのカーソル▲▼ボタンでは画面上下できません。
- ハイビジョン放送など、もともと画面の比が16：9で送られてくる番組のときは画面上下できません。
- 静止画再生画面（デジタルカメラ）のときは画面上下できません。

地上アナログ放送やビデオ機器の再生画面のとき

押して、画面の位置を上または下へ動かせます

- 画面上下は画面調整メニューの「画面位置」と連動しています。
- カーソル▲▼ボタンは、「ノーマル」と「フル」画面のとき、デジタル放送のときは働きません。
  また画面にメニューなどを表示しているときはカーソル▲▼の働きになりますので画面上下はできません。

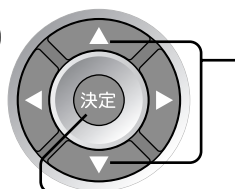
画面上下　+3

初期設定メニューの使いかた

初期設定メニューには次のような設定項目が用意されています。

- 明るさセンサー
- ダイナミックAI
- 節約モード
- 色温度
- 肌色補正
- シネマオート

初期設定のしかた

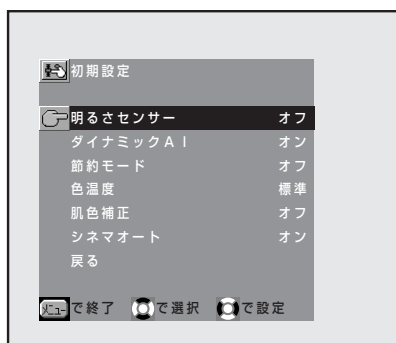
1 メニュー **押す**

- メニューが表示されます。

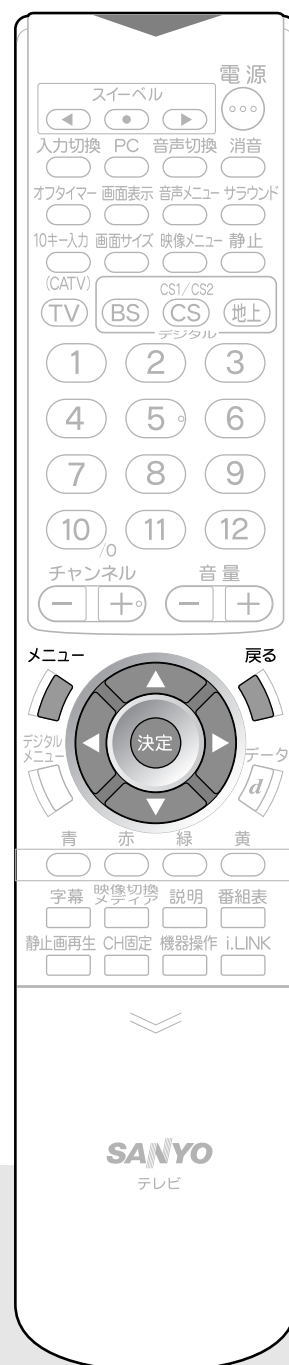
2 **押して、「初期設定」を選び、中央の決定ボタンを押す**

- 初期設定メニューに切り換わり、現在の設定状態が表示されます。

映像調整
音声調整
画面調整
初期設定
拡張機能設定
チャンネル設定
PCモードの設定
スクリーンセーバー
お知らせ
メニューで終了　で選択　で決定

3 **押して、設定する項目を選び、設定する**

初期設定	
明るさセンサー	オフ
ダイナミックＡＩ	オン
節約モード	オフ
色温度	標準
肌色補正	オフ
シネマオート	オン
戻る	
メニューで終了　で選択　で設定	

4 メニュー 設定を終えるときは **押す（操作終了）**

- メニューが消えます。

（お知らせ）

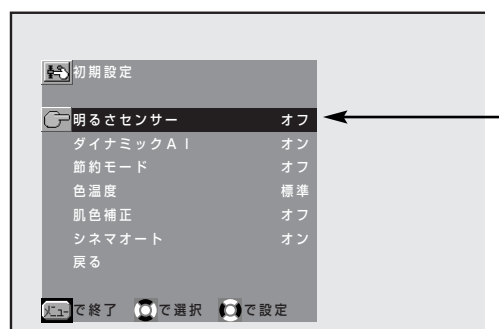
- プロ設定の映像調整を行い、映像メニューの「プロ設定」を選んでいるときは、初期設定メニューの「シネマオート」以外は灰色で表示され、選べなくなります。

明るさセンサー

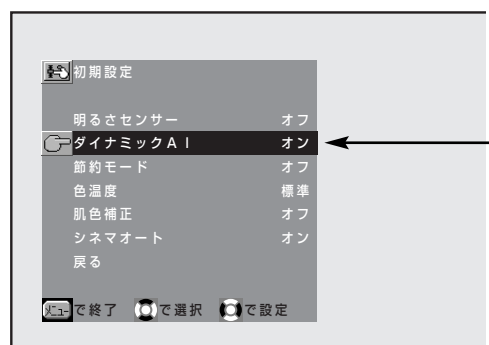
明るさセンサーのオン／オフを設定します。明るさセンサーは本体前面の明るさセンサーで周囲の明るさを検知し、それに応じて画質を自動で調整する機能です。

設定のしかた

押して、「明るさセンサー」を選び、

設定する

ダイナミックAI

ダイナミックAIのオン／オフを設定します。ダイナミックAIは映している映像に応じて画質を自動調整する機能です。例えば暗い映像では階調を細かに表現し、明るい映像ではメリハリのある映像に自動調整します。

設定のしかた

お知らせ

- PC画面で設定した「明るさセンサー」と「ダイナミックAI」は、その他の画面の設定状態とは別に記憶されます。

初期設定メニューの使いかた（つづき）

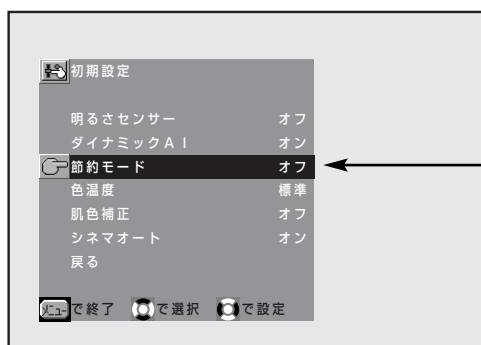
節約モード

消費電力を節約する2種類のモードを設定できます。

設定のしかた

押して、「節約モード」を選び、

設定する

しない	節約モードが働きません。
節約1	節約効果が強で暗めの映像
節約2	節約効果が弱で明るめの映像

こんなときは

- 節約1または節約2にすると消費電力が減ります。
- 画面の明るさは節約モード「しない」時に比べて暗くなります。
- 節約1、2のときは、電源を入れたとき、映像メニューを選んだときに「E」マークが表示され、節約モードが働いていることを知らせます。

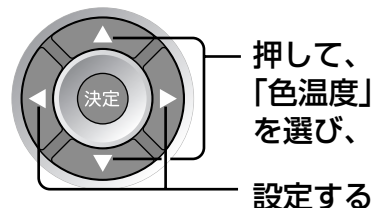
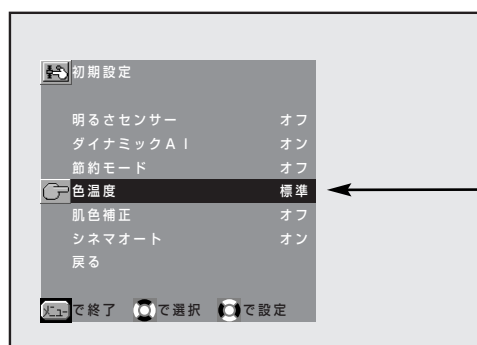
節約「E」マーク

色温度

「色温度」は、白の色調を調整します。
「高い」、「標準」、「低い」の3段階に調整できます。

設定のしかた

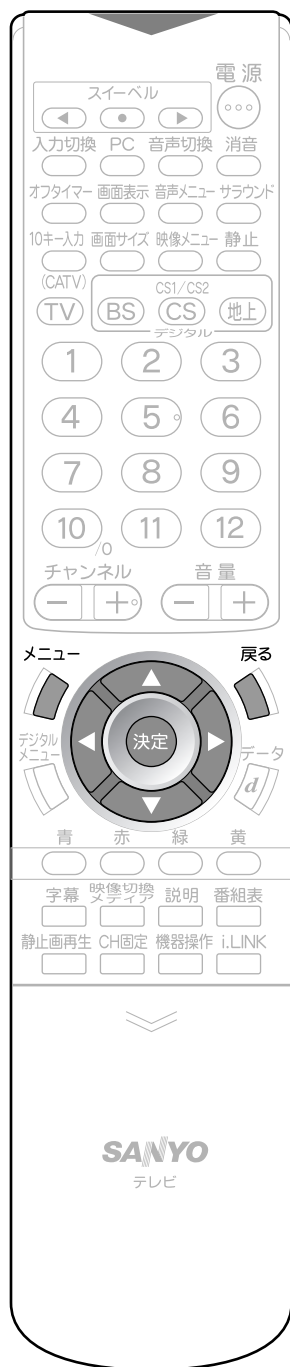
押して、「色温度」を選び、

設定する

- ◀ ▶ボタンを押すごとに「高い」、「標準」、「低い」の3段階が選べます。

標準	自然な白
低い	赤みがかった白
高い	青みがかった白

ご注意

- 映像メニューの「プロ設定」のときは、節約「E」マークは表示されません。

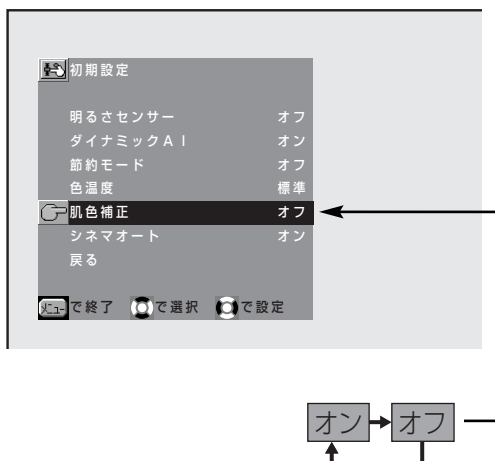
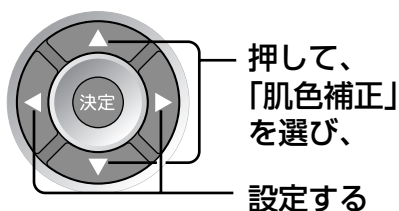
お知らせ

- PC画面で設定した色温度はその他の画面の色温度とは別に記憶されます。

肌色補正

黄色や赤味がかった肌色を、
自然な色に補正します。

設定のしかた

押して、
「肌色補正」
を選び、

設定する

ご注意

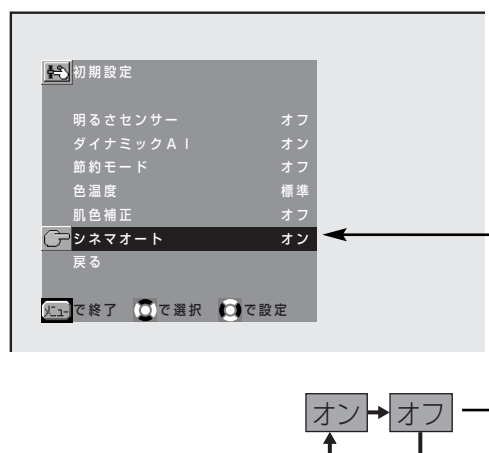
- 肌色補正は映像の中の肌色を基準の肌色と比較し、その差を自動的に補正する機能です。映像の中の肌色が基準の肌色に近い場合は「オン」にしても効果がわかりにくくなります。

シネマオート

シネマオート機能は映画のテレビ番組やビデオ再生を、より忠実に映し出す機能です。映画のフィルム映像は1秒間24コマで構成されています。これをテレビ番組やビデオの信号に変換する際、1秒間30コマに変換します。（これをテレシネ変換といいいます）シネマオート機能は映像信号からテレシネ変換を自動的に検出し、フィルム映像に忠実なプログレッシブ映像を映し出す機能です。

設定のしかた

押して、
「シネマオート」
を選び、

設定する

オフでご覧になるときは

- 万一、シネマオートがオンの状態で映像が不自然に映る場合は、オフに設定してご覧ください。

お知らせ

- PC画面で設定した肌色補正はその他の画面の設定状態とは別に記憶されます。
- シネマオート機能はPC画面では働きません。

拡張機能設定メニューの使いかた

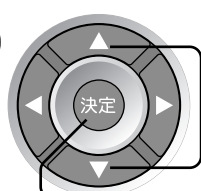
拡張機能設定メニューには次のような設定項目が用意されています。

- 放送終了オフ
- 無操作オフ
- ビデオ入力スタート
- ビデオ入力スキップ
- メニュー表示文字サイズ
- スイーベル機能
- リセット

1

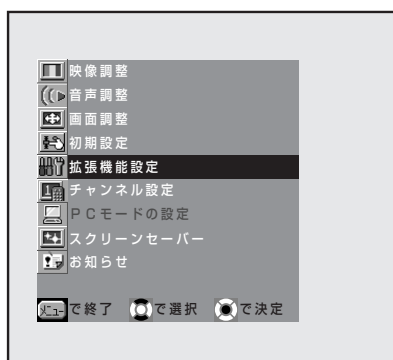
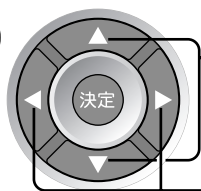
押す

- メニューが表示されます。

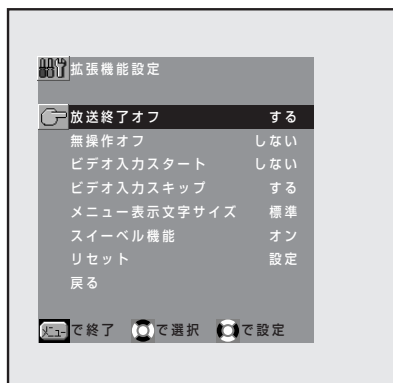
2

押して、「拡張機能設定」を選び、

中央の決定ボタンを押す

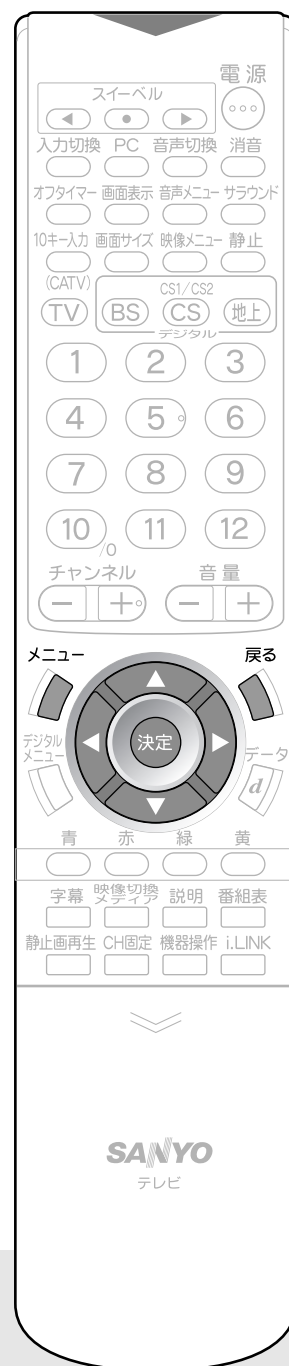
- 拡張機能設定メニューに切り換わり、現在の設定状態が表示されます。

3

押して、設定する項目を選び、

設定する

4

設定を終えるときは

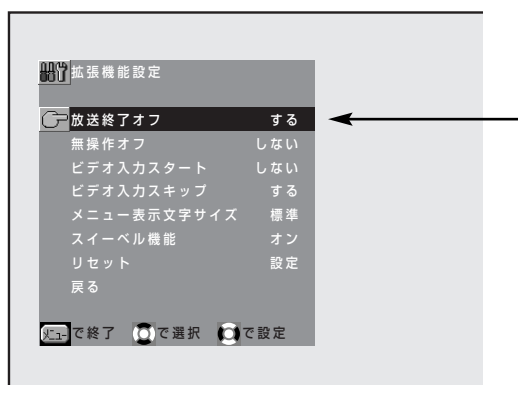
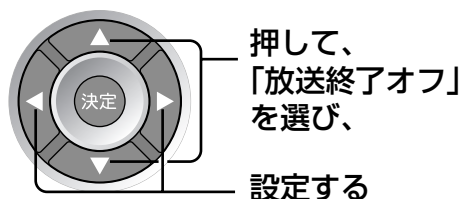
押す（操作終了）

- メニューが消えます。

放送終了オフ

放送終了オフ機能は、深夜などに地上アナログ放送が終了すると約15分後に自動で電源が切れる機能です。お買い上げ時は「する（機能が働く）」に設定されています。

設定のしかた

押して、「放送終了オフ」を選び、

設定する

する	放送終了オフ機能が働きます。
しない	放送終了オフ機能が働きません。

電源が切れる前に

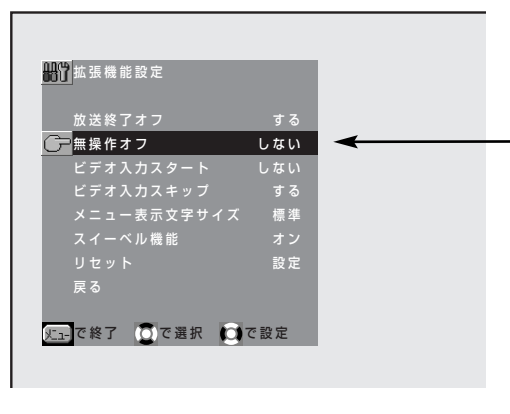
放送終了オフ機能が働き自動で電源が切れる前に約10秒間「放送終了オフ」と表示されます。

無操作オフ

無操作オフ機能は、リモコンやテレビ本体のボタン操作が3時間行われないときに自動で電源を切る機能です。お買い上げ時は「しない」に設定されています。

設定のしかた

押して、「無操作オフ」を選び、

設定する

する	無操作オフ機能が働きます。
しない	無操作オフ機能が働きません。

電源が切れる前に

無操作オフ機能が働き自動で電源が切れる前に約1分間「無操作オフ：もうすぐ電源が切れます」と表示されます。電源が切れる前にリモコンやテレビ本体のボタンを押すと続けて見られます。

ご注意

- 放送終了オフは本機で受信している地上アナログ放送以外の画面では働きません。またアンテナの状態や他チャンネルの影響によって電源が切れない場合があります。

ご注意

- PC画面を映しているときは無操作オフ機能は働きません。

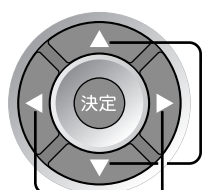
お願い

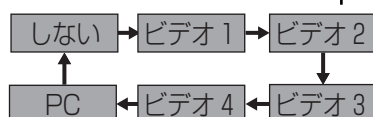
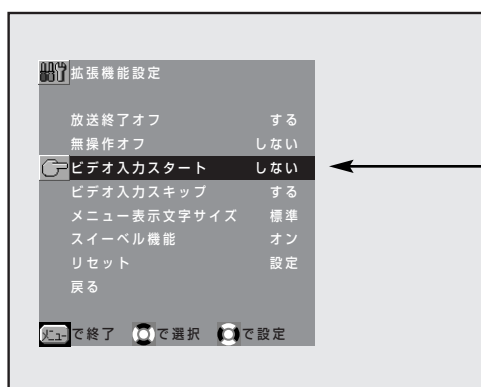
- 外出するときや長期間テレビを使用しないときは、安全と節電のため、必ずお客さまの操作によって電源をお切りください。

拡張機能設定メニューの使いかた（つづき）

ビデオ入力スタート

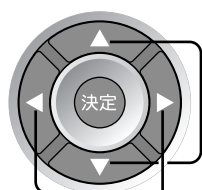
「ビデオ入力スタート」は本機の電源を入れたときに映る画面を指定する機能です。本機をビデオ機器やパソコンのモニターとして使うときに便利です。お買い上げ時は「しない（電源を切る前に映していた画面を映す）」に設定されています。

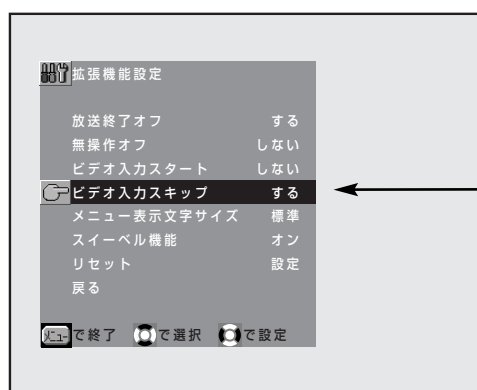
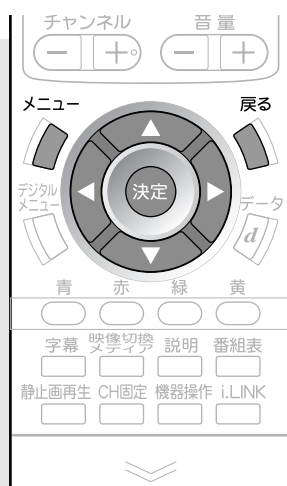
設定のしかた

押して、「ビデオ入力スタート」を選び、

設定する

- 本機をつけたときは、消す前に見ていた画面に関係なく、設定したスタート画面が映るようになります。

ビデオ入力スキップ

「ビデオ入力スキップ」は、リモコンの入力切換ボタンやテレビ本体の放送／入力切換ボタンで入力画面を切り換えるとき、ビデオ1～4入力で接続がない入力をスキップ（飛び越す）機能です。お買い上げ時はビデオ入力スキップ「する」に設定されていますので接続のない入力は飛び越します。

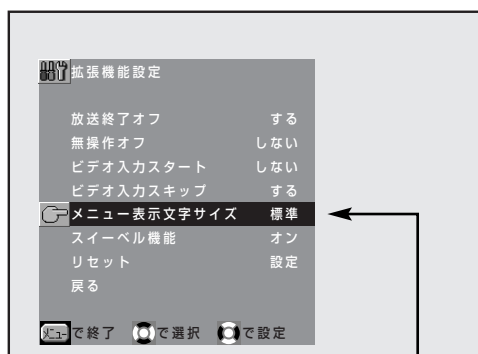
設定のしかた

押して、「ビデオ入力スキップ」を選び、

設定する

する	接続がない入力をスキップします。
しない	接続がなくてもスキップしません。

メニュー表示文字サイズ

「メニュー表示文字サイズ」は、画面に表示されるメニューの大きさを切り換える機能です。お買い上げ時は「標準」に設定されています。

設定のしかた

押して、「メニュー表示文字サイズ」を選び、

設定する

標準	お買い上げ時の大きさ
大文字	拡大モードで表示

ご注意

デジタル放送画面で設定や操作を行う「デジタルメニュー」のサイズを切り換えることはできません。

スイーベル機能

本機のスタンドに搭載されている電動スイーベル（首振り）機能を働かないように設定できます。お買い上げ時は「オン(電動スイーベルが働く)」に設定されています。

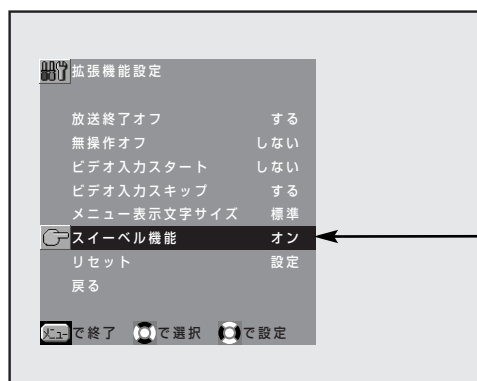
設定のしかた

押して、「スイーベル機能」を選び、

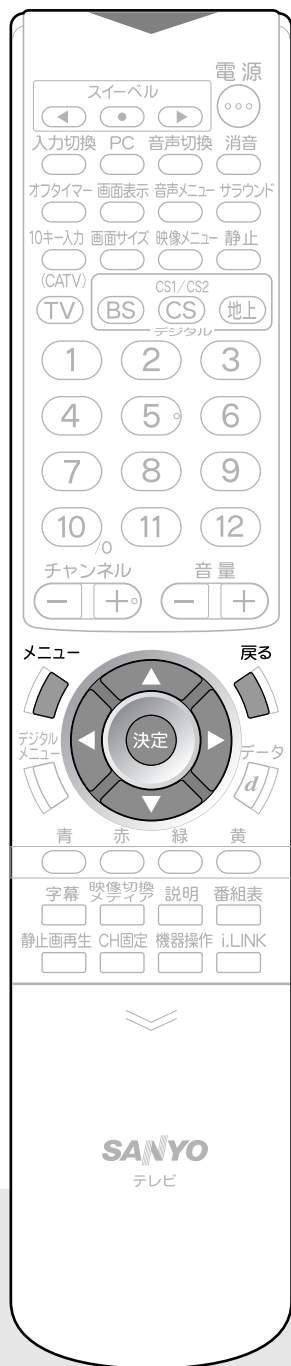
設定する

オン	電動スイーベルが働く
オフ	電動スイーベルが働かない

お知らせ

- メニュー表示文字サイズを「大文字」に設定した場合は、地上アナログ放送のチャンネル表示や、ビデオ入力画面の表示も拡大されます。

お知らせ

- 「オフ」に設定したときは、リモコンのスイーベルボタンを押しても電動スイーベルが働かなくなります。

拡張機能設定メニューの使いかた（つづき）

リセット

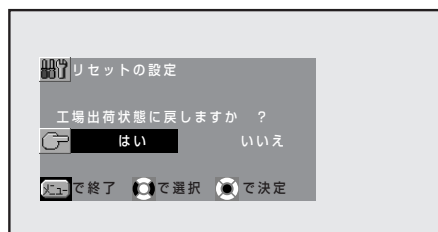
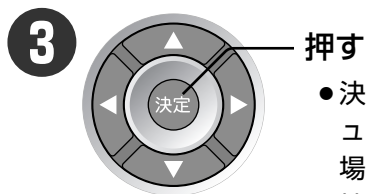
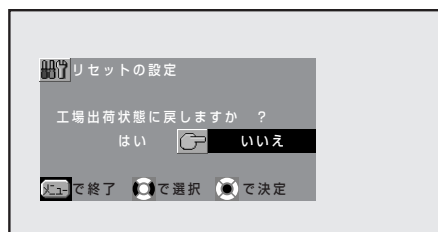
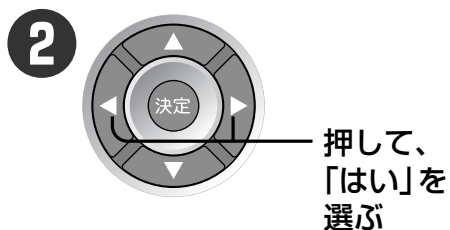
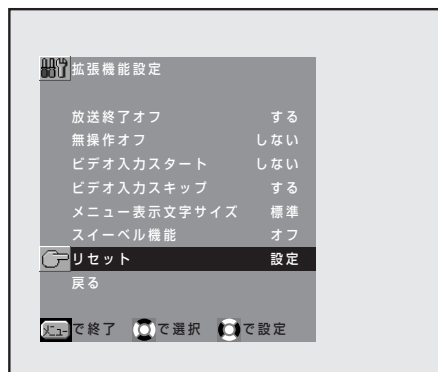
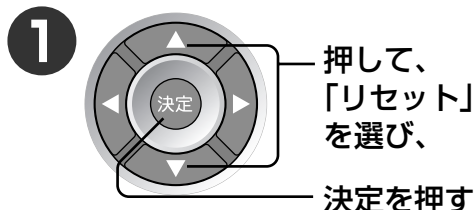
「リセット」はお買い上げ後にメニュー操作（デジタルメニューは除く）で行った調整や設定を取り消して工場出荷時の状態に戻す設定です。

リセットのしかた

1
押して、「リセット」を選び、

決定を押す

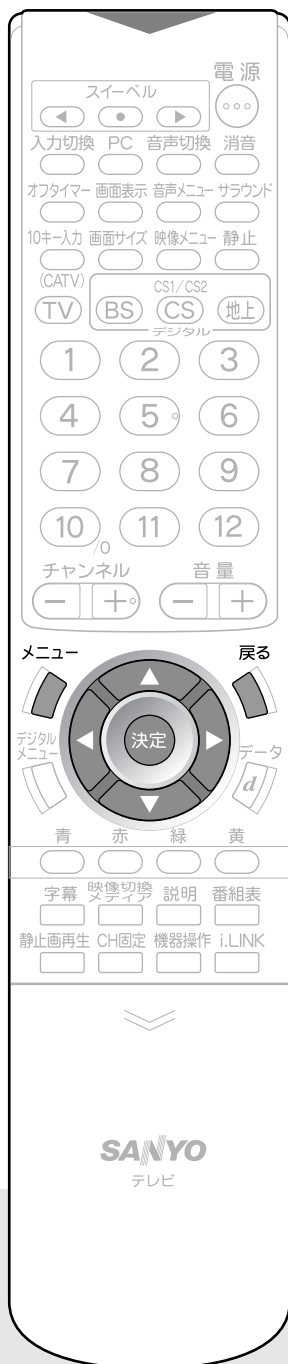
2
押して、「はい」を選ぶ

3
押す

- 決定ボタンを押すと、リセットが実行され、メニュー操作で行ったすべての設定がお買い上げ時(工場出荷時)の状態に戻ります。リセット表示は消え、地上アナログ放送1チャンネルの画面が映ります。

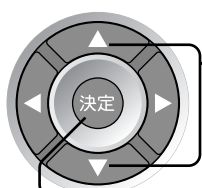
ご注意

- 上記の「リセット」を実行しますと、お買い上げ後にメニュー操作で設定したチャンネル設定や映像調整、PCモードの設定などのすべてが取り消され、工場出荷時の状態に戻ります。そのためこれまで映すことができたチャンネルやパソコン画像が映らなくなったりする場合がありますのでご注意ください。
- 上記の「リセット」ではデジタル放送のデジタルメニューで行った設定はリセットされません。これらの設定をリセットをするときは、デジタルメニュー「設定の初期化」の各種初期化を行ってください。☞290ページ

スクリーンセーバーの使いかた

液晶ディスプレイパネルの特性として、一定時間同じ画面を表示し続けますと、部分的に前に映していた画像が残る「残像（焼き付き）」が発生します。焼き付きの発生を低減するため、本機にはスクリーンセーバー機能が搭載されています。スクリーンセーバー機能には、ノーマル画面に表示される画面左右の帯（サイドバー）の明るさを設定する「サイドバー」、画像の表示位置を自動的に変える「表示位置移動」、一定時間画面全体を白く表示する「白パターン表示」があります。

スクリーンセーバー設定のしかた

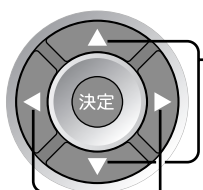
1 押す

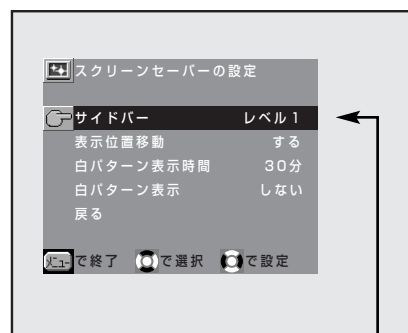
- メニューが表示されます。

2 押して、「スクリーンセーバー」を選び、中央の決定ボタンを押す

- スクリーンセーバーメニューに切り換わり、現在の設定状態が表示されます。

サイドバー

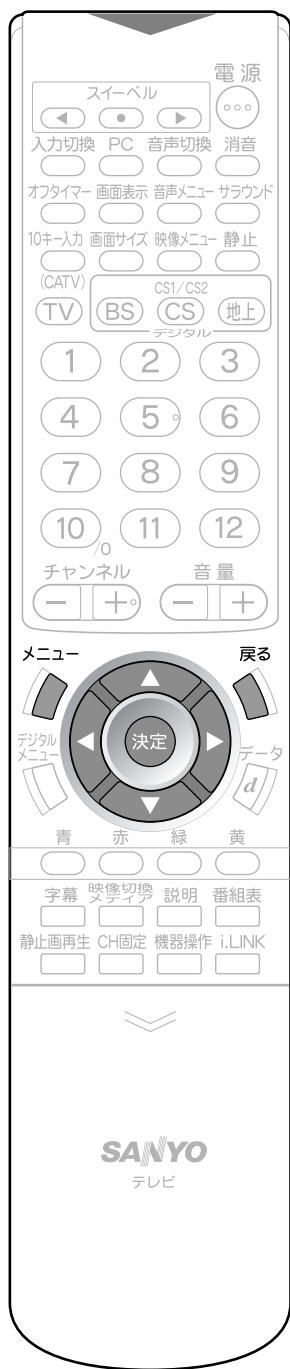
画面サイズ「ノーマル」のときに画面の左右に現れるバーの明るさを設定します。より明るい方が焼き付きの低減には有効です。

設定のしかた

押して、「サイドバー」を選び、

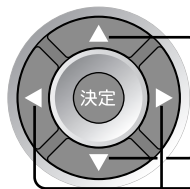
「レベル1」または「レベル2」を選ぶ

レベル1	明るい灰色
レベル2	暗い灰色

お知らせ

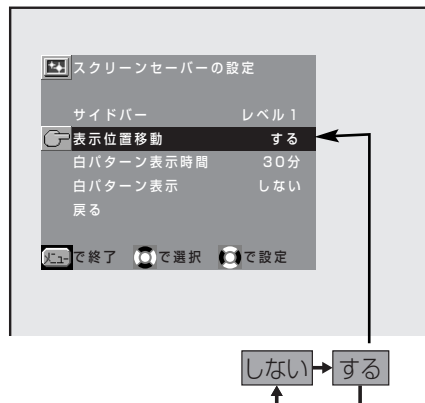
- 灰色に表示されるのは画面サイズ「ノーマル」時に表示される左右の無画部分だけです。映画のビデオソフトなどに入っている上下の黒い帯や、デジタル放送の4：3画面に入る左右の帯など、映像や放送自体に入っている無画部分は黒または元の色のまま表示されます。

スクリーンセーバーの使いかた（つづき）

表示位置移動

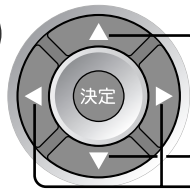
画像の表示位置を一定時間ごとに移動させ、残像（焼き付き）を低減する設定です。

設定のしかた

押して、「表示位置移動」を選び、

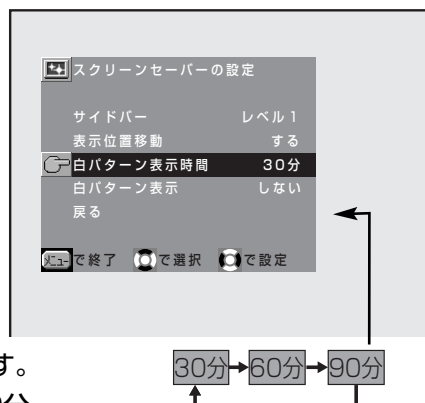
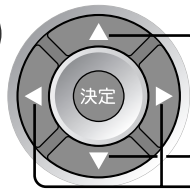
「する」を選ぶ

●「する」を選ぶと、一定時間ごとに画像が上下に移動するようになります。

白パターン表示

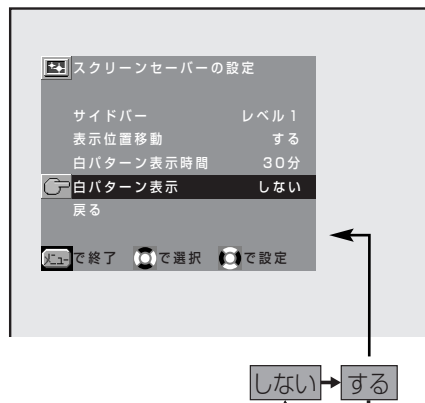
指定した時間の間、画面全体を白く表示する設定です。残像が発生した場合に、残像を早く目立たなくする効果があります。

設定のしかた

押して、「白パターン表示時間」を選び、

「時間」を選ぶ

●白パターンを表示し続ける時間を選びます。
白パターン表示時間：30分、60分、90分

2

押して、「白パターン表示」を選び、

「する」を選ぶ

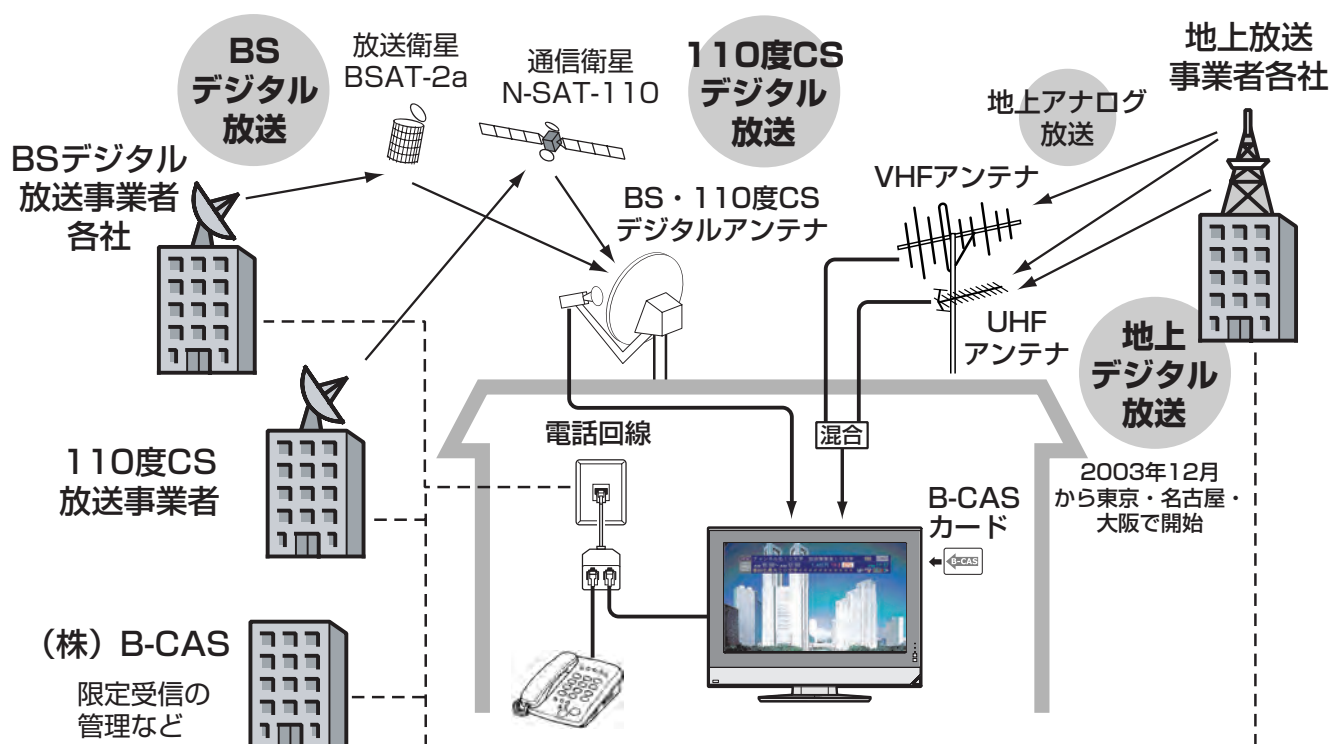
●画面全体が白で表示されます。（白パターン表示）
●音声以外の操作を行ったときは、白パターンを解除し、通常の映像に戻ります。
●白パターン表示中、音声に関する操作は受け付けます（音量－／＋、消音、音声切換、サラウンド、音声メニュー）。

デジタル放送を楽しむ

すでに放送が開始され普及が進んでいるBSデジタル放送や110度CSデジタル放送に加え、地上デジタル放送が東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿 3大広域圏の一部で2003年12月から、その他の地域では2006年末までに開始される予定です。この章ではこれらデジタル放送の多彩な放送サービスを楽しむ方法を説明します。

設置や接続、設定などの準備がまだの場合は、☞195ページからの「準備と設定」をご覧ください。

デジタル放送の受信について

デジタル放送の受信イメージ

本機は、地上・BS・110度CSデジタルチューナーを搭載しています。BSデジタル放送、110度CSデジタル放送はもちろん、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿 3大広域圏の一部で2003年12月から、その他の地域では2006年末までに放送が開始される予定の地上デジタル放送を受信できます。

	BSデジタル放送	110度CSデジタル放送	地上デジタル放送
放送開始時期	2000年12月開始	2002年4月開始	東京・名古屋・大阪で2003年12月から、その他の地域は2006年末までに開始予定
アンテナ	BS・110度CSデジタルアンテナ		UHFアンテナ
B-CASカードの挿入	必　要		
電話回線との接続	必　要		
放送サービスの種類	テレビ放送、ラジオ放送、データ放送		テレビ放送、データ放送
放送の内容ほか	NHK（BS1、BS2、BSh）、民放5局が放送。WOWOW、スター・チャンネルが有料で放送（PPV含む。受信契約が必要）。ラジオ放送やデータ放送専門チャンネルもあり。	無料放送もあるが、多くのチャンネルから希望するチャンネルを選んで契約する有料放送が基本。番組はSD（標準画質）放送が主体。	各地域で開局される予定の地上デジタル局から放送される。受信はまず、お住まいの地域で受信可能な地上デジタル放送局をスキャンし、チャンネルに取り込んでから行う。

各デジタル放送の特長

BSデジタル放送

2000年12月から放送が開始された放送衛星（BS）を使ったデジタル放送です。ハイビジョン放送をはじめ、（デジタル）ラジオ放送やデータ放送など多様なサービスが行われ普及が進んでいます。NHKと民間放送5局が放送しており、WOWOW、スター・チャンネルは有料放送を行っています。

110度CSデジタル放送

BSデジタル放送の衛星と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS)、N-SAT-110を利用して行われるデジタル放送です。2002年春に放送が開始されました。衛星の位置や電波の偏波方式がBSデジタル放送と同じなことから、BS・110度CSデジタルアンテナ１本でBSデジタル放送と110度CSデジタル放送両方の受信が可能です。無料のチャンネルもありますが、希望のチャンネルを選んで契約する有料放送が主体です。

地上デジタル放送

東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿 3大広域圏の一部で2003年12月から、その他の地域は2006年末までに放送が開始される予定です。国の方針である地上放送のデジタル化に沿って推進されています。地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送ですでに使用しているUHF帯の電波を使って放送されます。このため地域によっては事前に現在のチャンネルを別のチャンネルに変更する「アナログ周波数変更（アナアナ変更)」が行われます。また、地上デジタル放送では地域によって放送開始時期や受信チャンネルが異なるため、初めて受信するときはお住まいの地域で放送されているチャンネルをスキャンし、各チャンネルボタンに設定する操作が必要となります。

デジタル放送とB-CASカード

2004年4月以後は、B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が映りません。
B-CASカードを本機に必ず挿入してご使用ください。

コピー制御信号について

2004年4月から、BS/地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されます。そのコピー制御信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

録画について

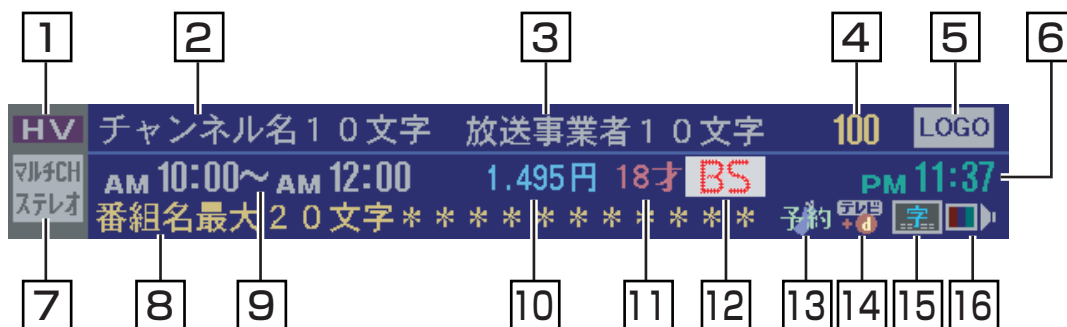
2004年4月以後、デジタル放送には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。　デジタル録画機器を使ってこの信号とともに録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングができません*。詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどでご確認ください。VHSビデオデッキなどのアナログ録画機器での録画はこれまで通りです。＊一部のデジタル録画機器では、アナログ機器へのダビングもできないことがあります。

デジタル放送の操作について

デジタル放送には高画質・高音質の特長に加え、データ放送や電子番組ガイドなど「使うテレビ」としての機能や、緊急放送、臨時放送、字幕サービスなどきめ細かい放送サービスに対応した機能が用意されています。デジタル放送の規格は、これらの機能を共用の受信機で受信することを想定してまとめられていますので、BS、110度CS、地上の各デジタル放送の各機能は、ほぼ同じ方法で操作できるようになっています。

デジタル放送の受信について（つづき）

デジタル放送の画面表示

デジタル放送を選局したときや受信中に画面表示ボタンを押したときは、画面に下のような表示が現れます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が盛り込まれています。

1 放送の種類

HV ハイビジョン放送
SD 標準放送（SDTV）

2 チャンネル名（10文字）

チャンネルの名称を表示します。

3 放送事業者名（10文字）

放送事業者の名称を表示します。

4 チャンネル番号

5 チャンネルのロゴマーク

6 時刻

現在の時刻を表示します。

7 音声の種類

番組の音声を表示します。
（例）

ステレオ　マルチCH ステレオ ← 5.1 サラウンド
モノラル
JPN　ENG　JPN+ENG
主　副

8 番組名（最大20文字）

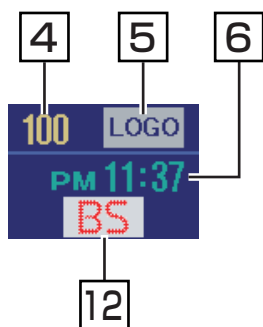
番組の名称を表示します。

番組名の前に表示されることがある記号の意味

（例）

- デ 番組連動データ放送
- 二 2カ国語放送
- 字 字幕放送
- B 圧縮Bモードステレオ音声
- SS サラウンドステレオ音声
- 多 音声多重放送
- 再 再放送
- S ステレオ放送
- 双 双方向データ放送
- 解 音声解説
- 映 劇映画
- PPV ペイパービュー
- 無 無料放送
- 吹 吹き替え
- W ワイド放送
- MV マルチビューテレビ放送

... など

・記号は放送側で付けられています。
・上記以外の記号もあります。

画面表示ボタンを押すと表示を確認することができます。押すと、バナー表示が5秒間出た後、左のように小さな表示に変わり、1分間表示した後、消えます。

表示の出しかたは「チャンネル表示設定」で切り換えることができます。 ☞118ページ

9 放送時間

番組の放送時間を表示します。

10 有料番組の料金

番組が有料（PPV）のときは料金を表示します。

11 視聴年齢

番組に視聴年齢制限があるときは年齢を表示します。

12 デジタル放送のロゴマーク

 例. BSデジタル放送

 例. 地上デジタル放送

13 予約状況

予約した番組のときに表示します。

14 番組の種類など

テレビ放送　ラジオ放送　独立型データ放送

番組内容と関連しないデータ放送あり

番組内容と関連したデータ放送あり

15 字幕

番組に字幕サービスがあるときに明るく表示します。

16 信号選択

複数の映像や音声が送られているときに明るく表示します。

お知らせ

- 表示の内容は放送局や番組によって異なる場合があります。
- これらの表示は番組の内容によってそれぞれが表示されます。一度には表示されません。

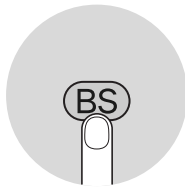
BSデジタル放送を見る

プリセット選局

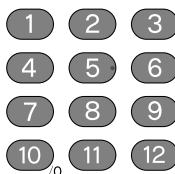
本機では、あらかじめチャンネルボタンにBSデジタル放送のチャンネルを設定（プリセット）しています。直接チャンネル1～12ボタンを押すと、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

1

押して、
テレビをつける

2

押して、
BSデジタル放送
に切り換える

3

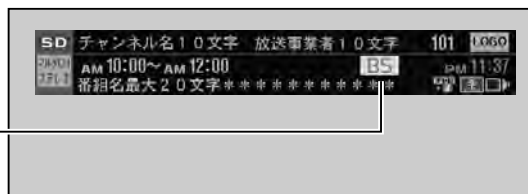
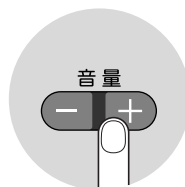
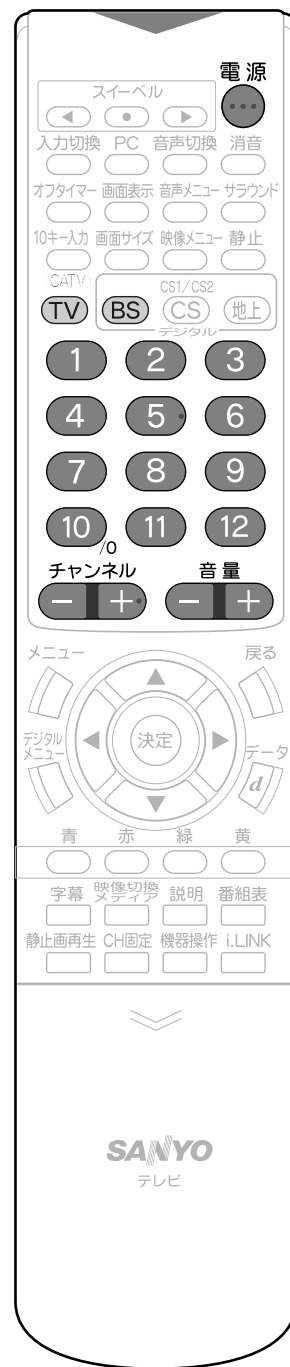
押して、
チャンネルを選ぶ

選んだ番組によって、
以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき（98ページ）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（100ページ）

ＢＳ
デジタル

4

押して、
お好みの音量にする

5

地上アナログ放送画面に戻るときに押します

※
図で濃く表示しているのが操作に使うボタンです。

お知らせ

- プリセットされているチャンネルは変更ができます。（117ページ参照）

−/＋で選局（アップダウン選局）

BSデジタル放送受信中にチャンネル−／＋ボタンを押すとBSデジタル放送のチャンネル（ラジオ放送や独立型データ放送も含む）を順に選局します。

工場出荷時のプリセット設定（放送局名は実際の表示と異なる場合があります。）

BSデジタル放送		
1	101チャンネル	NHK1（NHK BS1）
2	102チャンネル	NHK2（NHK BS2）
3	103チャンネル	NHKh（NHK ハイビジョン）
4	141チャンネル	BS日テレ
5	151チャンネル	BS朝日
6	161チャンネル	BS-i
7	171チャンネル	BSJ（BSジャパン）
8	181チャンネル	BSフジ
9	191チャンネル	WOW（WOWOW）
10/0	200チャンネル	スター（スター・チャンネル）
11	——	——
12	——	——

● プリセットされていないボタンを押したときは「このキーには、プリセットの設定がされていません。」と表示され、チャンネルは変わりません。

110度CSデジタル放送を見る

プリセット選局

本機では、あらかじめチャンネルボタンに110度CSデジタル放送のチャンネルを設定(プリセット)しています。直接チャンネル1～12ボタンを押すと、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

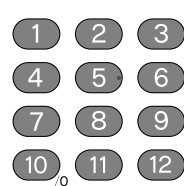
1

押して、テレビをつける

2

押して、ご希望の110度CSデジタル放送に切り換える

押すごとに、CS1 /CS2に切り換わります。

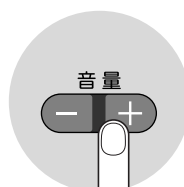
3

押して、チャンネルを選ぶ

選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

- 有料番組を選んだとき(98ページ)
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき(100ページ)

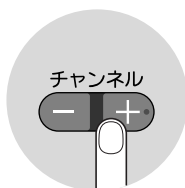
4

押して、お好みの音量にする

5

地上アナログ放送画面に戻るときに押します

お知らせ

- プリセットされているチャンネルは変更ができます。(117ページ参照)

ー/＋で選局（アップダウン選局）

110度CSデジタル放送受信中にチャンネルー／＋ボタンを押すと110度CSデジタル放送のチャンネル（音声放送や独立型データ放送も含む）を順に選局します。
（CS1のときはCS1、CS2はCS2だけで順送りします。）

工場出荷時のプリセット設定（放送局名は実際の表示と異なる場合があります。）

CS1デジタル放送		
1	001チャンネル	プロモCH
2	999チャンネル	生活スタイルTV
3	963チャンネル	ハローTivi！
4	011チャンネル	CS日本
5	055チャンネル	ep055チャンネル
6	900チャンネル	おー当たりch
7	700チャンネル	Sound Terior
8		
9	090チャンネル	
10		
11		
12		

CS2デジタル放送		
1	100チャンネル	プロモCH
2	110チャンネル	ワンテンポータル
3	123チャンネル	CS映画
4	128チャンネル	
5	250チャンネル	アクティブ！スポーツ
6	160チャンネル	C-TBSウェルカム
7	170チャンネル	
8	182チャンネル	フジテレビ739
9	194チャンネル	AQステーション
10	190チャンネル	宝塚プロモチャンネル
11	135チャンネル	
12		

- プリセットされていないボタンを押したときは「このキーには、プリセットの設定がされていません。」と表示され、チャンネルは変わりません。

※110度CSデジタル放送は「プラットワン」と「スカパー！2」で行われていましたが、2004年3月から「スカパー！110」にサービスが統合されています。統合後のサービス内容についてはスカパー！110カスタマーセンターへお問い合わせください。また放送のロゴマーク等は変わる場合があります。

110度CSデジタル放送について

通信衛星（Communication Satellite）を使って行う放送で、ニュース・映画・スポーツ・音楽などの専門チャンネルをメインにした放送です。

＜お問い合わせ先＞

スカパー！110 カスタマーセンター

0570−012−110
（または、045−339−0002）
受付時間　10：00〜20：00（年中無休）

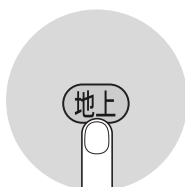
スカパー！110 公式ホームページ

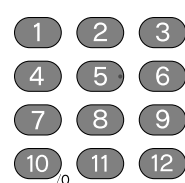
http://www.skyperfectv110.jp/

地上デジタル放送を見る

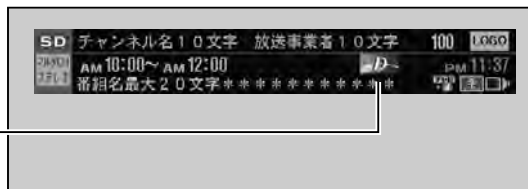
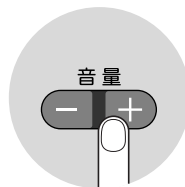
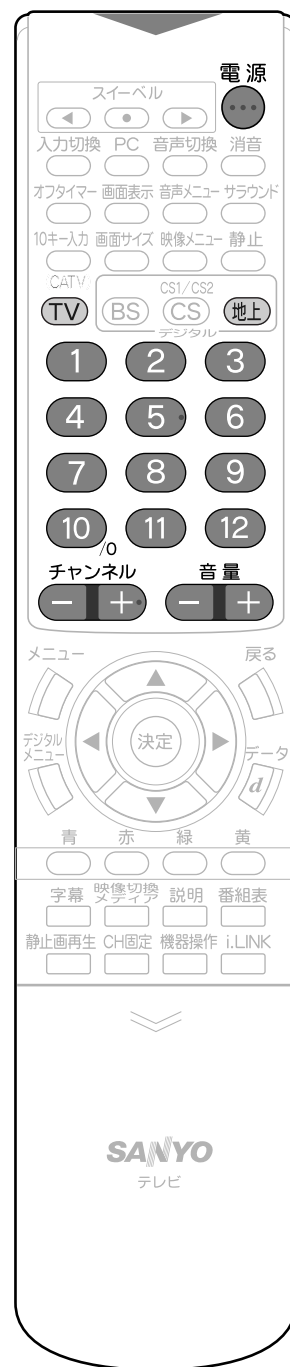
プリセット選局

地上デジタル放送では、地域によって割り当てられるチャンネルが異なるため、お買い上げ時はチャンネルが設定されていません。初めて地上デジタル放送をご覧になるときは、お住まいの地域のチャンネルをスキャンし、設定（プリセット）してから下記の手順で選局してください。（☞250ページ）

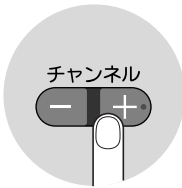
1 押して、テレビをつける

2 押して、地上デジタル放送に切り換える

※初期スキャンがまだでチャンネル設定されていない場合は、右ページのような表示が現れます。

3 押して、チャンネルを選ぶ

- 押したボタンに設定されたチャンネルが選局されます。
- 各ボタンに設定されるチャンネルは、地域によって異なります。

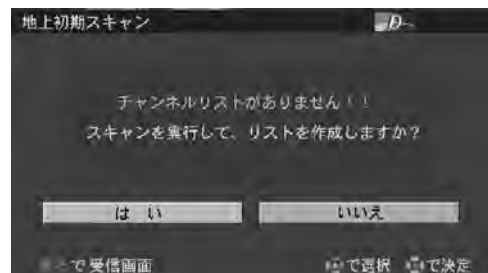
地上デジタル

4 押して、お好みの音量にする

5 地上アナログ放送画面に戻るときに押します

お知らせ

- プリセットしたチャンネルは変更ができます。（☞260ページ参照）

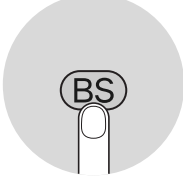
ー/＋で選局（アップダウン選局）

地上デジタル放送受信中にチャンネルー／＋ボタンを押すと地上デジタル放送のチャンネルを順に選局します。

チャンネル設定が行われていないときは

お買い上げ時はチャンネルが設定されていないので「地上」ボタンを押すと下のような画面が表示されます。（「居住地域設定」が設定されていない場合は、「居住地域が設定されていません…」と表示されます。まず「居住地域設定」を行ってください）

250ページ～「地上デジタル放送のチャンネル設定」にしたがってチャンネルを設定してください。

ご注意

地上デジタル放送は、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の3大広域圏の一部で2003年12月から、その他の地域では2006年末までに放送が開始される予定です。チャンネルを設定する前に、お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているかお確かめください。地上デジタル放送の電波が受信できない状態ではチャンネル設定できません。

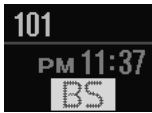
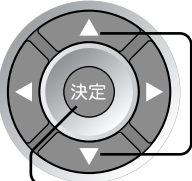
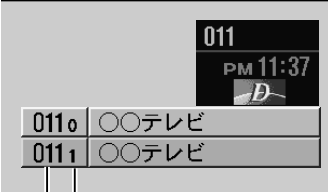
- プリセットされていないボタンを押したときは「このキーには、プリセットの設定がされていません。」と表示され、チャンネルは変わりません。

10キー入力で選局する

デジタル放送ではチャンネル番号を入力して10（テン）キー選局できます。

10キー入力で選局するとき

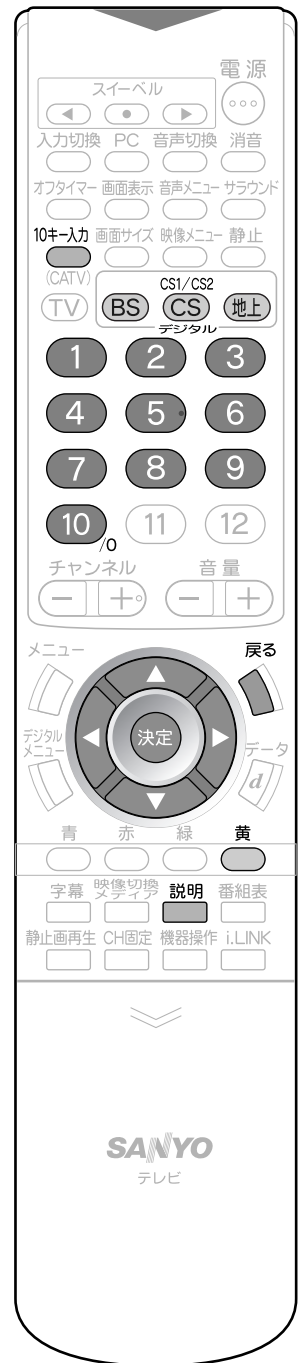
選局したいチャンネル番号があらかじめわかっている場合、3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

例 BSデジタルチャンネル番号101を選局する場合

1. BS 押して、希望のデジタル放送に切り換える
   - 例ではBSボタンを押します。
2. 10キー入力 押す
   チャンネル番号を入力する表示が画面に現れます。
3. 見たいチャンネルの番号を順に押して入力する
   1 → 約4秒以内に押す → 10 → 約4秒以内に押す → 1

地上デジタル放送でチャンネルが重複するとき

地上デジタル放送で域内/域外・両方のチャンネルが受信できる場合など、同じ3桁の番号でチャンネルが重複しているときは、「チャンネルが重複しています。どちらかを選択してください。」とメッセージが出て、下のようにどれかを選ぶ表示が現れます。▲▼ボタンで選び、決定ボタンを押すと選局します。

お知らせ

- チャンネル番号を正しく入力しなかったときや、約4秒以内につづきの番号を押さなかったときは、選局動作をしません。
- 110度CSデジタル放送画面では、CS1とCS2のどちらのチャンネルでも、ネットワークをまたいで10キー選局できます。

詳しい番組情報を見る

デジタル放送では、番組の内容など、より詳しい情報を文字で画面に表示することができます。

説　明 ...番組の詳しい情報を文字で表示します

デジタル放送画面で「説明」ボタンを押すと、詳しい番組情報を文字で画面に表示することができます。

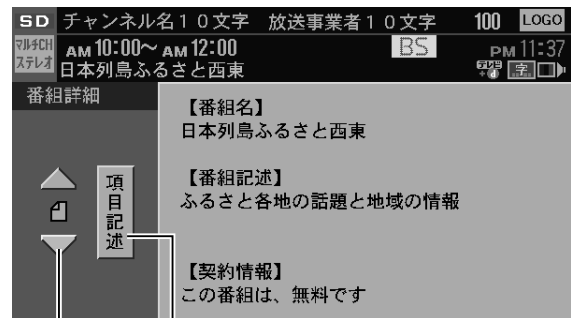
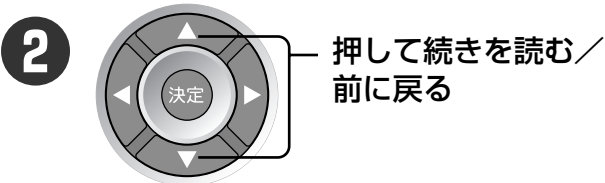
押す

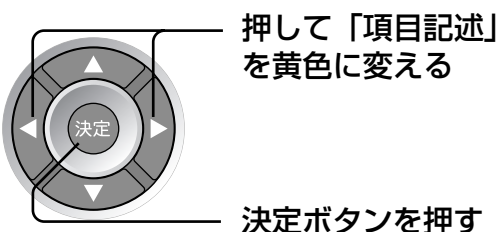
説明ボタンを押すと、受信中の番組の番組詳細が画面に表示されます。もう一度押すと番組詳細は消えます。番組詳細は放送電波で送られてきます。番組によって内容が異なります。

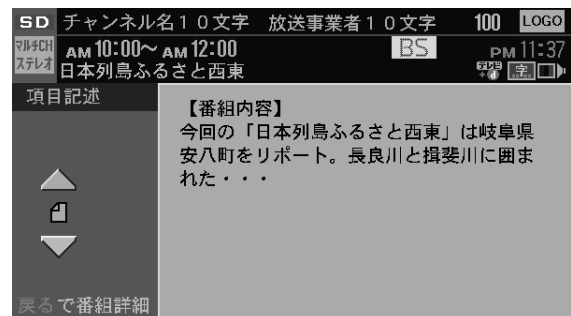
（番組詳細の内容）

番組名.............番組のなまえ
番組記述.........出演者など
契約情報.........無料、有料、ＰＰＶの料金など
コピー情報.....番組の録画・録音に関する情報
ジャンル.........番組のジャンル
信号.................５２５ｉ、ステレオなどの情報
その他.............中止や延長、シリーズ番組の情報など

ページや項目を選んで見るとき

押して続きを読む／前に戻る

- ページのマークが表示されているときは、▲ボタンでページを送って続きを見ることができます。▼ ボタンを押すと前に戻ります。

押して「項目記述」を黄色に変える

決定ボタンを押す

- 「項目記述」があるときは、◀ ▶ボタンで「項目記述」を黄色に変え決定ボタンを押すと「項目記述」の内容が表示されます。
- 「戻る」ボタンを押すと番組詳細の画面に戻ります。さらに押すと番組詳細の画面が消えます。

番組表（番組ガイド）から番組詳細の画面を出したときは、右上に映像が映ります。

地上デジタル放送のとき

地上デジタル放送で、そのとき受信している以外のチャンネルの番組詳細や項目記述を表示させたときは、「データが取得されていません。（黄）でデータ取得・更新します。」などとメッセージが出て表示されないことがあります。このようなときは、画面の指示にしたがってリモコンの黄ボタンを押すなどしてデータを取得・更新すると表示されるようになります。データ取得中は背景の映像や音声は消えます。

お知らせ

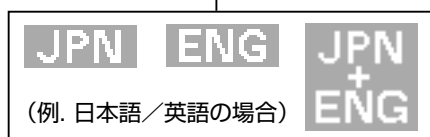
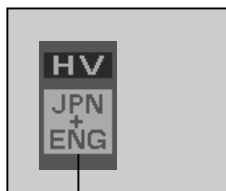
- 番組詳細が表示されるまでには、多少の時間がかかることがあります。その間、画面には「データ取得中」と表示されます。番組詳細が送られていない場合は「データがありません。」と表示されます。
- 番組表で選んだ将来の番組の詳細を見るなど、番組詳細は受信中の番組以外でも表示させることができます。
- 「項目記述」の情報を取得中、現在視聴している番組を受信できない場合があります。
- 番組詳細は「説明」ボタン、「画面表示」ボタンでも消すことができます。

番組の音声と映像を選ぶ

数種類の音声や映像が同時に放送されている番組では受信機側で選んで再生することができます。

二重音声のとき

２カ国語などの二重音声のときは、音声切換ボタンを押すごとに「ＪＰＮ」、「ＥＮＧ」、「ＪＰＮ＋ＥＮＧ」などに切り換わります（日本語／英語の場合)。

押して、表示が出ている間に希望の音声に切り換える

（例. 日本語／英語の場合）

数種類の音声があるとき

数種類の音声が放送されているときは信号選択のマーク（下図）が明るく表示されます。

押して、希望の音声に切換える

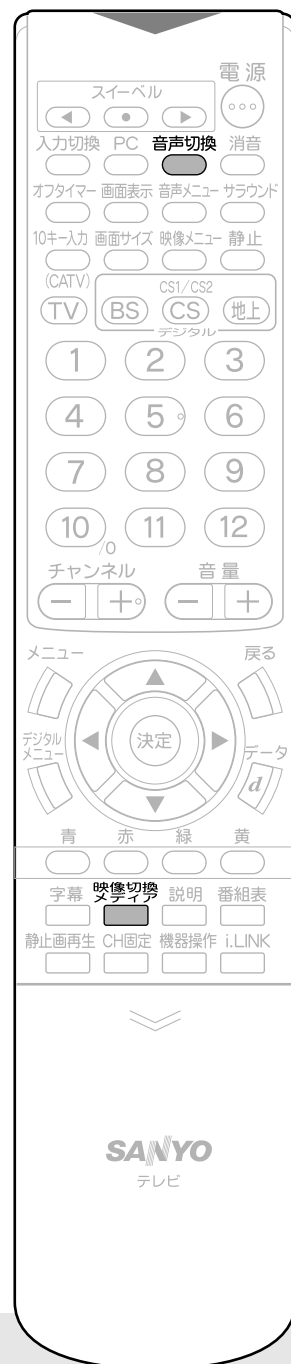
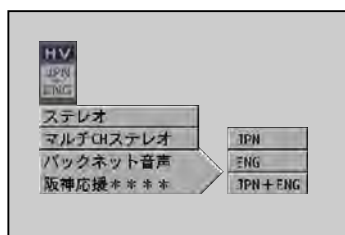
- 音声切換ボタンを押すと、選べる音声の種類が画面に表示されます。
- 押すごとに選んだ表示が黄色に変わり、それに合わせて音声が変わります。

ステレオ　マルチCH ステレオ　モノラル

■ステレオ
2チャンネル（左右）のステレオ放送。

■マルチＣＨステレオ
3チャンネル以上のステレオ放送で、最大5.1チャンネル（フロント左＋フロント右＋センター＋リア左＋リア右＋ウーハー）が放送できます。

■モノラル
左右が同じ音の、ステレオではない音です。

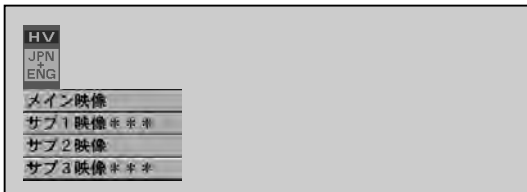
■デュアルモノラル
複数のモノラル音声を同時に放送し、選んで受信します。多言語放送などが考えられます。

お知らせ

- 選べる音声の種類が画面に表示されたあとは、◀▶▲▼ボタンでも音声の切り換えができます。
- 音声の表示は番組によって変わります。
- 有料の音声を受信するときは購入の操作が必要です。（☞99ページ）
- 番組からコマーシャルに切り換わったときなど、音声の種類が変わったときに、音が一瞬途切れることがあります。音声処理をデジタル信号で行っているためで、故障ではありません。

数種類の映像があるとき

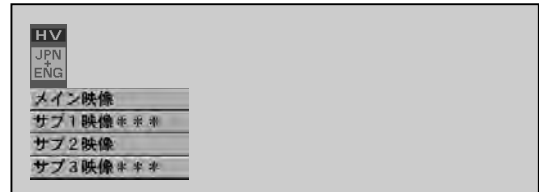
数種類の映像が放送されているときは信号選択のマーク（下図）が明るく表示されます。

**押して、
希望の映像に
切換える**

- 映像切換/メディアボタンを押すと、選べる映像の種類が画面に表示されます。
- 押すごとに選んだ表示が黄色に変わり、それに合わせて画面の映像が変わります。

マルチビュー放送のとき

マルチビューテレビ放送は、複数の映像をひとつの番組内で同時放送するサービスです。マルチビュー放送を受信したときは画面に『マルチビューテレビ放送です。「映像切換」キーで選択できます。』とメッセージが表示されます。

**押して、
希望の映像を
映す**

- 映像切換/メディアボタンを押すと、選べる映像の種類が画面に表示されます。
- 押すごとに映像を切り換えてご覧になれます。マルチビュー放送の場合、映像に付いている音声も同時に切り換わります。

お知らせ

- 選べる映像の種類が画面に表示されたあとは、▲▼ボタンでも映像の切り換えができます。
- 映像の表示は番組によって変わります。
- 有料の映像を受信するときは購入の操作が必要です。（☞99ページ）

ご注意

本機ではマルチビュー放送を、映像切換/メディアボタンで切り換えて一つの画面ごとに表示します。それぞれの画面を同時に表示させることはできません。

データ放送を利用する

デジタル放送では映像や音声によるテレビ番組のほかに、便利な情報をお知らせするデータ放送があります。
この項ではデータ放送を次の３つに分けて説明します。

データ放送の種類

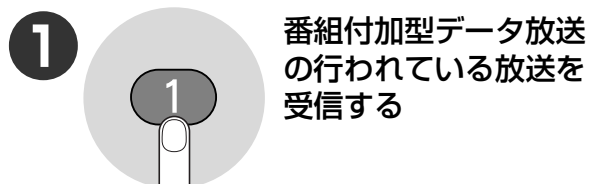
■番組付加型データ放送
番組に付加されたデータ放送です。番組画面からｄボタンを押して表示させます。

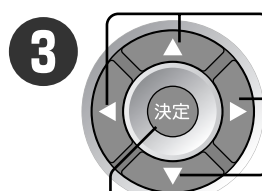
■独立型データ放送
独立したチャンネルを持ったデータ放送です。チャンネルを選んで受信します。

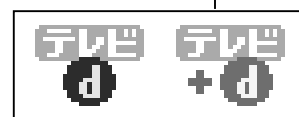
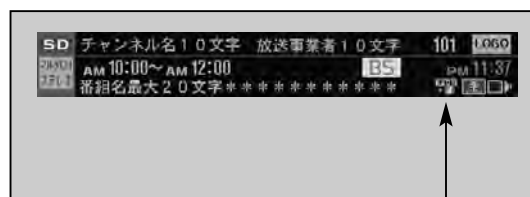
■双方向サービス
放送局から受信するだけでなく、受信機側からクイズの回答や懸賞の申し込みなどを行うサービスです。電話回線への接続が必要です。

ご注意
本機は110度CSデジタル放送の蓄積型データサービスには対応しておりません。

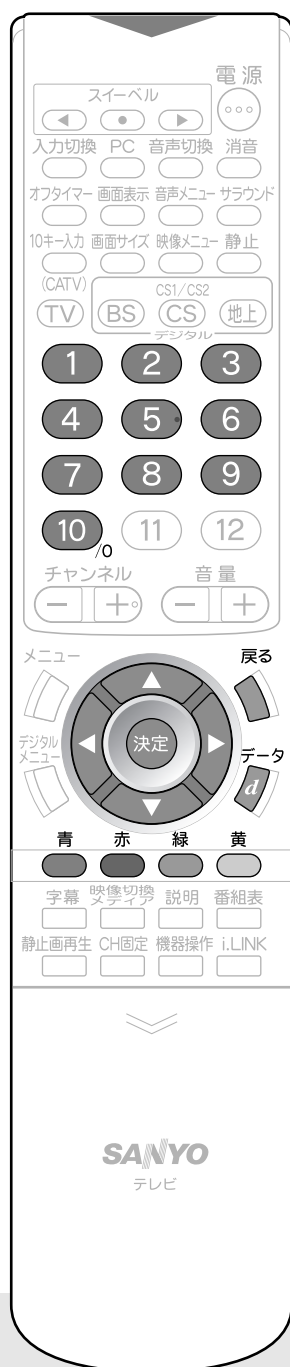
番組付加型データ放送の見かた

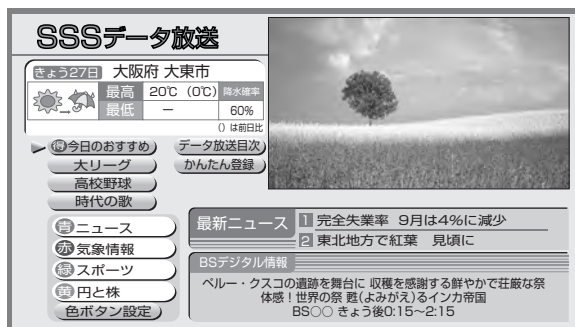
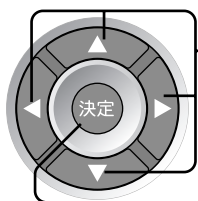
番組付加型データ放送では、天気予報やニュースなど、番組に直接関連しない情報や、出演者など番組に関連する情報などが提供されます。

❶ 番組付加型データ放送の行われている放送を受信する

❷ 押す
- データ放送の画面が表示されます。

❸ 押して、データ放送画面のご希望の項目を選び、
決定ボタンを押す

❹ 押して、データ放送画面を消す

番組付加型データ放送がある場合は…
- バナー表示の「テレビ」や「ラジオ」の表示に「ｄ」または「＋ｄ」と表示されます。
- 表示が「ｄ」のときは、番組とは直接関連しないデータ放送です。（天気予報など）
- 表示が「＋ｄ」のときは、番組内容に関連するデータ放送です。（出演者や選手の情報など）
- 放送電波からデータを取得している間は「データ取得中」と表示されます。「ｄボタンを押してください」と表示される番組もあります。
- データ放送のあるラジオ放送番組もあります。

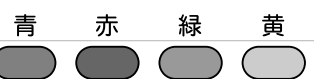
項目の選びかたは ☞ 右ページをご覧ください。

お知らせ
- ラジオ番組の場合は、データ放送を利用して静止画などを表示することがあります。
この場合は静止画の表示後にｄボタンを押してもデータ放送画面は表示されません。

項目の選びかた

項目の選びかたは放送局や番組によって異なります。データ放送画面の指示にしたがって操作してください。「ピッ」と確認音が出ることもあります。

カーソル&決定で選ぶ

押して、ご希望の項目を選び、

決定ボタンを押す

- カーソル◀ ▶▲▼ ボタンで希望の項目を選び、決定ボタンを押します。選んだ項目は色が変わったり、わくが移動したりします。

カラーボタンで選ぶ

画面の指示にしたがって、希望の色を押す

- 画面に青・赤・緑・黄の色がついた項目が出てきたときは、リモコンの青・赤・緑・黄のボタンを押して項目を選びます。

前の画面に戻るとき

前の画面に戻るときに押す

- 「戻る」ボタンを押すと前のデータ放送画面に戻ります。

- 数字を入力する画面のときは、チャンネル1～10ボタンで入力してください。

お知らせ

- 受信時に「ｄボタンを押してください」と表示される番組では、ｄボタンを押したときにデータ放送のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- データ放送画面の項目を選んだときに別のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わるものがあります。
- ｄボタンを押さなくても自動でデータ放送画面が表示されるものもあります。
- オリジナルの画面サイズが16：9の番組のデータ放送を表示させたときは、画面サイズを切り換えることができません。

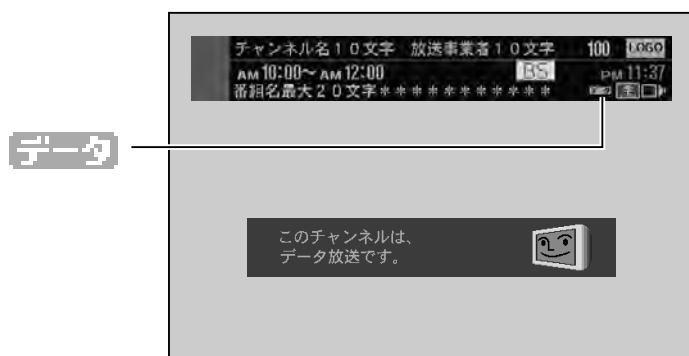
データ放送を利用する（つづき）

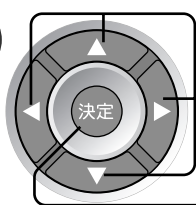
独立型データ放送の見かた

独立型データ放送は通常の番組と同じようにチャンネルを選んで受信します。ご希望の独立型データ放送が行われているデジタル放送（BS/CS1/CS2/地上）に切り換え、チャンネル－/＋ボタンや、10キー入力、番組表などから受信します。

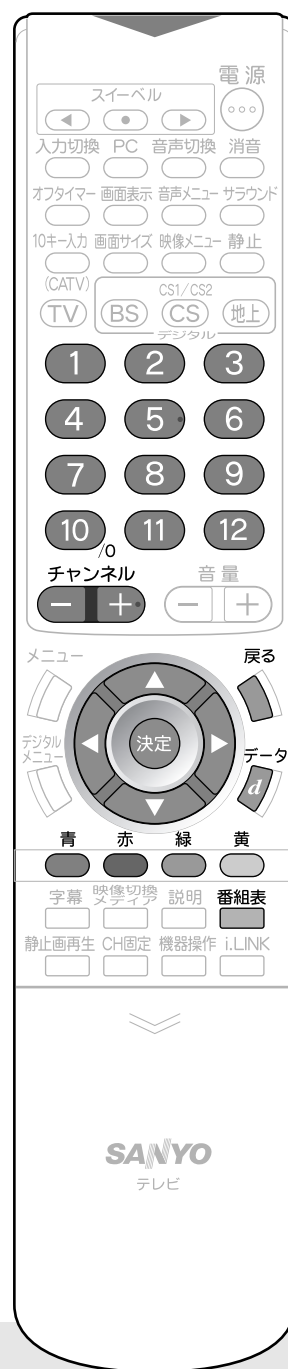
1 独立型データ放送のチャンネルを受信する

独立型データ放送では...

- 受信後のバナー表示に「データ」と表示されます。
- 選局した後、データが取得されると画面が表示されます。
- 音声が流れる番組や動画が表示される番組があります。

2

押して、データ放送画面のご希望の項目を選び、

決定ボタンを押す

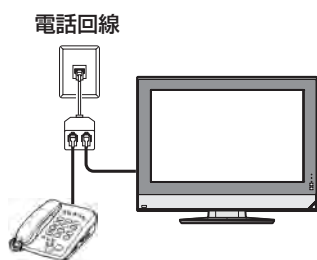
項目を選ぶ

- 番組付加型データ放送と同じようにカーソル◀▶▲▼ボタンや青・赤・緑・黄ボタンを使ってご希望の項目を選んでご覧になれます。選びかたは放送局や番組によって異なります。データ放送画面の指示にしたがって操作してください。

ご注意

- データ放送の操作は番組によって異なります。操作のしかたは画面の指示にしたがってください。操作方法がわからない場合は、それぞれの放送局へお問い合わせください。

双方向サービスを利用する

受信機側からクイズに回答したり、懸賞に申し込んだりする双方向サービスを行うデータ放送があります。

準　備

次の準備が必要です...

- B-CASカードのユーザー登録を行ってください。（☞26ページ）
- 双方向サービスを利用するためには、本機を電話回線に接続し、電話回線の設定を行う必要があります。（☞206、236ページ）
- 双方向サービスを利用するためには、放送局へ事前に登録する必要がある場合があります。詳しくは放送局にお問い合わせください。
- 本機に付属している冊子「ファーストステップガイド」に登録に関する情報が掲載されていますのでご参照ください。

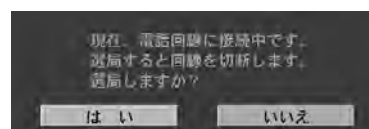
1 双方向サービスを行っているデータ放送を受信する

- 番組付加型のとき（☞86ページ）
- 独立型のとき（☞88ページ）

2 画面の指示にしたがって操作する

- 項目の選びかたなどの操作方法は、通常のデータ放送と同じです。カーソル◀ ▶▲▼ ボタンや青・赤・緑・黄ボタンを使って画面の指示にしたがって操作してください。

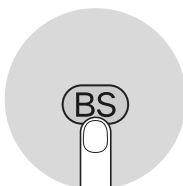
双方向サービスの利用中は

- 双方向サービスなどで本機が電話回線を使用するときは、テレビ本体の回線使用中ランプ（赤）が点灯します。
- 電話回線の使用中に選局などの操作を行うと、「電話回線を切断しますか？」と画面にメッセージが現れます。「はい」を選んで決定ボタンを押すと電話回線の使用が切断され、選局できるようになります。

ご注意

- 受信機側からの情報は、接続した電話回線を通じて放送局へ送られます。このときに電話料金が発生します。情報を送っている間は、同じ電話回線に接続した電話機などは使用できません。
- 受信機側から放送局へ情報を送る際の電話料金は、お客さまのご負担となります（フリーダイヤルの場合を除く）。詳しくはそれぞれの双方向サービスの会員規約や番組画面などの案内をご覧ください。
- データ放送の双方向サービス等で本機のメモリーに記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報等の一部あるいは全てが変化または消失した場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 本機を譲渡したり廃棄するときは、デジタルメニュー内の「設定の初期化」機能にある「工場出荷設定」を行い、本機のメモリーに記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報（個人情報）を消去することをおすすめします。（工場出荷設定 ...☞293ページ）

番組表を見る

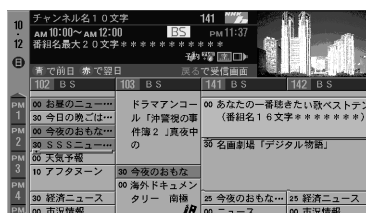
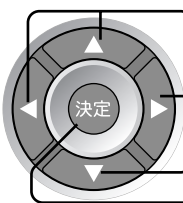
デジタル放送の特長のひとつに番組表（電子番組ガイド＝EPG）があります。番組表を１週間先まで見ることができ、番組表から選局したり、予約したりできます。

番組表の出しかた

1 番組表を出す デジタル放送を受信する

- 番組表はデジタル放送別に表示します。番組表を見たいデジタル放送に切り換えてください。（BS/CS1/CS2/地上）

2 押す

- 番組表の画面が表示されます。

番組表の画面

3 押して、ご希望の番組を選び、

決定ボタンを押す

番組表から選局するとき…

- 番組表の最上段に表示されているのが現在放送中の番組です。◀ ▶ボタンで黄色に変えて決定ボタンを押すと番組を選局します。

番組表から予約するとき…

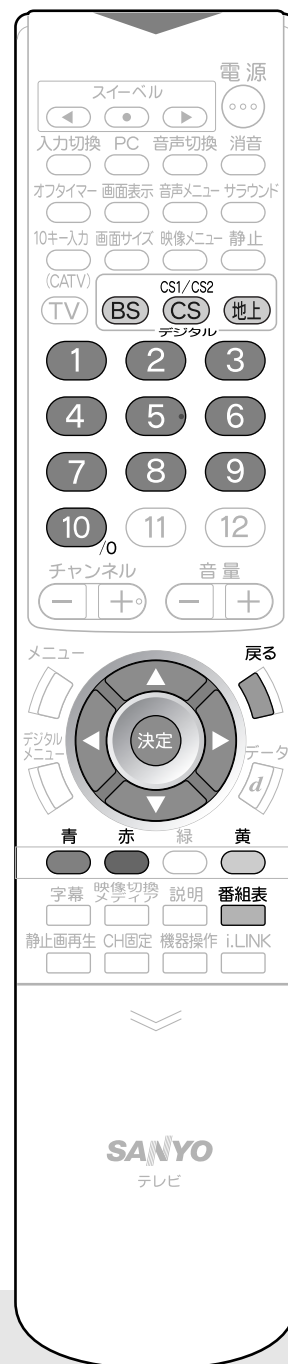
- ◀ ▶ボタンと▲ボタンでこれから先の番組を黄色に変えて決定ボタンを押すと、番組の予約画面に変わります。予約の操作をしてください。（番組の予約 92ページ）

番組表から情報を見るとき…

- 番組表から番組を選び、説明ボタンを押すと番組の詳細情報を表示でき、選局や予約の前に内容確認ができます。（説明ボタン 83ページ）

4 番組表を消すときに押す

- 番組表ボタンでも消すことができます。

番組表での操作のしかたは 右ページをご覧ください。

お知らせ

- 番組表はデジタル放送以外の画面では表示されません。
- データ取得のため、番組表の内容を表示するまでに時間がかかる場合があります。またデータ取得中は背景の映像が消える場合があります。
- 番組表で緑で表示される番組は、本機のジャンル検索機能に登録されているジャンルの番組です。（ジャンル検索機能 112ページ）
- 予約番組の受信中やCH（チャンネル）固定中は番組表を表示させることはできません。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルなどは正しく表示できない場合があります。

地上デジタル放送のとき

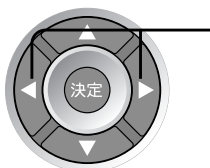
- 地上デジタル放送で、そのとき受信している以外のチャンネルの番組表を表示させたとき「（黄）でデータ取得・更新」などと出て、番組表が表示されないことがあります。このようなときは、画面の表示にしたがってリモコンの黄ボタンを押すなどしてデータを取得・更新すると表示されるようになります。データ取得中は背景の映像や音声は消えます。またデータ取得には時間がかかる場合があります。
- 地上デジタル放送では、そのとき受信しているチャンネルの番組表データしか取得・更新できないため、テレビのスタンバイ時にチャンネルをサーチし、データを蓄積する仕組みになっています。データ蓄積後に番組が予告なく変更されたときは、番組表の内容と実際の放送が異なる場合があります。

番組表のイベント共有表示について

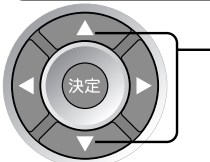
番組表では、隣り合う複数のチャンネルで同じ番組が放送される場合、1つにくくったわくで表示されます（イベント共有表示）。このような番組を選局や予約したときは、放送局から指定された優先チャンネルが選局または予約されます。

黄色に変えている番組の情報が表示されます。

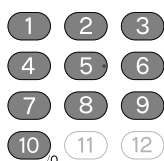
◀▶ボタンで別チャンネルの番組表が見られます。

別のチャンネルの番組表を見る

押して、ご希望のチャンネルを選ぶ

● カーソル◀▶ボタンを押すと、番組表が横方向に移り変わり、別のチャンネルの番組表が見られます。

これから先の番組表を見る

押して、これから先の番組表に進む

● ▼ボタンを押すと、これから先の番組表が見られます。前の時間帯に戻すときは、▲ボタンを押します。

離れたチャンネルの番組表に飛ぶ

チャンネル番号を入力する

● リモコンの1〜10ボタンでチャンネル番号を入力すると、入力したチャンネルの番組表までジャンプします。

赤ボタンで翌日の番組表に飛ぶ

赤：翌日の番組表に飛ぶ
青：前日の番組表に戻る

● 画面に「（赤）で翌日」と表示されるときは、カラーボタンの赤を押すと翌日の番組表を表示します。「（青）で前日」と表示されるときは、青ボタンで前日の番組表を表示します。

メディア別の番組表を見る

押す

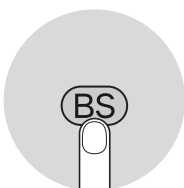
● 押すごとにテレビ/ラジオ/データなど、メディアごとの番組表を見ることができます。

＊番組表の画面は改善のため変更になる場合があります。

番組を予約する

デジタル放送の番組を16個まで予約できます。

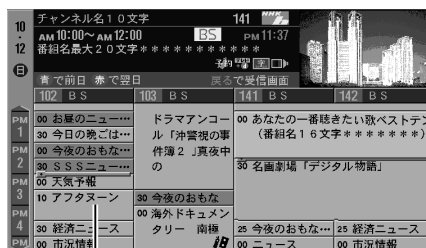
予約の手順

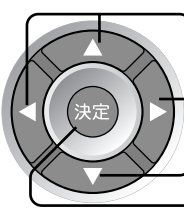
1

予約を行う デジタル放送を受信する

● 予約したい番組が放送されるデジタル放送に切り換えてください。(BS/CS1/CS2/地上)

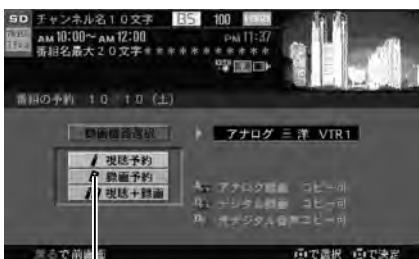
2

押して番組表を出す

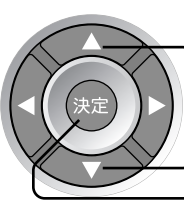
● 番組表の画面が表示されます。

予約する番組を選んで決定

3

押して、予約する番組を選び、

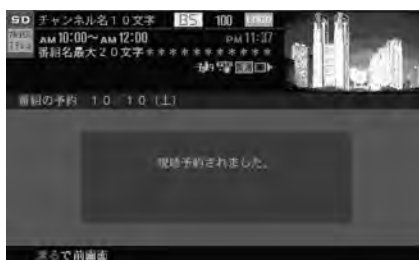
決定ボタンを押す

● 予約の画面が表示されます。

予約方法を選んで決定

4 D-VHSビデオなどのi.LINK機器を接続・登録しているお客さまが録画予約を行う場合は、予約方法を選ぶ前に「録画機器選択」を行ってください。☞96ページ

5

押して、希望する予約方法を選び、

決定ボタンを押す

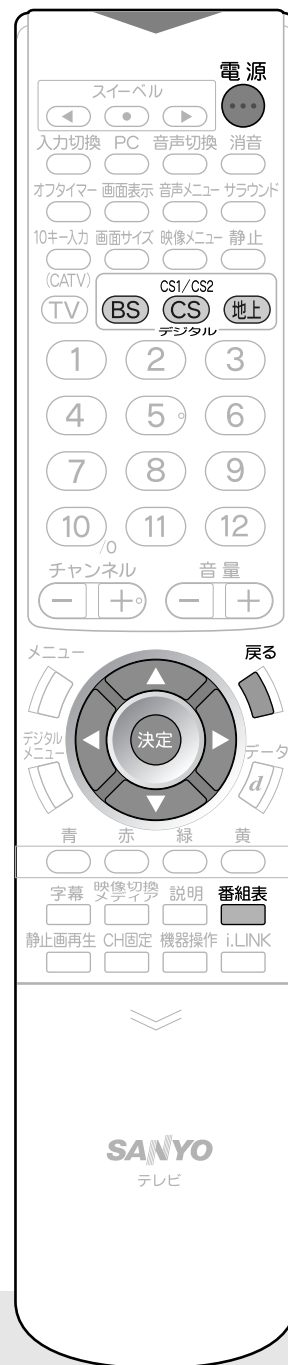
●「・・予約されました。」と数秒表示が出たあと、番組表の画面に戻ります。(予約操作終わり)

視聴予約 .... 予約した番組を本機で視聴するときに選びます。

録画予約 .... 予約した番組を録画するときに選びます。(視聴はしません)

視聴＋録画 ... 視聴予約と録画予約を同時に行うときに選びます。

6

予約後、電源を切るときは リモコンの電源ボタンで切る

● テレビ本体の電源スイッチで切ると予約が実行されませんのでご注意ください。

■予約中はランプが点灯

番組の予約中、また予約の実行中はテレビ本体の予約ランプが緑で点灯してお知らせします。

視聴予約のとき

■視聴予約した番組が始まると ...

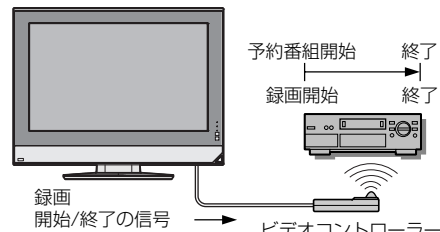
- テレビを映していたときは、予約番組の開始が近づくと「まもなく予約が始まります。」とメッセージが表示され、予約番組のチャンネルに自動で切り換えます。
- スタンバイ状態（リモコンでテレビを消した状態）のときは、予約番組の開始直前に自動でテレビがつき、予約番組を映します。画面には「予約が始まりました。自動でチャンネル固定します。」と表示されます。
- 予約番組の開始～終了の間は、視聴や録画の保護のためにチャンネルが固定されます。チャンネルを変えようとすると「予約実行中のためチャンネル固定されています。」と表示されます。
- 本機のデジタル放送出力端子からは予約した番組の映像と音声が出力されます。
- ビデオコントロール端子からは、ビデオの録画をコントロールする信号は出力されません。
- 本機のi.LINK端子からは予約番組のデジタル信号が出力されます。ただしD-VHSビデオの録画をコントロールする信号は出力されません。

■視聴予約した番組が終わると ...

- チャンネル固定が解除されます。デジタル放送ネットワーク、チャンネルは予約した番組のままです。

録画予約のとき

■録画予約した番組が始まると ...

- 録画予約した番組が始まると、本機のデジタル放送出力端子からは予約番組の映像と音声が出力されます。
- 本機でデジタル放送を映していたときは、予約番組の開始が近づくと「まもなく予約が始まります。」とメッセージが表示され、予約した番組のチャンネルに自動で切り換えます。
- 地上アナログ放送やビデオ画面のときは画面はそのままで、予約した番組の映像と音声を出力します。
- リモコンでテレビを消していたときは、テレビが消えたまま、予約した番組の映像と音声を出力します。

- 予約番組の開始～終了の間は、視聴や録画の保護のためにチャンネルが固定されます。
- ビデオコントロール端子からは録画開始の信号が出力され、接続・設定したビデオで録画が開始されます。
- 本機のi.LINK端子からは予約番組のデジタル信号が出力されます。同時にD-VHSビデオの録画を開始させる信号が出力され、i.LINK接続・設定したD-VHSビデオで録画が開始されます。（デジタル録画のとき）

■録画予約した番組が終わると ...

- チャンネル固定が解除されます。デジタル放送ネットワーク、チャンネルは予約した番組のままです。
- ビデオコントロール端子から録画終了の信号が出力され、ビデオで録画が終了します。
- 本機のi.LINK端子からはD-VHSビデオの録画を終了させる信号が出力され、D-VHSビデオで録画が終了します。（デジタル録画のとき）

地上デジタル放送のとき

- 地上デジタル放送でそのとき受信している以外のチャンネルの番組を予約しようとしたとき、「データ取得のため、チャンネル切り換え中」などと表示され、データ取得中は背景の映像や音声は消えます。またデータ取得には時間がかかる場合があります。

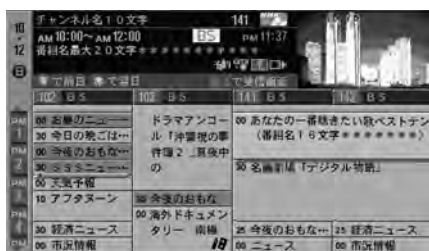
お知らせ

- デジタル放送の予約録画については☞152ページ（ビデオによるアナログ録画）、☞162ページ（D-VHSビデオによるデジタル録画）をご覧ください。
- 録画に使用するビデオ機器の準備も正しく行ってください。
- 本機にはチャンネルと時間帯を指定して行うプログラム予約機能もあります。☞114ページ

番組を予約する（つづき）

予約の確認・変更・取消し

番組表から予約の確認・変更・取消しができます。

1 番組表ボタンを押して番組表を表示させる
- 予約済みの番組には予約マークが表示され、確認ができます。

予約済み番組にはマークがつく

2 ▲▼◀▶ボタンで予約の確認・変更・取消しを行う番組を選び、決定ボタンを押す
- 下図のような画面が表示されます。

▲▼ボタンで選んで決定

3 ▲▼ボタンで選ぶ
- 予約の種類を変更するときは、ご希望の予約を黄色に変えてください。
- 予約を取り消すときは「予約取消」を黄色に変えてください。

4 決定ボタンを押す
- 予約の変更または取消しが実行されます。

「予約番組一覧」を見る

予約した番組は、デジタルメニュー「お知らせ」の中の「予約番組一覧」でも確認・変更・取消しすることができます。「予約番組一覧」の出しかたは ☞ 122ページをご覧ください。

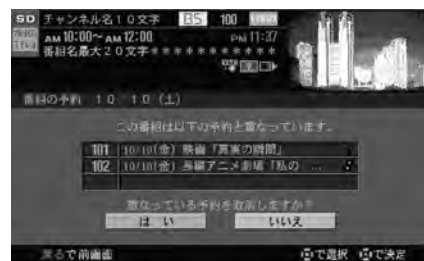
実行中の予約を中止するとき

予約した番組の開始から終了までの間はチャンネル固定されているため、別のデジタル放送チャンネルに切り換えることはできません。やむをえず別のチャンネルに切り換える場合は、CH（チャンネル）固定ボタンで予約の実行を中止し、固定を解除します。

1 CH（チャンネル）固定ボタンを押します。１回押すと「予約実行中です。(チャンネル固定解除で予約を中止します)」とメッセージが表示されます。

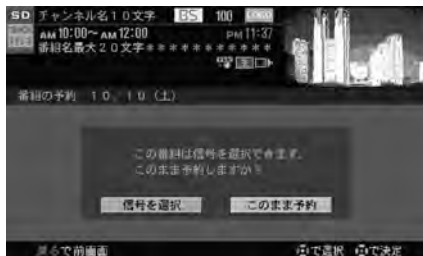
2 表示中にもう一度押すと「CH固定を解除し、予約を中止しました。」と表示され、チャンネル固定が解除されます。予約は中止されますので、番組が終了しても予約前の状態には戻りません。

予約が別の予約と重なるとき

予約した番組が別の予約と重なるときは下図のような表示が出て、どちらの予約を行うのか問い合わせてきます。予約済みの番組の方を取消すときは、◀▶ボタンで「はい」を選んで決定ボタンを押します。重なっているすべての予約が取消されます。異なるチャンネルやデジタル放送間での時間の重複した予約はできません。

視聴年齢制限がある番組のとき

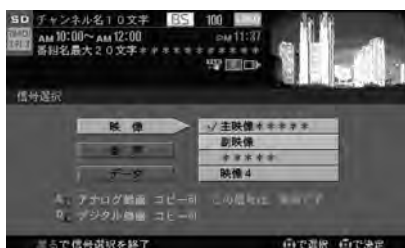
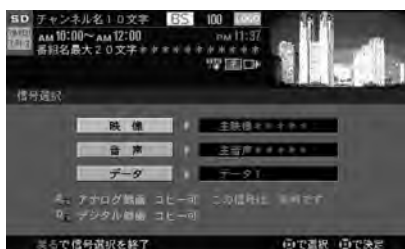
視聴年齢制限のある番組のときは、予約画面の前に暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を入力してください。
- 視聴年齢制限 ☞ 128ページ
- 暗証番号の設定 ☞ 127ページ

信号を選んで予約できるとき

予約した番組が、信号を選んで予約できる番組のときは下図のような表示が出ます。

■信号を選ばずに予約するとき

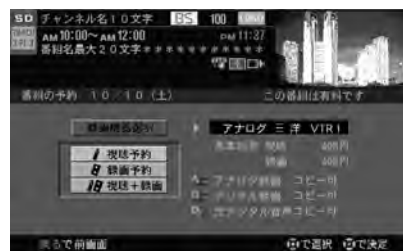
信号を選ばずにこのまま予約するときは◀▶ボタンで「このまま予約」を黄色に変えて決定ボタンを押します。

■信号を選んで予約するとき

1. ◀▶ボタンで「信号を選択」を選び、決定ボタンを押します。下図のような信号を選ぶ画面に変わります。
2. ▲▼ボタンで映像または音声、データを選び、決定ボタンを押すと信号のサブメニューが表示されます。
3. ▲▼ボタンで予約する信号を選び、決定ボタンを押すと選んだ信号で予約されます。

お知らせ

- 選べる信号は番組によって異なります。
- 信号を選ぶことで追加料金が必要になる番組では、「追加料金として＊＊＊円必要です。」と画面に表示されます。
- 選んだ信号が録画できない信号の場合は、「この信号は録画できません。」と表示されます。

有料の番組を予約するとき

- 有料の番組（ペイパービュー）を予約するときは、予約画面に「この番組は有料です。」と表示されます。予約すると予約の実行時に番組の購入が自動で行われます。
- 有料番組の購入限度額を設定している場合、予約した番組を購入することによって限度額を超える場合は、予約時にメッセージでお知らせします。予約した場合は限度額を超える場合でも予約を実行します。
- 有料番組の購入には、事前に放送局との契約が必要です。
- 有料番組（ＰＰＶ）については ☞98ページをご覧ください。

有料と表示されます

予約についてのご注意

- 予約したあと電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで切ってください。テレビ本体の電源スイッチで切ったときは予約が実行されません。
- リモコンで電源を切った状態から「視聴予約」または「視聴＋録画」予約で電源が入り、予約番組が映った後何の操作もされなかったときは、安全のため2時間で電源が切れます。ただし「視聴＋録画」予約のときは、番組終了まで録画のための映像と音声を出力します。
- 予約番組の受信中にリモコンで電源を切ったときは、画面と音は消えますが、録画のための映像と音声は番組終了まで出力されます。
- 予約番組の開始時刻が変わったときは予約を実行しないよう設定されていますが、実行するように設定を変えることができます。☞131ページ
- 予約番組の実際の開始・終了には数秒のずれが生じる場合があります。
- 予約した番組の終了が遅れて次の予約と重なったときは次の予約が実行されません。

番組を予約する（つづき）

D-VHSビデオなどのi.LINK機器を接続・登録しているとき

予約画面の「録画機器選択」は、「録画予約」または「視聴＋録画」で予約録画するときの録画機器を選択する項目です。本機にD-VHSビデオなどのi.LINK機器を接続して録画再生機器として登録しているときは、予約画面を出したときに「録画機器選択」が自動的にi.LINK機器に指定されます。ふつうのビデオなどi.LINK機器以外の機器で予約録画するときは、その都度「録画機器選択」をビデオなどのアナログ機器に変更してください。

お知らせ

- 「録画機器選択」は、i.LINK機器が登録されていない状態では選べません。i.LINK機器を登録していないときは「録画機器選択」がアナログ機器に固定されますので選択する必要はありません。

録画機器選択は、予約方法を選ぶ前に行ってください。

録画機器選択の設定

予約画面

1

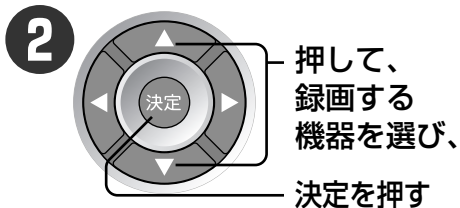
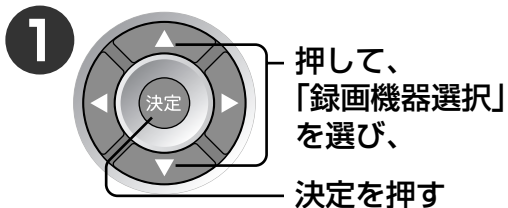
押して、「録画機器選択」を選び、

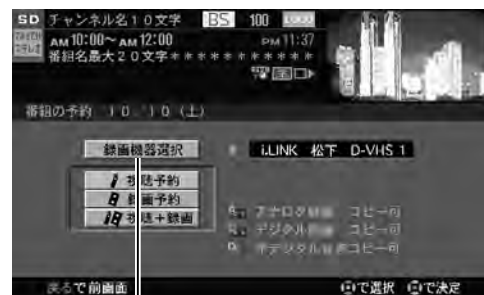
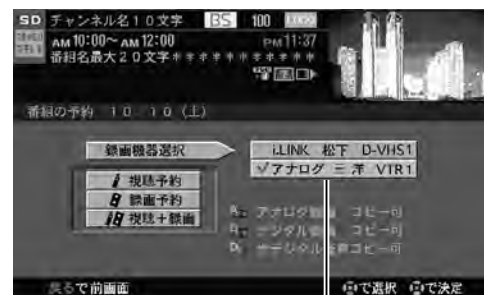
決定を押す

「録画機器選択」を選んで決定

2

押して、録画する機器を選び、

決定を押す

録画機器を選んで決定

- 「録画機器選択」を設定したら、続けて「録画予約」または「視聴＋録画」を選んで予約します。
92ページ

有料番組(PPV)を購入するとき

有料番組は、見た番組の分だけ料金を後払いするシステムで、ＰＰＶ（ペイ・パー・ビュー）ともいいます。購入の手続きは、画面を見ながらリモコンで行います。

準　備

有料番組の購入には、次のような準備が必要です。

- 有料放送事業者と加入契約を行ってください。
- 付属のＢ－ＣＡＳカードを本機に挿入し、Ｂ－ＣＡＳカードのユーザー登録を行ってください。 ☞26ページ
- 本機を電話回線に接続して「電話回線の設定」を行ってください。☞206、236ページ

有料番組の購入手順

有料番組を受信すると右のような表示が出ます。次の手順で購入の手続きをしてください。

決定を押す

❶

決定ボタンを押す

- 番組購入画面が表示されます。

❷

押して、購入方法を選び、

決定ボタンを押す

- ▲▼ボタンでご希望の購入方法を選び、決定ボタンを押すと購入を確認する画面が表示されます。
- 「購入しない」を選び、決定ボタンを押すと購入しません。

■視聴購入

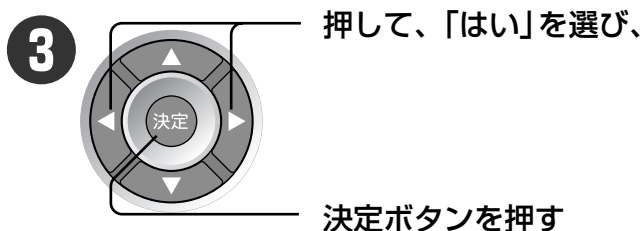
有料番組が画面でご覧になれます。

■視聴＋録画購入

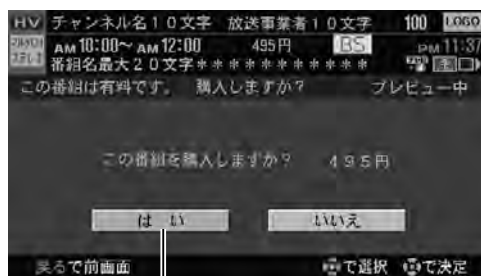
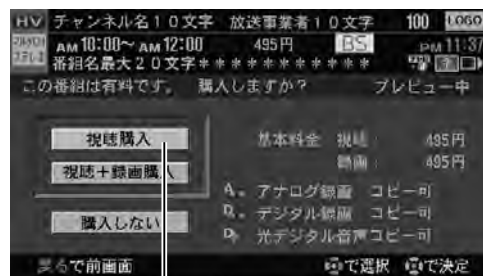
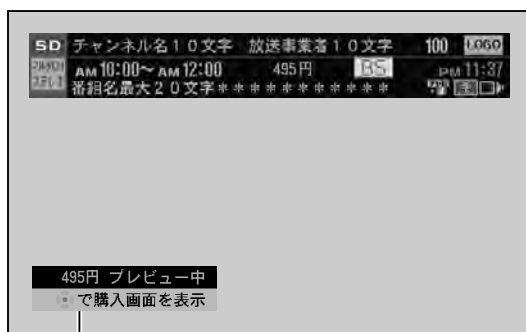
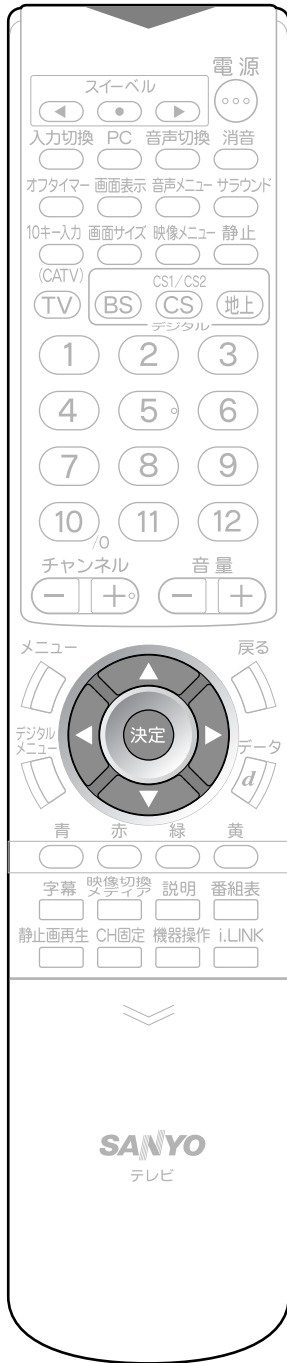
有料番組が画面でご覧になれると同時に、ビデオに録画できます。（録画できない番組のときは選ぶことができません。）

購入方法を選んで決定を押す

❸

押して、「はい」を選び、

決定ボタンを押す

- 番組が購入され視聴できるようになります。画面には「番組を購入しました。自動的にCH固定します。」と数秒表示されます。

「はい」を選んで決定を押す

チャンネルが固定されます

購入した番組の終了までチャンネルが固定されます（CH固定）。CH固定を解除する場合はリモコンのCH固定ボタンを押します。

購入できないとき

購入できる時間帯でなかったときや他の番組の予約と重なったときは購入できません。購入できるタイミングは番組によって異なります。

購入一覧を見るには

デジタルメニューの「番組購入一覧」で購入の記録を見ることができます。☞123ページ

購入限度額を設定できます

購入限度額を１カ月単位や１番組単位で制限することができます。設定すると、購入時に限度額を超える場合はメッセージでお知らせします。☞125ページ

プレビュー画面について

一定時間だけ背景に番組の内容を映すプレビュー映像が見られる番組があります。

信号単位で購入できるとき

副映像や副音声などの信号単位で有料の場合や、追加料金が必要な場合は、その都度購入を問い合わせる画面が表示されます。

視聴年齢制限があるとき

購入する番組に視聴年齢制限があるときは、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を入力してください。

予約番組の時間と重なるとき

購入する番組が予約済みの番組の時間と重なる場合は、予約を取消す画面が表示されます。購入する場合は予約番組を取消してください。

ご注意

Ｂ－ＣＡＳカードと電話回線

購入した番組の課金情報は、本機に差し込んだＢ－ＣＡＳカードに記憶され、本機に接続した電話回線を通じて、一定期間ごとに放送局へ送信されます。Ｂ－ＣＡＳカードを差し込んでいなかったり、電話回線に接続していないと課金情報の送信ができなくなり、有料番組が購入できなくなる場合がありますのでご注意ください。課金情報の送信状況はデジタルメニューの「視聴履歴送信日時確認」で見ることができます。
☞126ページ

視聴年齢制限がある番組

お子さまに見せたくない番組などでは視聴年齢制限を設定できます。放送側で設定された番組の視聴年齢が、本機に設定した視聴年齢よりも高いときは、暗証番号を入力しないと見られなくなります。

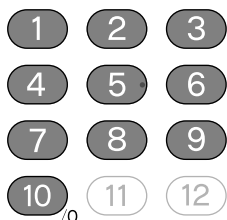
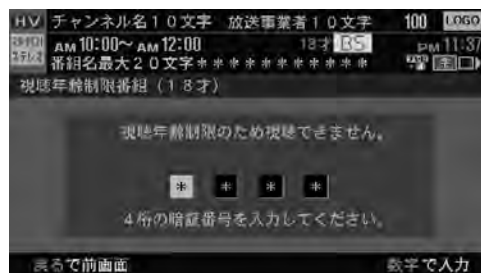
準　備

視聴年齢制限のある番組の視聴には、次のような準備が必要です。

- 暗証番号を設定してください。127ページ
- 視聴可能年齢を設定してください。128ページ

視聴年齢制限がある番組を見るには

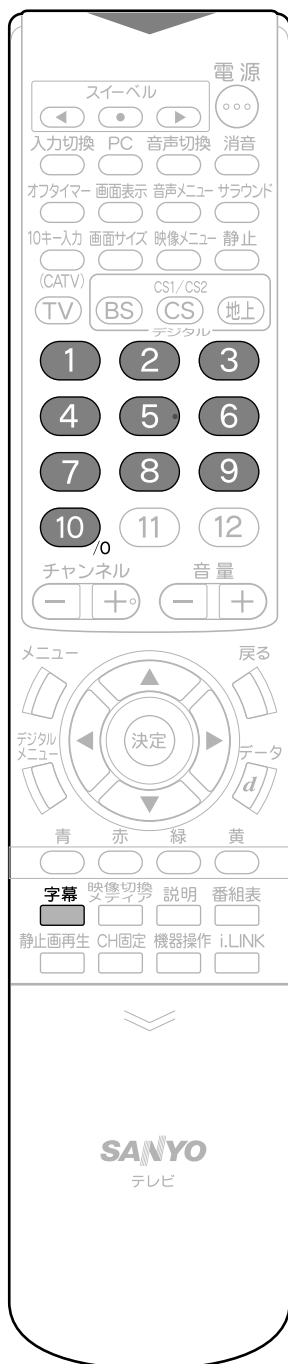
選局した放送に視聴年齢制限があるときは、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を入力すると見られるようになります。
（事前に暗証番号の設定が必要です。127ページ）

1 2 3
4 5 6
7 8 9
10/0 11 12

1〜10ボタンで暗証番号を入力する

- 暗証番号を正しく入力してください。0は10ボタンで入力します。例えば暗証番号が「1234」だったときは1、2，3，4の順に押します。入力した暗証番号は表示されません。
- 暗証番号を入力すると視聴できるようになります。

お知らせ

- 本機の視聴可能年齢は設定なし、または4才〜20才の間で設定できます。（設定のしかた 128ページ）放送の視聴年齢制限が本機で設定した視聴可能年齢よりも高いとき、暗証番号を入力しないと視聴できなくする機能です。
- 視聴年齢制限のある番組を選ぶごとに暗証番号の入力が必要です。
- 視聴年齢制限のある番組を予約するときは暗証番号の入力が必要です。同様に入力してください。

字幕の設定

デジタル放送には字幕のついた番組があります。字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

字幕を表示するよう設定するには

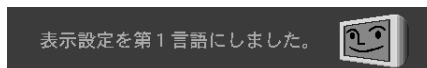
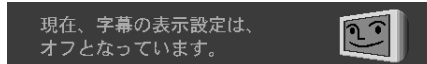
押して、
設定する

字幕ボタンを押すごとに字幕設定が変えられます。

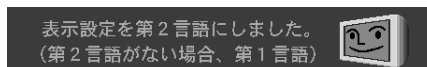
字幕が放送されているときは、「字」のマークが明るく表示されます。

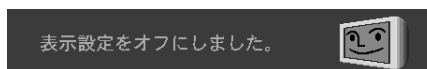
1. 字幕ボタンを押すと、そのときの字幕の設定が表示されます。お買い上げ時は字幕が出ない設定です。画面には「現在、字幕の表示設定は、オフとなっています。」と表示されます。

現在、字幕の表示設定は、
オフとなっています。

2. 表示が出ている間に字幕ボタンを押すと設定を変えることができます。１回押すと「表示設定を第１言語にしました。」と表示され、第１言語で字幕が表示される設定になります。

表示設定を第１言語にしました。

3. もう一度押すと、「表示設定を第２言語にしました。（第２言語がない場合、第１言語）」と表示され、第２言語で字幕が表示される設定になります。第２言語が放送にない場合は第１言語で表示されます。

表示設定を第２言語にしました。
（第２言語がない場合、第１言語）

4. さらに字幕ボタンを押すと、「表示設定をオフにしました。」と表示され、字幕が出ない設定に戻ります。

表示設定をオフにしました。

お知らせ

- 字幕の内容は番組によって異なります。
- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変えることはできません。

その他の放送サービスを利用する

デジタル放送では、デジタルの特長を生かしたさまざまな形の番組が放送できるようになっています。

緊急放送を見るには

災害などの緊急放送をよりすみやかに受信できるようにするため、次のようになっています。

「居住地域設定」をしてください

緊急放送は地域別に異なることがありますので、本機の購入・設置時に「居住地域設定」でお住いの地域を設定しておいてください。（☞248ページ）
設定しておかないと正しい緊急放送が受信できません。

受信中に緊急放送が始まると

受信中のデジタル放送で、予約番組の受信や、CH（チャンネル）固定をしていないときに緊急放送が始まると、画面に「緊急放送が始まりました。」と表示され、自動で緊急放送に切り換えます。

予約番組の受信やCH固定をしていないとき

緊急放送が始まりました。

緊急放送が始まったときは「緊急放送が始まりました。」と表示され、自動で緊急放送が選局されます。

受信中のデジタル放送で、予約番組の受信中や、CH（チャンネル）固定をしているときに緊急放送が始まると、画面に「緊急放送が始まりました。」というメッセージといっしょに、選局する/しないを選ぶ表示が出ます。◀▶ ボタンで「選局する」を黄色に変え決定ボタンを押すと選局することができます。

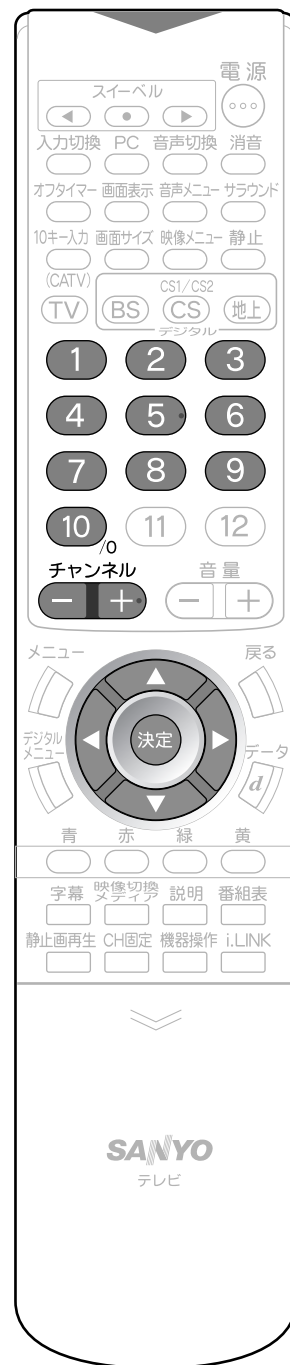
予約番組の受信やCH固定をしているとき

緊急放送が始まりました。
（選局するとチャンネル固定を解除します。）
選局する　選局しない

緊急放送が始まったときはメッセージが表示されます。「選局する」を選んで決定ボタンを押すと選局されます。

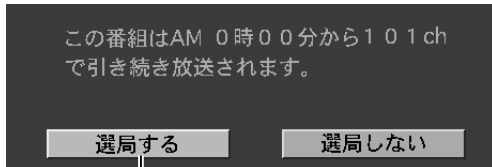
緊急放送が終了すると、緊急放送の前のチャンネルに自動で戻ります。画面には「緊急放送が終了しましたので前のチャンネルを選局します。」と表示されます。

お知らせ

- 緊急放送以外でも受信地域を限定した番組が放送される場合があります。「居住地域設定」が正しく設定されていないと選局できませんのでご注意ください。
- 緊急放送のときに自動選局したり、メッセージを表示したりするのは、デジタル放送を映しているときに限られます。

リレーサービスの番組を見るには

リレーサービスとは、番組の内容が予定の終了時間になっても終わらないとき、別のチャンネルで続きの放送を行うサービスです。リレーサービスがあるときは画面にメッセージが表示されます。

この番組はAM 0時00分から101ch
で引き続き放送されます。

選局する　選局しない

「選局する」を選んで決定ボタンを押すと選局されます。

◀▶ ボタンで「選局する」を選び、決定ボタンを押して選局する。

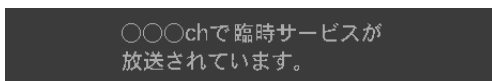
- リレーサービスが選局され番組の続きを見ることができます。選局しないときは「選局しない」を黄色にして決定ボタンを押します。

お知らせ

予約した番組の視聴や録画のとき、リレーサービスに追従させたり、させなかったりすることができます。
(131ページ。お買い上げ時は「追従する」)

臨時サービスの番組を見るには

放送中の番組に関連した臨時放送を別のチャンネルで放送することがあります。臨時放送が始まると画面に「○○○Ｃｈで臨時サービスが始まりました。」と表示されます。

○○○chで臨時サービスが
放送されています。

チャンネル－/＋ボタンを押して選局する。

- チャンネル－/＋ボタンを押して臨時放送が始まったチャンネルを選局すると、見ることができます。
- 10キー入力でも選局できます。

お知らせ

臨時放送が終了すると、臨時放送に変える前のチャンネルに自動で戻ります。画面には「臨時サービスが終了しましたので前のチャンネルを選局しました。」と表示されます。

ラジオ番組を聴くには

ＢＳデジタル放送や110度ＣＳデジタル放送ではテレビ放送だけでなく、音声によるラジオ放送（音声放送）も行われています。

チャンネル－／＋ボタンや番組表、10キー入力などでラジオ放送のチャンネルを選局する。

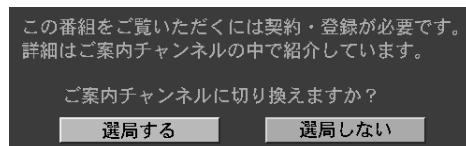
- ラジオ放送を受信すると「このチャンネルは、ラジオ放送です。」と表示されます。

ラジオ

- 画像があるラジオ番組のときは、画像データの取得後に画像が表示されます。
- 受信契約が必要な有料の放送局（未契約）を受信したときは「このチャンネルは契約されていません。」と画面にメッセージが表示されます。
- 後面のデジタル音声出力（光）端子にＭＤなどをつないで録音することができます。
  144ページ
  （ただし番組によっては録音できないものもあります。 148ページ）

契約・登録が必要なチャンネル

視聴するために契約や登録が必要なチャンネルを受信したときは、契約や登録をご案内するチャンネルの選局をうながす下のような画面が表示されることがあります。「選局する」を選んで決定を押すとご案内チャンネルを選局します。（ＣＡ代替サービス）

この番組をご覧いただくには契約・登録が必要です。
詳細はご案内チャンネルの中で紹介しています。
ご案内チャンネルに切り換えますか？
選局する　選局しない

※表示内容は番組によって異なります。

その他の放送サービスを利用する（つづき）

メディアを切り換えて見る

複数の映像やマルチビューの放送中でないときにリモコンの映像切換/メディアボタンを押すと、受信中のデジタル放送の、テレビ放送/ラジオ放送/データ放送の各メディアに切り換えることができます。

- 映像切換/メディアボタンを押したときに切り換わる各メディアのチャンネルは、選局していた番組によって変わります。

デジタルメニューで行う機能

デジタル放送の各種機能や設定は、デジタル放送専用の
デジタルメニュー画面で行うようになっています。

基本のデジタルメニュー操作

デジタル放送の応用機能や設定は、デジタル放送専用のデジタルメニュー画面で行います。ここでは基本の手順を説明します。（各設定の詳細は、それぞれのページで説明しています。）

デジタルメニュー画面

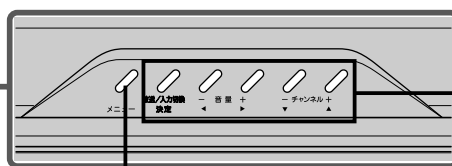
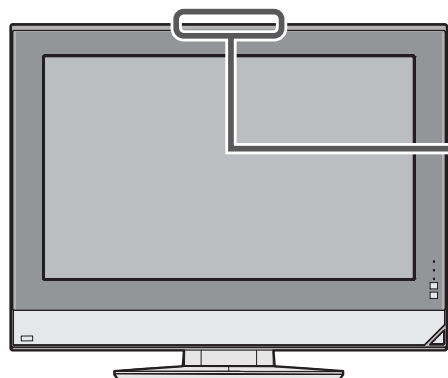
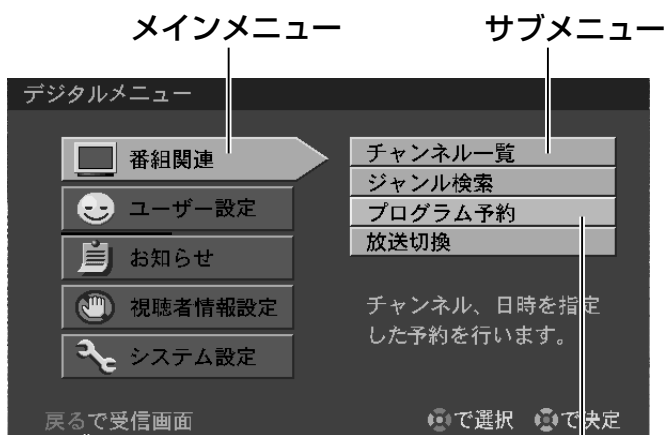
メインメニュー　サブメニュー

デジタルメニュー

- 番組関連
- ユーザー設定
- お知らせ
- 視聴者情報設定
- システム設定

- チャンネル一覧
- ジャンル検索
- プログラム予約
- 放送切換

チャンネル、日時を指定した予約を行います。

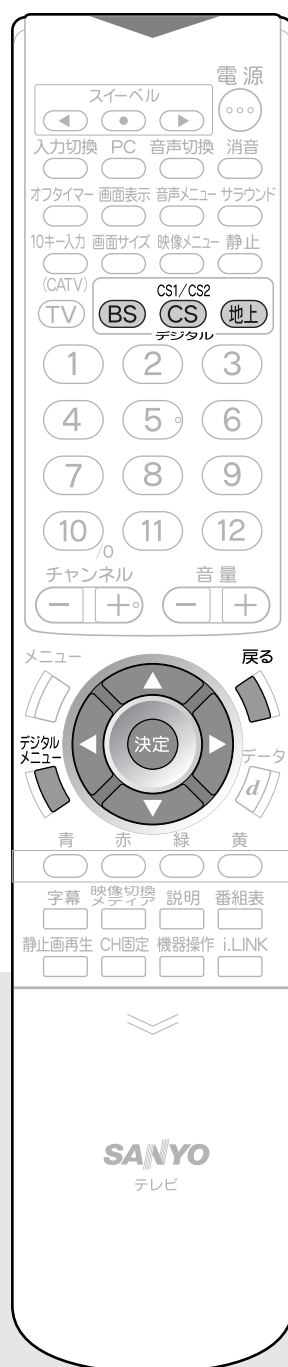
戻るで受信画面　で選択　で決定

ガイド表示
操作方法を案内します。

選んだメニューは
黄色で表示されます。

（例）番組関連メニューの「プログラム予約」画面

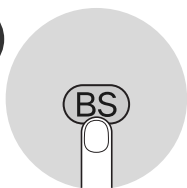
プログラム予約　BS　103　LOGO
12月10日（木）AM 10:00～ AM 11:00　PM 11:37
チャンネル名：ＢＳ○○

予約チャンネル	ＢＳ○○
予約日（曜日）	１２／１０（木）
予約開始時間	AM １０：００
予約終了時間	AM １１：００
次画面	

戻るで前画面　で選択　で決定

ご注意

- デジタルメニューは、メニュー（46ページ）のように、操作がないときに自動で消えることはありません。液晶ディスプレイパネルの焼き付きを防ぐため、表示したまま放置しないでください。

※図で濃く表示しているのが操作に使うボタンです。

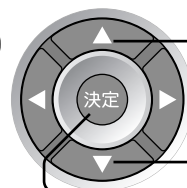
❶

押して、希望のデジタル放送画面に切り換える

- デジタルメニューには、ＢＳ/ＣＳ１/ＣＳ２/地上の各デジタル放送で別々に働く機能と、共通に働く機能があります。
  別々に働く機能の場合は希望のデジタル放送に切り換えてください。

❷

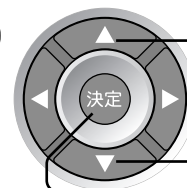
押す

- デジタルメニューが表示されます。一番下のガイド表示を操作のめやすにしてください。

❸

押して、希望のメニューを選び、

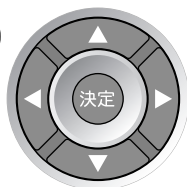
決定を押す

- 選んだメニューは黄色で表示されます。
- サブメニューの一番上が黄色で表示され、サブメニューが選べる状態になります。

❹

押して、希望のサブメニューを選び、

決定を押す

- 選んだサブメニューの設定画面が表示されます。

❺

カーソルボタンで選ぶ、決定ボタンで決定する、を繰り返して設定する

- 表示されたメニュー画面内で設定を行います。
  使うボタンや操作方法が、ガイド表示やメッセージで表示されますので参考にしてください。

■操作を中止・終了するときは

デジタルメニューボタンを押すと、デジタルメニュー画面が消えて、操作を中止・終了できます。

■前のメニューに戻るときは

- 「戻る」ボタンを押すと前のメニューに戻ることができます。
- 画面のガイド表示に「戻るで前画面」というふうに表示されますので参考にしてください。

■メニューが暗く表示されるときは

そのときどきの状況によって操作を禁止しているメニューは暗く表示されます。暗く表示されたメニューは選ぶことができません。
（▲▼ボタンを押したときは飛び越します）

テレビ本体でメニュー操作するとき

デジタル放送の画面のときは、テレビ本体のメニューボタンがデジタルメニューボタンの働きをします。放送／入力切換ボタンでデジタル放送の画面に切り換えてメニューボタンを押すと、デジタルメニューが表示されます。デジタルメニューの表示中は入力切換ボタンが「決定」に、音量−/＋ボタンが ◀▶、チャンネル−/＋ボタンが ▼▲ の働きに変わります。

お知らせ

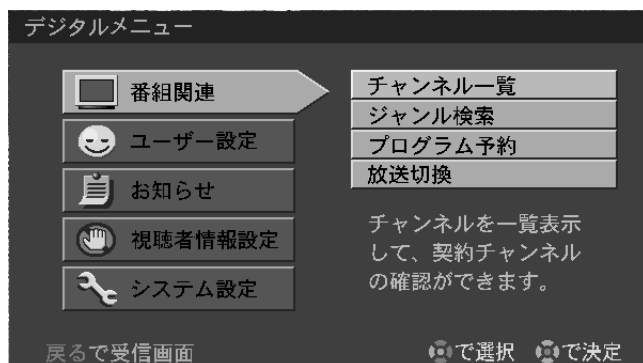
- デジタルメニューによっては、カラーボタン（青、赤、緑、黄）やチャンネル1〜12ボタンを使用するものがあります。
- デジタルメニューによっては、テレビ本体のボタンだけでは設定できないものがあります。

ご注意

- デジタル放送が受信できない、または受信状態がよくないときは、デジタルメニューが表示できなかったり、選べるメニューが制限されたりすることがあります。

基本のデジタルメニュー操作（つづき）

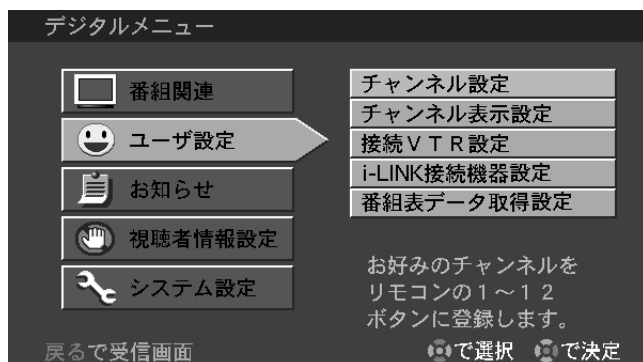
デジタルメニュー一覧

番組関連

●**チャンネル一覧**　☞110ページ
受信できるチャンネルを一覧表示します。

●**ジャンル検索**　☞112ページ
指定したジャンルの番組を検索して一覧表示します。

●**プログラム予約**　☞114ページ
番組単位ではなく、時間帯を指定して予約することができます。

●**放送切換**　☞111ページ
デジタルメニューでBS/CS1/CS2/地上のデジタル放送を切り換えることができます。

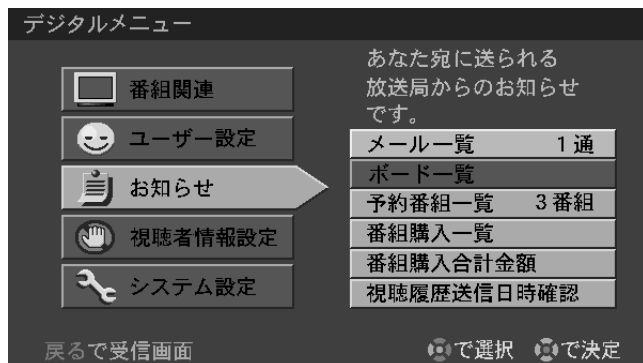
ユーザー設定

●**チャンネル設定**　☞117、260ページ
１～１２ボタンのチャンネル登録を変更することができます。

●**チャンネル表示設定**　☞118ページ
選局したときに画面に出る表示の種類を選ぶことができます。

●**接続ＶＴＲ設定**　☞242ページ
付属のビデオコントローラーを使ってデジタル放送を予約録画するときに行う設定です。

●**i.LINK接続機器設定**　☞156ページ

●**番組表データ取得設定**　☞119ページ
受信中の放送に番組表のデータがないとき、自動でチャンネルを切り換えてデータ取得する／しないを設定します。

お知らせ

●**メール一覧**　☞120ページ
放送局から届いたメールを見る機能です。

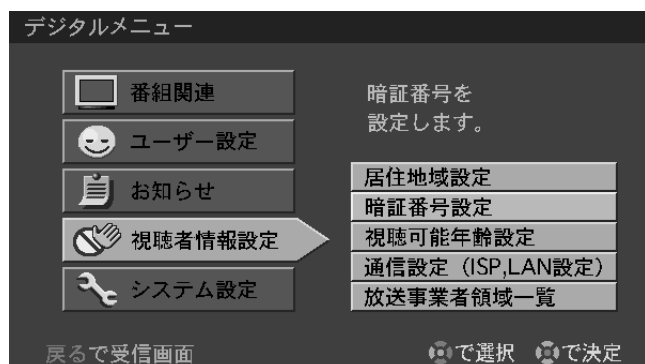
●**ボード一覧**　☞121ページ
110度CSデジタル放送局から届くボード（お知らせ）を見る機能です。

●**予約番組一覧**　☞122ページ
予約している番組を一覧表示します。

●**番組購入一覧**　☞123ページ
購入した番組の記一覧を見ることができます。

●**番組購入合計金額**　☞124ページ
購入した有料番組（PPV）の合計金額を見ることができます。

●**視聴履歴送信日時確認**　☞126ページ
有料番組の視聴履歴を送信する日時を確認できます。

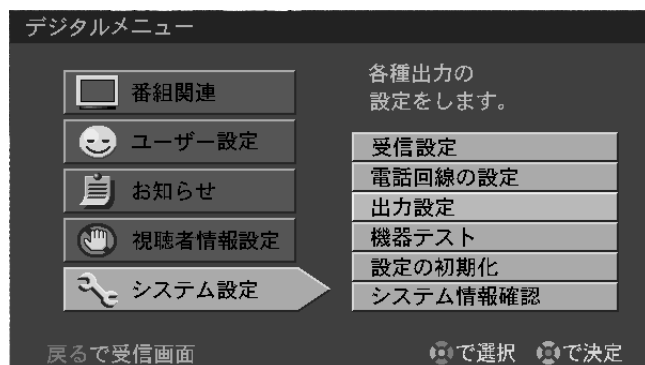
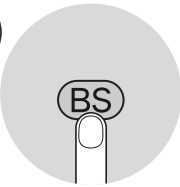
視聴者情報設定

●**居住地域設定** ☞248ページ
地域限定番組や緊急放送、地上デジタル放送に対応するため、お住まいの地域を設定します。

●**暗証番号設定** ☞127ページ
年齢制限のある番組の視聴や予約に必要な暗証番号を設定します。

●**視聴可能年齢設定** ☞128ページ
視聴可能年齢の設定をします。

●**通信設定（ISP,LAN設定）**
☞264、274ページ
インターネット・サービス・プロバイダー（ISP）の設定を行います。

●**放送事業者領域一覧** ☞259ページ
データ取得した地上デジタル放送の放送事業者を一覧表示します。

システム設定

●**受信設定** ☞232、252ページ
BS/CS1/CS2/地上デジタル放送の受信に必要な設定を行います。

●**電話回線の設定** ☞236ページ
有料番組の受信やデータ放送の双方向サービスに必要な電話回線の設定をします。

●**出力設定** ☞130ページ
録画などのための映像や音声の出力を設定します。

●**機器テスト** ☞295ページ
B-CASカード、モデムのテストを行います。

●**設定の初期化** ☞290ページ
デジタル放送に関する各種の設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

●**システム情報確認** ☞286ページ
搭載しているソフトウェアのバージョンを確認するときに使います。

チャンネルの一覧表を見る（チャンネル一覧）

ＢＳ/ＣＳ１/ＣＳ２/地上それぞれのデジタル放送で、そのとき放送しているチャンネルをリストで表示します。リストから選局したり、情報を見たりできます。

チャンネル一覧の見かた

1 チャンネル一覧を見たいデジタル放送の画面に切り換える

（例：BSデジタル放送のとき）

2 押して、デジタルメニューを出す

3 押して、「番組関連」を選び、

決定を押す

4 押して、「チャンネル一覧」を選び、

決定を押す

- 受信中のデジタル放送のチャンネル一覧画面が表示されます。そのとき選局しているチャンネルが一番上に表示されます。

デジタルメニュー画面

「チャンネル一覧」を選んで決定

チャンネル一覧の画面

選んだチャンネルでそのとき放送中の番組を表示します。

チャンネル名

チャンネルのロゴマーク

チャンネル番号

●の中の文字は「無」が無料放送を表すなど、放送の種類を知らせます。
無 ... 無料放送
契 ... 契約チャンネル（契約済み）
未 ... 契約チャンネル（未契約）

前後のチャンネルを見るとき

▼▲ボタンで前後のチャンネルを見られます。

離れたチャンネルを表示させるとき

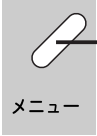
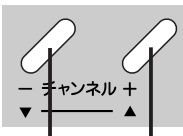
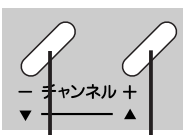
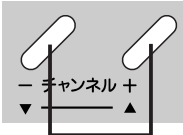
リモコンの1～10ボタンでチャンネル番号を入力すると、入力したチャンネルからの一覧が表示されます。

チャンネル一覧から受信するとき

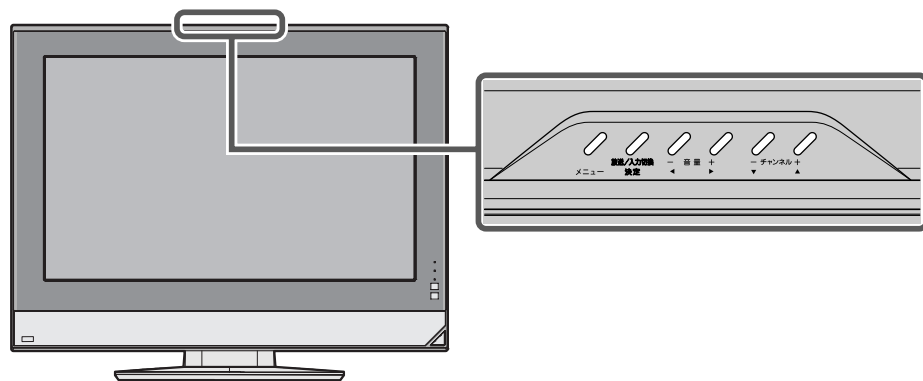
▼▲ボタンで希望の番組を黄色に変えて決定ボタンを押すと選んだチャンネルを受信します。

メディア別のチャンネル一覧を見るとき

映像切換ボタンを押すごとにテレビ/データなど、メディアごとのチャンネル一覧を見ることができます。

お知らせ

- 地上デジタル放送のチャンネル情報を表示させるにはデータ取得が必要な場合があります。画面の表示にしたがい（黄）ボタンを押すなどすると取得・表示できます。データ取得中は背景と音が消えます。

テレビ本体で放送を切り換える（放送切換）

リモコンが手元にないときなど、テレビ本体のボタンでデジタル放送を切り換えるときは、デジタルメニューの「放送切換」を使って次のように行います。

放送切換のしかた

1 押して、デジタルメニューを出す

（デジタルメニュー画面）

「放送切換」を選んで決定

2

押して、「番組関連」を選び、

決定を押す

3

押して、「放送切換」を選び、

決定を2回押す

- 放送切換の画面が表示されます。

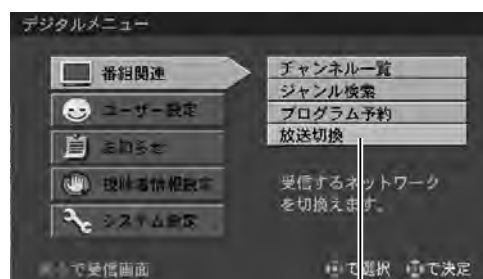
（放送切換の画面）

決定（入力切換）ボタンを2回押す

4

押して、希望のデジタル放送を選び、

決定を押す

- 選んだデジタル放送に切り換わります。

＊

希望の放送を選んで決定

＊110度CSデジタル放送の表示は変更になる場合があります。

デジタルメニューで行う機能

ジャンルで番組を探す（ジャンル検索）

それぞれのデジタル放送で行われているテレビ放送番組から、ジャンル別に番組をさがすことができます。
（注. データ放送、ラジオ放送の番組はジャンル検索できません）

ジャンル検索のしかた

1 検索したいデジタル放送の画面に切り換える

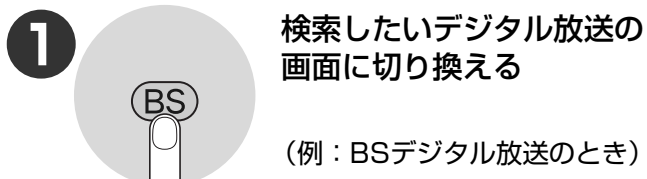
（例：BSデジタル放送のとき）

2 押して、デジタルメニューを出す

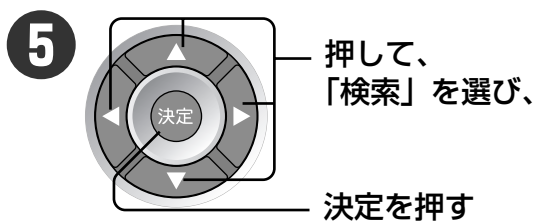
3 押して、「番組関連」を選び、

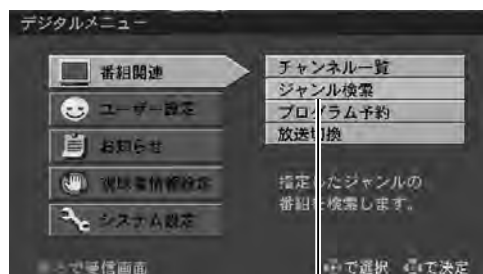
決定を押す

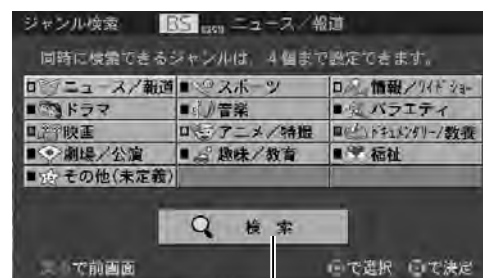
4 押して、「ジャンル検索」を選び、

決定を押す

- ジャンル検索の画面が表示されます。（図はBSデジタル放送または110度CSのとき）

5 押して、「検索」を選び、

決定を押す

- 受信中のデジタル放送の番組をジャンル検索した結果が表示されます。複数のチャンネルで同じ番組が放送される場合は、優先チャンネルのみが表示されます。

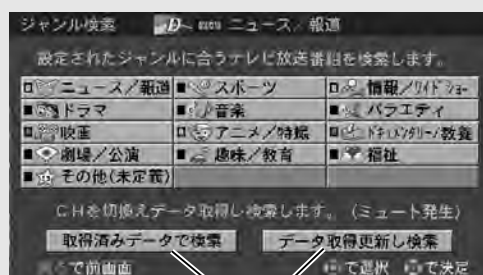
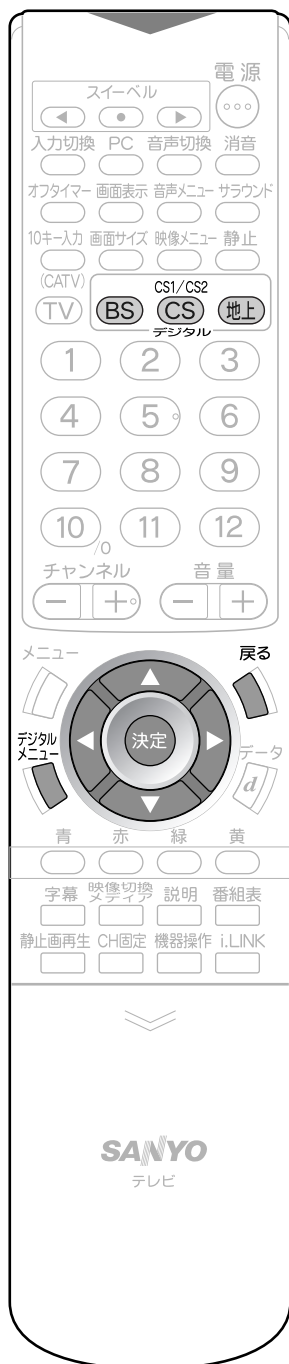
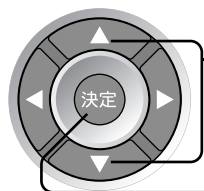
デジタルメニュー画面

「ジャンル検索」を選んで決定

ジャンル検索の画面

「検索」を選んで決定

ジャンル検索の結果画面

検索中の時間帯を表示。
検索が終わると「取得結果」と表示

地上デジタル放送のとき

- 地上デジタル放送では、そのとき受信しているチャンネルのデータしか取得・更新できないため、テレビのスタンバイ時にチャンネルをサーチし、データを取得して蓄積する仕組みになっています。地上デジタル放送でジャンル検索画面を出したときは、「取得済みデータで検索」と「データ取得更新し検索」のボタンが表示されます。選んで決定ボタンを押すと検索が始まります。
- 「取得済みデータで検索」の場合、取得済みのデータで検索しますので、最新の放送内容と異なることがあります。
- 「データ取得更新し検索」では、データ取得中は背景の映像や音声は消えます。またデータ取得と検索には時間がかかる場合があります。

どちらかを選んで決定

検索結果画面から受信するとき

押して、希望の番組を選び、

決定を押す

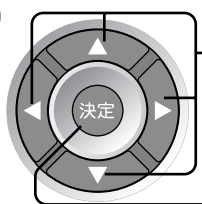
- 受信画面または予約画面になります。
- 番組情報が見たいときは「説明」ボタンを押します。

ジャンル検索の結果画面

希望の番組を選んで決定

ジャンルの設定を変えるには

お買い上げ時、ジャンルは「ニュース／報道」、「ドラマ」、「映画」、「スポーツ」に設定されていますが、ご希望のジャンルに設定を変えることができます。設定できるジャンルは４つまでです。

1

押して、設定を取り消すジャンルを選び、

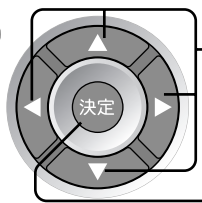
決定を押す

- 四角が青で表示されているものが選ばれているジャンルです。まず選ぶのをやめるジャンルを黄色に変えて決定を押します。四角が青から黒に変わりジャンルの選択からはずれます。

ジャンル検索の画面

選んで決定を押す

□青：選ばれている状態
■黒：選ばれていない状態

2

押して、新しく設定するジャンルを選び、

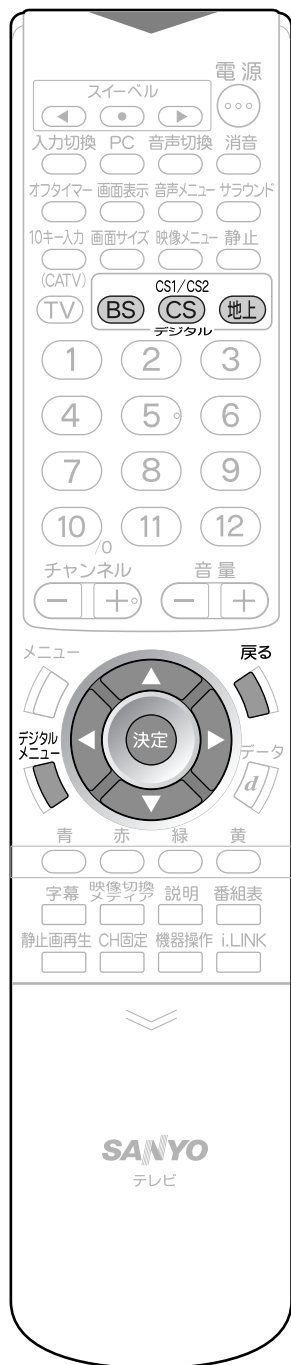
決定を押す

- 選んだジャンルの四角が青に変わり、新しいジャンルとして設定されます。
- 4つを超えてジャンルを設定しようとすると「ジャンルの登録数は、最大４個となっています。」と表示されます。

お知らせ

- 検索には受信の状況によって多少の時間がかかります。
- 検索結果画面で▼ボタンを押すと将来の番組も表示されます。
- ジャンル検索画面に登録したジャンルの番組は、番組ガイドを表示したときに緑で表示されます。
- 画面に「（赤）で３時間後」と表示されるときは、リモコンの赤ボタンを押すと３時間後の検索結果が表示されます。画面に「（青）で３時間前」と表示されるときは、リモコンの青ボタンを押すと３時間前の検索結果に戻ります。
- 番組のジャンル分けは放送側で行われています。

日時を指定して予約する（プログラム予約）

本機には番組ごとに予約する機能の他に、チャンネルと日時を指定して予約できるプログラム予約機能があります。プログラム予約を使うと毎週放送される連続ドラマなどを予約することもできます。

プログラム予約は、番組表からの予約（最大16個）とは別に最大8個まで予約できます。

プログラム予約のしかた

1

予約する番組が放送されるデジタル放送の画面に切り換える

（例：BSデジタル放送のとき）

2

押して、デジタルメニューを出す

3

押して、「番組関連」を選び、

決定を押す

4

押して、「プログラム予約」を選び、

決定を押す

デジタルメニュー画面

「プログラム予約」を選んで決定

- プログラム予約の画面が表示されます。

5

押して、設定する項目を選び、

決定を押す

6

押して、項目を設定し、

決定を押す

プログラム予約の画面

- 操作❺、❻を繰り返して各項目を設定します。

各項目の設定は右ページをご覧ください。

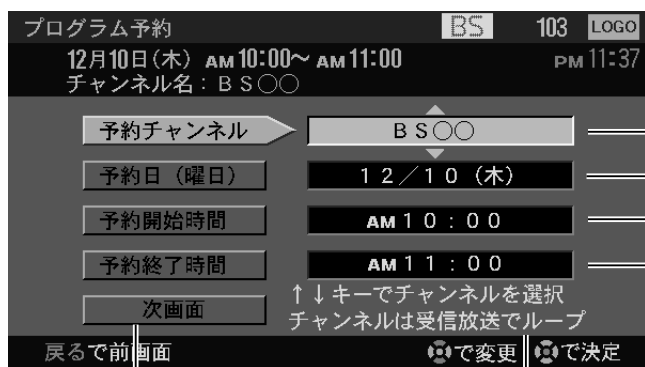
お知らせ

- 視聴予約のとき、録画予約のとき、実行中の予約を中止するときなど、「番組を予約する」のページもよくお読みください。（☞92〜96ページ）
- 予約の確認・変更・取消しは、デジタルメニューの「予約番組一覧」でできます。（☞122ページ）
- 「録画予約」、「視聴＋録画」では、番組表からの予約と同様、ビデオコントローラーによる予約録画ができます。

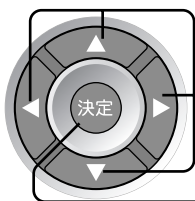
プログラム予約の画面

予約チャンネル
チャンネル－/＋ボタンで選局できるチャンネルを予約できます。

予約日
1ヶ月先まで予約できます。また、毎日、毎週（月～土）、毎週（月～金）、毎週（日～土の各日）に設定できます。

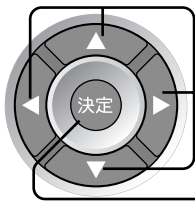
予約開始時間
予約終了時間
1分単位で設定できます。押し続けると15分ずつ進みます。開始～終了までの時間は23時間59分が上限です。翌日の時刻のときは「翌日」と表示されます。

次画面
各項目の設定が終わったら、「次画面」を選んで決定ボタンを押します。

設定方法のガイドが表示されます

7

各項目の設定を終えたら、押して「次画面」を選び、

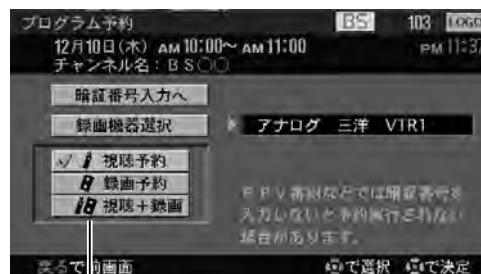
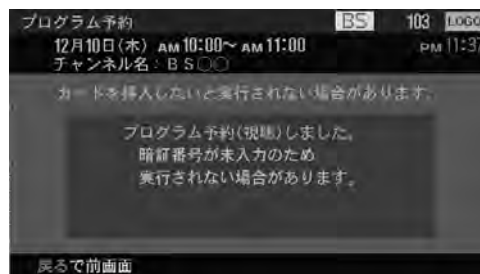
決定を押す

- 予約の種類を選ぶ画面が表示されます。
- 暗証番号入力が必要なとき 116ページ
- i.LINK機器を接続している 116ページ

8

押して、希望の予約方法を選び、

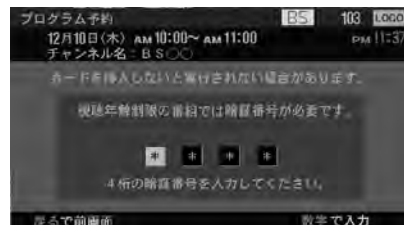
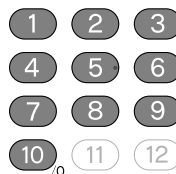
決定を押す

- 「プログラム予約（＊＊＊）しました。」と数秒表示され、プログラム予約画面に戻ります。（＊には予約の種類を表示）

次画面の画面

予約方法を選んで決定

- i.LINK端子にD-VHSビデオなどを接続している場合は、i.LINK接続によるデジタル予約録画ができます。

日時を指定して予約する（プログラム予約）（つづき）

暗証番号の入力が必要なとき

有料番組（PPV番組）や、視聴年齢制限がある番組では暗証番号を入力しないと予約が実行されないことがあります。このような番組を予約するときは「次画面」で「暗証番号入力へ」を選んで決定ボタンを押すと暗証番号を入力する画面になりますので、リモコンの1～10ボタンで入力してください。なお、事前に暗証番号が登録されていない場合は「現在、暗証番号が未登録です。...」と表示されますので、登録してからプログラム予約をやり直してください。（☞127ページ）暗証番号がいらない通常の番組のプログラム予約には暗証番号の入力は必要ありません。

D-VHSビデオなどのi.LINK機器を接続・登録しているとき

予約画面の「録画機器選択」は、「録画予約」または「視聴＋録画」で予約録画するときの録画機器を選択する項目です。本機にD-VHSビデオなどのi.LINK機器を接続して録画再生機器として登録しているときは、予約画面を出したときに「録画機器選択」が自動的にi.LINK機器に指定されます。ふつうのビデオなどi.LINK機器以外の機器で予約録画するときは、その都度「録画機器選択」をビデオなどのアナログ機器に変更してください。

お知らせ

- 「録画機器選択」は、i.LINK機器が登録されていない状態では選べません。i.LINK機器を登録していないときは「録画機器選択」がアナログ機器に固定されますので選択する必要はありません。

録画機器選択は、予約方法を選ぶ前に行ってください。

録画機器選択の設定

❶

押して、「録画機器選択」を選び、

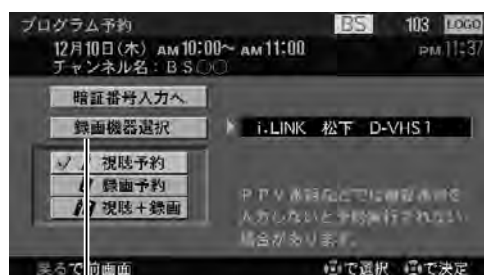
決定を押す

❷

押して、録画する機器を選び、

決定を押す

- 「録画機器選択」を設定したら、続けて「録画予約」または「視聴＋録画」を選んで予約します。☞115ページ

次画面の画面

「録画機器選択」を選んで決定

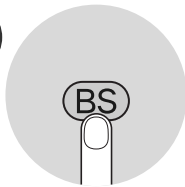
録画機器を選んで決定

チャンネルの設定を変える（チャンネル設定）BS・110度CSのとき

リモコンのチャンネル１～１２ボタンに設定されているチャンネルを確認したり変更することができます。
※地上デジタル放送のチャンネル設定については、260ページをご覧ください。

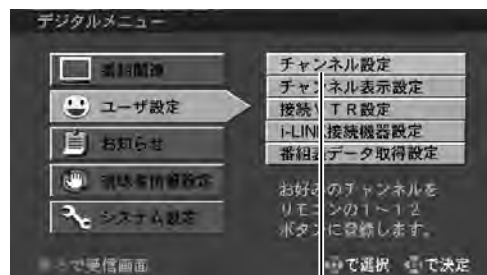
チャンネル設定のしかた

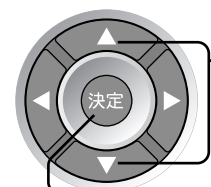
1

チャンネル設定を変えたいデジタル放送の画面に切り換える

（例：BSデジタルのとき）

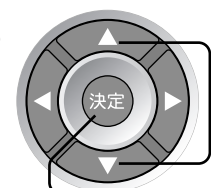
2 デジタルメニュー

押して、デジタルメニューを出す

デジタルメニュー画面

「チャンネル設定」を選んで決定

3 押して、「ユーザー設定」を選び、

決定を押す

4 押して、「チャンネル設定」を選び、

決定を押す

- チャンネル設定の画面が表示されます。1～12のボタンに設定されているチャンネルを確認できます。

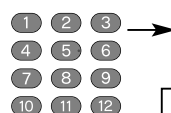
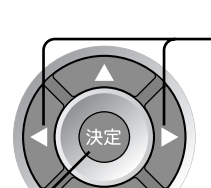
チャンネル設定画面

◀ ▶ボタンで設定するボタンを選んで決定

チャンネルボタンの1～12

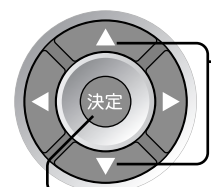
▼▲ ボタンで設定するチャンネルを選んで決定

設定されているチャンネルは■が青で表示されます

5

押して、設定を変えるボタンを選び、

決定または▼を押す

- 画面上の1～12の中でチャンネルを変えるボタンを黄色に変えます。
- 決定または▼ボタンを押すと、▼▲ボタンでチャンネルのリストを見ることができるようになります。

6

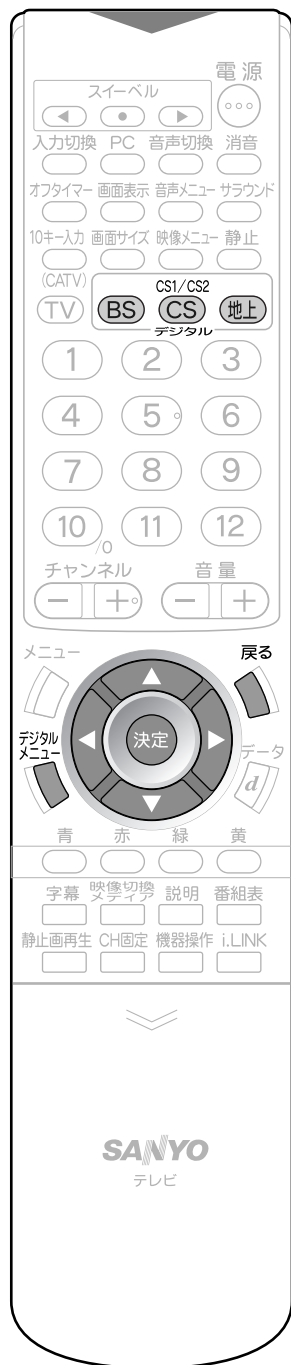
押して、新しく設定するチャンネルを選び、

決定を押す

- 選んだチャンネルが設定されます。
- ボタンに登録されているのと同じチャンネルを選んで決定を押すと登録がない状態にすることができます。

他のボタンにも設定するときは操作**5**、**6**をくり返します。

デジタルメニューで行う機能

チャンネルの表示を変える（チャンネル表示設定）

デジタル放送を受信したとき画面に現れる表示を、大/小/表示しない、に切り換えることができます。

チャンネル表示設定のしかた

1

押して、デジタルメニューを出す

2

押して、「ユーザー設定」を選び、

決定を押す

3

押して、「チャンネル表示設定」を選び、

決定を押す

● チャンネル表示設定の画面が表示されます。

デジタルメニュー画面

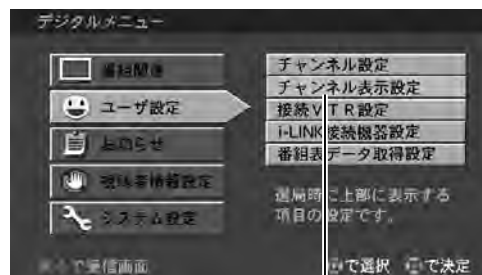
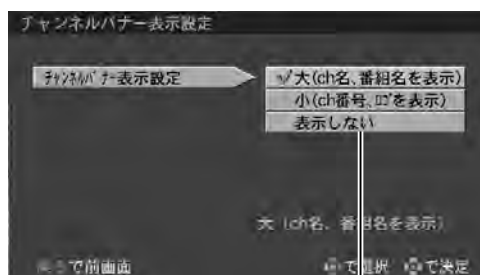
「チャンネル表示設定」を選んで決定

4

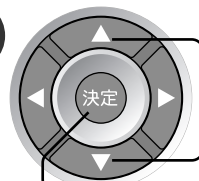
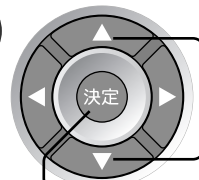
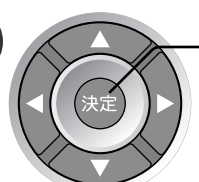
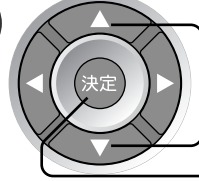
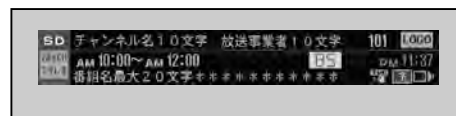
もう一度決定を押す

5

押して、希望の表示方法を選び、

決定を押す

チャンネル表示設定の画面

表示方法を選んで決定

「大」に設定
チャンネル名、番組名など、番組の情報を表示します。

「小」に設定
チャンネル名と放送局のロゴマークを表示します。

「表示しない」に設定
選局しても表示が出なくなります。

番組表などのデータ取得に関する設定（番組表データ取得設定）

地上デジタル放送では、受信中のチャンネル以外のデータが取得できないため、番組表などを表示させるときにデータ取得が必要になることがあります。「番組表データ取得設定」は、これを自動で行う設定です。

番組表の設定のしかた

1

押して、デジタルメニューを出す

2

押して、「ユーザー設定」を選び、

決定を押す

3

押して、「番組表データ取得設定」を選び、

決定を押す

- 番組表データ取得設定の画面が表示されます。

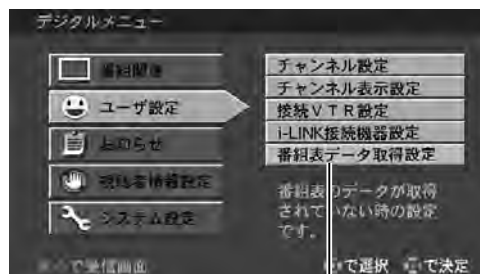
4

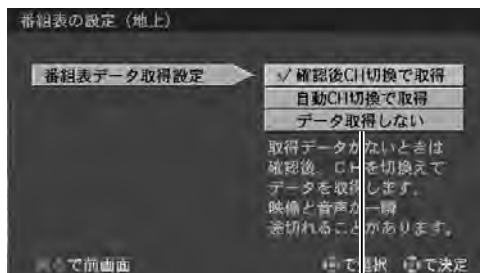
もう一度決定を押す

5

押して、希望の設定を選び、

決定を押す

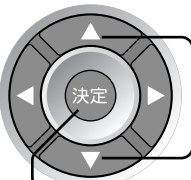
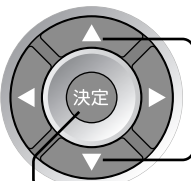
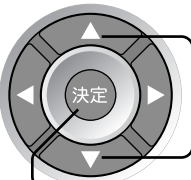
デジタルメニュー画面

「番組表データ取得設定」を選んで決定

番組表の設定の画面

選んで決定

「確認後CH切換で取得」に設定したとき

- 地上デジタル放送で番組表を出したときなどで取得データがないときは、データ取得のためチャンネルを切り換えることを確認するメッセージが表示されます。メッセージにしたがって（黄）ボタンなどを押すとチャンネルを切り換えてデータ取得を行います。

「自動CH切換で取得」に設定したとき

- 地上デジタル放送で番組表を出したときなどで取得データがないときは、自動でチャンネルを切り換えてデータ取得を行います。

「データ取得しない」に設定したとき

- 地上デジタル放送で番組表を出したときなどで、取得データがなく、表示されない場合でもデータ取得を行いません。

- データ取得中は背景の映像や音声が消えます。また、データ取得には時間がかかる場合があります。

放送局からのメールを見る（メール一覧）

デジタル放送では、放送局から連絡などのメールが届くことがあります。
見るときは次のようにします。

メールの見かた

❶
押して、デジタルメニューを出す

デジタルメニュー画面

「メール一覧」を選んで決定

❷
押して、「お知らせ」を選び、

決定を押す

❸
押して、「メール一覧」を選び、

決定を押す

● メール一覧の画面が表示されます。

メール一覧の画面

読むメールを選んで決定

❹
押して、読みたいメールを選び、

決定を押す

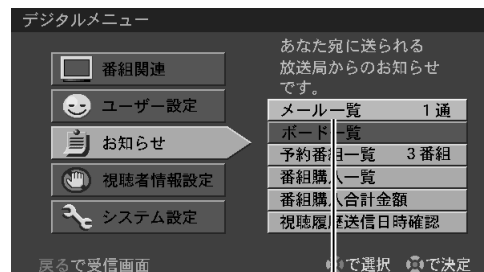
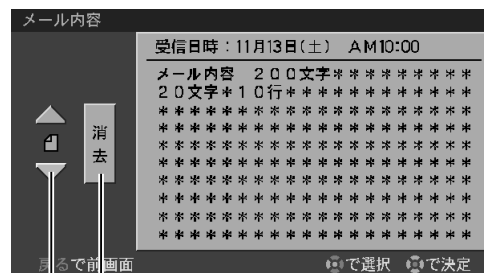
● 選んだメールの内容が表示されます。

メール内容の画面

消去

ページマーク

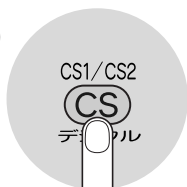
続きを読むとき/消去するとき

● ページマークが表示されるときは、▼ボタンを押すと続きの内容が表示されます。▲ボタンを押すと前の内容に戻ります。
● メールを消すときは◀ ▶ボタンで「消去」を選んで決定ボタンを押します。

お知らせ

● 本機で受信できるメールは31通までです。
● メールには、視聴履歴送信の失敗などのトラブルを知らせるものや、衛星ダウンロードを知らせるものなどがあります。
● 出荷時にお客様ご登録カードの返送をお願いするメールを設定しています。このメールは消去できません。（☞28ページ）

110度CSのお知らせを見る（ボード一覧）

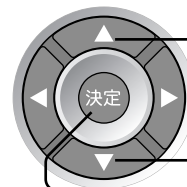
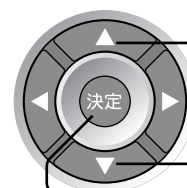
ボード（掲示板）は、110度CSデジタル放送局から全員に送られてくるお知らせです。
見るときは次のようにします。

ボードの見かた

❶
押して、ボードを見たい110度CSデジタル放送に切り換える（CS1/CS2）

❷
押して、デジタルメニューを出す

デジタルメニュー画面

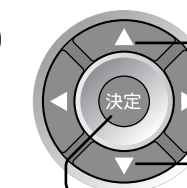
「ボード一覧」を選んで決定

❸
押して、「お知らせ」を選び、

決定を押す

❹
押して、「ボード一覧」を選び、

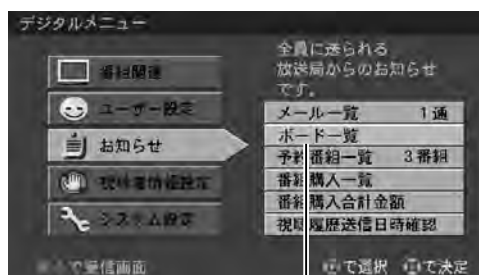
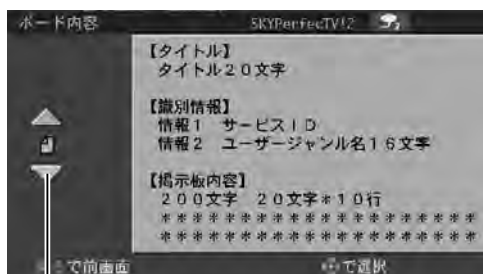
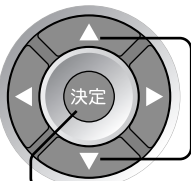
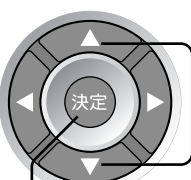
決定を押す

- ボード一覧の画面が表示されます。
- データ取得中は「データ取得中」と表示されます。
- ボードがないときは「ボードはありません」と表示されます。

ボード一覧の画面

読むボードを選んで決定

❺
押して、読みたいボードを選び、

決定を押す

- 選んだボードの内容が表示されます。
- ページマークが表示されるときは、▼ボタンを押すと続きの内容が表示されます。▲ボタンを押すと前の内容に戻ります。

ボード内容の画面

ページマーク

お知らせ

- BSデジタル放送、地上デジタル放送にボードはありません。これらの放送画面で「お知らせ」メニューを出したときは「ボード一覧」が暗く表示され、選ぶことはできません。
- データ取得には時間がかかる場合があります。またデータ取得中は背景の映像と音声が消える場合があります。

予約番組の一覧表を見る（予約番組一覧）

予約した番組を一覧表で見ることができます。一覧表から予約の変更や取り消しもできます。

予約番組一覧の見かた

❶

押して、デジタルメニューを出す

❷

押して、「お知らせ」を選び、

決定を押す

❸

押して、「予約番組一覧」を選び、

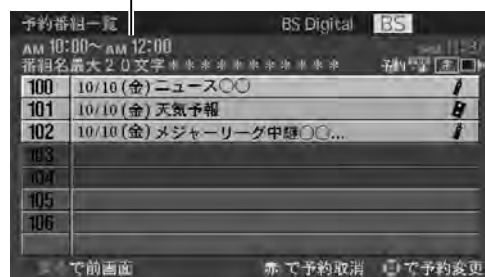
決定を押す

- 予約番組一覧の画面が表示されます。
- ▼▲ボタンで番組を選ぶと画面上部に番組名と放送時間が表示されて確認できます。
- 予約番組一覧画面には、各デジタル放送の予約番組がいっしょに表示されます。
- プログラム予約で予約した内容は【プログラム予約】と表示されます。
- 実行を中止した予約などには「破棄」と表示され、ガイド表示に理由が表示されます。

デジタルメニュー画面

「予約番組一覧」を選んで決定

予約番組一覧の画面

選択中の予約番組の情報

予約の種類

予約の取消し画面

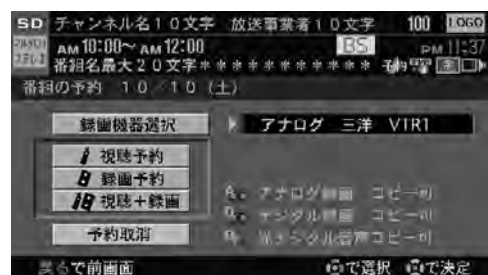
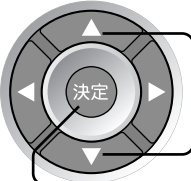
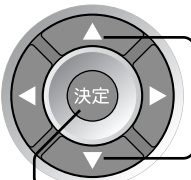
「はい」を選び決定を押すと取り消し

一覧画面から予約を取消すには

▼▲ボタンで番組を選び、リモコンの赤ボタンを押すと取消しの確認画面が表示されます。◀▶ボタンで「はい」を選んで決定ボタンを押すと予約が取り消されます。「いいえ」を選んで決定ボタンを押すと取り消しを中止します。

一覧画面から予約を変更するには

- ▼▲ボタンで変更したい番組を選び、決定ボタンを押すと番組予約の画面が表示され、予約の種類を変更したり、予約を取消したりできます。
- プログラム予約のときは、プログラム予約の設定画面が表示されます。設定と同じ操作で内容の変更ができます。変更は「次画面」まで行ってください。
- 地上デジタル放送の予約を変更するにはチャンネルの切り換えとデータ取得が必要な場合がありますが自動で行います。

予約の変更画面

※番組表からの予約のとき

有料番組の購入一覧を見る（番組購入一覧）

有料番組（PPV番組）の購入記録を「番組購入一覧」画面で確認することができます。

番組購入一覧の見かた

1

押して、デジタルメニューを出す

2

押して、「お知らせ」を選び、

決定を押す

デジタルメニュー画面

「番組購入一覧」を選んで決定

3

押して、「番組購入一覧」を選び、

決定を押す

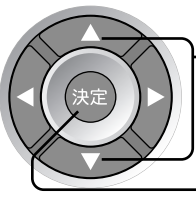
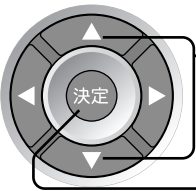
- 番組購入一覧画面が表示されます。
- 選んだ番組の放送時間・料金・番組名などが画面上部に表示されます。

番組購入一覧の画面

選択中の購入番組の情報

16番組を購入記録

放送を問わず16件の番組購入まで記録します。視聴記録が16以上になると古い記録から取り消されます。

←お知らせ（予約番組一覧について）

- プログラム予約で時間帯が重複したなどの理由で実行できない予約は、予約番組一覧画面で「重複　予約非実行」などと表示され、選択するとガイド表示に「(青）でモード変更」と表示されます。青ボタンを押すと「実行できるように変更しますか？　はい/いいえ」と表示されますので「はい」を選んで決定ボタンを押すと重なった予約を取り消す画面が表示されるなど、画面の指示にしたがって予約を実行できるようになります。

番組購入の合計金額を見る（番組購入合計金額）

購入した有料番組（PPV番組）の合計金額を見ることができます。また、前もって設定した限度額になるとメッセージを表示するよう設定することができます。（設定できる限度額の上限は10,000円です）

番組購入合計金額の見かた

1

押して、デジタルメニューを出す

2

押して、「お知らせ」を選び、

決定を押す

デジタルメニュー画面

「番組購入合計金額」を選んで決定

3

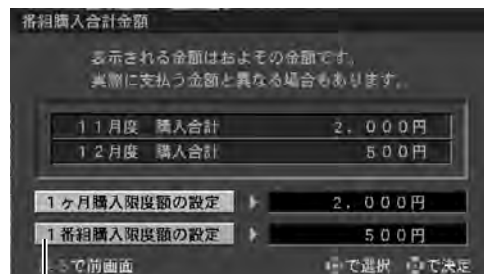
押して、「番組購入合計金額」を選び、

決定を押す

- 番組購入合計金額の画面が表示されます。
- デジタル放送の種類を問わず、本機で購入した番組の合計金額が表示されて確認できます。

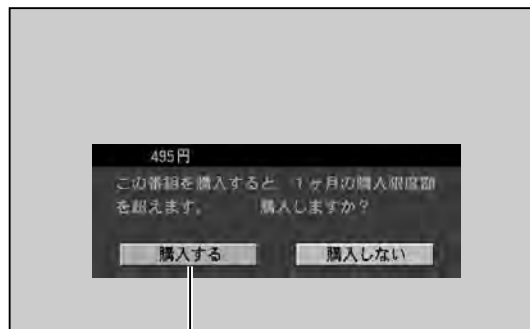
ご注意

表示される番組購入合計金額はおよその金額です。実際に支払う金額と異なる場合があります。

番組購入合計金額の画面

限度額を設定するときは、選んで決定

限度額を超えるときは

番組購入時、設定した限度額を超えるときに、右の図のようなメッセージが出て購入する／購入しないを問い合わせてきます。◀▶ボタンで選んで決定を押します。（限度額を超えても購入はできます）

限度額を超えることをお知らせします。

購入する/しないを選んで決定

1ケ月購入限度額を設定する

1ヶ月に購入する番組の限度額を設定しておき、限度額を超えるときは購入時にメッセージを出すことができます。

1

押して、「1ケ月購入限度額の設定」を選び、

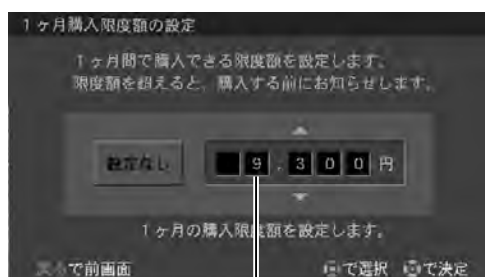
決定を押す

- 金額を設定する画面が表示されます。

2

押して、限度額を入力し、

決定を押す

- ▼▲ボタンを押すごとに100円単位で金額が増減します。
- 金額はチャンネル1～10ボタンでも入力できます（5桁で入力します）。

1ケ月購入限度額設定の画面

限度額を入力して決定

1番組購入限度額を設定する

番組1つに対する購入限度額を設定しておき、限度額を超えるときは購入時にメッセージを出すことができます。

1

押して、「1番組購入限度額の設定」を選び、

決定を押す

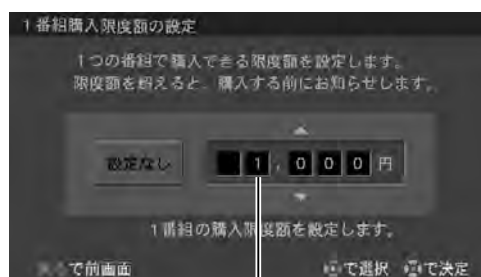
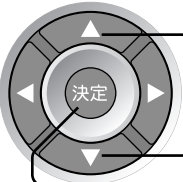
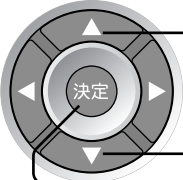
- 金額を設定する画面が表示されます。

2

押して、限度額を入力し、

決定を押す

- ▼▲ボタンを押すごとに100円単位で金額が増減します。
- 金額はチャンネル1～10ボタンでも入力できます（5桁で入力します）。

1番組購入限度額設定の画面

限度額を入力して決定

限度額の取り消しと変更

- 設定を取り消すときは、◀▶ボタンで「設定なし」を選んで決定ボタンを押します。設定を変更するときは、設定の手順で新しい限度額に変更します。
- 「設定なし」の状態から、金額を設定する状態に変えるときは、▶ボタンを押します。

視聴履歴の送信を確認する（視聴履歴送信日時確認）

視聴履歴（有料番組の購入記録）は、本機に差し込んだB-CASカードに記録され、電話回線を通じて自動的に放送局側に送信されます。送信される日時を確認することができます。

視聴履歴 送信日時確認の見かた

1

押して、デジタルメニューを出す

2

押して、「お知らせ」を選び、

決定を押す

デジタルメニュー画面

「視聴履歴　送信日時確認」を選んで決定

3

押して、「視聴履歴送信日時確認」を選び、

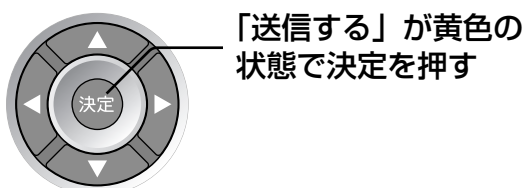
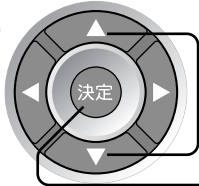
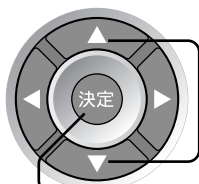
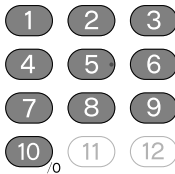
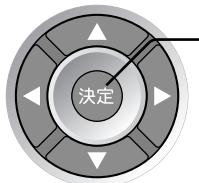
決定を押す

- 視聴履歴 送信日時確認の画面が表示されます。
- 送信の予定がないときは「現在、発呼予定は無しか、不明です。」と表示されます。

視聴履歴　送信日時確認の画面

手動送信するときは「送信する」を選んで決定

手動で視聴履歴を送信するには

「送信する」が黄色の状態で決定を押す

- 視聴履歴が送信されます。送信が完了するまでは約１分程度かかります。
- 送信できたときは「正常に視聴履歴を送信しました」と表示されます。
- 送信できなかったときは「視聴履歴を送信できませんでした」と表示されますので電話線の接続などを確認してやり直してください。

ご注意

- 手動で送信できないときは「現在、視聴履歴の送信はできません。」と表示されます。
- 視聴履歴が正しく送信されなかったときは「メール一覧」に「トラブルのお知らせ」が表示されます。Ｂ－ＣＡＳカードや電話線を確認してください。
- 視聴履歴の自動送信は、テレビ本体の電源スイッチを切っていたり、電源コードがコンセントから抜かれた状態ではできません。

暗証番号を設定する（暗証番号設定）

視聴可能年齢の設定などでは暗証番号が必要になりますので、４桁の数字を登録してください。

暗証番号設定のしかた

❶
押して、デジタルメニューを出す

デジタルメニュー画面

「暗証番号設定」を選んで決定

❷
押して、「視聴者情報設定」を選び、

決定を押す

❸
押して、「暗証番号設定」を選び、

決定を押す

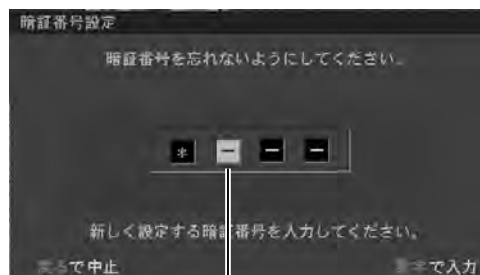
- 暗証番号を入力する画面が表示されます。

暗証番号の設定画面

もう一度決定を押す

❹ もう一度決定を押す
- 入力画面の1桁目が黄色になります。

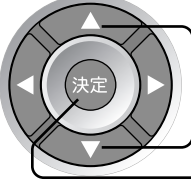
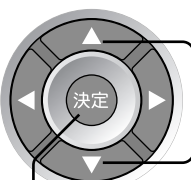
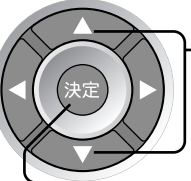
❺
押して、4桁の数字を入力する

- リモコンのチャンネル1～10ボタンで暗証番号を入力します。（0の入力は10ボタンで行います）

1～10ボタンで暗証番号（4桁の数字）を入力後、確認のためもう一度入力する

❻ 確認のため、もう一度同じ数字を入力する

❼
決定を押す

（設定終わり）

暗証番号を変えるとき

操作❶～❹の手順で「暗証番号設定」画面を出します。画面のガイドにしたがって登録済みの暗証番号をまず入力します。次に新しく登録する暗証番号を入力します。つづいて確認のために新しい暗証番号を再び入力し、決定ボタンを押すと変更されます。

- 暗証番号は忘れないようにしてください。
- 暗証番号を取り消すとき ☞292ページ

視聴年齢制限を設定する（視聴可能年齢設定）

年齢制限がある番組のとき、暗証番号を入力しないと見られないように設定できます。

視聴可能年齢設定のしかた

1 デジタルメニュー

押して、デジタルメニューを出す

2 押して、「視聴者情報設定」を選び、

決定を押す

3 押して、「視聴可能年齢設定」を選び、

決定を押す

- 視聴可能年齢設定の画面が表示されます。

4 もう一度決定を押す

- 暗証番号を入力する画面に変わります。

5 暗証番号を入力する

- リモコンのチャンネル1～10ボタンで暗証番号を入力します。
- 入力し終えると視聴可能年齢を設定する画面に変わります。

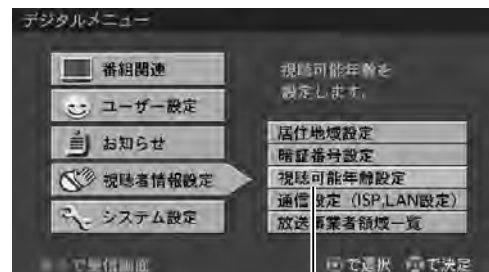
6 ▶ボタンを押す

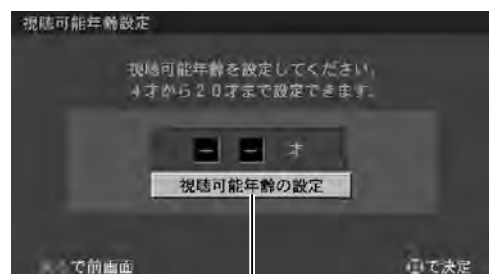
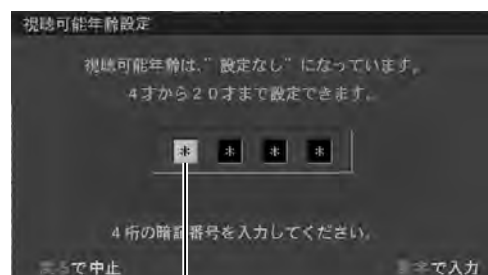
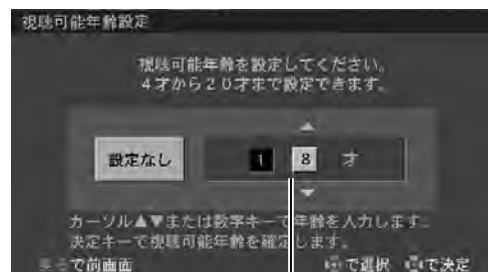
- 年齢を入力する部分が黄色に変わります。

7 押して、年齢を設定し、

決定を押す（設定終わり）

- ◀ ▶ボタンを押すと年齢を設定する部分が黄色になります。
- ▼▲ ボタンまたはチャンネル1～10ボタンで視聴可能年齢を入力します。
- 年齢は4才から20才まで設定できます。

デジタルメニュー画面

「視聴可能年齢設定」を選んで決定

視聴可能年齢設定の画面

もう一度決定を押す

1～10ボタンで暗証番号（4桁の数字）を入力

視聴可能年齢を入力して決定

視聴年齢制限のある番組の受信

設定した視聴可能年齢を上まわる年齢制限の番組を受信すると「視聴年齢制限のため視聴できません。暗証番号を入力して下さい。」と表示されます。暗証番号を入力すると視聴できるようになります。

視聴可能年齢の取り消しと変更

設定を取り消すときは、◀ ▶ボタンで「設定なし」を選んで決定ボタンを押します。設定を変更するときは、設定と同じ手順で新しい年齢に変更します。

デジタル放送の出力設定を変える

録画や録音のために本機から出力される信号や、デジタル放送で表示される画面の設定を変えることができます。
出力設定メニューには、次のようなものがあります。

- 時間変更予約設定
- リレーサービス追従設定
- 文字スーパー表示設定
- デジタル光出力設定
- CH固定時の光音声出力
- 番組ガイド背景色設定
- ユーザー表示色設定

出力設定のしかた

1

押して、デジタルメニューを出す

デジタルメニュー画面

「出力設定」を選んで決定

2

押して「システム設定」を選び、

決定を押す

3

押して、「出力設定」を選び、

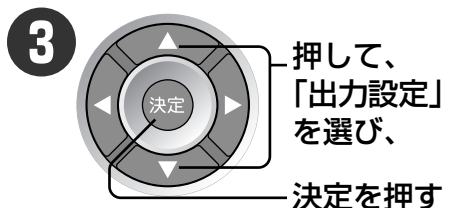
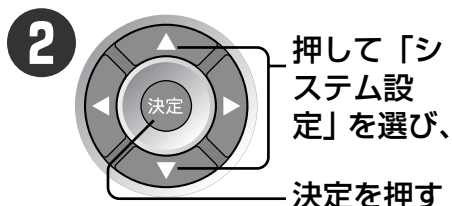
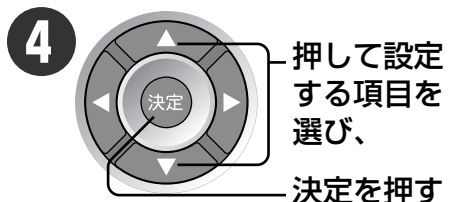
決定を押す

- 「出力設定」の画面が表示されます。

出力設定の画面

設定する項目を選んで決定

4

押して設定する項目を選び、

決定を押す

- そのときの設定にチェックマークが付いています。

（例）デジタル光出力設定のとき

5

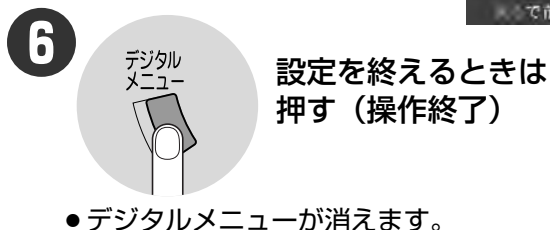
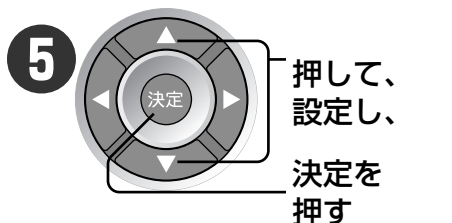
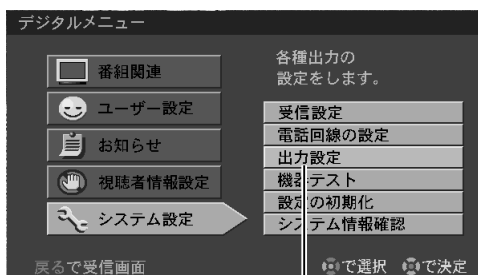
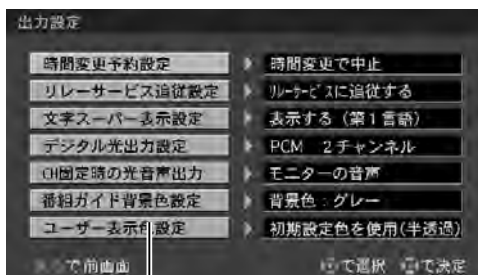
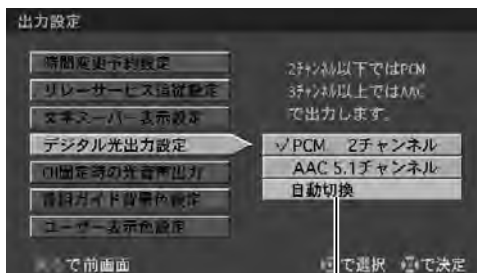
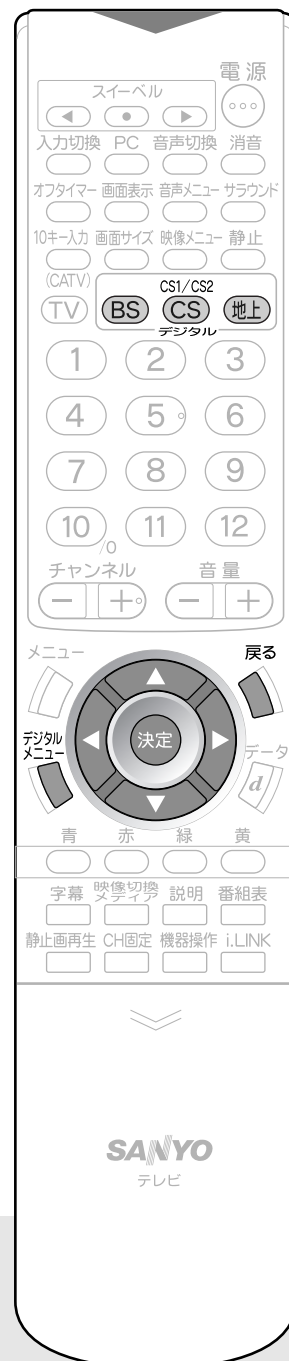
押して、設定し、

決定を押す

選んで決定

6

設定を終えるときは押す（操作終了）

- デジタルメニューが消えます。

各種の設定は、右ページ以降をご覧ください。

時間変更予約設定

予約した番組の開始時刻が変更されたとき、予約の実行を中止するか、変更された開始時刻に追従するかを設定できます。

設定のしかた

押して、「時間変更予約設定」を選び、

決定を押す

押して、項目を選び、

決定を押す

希望のモードを選んで決定

「時間変更で中止」のときは、予約した番組の開始時刻が変更されたとき、予約の実行を中止します。開始時刻が変更されても予約が実行されるようにするときは「時間変更に追従」に設定してください。

お知らせ

- 番組の終了時刻が変更になった場合は設定に関係なく自動的に追従します。
- 番組の開始時間が3時間以上変更された場合は予約が破棄されます。

リレーサービス追従設定

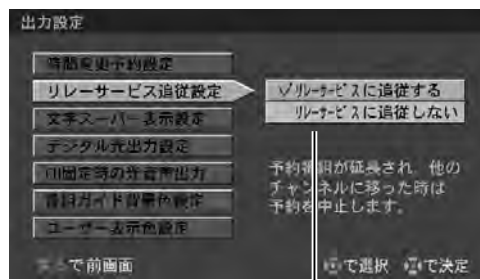
リレーサービスとは、番組が予定の終了時間になっても終わらないとき、別のチャンネルで続きを放送するサービスです。リレーサービスに追従する／しないを設定できます。

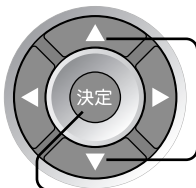
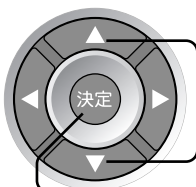
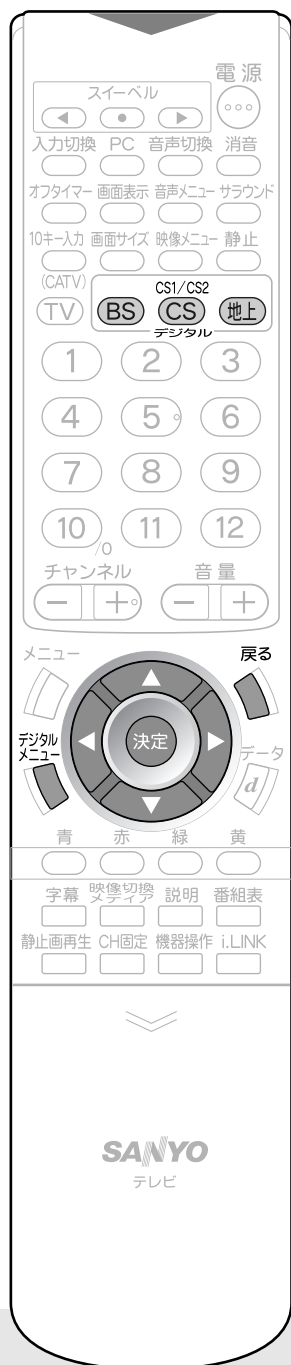
設定のしかた

押して、「リレーサービス追従設定」を選び、

決定を押す

押して、設定項目を選び、

決定を押す

希望のモードを選んで決定

「リレーサービスに追従する」のときは、予約した番組の延長部分が他のチャンネルで放送されるときは、自動でそのチャンネルを選局します。リレーサービスに追従しないようにするときは「...追従しない」に設定してください。

デジタル放送の出力設定を変える（つづき）

文字スーパー表示設定

デジタル放送には文字スーパーが表示される番組もあります。表示の言語を切り換えたり、表示しないように設定できます。

設定のしかた

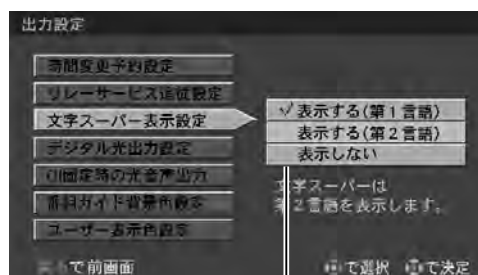
1

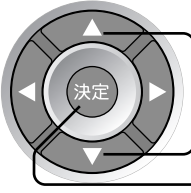
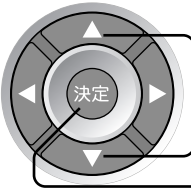
押して、
「文字スーパー表示設定」
を選び、

決定を押す

2

押して、
項目を選び、

決定を押す

希望のモードを選んで決定

ご希望のモードに設定してください。「表示しない」を選んだときは文字スーパーを表示しなくなります。録画するときに文字スーパーを消したいときは、「表示しない」に設定してください。

ご注意

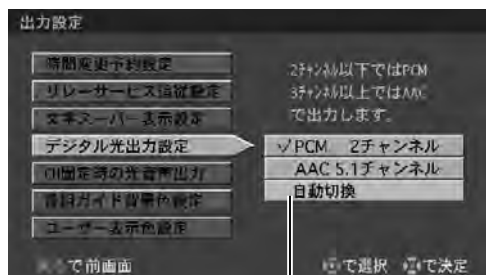
- 地上アナログ放送などの字幕放送は表示できません。
- 番組によっては文字スーパー表示設定が働かないものもあります。
- 文字スーパーは字幕サービスとは別のサービスです。

デジタル光出力設定

本機のデジタル音声出力（光）端子を、AAC 5.1チャンネルデコーダを内蔵したＡＶアンプなどに接続し、5.1チャンネルサウンド音声を楽しむときに設定します。

設定のしかた

❶ 押して、「デジタル光出力設定」を選び、決定を押す

❷ 押して、設定項目を選び、決定を押す

希望のモードを選んで決定

■PCM 2チャンネル
デジタル音声を左と右の2チャンネルに変換（ダウンミックス）して出力します。

■AAC 5.1チャンネル
デジタル放送の音声を放送そのままのチャンネルで出力します。

■自動切換
3チャンネル以上の音声はAAC 5.1チャンネルで、2チャンネル以下の音声はPCM 2チャンネル（ダウンミックス）で出力します。

お知らせ

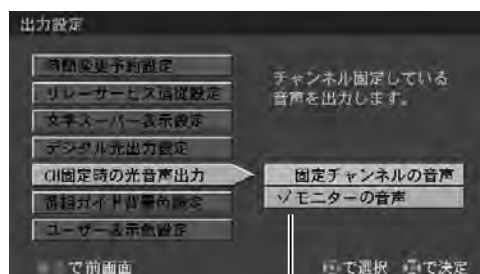
- AAC 5.1チャンネルデコーダを内蔵した機器に接続する以外は「PCM 2チャンネル」でお使いください。「AAC 5.1チャンネル」の場合、音が正しく再生されなかったり録音できない場合があります。
- デジタル光出力設定は、デジタル音声出力（光）端子から出力する以外の音には影響しません。

CH固定時の光音声出力

本機のデジタル音声出力（光）端子からは、デジタル放送だけでなく、地上アナログ放送やビデオ入力の音声も出力されます。「CH固定時の光音声出力」は、デジタル放送の録画や録音、または予約した番組の受信などで、チャンネルが固定されているときに、デジタル音声出力（光）端子から出力される音声を設定します。

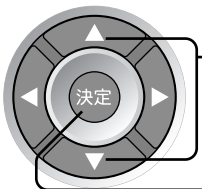
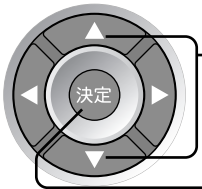
設定のしかた

❶ 押して、「CH固定時の光音声出力」を選び、決定を押す

❷ 押して、設定項目を選び、決定を押す

希望のモードを選んで決定

■固定チャンネルの音声
本機で映している画面にかかわらず、チャンネル固定されているデジタル放送の音声を出力します。

■モニターの音声
本機で映している画面の音声を出力します。

お知らせ

「固定チャンネルの音声」に設定した場合でも、デジタル放送でチャンネルが固定されていない場合は、そのとき映している画面の音声が出力されます。

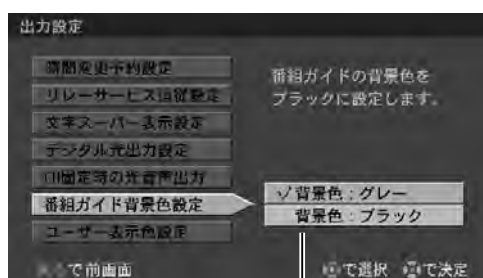
デジタル放送の出力設定を変える（つづき）

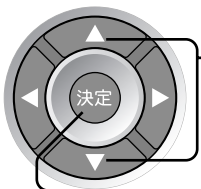
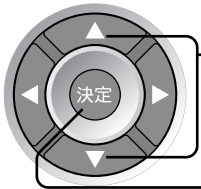
番組ガイド背景色設定

番組ガイド（番組表）を表示したときの背景色をグレー／ブラックに設定できます。画面の焼き付きを発生しにくくするため、グレーに設定することをおすすめします。

設定のしかた

❶
押して、「番組ガイド背景色設定」を選び、
決定を押す

❷
押して、設定項目を選び、
決定を押す

希望のモードを選んで決定

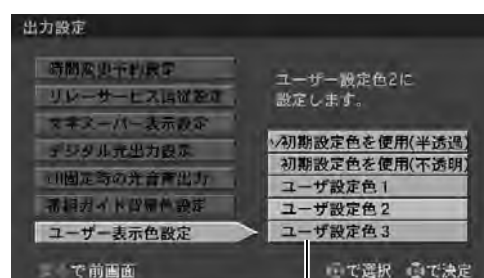
■グレー
番組ガイドの背景をグレー（灰色）で表示します。

■ブラック
番組ガイドの背景をブラック（黒）で表示します。

ユーザー表示色設定

デジタルメニュー画面など、デジタル放送で現われる表示の色などを変えて見やすくすることができます。

設定のしかた

❶
押して、「ユーザー表示色設定」を選び、
決定を押す

❷
押して、設定項目を選び、
決定を押す

希望のモードを選んで決定

5種類から選んで設定できます。

ご注意

- ユーザー表示色設定を「ユーザー設定色3」に設定したときは、デジタルメニューなどの画面で選択されている部分が濃いグレーで表示されるようになります。

機器の接続とデジタル放送の録画

この章ではビデオやDVDプレーヤーなどの外部機器を接続する方法、デジタル放送をビデオやD-VHSビデオに録画する方法と、デジタルカメラの静止画再生について説明します。

接続の前に

- 入出力端子について詳しくは 18ページ「本機の入出力端子」をご覧ください。

お知らせ

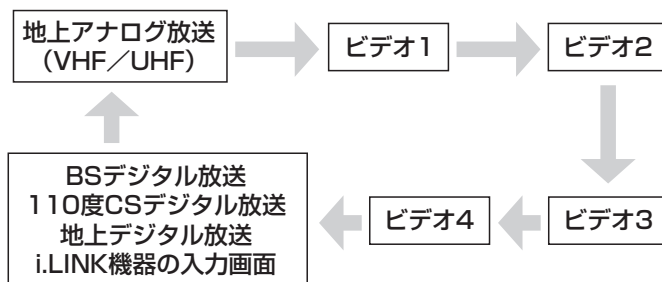
- デジタル放送の録画・再生を行うビデオ機器の接続方法（アンテナの接続を含む）は、208～211ページに掲載しています。

接続の前に

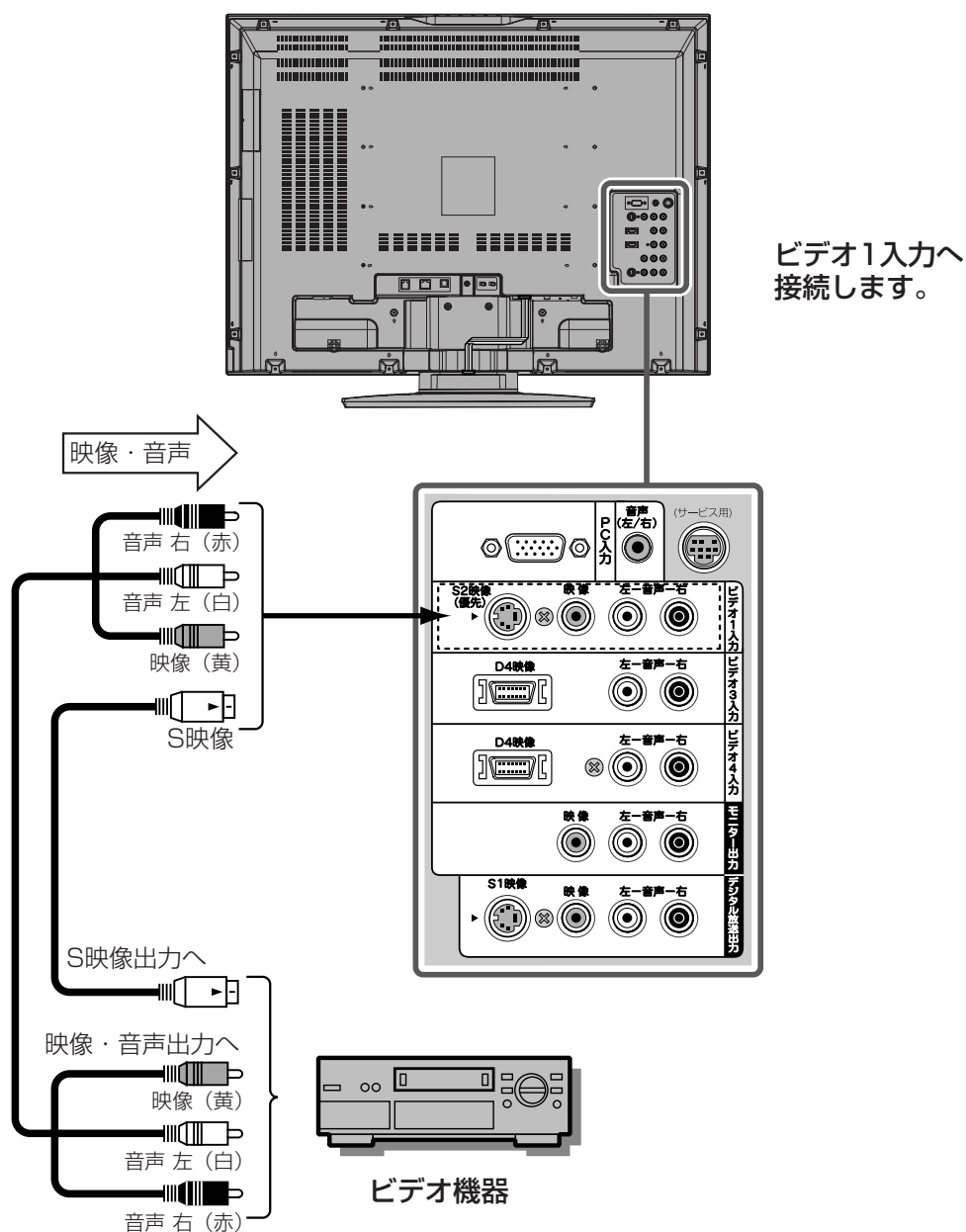
- 接続に使うコードは接続する機器によって異なります。機器の取扱説明書にしたがい、機器に付属または市販の接続コードをお使いください。
- 映像(黄)、音声左(白)、右(赤)など、端子と接続プラグの色を目安に間違えないようにつないでください。
- 本機と接続する機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続コードのプラグはしっかりと差し込んでください。
- 接続コードを抜くときはプラグ部分をもって抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 干渉(かんしょう)を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。

あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオ入力スキップ機能

ビデオ入力スキップ機能は、リモコンの入力切換ボタンやテレビ本体の放送/入力切換ボタンで入力画面を切り換えるとき、接続がない入力をスキップ(飛び越す)機能で、ビデオ1〜4入力端子で働きます。

(お知らせ)

- スキップする／しないは、ビデオ1、2入力はS2映像または映像端子、ビデオ3、4入力はD4端子に接続があるかないかで判定しています。これらの端子に接続がない場合はスキップします。
- ビデオ入力スキップ機能は、接続がなくてもスキップしないように設定できます。☞66ページ

ビデオ機器をつないで再生する

「ビデオ1」画面で
ご覧になれます。

映像入力はS2映像端子優先です。映像端子を使うときは、
S2映像端子に何も接続しないでください。

ビデオカメラやゲーム機をつなぐ

右側面端子の
ビデオ2入力へ
接続します。

映像・音声

ビデオ2入力
S2映像(優先)
映像
左(モノ)ー音声ー右
SDカード(静止画再生)

S映像
映像（黄）
音声 左（白）
音声 右（赤）

ビデオカメラ
やゲーム機

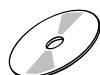
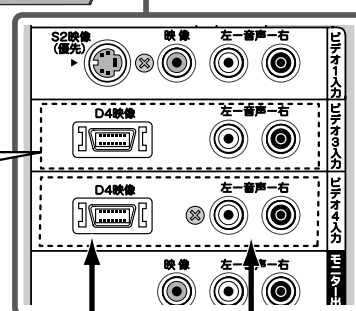
映像・音声出力へ
映像（黄）
音声 左（白）
音声 右（赤）
S映像出力へ

「ビデオ2」画面で
ご覧になれます。

ビデオ2

- 映像入力はS2映像端子優先です。映像端子を使うときは、S2映像端子に何も接続しないでください。
- モノラル機器の音声は音声・左(モノ)端子に接続しますと、1本の接続で左右から同じ音(モノラル)が出ます。

DVDプレーヤーをつなぐ

D端子出力のあるDVDプレーヤーのとき

「ビデオ3」、「ビデオ4」画面で
ご覧になれます。

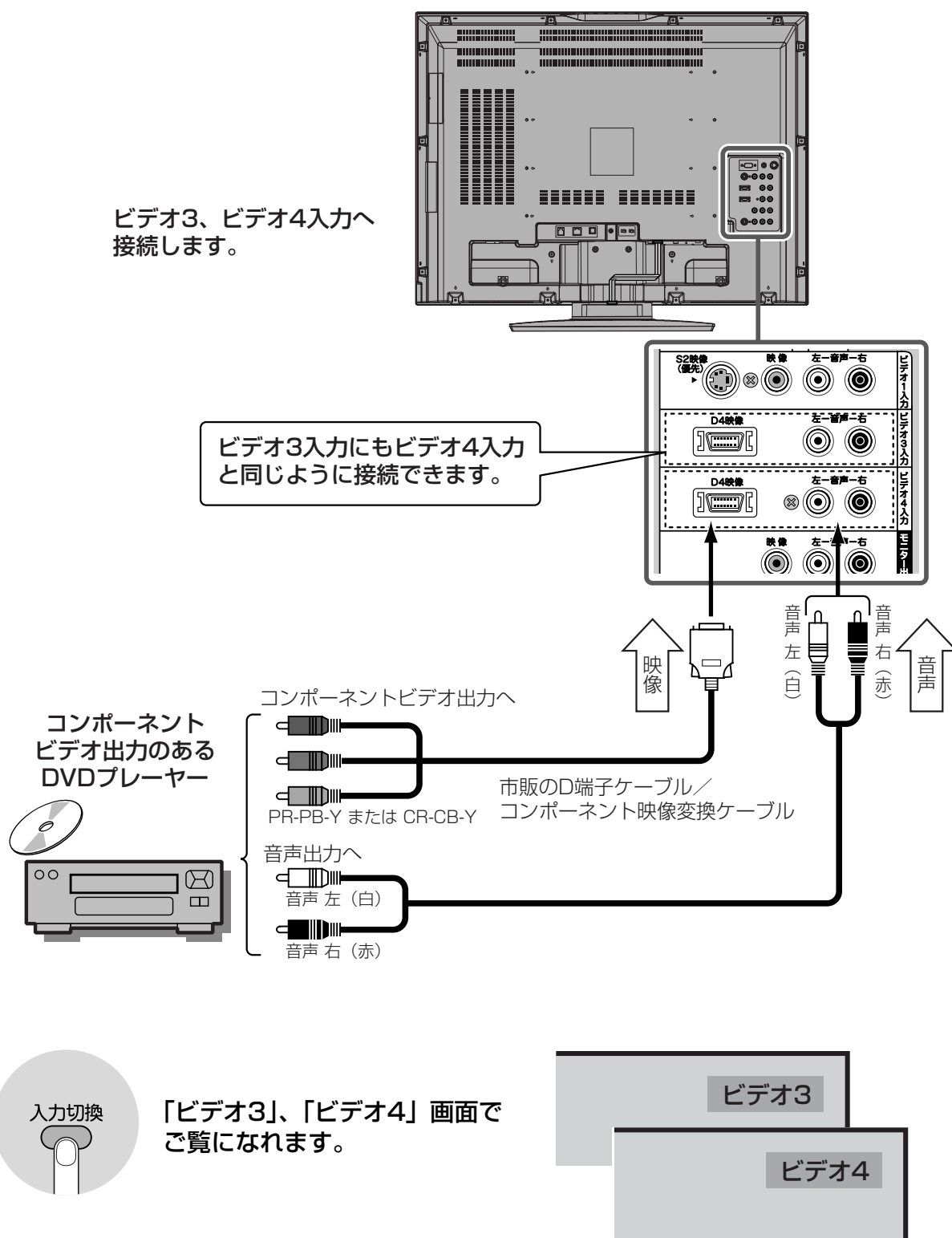
D4映像と走査モード

D4映像端子で本機に映すことができるのは1125i、750p、525p、525iの映像です。*1*2

走査モード	アスペクト比 (横:縦)	走査方式
1125i (1080i)	16:9	飛び越し走査 (インターレース)
750p (720p)	16:9	順次走査 (プログレッシブ)
525p (480p)	16:9	順次走査 (プログレッシブ)
525i (480i)	16:9/4:3	飛び越し走査 (インターレース)

*1:1080i、720p、480p、480iとも呼ばれます。

*2:走査モードは機器によって異なります。機器の購入時にご確認ください。

コンポーネントビデオ出力のあるDVDプレーヤーのとき

(お知らせ)

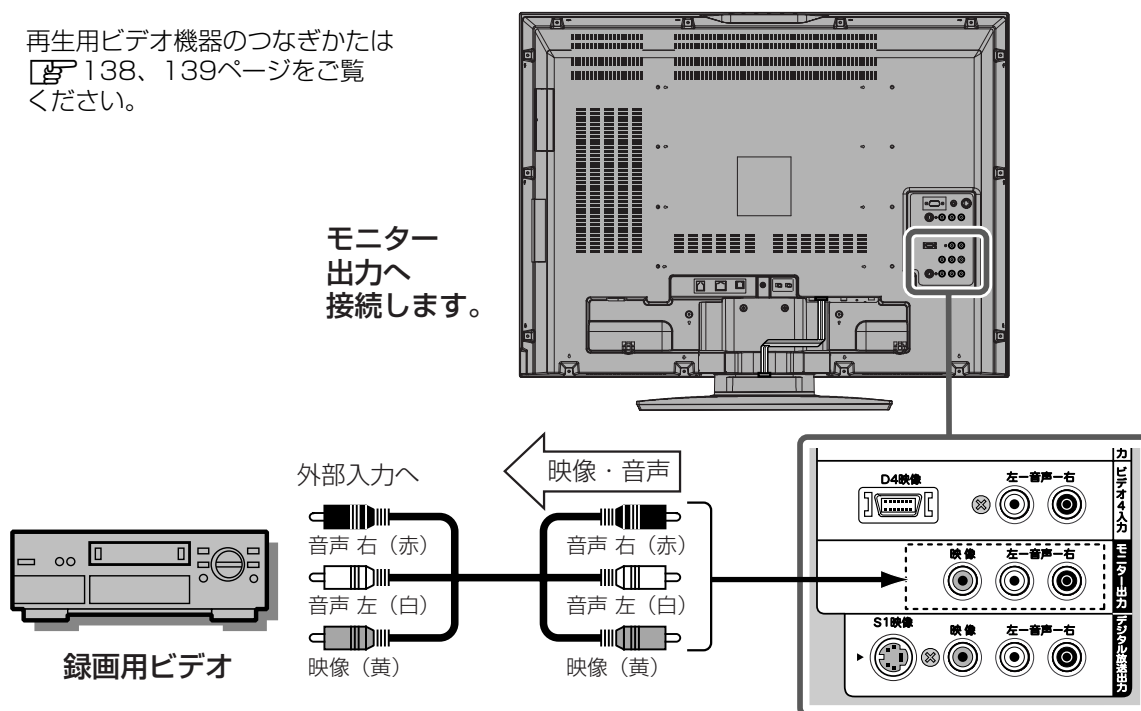
- D端子出力、コンポーネントビデオ出力のないDVDプレーヤー（S映像、映像出力のみ）場合は、☞138ページのビデオ機器と同じ方法で接続してください。

モニター出力端子の使いかた

映している映像をビデオで記録するとき（テープコピー、ダビング）

再生用ビデオ機器のつなぎかたは☞138、139ページをご覧ください。

モニター出力へ接続します。

外部入力へ

録画用ビデオ

テープコピーの手順

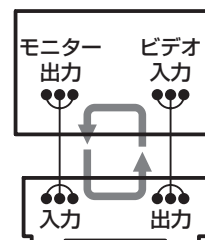
① 入力切換ボタンで再生用ビデオ機器の画面に切り換える。（ビデオ1～2）

② 録画用ビデオの入力切換を「外部入力」に切り換える。

③ 再生用ビデオ機器で再生を始める。

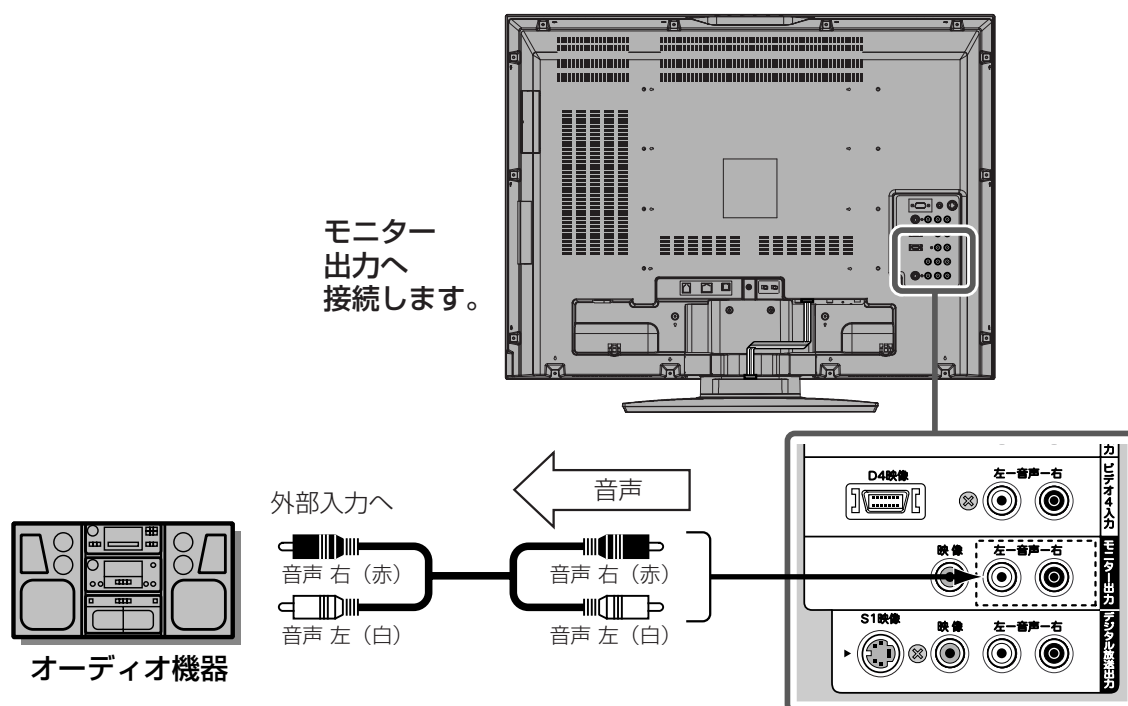
④ 録画用ビデオで録画を始める。（テープコピー開始）

■発振にご注意

本機と再生用ビデオを右のように接続してビデオの再生画面を本機で映す場合は、ビデオを「外部入力」にしないでください。本機とビデオの間に信号のループができるため、発振がおこり、画面が乱れます。

ご注意

次の操作をするとテープコピーが中断したり、録画の内容が変わってしまいます。ご注意ください。

- 電源を切る（テープコピーの中断）
- チャンネルや画面を変える（録画内容が変わる）

音をオーディオ機器で再生するとき

オーディオ機器で音を聴くには

① 本機でご希望の画面を選ぶ。

② オーディオ機器の入力切換を外部入力に切り換える。

③ オーディオ機器で聴きやすい音量に調節する。

本機のスピーカーからは通常どおり音が出ます。消すときは音量（－）ボタンで音量を最小にしてください。

お知らせ

モニター出力端子について

映している画面の映像と音声が出力されます。画面を切り換えると出力も変わります。ビデオ1、2入力のS2映像端子から入力した映像も出力できます。下記の映像は画面に映っていても出力されませんのでご注意ください。（音声は出力されます。）

出力されない映像

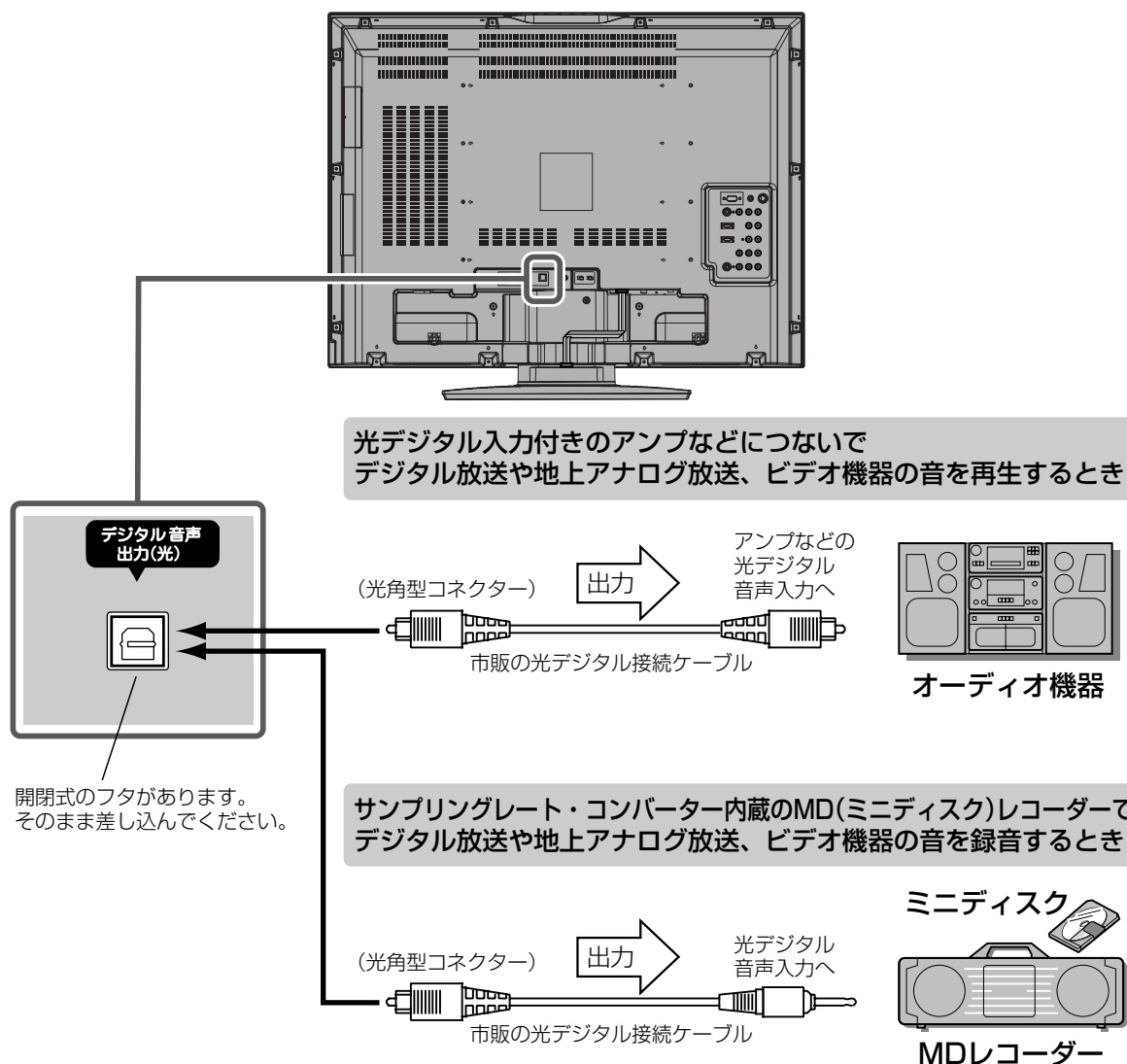
- ビデオ3、4入力から入力した映像（コンポーネント映像）
- PC入力から入力した映像
- デジタルカメラやSDメモリーカードの静止画再生画像
- デジタル放送のデータ放送や字幕の映像は、CH固定していないときは出力されませんが、CH固定しているときは出力されます。

ご注意

- デジタル放送で放送されるハイビジョン番組の映像は、通常のテレビ放送と同レベルの画質（525i）で出力されます。
- デジタル放送の番組には、著作権保護などの目的で、ビデオに録画しても正常に記録・再生されない番組があります。

デジタル音声の録音や再生

デジタル音声出力(光)端子からは、デジタル放送の他、地上アナログ放送や本機につないだビデオ本器の音声もデジタル信号で出力できます。光デジタル入力を持ったアンプなどにつないだり、MD(ミニディスク)に録音したりできます。

デジタル音声出力(光)端子にアンプやMDレコーダーをつなぐ

(お知らせ)

出力する音声は設定で変わります。

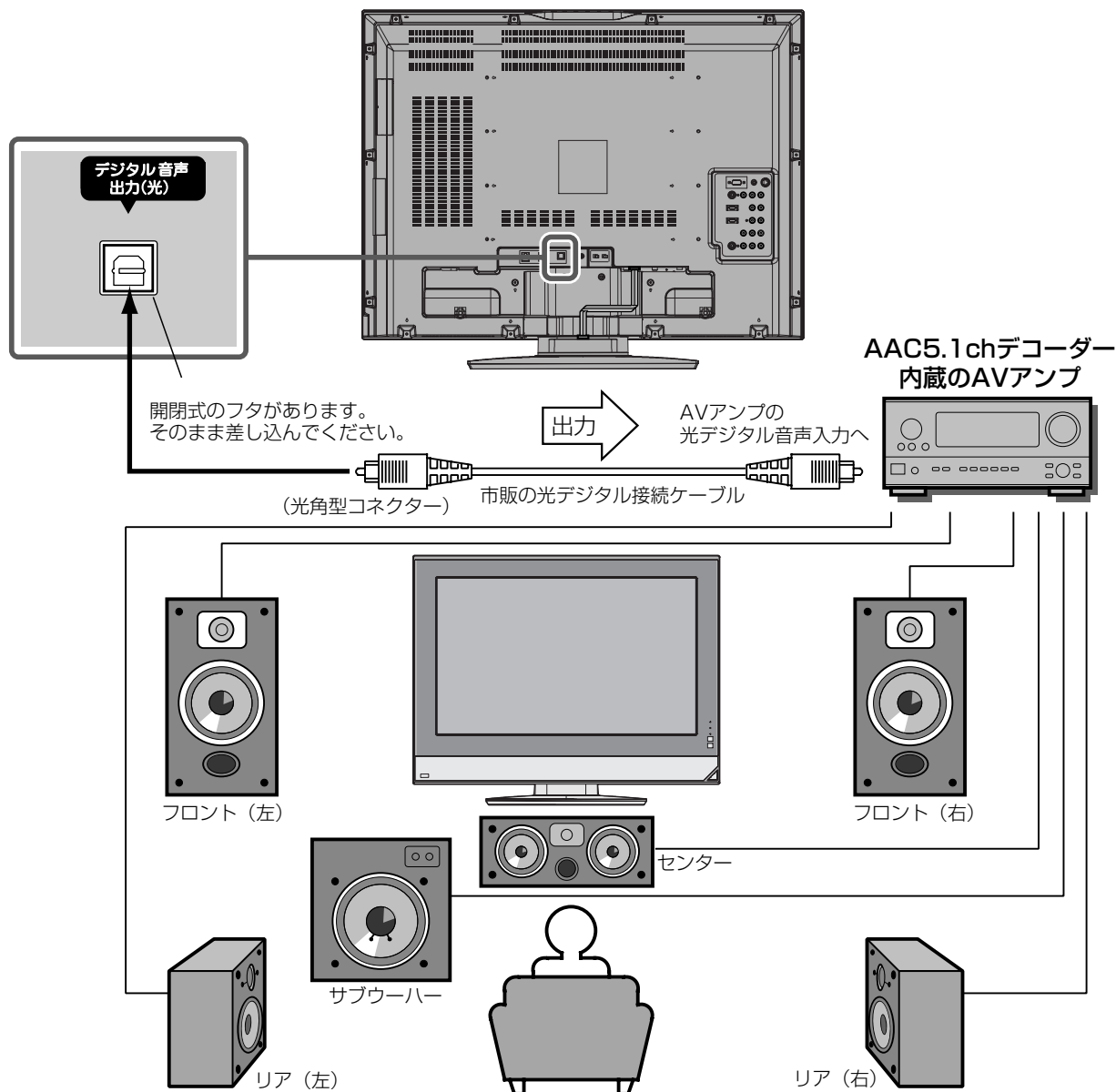
- 出力される音声はデジタルメニューの「CH固定時の光音声出力」の設定によって変わります。☞133ページ
- デジタル放送の音声を録音するときは、「CH固定時の光音声出力」を「固定チャンネルの音声」に設定することをおすすめします。☞133ページ
- CH(チャンネル)固定中は、本機の電源をリモコンで切っても3時間のあいだ音声を出力します。

ご注意

- デジタルメニューの「デジタル光出力設定(☞133ページ)」は、デジタル放送のAAC 5.1チャンネル音声に対応した機器を接続するとき以外、「PCM 2チャンネル」のままでお使いください。「AAC 5.1チャンネル」に設定した場合、正常な音で再生や録音がされません。
- 接続に使う光デジタル接続ケーブルには、角型、ミニプラグ型などの種類があります。お買い求めの際は接続する機器側の端子の形をご確認ください。
- 接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- デジタル放送の音声の中には、デジタル音声で録音できないものがあります。

5.1チャンネル音声を楽しむ（市販のシステムを接続する場合）

AAC5.1chデコーダーを内蔵したAVアンプと外部スピーカーを組み合わせると、デジタル放送で行われる5.1チャンネル音声を楽しめます。

AAC5.1chデコーダー内蔵のAVアンプと外部スピーカーをつなぐ

再生の手順

① 「デジタル光出力設定（☞133ページ）を「AAC 5.1チャンネル」または「自動切換」に設定します。

② 本機で5.1ch音声（マルチCHステレオ）で放送されている放送を受信します。

③ AVアンプを操作して、AAC 5.1ch音声が再生できるモードに切り換えます。

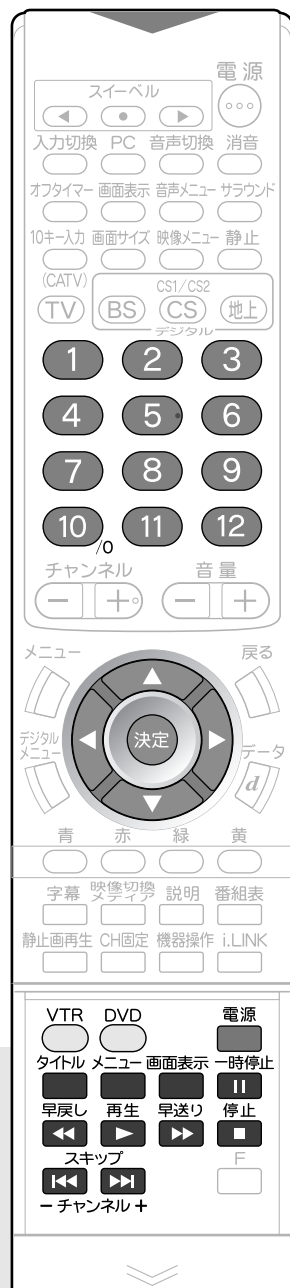
④ AVアンプ側で音量などを調節して再生します。本機の音量は最小にしてください。

5.1チャンネル再生の詳細やスピーカーの接続・調整についてはAVアンプの取扱説明書をお読みください。

お知らせ

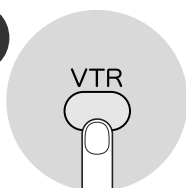
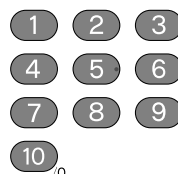
- 地上アナログ放送や接続したビデオの音声を楽しむときは、デジタルメニューの「デジタル光出力設定」を「PCM 2チャンネル」にします。☞133ページ

リモコンでVTRやDVDを操作する

本機のメインリモコンは、各社のVTR(ビデオテープレコーダー)やDVDプレーヤーのリモコン信号を前もって記憶しています。お手持ちのVTRやDVDプレーヤーのメーカーを設定すると、カバーの中のボタンでVTRやDVDプレーヤーの基本的な操作が行えます。

メーカー設定のしかた

下の「メーカー番号一覧」から、お手持ちのVTRやDVDプレーヤーのメーカー番号を見つけてください。

VTRのメーカー設定

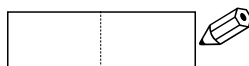
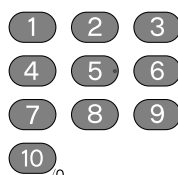
❶

押したまま…

❷ 押して、メーカー番号を2桁で入力する

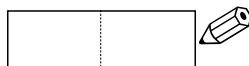
例 三洋「04」のとき…「0」、「4」と押す

VTRの設定メモ

DVDのメーカー設定

❶

押したまま…

❷ 押して、メーカー番号を2桁で入力する

例 三洋「64」のとき…「6」、「4」と押す

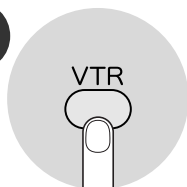
DVDの設定メモ

- メーカー番号を入力したあとVTRボタンやDVDボタンから指を離すと、ボタンが3回点滅して入力を受け付けたことをお知らせします。
- 設定したあと、後述の「VTR操作のしかた」や「DVD操作のしかた」にそって、カバーの中のボタンでお手持ちのVTRやDVDプレーヤーが操作できるか確認します。

メーカー番号一覧

VTRのメーカー番号

番号	代表メーカー名	番号	代表メーカー名	番号	代表メーカー名	番号	代表メーカー名
01	三洋	14	NEC	27	ソニー	40	松下
02		15		28		41	
03		16	富士通ゼネラル	29		42	
04		17	コルティナ/シントム	30		43	ビクター
05	東芝	18	パイオニア	31		44	
06		19	アイワ	32	シャープ	45	
07		20		33		46	
08		21		34	三菱	47	
09	日立	22		35		48	
10		23		36		49	フィリップス
11		24		37	フナイ		
12	NEC	25		38	松下		
13		26	ソニー	39			

DVDプレーヤーのメーカー番号

番号	代表メーカー名	番号	代表メーカー名	番号	代表メーカー名
61	三洋	71	ソニー	80	松下
62		72		81	ビクター
63		73		94	
64		74		95	
65	東芝	90		96	
87		91		97	
88		75	シャープ	82	フィリップス/マグナボックス
89		76		83	オンキョー
66	日立	92		84	サムスン
67	パイオニア	93		85	RCA
68		77	フナイ	86	LG
69		78	松下/ヤマハ		
70	パイオニア/オプティマス	79	松下		

VTR操作のしかた

1
押す

● VTRボタンが点灯し、カバー内のボタンがVTR操作用に切り換わります。

2 リモコンをVTRへ向け、それぞれのボタンを押して操作する

● VTR操作に有効なボタンは下の図で濃く表示されているボタンです。
● VTR操作に有効なボタンを押したときは、VTRボタンが点灯します。

DVD操作のしかた

1
押す

● DVDボタンが点灯し、カバー内のボタンがDVD操作用に切り換わります。

2 リモコンをDVDプレーヤーへ向け、それぞれのボタンを押して操作する

● DVD操作に有効なボタンは下の図で濃く表示されているボタンです。
● DVD操作に有効なボタンを押したときは、DVDボタンが点灯します。

カーソル、決定ボタンが必要なとき

DVDプレーヤーの操作では、メニューの選択など、カーソルボタンや決定ボタンが必要なときがあります。カバー内のボタンがDVD操作用のときにDVD、タイトル、メニュー、画面表示のボタンを押したあとの10秒間は、カーソルボタン▲▼ ◀▶と決定ボタンがDVD操作用のボタンとして働きます。カーソルボタン▲▼ ◀▶と決定ボタンがDVD操作用となる有効期間（10秒間）は、これらのボタン操作を行うごとに延長されます。

お知らせ

● 同じメーカーで複数のメーカー番号がある場合は、各メーカー番号の入力と動作テストを繰り返して、お手持ちの機器が操作できるメーカー番号を設定してください。
● 設定したメーカー番号は、電池を抜き取ったとき、電池が消耗したときは取り消されます。新しい電池に交換したあと、再度設定してください。（設定したメーカー番号を左ページのメモ欄に記入しておくと便利です）
● 表中のメーカーの機器でも機種によっては操作できないものがあります。
● メーカーや機種によっては操作できないボタンがあります。
● 三洋製VTRの場合、「停止」ボタンでVTRの電源入/切を兼用している製品があります。この場合、VTRが停止状態のときに「停止」ボタンを押すと、VTRの電源入/切ができます。
● VTRやDVDプレーヤーの操作は、それらの機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

● VTRボタンとDVDボタンの両方に、異なるDVDのメーカー番号を設定して2台のDVDプレーヤーを操作することもできます。
● VTRボタンとDVDボタンの両方に、異なるVTRのメーカー番号を設定して2台のVTRを操作することもできます。

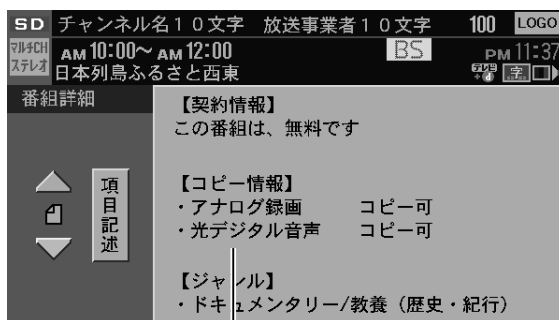
番組のコピー情報を見る

デジタル放送の番組には、コピーガードがかけられているものがあります。コピーガードがかけられている番組は録画や録音ができなかったり、制限されたりします。番組のコピー情報は画面で見ることができます。

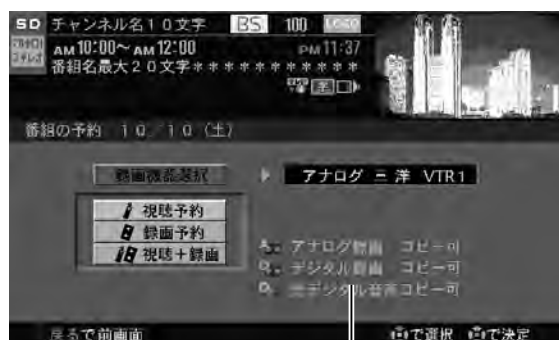
番組のコピー情報を見るには

録画や録音の前にコピー情報を確認することで、録画や録音の方法を選んだり、失敗を減らしたりできます。番組のコピー情報を見るには、次のように受信中の画面や番組表から「説明」ボタンを押して「番組詳細」画面で見る方法と、番組の予約のときに表示されるコピー情報で見る方法があります。

「説明」ボタンを押し、「番組詳細」画面で見る

デジタル放送の番組を受信中に「説明」ボタンを押すと「番組詳細」画面が表示されます。「番組詳細」画面にコピー情報が掲載されています。また、番組表から将来の番組を選び「説明」ボタンを押すことによって、予約する番組の「番組詳細」も表示でき、コピー情報を見ることができます。
（「説明」ボタン 83ページ）

コピー情報

「番組の予約」画面で見る

デジタル放送の番組を予約する画面には、番組のコピー情報が掲載されています。
（番組の予約 92ページ）

コピー情報

コピー情報の見かた

信号や録画の種類

- アナログ録画 ･･･････VHSビデオデッキなどのアナログ録画機器へ録画する際のコピー情報です。
- デジタル録画 ･･･････D-VHSビデオデッキやDVDレコーダーなどのデジタル録画機器へ録画する際のコピー情報です。
- 光デジタル音声 ･････本機のデジタル音声出力（光）端子からデジタル録音する際のコピー情報です。

コピーの可否

- コピー可 ･･･････････録画（または録音）ができます。
- 1回コピー可････････１回だけ録画（または録音）ができます。デジタル録画・録音機器に記録した画像や音声を別の記録媒体にデジタルコピーすることはできません。
- コピー不可 ･････････録画（または録音）ができません。正常に記録・再生できません。

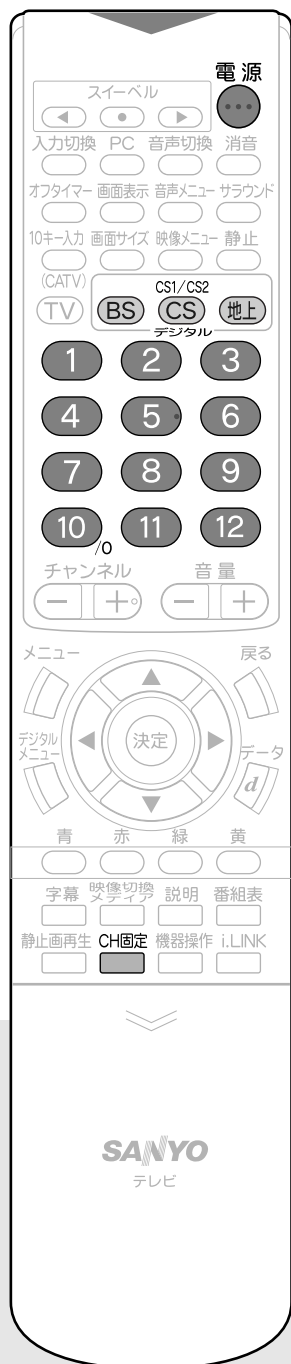
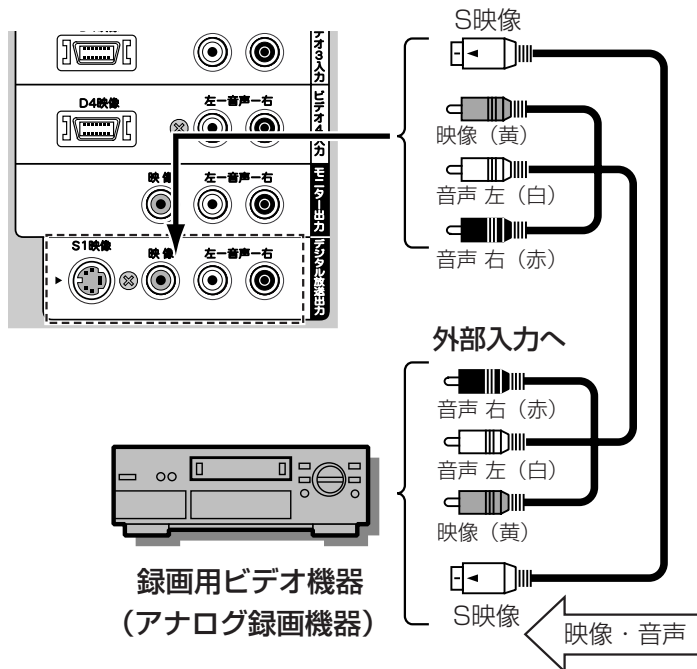
お知らせ

2004年4月以後、デジタル放送には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。デジタル録画機器を使ってこの信号とともに録画された番組は、他のデジタル録画機器へのダビングができません*。詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどでご確認ください。VHSビデオデッキなどのアナログ録画機器での録画はこれまで通りです。＊一部のデジタル録画機器では、アナログ機器へのダビングもできないことがあります。

ご注意

- ビデオやD-VHSビデオ、MDデッキなどの録画・録音機器の取扱説明書もよくお読みください。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

受信中の放送を録画する（チャンネル固定）

本機のデジタル放送出力端子に接続したビデオ機器（アナログ機器）で、受信中のデジタル放送を録画するときは、CH（チャンネル）固定ボタンを押してチャンネルが切り換わらないようにしてください。

録画・再生用ビデオの総合的な接続は 208～211ページをご覧ください。

CH（チャンネル）固定のはたらき

- CH（チャンネル）固定するとデジタル放送のチャンネルが固定されます。
- CH固定後、リモコンで電源を切ったときは3時間の間受信を継続し、3時間経過後に固定を解除して受信を中止します。

電源を切らないとき

チャンネル固定中

チャンネルを固定したまま継続して受信。

リモコンで電源を切ったとき

リモコン電源「切」

1時間　2時間　3時間

3時間経過するとチャンネル固定を解除。受信中止。

この間に録画します。

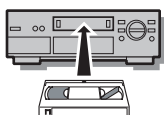
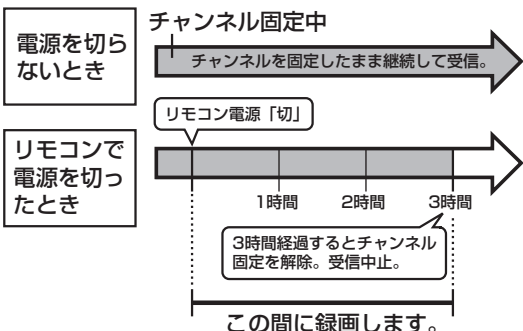
CH固定を解除するとき

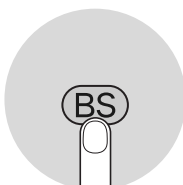
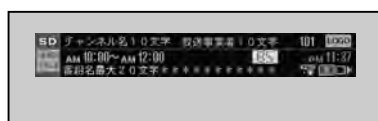
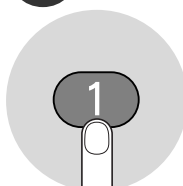
解除するときはCH固定ボタンを押します。「チャンネル固定を解除しました。」と表示されて解除されます。またリモコンで電源を切ってから3時間経過すると、固定は自動で解除されます。

チャンネル固定を解除しました。

CH固定中は働かない機能があります

- CH固定中はデジタル放送の操作を行うボタンを押しても働きません。画面には「現在、チャンネル固定されています。」と表示されます。

現在、チャンネル固定されています。

録画のしかた

1 録画する番組を放送しているデジタル放送の画面に切り換える

（例：BSデジタル放送のとき）

2 録画するチャンネルを受信する

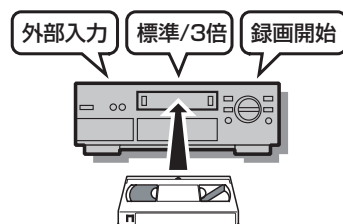
3 CH固定ボタンを押して、チャンネルを固定する

- CH固定をするとデジタル放送のチャンネルが固定され、デジタル放送のチャンネルを変えられなくなります。
- 地上アナログ放送やビデオ画面への切り換えはできます。

チャンネルを固定しました。
（電源オフ時には3時間有効）

4 ビデオを操作して録画を始める

- 録画可能なビデオテープを入れる
- 入力を「外部入力」にする
- 録画スピードを選ぶ（標準/3倍）
- 録画をスタートさせる

（操作方法はビデオの取扱説明書をご覧ください）

5 録画を続けながら画面と音を消すときは、リモコンの電源ボタンを押す

- CH固定している間は、リモコンの電源ボタンで電源を切っても、3時間の間は固定した放送の信号を出力し続けますので、録画を継続できます。

データ放送や字幕について

データ放送の画面や字幕は、CH固定していないときはデジタル放送出力端子から出力されませんが、CH固定すると出力されるようになります。録画中にデータ放送や字幕を表示させると録画されますのでご注意ください。

デジタル放送の表示は録画されません

デジタル放送の画面に表示される番組詳細や音声表示、バナー表示などは、デジタル放送出力端子からは出力されません。録画中にこれらの表示を出しても録画内容には影響しません。

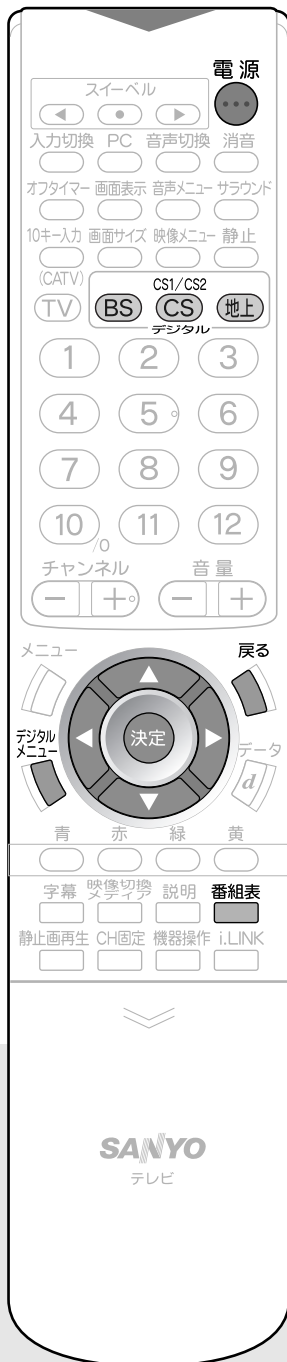
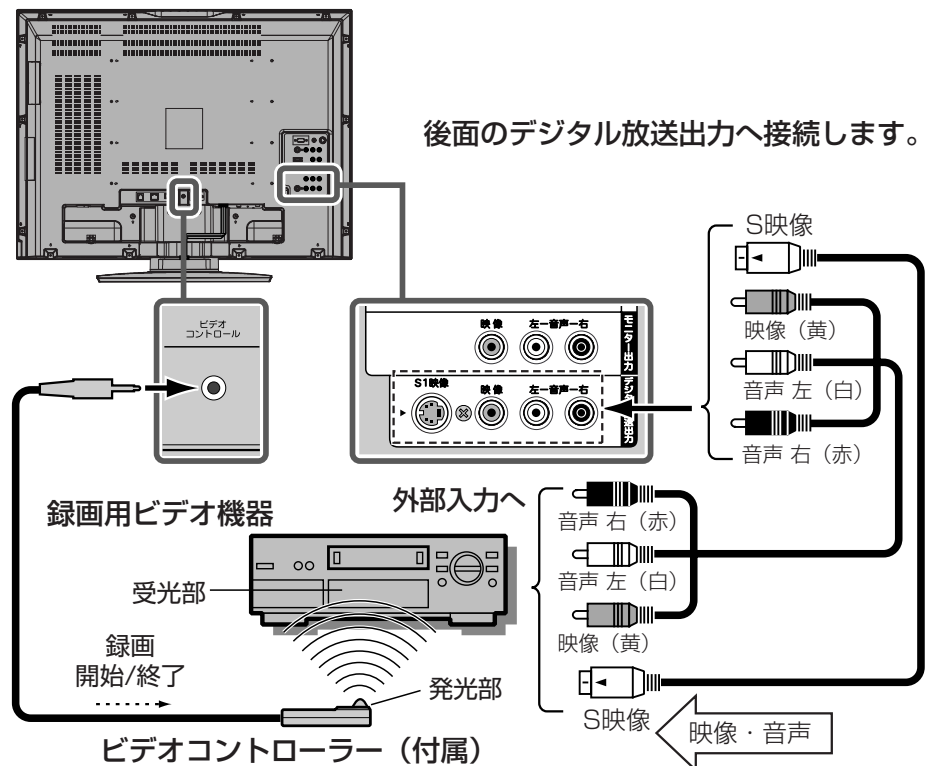
デジタル放送出力の画面サイズ

デジタル放送出力からは番組によって16：9または4：3の画面サイズで映像が出力されます。番組を記録したビデオを再生するとき、16：9は「フル」、4：3は「ノーマル」がオリジナルな画面サイズになります。

番組の録画に関するご注意

- デジタル放送出力端子からの録画では、ハイビジョン放送をハイビジョンの高画質のまま録画することはできません。S映像出力または映像出力端子を利用して、通常テレビと同等の画質で録画されます。
- デジタル放送どうしの裏録画はできません。
- デジタル放送の番組の中には、録画できない番組や、録画が制限される番組があります。詳しくは148ページをご覧ください。
- あなたがビデオで録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 16：9の番組を記録したビデオの再生を、本機以外の4：3の標準テレビで映した場合は、映像が水平方向に圧縮（スクイーズ）されたように映ります。
- 本機を利用して貴重な番組の録画などを行うときは、事前に試し録りをして、接続や設定が正しいか確認してください。
- 本機の機能や性能、不具合などによって、録画の機会を逸した場合の保証についてはご容赦ください。

予約して録画する

付属のビデオコントローラーを使用すると、録画予約したデジタル放送番組の開始～終了に合わせて、ビデオ機器で自動的に録画の開始～終了を行うことができます。（アナログ録画の場合）

ビデオコントローラーについて

- ビデオ機器の受光部に信号が届く位置に設置してください（212ページ）
- 「接続ＶＴＲ設定」をしてください。（242ページ）

録画・再生用ビデオの総合的な接続は 208～211ページをご覧ください。

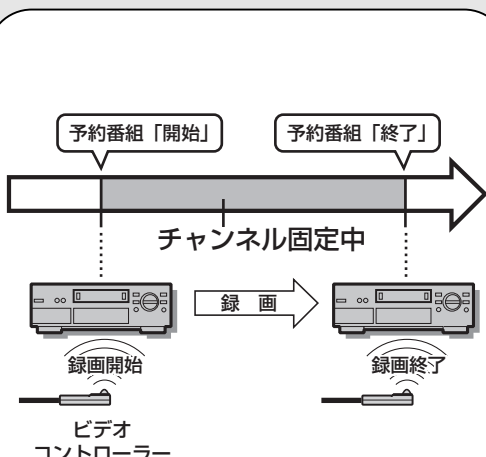
予約した番組が始まると ...

- 予約した番組が受信され、本機のデジタル放送出力端子からビデオへ番組の映像と音声が出力されます。
- ビデオコントローラーからビデオに録画を開始させる信号が出力され、録画が開始されます。
- 予約番組の開始～終了の間は自動的にCH（チャンネル）固定されます。

予約した番組が終了すると ...

- ビデオコントローラーからビデオに録画を終了させる信号が出力され、録画が終了します。
- チャンネル固定が解除され、本機は予約番組の開始前の状態に戻ります。（ただしチャンネルは予約番組のチャンネルのままとなります）

CH固定中に予約番組が始まったとき

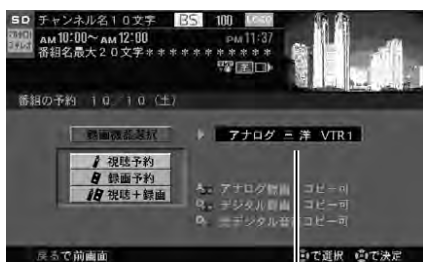
CH（チャンネル）固定中に予約した番組が始まったときは、チャンネル固定を解除して予約した番組を受信します。ビデオへ出力される信号も、予約した番組のものに変わります。予約番組の受信中は、番組の終了まで予約番組のチャンネルで固定されます。（予約番組が視聴中のチャンネルと同じチャンネルで、予約番組終了後も視聴していた場合は固定が継続されます。）

予約録画のしかた

1 番組表から予約する番組を選ぶ

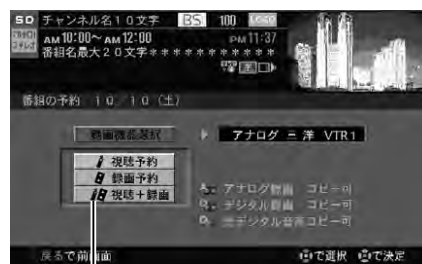
番組表ボタンを押して番組表を出し、カーソルボタン ▲▼ ◀ ▶ で予約する番組を選び、決定ボタンを押します。(詳しくは ☞92ページをご覧ください)

2 「録画機器選択」をする

D-VHSビデオなどのi.LINK機器を接続・登録しているお客さまが録画予約を行う場合は、予約方法を選ぶ前に「録画機器選択」を行ってください。☞96ページ

i.LINK機器の接続・登録がないときはアナログのビデオ機器に固定されますので選ぶ必要はありません。

アナログのビデオ機器に設定

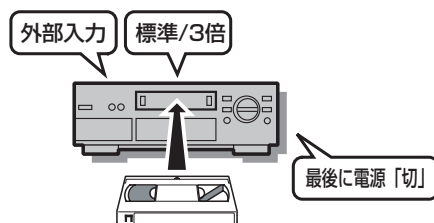
3 「録画予約」または「視聴＋録画」で番組を予約する

カーソルボタン ▲▼ で「録画予約」または「視聴＋録画」を選び、決定ボタンを押します。(詳しくは ☞92ページをご覧ください)

「録画予約」または「視聴＋録画」で予約する

プログラム予約のときは ☞114ページをご覧ください。

4 ビデオを操作して録画の準備をする

- 録画可能なビデオテープを入れる
- 入力を「外部入力」にする
- 録画スピードを選ぶ（標準/3倍）
- ビデオを電源「切」状態にする。

(操作方法はビデオの取扱説明書をご覧ください)

5 本機の画面と音を消しておくときはリモコンの電源ボタンを押す

- テレビ本体の電源スイッチで電源を切らないでください。予約番組が受信できなくなります。

ビデオコントローラーを使わないとき

ビデオコントローラーを使わずに予約録画する場合は、予約した番組の時間帯に合わせて、ビデオ側で録画開始～終了の予約を設定してください。

録画予約の設定をする

- 録画可能なビデオテープを入れる
- 入力は「外部入力」に設定する
- 録画スピードを設定する（標準/3倍）
- 録画の開始時刻、終了時刻に設定する

(操作方法はビデオの取扱説明書をご覧ください)

プログラム予約した番組を録画するとき

プログラム予約（ ☞114ページ）で録画するときも、番組表からの予約と同様、ビデオコントローラーを使って録画できます。

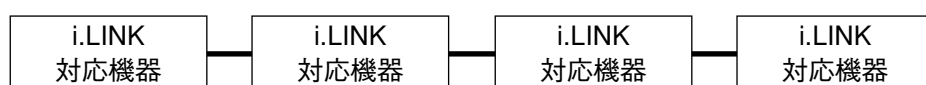
録画に際しては、☞151ページの「番組の録画に関するご注意」もご覧ください。

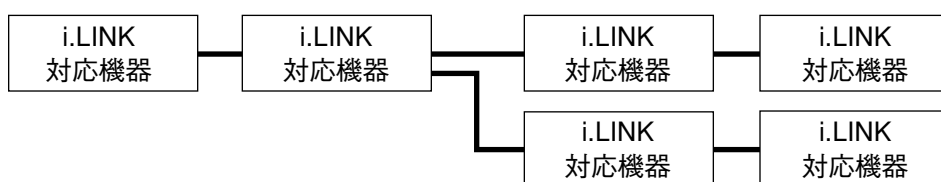
i.LINK端子について

本機のi.LINK端子には、Ｄ－ＶＨＳビデオなどのi.LINK機器を接続することができます。

i.LINK（アイリンク）とは、デジタル映像やデジタル音声などのデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェース IEEE1394の呼称です。IEEE1394は米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
現在、100 Mbps／200 Mbps／400 Mbpsの転送速度があり、転送速度はi.LINK端子の周辺にそれぞれＳ100、Ｓ200、Ｓ400と表示されます。本機では最大400 Mbpsの転送が可能なため、Ｓ400と表示されています。また、i.LINKは直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせず機器を接続していくことができます。

■i.LINKの接続方法

● i.LINK対応機器の接続はi.LINKケーブルで接続します。最大*17台まで接続することができます。

データは接続したすべてのi.LINK対応機器に流れます。操作したいi.LINK対応機器の間に別のi.LINK対応機器が接続されていても、機器とデータのやりとりや操作ができます。

● i.LINK端子が3端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。ツリー型で接続の場合は、最大*63台まで接続することができます。

＊上記の接続台数などは規格上のものです。機器によって接続できる台数は異なります。

i.LINK接続上のご注意

- 接続には、接続するi.LINK機器のデータ転送速度に合ったi.LINKケーブルをお使いください。例えば最大データ転送速度が200 Mbps（S200）のＤ－ＶＨＳビデオの場合は、S200以上の４ピンi.LINKケーブルをお使いください。
- デジタルビデオカメラなどのＤＶ端子は、端子の形状は同じですがデータのフォーマットが異なるため、接続してもデータのやりとりなどはできません。また、ＤＶ機器を接続していると誤動作を起こす場合があります。
- ＤＶ機器に付属のＤＶケーブルや市販のＤＶ用ケーブルは、転送速度が低いデータ用のため使用できません。
- 数台のi.LINK機器を接続している場合、デジタル録画・再生中や予約録画中は、使用していない機器の電源を切ったりi.LINKケーブルを抜き差ししないでください。映像や音声が途切れたり乱れたりすることがあります。
- デジタル放送の番組によっては、録画を制限するコピーガードがかかっている場合があります。コピーガードがかかっている番組の場合、録画・再生が正常にできない場合があります。
- ３台以上のi.LINK機器を接続している場合、i.LINK機器の中には電源を切っているとデータの中継ができない機器があります。接続するi.LINK機器の取扱説明書もご覧ください。
- パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。
- 接続が輪（ループ）にならないようにしてください。データを送信したi.LINK機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。
- i.LINKとi.LINKロゴ”i”は、ソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）とういデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載した機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載した機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

D－VHSビデオで録画・再生するとき

本機のi.LINK端子にD－VHSビデオを接続することにより、デジタル放送の番組をデジタル信号のまま記録し、再生することができます。

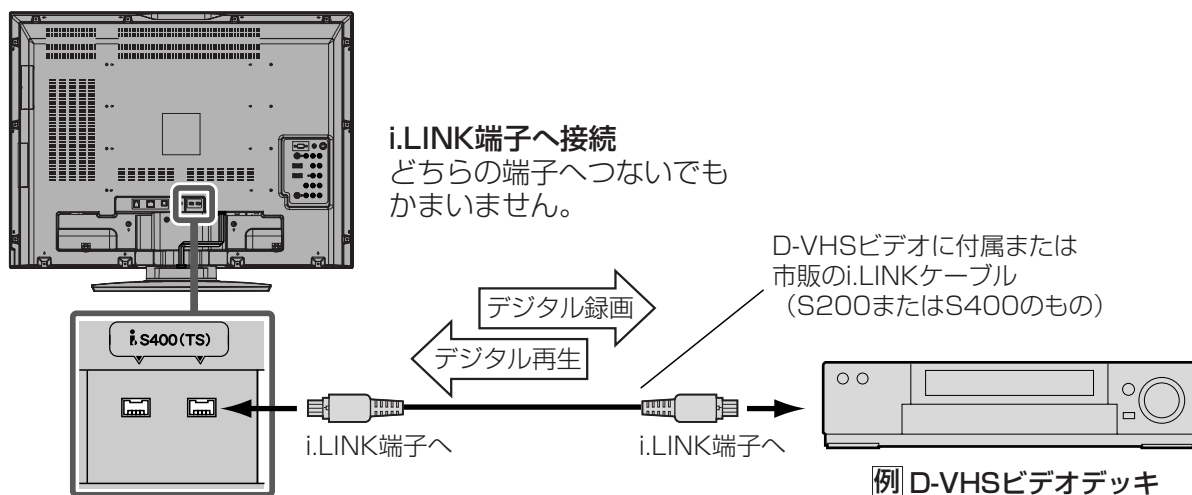
本機で使用できるi.LINK機器

本機では、下記のD－VHSビデオデッキをi.LINK接続して、デジタル放送のデジタル録画／デジタル再生を行えることが確認されています。

メーカー名	型　名
松下（パナソニック）	NV-DH2
松下（パナソニック）	NV-DHE20
JVC（日本ビクター）	HM-DHS1

ご注意

- 機種や番組の放送方式によってはデジタル放送の録画／再生が正常にできない場合があります。
- 左記記以外の製品で使用できる機器もありますが、正しく動作しない場合があります。
- デジタルハイビジョン番組をデジタルハイビジョンの高画質で記録・再生できるのは、D－VHSビデオに「HSモード」による録画機能がある場合です。
- 番組によっては著作権保護などの目的のため、正常に記録・再生できないものがあります。

D－VHSビデオのつなぎかた

ご注意

- 接続にはS２００またはS４００の４ピンi.LINKケーブルをお使いください。
- デジタルビデオカメラなどのDV端子用のケーブルは使用しないでください。
- 複数のD－VHSビデオやその他のi.LINK機器を接続して使用する場合は☞154ページ、167ページをお読みください。
- D－VHSビデオでは、デジタル録画／デジタル再生の他、従来のVHSやS－VHS方式でのアナログ録画／アナログ再生も行えます。アナログ録画／アナログ再生を行うにはi.LINK接続の他、通常のビデオと同様のSコード、ピンコードによる接続が必要になります。それらの接続方法については通常のビデオと同様に接続してください。
- D－VHSビデオの取扱説明書もよくお読みください。

お知らせ

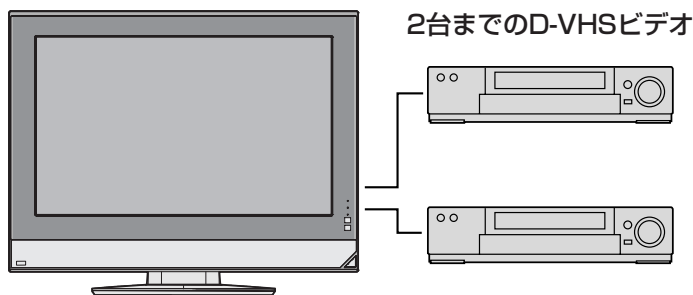
D－VHSビデオの特長

- デジタルハイビジョン番組をデジタルハイビジョン本来の高画質で記録できます（HSモード時）。
- 映像・音声のほか、同時に放送されているデータ放送も記録できます。
- 本機で録画予約した番組にあわせて録画が自動で行えます。

i.LINK機器の登録（2台までのとき）

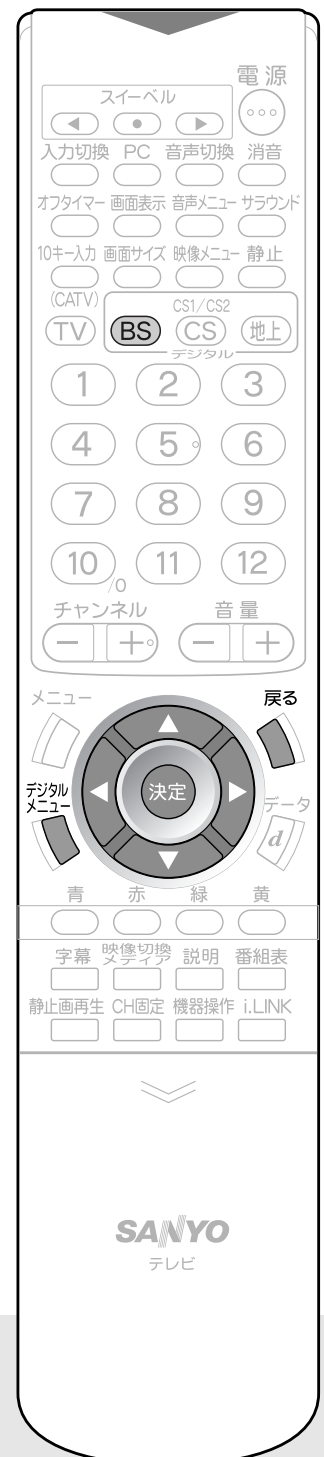
本機のi.LINK端子に接続して、デジタル録画／デジタル再生を行うＤ－ＶＨＳビデオ2台を、登録します。登録しないと予約録画や再生などができません。

接続が2台までのとき

i.LINK機器2台までの接続ならば、接続してデジタルメニューの「i.LINK接続機器設定」画面を表示させるだけで自動で登録されます。

自動登録のしかた

- Ｄ－ＶＨＳビデオなどのi.LINK機器を接続します。
- 本機の電源を入れます。
- i.LINK機器の電源を入れます。
- 本機でデジタルメニューの「i.LINK接続機器設定」画面を表示させます。
  右ページ

自動で登録が行われます。

1台目を登録した後に2台目のi.LINK機器を接続したときは、もう一度「i.LINK接続機器設定」画面を表示させて2台目を登録してください。

お知らせ

- デジタル録画再生機器として登録できるのは、i.LINK接続機器設定画面を出したとき、「種別」のところに「D-VHS」と表示される機器に限られます。
- 登録されたi.LINK機器の情報は、削除しない限り接続をはずしても保持されます。
- i.LINK機器を接続しない状態でi.LINK接続機器設定画面を出したときは、「接続されているi.LINK機器はありません。」と表示されます。

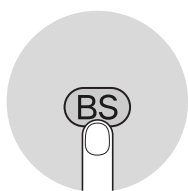
i.LINK機器・登録のしかた

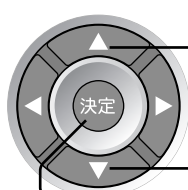
1

押して、BSデジタル放送の画面にする

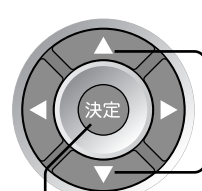
- デジタル放送以外の画面ではデジタルメニューを表示できません。

2

押す

- デジタルメニューが表示されます。

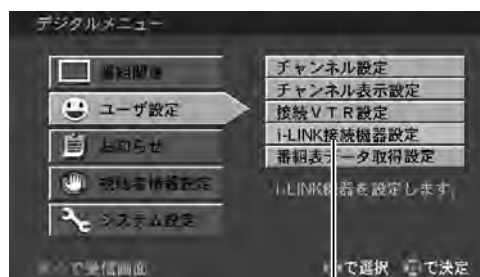
3

押して、「ユーザー設定」を選び、

決定を押す

4

押して、「i.LINK接続機器設定」を選び、

決定を押す

- 「i.LINK接続機器設定」の画面が表示されます。
- 接続したi.LINK機器の登録が自動で行われ、登録されたＤ－ＶＨＳビデオなどの情報が表示されます。

デジタルメニュー画面

「i.LINK接続機器設定」を選んで決定

i.LINK接続機器設定 画面

i.LINK接続機器登録

録画再生する機器を登録します。
２個まで登録可能です。

登録	種別	メーカー名	型　名	状態
□ D-VHS1	D-VHS	Panasonic	NV-DHE20	接続
□ D-VHS2	D-VHS	Panasonic	NV-DHE20	接続
■				
■				
■				
■				

戻るで前画面　　で選択　で決定

表示されるi.LINK機器の情報

登　録　：「D-VHS１（1台目のi.LINK機器)」と
「D-VHS２（2台目のi.LINK機器)」の2台が登録されます。
登録された機器は左端の四角が水色で表示されます。

種　別　：i.LINK機器の種別です（D-VHSビデオなど）

メーカー名：i.LINK機器のメーカー名

型　名　：i.LINK機器の型名

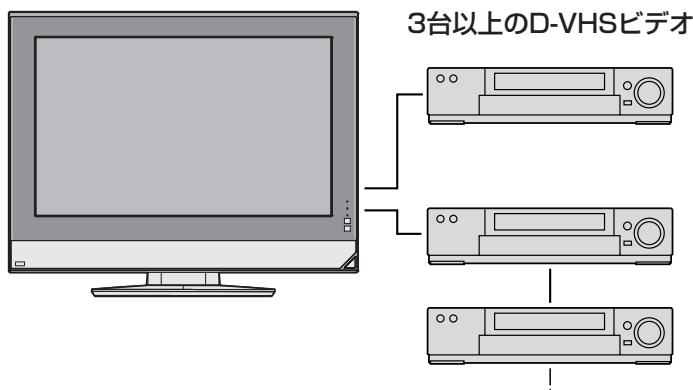
状　態　：接続/未接続などの状態

5

設定を終えるときは押す（操作終了）

- デジタルメニューが消えます。

i.LINK機器の登録（3台以上接続するとき）

3台以上のi.LINK機器を接続して使用するときは、使用するi.LINK機器を登録してからお使いください。
使用するi.LINK機器が登録されていない状態ですと予約録画や再生などができません。

登録を確認する

準　備

- Ｄ－ＶＨＳビデオなどのi.LINK機器をi.LINK端子に接続します。
- i.LINK機器の電源を入れます。

❶「i.LINK接続機器設定」の画面を出す
（☞P157の操作❶～❹）

i.LINK接続機器設定 画面

- 接続したi.LINK機器の情報が画面に表示されます。同時に3台以上のi.LINK機器を接続した場合は、その中から2台を自動的に選んで登録します。
- これから使用するi.LINK機器が「D-VHS1」または「D-VHS2」に登録されていた場合はそのまま使用できます。
- これから使用するi.LINK機器が「D-VHS1」または「D-VHS2」に登録されていなかった場合は、1台の登録を削除してから、使用するi.LINK機器を登録する作業をしてください。

お知らせ

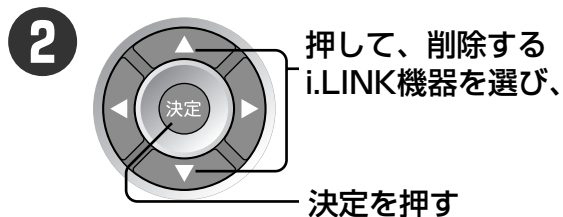
- デジタル録画再生機器として登録できるのは、i.LINK接続機器設定画面を出したとき、「種別」のところに「D-VHS」と表示される機器に限られます。
- i.LINK機器を接続しない状態でi.LINK接続機器設定画面を出したときは、「接続されているi.LINK機器はありません。」と表示されます。
- 登録されたi.LINK機器の情報は、削除しない限り接続をはずしても保持されます。
- 登録されたi.LINK機器以外の機器の情報は、接続している間だけ表示されます。接続をはずすと保持されません。

使わない登録を削除する

これから使用するi.LINK機器が「D-VHS1」または「D-VHS2」に登録されていなかった場合は、1台の登録を削除してから、使用するi.LINK機器を登録します。

2

押して、削除するi.LINK機器を選び、

決定を押す

● 登録が削除されます。登録が削除された機器は「登録」欄の左端の四角が水色から黒に変わります。

i.LINK接続機器設定 画面

i.LINK接続機器登録

登録	種別	メーカー名	型　名	状態
□ D-VHS1	D-VHS	Panasonic	NV-DHE20	接続
■ D-VHS2	D-VHS	Panasonic	NV-DHE20	接続
■	D-VHS	JVC	HM-DHS1	接続
■				
■				
■				

で前画面　　で選択　で決定

登録を解除するi.LINK機器を選んで決定

使う機器を登録する

使用しないi.LINK機器の登録を削除したら、今度はこれから使用するi.LINK機器を登録します。

3

押して、登録するi.LINK機器を選び、

決定を押す

● i.LINK機器が登録されます。登録されたi.LINK機器は「登録」欄の左端の四角が水色に変わります。

i.LINK接続機器設定 画面

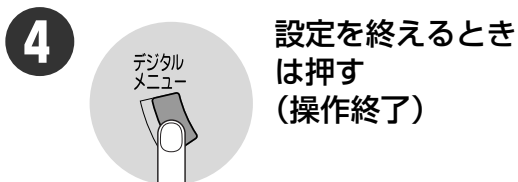
i.LINK接続機器登録

登録	種別	メーカー名	型　名	状態
□ D-VHS1	D-VHS	Panasonic	NV-DHE20	接続
■	D-VHS	Panasonic	NV-DHE20	接続
□ D-VHS2	D-VHS	JVC	HM-DHS1	接続
■				
■				
■				

で前画面　　で選択　で決定

登録するi.LINK機器を選んで決定

4

設定を終えるときは押す（操作終了）

● デジタルメニューが消えます。

ご注意

● 接続しているi.LINK機器が2台以下の場合、接続状態で登録削除の操作を行っても、本機が自動的に登録動作を行い削除されません。接続をはずしてから登録を削除してください。

お知らせ

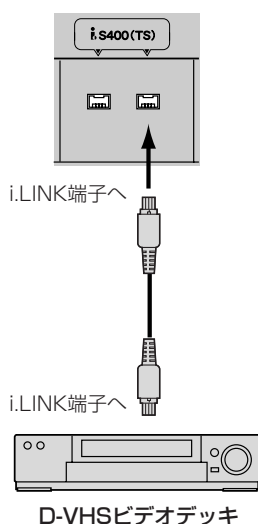
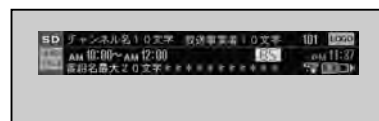
● i.LINK接続機器設定画面を出したとき、以前に登録したが今は接続していないi.LINK機器がある場合などは下部に「（赤）で登録削除」と表示されます。▲▼ボタンで接続していないi.LINK機器を選び、赤ボタンを押すと登録が削除されます。

受信中の放送を録画する（チャンネル固定）

本機のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオで、受信中のデジタル放送をデジタル録画するときは、CH（チャンネル）固定ボタンを押してチャンネルが切り換わらないようにしてください。

録画のしかた

準 備

- D－VHSビデオをi.LINK端子に接続します。
155ページ
- 接続したD－VHSビデオを「i.LINK接続機器設定」で登録してください。
156ページ

1 録画する番組を放送しているデジタル放送の画面に切り換える

（例：BSデジタル放送のとき）

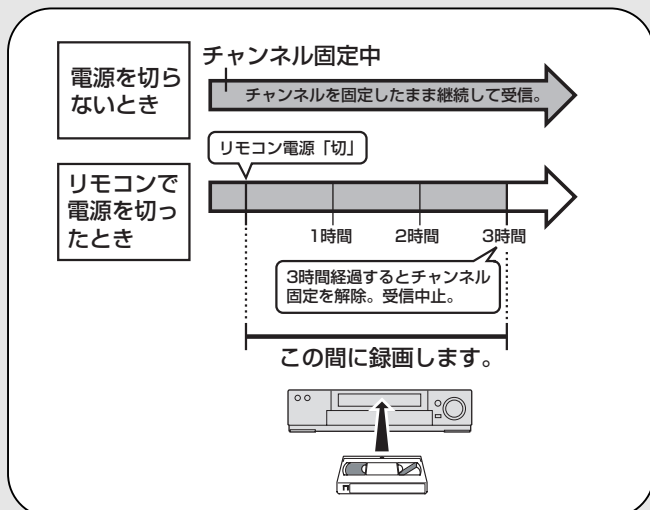
2 録画するチャンネルを受信する

3 CH固定ボタンを押して、チャンネルを固定する

- CH固定をするとデジタル放送のチャンネルが固定され、デジタル放送のチャンネルを変えられなくなります。
- 地上アナログ放送やビデオ画面への切り換えはできます。

チャンネルを固定しました。
（電源オフ時には3時間有効）

CH（チャンネル）固定のはたらき

- CH（チャンネル）固定するとデジタル放送のチャンネルが固定されます。
- CH固定後、リモコンで電源を切ったときは3時間の間受信を継続し、3時間経過後に固定を解除して受信を中止します。

CH固定を解除するとき

解除するときはCH固定ボタンを押します。「CH固定を、解除しました。」と表示されて解除されます。またリモコンで電源を切ってから3時間経過すると、固定は自動で解除されます。

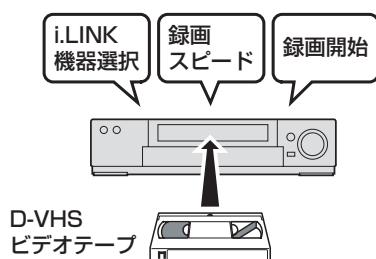
チャンネル固定を解除しました。

CH固定中は働かない機能があります

- CH固定中はデジタル放送の操作を行うボタンを押しても働きません。画面には「現在、チャンネル固定されています。」と表示されます。

現在、チャンネル固定されています。

4 D-VHSビデオを操作して録画を始める

●録画可能なD-VHSテープを入れる
●本機からのデジタル信号を録画できるようi.LINK機器の選択をする
●録画スピードの「オート」を選ぶ
●録画をスタートさせる
(操作方法はD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください)

5 録画を続けながら画面と音を消すときは、リモコンの電源ボタンを押す

●CH固定している間は、リモコンの電源ボタンで電源を切っても、3時間の間は固定した放送の信号を出力し続けますので、録画を継続できます。

D-VHSの録画スピードについて

デジタルの番組は、番組ごとに情報量（転送レート：1125i、750p、525p、525i）が異なります。番組の情報量に合わせて録画できるよう、D-VHSビデオの録画スピードは「オート」をお選びください。情報量が合わない録画スピードを選んだ場合、正常に録画・録音できない場合があります。

お知らせ

●複数のD-VHSビデオを接続している場合でも、録画が行えるのは「i.LINK接続機器設定」で登録したD-VHSビデオだけです。複数のD-VHSビデオを切り換えて録画するときは、録画するD-VHSビデオを「i.LINK接続機器設定」で再設定してください。
●D-VHSビデオでアナログ録画を行う場合は、アナログ録画の接続方法、手順で行ってください。
☞150ページ

番組の録画に関するご注意

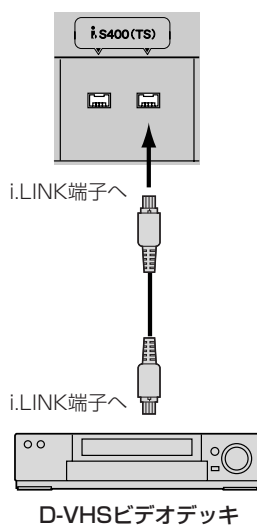
●i.LINK端子にD-VHSビデオを接続して録画できるのはデジタル放送に限ります。
●i.LINK端子からの録画では、ハイビジョン放送をハイビジョンの高画質のまま録画できます（HSモード時）。
●デジタル放送どうしの裏録画はできません。
●デジタル放送の番組の中には、録画できない番組や、録画が制限される番組があります。詳しくは☞148ページをご覧ください。
●あなたがビデオで録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
●本機を利用して貴重な番組の録画などを行うときは、事前に試し録りをして、接続や設定が正しいか確認してください。
●本機の機能や性能、不具合などによって、録画の機会を逸した場合の保証についてはご容赦ください。

予約して録画する

i.LINK端子を使ってD-VHSビデオを接続すると、録画予約したデジタル放送番組の開始～終了に合わせて、D-VHSビデオで自動的に録画の開始～終了を行うことができます。

予約録画のしかた

準　備

- D－VHSビデオをi.LINK端子に接続します。
  155ページ
- 接続したD－VHSビデオを「i.LINK接続機器設定」で登録してください。
  156ページ

D-VHSビデオデッキ

1 番組表から予約する番組を選ぶ

番組表ボタンを押して番組表を出し、カーソルボタン ▲▼ ◀▶ で予約する番組を選び、決定ボタンを押します。（詳しくは 92ページをご覧ください）

2 「録画機器選択」を確認する

画面の「録画機器選択」に、登録したD-VHSビデオが表示されます。

- 表示されているD-VHSビデオで録画する場合は、そのまま次の操作へ移ってください。
- 2台のD-VHSビデオを登録している場合は、録画に使う方を選んでください。
- 「録画機器選択」については 96ページをご覧ください。

録画するD-VHSビデオを選ぶ

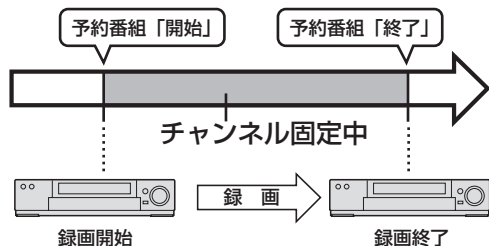
予約した番組が始まると ...

- 予約した番組が受信され、本機のi.LINK端子からD-VHSビデオへ番組の信号が出力されます。
- 本機のi.LINK端子からD-VHSビデオに録画を開始させる信号が出力され、録画が開始されます。
- 予約番組の開始～終了の間は自動的にCH（チャンネル）固定されます。

予約した番組が終了すると ...

- 本機のi.LINK端子からビデオに録画を終了させる信号が出力され、録画が終了します。
- チャンネル固定が解除され、本機は予約番組の開始前の状態に戻ります。（ただしチャンネルは予約番組のチャンネルのままとなります）

CH固定中に予約番組が始まったとき

CH（チャンネル）固定中に予約した番組が始まったときは、チャンネル固定を解除して予約した番組を受信します。ビデオへ出力される信号も、予約した番組のものに変わります。予約番組の受信中は、番組の終了まで予約番組のチャンネルで固定されます。（予約番組が視聴中のチャンネルと同じチャンネルで、予約番組終了後も視聴していた場合は固定が継続されます。）

3 「録画予約」または「視聴+録画」で番組を予約する

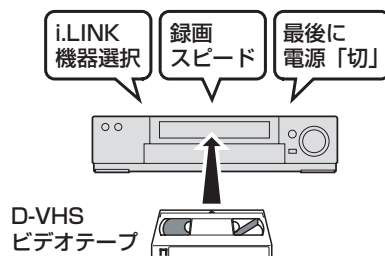
カーソルボタン ▲▼ で「録画予約」または「視聴+録画」を選び、決定ボタンを押します。（詳しくは ☞92ページをご覧ください）

「録画予約」または「視聴+録画」で予約する

プログラム予約のときは ☞114ページにしたがってプログラム予約してください。

4 D-VHSビデオを操作して録画の準備をする

- 録画可能なD-VHSテープを入れる
- 本機からのデジタル信号を録画できるようi.LINK機器の選択をする
- 録画スピードの「オート」を選ぶ
- D-VHSビデオを停止またはリモコンで電源を切った状態にする。

（操作方法はD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください）

5 本機の画面と音を消しておくときはリモコンの電源ボタンを押す

- テレビ本体の電源スイッチで電源を切らないでください。予約番組が受信できなくなります。

D-VHSの録画スピードについて

デジタルの番組は、番組ごとに情報量（転送レート：1125i、750p、525p、525i）が異なります。番組の情報量に合わせて録画できるよう、D-VHSビデオの録画スピードは「オート」をお選びください。情報量が合わない録画スピードを選んだ場合、正常に録画・録音できない場合があります。

プログラム予約した番組を録画するとき

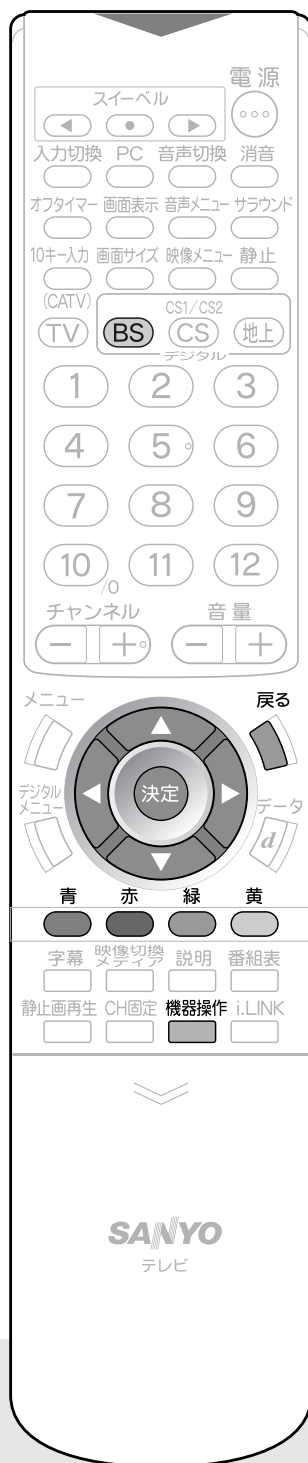
プログラム予約（☞114ページ）で録画するときも、番組表からの予約と同様、i.LINK端子を使って録画できます。

お知らせ

- 複数のD-VHSビデオを接続している場合でも、録画が行えるのは登録したD-VHSビデオだけです。複数のD-VHSビデオを切り換えて録画するときは、録画するD-VHSビデオを登録し直してください。
- D-VHSビデオでアナログ予約録画を行う場合は、アナログ予約録画の接続方法、手順で行ってください。☞152ページ

録画に際しては、☞161ページの「番組の録画に関するご注意」もご覧ください。

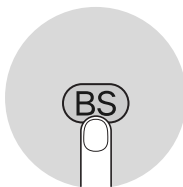
機器操作パネルで操作する

本機の画面に機器操作パネルを表示させ、パネル上でi.LINK機器を操作することができます。

機器操作パネルを表示させる

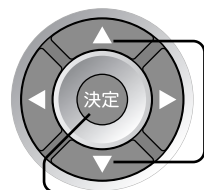
1

押して、デジタル放送の画面にする

- デジタル放送とi.LINK以外の画面では機器操作パネルは表示できません。

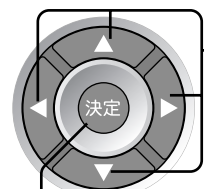
2

押す

- 機器操作パネルが表示されます。
- 電源を入れたすぐ後に機器操作パネルを出したときは、「接続機器の情報取得中」と表示され、操作可能になるまで数秒かかります。

3

押して、「D-VHS1」、「D-VHS2」から操作するi.LINK機器を選び、

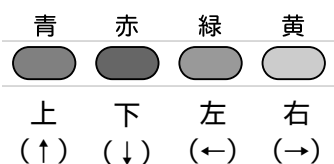
決定を押す

- D-VHSビデオが1台のときは、そのまま決定ボタンを押します。
- パネルの各操作ボタンを選べるようになります。

4

押して、操作パネルの中から操作に使うボタンを選び、

決定を押す

- 選んで決定したボタンの操作が、i.LINK機器で行われます。
- 再生、頭出し（1つ前/先）のボタンを操作したときは、画面が自動でi.LINK画面に切り換わります。
- 操作する機器を切り換えるときは「戻る」ボタンを押します。
  ▲▼ ボタンで「D-VHS1」、「D-VHS2」を選べるようになりますので、選んで決定ボタンを押します。

パネルの位置を変えるとき

青	赤	緑	黄
上（↑）	下（↓）	左（←）	右（→）

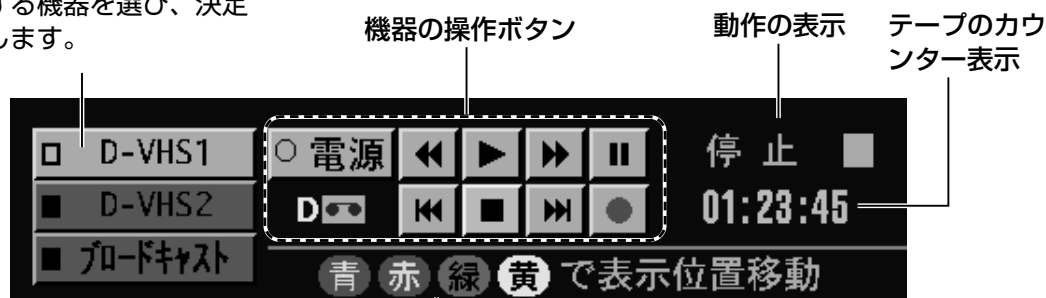
青、赤、緑、黄のボタンで機器操作パネルの位置を変えられます。

5

操作パネルを消すときは、押す

- 機器操作パネルが消えます。
- 機器操作パネルは消えても、操作した機器の動作は継続します。

機器操作パネル

登録されている機器から▼▲ ボタンで操作する機器を選び、決定ボタンを押します。

例.機器操作パネルの操作でデジタル放送を録画するとき

❶ **録画するデジタル放送を受信する。**

❷ **機器操作ボタンを押して機器操作パネルを表示させる。**

❸ **◀▶ ▼▲ ボタンで機器操作パネルの「●録画」ボタンを選び、決定ボタンを押す。（録画開始）**

- 機器操作パネルの「●録画」ボタンで録画を始めると、自動的にチャンネルが固定され「受信チャンネルを固定しました。」と表示されます。

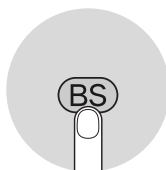
お知らせ

- 機器操作パネルは1分間操作がないと自動的に消えます。
- デジタルメニュー、番組表、予約や番組購入など、表示している画面によっては機器操作パネルが表示できません。
- チャンネル固定中のとき、予約番組の実行中は機器操作パネルが表示できません。
- チャンネルや画面を切り換えたときは機器操作パネルが消えます。
- 接続や設定が原因で機器操作パネルで操作できないときは「接続、設定をご確認ください。」とメッセージが表示されます。
- データ放送の受信画面で機器操作パネルを表示させたとき、カーソル、決定、カラーの各ボタンは機器操作パネルの操作用として働きます。
- 本機が、接続したi.LINK機器を認識できなかったときは「コネクションに失敗しました。」とメッセージ表示されます。

D－VHSビデオの再生を映す

i.LINK端子に接続したD－VHSビデオをデジタル再生するときは、「i.LINK」ボタンを使います。

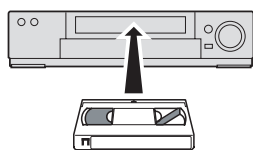
デジタル再生画面の映しかた

準　備
- D－VHSビデオをi.LINK端子に接続します。155ページ
- 接続したD－VHSビデオを「デジタル録画再生機器」に登録してください。156ページ

1 押して、デジタル放送の画面にする

例. BSデジタル放送のとき。
どのデジタル放送でもかまいません。

2 押して、i.LINK接続の入力画面にする

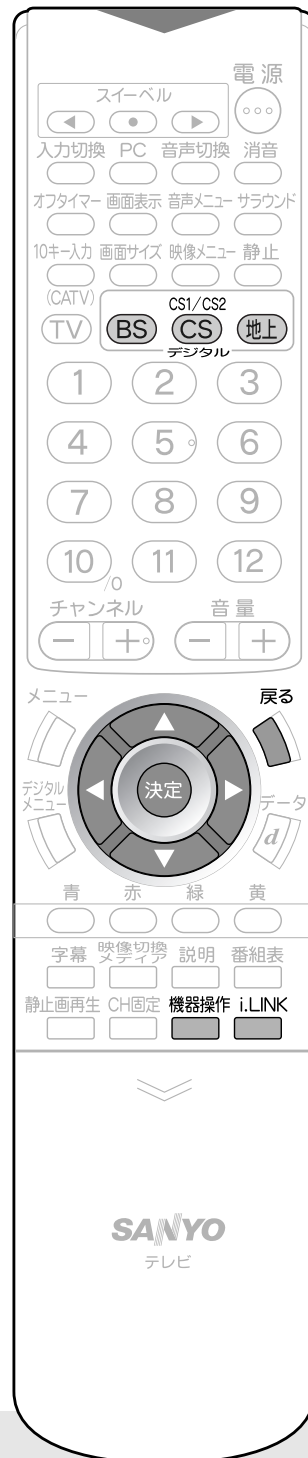
3 D－VHSビデオを操作して再生を始める

再生スタート

- 画面にD－VHSビデオの再生画面が映し出されます。
- 再生中はデジタル放送受信中と同様、説明ボタンやデータボタンの操作ができます。

i.LINK機器の再生画面　i.LINK接続機器の状態を表示

D-VHS　再 生 ▶
D　01:23:45

動作状態
カウンタ表示
テープの挿入状態

4 デジタル放送の画面に戻るときは、押す

お知らせ
- i.LINK端子に接続がない状態でi.LINKボタンを押したときは何も映りません。i.LINKボタンを押すとデジタル放送の画面に戻ります。
- 機器操作パネルからブロードキャスト入力にしたときは、i.LINK機器の登録をしなくても再生を映すことができます。このとき画面に上記のような表示は出ず、「ブロードキャスト」と表示されます。167ページ

ご注意
- CH（チャンネル）固定中、または番組表やデジタルメニューの表示中はi.LINKボタンが働きません。
- i.LINK再生モードのときは、デジタルメニューや番組表を表示させることはできません。これらのボタンを押したときは、画面に「i.LINK再生モードでは、使用できません。」と表示されます。

数台つないだ中の1台から再生するとき

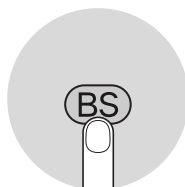
3台以上のi.LINK機器をつないだときは、機器操作パネルから「ブロードキャスト」を選択すると、「i.LINK接続機器設定」で登録していない機器でも再生を映すことができます。

ブロードキャスト入力で映すには

1

押して、デジタル放送の画面にする

- デジタル放送とi.LINK以外の画面では機器操作パネルは表示できません。

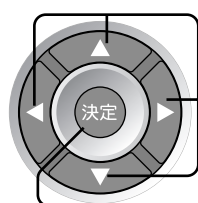
2

押す

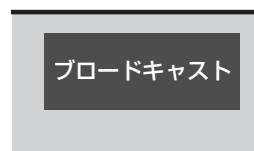
- 機器操作パネルが表示されます。

機器操作パネル

「ブロードキャスト」を選んで決定

3

押して、「ブロードキャスト」を選び、

決定を押す

- 「i.LINK接続機器設定」で登録していない機器からの入力を有効にし、再生を受け付けるようになります。
- 画面は自動的にi.LINKの再生画面に切り換わります。
- 登録していないi.LINK機器が接続されていない状態では、「ブロードキャスト」の選択はできません。
- 機器操作パネルの操作ボタン部分が選ばれているときは、「戻る」ボタンを押してから、「ブロードキャスト」を選びます。

ブロードキャスト

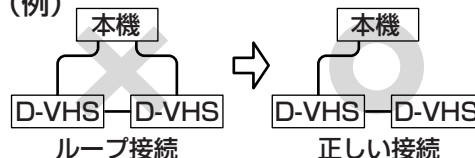
ブロードキャストで再生したときは、i.LINKボタンを押してi.LINK再生画面に切り換えたとき、「ブロードキャスト」と表示されます。

4

操作パネルを消すときは、押す

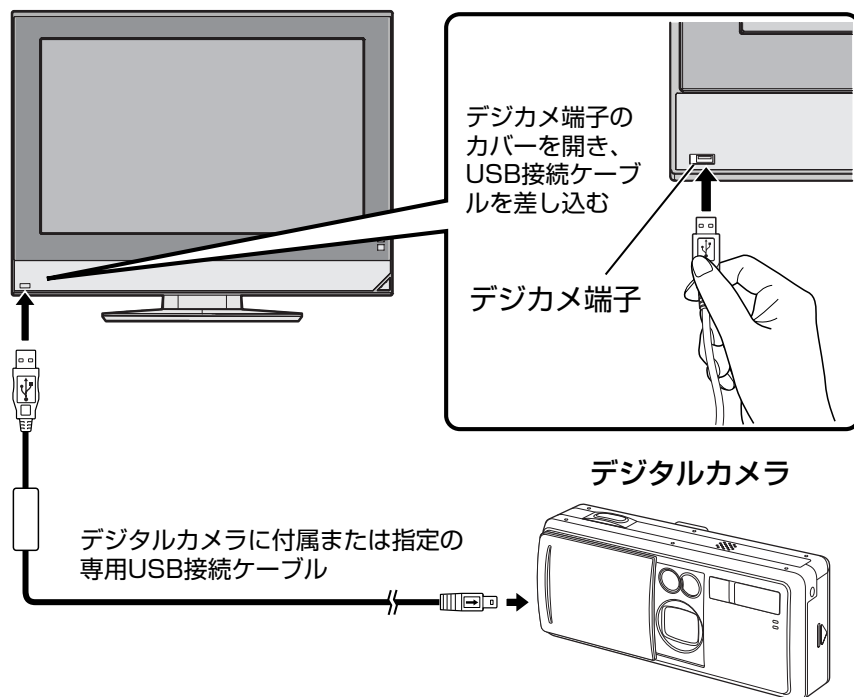
- 機器操作パネルが消えます。

ご注意

- ブロードキャスト入力で数台つないだi.LINK機器から再生する場合、再生するi.LINK機器は1台にしてください。複数のi.LINK機器から同時に再生しますと正常に映すことができません。
- ブロードキャスト出力ができないi.LINK機器はブロードキャスト入力で再生することができません。
- 接続が輪（ループ）にならないようにしてください。データを送信したi.LINK機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。

デジタルカメラのつなぎかた

デジタルカメラを接続して、カメラに記録した画像を静止画再生することができます。

デジタルカメラのつなぎかた

本機の前面、「デジカメ端子」のカバーを開き、デジタルカメラの専用USB接続ケーブルで、デジタルカメラを接続します。

お知らせ

- 本機の電源が入った状態のまま、接続することができます。
- カメラ側の接続方法や使用するUSB接続ケーブルについてはデジタルカメラの取扱説明書をよくお読みください。

＊
本機発売時点において、三洋電機製デジタルカメラDSC-J4、DSC-S4、DSC-S3、デジタルムービーカメラDMX-C1で接続検証済み。

■本機で再生できる画像データについて

再生できる画像データ

- DCF規格で記録された静止画データ（画像ファイル形式：Exif2.1以上）
  ただし、ファイル名が日本語の場合は、表示できません。

※画像データの状態、記録形式などによっては再生できないものがあります。

DCF(Design rule for Camera File system)
デジタルカメラで撮影した画像ファイルをどのような構造で保存するかを定めた統一規格です。この規格に準拠したデジタル機器間では、画像ファイルを相互に利用することができます。

Exif（Exchangeable Image File Format）
サムネイルや撮影情報など、画像以外の付加情報をファイル内部に記録できる画像データ形式です。

ご注意

- デジカメ端子はUSBマスストレージクラス対応のデジタルカメラ以外には対応していません。
- デジタルカメラやメモリーカードの種類によっては本機で静止画再生できない場合があります。
- デジタルカメラの静止画再生中（静止画再生画面での操作中）は、本機の電源を切ったり、デジタルカメラの接続を抜かないでください。データが破壊されることがあります。
- デジタルカメラからのデータを読み込み中は、画面下に「メモリーカードアクセス中！！」、または「データ読み込み中！！」と表示されます。この間はデジタルカメラの接続を抜かないでください。データが破壊される場合があります。
- デジタル放送の予約実行中やチャンネル固定中は静止画再生できません。
- デジタルカメラの静止画再生中に予約した番組が始まったときは、予約実行の動作に移ります。
- 接続したデジタルカメラにテレビの映像や音声を記録することはできません。

デジタルカメラの画像を再生する

デジタルカメラの画像を読み込むには

準　備　●左ページの接続方法にしたがい、本機のデジカメ端子にデジタルカメラを接続します。

1 デジタルカメラの電源を入れて、パソコン接続モードにする

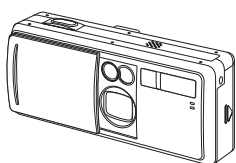
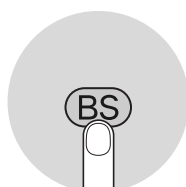
① デジタルカメラの電源を入れます。
② デジタルカメラを操作して、デジタルカメラをパソコンに接続するモードにします。
③ パソコンに接続するモードの中にも複数の選択がある場合は、「カードリーダー」など、画像データをパソコンに取り込むモードにしてください。

2

押して、デジタル放送の画面にする

例. BSデジタル放送のとき。
どのデジタル放送でもかまいません。

3

押す

マルチ表示画面

- ●デジタルカメラから画像データが読み込まれ、16個の小さな画面で表示されます（マルチ表示。詳しくは 171ページをご覧ください）。
- ●マルチ表示が出るまでの間、画面の下に「メモリーカードアクセス中！！」と表示されます。
- ●デジタルカメラ内に複数のメモリーカードがあるとき、またメモリーカードの中に複数のフォルダがあるときは、画像データが読み込まれる前にメモリーカードやフォルダを選ぶ画面が表示されます。 ▲▼◀▶ ボタンと決定ボタンでメモリーカードやフォルダを選んでください。
（詳しくは 170ページをご覧ください）

お知らせ

- ●デジタルカメラの機種によっては、カメラの電源を入れてパソコン接続モードにすると、本機が検知して自動で画面が切り換わるものがあります。

デジタルカメラの画像を再生する（つづき）

静止画再生をやめるとき/再開するとき

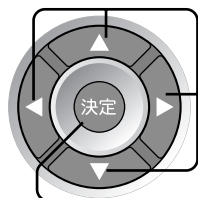
押す

- 表示画面の種類（マルチ、シングル、スライド）に関わらず静止画再生画面が消え、デジタル放送の画面に戻ります。
- 入力切換ボタンやTV/BS/CS/地上ボタンを押したときも静止画再生画面が消え、画面が切り換わります。
- デジタルカメラを接続した状態で静止画再生を再開するときは、デジタル放送画面に切り換えて静止画再生ボタンを押すと画像データを読み込みます。

デジタルカメラをはずすとき

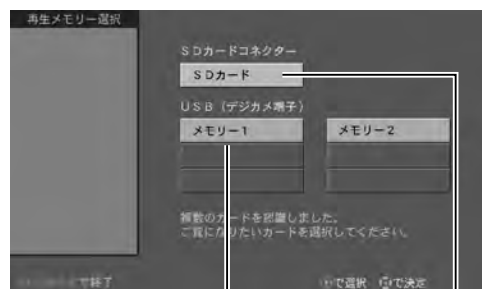
デジタルカメラの接続をはずすときは、必ずリモコンの静止画再生ボタンを押して、静止画再生の画面を消してからはずしてください。データの読み込み中に接続をはずすとデータが破壊されることがあります。
また接続をはずす際の手順についてはデジタルカメラの取扱説明書もよくお読みください。

複数のメモリーカードがあるとき

デジタルカメラの中に複数のメモリーカードがあるときや、本機のSDメモリーカード挿入口に画像を記録したSDメモリーカードがセットされているときは、メモリーカードを選ぶ画面が表示されます。 次のようにして、画像を再生するメモリーカードを選んでください。

押して、画像を再生するメモリーカードを選び、

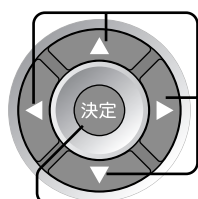
決定を押す

- 選んだメモリーカードから画像データが読み込まれ、16個の小さな画面で表示されます（マルチ表示）。

メモリーカード選択画面例

画像を再生するメモリーカードを選んで決定

＊本機にSDメモリーカードを差し込んでいるときに選択できます。

メモリーカード内に複数のフォルダがあるとき

メモリーカードの中に複数のフォルダがあるときは、フォルダを選ぶ画面が表示されます。次のようにして、画像を再生するフォルダを選んでください。

押して、画像を再生するフォルダを選び、

決定を押す

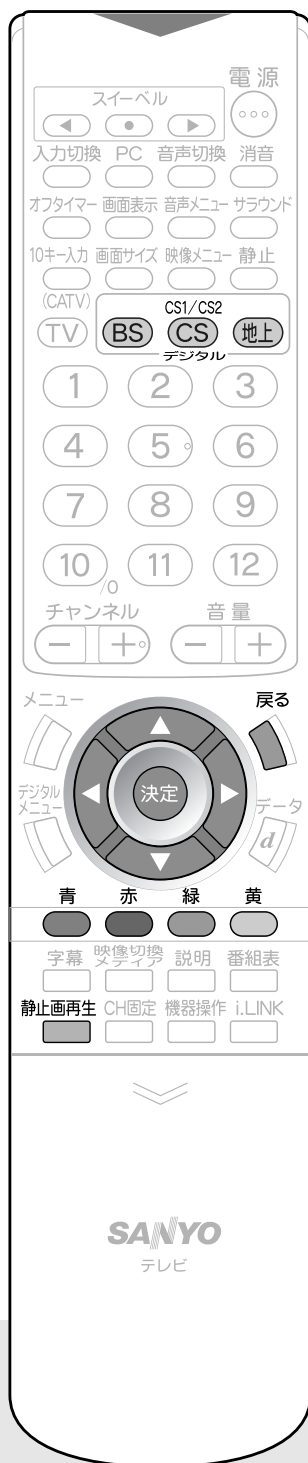
- 選んだフォルダから画像データが読み込まれ、16個の小さな画面で表示されます（マルチ表示）。

フォルダ選択画面

画像を再生するフォルダを選んで決定

マルチ表示画面

画像の情報

▲▼ ◀▶ ボタンで画像を選び、決定ボタンを押すと、選んだ画像のシングル表示に移ります。

「静止画再生」ボタンを押すと静止画再生を終了し、デジタル放送の画面に戻ります。

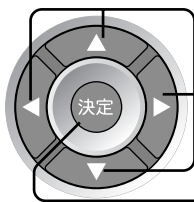
カラーボタンで次のような操作ができます。
青：マルチ表示の最初の画面で押すと静止画再生メニュー画面に移ります。
黄：次のページを表示します。
（16個以上の画像がある場合）
緑：前のページに戻ります。
（「緑で前ページ」と表示された場合）

カーソル（黄色のわく）
選択中の画像を示します。▲▼ ◀▶ ボタンでカーソルを移動させることができます。

画像の情報

- **フォルダ名**
  表示中の画像データが入っているメモリーカード内のフォルダ名です。
- **ファイル名**
  カーソルで選択中の画像データのファイル名です。
- **撮影日**
  画像データに撮影日が記録されている場合は表示します。
- **ファイルサイズ**
  カーソルで選択中の画像データの画素数を表示します。
- **枚数（＊/＊）**
  カーソルで選択中の画像が何枚目であるかを表示します＊。

＊メモリーカード内に複数の画像フォルダがあるときは、フォルダ内の枚数のうち、選択中の画像が何枚目であるかを表示します。

お知らせ

- 画像にサムネイル（小画像）データがない場合は、マルチ表示できません。

1個の画像を大きく映す（シングル表示）

マルチ表示の中から選んだ画像を1個の大きな画像に拡大表示できます。（シングル表示）

シングル表示で映すには

❶ マルチ表示の画面を表示させる（☞168〜171ページ）

❷

押して、シングル表示したい画像を選び

決定を押す

●データが読み込まれ、画像がシングル表示されます。

マルチ表示画面

シングル表示したい画像を選んで決定

シングル表示画面

画像の情報
現在、シングル表示している画像の情報を表示します。（詳しくは☞171ページをご覧ください）

「戻る」ボタンを押すとマルチ表示画面に戻ります。

カラーボタン（青、赤、緑、黄）で...
カラーボタンで次の操作に移ることができます*。

青：ひとつ前の画像ファイルを映します。
赤：次の画像ファイルを映します。
緑：画像を時計回りに90度回転させます。
黄：スライド表示を始めます。

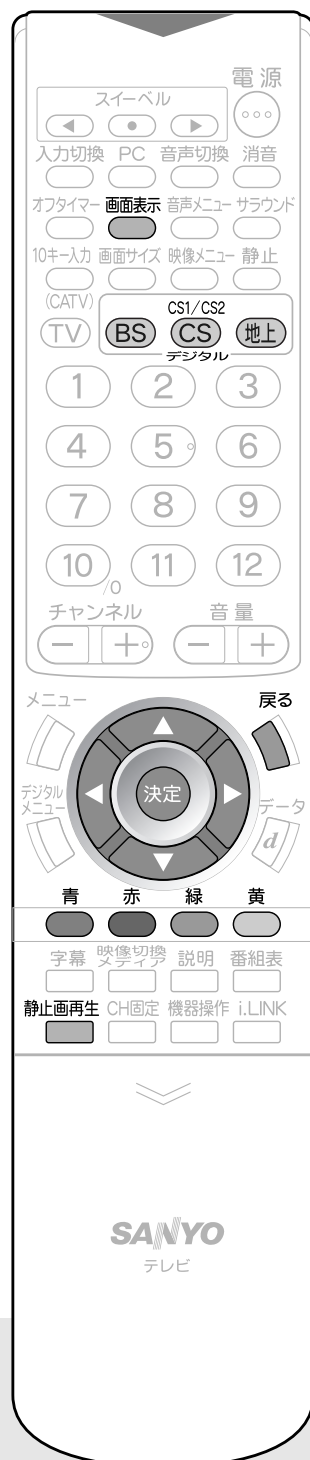
＊それぞれの操作に移り、データを読み込んだあと、画像を表示します。

お知らせ

●データを読み込むときは、画面下に「メモリーカードアクセス中！！」、続いて「データ読み込み中！！」と表示され、進み具合がバーで表示されます。この間はデジタルカメラの接続をはずしたり、SDメモリーカードを抜かないでください。データが破壊される場合があります。

●静止画再生をやめるときは、リモコンの「静止画再生」ボタンを押します。

画像を次々に切り換えて映す（スライド表示）

シングル表示から、画像を次々に切り換えて映すスライド表示を始めることができます。
スライド表示は「自動再生」と「手動再生」の2種類から選べます。

スライド表示で映すには

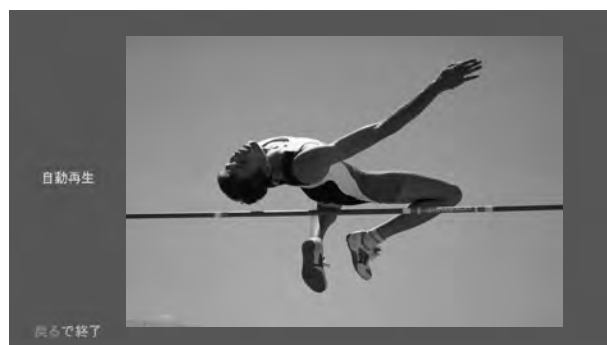
1 スライド表示を始めたい画像をシングル表示で映す
（☞172ページ）

2

押す

● スライド表示が始まります。

リモコンの「黄」ボタンを押す

スライド表示の画面

例. 自動再生の画面

● 「自動再生」の場合は、一定時間ごとに自動で画像が切り換わります。
● 「手動再生」の場合、画像は自動では切り換わりません。◀▶ ボタンで画像を進めたり戻ったりできます。
● リモコンの画面表示ボタンを押すと、ガイド表示が消えて拡大された画像を表示することができます。もう一度画面表示ボタンを押すとガイド表示の付いた画面に戻ります。
● 自動再生/手動再生を選んだり、自動再生で画像が切り換わる時間を設定で変えることができます。（☞175ページ）

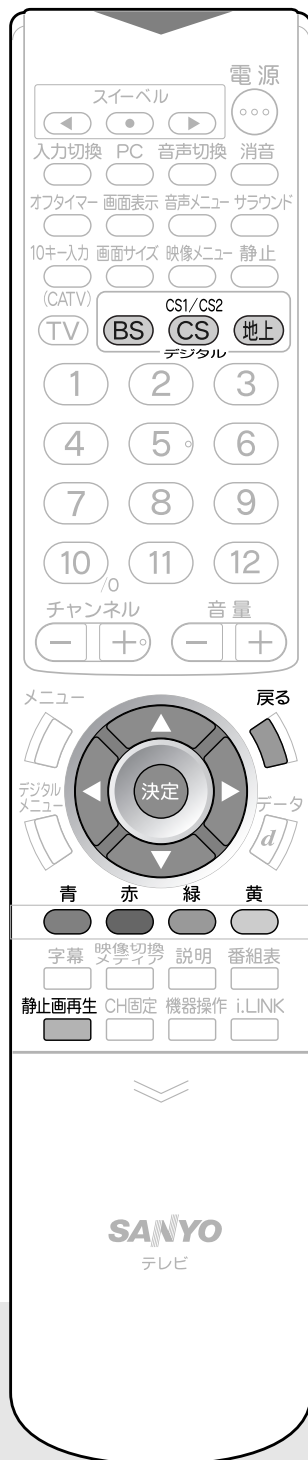
3

「戻る」ボタンを押すと、スライド表示をやめてマルチ表示画面に戻ります。

お知らせ

● シングル表示、スライド表示で表示される画像の大きさは、画像の画素数や向きによって異なる場合があります。また表示される画像の範囲はマルチ表示、シングル表示、スライド表示で多少異なることがあります。
● 1枚の画像を完全に表示するのにかかる時間は画素数によって異なります。画素数が多いものは数秒かかる場合があります。

スライド表示の設定を変えるとき

スライド表示の「自動再生」と「手動再生」を切り換えたり、「自動再生」の静止画切り換え時間を変えるときは、次のように行います。

スライド表示設定画面を出す

1 マルチ表示の画面を表示させる（168～171ページ）

- マルチ表示の最初のページを表示させます。最初のページでないときは「緑」ボタンを押して、最初のページに戻してください。

2

押す

- マルチ表示の最初の画面で「青」ボタンを押すと、静止画再生メニュー画面が表示されます。

「青」ボタンを押す

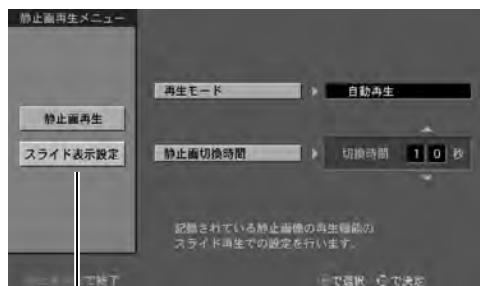
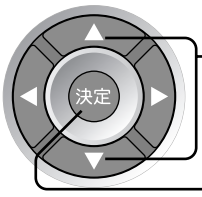
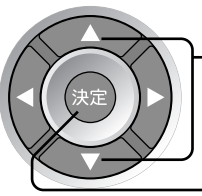
3

押して、「スライド表示設定」を選び、

決定を押す

静止画再生メニュー画面

「スライド表示設定」を選んで決定

- 静止画再生メニュー画面右側の「再生モード」が黄色になり選ばれます。（スライド表示設定画面）

マルチ表示画面に戻るときは

静止画再生メニュー画面からマルチ表示画面に戻すときは、▲▼◀▶ ボタンで「静止画再生」を選んで決定ボタンを押すと、データの読み込みが始まり、マルチ表示画面が表示されます。

「静止画再生」を選んで決定

再生モードを切り換える

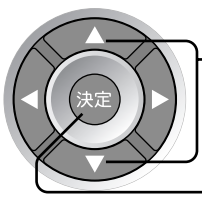
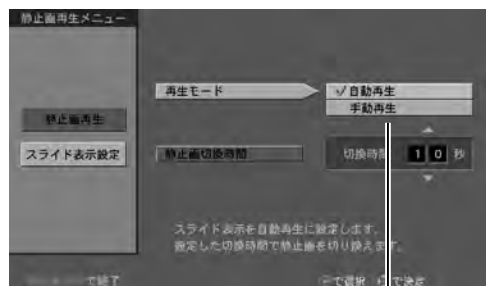
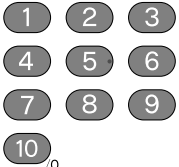
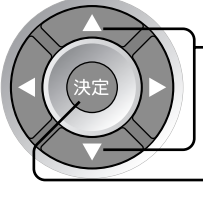
スライド表示の再生モード（自動再生/手動再生）を切り換えるときは次のようにします。

押して、「再生モード」を選び、

決定を押す

押して、希望の再生モードを選び、

決定を押す

- 再生モードが設定されます。

スライド表示設定画面

希望の再生モードを選んで決定

静止画切換時間を変える

「自動再生」の静止画切換時間を変えるときは次のようにします。

押して、「静止画切換時間」を選び、

決定を押す

- 切換時間の数字が黄色で表示されます。

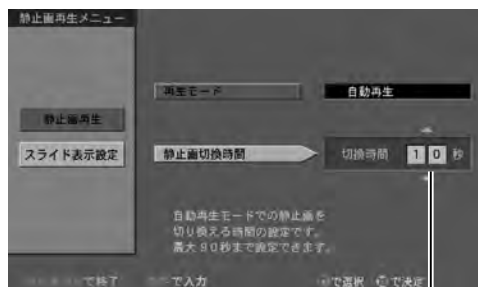
10/0

1～10の数字ボタンまたは、

で希望の時間を設定し、

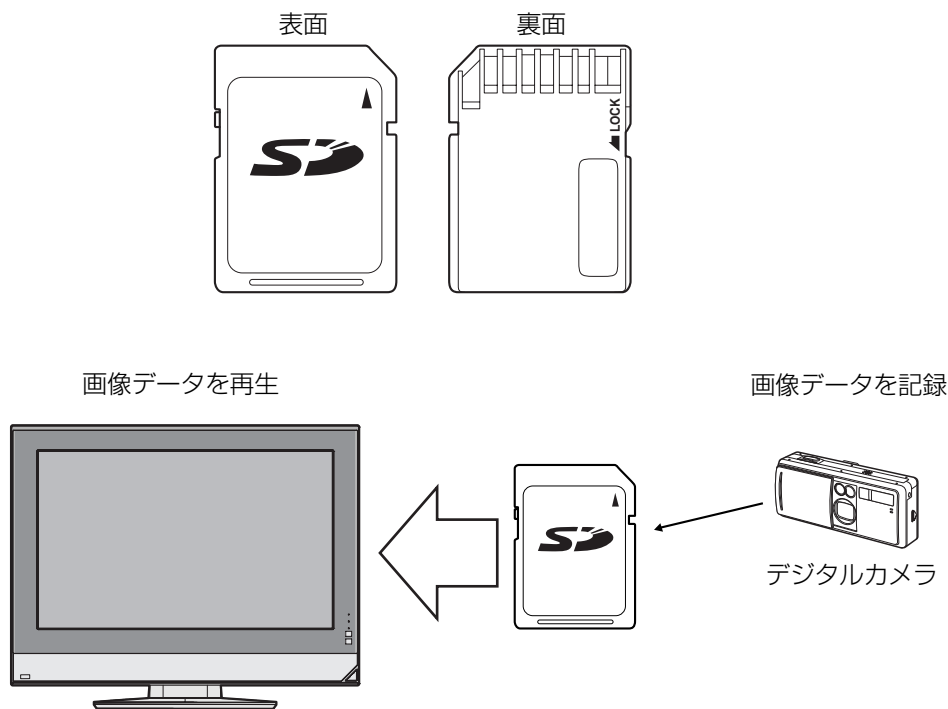
決定を2回押す

- 数字ボタンで入力するときは、10の桁から入力します。▲▼ボタンの入力では、1秒単位で秒数が切り換わります。
- 決定ボタンを押すと、時間のわくが黄色になります。もう一度決定ボタンを押すと時間が確定し、「静止画切換時間」のわくが黄色になります。（設定終わり）
- 切換時間は01～90秒の間で設定できます。

スライド表示設定画面

切換時間を設定し、決定を2回押す

SDメモリーカードの取り扱い

本機では、SDメモリーカード挿入口にSDメモリーカードを差し込んで静止画再生することもできます。

SDメモリーカードは、「Secure Digital」の頭文字をとった名前で著作権保護機能を内蔵したメモリーカードです。24mm×32mm×2.1mmの切手とほぼ同じ大きさの半導体メモリーで、MD(ミニディスク)やCD(コンパクトディスク)、カセットテープに替わる次世代の記録媒体です。

■本機で再生できる画像データについて

再生できる画像データ

- DCF規格で記録された静止画データ(画像ファイル形式:Exif2.1以上)
  ただし、ファイル名が日本語の場合は、表示できません。

※画像データの状態、記録形式などによっては再生できないものがあります。

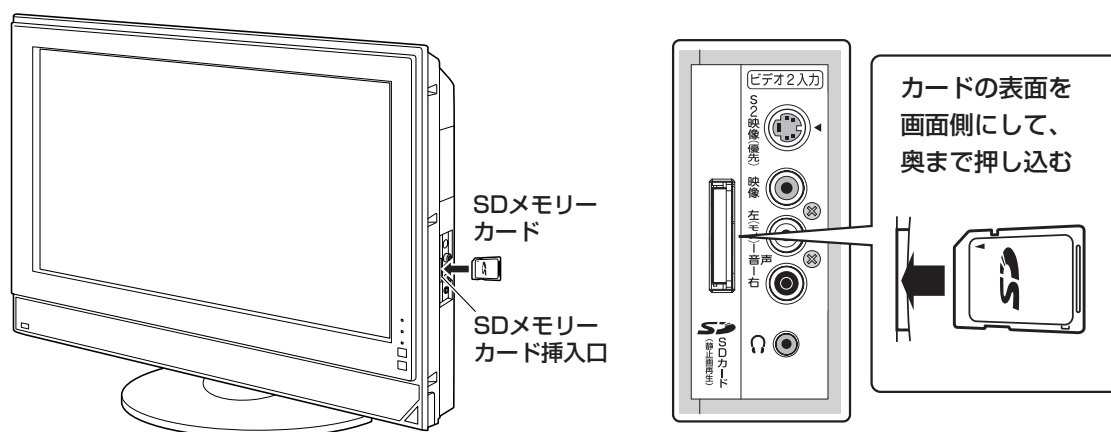
DCF(Design rule for Camera File system)
デジタルカメラで撮影した画像ファイルをどのような構造で保存するかを定めた統一規格です。この規格に準拠したデジタル機器間では、画像ファイルを相互に利用することができます。

Exif(Exchangeable Image File Format)
サムネイルや撮影情報など、画像以外の付加情報をファイル内部に記録できる画像データ形式です。

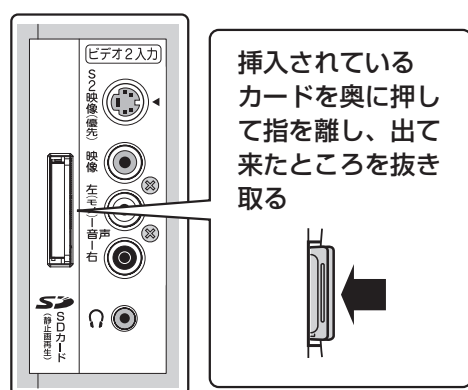
ご注意

- SDメモリーカードの使用中(静止画再生画面での操作中)は、電源を切ったり、SDメモリーカードを抜かないでください。データが破壊される場合があります。
- SDメモリーカードからデータを読み込み中は、画面下に「メモリーカードアクセス中!!」、または「データ読み込み中!!」と表示されます。この間はSDメモリーカードを抜かないでください。データが破壊される場合があります。
- 本機ではテレビの映像や音声をSDメモリーカードに記録することはできません。

SDメモリーカードの入れかた

本機右側面のSDメモリーカード挿入口に付けられているカバーをめくり、図の向きにSDメモリーカードを押し込む

- カードの表面を手前(図の向き)にして、奥まで押し込んでください。
- 本機の電源状態(入/切)に関わらず、SDメモリーカードを挿入することができます。
- SDメモリーカードを挿入しただけの状態では、データの読み込みなどは行われません。リモコンの静止画再生ボタンを押すとデータを読み込みます。

SDメモリーカードの抜きかた

挿入されているSDメモリーカードを奥へ押し込み、出てきたところを抜き取る

ご注意

SDメモリーカードを抜くときは、必ずリモコンの静止画再生ボタンを押して、静止画再生の画面を消してから抜いてください。データの読み込み中にカードを抜くとデータが破壊されることがあります。

ご注意

- SDメモリーカードの取り扱いについては、SDメモリーカードの取扱説明書をよくお読みください。
- SDメモリーカードへの画像の記録については、お手持ちのデジタルカメラの取扱説明書をよくお読みください。

SDメモリーカードの画像を再生する

次のようにしてSDメモリーカードから画像データを読み込みます。

画像を読み込んで再生するには

●画像が記録されているSDメモリーカードを挿入します。

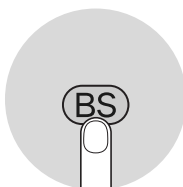
1

押して、デジタル放送の画面にする

例. BSデジタル放送のとき。
どのデジタル放送でもかまいません。

2

押す

マルチ表示画面

- SDメモリーカードから画像データが読み込まれ、16個の小さな画面で表示されます（マルチ表示）。
- マルチ表示が出るまでの間、画面の下に「メモリーカードアクセス中！！」と表示されます。
- SDメモリーカード内に複数のフォルダがあるときはフォルダを選ぶ画面に変わります。 ▲▼◀▶ ボタンと決定ボタンでフォルダを選んでください（☞170ページ）
- デジカメ端子にデジタルカメラが接続されているときはメモリーカードを選ぶ画面に変わります。▲▼◀▶ ボタンと決定ボタンで「SDカード」を選んでください（☞170ページ）

静止画再生をやめるとき/再開するとき

3

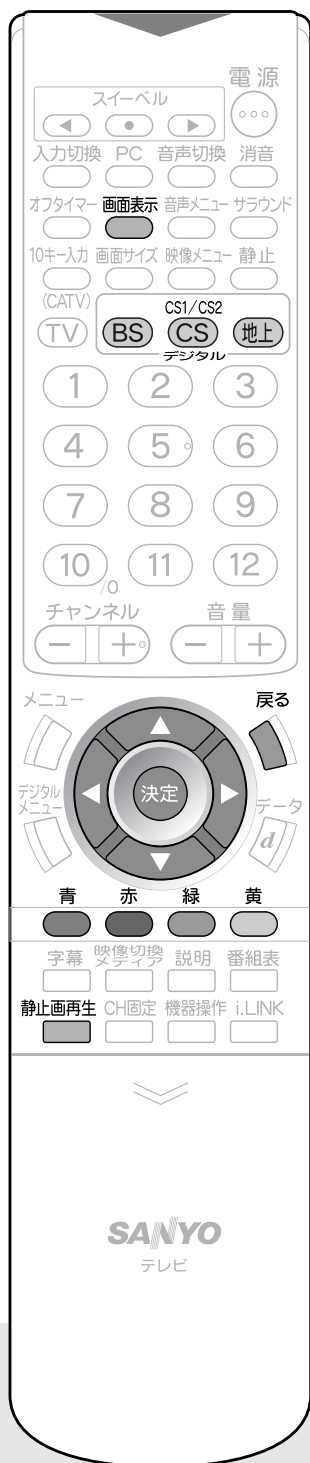
押す

- 表示画面の種類（マルチ、シングル、スライド）に関わらず静止画再生画面が消え、デジタル放送の画面に戻ります。
- 入力切換ボタンやTV/BS/CS/地上ボタンを押したときも静止画再生画面が消え、画面が切り換わります。
- SDメモリーカードを差し込んだ状態で静止画再生を再開するときは、デジタル放送画面に切り換えて静止画再生ボタンを押すと画像データを読み込みます。

ご注意

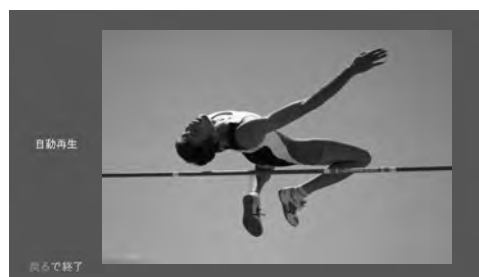
SDメモリーカードを抜くときは、必ずリモコンの静止画再生ボタンを押して、静止画再生の画面を消してから抜いてください。データの読み込み中にカードを抜くとデータが破壊されることがあります。

お知らせ

- 静止画再生中に予約した番組が始まったときは、予約実行の動作に移ります。

マルチ表示、シングル表示、スライド表示の各操作は、デジタルカメラの静止画再生と同様に操作できます。
（☞170～175ページ）

シングル表示画面

スライド表示画面

機器の接続とデジタル放送の録画

パソコンを映す

この章では本機のPC入力端子にパソコンをつないで映す方法を説明します。

パソコンのつなぎかた

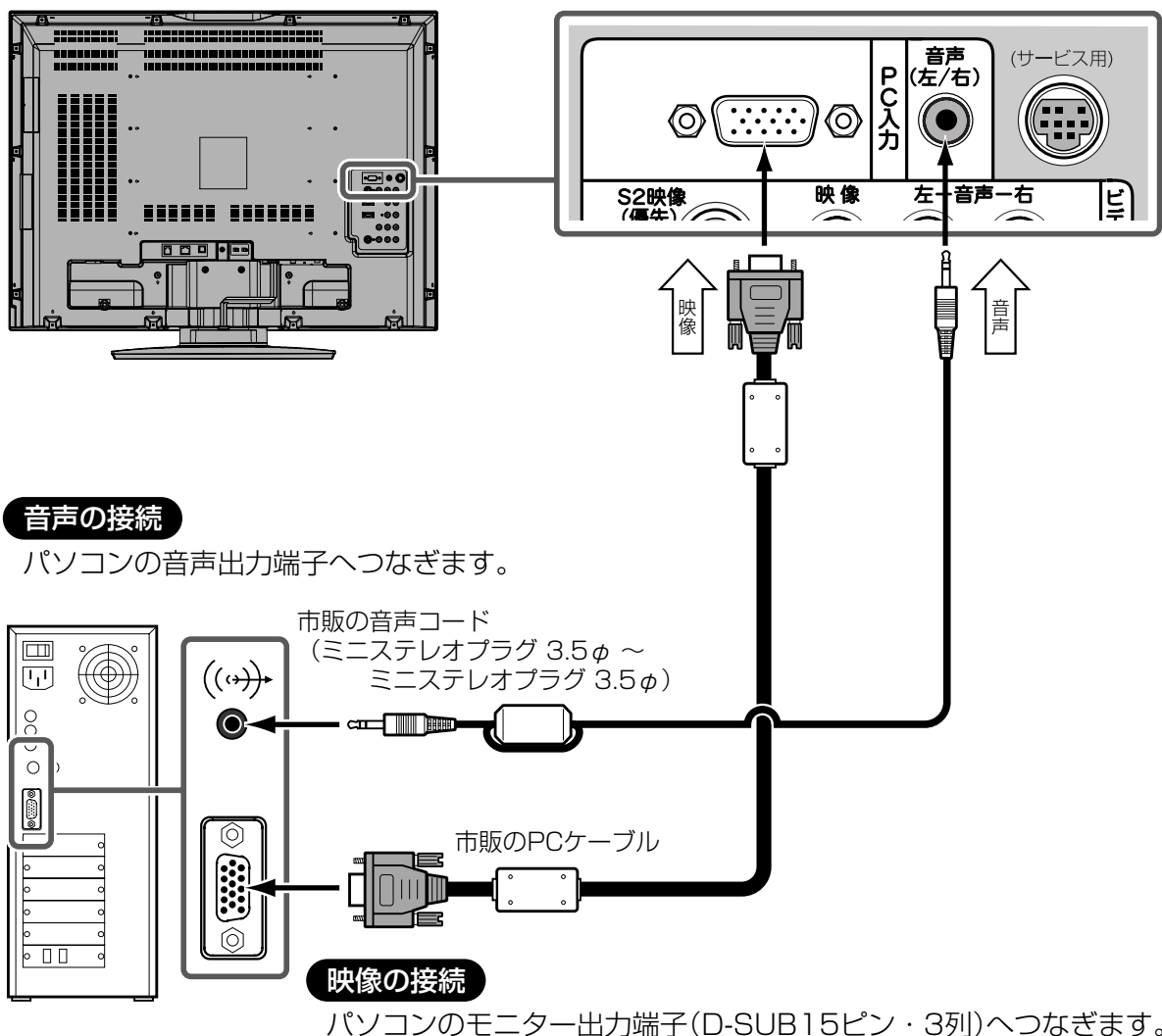
本機はPC入力端子に接続したパソコンの画像を映すことができます。

- XGA入力まで対応。
- プラグ&プレイに対応。
- 入力信号に応じた調整を行う自動調整機能。☞190
- パワーセーブ(自動節電)機能。☞192

ご注意とお願い
パソコンの中には接続しても正常には映らないものがあります。パソコン側の原因などについてはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

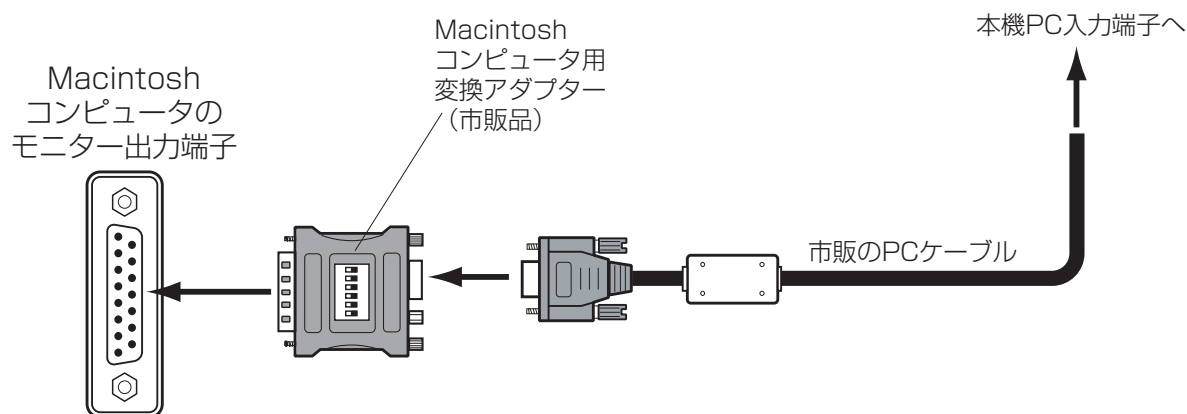
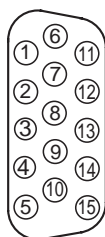
パソコンのつなぎかた(アナログ出力のDOS／V機のとき)

音声の接続
パソコンの音声出力端子へつなぎます。

映像の接続
パソコンのモニター出力端子(D-SUB15ピン・3列)へつなぎます。

接続するときの注意

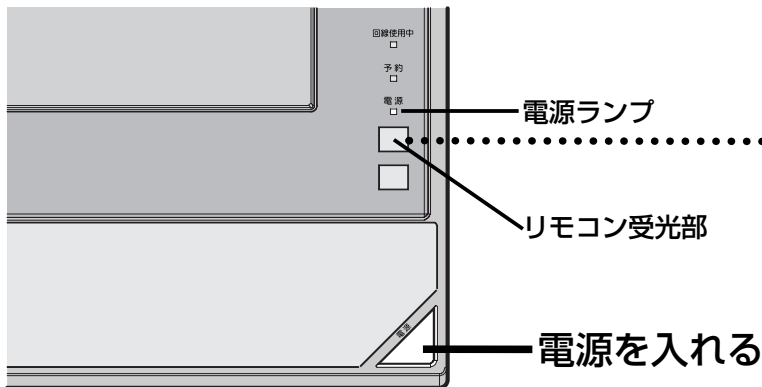
- 接続するおたがいの機器の保護のため、接続は各機器の電源を切って行ってください。
- パソコンを接続するとき、ケーブルのコネクタのネジはしっかり締めてください。
- 接続ケーブルのプラグは、しっかりと差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。
- 接続ケーブルをはずすときは、ケーブルを引っ張らずに、プラグを持って抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 複数の機器をつないだときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切ってください。

Macintoshのコンピュータをつなぐとき

- Power Mac G3以降のMacintoshコンピュータをつなぐ場合は、☞182ページの「パソコンのつなぎかた（アナログ出力のDOS／V機）」と同じ方法で接続できます。
- Power Mac G3より前のMacintoshコンピュータをつなぐ場合は、コンピュータ側のモニター出力を、下図のようにMacintoshコンピュータ用変換アダプター（市販品）を使って接続してください。

■PC入力端子仕様：（アナログ入力端子）

コンピュータのアナログ（RGB）出力が接続できる端子です。

1	R	6	接地（R）	11	–
2	G	7	接地（G）	12	データライン
3	B	8	接地（B）	13	水平同期
4	–	9	5V	14	垂直同期
5	接地	10	接地	15	クロックライン

パソコンの画像を映すには

本機のPC入力端子に接続したパソコンの画像を映すことができます。

パソコン画像の映しかた

- パソコンを正しく接続してください。☞182ページ

❶

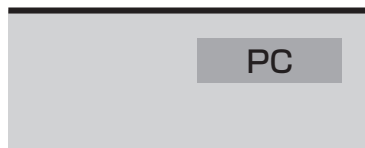
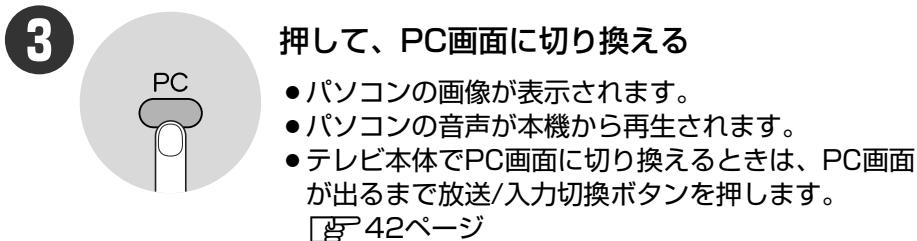
押す

❷ パソコンの電源を入れる

❸

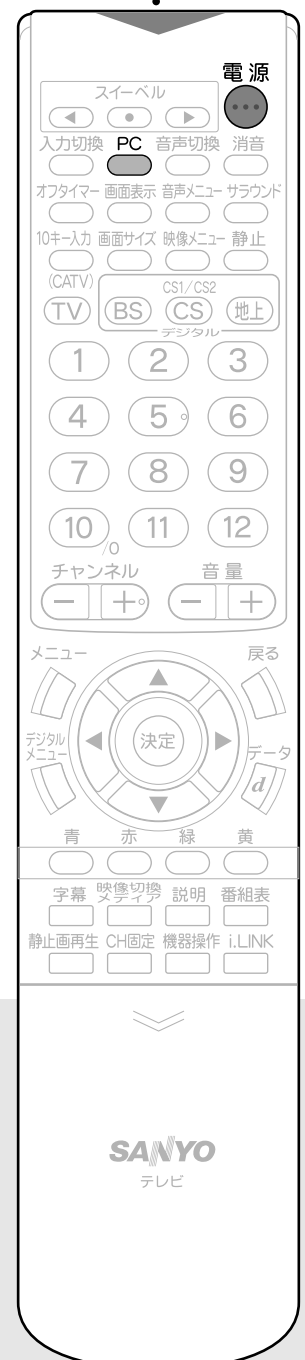
押して、PC画面に切り換える

- パソコンの画像が表示されます。
- パソコンの音声が本機から再生されます。
- テレビ本体でPC画面に切り換えるときは、PC画面が出るまで放送/入力切換ボタンを押します。☞42ページ

PC

お知らせ

- 本機で映すパソコンの画像は、各システムモードの入力信号を本機液晶ディスプレイパネルのフォーマットに変換して映すものです。システムモードによって拡大されるものや間引きされるものがあります。

ご注意

- PC画面に切り換えるときとPC画面から他の画面に切り換えるときは、その他の入力切換に比べて多少時間がかかります。

システムモード一覧(推奨)

本機にはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。接続したパソコンの信号を判別して、本機が以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
VGA	640×480	31.47	59.88
VGA	720×400	31.48	70.10
VGA	640×400	31.47	70.09
VGA	640×480	37.86	74.38
VGA	640×480	37.86	72.81
MacLC 13	640×480	34.97	66.60
Mac 13	640×480	35.00	66.67
SVGA	800×600	35.16	56.25
SVGA	800×600	37.88	60.32
SVGA	800×600	46.88	75.00
SVGA	800×600	53.67	85.06
SVGA	800×600	48.08	72.19
SVGA	800×600	37.90	61.03
SVGA	800×600	34.50	55.38
SVGA	800×600	38.00	60.51
SVGA	800×600	38.60	60.31
SVGA	800×600	32.70	51.09
Mac 16	832×624	49.72	74.55
Mac 19	1024×768	60.24	75.08
XGA	1024×768	48.36	60.00
XGA	1024×768	60.02	75.03
XGA	1024×768	60.31	74.92
XGA	1024×768	48.50	60.02
XGA	1024×768	44.00	54.58
XGA	1024×768	63.48	79.35
XGA	1024×768	62.04	77.07
XGA	1024×768	46.90	58.20
XGA	1024×768	47.00	58.30
XGA	1024×768	58.03	72.00

※仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ドットクロックが100MHz以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

使用するパソコン、接続ケーブル、ビデオボードにより、自動調整でも正しく表示できない場合があります。その場合には、位相調整、クロック調整、位置調整などで微調整してください。

次のようなとき

- PC画面でパソコンからの信号がないときは「PCからの信号がありません」と数秒表示されます。パワーセーブ(自動節電)モードのときは、表示が消えたあとパワーセーブモードに入ります。
- 表示限界を超えた信号がパソコンから入力されたときは「対応範囲外の信号です」と数秒表示されます。

プラグ＆プレイ

- プラグ＆プレイはパソコンと周辺機器の接続作業を簡単にするためのものです。本機はプラグ＆プレイ規格である「VESA　DDC1／2B」に対応しています。DDC対応のパソコンに接続して使用すると、本機が自動的に認識されます。

ご注意

- システムモード一覧にないシステムモードは、基本的に表示できません。ただしごく近いモードは表示する場合があります。
- パソコン側の解像度や色数を変更するときは、システムモード一覧にあるシステムにしてください。
- 表示モードが切り換わるときに画面にノイズが出ることがありますが故障ではありません。
- 本機はブラウン管モニターと異なり、信号の垂直周波数(リフレッシュレート)が60Hzでもフリッカーは発生しません。よりきれいな画像を映すため、パソコン信号の垂直周波数は60Hzを選択することをお勧めします。

パソコンの画像を映すには（つづき）

映像メニューでお好みの画質を選ぶ

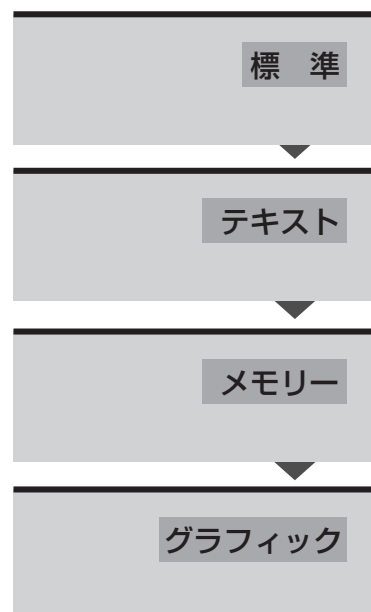
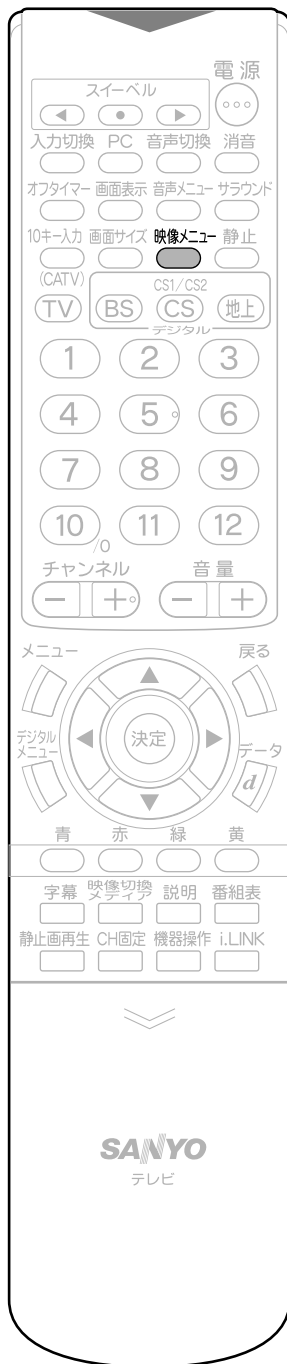
● PC画面では、映像メニューで選べる画質の種類がテレビやビデオ画面のときと異なります。

❶

押す

❷ 表示中、押すごとに選べる

● 本機に設定されている4種類の画質が選べます。
見やすい画質をお選びください。

標準	どんなソースにも合う、バランスの良い、標準的な画質です。
テキスト	文字や文書を表示するのに適した画質です。
メモリー	PC画面の映像調整で調整した画質を呼び出します。
グラフィック	写真や画像を表示するのに適した画質です。

プロ設定を行った場合でも、PC画面では「プロ設定」を選ぶことはできません。
（プロ設定 ☞ 52ページ）

PC画面時の画質や音質

PC画面で調整した次の機能は、PC画面用の設定値として記憶されます。

- 音量
- 映像メニュー、音声メニュー
- 画面サイズ
- 映像調整
- 音声調整
- 色温度
- 肌色補正
- ダイナミックAI
- 明るさセンサー

残像（焼き付き）にご注意ください

液晶ディスプレイパネルの特性として、一定時間同じ画面を表示し続けますと、部分的に前に映していた画像が残る「残像（焼き付き）」が発生します。焼き付きを防ぐため、本機のスクリーンセーバー機能を使ったり、パワーセーブ機能を使用してパソコンを使用しないときは画像が消えるようにし、残像（焼き付き）が起こらないようにしてください。

ご注意

- PC画面のときは無操作オフ（3時間操作がないと自動で電源を切る機能 65ページ）を「する」に設定していても無操作オフ機能は働きません。

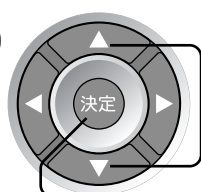
パソコン画像の設定

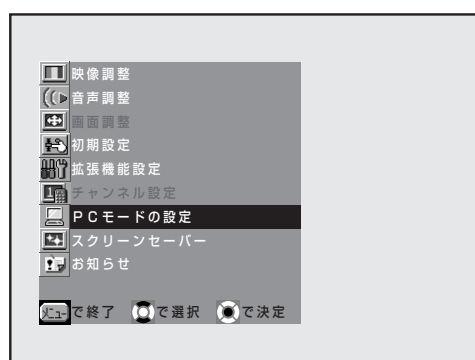
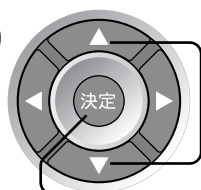
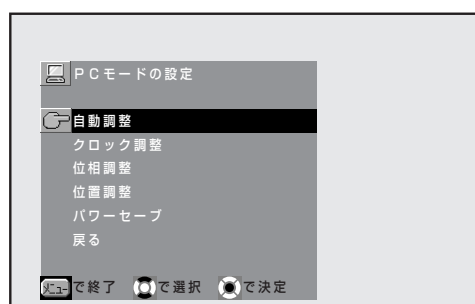
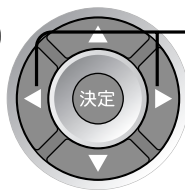
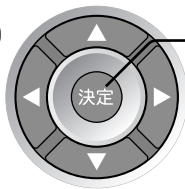
パソコン画面の設定や調整を行うため、メニューに「PCモードの設定」が設けられています。

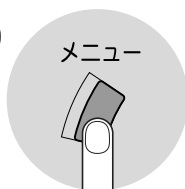
PCモードの設定のしかた

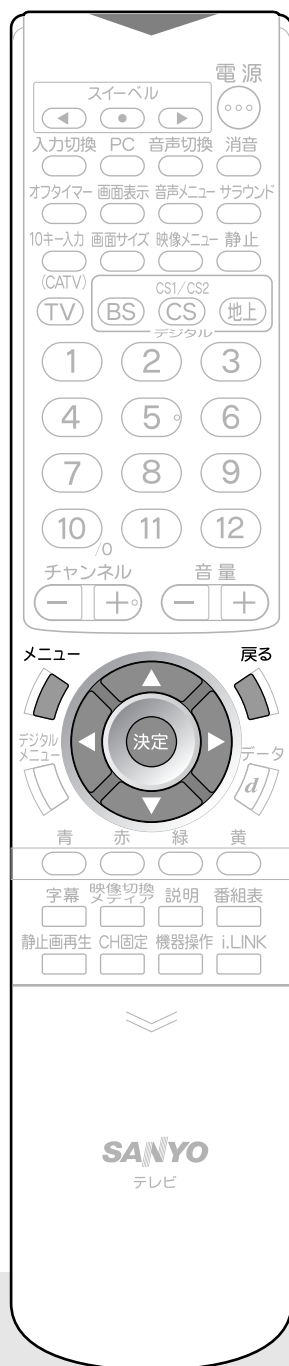
●PCモードの設定はPC画面で行ってください。他の画面では「PCモードの設定」の項目を選べません。

押す

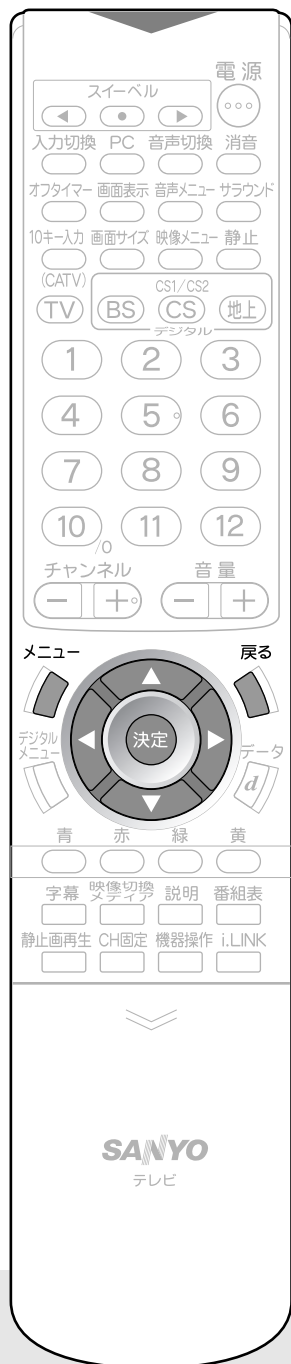
●メニューが表示されます。

押して、「PCモードの設定」を選び、中央の決定ボタンを押す

●「PCモードの設定」の画面に変わります。

押して、設定や調整をする項目を選び、中央の決定ボタンを押す

押して、設定や調整をする

他の項目も設定するときは
押す

●「PCモードの設定」の画面に戻りますので、操作❸〜❹を繰り返して他の項目も設定します。

操作を終えるときは
押す（操作終了）

●メニューが消えます。

●「PCモードの設定」には下の表のような項目があります。
設定や調整の方法は次ページからの説明をご覧ください。

項目	画面表示	設定／調整の内容
自動調整	PCモードの設定 自動調整　実行 メニューで終了　で実行　で決定	◀▶ボタンを押すとパソコンからの入力信号に対し、クロック調整、位相調整、位置調整を自動で最良の状態に調整します。
クロック調整	PCモードの設定 クロック調整　1344 メニューで終了　で調整　で決定	画像に縦の縞模様が出るときや、文字や画像の一部が鮮明でないときに調整します。
位相調整	PCモードの設定 位相調整　0 メニューで終了　で調整　で決定	画像の縦の線がかすれる、欠ける、文字や画像が全体にぼんやりするときに調整します。
位置調整	PCモードの設定 位置調整　◄▲▼► メニューで終了　で調整　で決定	画像の位置を調整します。パソコンの画像が画面の中央にないときに調整します。
パワーセーブ	PCモードの設定 パワーセーブ　する メニューで終了　で設定　で決定	省電力モード(パワーセーブ)のする／しないを設定できます。「する」のときはVESA DPMS規格に適合したパソコンと組み合わせて消費電力をおさえることができます。

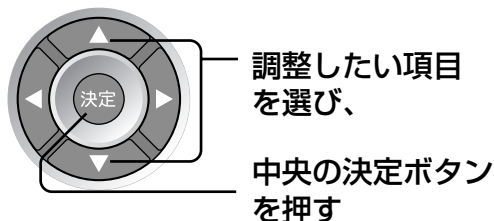
パソコン画像の設定（つづき）

パソコン画像の調整

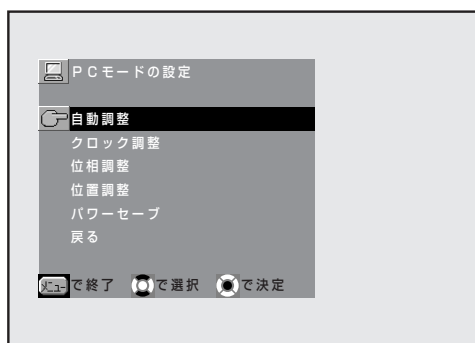
- パソコン画像の調整は「自動調整」、「クロック調整」、「位相調整」、「位置調整」が行えます。

調整の前に

- 調整する必要があるときは、まず「自動調整」を行い、自動調整で調整できなかった部分を個別の項目で調整してください。
- 個別の項目で調整するときは、まず「クロック調整」を行ってから「位相調整」、「位置調整」を行ってください。後で「クロック調整」を行った場合、「位相調整」「位置調整」を再度調整する必要があります。
- パソコンをつなぎかえたり、パソコン側の設定を変えたときは、調整をやり直す必要があります。

■「PCモードの設定」画面

調整したい項目を選び、

中央の決定ボタンを押す

- それぞれの項目の表示に変わります。

■前のメニューに戻るときは

それぞれの調整画面で決定ボタンを押すと「PCモードの設定」のメニューに戻れます。

自動調整

「自動調整」は、パソコンの信号に合わせて「クロック調整」、「位相調整」、「位置調整」を自動で行います。パソコン画像を調整するときは、まず「自動調整」を行い、自動調整で調整できなかった部分を個別の項目で調整してください。

ご注意

- 自動調整は、本機の電源を入れてから20分以上経過した後で行ってください。20分以内に行うと後で位相がずれることがあります。
- 自動調整は、画面いっぱいにパソコンの入力画像（できるだけ明るい映像）を表示した状態で行ってください。画面一杯に表示していない状態では正しく調整されません。
- 自動調整中にマウスカーソルを動かすなど、パソコンの入力画像が動くと正しく調整されません。自動調整は静止した画像で行ってください。

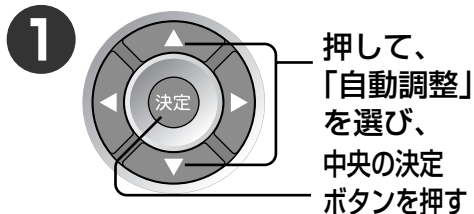
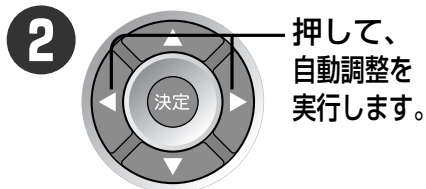
調整のしかた

1

押して、「自動調整」を選び、

中央の決定ボタンを押す

- 「自動調整」の表示に変わります。

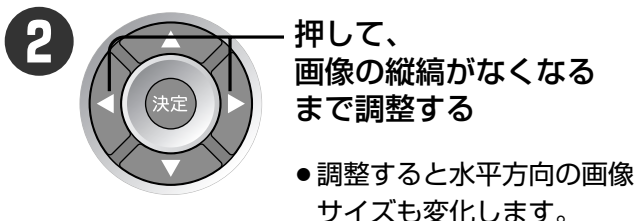
2

押して、自動調整を実行します。

- 自動調整が終わると「自動調整」の表示に戻ります。

クロック調整

「クロック調整」は、画像に縦の縞模様が出るときや、文字や画像の一部が鮮明でないときに調整します。

調整のしかた

1. 押して、「クロック調整」を選び、中央の決定ボタンを押す
   - ●「クロック調整」の表示に変わります。

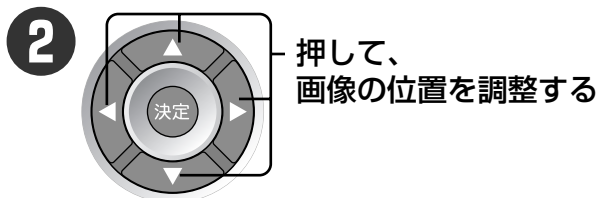
2. 押して、画像の縦縞がなくなるまで調整する
   - ●調整すると水平方向の画像サイズも変化します。

クロック調整では一水平期間の総ドット数を調整しています。

位置調整

「位置調整」はパソコン画像の位置を調整します。画像が画面の中央にないときに調整します。

調整のしかた

1. 押して、「位置調整」を選び、中央の決定ボタンを押す
   - ●「位置調整」の表示に変わります。

2. 押して、画像の位置を調整する

位相調整

「位相調整」は、画像の横縞や画像の縦の線がかすれたり欠けるとき、文字や画像が全体にぼんやりするときなどに調整します。

調整のしかた

1. 押して、「位相調整」を選び、中央の決定ボタンを押す
   - ●「位相調整」の表示に変わります。

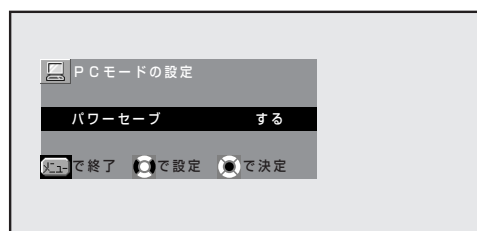
2. 押して、画像の横縞が最少になるよう調整する

パソコン画像の設定（つづき）

パワーセーブ

「パワーセーブ」は、省電力モードの切／入を設定します。「する」に設定するとVESA DPMS規格に適合したパソコンと組み合わせて消費電力をおさえることができます。

設定のしかた

1

押して、「パワーセーブ」を選び、

中央の決定ボタンを押す

- 「パワーセーブ」の表示に変わります。

2

押すごとに、「する」／「しない」を選べる

- パワーセーブを働かせるときは「する」を、働かせないときは「しない」を選びます。

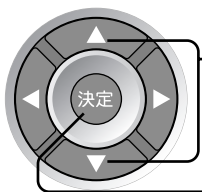
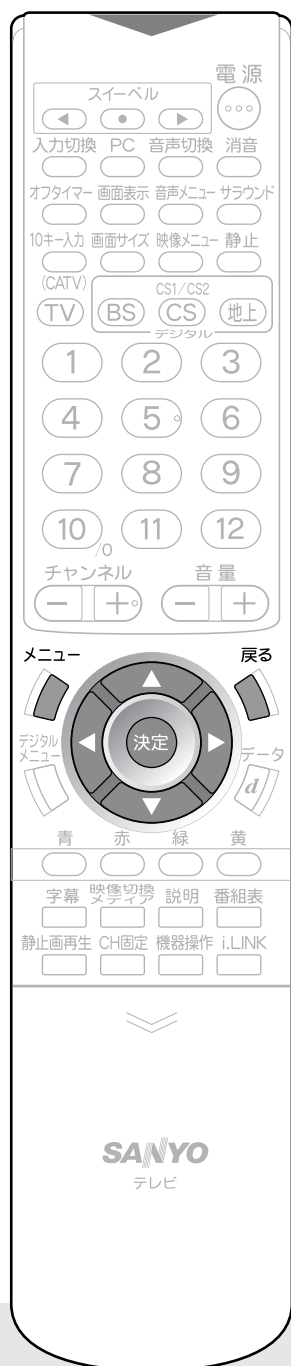
■パワーセーブが働くと

つないだパソコン（VESA DPMS規格適合）を操作していないときは、自動的にパワーセーブモードになります。画面が消えて消費電力が減少します。

■通常の画面に戻すには

キーボードのキーのどれかを押したり、マウスを動かすとパソコンの画像が映り、通常の画面に戻ります。

パワーセーブについて

本機はVESAおよび国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たすパワーセーブ（自動節電）機能を備えています。VESA DPMS（Display Power Management Signaling）対応のパソコンに接続して使用するとき、本機がパソコンの未使用状態を検出すると自動的にパワーセーブ機能が働き、消費電力を節減します。

状態		画面	水平同期信号	垂直同期信号	電源ランプ
通常動作		通常表示	あり	あり	緑で点灯
パワーセーブモード	スタンバイ	画像なし	なし	あり	赤で点灯
	サスペンド	画像なし	あり	なし	赤で点灯
	アクティブオフ	画像なし	なし	なし	赤で点灯
スタンバイ		–	–	–	赤で点灯

お知らせ

メニューの「お知らせ」で入力中のパソコン信号の解像度と水平周波数、垂直周波数を画面に表示させることができます。

表示のしかた

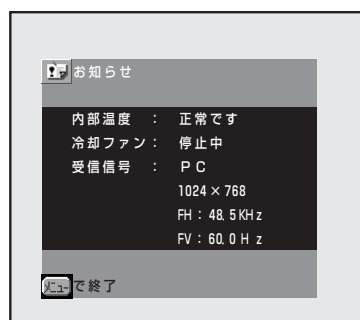
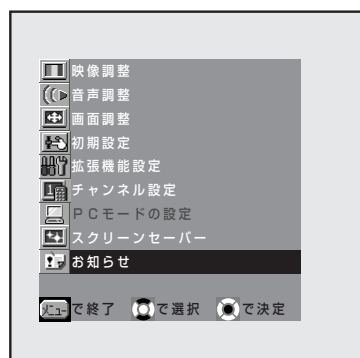
❶

押す

●メニューが表示されます。

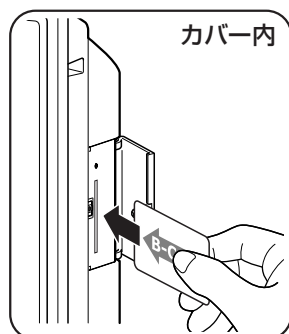
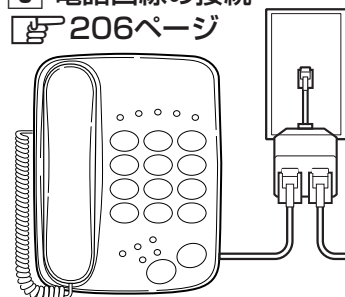
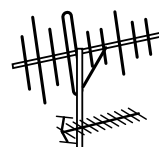
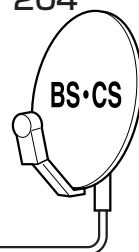
❷

押して、
「お知らせ」を
選び、
中央の決定
ボタンを押す

●入力中のパソコン信号の解像度と水平周波数、垂直周波数が表示されます。

準備と設定

この章ではアンテナや録画機器の接続と、それに伴って必要なチャンネル設定、アンテナ設定など、ご使用になる際に必要な準備と設定について説明します。

必要な接続と設定

設置のときは次のような接続と設定が必要です。

＊
B-CASカードのユーザー登録（カード台紙についているハガキに記入・郵送 26ページ）、この取扱説明書と同梱している「お客様ご登録カード」の記入・郵送（28ページ）も忘れずに行ってください。

地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送を受信するための各種設定は、お住まいの地域で地上デジタル放送が始まり、電波が受信できるようになってから行ってください。電波が受信できない状態ではチャンネルの設定などはできません。
- 地上デジタル放送はUHFの電波を使って行われます。これまでVHF帯域のみを受信していたご家庭では、UHFアンテナの新設が必要です。また、現在使っているUHFアンテナの受信帯域と異なる帯域で地上デジタル放送が始まる場合は、UHFアンテナその他受信設備の交換・調整が必要です。

詳しくは 318ページ「地上デジタル放送の受信について」をご覧ください。

必要な接続と設置

☞掲載ページ

1 設置について	設置の前にまずお読みください。	☞198
2 B-CASカードの挿入	付属のB-CASカードを本機に差し込みます。	☞26
3 VHF／UHFアンテナの接続	地上放送のアンテナ線（VHF/UHF）をつなぎます。	☞200
4 BS・110度CSアンテナの接続	BS・110度CSアンテナをつなぎます。	☞202
5 電話回線の接続	デジタル放送の双方向サービスや有料放送サービスを利用するために電話回線へ接続します。	☞206
6 デジタル放送録画・再生用ビデオ機器の接続	ビデオ	☞208
	DVDレコーダー	☞210
7 ビデオコントローラーの接続と設置	デジタル放送の番組録画に便利なビデオコントローラーを接続します。	☞212
8 転倒防止の対策	安全確保とご使用中の事故を防止するため転倒防止策の実施をお願いします。	☞214
9 電源コードの接続	電源コードをコンセントへ差し込みます。	☞215

必要な設定

☞掲載ページ

受信チャンネルの設定 （地上アナログ放送）	お住まいの地域で受信できる地上アナログ放送のチャンネルを設定してください。	☞216～231
BS・110度CSアンテナの設定 （BS・110度CSデジタル放送）	BS・110度CSデジタル放送用のアンテナへ電源を供給する設定が必要です。	☞232～235
電話回線の設定 （各デジタル放送共通）	デジタル放送の双方向サービスや有料放送サービスを利用するためには電話回線へ接続し、回線に応じた設定が必要です。	☞236～241
接続VTRの設定 （各デジタル放送共通）	付属のビデオコントローラーを接続し、デジタル放送の番組録画をするときに設定が必要です。	☞242～246
居住地域の設定 （各デジタル放送共通）	お客さまの地域に関する緊急警報放送やデータ放送、地上デジタル放送の受信に必要です。	☞248～249

地上デジタル放送のチャンネル設定（地上デジタル放送）	お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを設定します。	☞250～261

ご注意

- 安全と機器の保護のため、各種の接続は電源プラグをコンセントから抜いた状態で行い、接続後に電源プラグをコンセントへ差し込んでください。

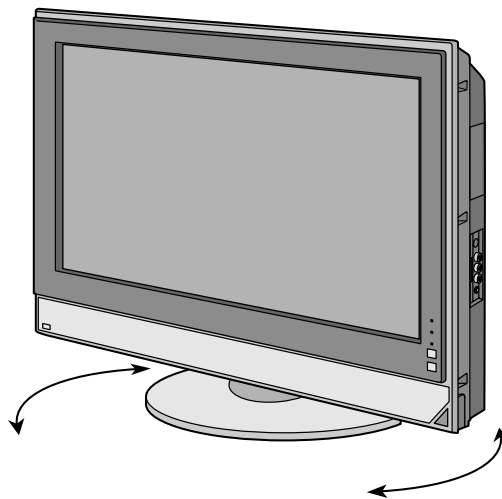
設置について

電動スイーベル(首振り)スタンド

本機はお買い上げ時に、すでに電動スイーベル(首振り)スタンドと一体になっていますので、外装箱から取り出して、そのまま設置できます。
設置の際は、次の事項にご注意ください。

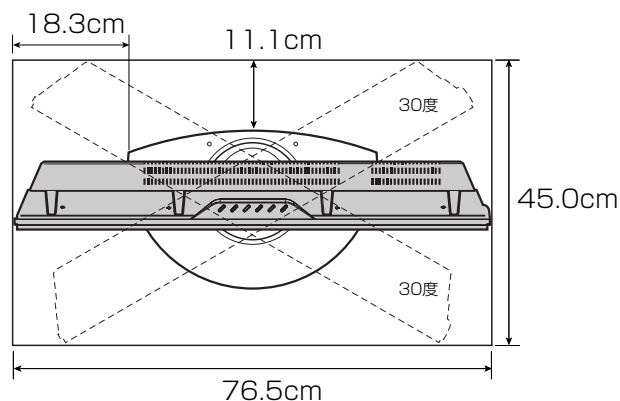
⚠注意

指のケガに注意

スイーベルスタンドの回転部付近に触れたり、液晶テレビを持ち上げるときに回転部付近を持たないでください。指をはさむなどしてケガの原因となることがあります。

電動スイーベルを動作させたとき、本機が周囲のものにぶつからないよう設置してください。

- 壁や家具などにぶつからないように設置してください。
- 回転しても液晶テレビ本体がはみ出さない大きさの台に設置してください。
- 電動スイーベルが動作する範囲を下の図に示しますので参考にしてください。

電動スイーベルの可動範囲にものを置かないでください。

- 電動スイーベルを働かせたときに倒れたり、落ちたりしますので、下の図の範囲にはものを置かないでください。横方向は通風のためさらに10cm以上あけてください。

※電動スイーベルスタンドの操作については 43ページをご覧ください。

お知らせ

- いたずらなどの防止のため、電動スイーベル機能が働かないように設定しておくこともできます。
67ページ

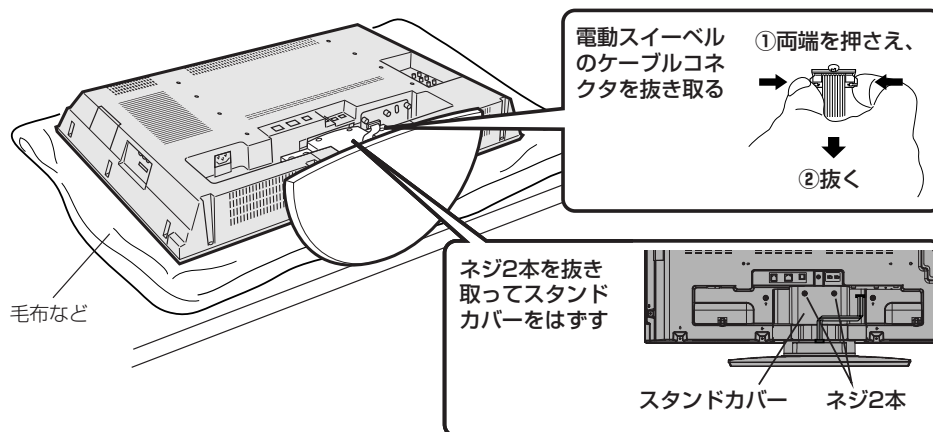
本機を壁などに設置するとき

スタンドを取りはずして本機を壁などに設置するときは、次のように準備してください。

1 液晶テレビ本体を毛布などを敷いた平らな台の上にふせる

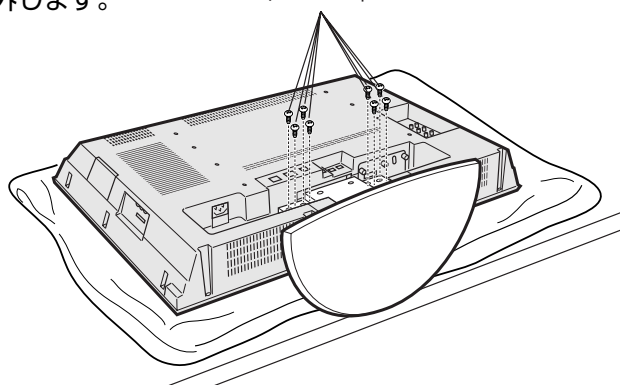
テーブルなどの平らな台に毛布などを敷き液晶テレビを静かにふせます。（下図を参照）
異物や突起があると液晶ディスプレイパネルやキャビネット、スピーカー部分などが破損したり傷ついたりしますのでご注意ください。

2 電動スイーベルのケーブルコネクタを抜き取る（液晶テレビ側。下図）

3 ネジ2本を抜き取ってスタンドカバーを取りはずす（下図）

4 ネジ8本を抜き取ってスタンドを取りはずす

スタンドを液晶テレビ本体に取り付けているネジ8本を抜き取り、スタンドを液晶テレビ本体から取り外します。
（右の図を参照）

ご注意ください　　注　意

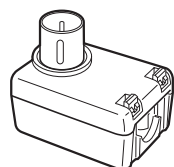
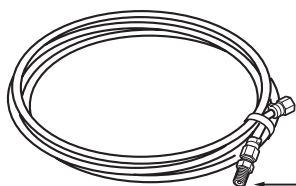
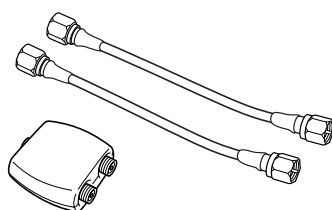
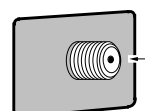
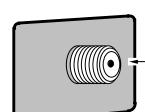
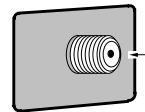
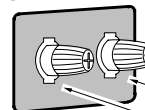
ネジを抜き取るときはスタンドの下部を持って、スタンドが落下しないように支えながら抜き取ってください。スタンドが落下しますとケガや破損の原因となります。

5 液晶テレビに壁掛けユニットなどを固定し、壁などへ取り付けます。

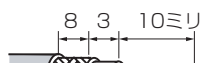
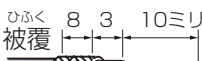
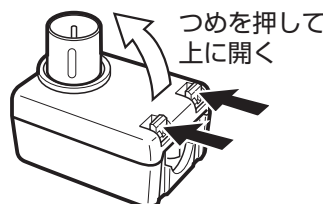
- 使用する壁掛けユニットの設置説明書にしたがって取り付けてください。

ご注意

- 壁などに設置するときは、必ず専用の設置ユニットを使用し、専門の取付工事業者にご依頼ください。不完全な工事は重大な事故やけがの原因となります。
- 作業は2人以上の十分な人数で慎重に行ってください。
- 液晶テレビを持つときは前面の画面枠部分を持たないでください。力が加わりますと破損する原因となります。

VHF／UHFアンテナの接続

お部屋の端子や使うケーブルに合った方法でつないでください。

アンテナプラグの取り付けかた

1 ケーブルの先を加工する。

2 カバーを開ける。

ご注意

- アンテナ線には同軸ケーブルをご使用ください。フィーダー線の場合は良好な受信が得られない場合があります。

アンテナがお部屋へ、地上（VHF/UHF）とBS・110度CSの混合で引き込まれている場合は、
市販の分波器を使って☞204ページの方法でつなぐことができます。

付属の中継コネクターとアンテナケーブル、分配器を使って、地上デジタルアンテナ入力端子、地上アンテナ入力端子（VHF／UHF）へ接続してください。

BS･110度CS デジタルアンテナ入力（DC15V-4W）
地上デジタル アンテナ入力
地上アンテナ入力 VHF／UHF
スイーベル

しん線が端子の中心の穴に入るように差し込む
回せなくなるところまで指でナットを回して固定する。
しん線

付属のケーブル（20cm）
地上デジタル放送受信用
付属のケーブル（20cm）
地上アナログ放送受信用

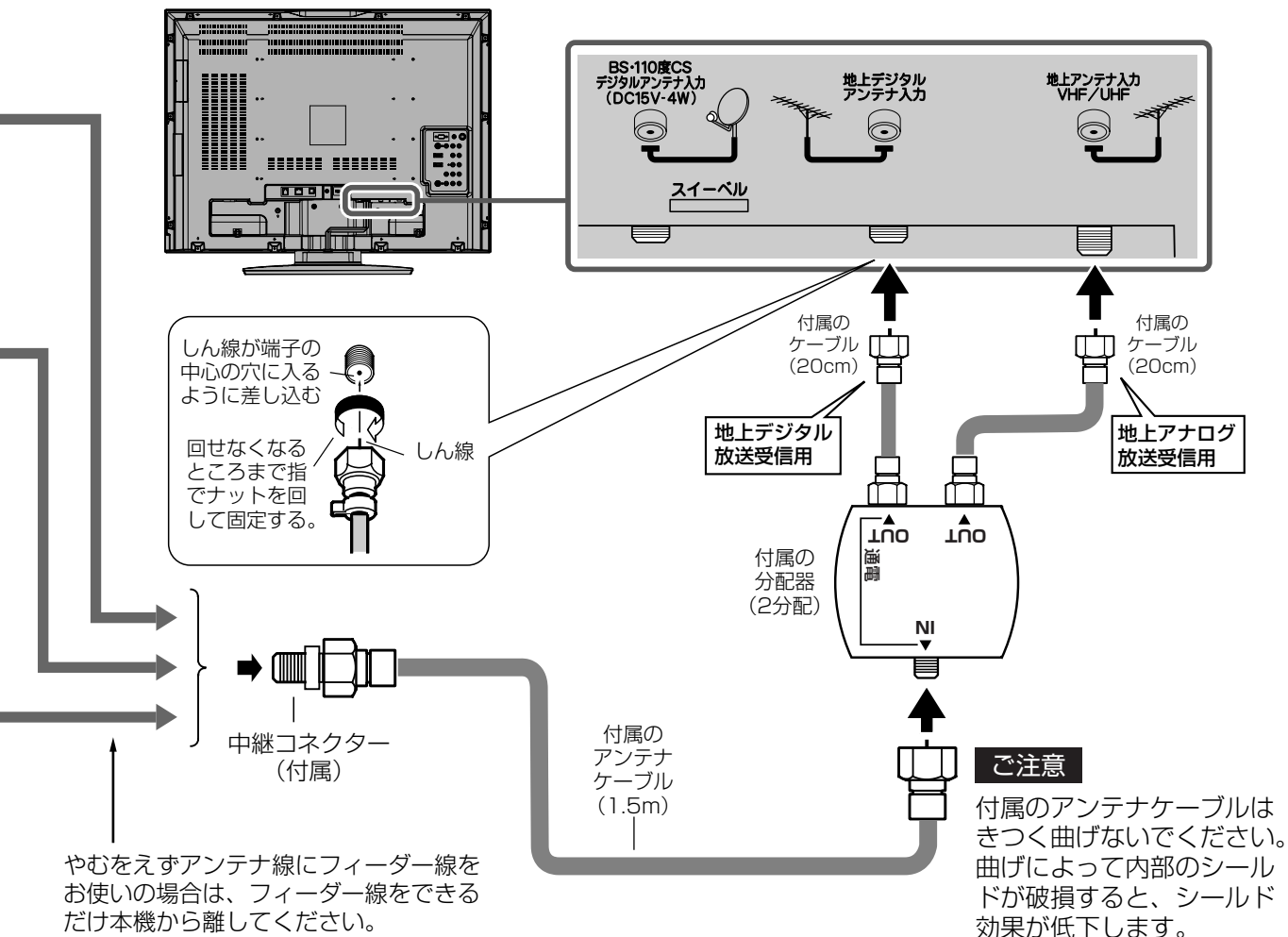
付属の分配器（2分配）
OUT
OUT
通電
IN

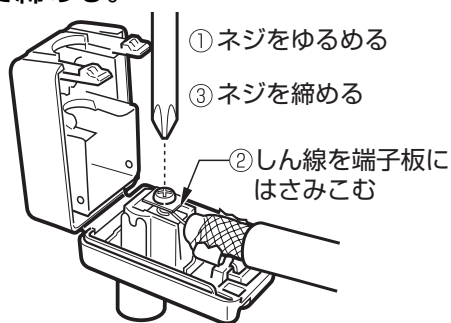
中継コネクター（付属）

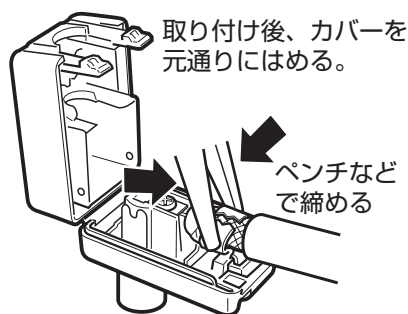
付属のアンテナケーブル（1.5m）

やむをえずアンテナ線にフィーダー線をお使いの場合は、フィーダー線をできるだけ本機から離してください。

ご注意

付属のアンテナケーブルはきつく曲げないでください。曲げによって内部のシールドが破損すると、シールド効果が低下します。

● きれいな映像のためにアンテナ線には同軸ケーブルのご使用をおすすめします。

3 しん線を金属の端子板にはさみこんでネジで締める。

4 金具を締めつけてケーブルを固定。

準備と設定

BS・110度CSアンテナの接続

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の両方を良好な状態でご覧になるため、
次の事項に注意してアンテナを接続してください。

BS・110度CSアンテナをお使いください。

BS・デジタル放送と110度CSデジタル放送の両方をご覧になるには、この2つの放送を1本のアンテナで受信できるBS・110度CSアンテナ（「110度CS対応BSデジタルハイビジョンアンテナ」などメーカーによって呼び名が異なります）が必要です。アンテナを購入する際は「BSデジタル放送」に加え、「110度CSデジタル放送」にも対応していることを確認のうえお求めください。110度CSデジタル放送対応でないアンテナでは110度CSデジタル放送はご覧になれません。

ブースターや分配器を使用している場合

BS・110度CSアンテナからの信号をブースターを使用して増幅したり、分配器で各部屋に分配する場合、ブースターや分配器は110度CSデジタル放送の広帯域（上限周波数2150MHz）に対応したものをお使いください。対応していない場合は110度CSデジタル放送を受信できません。

ケーブルや接栓はシールド機能の高いものを

アンテナのケーブルやケーブルを接続する接栓にはシールド機能が高く損失の少ないものをお使いください。ケーブルには同軸ケーブルでS-5C-FB以上のものを、接栓にはC15形などの性能が保証されたものをお使いください。

マンションなどの共同受信の場合

お住まいのマンションの受信設備でBSデジタル放送と110度CSデジタル放送を受信できるか、マンションの管理会社などにお問い合わせください。既存の設備で受信できない場合はベランダなどにBS・110度CSアンテナを設置する必要があります。このとき、衛星の方向（南西）に障害物がある場合は受信できません。

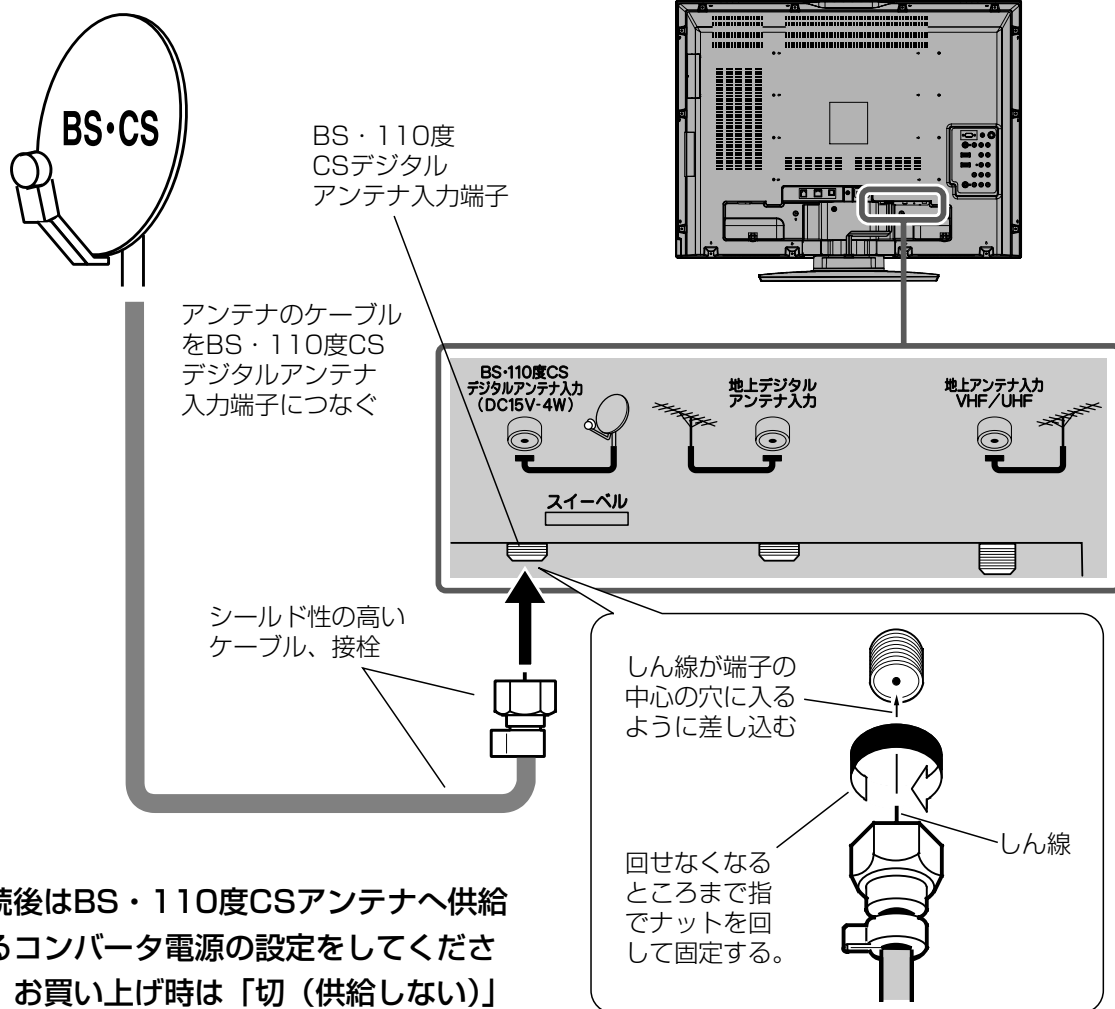
こんなときは

- **これまでに使っていたBSアンテナは使用できますか？**
  BSアンテナの性能や方向調整が十分な場合はBSデジタル放送を受信できます。ただし110度CSデジタル放送は受信できません。110度CSデジタル放送の受信にはBS・110度CSアンテナが必要です。
- **スカイパーフェクTV！のアンテナは使えますか？**
  スカイパーフェクTV！のアンテナでは110度CSデジタル放送を受信できません。

アンテナがお部屋へ、地上（VHF/UHF）とBS・110度CSの混合で引き込まれている場合は、市販の分波器を使って204ページの方法でつなぐことができます。

BS・110度CSアンテナのつなぎかた

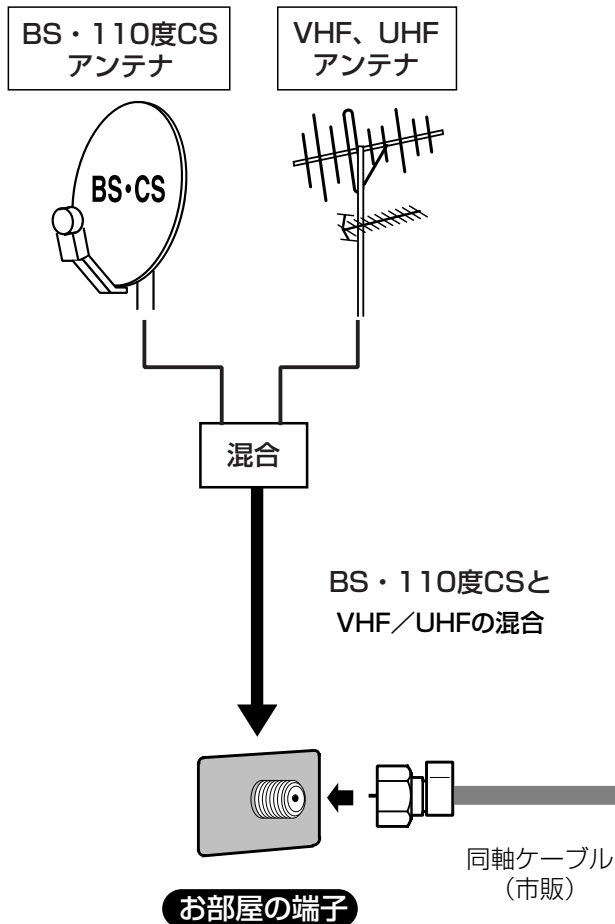
BSデジタル放送、110度CSデジタル放送対応

BS・110度CSアンテナ

接続後はBS・110度CSアンテナへ供給するコンバータ電源の設定をしてください。お買い上げ時は「切（供給しない）」になっています。232～235ページ

ご注意

- アンテナの取扱説明書もよくお読みください。
- BS内蔵のビデオ機器と組合わせるときは208～211ページをご覧ください。ビデオの取扱説明書もよくお読みください。
- BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子にVHF／UHF用のアンテナ線を接続しないでください。故障の原因になります。
- BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子のDC15Vがショートしますと、回路保護のためBS・CSコンバータ電源設定が自動的に「切」になります。ショートの原因を解決したあと、電源プラグをコンセントから抜き、再び差し込んでから、BS・CSコンバータ電源を再設定してください。VHF／UHF用のアンテナプラグを差し込むとショートする場合がありますのでご注意ください。

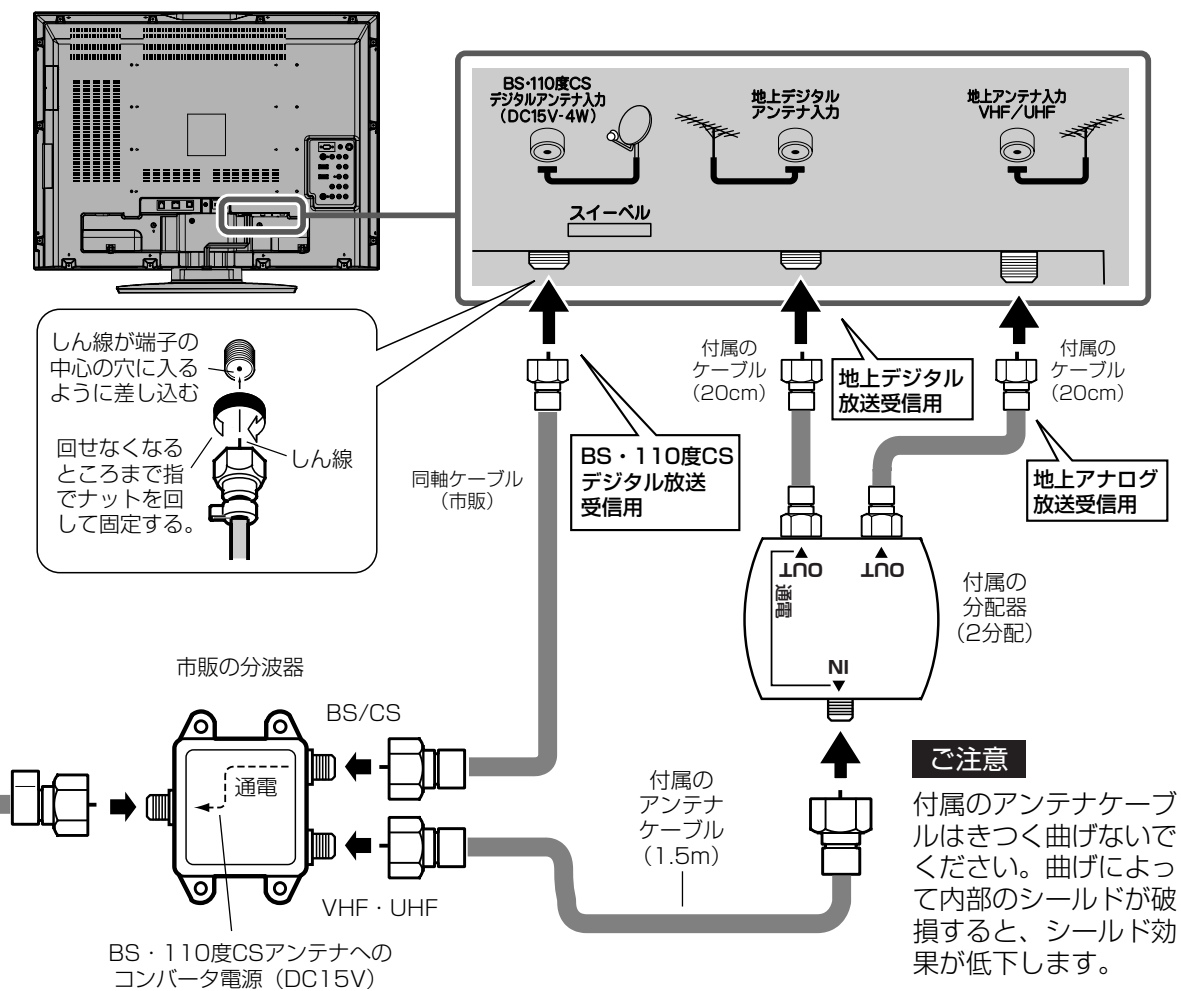
地上とBS・110度CSが混合のとき

お部屋に引き込まれているアンテナが地上（VHF／UHF）とBS・110度CSの混合のときは、付属の分配器を使ってこのページのように接続できます。

ご注意

- 付属の分配器は、1端子通電型のCS/BS-IF・UV　2分配器です。「IN」の端子から入力したアンテナ信号を、2つの「OUT」端子へ分配して出力します。
- 市販の分波器は電流通過型のものを使い、「通電」と表示された「CS/BS-IF」端子のケーブルを本機のBS・110度CSデジタルアンテナ入力端子へ接続してください。本機から分波器を経由してBS・110度CSアンテナへコンバータ電源が供給できないとBS・110度デジタル放送が受信できません。（共同受信の場合を除く）
- 110度CSデジタル放送を受信するには、110度CSデジタル放送の受信に対応したBS・110度CSアンテナの設置が必要です。またBS・110度CSアンテナから本機のBS・110度CSデジタルアンテナ入力端子へ至る経路（混合器、分岐器、分波器、ブースター、ケーブル、コネクタ等）が、110度CSデジタル放送の広帯域に対応していない場合やシールド性能などが十分でない場合は受信できません。☞202ページ
- 間違ってBS・110度CSデジタルアンテナ入力端子と他のアンテナ端子を接続しないようにご注意ください。故障の原因になります。

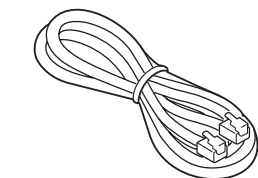
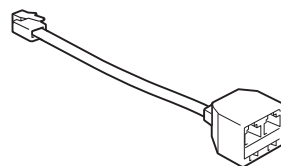
付属の中継コネクターとアンテナケーブル、分配器を使って、BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子、地上デジタルアンテナ入力端子、地上アンテナ入力端子（VHF／UHF）へ接続してください。

ご注意

付属のアンテナケーブルはきつく曲げないでください。曲げによって内部のシールドが破損すると、シールド効果が低下します。

電話回線の接続

デジタル放送では、テレビ受信機（本機）と放送局の間を電話回線でつないで通信を行います。本機をご家庭の電話コンセントに接続してご使用ください。特に次のサービスを利用するときは必ず電話回線に接続してください。接続しないと利用できません。

データ放送の双方向サービスの利用
有料放送のPPV（ペイパービュー）番組の購入

使用する付属品

接続するときのご注意

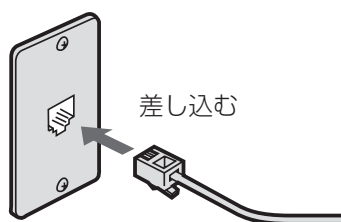
- 接続は、本機と電話機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電話機の取扱説明書もよくお読みください。
- 電話線のプラグは、モジュラージャックにカチッと音がするまで差し込んでください。
- 構内交換機やその他の専用線の中には通信に使用できないものがあります。（ホームテレホン、ビジネスホン、6芯のものなど）
- 電話回線がISDNの場合はターミナルアダプターのアナログ機器用端子へ接続して使用できます。通信速度は通常の電話線と同等です。

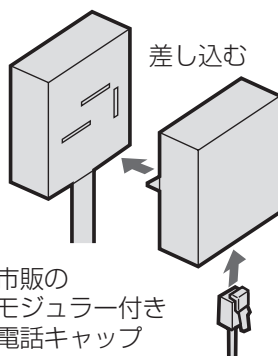
接続の後に確認してください

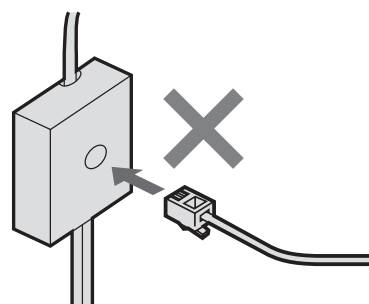
① まず電話コンセント・本機・電話機が電話線で正しくつながっているか確認します。
② 電話機の電源プラグをコンセントに差し込み、受話器を上げて発信音が聴こえることを確認します。「117（時報）」などをダイヤルして通話できることを確認してください。
③ 最後に本機の電源プラグをコンセントへ差し込みます。

電話コンセントがモジュラージャック式でないとき

モジュラージャック式

そのまま接続できます。

3ピンプラグ式

市販のモジュラー付き電話キャップをお買い求めになり、接続してください。

直接配線式

資格者による工事が必要です。NTTまたは販売店にご相談ください。

ご注意 本機後面にある電話回線端子とLAN端子は形状がよく似ています。誤って電話回線をLAN端子へ接続しないようご注意ください。故障の原因となります。

接続例

電話回線に接続するとき

ご家庭の電話コンセント（モジュラージャック式）

付属の電話線分配器

付属の電話回線コード（10m）

電話機またはファクシミリ

電話回線端子へ接続

差し込む

電話回線端子に接続してください。

ADSL接続のとき（電話共用契約の場合）

スプリッタ

ADSLモデム

パソコン

TEL端子に接続する

付属の電話線分配器

付属の電話回線コード（10m）

電話機またはファクシミリ

電話回線端子へ接続

ISDN回線のとき

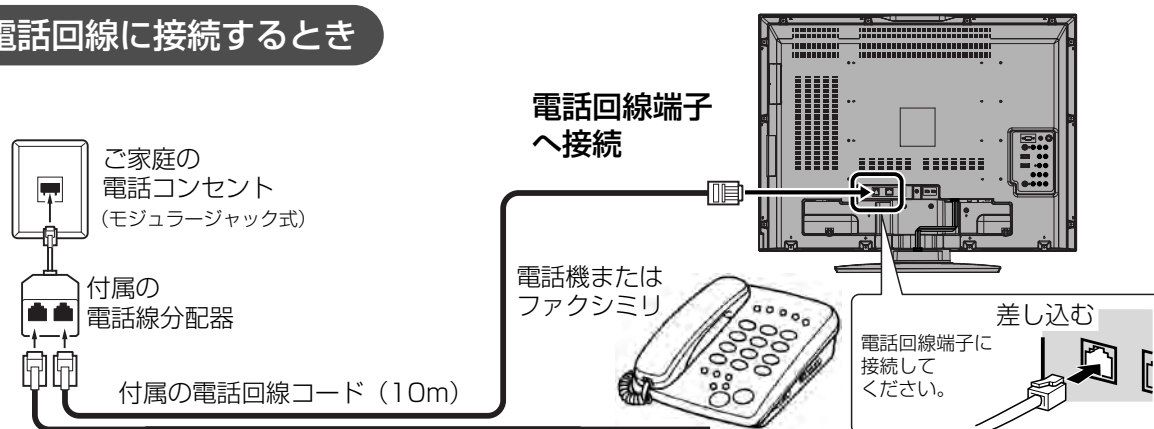
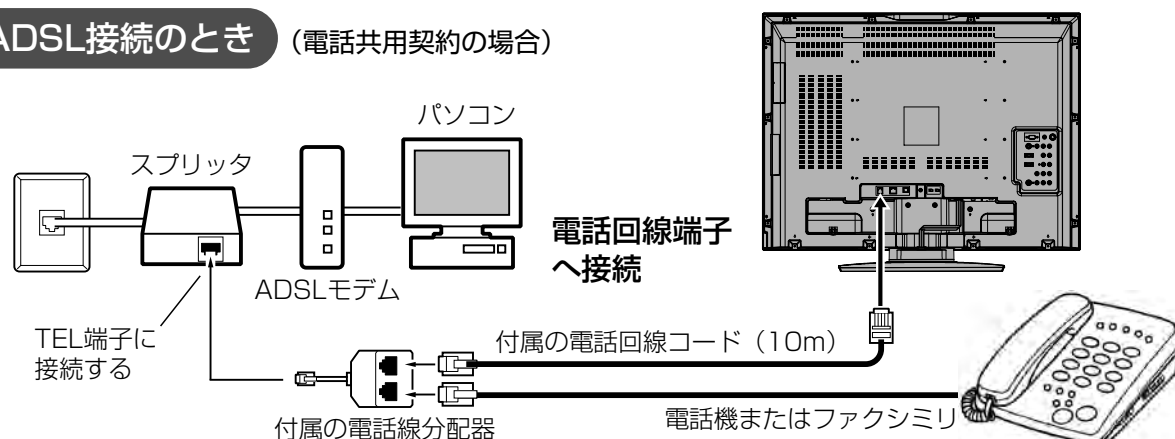
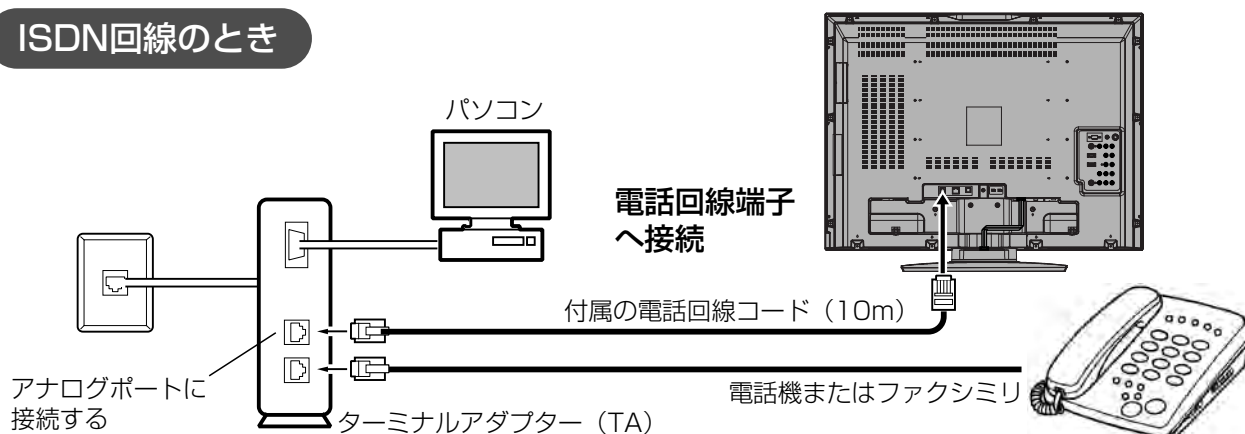
パソコン

アナログポートに接続する

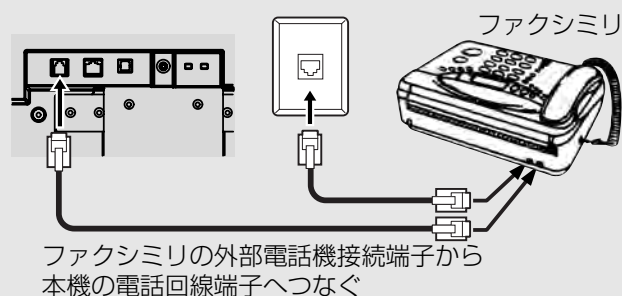
ターミナルアダプター（TA）

付属の電話回線コード（10m）

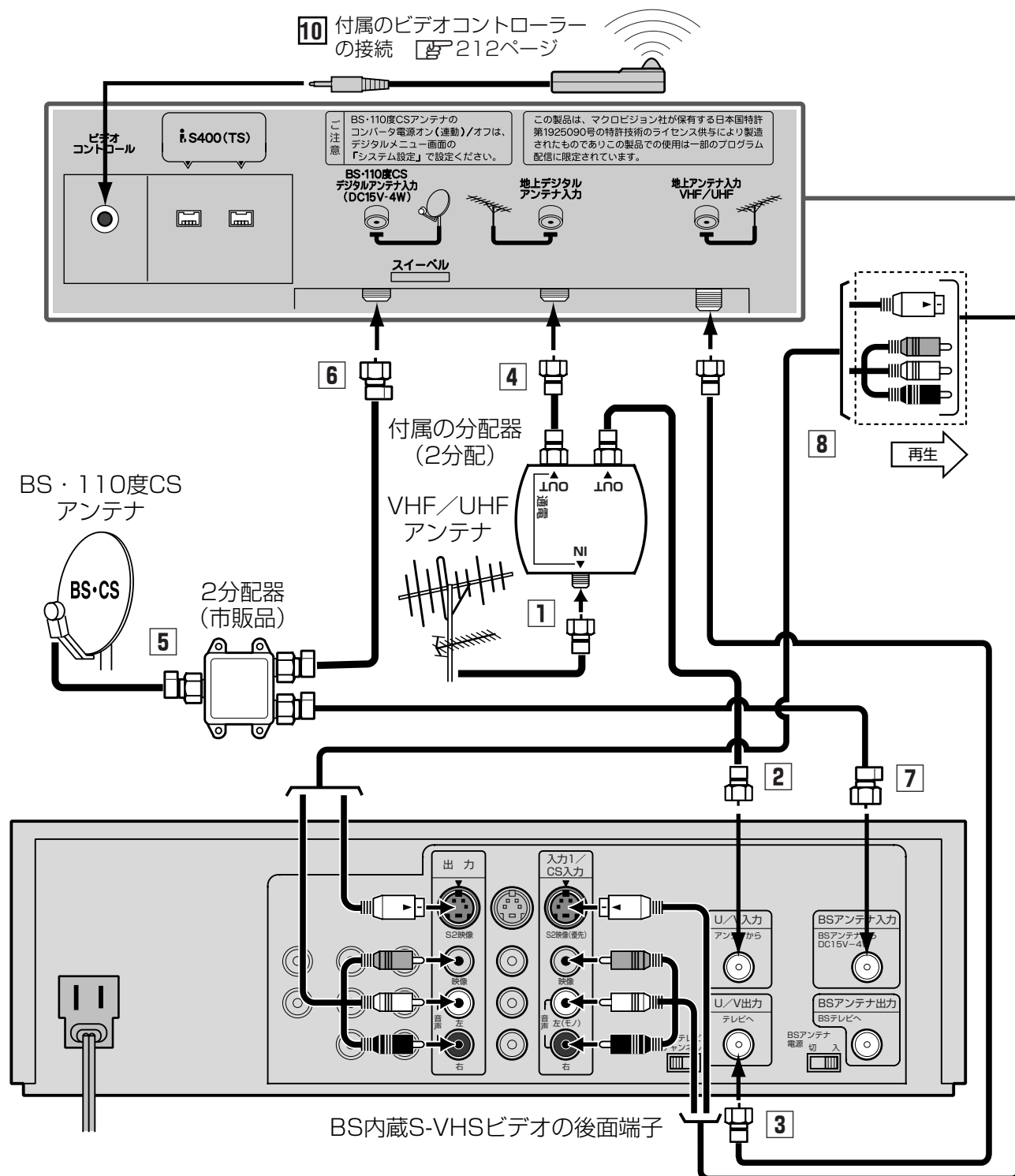
電話機またはファクシミリ

電話回線端子へ接続

(お知らせ)

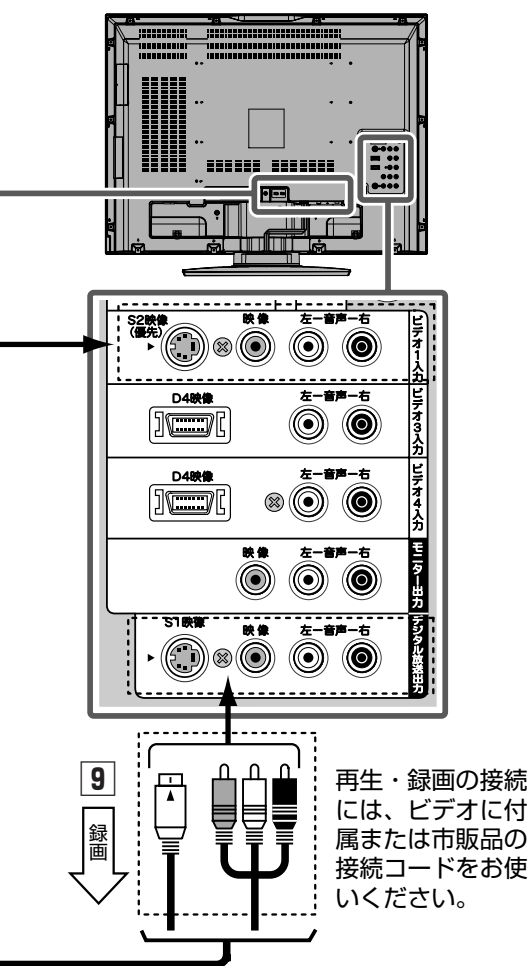
上記の接続でファクシミリを接続した場合、ファクシミリによっては、本機から放送局へ視聴記録を転送するときに、ファクシミリが通信状態になることがあります。このようなときは右の図の方法で接続してください。ファクシミリに外部端子がない場合は上図の接続方法で、付属の電話線分配器を使わずに市販の自動転換機（秘話式）を使って接続してください。

ファクシミリの外部電話機接続端子から本機の電話回線端子へつなぐ

録画機器を接続する（ビデオ）

デジタル放送を録画したり再生するためのビデオを接続します。

ビデオでデジタル放送を録画するとき/再生するときの接続例

- 接続するビデオの取扱説明書もよくお読みください。
- ビデオ側の端子の呼び名はメーカーや機種によって異なります。

ご注意

この例ようにBS内蔵ビデオを接続したときは、本機の電源を切っていても、BS内蔵ビデオでBS放送が受信できるよう、BS内蔵ビデオのBSアンテナ電源スイッチを「入」にします。

再生・録画の接続には、ビデオに付属または市販品の接続コードをお使いください。

★BS・110度CSアンテナの同軸ケーブルや分配器には、110度CSデジタル放送の広帯域に対応したデジタル放送用のものをお使いください。十分でない性能のものですとBSデジタル放送や110度CSデジタル放送を受信できないことがあります。

★この例のようにBS内蔵ビデオを接続するときは、本機の電源を切っていても、BS内蔵ビデオでBS放送を受信できるよう、分配器には全端子電流通過型のものをお使いください。

接続のしかた

次のように接続します。

1 VHF／UHFアンテナを接続する

1 VHF／UHFアンテナのアンテナ線を、付属の分配器の入力端子「IN」へつなぎます。

2 分配器の出力「OUT」を、ビデオのU／V入力端子へつなぎます。

3 ビデオのU／V出力端子を本機の地上アンテナ入力端子へつなぎます。

4 分配器の出力「OUT」のもう一方を、本機の地上デジタルアンテナ入力端子へつなぎます。

2 BS・110度CSアンテナを接続する

（BS内蔵ビデオのとき）

5 BS・110度CSアンテナのケーブルを、2分配器（110度CSデジタル放送対応の市販品）の入力側につなぎます。

6 2分配器の出力の一方を、本機のBS・110度CSデジタルアンテナ入力端子へつなぎます。

7 2分配器の出力のもう一方を、ビデオのBSアンテナ入力端子につなぎます。

3 「ビデオ再生」の接続をする

8 ビデオの出力（映像、S-VHSビデオのときはS映像、音声左・右）を本機のビデオ１入力端子につなぎます。再生はビデオ1画面で見られます。

4 デジタル放送録画の接続をする

9 本機のデジタル放送出力（映像、S映像、音声左・右）をビデオの入力（外部）につなぎます。

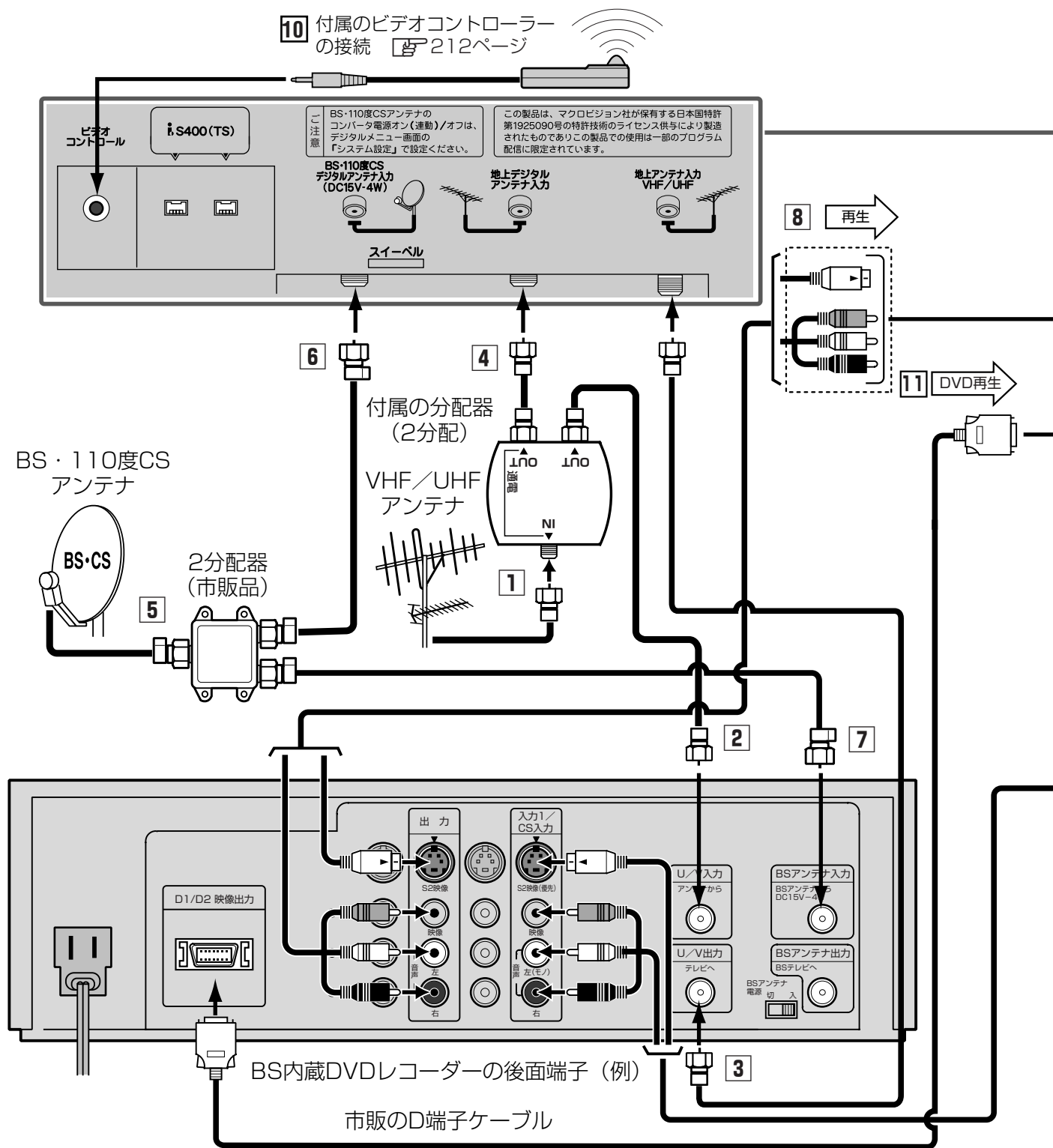
5 ビデオコントローラーの接続をする

10 付属のビデオコントローラーを本機のビデオコントロール端子につなぐと、デジタル放送の番組予約録画が行えます。（☞212ページ）

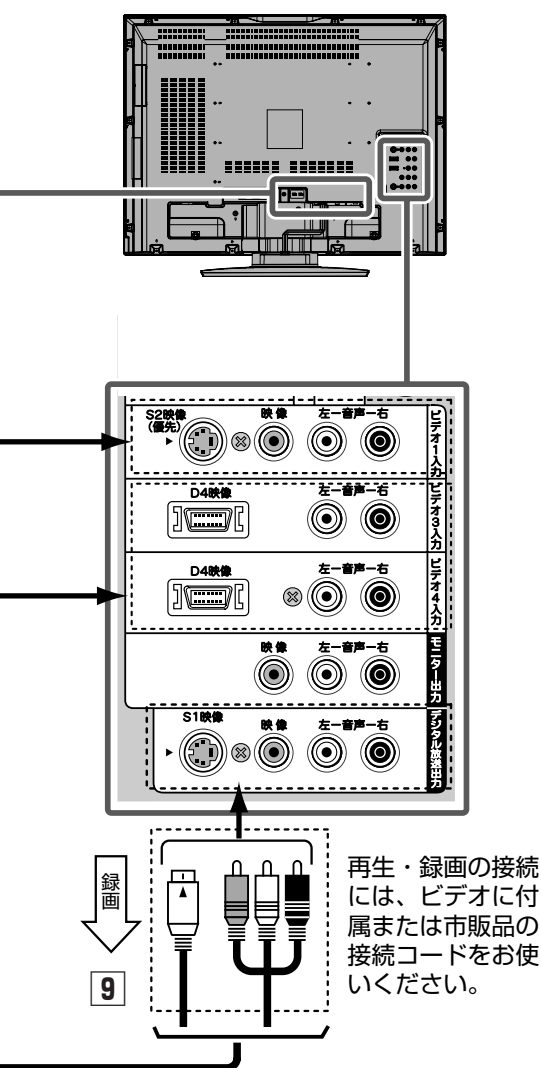
VHF／UHFアンテナ、BS・110度CSアンテナの接続については☞200～205ページもご覧ください。

録画機器を接続する（DVDレコーダー）

デジタル放送の録画や再生のための機器としてDVDレコーダーを使うときは、下のような方法で接続します。

DVDレコーダーでデジタル放送を録画するとき/再生するときの接続例

- 接続するDVDレコーダーの取扱説明書もよくお読みください。
- DVDレコーダー側の端子の呼び名はメーカーや機種によって異なります。

ご注意

この例ようにBS内蔵のDVDレコーダーを接続したときは、本機の電源を切っていても、DVDレコーダーでBS放送が受信できるよう、DVDレコーダーのBSアンテナ電源スイッチを「入」にします。

再生・録画の接続には、ビデオに付属または市販品の接続コードをお使いください。

★BS・110度CSアンテナの同軸ケーブルや分配器には、110度CSデジタル放送の広帯域に対応したデジタル放送用のものをお使いください。十分でない性能のものですとBSデジタル放送や110度CSデジタル放送を受信できないことがあります。

★この例のようにBS内蔵DVDレコーダーを接続するときは、本機の電源を切っていても、DVDレコーダーでBS放送を受信できるよう、分配器には全端子電流通過型のものをお使いください。

接続のしかた

次のように接続します。

1 VHF／UHFアンテナを接続する

1 VHF／UHFアンテナのアンテナ線を、付属の分配器の入力端子「IN」へつなぎます。
2 分配器の出力「OUT」を、DVDレコーダーのU／V入力端子へつなぎます。
3 DVDレコーダーのU／V出力端子を本機の地上アンテナ入力端子へつなぎます。
4 分配器の出力「OUT」のもう一方を、本機の地上デジタルアンテナ入力端子へつなぎます。

2 BS・110度CSアンテナを接続する

(BS内蔵DVDレコーダーのとき)
5 BS・110度CSアンテナのケーブルを、2分配器(110度CSデジタル放送対応の市販品)の入力側につなぎます。
6 2分配器の出力の一方を、本機のBS・110度CSデジタルアンテナ入力端子へつなぎます。
7 2分配器の出力のもう一方を、DVDレコーダーのBSアンテナ入力端子につなぎます。

3 再生の接続をする

8 DVDレコーダーの出力(映像、S映像、音声左・右)を本機のビデオ1入力端子につなぎます。再生はビデオ1画面で見られます。

4 デジタル放送録画の接続をする

9 本機のデジタル放送出力(映像、S映像、音声左・右)をDVDレコーダーの入力(外部)につなぎます。

5 ビデオコントローラーの接続をする

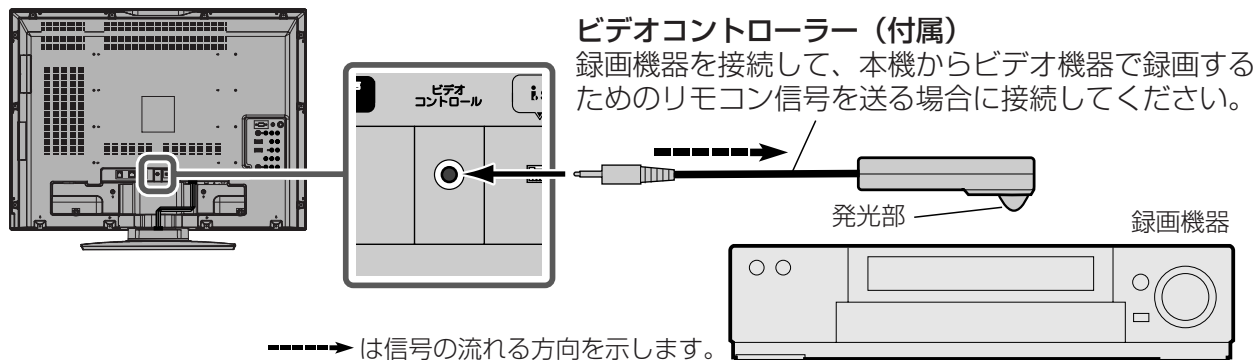
10 付属のビデオコントローラーを本機のビデオコントロール端子につなぐと、デジタル放送の番組予約録画が行えます。(☞212ページ)

6 D映像出力の接続をする

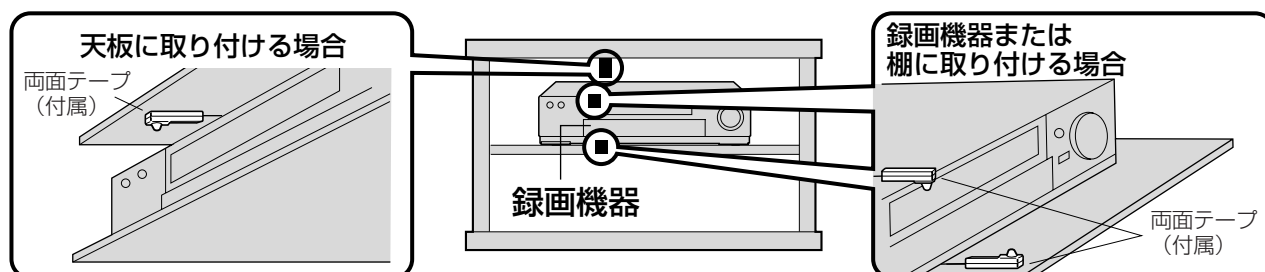
11 DVDレコーダーのD1/D2映像出力を本機ビデオ3または4入力のD4映像端子につなぐと、DVDをコンポーネント映像の高画質で再生できます。

VHF／UHFアンテナ、BS・110度CSアンテナの接続については☞200〜205ページもご覧ください。

ビデオコントローラーの接続

付属のビデオコントローラーを使うとデジタル放送の予約録画が便利に行えます。

ビデオコントローラーの取り付け

本機後面のビデオコントロール端子に付属のビデオコントローラーを接続し、発光部をビデオのリモコン受光部に向けて設置すると、本機に接続されたビデオ機器で、デジタル放送の番組を録画できます。
（ただし、一部の商品によっては使用できない場合があります。）

取り付け例…ビデオのリモコン受光部の位置を確認して取り付けてください。
（付属の両面テープを使用）

ビデオコントローラーを使用して、ビデオ機器で録画をする場合は、☞242～246ページの手順で事前に動作テストと「接続VTR設定」が必要です。テスト時にビデオ機器が動作する位置を確認のうえ、ビデオコントローラーを取り付けてください。

お願い

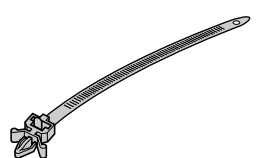
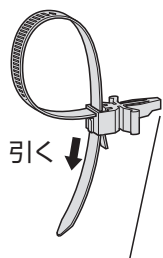
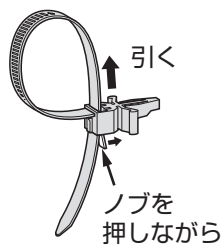
- 両面テープは貼り付ける個所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
- ビデオコントローラーに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますのでご注意ください。
- ビデオ機器の取扱説明書などでリモコン受光部の位置を確認し、信号が確実に届く場所にビデオコントローラーを取り付けてください。

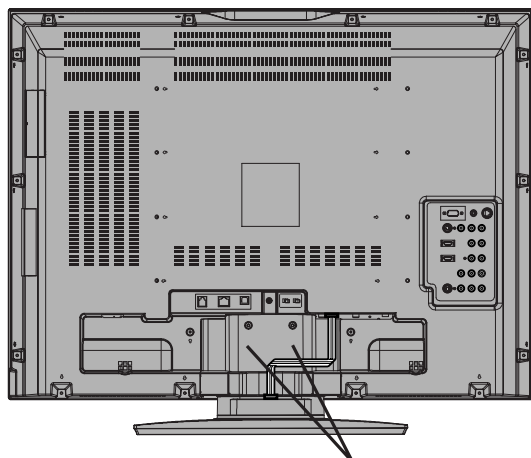
ご注意

- 対応しているビデオ機器のメーカーについては ☞242ページをご覧ください。

ケーブル類のまとめかた

アンテナケーブルや接続した機器のケーブル類は、付属のケーブル固定バンドでまとめておくことができます。

ケーブル固定バンドの使いかた

ケーブル固定バンド
（3本）

ケーブル固定バンドは、ケーブル類を束ねて左の図のように締めて固定することができます。さらに液晶テレビ背面の図の穴に差し込んで固定することもできます。

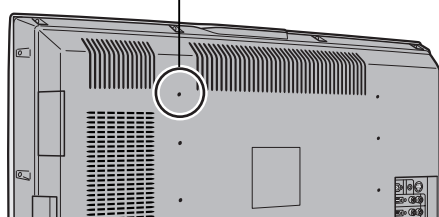
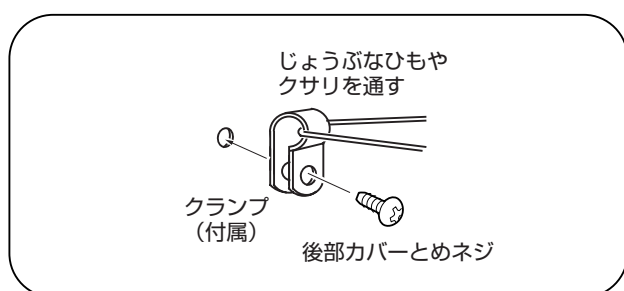
ケーブル固定バンドの取付穴

ケーブル固定バンド
の取付穴

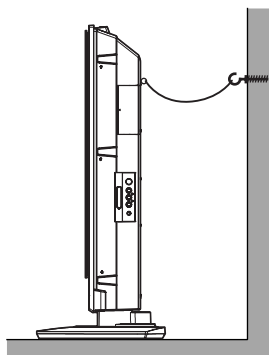
転倒防止策を行う

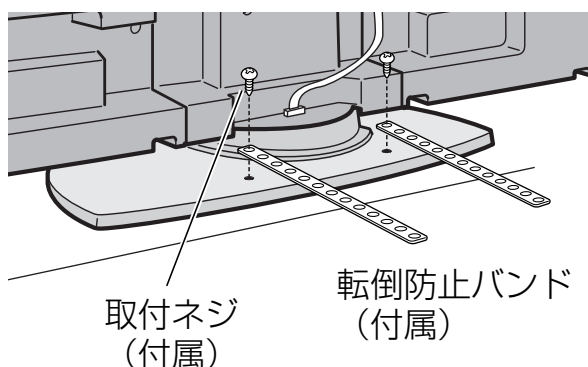
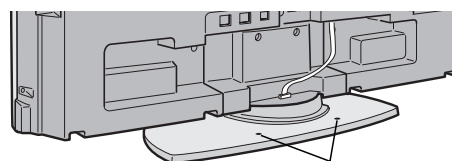
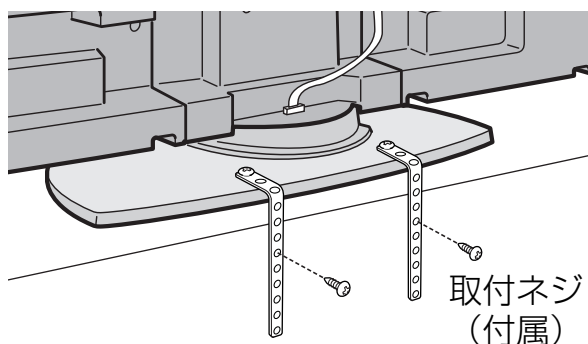
安全確保と事故防止のため転倒防止策を行ってください

ご使用中や地震のときの安全確保のため、下記の転倒防止策を実施してください。

本体を壁などに取り付ける

1 液晶テレビ後面の図のネジ（1本）を抜き取り、付属のクランプを通して再び締めます。

2 クランプにじょうぶなひもやクサリを通し、壁や柱など、強固な部分にしっかりと取り付けます。

- スイーベルを動かすことを考慮し、ひもは少したるませてください。

スタンドを台などに取り付ける

1 スタンドの後ろにある穴に、転倒防止バンドを取り付ける

2 転倒防止バンドを台などへ取り付ける

台座のしっかりした部分にしっかりと固定してください。

ご注意

- ひも・クサリ・ネジなどは市販品をご利用ください。
- 移動させるときは転倒防止策をはずしてください。
- 設置する台がキャスター(車)つきのときは、止め具をしてください。
- 万一、地震などのときに液晶テレビが倒れてくる場所には就寝しないでください。
- 転倒防止バンドでスタンドを固定する位置は、スイーベル(首振り)機能の可動範囲を考慮して決めてください。

電源コードの接続

付属の電源コードでコンセントに接続します

図のように接続してください。

付属の電源コード以外のコードで本機を電源に接続しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

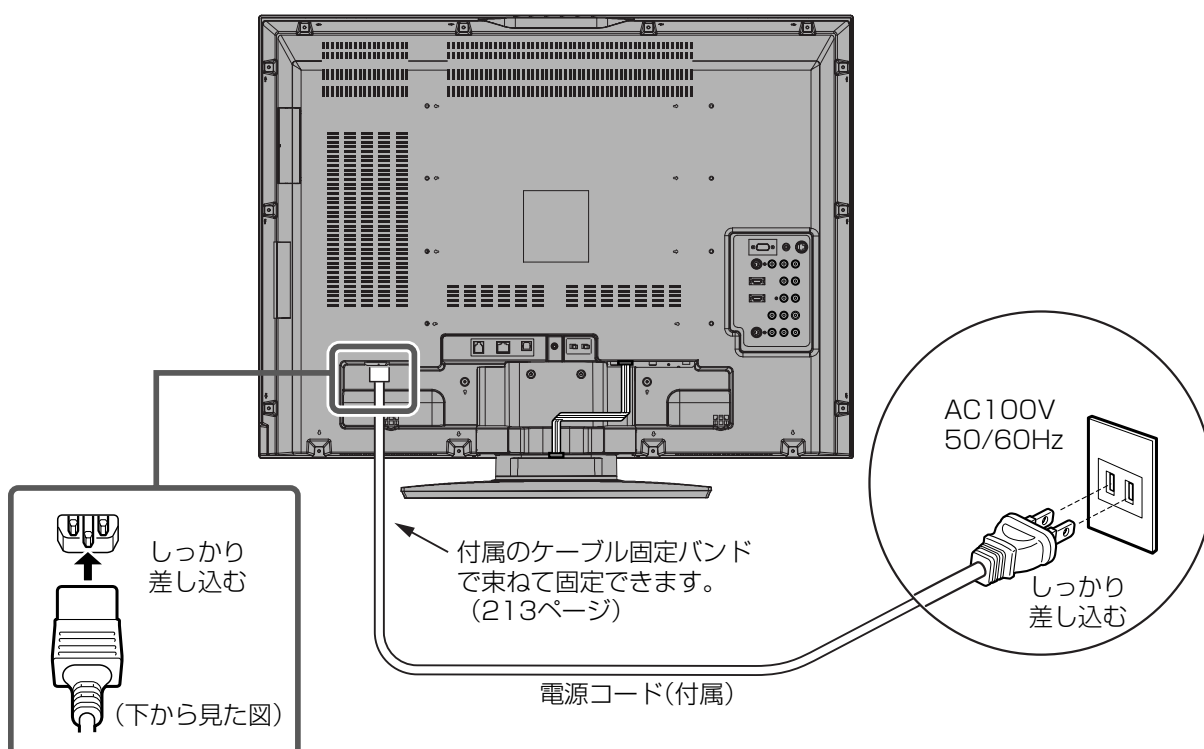
しっかり差し込む

（下から見た図）

付属のケーブル固定バンドで束ねて固定できます。（213ページ）

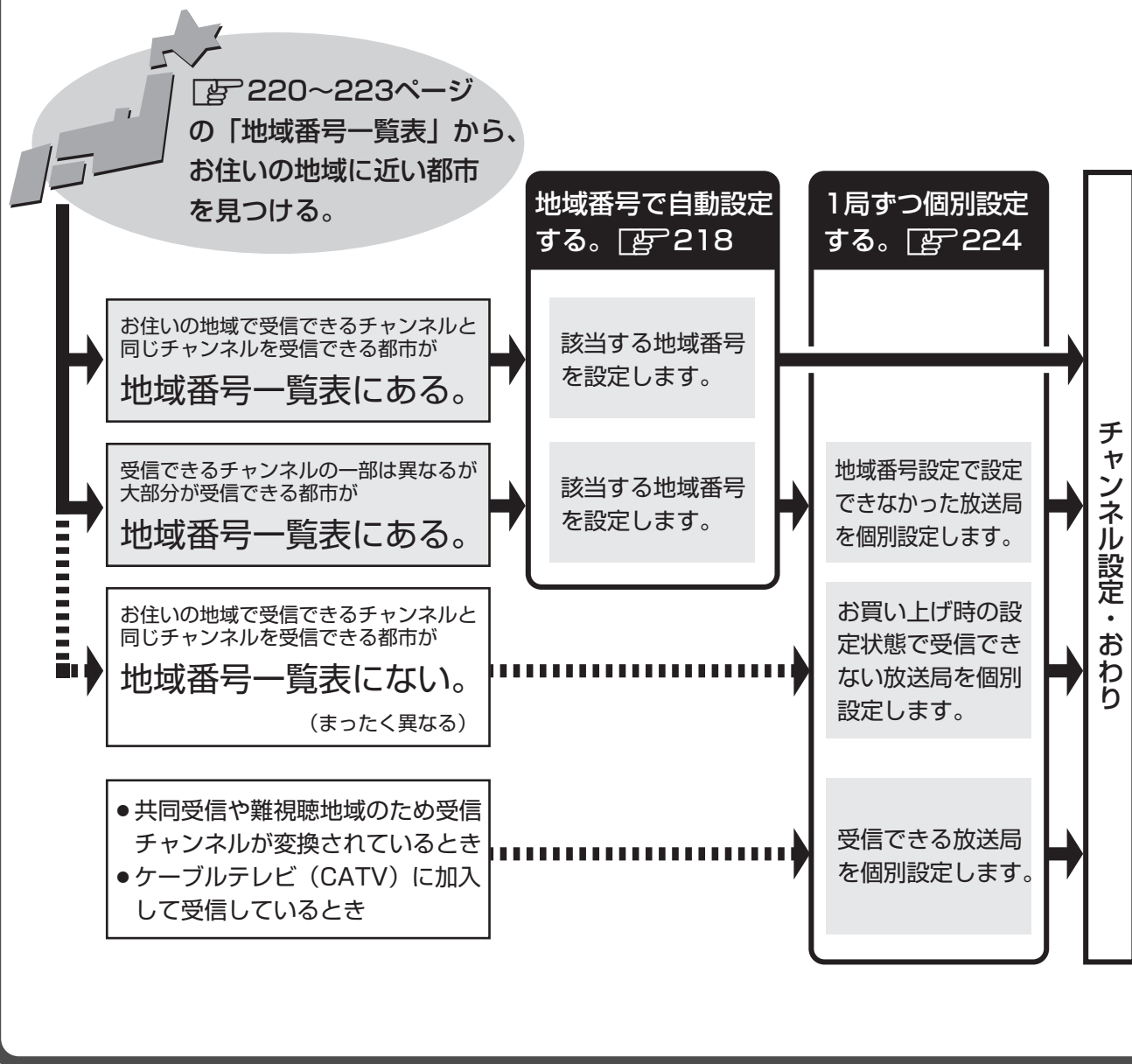
電源コード（付属）

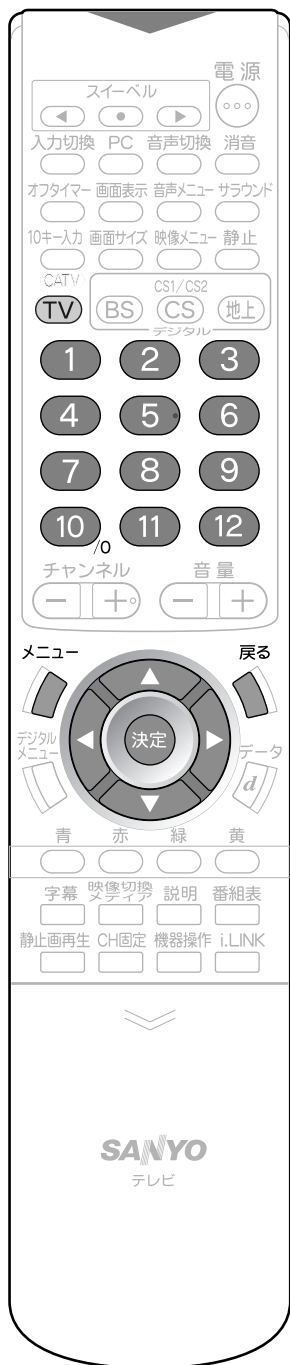
AC100V
50/60Hz

しっかり差し込む

ご注意

- 本機は電源コンセントの近くに設置し、万一異常が生じたときはすぐに電源プラグを抜けるようにしてください。
- 壁などに設置した場合でも、万一異常が生じたときにすぐに電源プラグを抜くことができるコンセントから電源をとってください。

受信チャンネルの設定（地上アナログ放送）

地上アナログ放送のチャンネルは地域によって異なります。お住まいの地域で受信できるチャンネルを設定してご覧ください。本機には、地域番号を入力して自動設定する方法と、1局ずつ個別に設定する方法があります。

お知らせ

- お買い上げ時（工場出荷時）は1～12ボタンにVHFの1～12チャンネルを設定しています。（詳しくは220ページをご覧ください）
- メニューによる地上アナログ放送のチャンネル設定は、地上アナログ放送以外の画面ではできません。地上アナログ放送以外の画面ではメニューの「チャンネル設定」が灰色で表示され、設定できません。

こんなときは

チャンネル表示を書き換えたり微調整するときは次のページをご覧ください。

- 新聞などの番組覧のチャンネル表示に合わせるとき（表示の変更）☞226
- きれいに映らないチャンネルがあるとき（チャンネルの微調整）☞226
- チャンネルを飛び越したいとき（チャンネルのスキップ設定）☞227
- GR（ゴーストリダクション）の設定を変えるとき ☞228

■映っていたチャンネルが映らなくなったとき

本機では、地上デジタル放送の開始に先立って地域によって行われることがある「アナログ周波数変更（アナアナ変更）」で受信できなくなったチャンネルを設定するため、チャンネルボタンごとに個別設定する方法を用意しています。

☞230

※
図で濃く表示しているのが操作に使うボタンです。

ご注意

- 地域番号一覧表に掲載されている都市にお住いの場合でも、場所によっては受信できる放送局が異なることがあります。そのようなときは個別設定で設定してください。
- 地域番号一覧表に掲載されている都市にお住いの場合でも、地上放送のデジタル化に伴うアナログ周波数変更（☞230ページ）の対象地域の場合は受信できる放送局が変更になる場合があります。そのようなときは個別設定で設定してください。
- 1〜12ボタンの受信チャンネルを工場出荷時に戻すときは地域番号設定で地域番号「000」を設定してください。
- 地域番号でチャンネルを設定すると以前のチャンネルは取り消されます。特に個別設定した後は不用意に地域番号設定をしないようご注意ください。
- 共同受信や難視聴地域などで、変換された電波を受信する場合は、新聞の番組欄のチャンネルを設定しても受信できません。共同受信の管理者や地域の電気店で受信チャンネルを確認して個別設定してください。

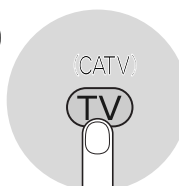
地域番号で自動設定するとき

220～223ページの一覧表に掲載されている地域番号を設定すると、その番号の地域で受信できるチャンネルが自動で設定されます。

220～223ページの「地域番号一覧表」から
お住いの地域の番号を探してください。

お住いの地域の地域番号

都市名	地域番号

地域番号設定のしかた

押して、
「地上アナログ放送」画面に
切り換える

受信チャンネルの設定は地上アナログ放送の画面で行ってください。地上アナログ放送以外の画面ではメニューの「チャンネル設定」が灰色で表示され、設定できません。

2

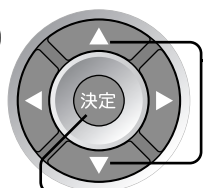
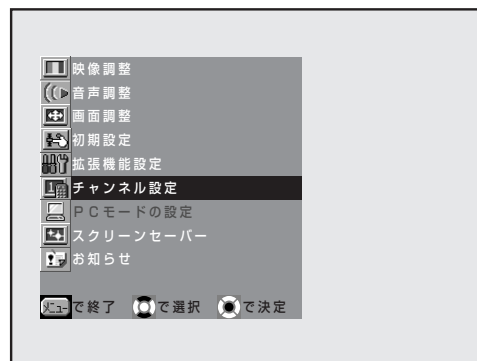
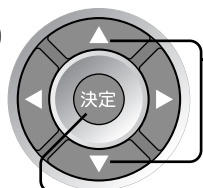
押す

● メニューが表示されます。

3

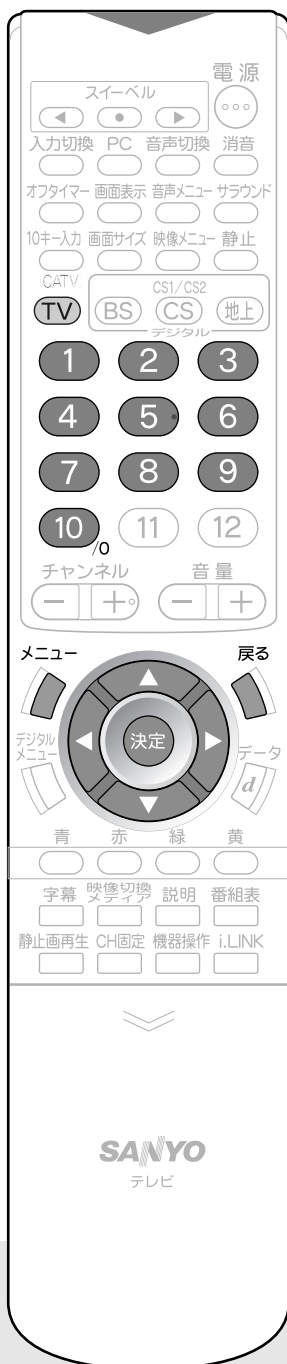
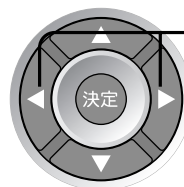
押して、
「チャンネル設定」を選び、

中央の決定ボタンを押す

映像調整
音声調整
画面調整
初期設定
拡張機能設定
チャンネル設定
ＰＣモードの設定
スクリーンセーバー
お知らせ
で終了　で選択　で決定

押して、
「地域番号設定」を選び、

中央の決定ボタンを押す

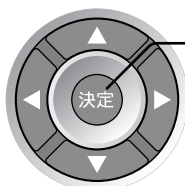
お知らせ

● 地域番号は表のとおりに3桁で入力してください。3桁で入力しないと設定されません。
● テレビ本体のメニュー、決定、▲▼ ◀▶ボタンでも設定できます。

5 0~9の数字ボタンまたは、 **で地域番号を設定する**

●◀▶ボタンでは000~160まで順に設定できます。

（例）大阪「027」のとき

●0（ゼロ）は「10」ボタンで入力します。

6 **押す**

●入力した地域番号の受信チャンネルが設定されます。

■地域番号設定で設定できなかった放送局を追加するときは個別設定をします。（☞224ページ）

■表示だけを変更するとき（☞226ページ）

■微調整が必要なとき（☞226ページ）

7

押して、表示を消す（設定終了）

※設定したあとは、希望のチャンネルが受信できることを確認してお使いください。

地域番号一覧表

お買い上げ時(工場出荷時)の設定状態

工場出荷時	地域番号	表示チャンネル、(受信チャンネル)、放送局名											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

全国の地域番号と受信チャンネル

受信チャンネルと表示チャンネルが異なるときのみ受信チャンネルを(　)内に示します。

都道府県	ポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル
北海道	札幌	001	北海道放送 1	テレビ北海道 17	NHK総合 3	北海道文化 27	札幌テレビ 5	北海道テレビ 35						NHK教育 12
	旭川	048	テレビ北海道 33	NHK教育 2	北海道文化 37	北海道テレビ 39			札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	北見	049	北海道放送 53	NHK教育 2	北海道文化 59	北海道テレビ 61			札幌テレビ 7		NHK総合 9			
	帯広	050	北海道文化 32	北海道テレビ 34		NHK総合 4		北海道放送 6				札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧路	051	北海道テレビ 39	NHK教育 2	北海道文化 41				札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	函館	052	テレビ北海道 21	北海道文化 27	北海道テレビ 35	NHK総合 4		北海道放送 6				NHK教育 10		札幌テレビ 12
	小樽	069	テレビ北海道 24	NHK教育 2	北海道文化 26	北海道テレビ 4			札幌テレビ 7		北海道放送 9		NHK総合 11	
	室蘭	070	テレビ北海道 29	NHK教育 2	北海道文化 37	北海道テレビ 39			札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	苫小牧	071	テレビ北海道 47	NHK教育 49	NHK総合 51	北海道文化 53	北海道放送 55	札幌テレビ 57	北海道テレビ 61					
	名寄	101	北海道テレビ 24	北海道文化 26		NHK総合 4		札幌テレビ 6				北海道放送 10		NHK教育 12
	稚内	102	札幌テレビ 22	北海道テレビ 24	北海道文化 26	NHK総合 28	NHK教育 30					北海道放送 10		
	網走	103	北海道放送 1	北海道文化 27	NHK総合 3	北海道テレビ 35	札幌テレビ 5							NHK教育 12
	根室	104	北海道テレビ 60	NHK教育 2	北海道文化 62				札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
青森	青森	002	青森放送 1	青森朝日 34	NHK総合 3	青森テレビ 38	NHK教育 5							
	八戸	053	岩手めんこい 29	岩手放送 2	青森朝日 31	青森テレビ 33	テレビ岩手 37		NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	
	むつ	105	青森朝日 56	青森テレビ 58		NHK総合 4						青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛岡	003	岩手朝日 31	岩手めんこい 33	テレビ岩手 35	NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8				
	釜石	106	NHK総合 2			テレビ岩手 58	岩手めんこい 60	岩手朝日放送 62				岩手放送 10		NHK教育 12
	一関	151	岩手朝日放送 23	NHK教育 2	岩手めんこい 25	テレビ岩手 37					NHK総合 9		岩手放送 11	
	二戸	107	岩手朝日放送 27	岩手放送 2	岩手めんこい 29	テレビ岩手 37	NHK総合 5							NHK教育 12
宮城	仙台	004	東北放送 1	東日本放送 32	NHK総合 3	宮城テレビ 34	NHK教育 5							仙台放送 12
	石巻	072	NHK教育 49	NHK総合 51	宮城テレビ 55	仙台放送 57	東北放送 59	東日本放送 61						
	気仙沼	108	宮城テレビ 37	NHK総合 2	東日本放送 43	東北放送 4		仙台放送 6				NHK教育 10		
秋田	秋田	005	秋田朝日 31	NHK教育 2	秋田テレビ 37						NHK総合 9		秋田放送 11	
	大館	054	青森放送 1	秋田テレビ 57	秋田朝日 59	NHK総合 4		秋田放送 6		NHK教育 8				
	大曲・横手	109	秋田朝日 41	NHK教育 43	NHK総合 45	秋田放送 47	秋田テレビ 51							
山形	山形	006	さくらんぼテレビ 30	テレビュー山形 36	山形テレビ 38	NHK教育 4				NHK総合 8		山形放送 10		
	鶴岡・酒田	055	山形放送 1	テレビュー山形 22	NHK総合 3	さくらんぼテレビ 24	山形テレビ 39	NHK教育 6						
	米沢	110	NHK教育 50	NHK総合 52	山形放送 54	テレビュー山形 56	山形テレビ 58	さくらんぼテレビ 60						
	新庄	111	テレビュー山形 26	NHK教育 2	さくらんぼテレビ 28	山形テレビ 58					NHK総合 9		山形放送 11	
福島	福島・郡山	007	テレビュー福島 31	NHK教育 2	福島中央 33	福島放送 35					NHK総合 9		福島テレビ 11	
	いわき	057	テレビュー福島 32	福島中央 34	福島放送 36	NHK総合 4				福島テレビ 8		NHK教育 10		
	会津若松	056	NHK総合 1	福島中央 37	NHK教育 3	福島放送 41	テレビュー福島 47	福島テレビ 6						
	原町	152	福島放送 48	テレビュー福島 50	福島中央 58	NHK教育 4				NHK総合 8		福島テレビ 10		
茨城	水戸	008	NHK総合 1(44)	千葉テレビ 46(39)	NHK教育 3(46)	日本テレビ 4(42)		TBSテレビ 6(40)		フジテレビ 8(38)		テレビ朝日 10(36)		テレビ東京 12(32)
	日立	073	NHK総合 1(52)	千葉テレビ 46(46)	NHK教育 3(50)	日本テレビ 4(54)		TBSテレビ 6(56)		フジテレビ 8(58)		テレビ朝日 10(60)		テレビ東京 12(62)

都道府県	ポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル
栃木	宇都宮	009	NHK総合 1(29)	とちぎテレビ 31(31)	NHK教育 3(27)	日本テレビ 4(25)		TBSテレビ 6(23)		フジテレビ 8(21)		テレビ朝日 10(19)		テレビ東京 12(17)
	矢板	068	NHK総合 1(51)	とちぎテレビ 33(33)	NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(53)		TBSテレビ 6(55)		フジテレビ 8(57)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
	今市	153	NHK総合 1(52)	群馬テレビ 48	NHK教育 3(50)	日本テレビ 4(54)		TBSテレビ 6(56)		フジテレビ 8(58)		テレビ朝日 10(60)		テレビ東京 12(62)
群馬	前橋	010	NHK総合 1(52)	放送大学 16(40)	NHK教育 3(50)	日本テレビ 4(54)	テレビ埼玉 38	TBSテレビ 6(56)	群馬テレビ 48	フジテレビ 8(58)		テレビ朝日 10(60)		テレビ東京 12(62)
	桐生	074	NHK総合 1(43)	放送大学 16(40)	NHK教育 3(45)	日本テレビ 4(39)	群馬テレビ 48(41)	TBSテレビ 6(37)		フジテレビ 8(35)		テレビ朝日 10(33)		テレビ東京 12(31)
埼玉	さいたま	011	NHK総合 1	放送大学 16	NHK教育 3	日本テレビ 4	テレビ埼玉 38	TBSテレビ 6	千葉テレビ 46	フジテレビ 8	群馬テレビ 48	テレビ朝日 10		テレビ東京 12
	熊谷・児玉	075	NHK総合 1(33)	放送大学 16	NHK教育 3(35)	日本テレビ 4(25)	テレビ埼玉 38(28)	TBSテレビ 6(23)	群馬テレビ 48	フジテレビ 8(21)		テレビ朝日 10(19)		テレビ東京 12(17)
	秩父	112	NHK総合 1(51)		NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(53)	テレビ埼玉 47	TBSテレビ 6(55)		フジテレビ 8(57)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
千葉	千葉	012	NHK総合 1	放送大学 16	NHK教育 3	日本テレビ 4	テレビ埼玉 38	TBSテレビ 6	テレビ神奈川 42	フジテレビ 8	千葉テレビ 46	テレビ朝日 10		テレビ東京 12
	成田	154	NHK総合 1(30)	千葉テレビ 46	NHK教育 3(28)	日本テレビ 4(25)		TBSテレビ 6(23)		フジテレビ 8(21)		テレビ朝日 10(19)		テレビ東京 12(17)
	銚子	113	NHK総合 1(51)	千葉テレビ 39	NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(53)		TBSテレビ 6(55)		フジテレビ 8(57)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
東京	東京	013	NHK総合 1	メトロポリタン 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBSテレビ 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
	八王子	076	NHK総合 1(51)	メトロポリタン 14	NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(53)	放送大学 16	TBSテレビ 6(55)	テレビ神奈川 42	フジテレビ 8(57)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
	多摩	077	NHK総合 1(30)	放送大学 16	NHK教育 3(32)	日本テレビ 4(26)	メトロポリタン 28	TBSテレビ 6(24)	テレビ神奈川 42	フジテレビ 8(22)		テレビ朝日 10(20)		テレビ東京 12(18)
神奈川	横浜	014	NHK総合 1	放送大学 16	NHK教育 3	日本テレビ 4	テレビ神奈川 42	TBSテレビ 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10		テレビ東京 12
	平塚	078	NHK総合 1(33)	放送大学 16	NHK教育 3(29)	日本テレビ 4(35)	テレビ神奈川 42(31)	TBSテレビ 6(37)		フジテレビ 8(39)		テレビ朝日 10(41)		テレビ東京 12(43)
	秦野	079	NHK総合 1(47)	テレビ神奈川 42(61)	NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(51)		TBSテレビ 6(53)		フジテレビ 8(55)		テレビ朝日 10(57)		テレビ東京 12(59)
	小田原	080	NHK総合 1(52)	テレビ神奈川 42(46)	NHK教育 3(50)	日本テレビ 4(54)		東京放送 6(56)		フジテレビ 8(58)		テレビ朝日 10(60)		テレビ東京 12(62)
	横浜みなと	114	NHK総合 1(52)	テレビ神奈川 48	NHK教育 3(50)	日本テレビ 4(54)		TBSテレビ 6(56)		フジテレビ 8(58)		TV朝日 10(60)		テレビ東京 12(62)
	南足柄	155	NHK総合 1(51)	テレビ神奈川 45	NHK教育 3(49)	日本テレビ 4(53)		TBSテレビ 6(55)		フジテレビ 8(57)		テレビ朝日 10(59)		テレビ東京 12(61)
新潟	新潟	015	新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟総合 35		新潟放送 5			NHK総合 8				NHK教育 12
	上越	081	NHK教育 1	テレビ新潟 27	NHK総合 3	新潟総合テレビ 33	新潟テレビ21 37					新潟放送 10		
山梨	甲府	019	NHK総合 1	テレビ山梨 37	NHK教育 3		山梨放送 5							
長野	長野 (美ヶ原)	020	長野朝日 20	NHK総合 2	テレビ信州 30	長野放送 38					NHK教育 9		信越放送 11	
	松本	083	信越放送 40	長野放送 42	NHK総合 44	NHK教育 46	テレビ信州 48	長野朝日 50						
	飯田	058	長野放送 40	テレビ信州 42	NHK教育 3	NHK総合 4	長野朝日 44	信越放送 6						
	長野 (善光寺平)	115	テレビ信州 40	NHK総合 2(44)	長野放送 42	信越放送 48	長野朝日 50				NHK教育 9(46)			
	岡谷・諏訪	116	長野放送 47	テレビ信州 59	長野朝日 61	NHK総合 4		信越放送 6		NHK教育 8				
富山	富山	016	北日本放送 1	チューリップ 32	NHK総合 3	富山テレビ 34		北陸放送 6				NHK教育 10		
	高岡	082	北日本テレビ 1(50)	チューリップ 42	NHK総合 3(48)	富山テレビ 44						NHK教育 10(46)		
石川	金沢	017	北陸朝日 25	テレビ金沢 33	石川テレビ 37	NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8				
	七尾	117	石川テレビ 55	テレビ金沢 57	北陸朝日 59		NHK教育 5				NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井	018	福井テレビ 39		NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	
	敦賀	118	福井テレビ 38					NHK総合 6		福井放送 8				NHK教育 12
岐阜	岐阜	021	東海テレビ 1	テレビ愛知 25	NHK総合 3	三重テレビ 33	中部日本放送 5	中京テレビ 35	岐阜放送 37		NHK教育 9		名古屋テレビ 11	
	高山	119	中京テレビ 26	NHK教育 2	岐阜放送 38	NHK総合 4		中部日本放送 6		東海テレビ 8				名古屋テレビ 12
	中津川	120	中京テレビ 26	岐阜放送 28		NHK総合 4		名古屋テレビ 6		中部日本放送 8		東海テレビ 10		NHK教育 12
	長良	121	中京テレビ 47	NHK教育 49	NHK総合 53	中部日本放送 55	東海テレビ 57	名古屋テレビ 59	岐阜放送 61					
	各務原	122	東海テレビ 1	テレビ愛知 25	NHK総合 3	三重テレビ 33	中部日本放送 5	中京テレビ 35	岐阜放送 37		NHK教育 9		名古屋テレビ 11	
静岡	静岡	022	静岡第一 31	NHK教育 2	静岡朝日 33	テレビ静岡 35					NHK総合 9		静岡放送 11	
	富士	084	静岡第一 27	静岡朝日 29	テレビ静岡 39	静岡放送 41	NHK総合 52	NHK教育 54						
	三島・沼津	085	NHK教育 51	NHK総合 53	静岡放送 55	静岡朝日 57	テレビ静岡 59	静岡第一 61						
	浜松	059	テレビ愛知 25	静岡朝日 28	静岡第一 30	NHK総合 4	テレビ静岡 34	静岡放送 6		NHK教育 8				

地域番号一覧表（つづき）

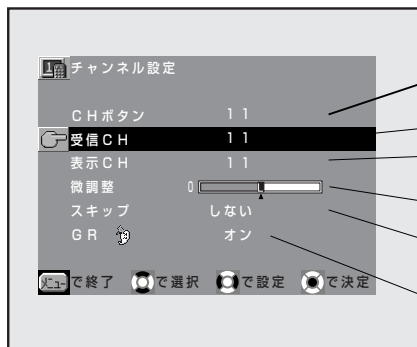
都道府県	ポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル
静岡	島田	123	NHK総合 1	静岡第1 48	NHK教育 3	静岡朝日 50	静岡放送 5	テレビ静岡 58						
	藤枝	124	静岡第1 24	静岡朝日 26	テレビ静岡 38	静岡放送 40	NHK総合 42	NHK教育 44						
愛知	名古屋	023	東海テレビ 1	テレビ愛知 25	NHK総合 3	三重テレビ 33	中部日本放送 5	中京テレビ 35	岐阜放送 37		NHK教育 9		名古屋テレビ 11	
	豊田	086	テレビ愛知 49	NHK教育 51	NHK総合 53	中部日本放送 55	東海テレビ 57	中京テレビ 59	名古屋テレビ 61					
	豊橋	087	NHK教育 50	テレビ愛知 52	NHK総合 54	東海テレビ 56	中京テレビ 58	名古屋テレビ 60	中部日本放送 62					
	蒲郡田原	156	テレビ愛知 32	中部日本放送 36	東海テレビ 38	中京テレビ 40	名古屋テレビ 42	NHK総合 44	NHK教育 46					
三重	津	024	東海テレビ 1	テレビ愛知 25	NHK総合 3	三重テレビ 33	中部日本放送 5	中京テレビ 35			NHK教育 9		名古屋テレビ 11	
	伊勢	088	中京テレビ 47	NHK教育 49	NHK総合 53	中部日本放送 55	東海テレビ 57	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61					
	名張	125	NHK教育 50	NHK総合 52	中京テレビ 54	名古屋テレビ 56	三重テレビ 58	中部日本放送 60	東海テレビ 62					
滋賀	大津	025	琵琶湖放送 30	NHK総合 2(28)	京都テレビ 34	毎日放送 4(36)		朝日放送 6(38)		関西テレビ 8(40)		読売テレビ 10(42)		NHK教育 12(46)
	彦根	089	琵琶湖放送 30(56)	NHK総合 2(52)		毎日放送 4(54)		朝日放送 6(58)		関西テレビ 8(60)		読売テレビ 10(62)		NHK教育 12(50)
京都	京都	026	テレビ大阪 19	NHK総合 2(32)	京都テレビ 34	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	舞鶴	126	京都テレビ 34(57)	NHK総合 2(51)		毎日放送 4(53)		朝日放送 6(55)		関西テレビ 8(59)		読売テレビ 10(61)		NHK教育 12(49)
	福知山	127	京都テレビ 34(56)	NHK総合 2(50)		毎日放送 4(54)		朝日放送 6(58)		関西テレビ 8(60)		読売テレビ 10(62)		NHK教育 12(52)
	山科	128	京都テレビ 34(62)	NHK総合 2(52)		毎日放送 4(54)		朝日放送 6(56)		関西テレビ 8(58)		読売テレビ 10(60)		NHK教育 12(50)
大阪	大阪	027	テレビ大阪 19	NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	サンテレビ 36	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神戸	028	テレビ大阪 19	NHK総合 2(28)	サンテレビ 36	毎日放送 4(18)		朝日放送 6(20)		関西テレビ 8(22)		読売テレビ 10(24)		NHK教育 12(26)
	神戸VHF 受信地区	027	テレビ大阪 19	NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	サンテレビ 36	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	神戸灘	090	テレビ大阪 19	NHK総合 2(52)	サンテレビ 36(62)	毎日放送 4(54)		朝日放送 6(56)		関西テレビ 8(58)		読売テレビ 10(60)		NHK教育 12(50)
	川西	091	サンテレビ 36(33)	NHK総合 2(29)		毎日放送 4(35)		朝日放送 6(37)		関西テレビ 8(39)		読売テレビ 10(41)		NHK教育 12(31)
	北淡·垂水 地区	066	テレビ大阪 19	NHK総合 2(51)	サンテレビ 36(55)	毎日放送 4(53)		朝日放送 6(57)		関西テレビ 8(59)		読売テレビ 10(61)		NHK教育 12(49)
	明石· 加古川	092	テレビ大阪 19	NHK総合 2(51)	サンテレビ 36(55)	毎日放送 4(53)		朝日放送 6(57)		関西テレビ 8(59)		読売テレビ 10(61)		NHK教育 12(49)
	姫路	093	テレビ大阪 19	NHK総合 2(50)	サンテレビ 36(56)	毎日放送 4(54)		朝日放送 6(58)		関西テレビ 8(60)		読売テレビ 10(62)		NHK教育 12(52)
	三木	129	サンテレビ 36	NHK総合 2(44)		毎日放送 4(34)		朝日放送 6(38)		関西テレビ 8(40)		読売テレビ 10(42)		NHK教育 12(46)
	長田	130	サンテレビ 36(34)	NHK総合 2(44)		毎日放送 4(38)		朝日放送 6(40)		関西テレビ 8(42)		読売テレビ 10(48)		NHK教育 12(46)
奈良	奈良	029	テレビ大阪 19	NHK総合 2	NHK奈良 51	毎日放送 4	奈良テレビ 55	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	五条	131	奈良テレビ 41	NHK総合 2(43)		毎日放送 4(33)		朝日放送 6(35)		関西テレビ 8(37)		読売テレビ 10(39)		NHK教育 12(45)
	生駒	132	奈良テレビ 26	NHK総合 2		毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
和歌山	和歌山	030	テレビ和歌山 30	NHK総合 2(32)		毎日放送 4(42)		朝日放送 6(44)		関西テレビ 8(46)		読売テレビ 10(48)		NHK教育 12(26)
	海南地区	067	テレビ和歌山 56	NHK総合 2(50)		毎日放送 4(54)		朝日放送 6(58)		関西テレビ 8(60)		読売テレビ 10(62)		NHK教育 12(52)
	新宮	133	テレビ和歌山 34	NHK総合 2(44)		毎日放送 4(36)		朝日放送 6(38)		関西テレビ 8(40)		読売テレビ 10(42)		NHK教育 12(46)
	田辺北	157	テレビ和歌山 30(20)	NHK総合 2(16)		毎日放送 4(22)		朝日放送 6(25)		関西テレビ 8(27)		読売テレビ 10(29)		NHK教育 12(18)
	那賀	158	テレビ和歌山 30(53)	NHK総合 2(49)		毎日放送 4(55)		朝日放送 6(57)		関西テレビ 8(59)		読売テレビ 10(61)		NHK教育 12(51)
鳥取	鳥取	031	日本海テレビ 1	山陰放送 22	NHK総合 3	NHK教育 4	山陰中央 24							
	米子	134	日本海テレビ 30	NHK総合 32	山陰中央 34							山陰放送 10		NHK教育 12
	倉吉	135	日本海テレビ 1	山陰放送 56	NHK総合 3	NHK教育 4	山陰中央 58							
島根	松江	032	日本海テレビ 30	山陰中央 34				NHK総合 6				山陰放送 10		NHK教育 12
	浜田	061	日本海テレビ 54	NHK総合 2	山陰中央 58		山陰放送 5				NHK教育 9			
岡山	岡山	033	テレビせとうち 23	瀬戸内海放送 25	NHK教育 3	岡山放送 35	NHK総合 5				西日本放送 9		山陽放送 11	
	津山	136	テレビせとうち 56	NHK総合 2	西日本放送 58	岡山放送 60	瀬戸内海放送 62		山陽放送 7					NHK教育 12
	笠岡	137	西日本放送 17	NHK総合 2	テレビせとうち 19	NHK教育 4	瀬戸内海放送 21	山陽放送 6	岡山放送 60					
	水島	159	テレビせとうち 28	西日本放送 30	瀬戸内海放送 32	NHK教育 50	NHK総合 52	岡山放送 56	山陽放送 62					

都道府県	ポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル	放送局名 チャンネル
広島	広島	034	テレビ新広島 31	広島ホームテレビ 35	NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7					広島テレビ 12
	福山(東)	138	テレビ新広島 54	広島ホームテレビ 57	NHK総合 3		NHK教育 5		中国放送 7				広島テレビ 11	
	呉	094	NHK教育 1	広島ホームテレビ 24	テレビ新広島 26		広島テレビ 5				中国放送 9		NHK総合 11	
	尾道 福山(西)	060	NHK総合 1	広島ホームテレビ 24	テレビ新広島 26				NHK教育 7			中国放送 10		広島テレビ 12
山口	山口	035	NHK教育 1	山口朝日 28	テレビ山口 38						NHK総合 9		山口放送 11	
	下関	095	山口朝日 21	九州朝日 2	TXN九州 23	山口放送 4	テレビ山口 33	福岡放送 35	NHK総合 39	RKB毎日 8	NHK教育 41	テレビ西日本 10		
	宇部	096	NHK教育 14	NHK総合 16	山口放送 18	テレビ山口 20	山口朝日 31					テレビ西日本 10		
	岩国	139	NHK教育 1	テレビ山口 22	山口朝日 28						NHK総合 9		山口放送 11	
	防府	140	NHK教育 1	山口朝日 28	テレビ山口 38						NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島	036	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12(38)
香川	高松	037	テレビせとうち 19	山陽放送 29	岡山放送 31	瀬戸内海放送 33	NHK総合 37	NHK教育 39	西日本放送 41					
	丸亀	141	テレビせとうち 16	山陽放送 18	西日本放送 20	岡山放送 22	NHK教育 40	瀬戸内海放送 42	NHK総合 44					
愛媛	松山	038	愛媛朝日 25	NHK教育 2	あいテレビ 29	テレビ愛媛 37		NHK総合 6				南海放送 10		
	今治	097	愛媛朝日 14	あいテレビ 27	NHK教育 30	NHK総合 32	南海テレビ 34	テレビ愛媛 36	広島ホームテレビ 38					
	新居浜	062	愛媛朝日 14	NHK総合 2	あいテレビ 27	NHK教育 4	テレビ愛媛 36	南海放送 6						
	宇和島	142	NHK教育 1	愛媛朝日 16	愛媛放送 32	あいテレビ 34		NHK総合 6				南海放送 10		
高知	高知	039	テレビ高知 38	高知さんさん 40		NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8				
	中村	143	NHK教育 1	高知さんさん 14	高知放送 3	テレビ高知 32							NHK総合 11	
福岡	福岡	040	九州朝日 1	テレビQ 19	NHK総合 3	RKB毎日 4	福岡放送 37	NHK教育 6			テレビ西日本 9			
	北九州	063	テレビQ 23	九州朝日 2	福岡放送 35			NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	久留米	098	テレビQ 14	佐賀テレビ 36	NHK総合 46	RKB毎日 48	福岡放送 52	NHK教育 54	九州朝日 57	テレビ西日本 60				
	大牟田	099	テレビQ 19	福岡放送 43	NHK教育 50	NHK総合 53	テレビ西日本 55	九州朝日 58	RKB毎日 61					
	行橋	144	TXN九州 19	福岡放送 43	NHK教育 46	NHK総合 49	テレビ西日本 54	九州朝日 57	RKB毎日 60					
	宗像	160	テレビQ 27	テレビ西日本 45	福岡放送 47	RKB毎日 49	九州朝日 51	NHK総合 53	NHK教育 55					
佐賀	佐賀	041	テレビQ 14	テレビ熊本 34	サガテレビ 36	NHK総合 38	NHK教育 40	RKB毎日 48	福岡放送 52	九州朝日 57	テレビ西日本 60		熊本放送 11	
	伊万里	145	TXN九州 14	サガテレビ 41	NHK教育 44	RKB毎日 48	NHK総合 51	福岡放送 52	九州朝日 57	テレビ西日本 60			熊本放送 11	
長崎	長崎	042	NHK教育 1	長崎国際 25	NHK総合 3	長崎文化 27	長崎放送 5	テレビ長崎 37						
	佐世保	065	長崎国際 17	NHK教育 2	長崎文化 31	テレビ長崎 35				NHK総合 8		長崎放送 10		
	諫早	146	長崎国際 20	長崎文化 24	テレビ長崎 42	NHK教育 45	NHK総合 47	長崎放送 49						
熊本	熊本	043	熊本朝日 16	NHK教育 2	熊本県民 22	テレビ熊本 34					NHK総合 9		熊本放送 11	
	水俣	147	NHK教育 1	熊本朝日 32	熊本県民 36	NHK総合 4	テレビ熊本 38	熊本放送 6						
大分	大分	044	大分朝日 24	テレビ大分 36	NHK総合 3		大分放送 5							NHK教育 12
	中津	148	大分朝日 17	テレビ大分 37	NHK教育 45	NHK総合 48	大分放送 51							
	佐伯	149	NHK教育 1	大分朝日 31	テレビ大分 49				NHK総合 7		大分放送 9			
宮崎	宮崎	045	テレビ宮崎 35							NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡	064	テレビ宮崎 39	NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6						
鹿児島	鹿児島	046	南日本放送 1	鹿児島読売 30	NHK総合 3	鹿児島放送 32	NHK教育 5	鹿児島テレビ 38						
	阿久根	100	鹿児島読売 17	鹿児島放送 23	鹿児島テレビ 35					NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋	150	NHK教育 2	鹿児島読売 25	鹿児島放送 31	NHK総合 4	鹿児島テレビ 33	南日本放送 6						
沖縄	那覇	047	琉球朝日 28	NHK総合 2						沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

1局ずつ個別設定するとき

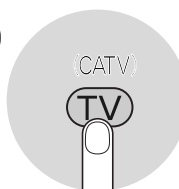
地域番号一覧表に当てはまらない地域でお使いになるときや、地域番号で設定した後、希望のチャンネルを追加するときは、1局ずつ個別に設定してください。

個別設定の表示

● テレビ本体のメニュー、決定、▲▼ ◀▶ ボタンでも設定できます。

画面の表示	設定の範囲と内容	
CHボタン	1～12	リモコンの1～12ボタン
受信CH、表示CH	1～12	VHF放送
	13～62	UHF放送
	C13～63	ケーブルテレビ
微調整	受信チャンネルの微調整 ☞226	
スキップ	する／しない	チャンネル－／＋で飛び越す ☞227
GR	オン／オフ	ゴーストリダクション ☞228

個別設定のしかた

例 UHF放送の「35」チャンネルをリモコンの「11」ボタンに設定するとき

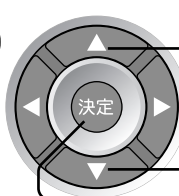
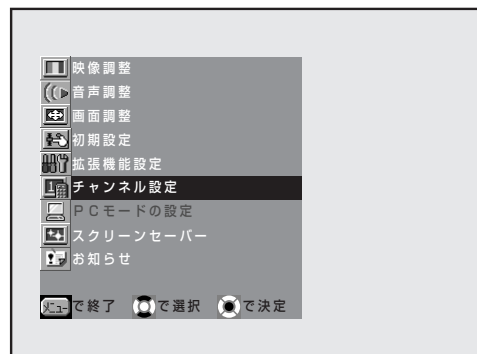
1

押して、
「地上アナログ放送」画面に切り換える

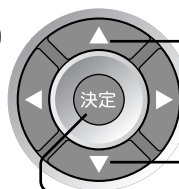
受信チャンネルの設定は地上アナログ放送の画面で行ってください。地上アナログ放送以外の画面ではメニューの「チャンネル設定」が灰色で表示され、設定できません。

2

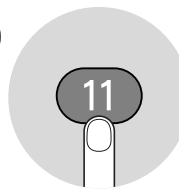
押す

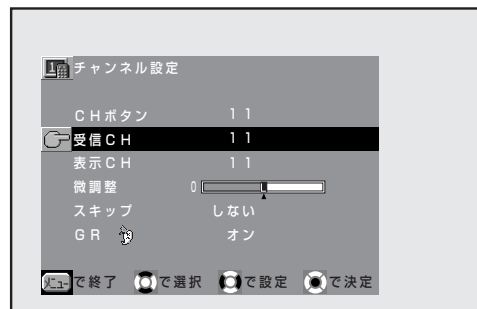
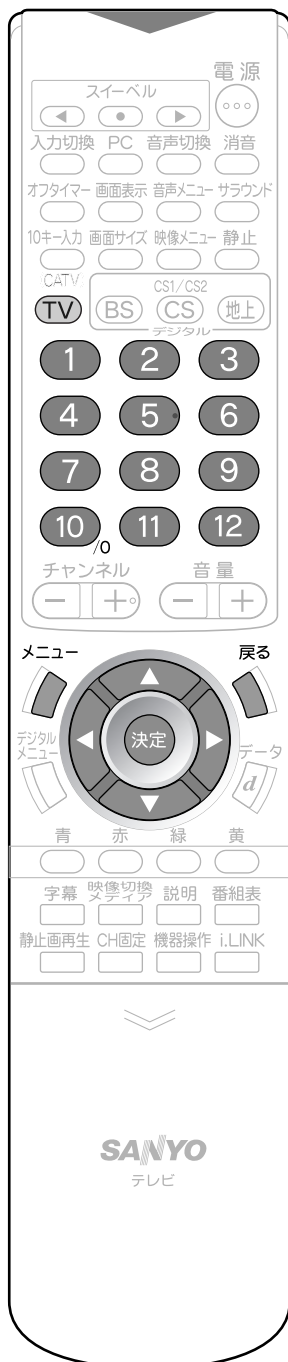
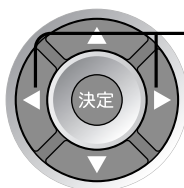
● メニューが表示されます。

3

押して、
「チャンネル設定」を選び、

中央の決定ボタンを押す

4

押して、
「個別設定」を選び、

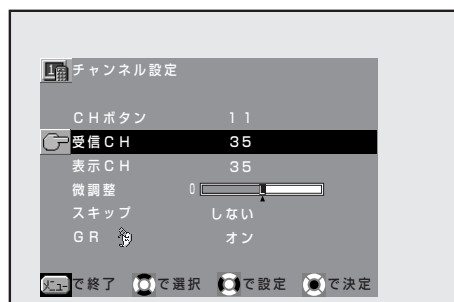
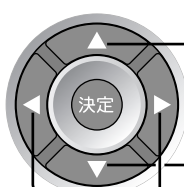
中央の決定ボタンを押す

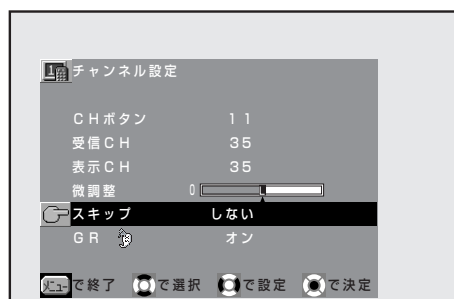
5

設定するチャンネルボタンを押す

● 放送が映らないボタンなどこれから放送局を設定するボタンを押します（例では11）。画面の「CHボタン」の表示が押したボタンの数字に変わり「受信CH」が反転します。

ご注意
- 放送がないチャンネルは砂あらしのような画面になりますが失敗や故障ではありません。そのまま操作を続けてください。
- 受信チャンネルが異なる地域に転居されたときはVHF、UHFとも、転居先で受信できるチャンネルに設定し直してください。

6

押して、「受信CH」の数字を希望の放送局の番号に変える

- 「受信CH」の数字を、設定する放送局のチャンネル番号に変えます。（この例では「35」に変える）変えた放送局が受信されます。

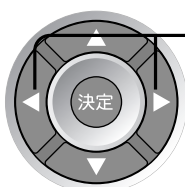
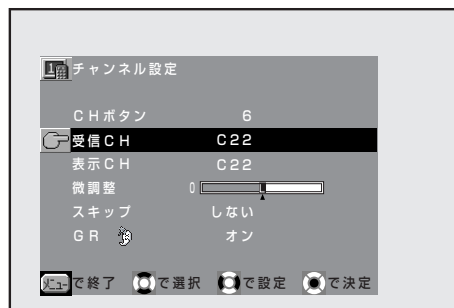
■表示だけを書き換えるときは▲▼で「表示CH」を選択して◀▶で書き換えます。（226）

■微調整するときは▲▼で「微調整」を選択して◀▶で調整します。（226）

7

スキップ設定「する」になっていたときは
押して、「スキップ」を選び、「しない」に変える

- スキップ設定「する」のときは、チャンネル－／＋ボタンで選局したときに飛び越してしまいます。スキップ設定「する」になっていたときは、▲▼ボタンで「スキップ」を選び、◀▶ボタンで「しない」に変えます。
- 続けて別のチャンネルを設定するときは操作❺～❼を繰り返します。

8

押して、表示を消す（設定終了）

ケーブルテレビを設定するとき

同じ手順でケーブルテレビのチャンネルを設定しておくと、ボタンを押すだけで選局できます。

押して、「受信CH」を希望のケーブルテレビのチャンネル番号に変える

- 個別設定の操作❶～❽と同じ手順で設定します。操作❻で「受信CH」の数字を、ケーブルテレビのチャンネル（C13～C63）にすると設定できます。（例は6ボタンを押したときにC22チャンネルを受信する設定）

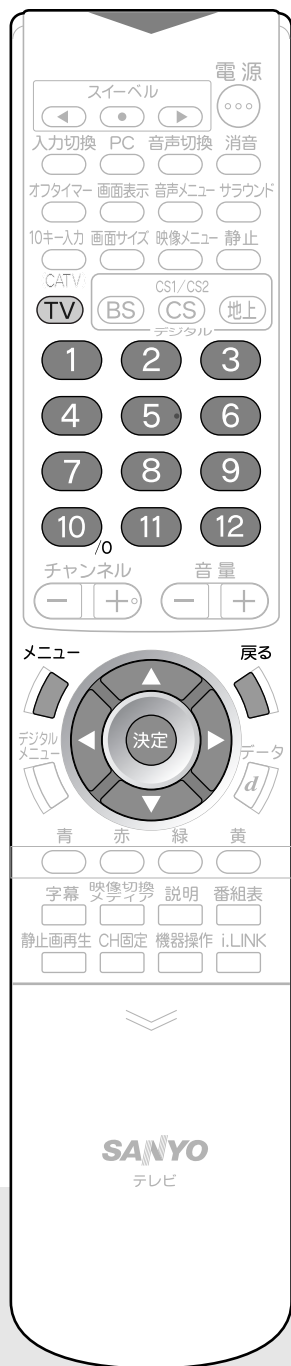
※ケーブルテレビはサービスの行われている地域で受信できます。詳しくは40ページをご覧ください。

テレビ本体で設定するとき

テレビ本体のボタンでチャンネル設定するときは、左ページの操作5でチャンネルボタンを押す代わりに、▼▲ボタン（チャンネル－／＋）で「CHボタン」を選び、◀▶ボタン（音量－／＋）で希望のチャンネルボタン番号に変えてください。その後、▼ボタンで「受信CH」を選んでから操作6へ進みます。

表示・微調整・スキップ設定

個別設定の画面で、チャンネル表示の変更や微調整、スキップ設定ができます。

個別設定画面の出しかたは 224ページの操作❶～❹をご覧ください。設定を終えるときはメニューボタンを押して表示を消します。

チャンネル表示を変えるには

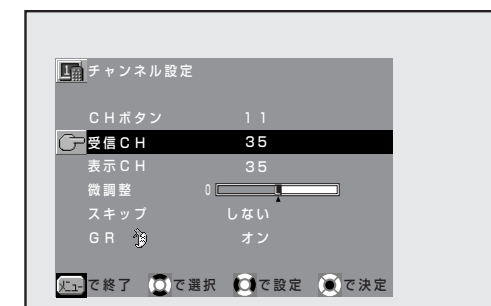
表示だけを変えることができます。

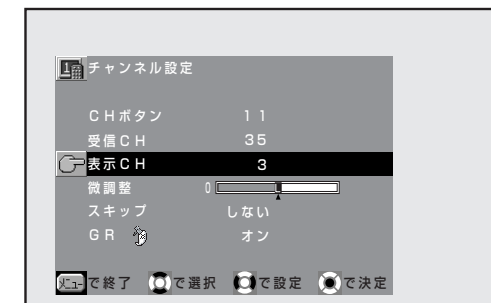
例「11」ボタンに設定した35チャンネルの表示を「3」に変えるとき

❶ 「個別設定」の画面を出す（ P224の操作❶～❹）

❷

表示を変えるチャンネルのボタンを押す

❸

押して、「表示CH」を選び、

希望のチャンネル番号に変える

（変更終了）
続けて別のチャンネルの表示を変えるときは、操作❷～❸をくり返します。

チャンネルを微調整するには

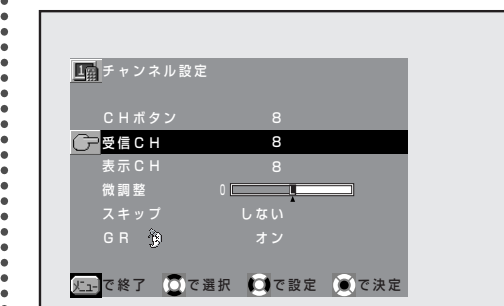
受信状態が良くないチャンネルは、微調整で見やすくなることがあります。

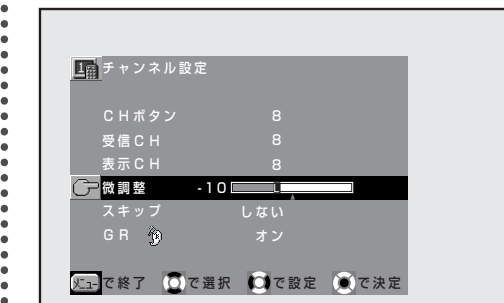
例 8チャンネルを微調整する

❶ 「個別設定」の画面を出す（ P224の操作❶～❹）

❷

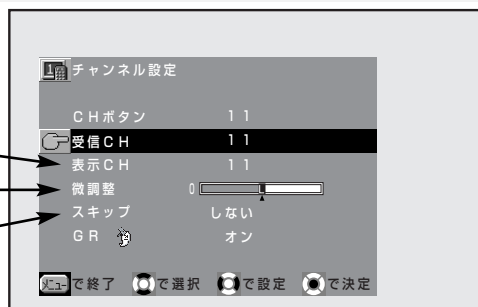
微調整するチャンネルのボタンを押す

❸

押して、「微調整」を選び、

最良の受信状態に微調整する

（微調整終了）
続けて別のチャンネルを微調整するときは、操作❷～❸をくり返します。

お知らせ

こんなときは…
- VHFをUHFに変換して放送している場合、表示を変えて元のVHFチャンネル番号で表示させることができます。

微調整を取り消すときは…
- 微調整の目印を中央(0)に戻します。

スキップ設定で局を飛び越すには

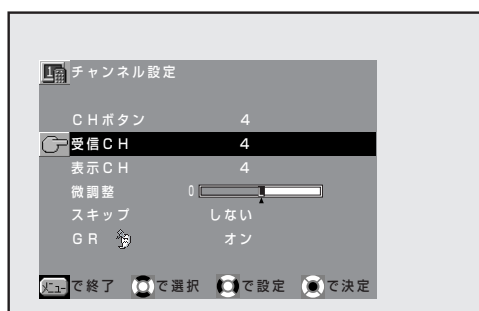
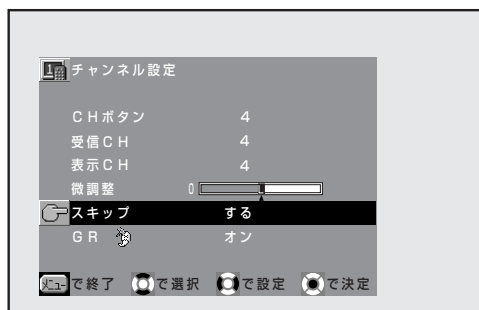
放送局のないチャンネルをスキップ設定しておくと－／＋ボタンで選局するときに飛び越します。

例 4チャンネルを飛び越すには

❶ 「個別設定」の画面を出す
(P224の操作❶～❹)

❷

飛び越すチャンネルのボタンを押す

❸

(設定終了)
続けて別のチャンネルをスキップ設定するときは、操作❷～❸をくり返します。

ケーブルテレビを微調整するには

10キー選局で受信するケーブルテレビの微調整は次の手順で行います。

例 C30チャンネルを微調整する

❶ 微調整するケーブルテレビ局を10キー選局する

❷ 「個別設定」の画面を出す
(P224の操作❷～❹)

❸

(微調整終了)
続けて別のチャンネルを微調整するときは、▲で「受信CH」を選び、◀▶で他のケーブルテレビのチャンネルを受信して、操作❸をくり返します。

転居されたときは…

● 受信チャンネルが異なる地域へ転居されたときは、受信チャンネルといっしょにスキップ設定も設定し直してください。

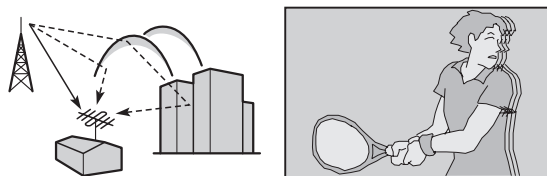
ご注意

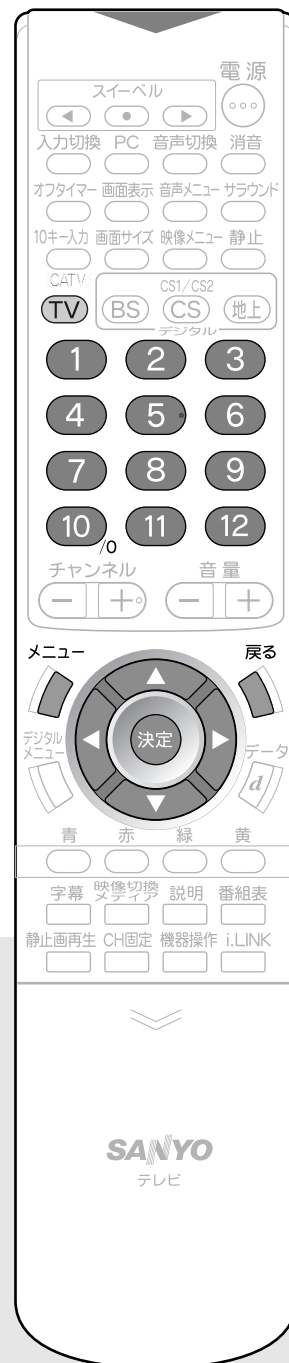
● 個別設定でチャンネルボタンに設定したケーブルテレビの微調整は、P226「チャンネルを微調整するには」の操作で微調整してください。

ゴーストを目立たなくするには

GR（ゴーストリダクション）機能は、地上アナログ放送で映像が二重、三重に映るゴースト障害を目立たなくする機能です。

ゴーストって何？

- 地上アナログ放送のテレビ電波が地形や建物に反射して映像が二重、三重に映ることをゴースト（幽霊）といいます。GR機能は地上アナログ放送のテレビ電波に含まれるゴースト除去基準信号を利用してゴーストをリダクション（減少）させる機能です。
- お買い上げ時はどの地上アナログ放送のチャンネルも「オン（GRが働く）」に設定されており、選局後、2～3秒でゴーストを目立たなくします。必要な場合に「オフ」に設定してご覧ください。

ご注意

- チャンネルを受信してからゴーストを目立たなくするまでは2～3秒かかります。
- GR機能が有効なのは、ゴースト除去基準信号が含まれた放送電波を受信するときです。ビデオの再生映像などゴースト除去基準信号がないときは効果がありません。
- アンテナの設置や調整をするときはオフにしてください。
- ゴーストの出かたはお住いの地域の状況や、受信するチャンネルによって異なります。アンテナの向きを調整することで改善されることもあります。
- GRオンのチャンネルを選局した後で画面がちらつくように見えることがありますが、GR機能の判別回路が働いているためで故障ではありません。
- ゴーストを完全になくすことはできません。次の場合は効果が十分得られないことがありますので、オン／オフどちらかの見やすい方でご覧ください。
  - ・室内アンテナなどで設置や調整が正しくない場合
  - ・ゴーストが本当の像から遠く離れて出る場合
  - ・飛行機など移動するものが原因で出るゴーストの場合
  - ・10以上のたくさんのゴーストが出る場合。

GRオン／オフの切り換えかた

例 8チャンネルのGRを「オフ」にするとき

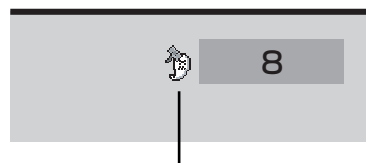
❶ 「個別設定」の画面を出す
(☞P224の操作❶～❹)

(☞P224の操作❶～❹)

❷ GRの設定を変えるチャンネルのボタンを押す

❸ 押して、「GR」を選び、設定を変える

オン	GRが働きます。
オフ	GRが働きません。

- 背景の映像で効果を確認しながら、見やすい方に設定してください。背景は、動きの少ない映像のほうがオン/オフの変化がわかりやすくなります。
- GRが「オン」に設定されたチャンネルを選局したときは、チャンネル番号の左にゴーストリダクション・オンのマーク(ゴースト＝オバケのマーク)が表示されます。

ゴーストリダクション・オンのマーク

(設定終了)
続けて別のチャンネルのGRを変えるときは、操作❷～❸をくり返します。

準備と設定

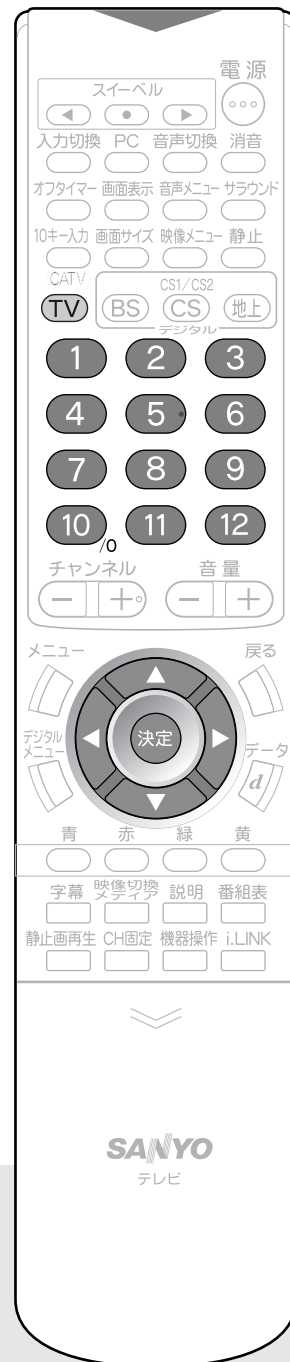
映っていたチャンネルが映らなくなったとき

本機では、地上デジタル放送の開始に先立って地域によって行われることがある「アナログ周波数変更（アナアナ変更）」で受信できなくなったチャンネルを設定し直すため、チャンネルボタンごとに個別設定する方法を用意しています。

アナログ周波数変更とは

2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とした3大広域圏（関東・中京・近畿）の一部で開始され、その後地域を拡大して2006年末までには全国で開始が予定されている地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送ですでに使用しているUHF帯の電波を使って放送されます。非常に過密になっている現在の電波状況の中で地上デジタル放送に必要な電波の帯域を確保するため、地域によっては現在行われている地上アナログ放送のチャンネルを別のチャンネルに変更する「アナログ周波数変更（アナアナ変更）」が行われます。

アナログ周波数変更の対象地域の場合、送信所からのチャンネルが変更されるとご家庭のテレビはそのままでは受信できなくなるため、チャンネル設定の変更や、場合によってはアンテナなど受信設備の交換・調整が必要になる場合があります。これらのアナログ周波数変更対策は、国の方針である地上放送のデジタル化に向けた国の事業として行われることになっています。

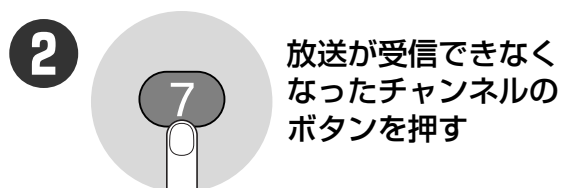
※
アナログ周波数変更の対象地域では、国の指定機関から対策についてお知らせが行われますので、そのお知らせにしたがってください。

ボタンごとに個別設定するやりかた

例 7ボタンに設定していたUHF放送「24」チャンネルが「41」チャンネルに移動した場合の設定

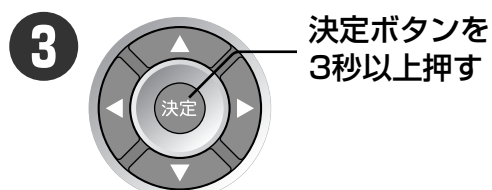
❶

押して、地上アナログ放送の画面に切り換える

以下の設定は地上アナログ放送の画面で行ってください。地上アナログ放送以外の画面では設定できません。

❷

放送が受信できなくなったチャンネルのボタンを押す

赤で表示

❸

決定ボタンを3秒以上押す

- 右のような画面が表示されます。操作❷で押したチャンネルボタン専用の設定画面です。
- 「CHボタン」の項目は赤で表示され、▲▼ボタンで選ぶことはできません。また、チャンネル1〜12ボタンを押しても切り換わりません。

押して、受信できなくなった放送をさがして受信する

- ◀ ▶ボタンを押すと「受信CH」の設定チャンネルが順に選局され、放送があると判定されたチャンネルで自動で止まります。◀ ▶ボタンを繰り返し押して、受信できなくなった放送を探します。
- すでに別のチャンネルボタンに設定されているチャンネルは放送があっても選局が止まらずに通過します。
- 映像や音声が十分に再生されないチャンネルでも、放送があると判定し、選局が止まる場合があります。

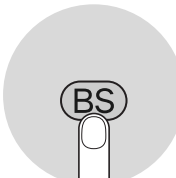
■表示だけを書き換えるときは▲▼で「表示CH」を選択して◀ ▶で書き換えます。(☞226)

■微調整するときは▲▼で「微調整」を選択して◀ ▶で調整します。(☞226)

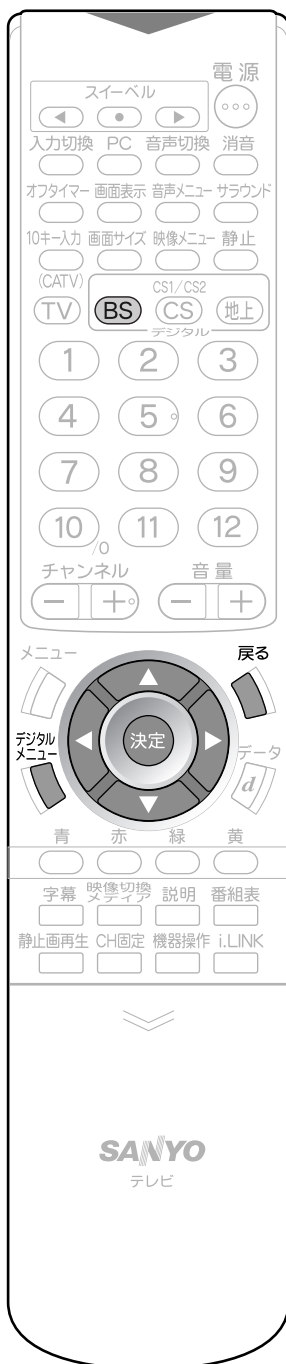
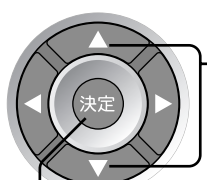
■スキップ設定「する」のときは▲▼で「スキップ」を選択して◀ ▶で「しない」に変えます。(☞227)

❺

押して、表示を消す(設定終了)

- 続けて別のチャンネルを設定するときは操作❷〜❺を繰り返します。

BS・110度CSアンテナの設定

BS・110度CSアンテナへ供給するコンバータ電源は、お買い上げ時「切」に設定されています。BS・110度CSアンテナを設置してご覧になるときは、「入」に設定してください。

※マンションなどでの共同受信で個々の受信機からBS・110度CSアンテナへ電源を供給する必要がない場合は、お買い上げ時の「BS・CS電源　切」のままお使いください。

BS・110度CSアンテナの設定手順

1

押して、BSデジタル放送の画面にする

● デジタル放送以外の画面ではデジタルメニューを表示できません。

2

押す

● デジタルメニューが表示されます。

3

押して、「システム設定」を選び、

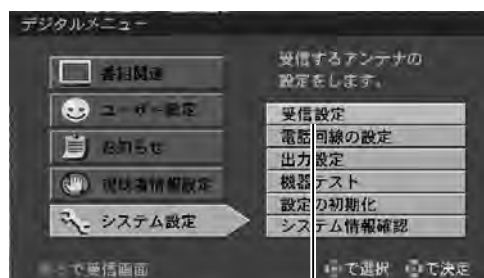
決定を押す

4

押して、「受信設定」を選び、

決定を押す

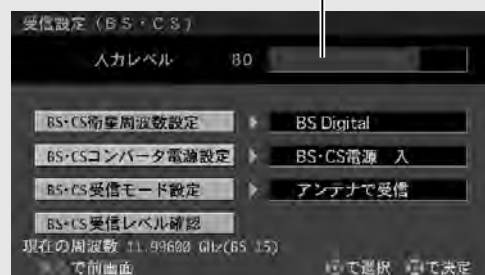
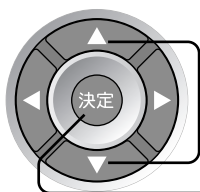
●「受信設定」の画面が表示されます。

デジタルメニュー画面

「受信設定」を選んで決定

入力レベル表示を設置調整に使うとき

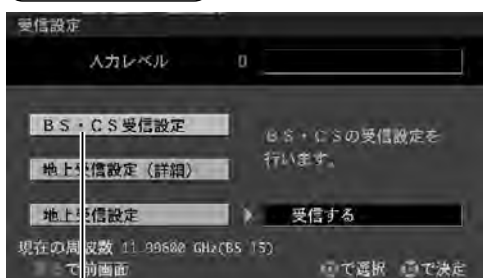
入力レベルがもっとも大きくなる位置にBS・110度CSアンテナの方位と角度を調整して固定します。調整後はBSデジタル放送と110度CSデジタル放送の受信画面それぞれで「BS・CS受信設定」画面を出して十分な入力レベルが得られているか確認してください。

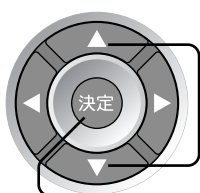
入力レベル表示

● 入力レベルの目安：晴天時で60以上
● 調整の方法についてはBS・110度アンテナの取扱説明書もよくお読みください。
● 中継器ごとの受信レベルも確認できます。（☞235ページ）

5

押して、「BS・CS受信設定」を選び、

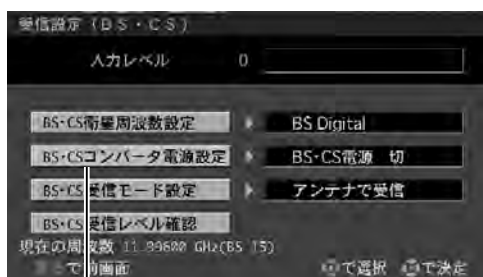
決定を押す

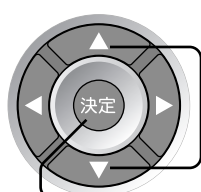
- 「受信設定（BS・CS）」の画面が表示されます。

受信設定画面

「BS・CS受信設定」を選んで決定

6

押して、「BS・CSコンバータ電源設定」を選び、

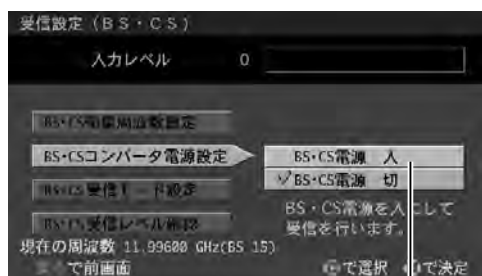
決定を押す

受信設定（BS・CS）画面

「BS・CSコンバータ電源設定」を選んで決定

7

押して、「BS・CS電源入」を選び、

決定を押す

- 本機のデジタル受信部に電源が入っているときに、BS・110度CSアンテナへ電源（DC15V）を供給するようになります。

受信設定（BS・CS）画面

「BS・CS電源　入」を選んで決定

8

設定を終えるときは押す

- デジタルメニューが消えます。

設定終わり

設定がうまくできないとき

設定がうまくいかないときは、「アンテナ接続が異常のためコンバータ電源を切にしました。接続をもう一度確認してください。」というメッセージが表示されます。アンテナ線の接続や設定内容を確認してやり直してください。

ご注意

- BS・CSコンバータ電源設定を「BS・CS電源　入」に設定した場合、本機のデジタル受信部に電源が入っているときのみ、BS・110度CSアンテナへ電源（DC15V）を供給します。
- 本機のBS・110度CSデジタルアンテナ入力端子からBS・110度CSアンテナへ供給されるDC15Vがショートしますと、回路保護のためBS・CSコンバータ電源が自動的に「BS・CS電源　切」になります。ショートの原因を解決したあと、電源プラグをコンセントから抜き、再び差し込んでから、「BS・CS電源　入」に再設定してください。誤ってVHF／UHF用のアンテナプラグを差し込むとショートする場合がありますのでご注意ください。

BS・110度CSアンテナの設定（つづき）

放送を受信できないとき

入力レベルが表示され、電波は受信されているのに、放送が受信できないときは、衛星周波数設定を設定し直し、データを取得すると改善されることがあります。

データ取得のしかた

① 「受信設定（BS・CS)」画面で、▲▼ ボタンで「BS・CS衛星周波数設定」を選びます。

② 決定ボタンを押します。サブメニューが表示されます。現在設定されているデジタル放送が黄色で表示されます。

③ そのまま決定ボタンを押します。（現在設定されているデジタル放送は変えないでください。）画面右上に「データを取得しています。」と表示され、データの取得が始まります。データの取得には数秒〜数十秒かかります。

データ取得がうまくいった場合は、画面右上に「正常に受信できます。」と表示され、放送が受信できるようになります。

受信設定（BS・CS）画面

＊

そのままの衛星周波数で決定を押す

お知らせ

- 「受信できません。」と表示されたときは、別に原因があります。お買い上げ販売店にご相談ください。
- 数十秒経過しても「データを取得しています。」と表示されたままのときは、「戻る」ボタンを押すとデータ取得を中断します。別に原因があります。お買い上げ販売店にご相談ください。
- 「BS・CS衛星周波数設定」は、普段設定する必要はありません。

周波数マニュアル入力

衛星周波数をマニュアル入力して受信する放送もあります。

ご注意

- 通常は設定を変えないでください。

周波数マニュアル入力のしかた

① ▲▼ ボタンで「周波数マニュアル入力」を選び、決定を押すと衛星周波数をマニュアル入力する画面が出ます。

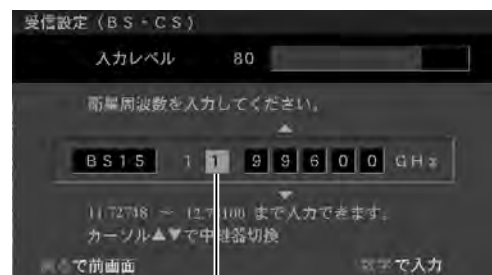
② ▲▼ ボタンで中継機を切り換えることができます。

③ チャンネル１〜10ボタンで周波数を入力して、決定ボタンを押します。

受信設定（BS・CS）画面

＊

「周波数マニュアル入力」を選んで決定

衛星周波数マニュアル入力画面

1〜10ボタンで周波数を入力して決定

＊110度CSデジタル放送の表示は変更になる場合があります。

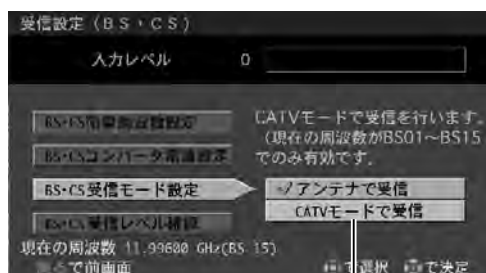
ケーブルテレビで受信するとき

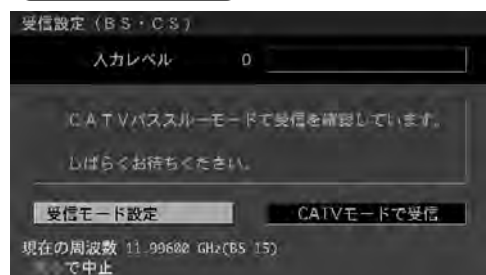
BSデジタル放送をケーブルテレビ（CATV）で受信するとき、次のように「受信モード設定」を「CATVモードで受信」に設定する必要がある場合があります。（ケーブルテレビの方式によって異なります。この設定はBSデジタル放送でのみ有効です。）

受信モード設定のしかた

① ▲▼ ボタンを押し「BS・CS受信モード設定」を選び、決定ボタンを押します。

② ▲▼ ボタンで「CATVモードで受信」を選び、決定ボタンを押します。設定完了まで画面に「CATVパススルーモードで受信を確認しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。受信確認には多少の時間がかかります。

受信設定（BS・CS）画面

「CATVモードで受信」を選んで決定

受信確認画面

お知らせ

- CATVモードで受信できるときは、「正常に受信できます。」と表示されます。受信できないときは、「受信できませんでした。」と表示されます。
- ケーブルテレビによるＢＳデジタル放送の受信方法についてはご加入のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

受信レベルを確認するとき

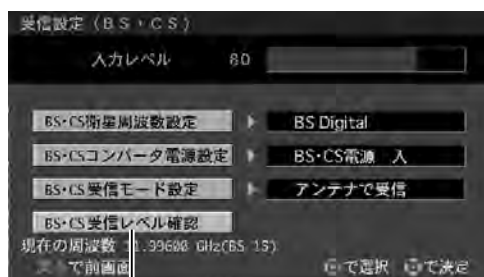
BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の、各中継機ごとの受信レベルを確認することができます。

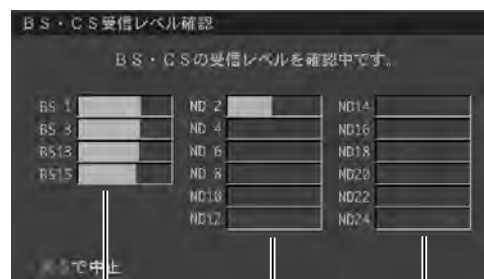
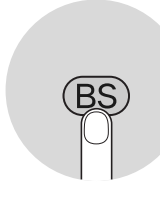
受信レベル確認のしかた

▲▼ ボタンを押し「BS・CS受信レベル確認」を選び、決定ボタンを押すと受信レベルの確認画面に切り換わり、確認できた中継機から受信レベルが表示されます。確認を中止するときは戻るボタンを押します。

ご注意

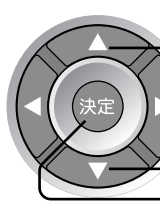
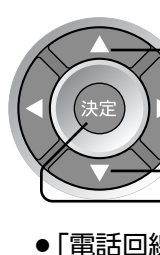
- 受信レベル確認画面を出している間は、巡回して受信レベルを確認し続けます。確認が済みましたら戻るボタンを押して確認を中止してください。

受信設定（BS・CS）画面

「BS・CS受信レベル確認」を選んで決定

受信レベル確認画面

BSデジタル放送　110度CSデジタル放送

お知らせ

- BSデジタル放送の受信レベルは十分なのに、110度CSデジタル放送のレベルが低いときは、アンテナから本機までの伝送路に問題があることが考えられます。ケーブル、ブースター、分配器などは、110度CSデジタル放送の広帯域に対応したものをお使いください。

電話回線の設定

デジタル放送では電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への接続が行われるため、電話回線の接続（☞206ページ）をしたうえ、電話回線の設定を行ってください。

電話回線の設定画面を出す/操作のしかた

1

押して、BSデジタル放送の画面にする

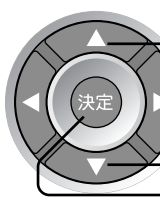
- デジタル放送以外の画面ではデジタルメニューを表示できません。

2

押す

- デジタルメニューが表示されます。

3

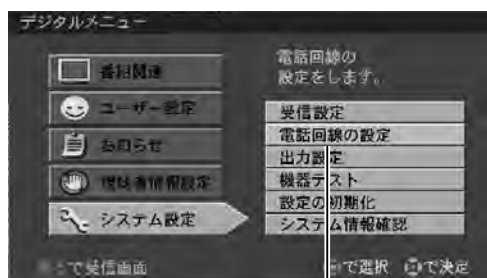
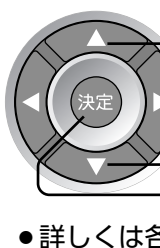
押して、「システム設定」を選び、

決定を押す

4

押して、「電話回線の設定」を選び、

決定を押す

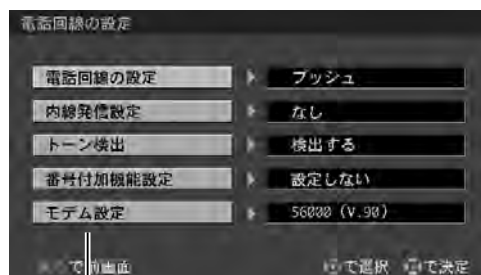
- 「電話回線の設定」の画面が表示されます。

デジタルメニュー画面

「電話回線の設定」を選んで決定

5

押して、設定する項目を選び、

決定を押す

電話回線の設定画面

設定する項目を選んで決定

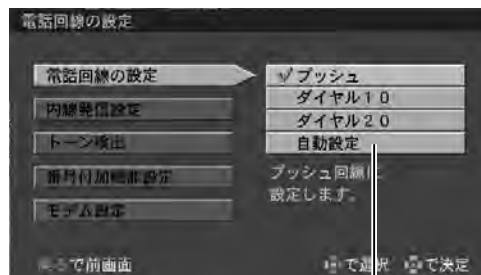
6

押して、項目を設定し、

決定を押す

- 詳しくは各項目の説明をご覧ください。

項目を設定して決定

7

設定を終えるときは押す（操作終了）

- デジタルメニューが消えます。

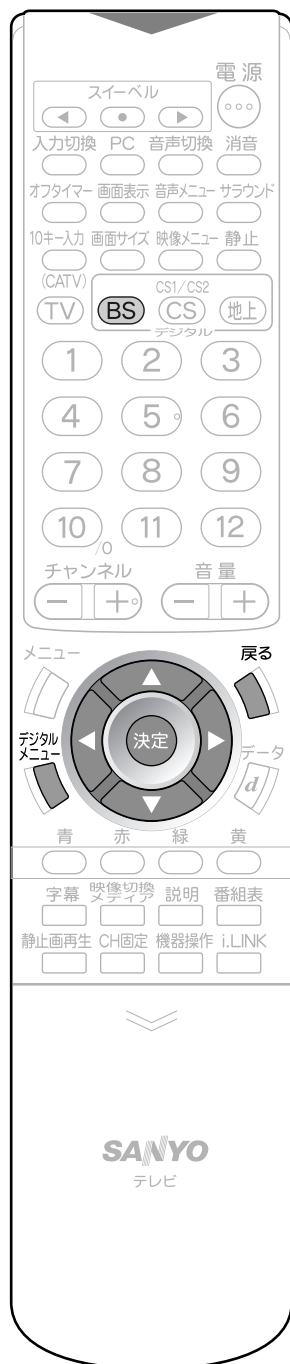
お知らせ

- 1つの電話番号の回線に電話線分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。

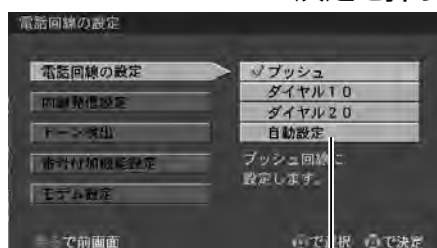
次のような症状が出るときは…

電話回線へ本機に付属の電話線分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状が出ることがあります。

- **本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る**
  この症状が出るときは、付属の電話線分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。
- **電話機にノイズ（雑音）が入る**
  この症状が出るときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。

詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

電話回線の設定

ご家庭の電話回線に合わせて設定を変えてください。

❶ 押して、「電話回線の設定」を選び、決定を押す

❷ 押して、設定項目を選び、決定を押す

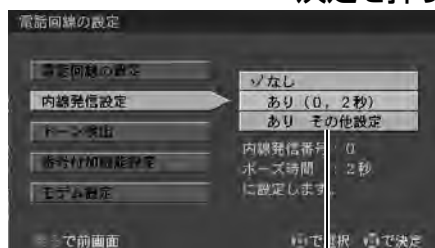
項目を設定して決定

プッシュ	…プッシュ回線を使用している場合に設定してください。
ダイヤル10	…10PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。
ダイヤル20	…20PPSのダイヤル回線を使用している場合に設定してください。
自動設定	…電話回線と内線発信が自動で設定されます。

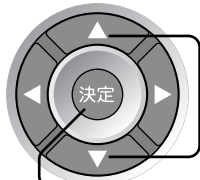
内線発信設定

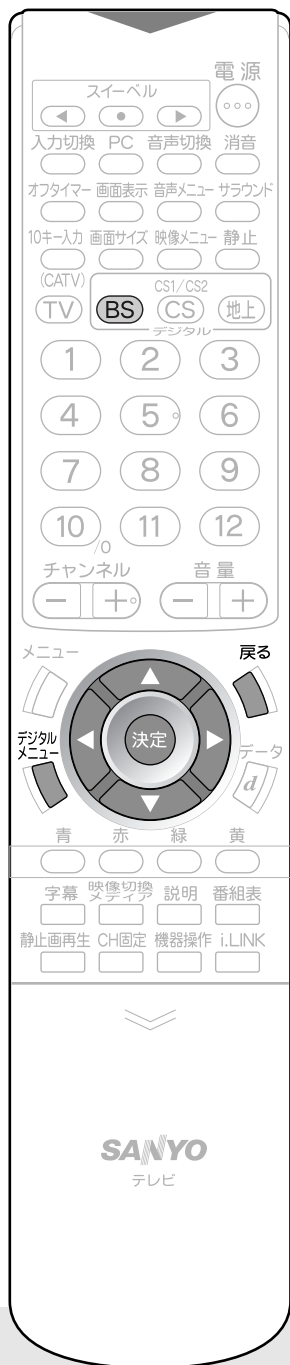
内線発信が必要な電話回線のときに設定してください。

❶ 押して、「内線発信設定」を選び、決定を押す

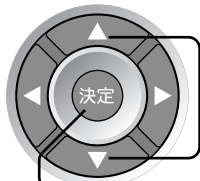
❷ 押して、設定項目を選び、決定を押す

項目を設定して決定

な し	…内線発信する必要がないときに設定します。
あり（0、2秒）	…外線通話をするとき、番号の前に「0」をつける必要がある電話のときに設定します。
あり その他設定	…外線通話をするとき、番号の前に「0」以外の番号をつける必要がある電話のときに設定します。（☞次ページ参照）

お知らせ

- 「電話回線の設定」で「自動設定」を行ったときは、「電話回線を自動設定中です。しばらくお待ちください。」と表示が出て確認が行われ、設定できたときは「電話回線を自動設定しました。」と表示されます。設定できなかったときは「電話回線を自動設定できません。」と表示されますので、手動で設定を行ってください。
- 電話回線の種別がわからないときはご使用の電話機の設定をご確認のうえ、設定してください。また、電話機の設定を見てもわからないときはご加入のNTT営業所にお問い合わせください。
- 押しボタン式の電話機が接続されていてもプッシュ回線ではない場合があります。相手先の電話番号を発信したときに「ピッポッパッポ」と受話器から音が出る場合はプッシュ回線です。
- ターミナルアダプターのアナログポートに接続するときは、回線設定は「プッシュ」にしてください。
- 接続する回線によっては、回線設定「自動」ではうまく働かない場合があります。そのような場合には、接続する電話回線に合わせて設定してください。

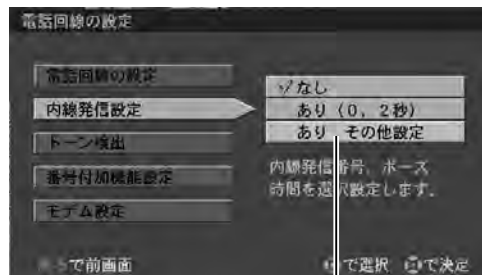
電話回線の設定（つづき）

内線発信設定「あり　その他設定」のとき

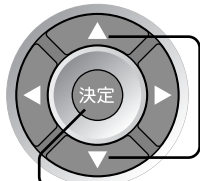
内線発信設定が必要で、内線発信番号が「０」以外の回線をお使いの場合は、内線発信設定の「あり　その他の設定」で設定してください。

1

押して、
「あり　その他設定」を選び、

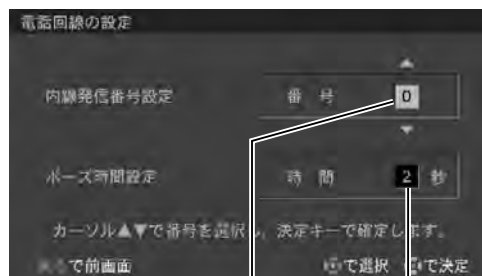
決定を押す

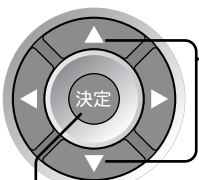
- 「内線発信設定」画面での操作については☞前ページをご覧ください。
- 内線発信番号とポーズ時間を設定する画面に変わります。

電話回線の設定画面

「あり　その他設定」を選んで決定

2

押して、
内線発信番号を設定し、

決定を押す

- 1～9、0と＊、＃が設定できます。

内線発信番号を設定して決定

ポーズ時間を設定して決定

3

押して、
ポーズ時間を設定し、

決定を押す

- 0、2、4、6、8秒が設定できます。

トーン検出

トーン検出は、本機が電話回線につながっているかを検出する機能です。お買い上げ時は「検出する」に設定されています。通常、設定を変える必要はありません。電話回線設定、内線発信設定を正しく設定したのに正常に動作しないなどの場合に「検出しない」に設定します。

❶

押して、「トーン検出」を選び、

決定を押す

❷

押して、設定項目を選び、

決定を押す

電話回線の設定画面

項目を設定して決定

検出する	…通常はこの設定でご使用ください。
検出しない	…受話器を上げても無音で、「ツー」音などが聞こえない内線電話の場合に設定してください。

モデム設定

モデムの伝送速度を切り換えることができます。お買い上げ時は「56000（V.90）」に設定されています。通常はこのままお使いください。
「33600（V.34）」でないと受け付けられない放送局の場合などに切り換えます。

❶

押して、「モデム設定」を選び、

決定を押す

❷

押して、設定項目を選び、

決定を押す

電話回線の設定画面

項目を設定して決定

56000（V.90）	…伝送速度　56Kbps
33600（V.34）	…伝送速度　33.6Kbps

bps：1秒間に送ることができるビット数を表す単位です。

お知らせ

- 「トーン検出」を「しない」に設定していると、同じ回線に接続の電話機などを使用中に本機で送信操作をすると、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し通信障害になります。

電話回線の設定（つづき）

番号付加機能設定をするとき

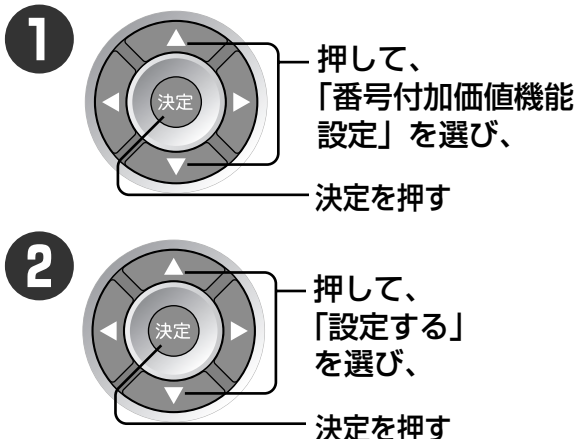
電話回線設定画面の「番号付加機能設定」では、次の設定ができます。
必要な場合は設定してください。

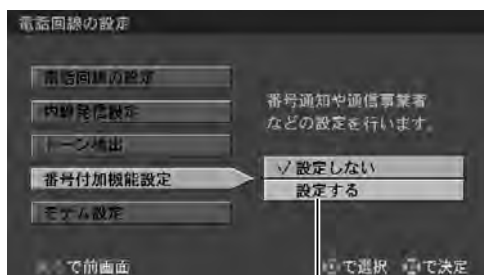
- 発信番号通知設定
- 優先接続解除設定
- 通信事業者設定

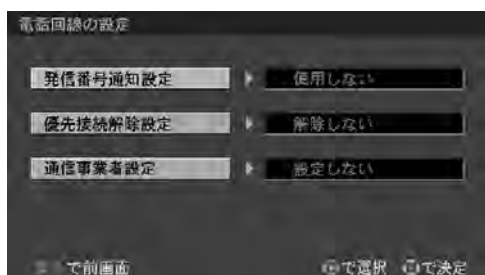
1

押して、「番号付加価値機能設定」を選び、
決定を押す

2

押して、「設定する」を選び、
決定を押す

- 3種類の設定ができる画面に変わります。

電話回線の設定画面

「設定する」を選んで決定

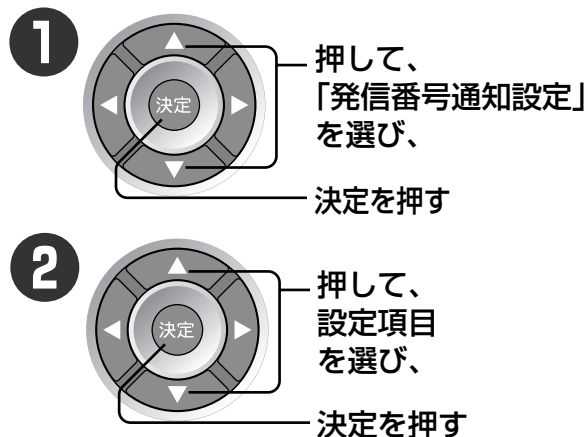
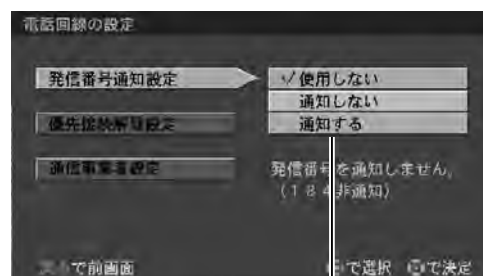
番号付加機能設定の画面

発信番号通知設定

本機から発信する際に、電話番号を着信者（放送局側）に通知するかどうかを設定します。お買い上げ時は「使用しない」に設定しています。

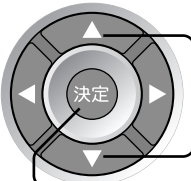
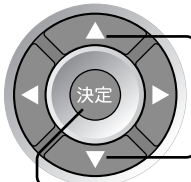
1

押して、「発信番号通知設定」を選び、
決定を押す

2

押して、設定項目を選び、
決定を押す

番号付加機能設定の画面

項目を設定して決定

使用しない …登録している電話番号をそのままダイヤルします。番号通知を通知するか否かは、お客様が通信事業者と契約されている内容に従います。

通知しない …登録している電話番号の頭に「184」を付けてダイヤルします。

通知する …登録している電話番号の頭に「186」を付けてダイヤルします。

お知らせ

- 設定が「使用しない」の場合は、お客さまとＮＴＴとの間の「ナンバーディスプレイ契約」に従った動作となります。

優先接続解除設定

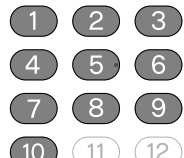
お買い上げ時は「解除しない」に設定されています。電話会社の優先接続サービス（マイラインプラス）に加入している場合は「解除する」に設定を変えてご使用ください。

❶
押して、「優先接続解除設定」を選び、
決定を押す

❷
押して、設定項目を選び、
決定を押す

番号付加機能設定の画面

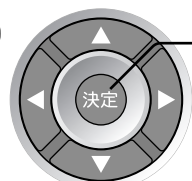
項目を設定して決定

お知らせ

● 優先接続サービス（マイラインプラス）に加入していない場合は、お買い上げ時の「解除しない」のままご使用ください。

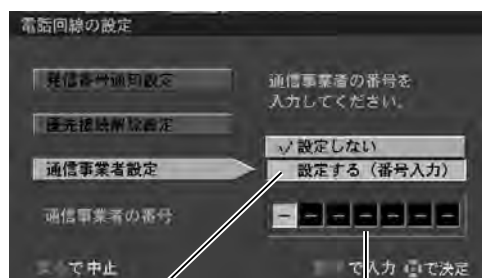
通信事業者設定

電話の発信をする際に、使用する電話会社を設定できます。設定するときは、発信するときに電話番号の前につける数字を入力します。

❶
押して、「通信事業者設定」を選び、
決定を押す

❷
押して、「設定する（番号入力）」を選び、
決定を押す

● 通信事業者の番号を入力する画面に変わります。

❸
押して、通信事業者（電話会社）の番号を入力する

番号付加機能設定の画面

「設定する（番号入力）」を選んで決定
数字を入力して決定

❹
決定を押す（設定終わり）

お知らせ

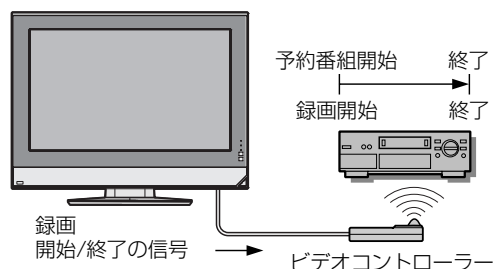
● 通信事業者の設定を行った場合でも、データ放送のサービスなどによっては適用されない場合があります。

ビデオコントローラーの設定

付属のビデオコントローラーは、本機で「録画予約」または「視聴＋録画」予約したデジタル放送番組の開始と終了に合わせて、ビデオ機器の電源入／切と録画開始／停止の信号をビデオ機器に対して発信し、自動的に番組を録画する装置です。接続後はお手持ちのビデオ機器のメーカーを設定してご使用ください。

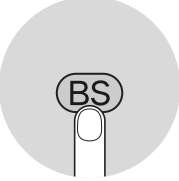
ビデオコントローラーのしくみと接続VTR設定

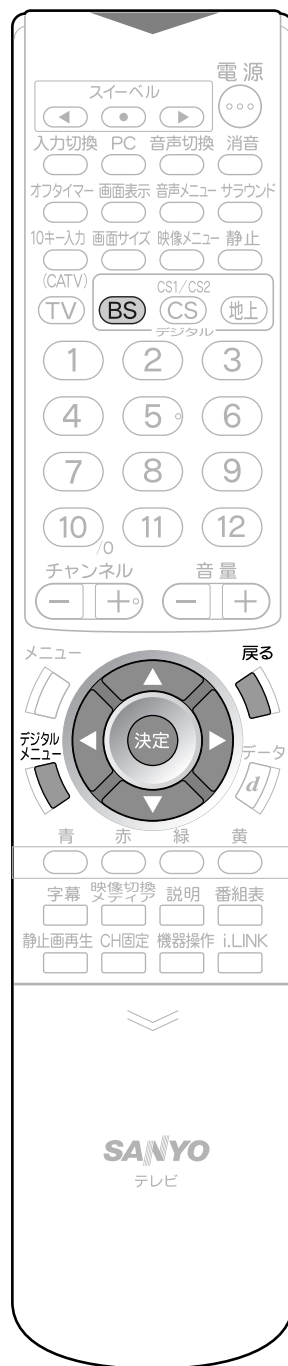
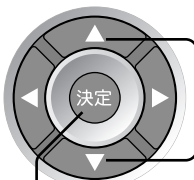
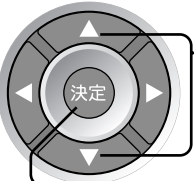
ビデオコントローラーは、ビデオ機器に付属しているリモコンと同じ種類の信号を発信して、ビデオ機器の操作を行う装置（送信機）です。

- 番組表からの予約またはプログラム予約で「録画予約」または「視聴＋録画」予約したデジタル放送の番組録画に働きます。
- 本機には、当社を含む15社のビデオテープレコーダーと7社（三洋、松下、ソニー、ビクター、パイオニア、東芝、シャープ）のDVDレコーダーの信号が前もって設定されています。機器の信号は、同じメーカーであっても新旧の製品などで異なる場合がありますので、各社数種類の信号が設定されています。（下の表参照）お手持ちのビデオ機器が動作する信号を選んで設定してからお使いください。（☞243ページ～。お買い上げ時は「三洋」の「VTR1」が設定されています。）設定しないと他メーカー製または異なったリモコンコードのビデオ機器のときにビデオコントローラーが働きません。
- 「録画予約」または「視聴＋録画」予約した番組の開始時刻になると、ビデオ機器の電源を入れる信号と録画をスタートさせる信号が発信され、ビデオ機器で録画が始まります。（ご注意．ビデオ機器は入力切換を「外部入力」に切り換え、リモコンで電源を切っておいてください。電源切の状態でないと録画が実行されません。）
- 番組の終了時刻になると、録画を停止する信号とビデオ機器の電源を切る信号が発信され、録画が止まります。
- 下の表にあるメーカー製の機器でも、製品によってはビデオコントローラーで録画ができないものがあります。

予約については☞92ページ、予約録画については、☞152ページをご覧ください。

設定されているビデオメーカーとリモコンコード数

（　）内はDVDレコーダーのリモコンコード数です。

メーカー名	コード数
＊三洋	6（4）
日立	2
＊ソニー	3（3）
三菱	3
＊ビクター	6（4）
＊パイオニア	1（6）
アイワ	6
シントム	1

メーカー名	コード数
＊東芝	2（3）
NEC	4
＊松下	5（3）
＊シャープ	2（2）
富士通ゼネラル	1
フィリップス	1
フナイ	1

ご注意

- 「接続VTR設定」画面に表示されるメーカーの機器でも、製品によってはビデオコントローラーで動作しないものがあります。

接続VTR設定のしかた

押して、BSデジタル放送の画面にする

- デジタル放送以外の画面ではデジタルメニューを表示できません。

押す

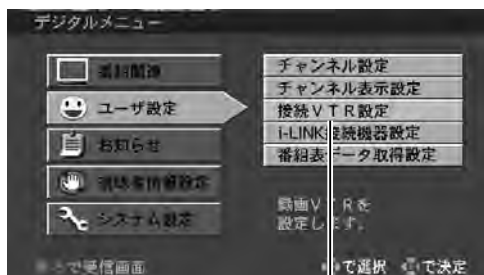
押して、「ユーザー設定」を選び、

決定を押す

押して、「接続VTR設定」を選び、

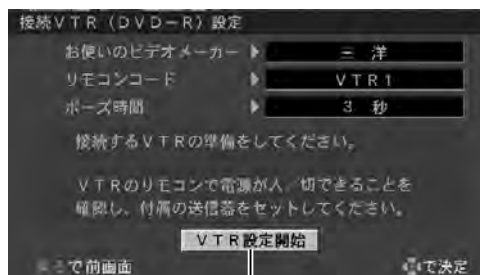
決定を押す

- 「接続VTR設定」の画面が表示されます。
- そのときの設定状況が表示されます。
- 「VTR設定開始」が黄色になっています。

デジタルメニュー画面

「接続VTR設定」を選んで決定

押す

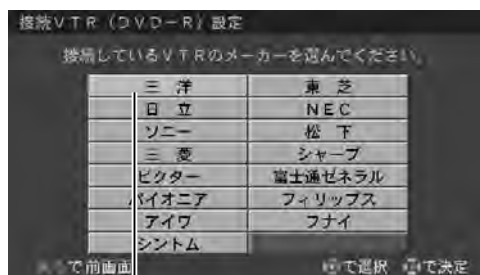
- ビデオ機器のメーカーを選ぶ画面に変わります。

接続VTR設定の画面

決定を押す

機器のメーカーを設定する

押して、お手持ちのビデオ機器のメーカーを選び、

決定を押す

三洋	東芝
日立	NEC
ソニー	松下
三菱	シャープ
ビクター	富士通ゼネラル
パイオニア	フィリップス
アイワ	フナイ
シントム	

ビデオ機器のメーカーを選んで決定

- リモコンコードを選ぶ画面に変わります。
- 同じメーカーでも、ビデオ機器によってリモコンコード（信号の種類）が異なることがあります。テスト機能でビデオコントローラーから信号を出してみて、お手持ちのビデオ機器が動作する信号を登録します。

次ページへ続く

ビデオコントローラーの設定（つづき）

リモコンコードをテストする

準　　備

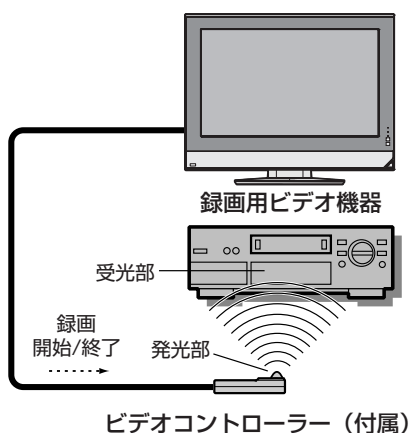
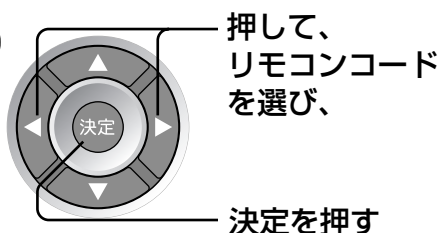
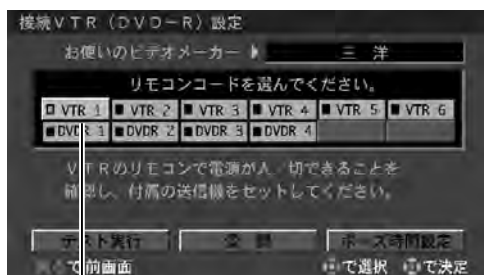
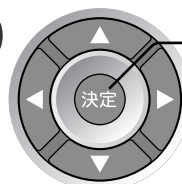
本機に接続したビデオコントローラーの発光部を、ビデオ機器のリモコン受光部の真正面に置きます。必要に応じてテープなどで仮固定します。

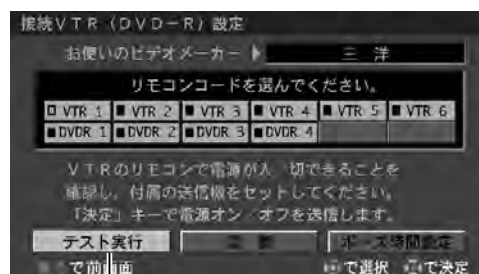
- 接続方法は☞212ページをご覧ください。
- ビデオ機器のリモコン受光部位置は、機器の取扱説明書で確認してください。

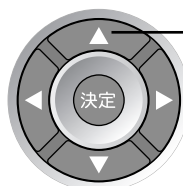
ビデオコントローラー（付属）

テストを実行する

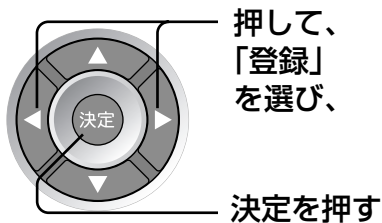
押して、
リモコンコード
を選び、

決定を押す

- 「テスト実行」が黄色になり、選んだリモコンコードのテストが実行できるようになります。

リモコンコードを選んで決定

8 押して、
ビデオ機器の電源を
入／切できるかテスト
する

- 押すごとに、ビデオ機器の電源を入／切する信号がビデオコントローラーから発信されます。
- 信号を受けて、お手持ちのビデオ機器の電源が入／切するか確認します。

決定ボタンを押すごとにビデオ機器の電源を入れる信号、切れる信号が、交互にビデオコントローラーから出力されます

電源が入／切できなかったとき

押す

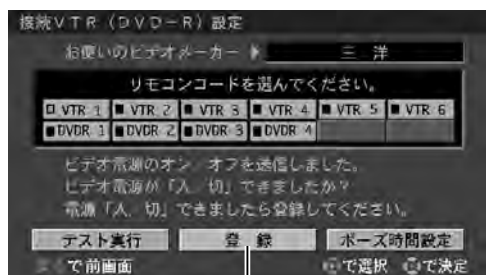
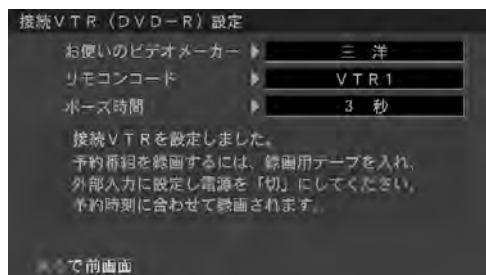
- リモコンコードの「VTR1」が黄色になります。
- ◀ ▶ボタンで別のリモコンコードを選び、決定ボタンを押して、再びテストを実行します。
- 次々にリモコンコードを変えてテストし、ビデオ機器の電源を入／切できるリモコンコードを見つけます。

電源が入／切できたとき

押して、
「登録」
を選び、

決定を押す

- 「ポーズ時間設定」が必要な場合は登録する前に設定します。☞右記
- 選んだリモコンコードが登録され、「接続VTRを設定しました」と表示されます。（設定終わり）

ご注意

「テスト実行」を行わないと「登録」は選べません。

ビデオ機器の電源入/切ができたら、「登録」を選んで決定

お知らせ

- リモコンの決定ボタンでうまくテストできないときは、テレビ本体の決定ボタン（右側面、放送/入力切換ボタンと兼用）を押してテストしてください。

ご注意

- 「接続VTR設定」画面に表示されるメーカーの機器でも、製品によってはビデオコントローラーで動作しないものがあります。

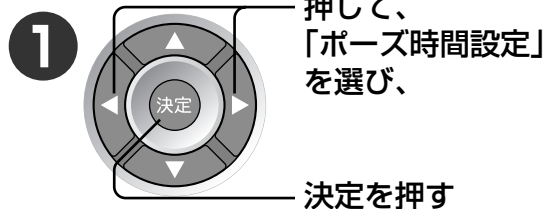
ポーズ時間設定

ビデオ機器によっては、電源が入ってから実際に録画を始めるまで数秒かかるものがあります。「ポーズ時間設定」では、番組開始90秒前以後に予約した場合の機器の電源オン～録画開始までの間隔（ポーズ時間）を設定することができます。

詳しくは☞246ページをご覧ください。「ポーズ時間設定」は番組開始90秒前以後に予約した場合にのみ有効な設定です。

設定のしかた

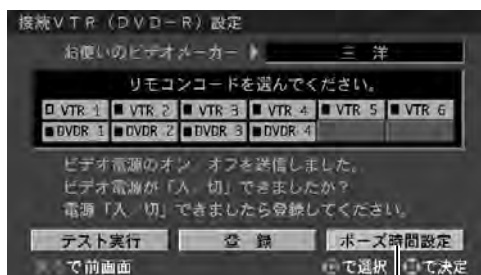
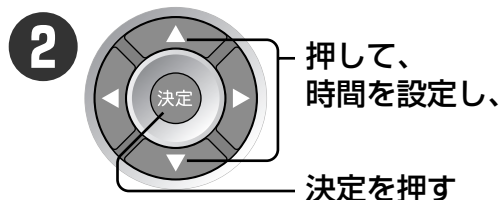
ポーズ時間はテスト実行のあと、「登録」を行う前に設定します。

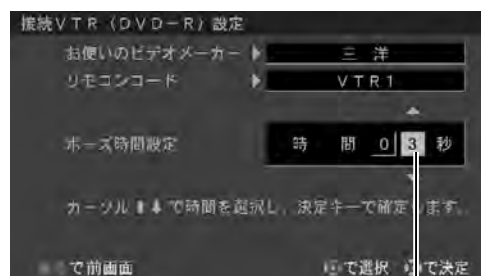
1

押して、
「ポーズ時間設定」
を選び、

決定を押す

- ポーズ時間を決定する画面に変わります。

「ポーズ時間設定」を選び決定

2

押して、
時間を設定し、

決定を押す

時間を設定して決定

準備と設定

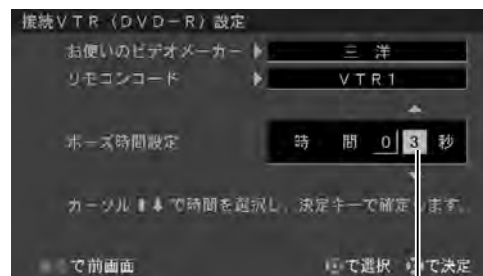
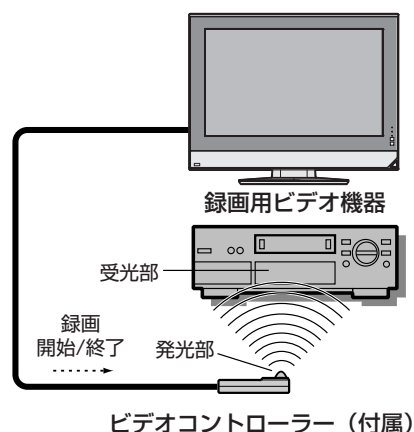
ビデオコントローラーの設定（つづき）

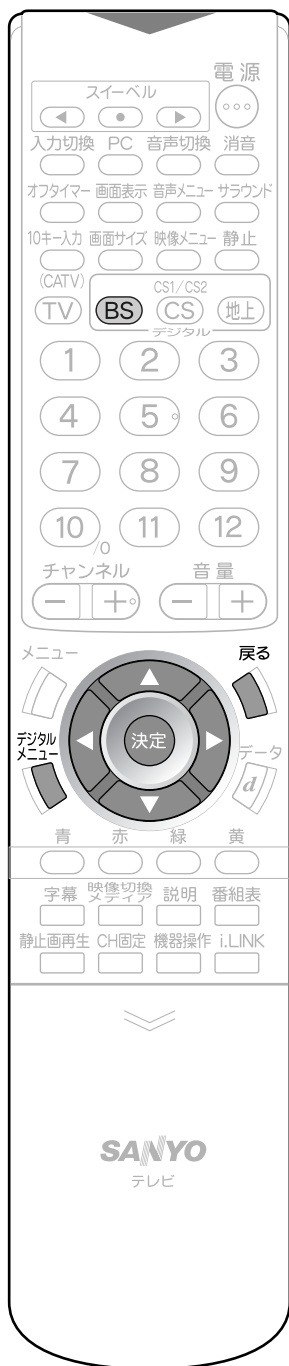
「ポーズ時間設定」について

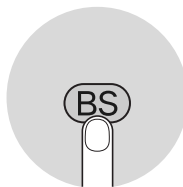
ビデオコントローラーの設定（接続VTR設定）の「ポーズ時間設定」の動作については、下記の説明もお読みください。

ビデオ機器によっては、電源が入ってから実際に録画を始めるまで数秒かかるものがあり、本機のビデオコントローラーから出力される信号の、電源オン～録画開始までの間隔が短いと機器によってはうまく録画されない場合があります。「ポーズ時間設定」では、番組の開始直前に予約した場合の機器の電源オン～録画開始までの間隔（ポーズ時間）を設定することができます。

- 通常（番組開始の90秒以前に予約した場合）は、番組開始90秒前に機器の電源を入れる信号を出し、番組開始2秒前に録画を開始する信号を出します。（この場合、「ポーズ時間設定」は録画に関係しません）
- 番組開始90秒前以後に予約した場合は、予約直後に機器の電源を入れる信号を出し、「ポーズ時間」の経過後に録画開始の信号を出します。

※ポーズ時間が経過した時点で番組開始までに2秒以上ある場合はすぐに録画を行わず、番組開始の2秒前に録画を開始する信号を出します。
※ポーズ時間を長く設定した場合は、番組開始前に予約した場合でも録画開始が番組開始後になる場合があります。
※ポーズ時間の設定範囲と初期状態は「VTR」と「DVDR」で異なります。
※電源オン～録画開始までに要する時間は、機器によって異なります。

居住地域の設定

お客さまの地域に関する緊急警報放送やデータ放送、地上デジタル放送の受信に必要ですので、郵便番号と居住地域を設定してください。

「居住地域設定」画面を出す

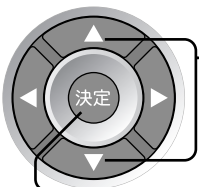
1

押して、BSデジタル放送の画面に切り換える

- デジタル放送以外の画面ではデジタルメニューを表示できません。

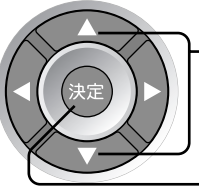
2

押す

- デジタルメニューが表示されます。

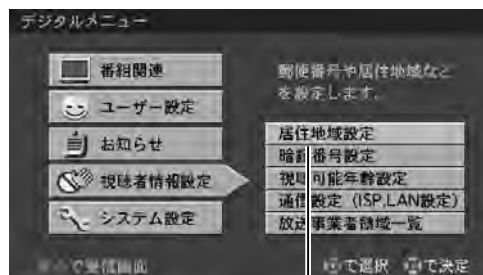
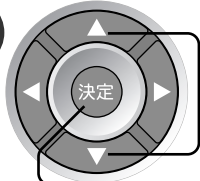
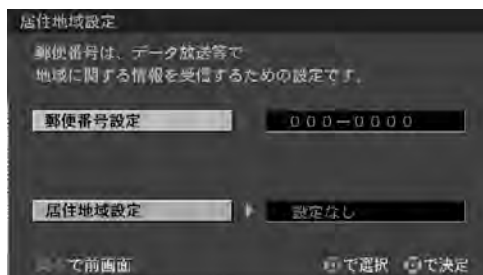
3

押して、「視聴者情報設定」を選び、

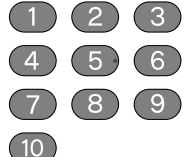
決定を押す

4

押して、「居住地域設定」を選び、

決定を押す

- 「居住地域設定」の画面に変わります。

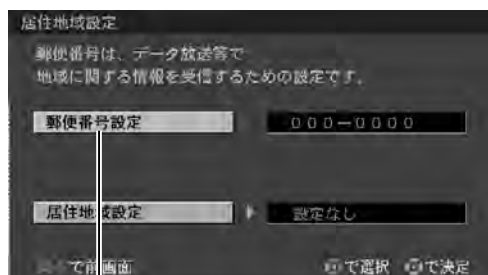
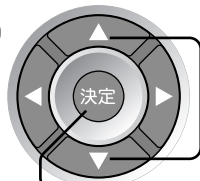
デジタルメニュー画面

「居住地域設定」を選んで決定

居住地域設定の画面

お知らせ

- 郵便番号による設定は、データ放送などで地域に関する情報を受信するために必要です。
- 居住地域の設定は、緊急放送や、地上デジタル放送のチャンネル設定のために必要です。

郵便番号設定

5

押して、「郵便番号設定」を選び、

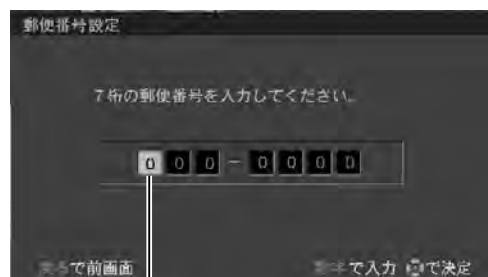
決定を押す

●「郵便番号設定」の画面に変わります。

「郵便番号設定」を選んで決定

6

1～10ボタンを押して、お住まいの地域の郵便番号を入力する

7

決定を押す

●郵便番号が設定され、居住地域設定の画面に戻ります。

1～10ボタンで郵便番号を入力して決定

居住地域設定

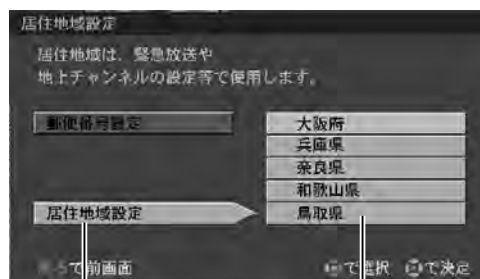
8

押して、「居住地域設定」を選び、

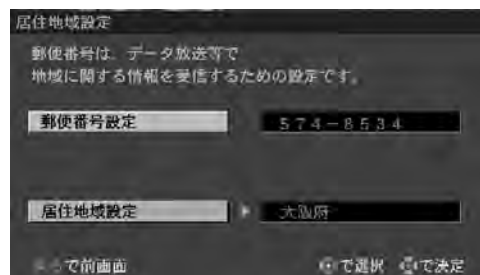
決定を押す

9 押して、お住まいの地域を選び、

決定を押す

●お住まいの居住地域が設定されます。（居住地域設定終わり）

▲▼ボタンで「居住地域設定」を選んで決定

▲▼ボタンでお住まいの地域を選んで決定

10

設定を終えるときは押す

●デジタルメニューが消えます。

設定終わり

引っ越したときは

●引っ越したときは、引っ越した先の郵便番号、居住地域を設定し直してください。前の設定内容のままですと、デジタル放送が正しく受信できなくなります。

●地上デジタル放送は地域によって受信できるチャンネルが異なりますので、引っ越した先の郵便番号、居住地域を設定し直した後、地上デジタル放送のチャンネル設定をやり直してください。（☞250ページ）

地上デジタル放送のチャンネル設定

地上デジタル放送では、地域によって割り当てられるチャンネルが異なるため、お買い上げ時はチャンネルが設定されていません。初めて地上デジタル放送をご覧になるときは、手順にしたがってチャンネルを設定してください。

ご注意

地上デジタル放送は、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の3大広域圏の一部で2003年12月から、その他の地域は2006年末までに放送が開始される予定です。チャンネルを設定する前に、お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているかお確かめください。地上デジタル放送の電波が受信できない状態ではチャンネル設定できません。

まず「居住地域設定」を正しく設定する

- 地上デジタル放送では地域ごとに受信するチャンネルと、そのチャンネルをリモコンのどのボタンに割り当てるかが決められています。地上デジタル放送のチャンネル設定をする前に、まず「居住地域設定」が必要です。
- 「居住地域設定」が正しく設定されていないとチャンネル設定ができなかったり、チャンネルが適切なボタンに設定されなかったりします。
- 「居住地域設定」が設定されていない場合は、（☞248ページ）にしたがって正しく設定してください。

居住地域設定の画面

1～12ボタンへの割り当てについて

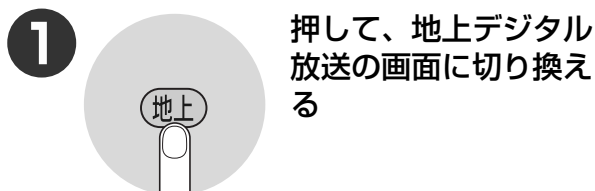
- 地上デジタル放送のチャンネルは、初期スキャンの結果、地上デジタル放送のルールに基づいた順番でチャンネル1～12ボタンに割り当てられます。
- どのボタンにどのチャンネルが割り当てられたかは、デジタルメニューの「チャンネル設定」で確認や変更ができます。（☞260ページ）

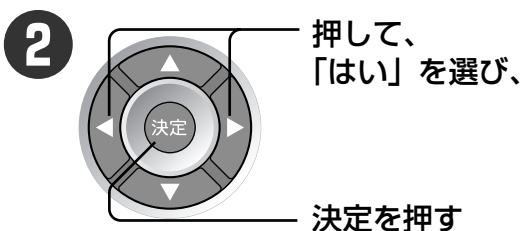
チャンネル確認の画面

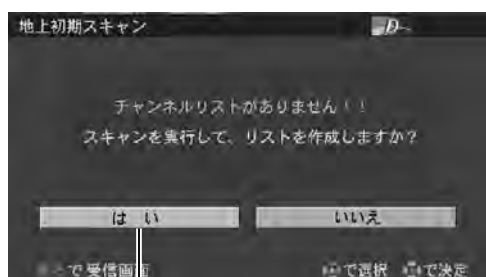
白で表示されるチャンネル　：開局済み
水色で表示されるチャンネル：未開局

地上デジタル放送の画面からチャンネル設定するとき

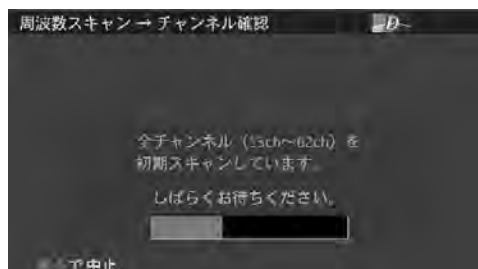
前もって「居住地域設定」を正しく設定しておいてください。(☞248ページ)

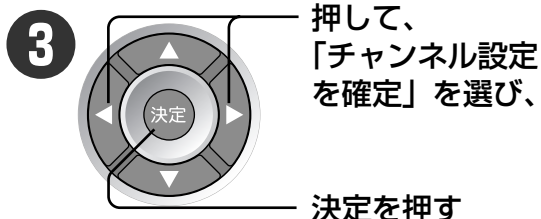
チャンネル設定の手順

1 押して、地上デジタル放送の画面に切り換える

- お買い上げ時はチャンネルが設定されていないので下のような画面が表示されます。
- 「居住地域設定」が設定されていない場合は、「居住地域が設定されていません...」と表示されます。まず「居住地域設定」を行ってください。

2 押して、「はい」を選び、

決定を押す

「はい」を選んで決定

- 周波数スキャンの画面に変わります。地上デジタル放送の全チャンネル域からお住まいの地域で放送されているチャンネルをさがす初期スキャンが始まります。
- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。しばらくお待ちください。
- スキャンが終了すると、見つかったチャンネルを確認する画面に変わります。

初期スキャン実行中の画面

チャンネル確認の画面

「チャンネル設定を確定」を選んで決定

3 押して、「チャンネル設定を確定」を選び、

決定を押す

- 「居住地域：○○のチャンネルを設定しました。」と数秒表示され、表示が消えて地上デジタル放送の受信画面に変わります。（設定終わり）

数秒表示して、地上デジタル放送の受信画面に変わる

設定終わり

地上デジタル放送のチャンネル設定（つづき）

地上デジタル放送のチャンネル設定については、デジタルメニューの中に詳細な設定画面を用意しています。新しい地上デジタルチャンネルを追加したいとき、受信レベルを確認したいときなどは、これらデジタルメニュー内で行います。

● お住まいの地域で新しい地上デジタル放送が始まり、そのチャンネルを追加するときは、☞253～255ページの操作❶～❾にしたがってチャンネルの再スキャンをしてください。

「受信設定（地上)」の画面を出す

1

押して、地上デジタル放送の画面に切り換える

2

押す

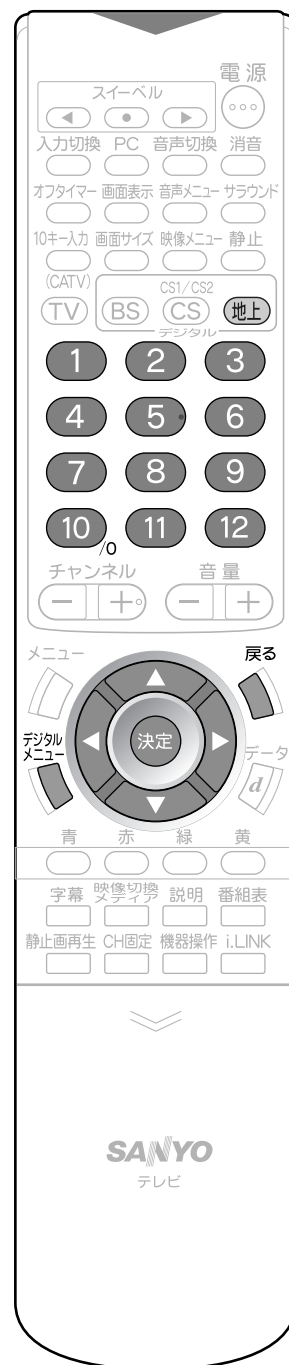
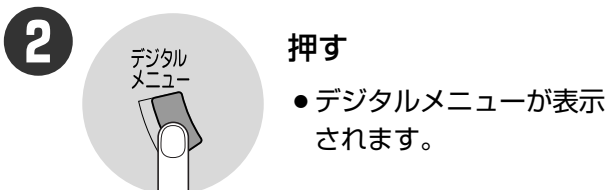
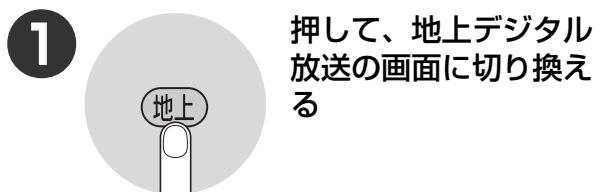
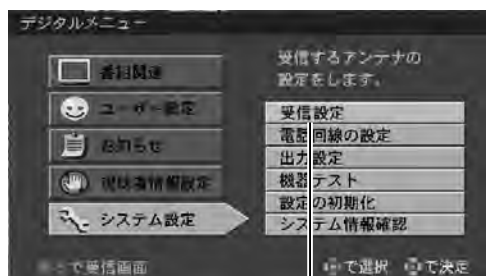
- デジタルメニューが表示されます。

3

押して、「システム設定」を選び、

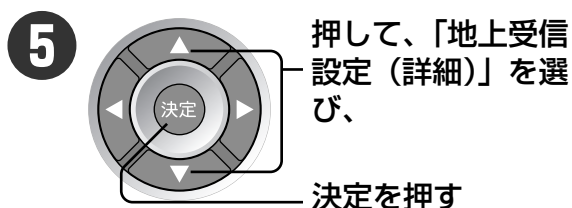
決定を押す

4

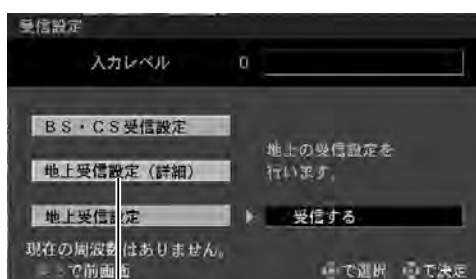
押して、「受信設定」を選び、

決定を押す

- 「受信設定」の画面に変わります。

デジタルメニュー画面

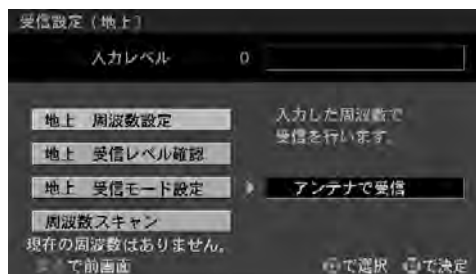
「システム設定」の「受信設定」を選んで決定

5

押して、「地上受信設定（詳細)」を選び、

決定を押す

- 受信設定（地上）の画面に変わります。

受信設定　画面

「地上受信設定（詳細)」を選んで決定

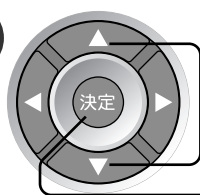
受信設定（地上）　画面

次ページへ続く

ご注意

- デジタル放送が受信できない、または受信状態がよくないときは、デジタルメニューが表示できなかったり、選べるメニューが制限されたりすることがあります。

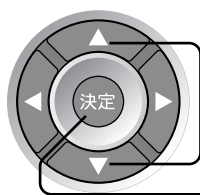
地上デジタル放送のチャンネル設定（つづき）

チャンネルをスキャンして受信できる放送局を探す

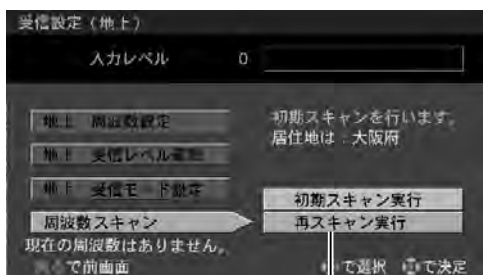
6

押して、「周波数スキャン」を選び、

決定を押す

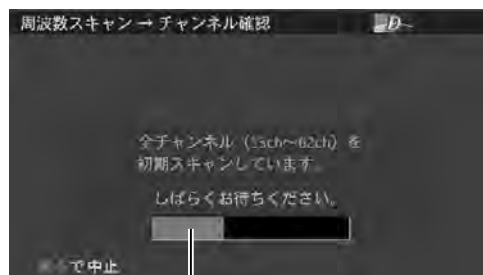
- サブメニュー「初期スキャン実行」が黄色で表示されます。

7

押して、「初期スキャン実行」または「再スキャン実行」を選び、

決定を押す

受信設定（地上） 画面

スキャン方法を選んで決定

- 「周波数スキャン」の画面に変わり、スキャンが始まります。
- スキャンの経過とともに、画面上のバーが右へ延びます。
- 全チャンネルのスキャンには3分程度かかります。スキャンが終わるまでしばらくお待ちください。
- スキャンが終わると「チャンネル確認」の画面に変わります。

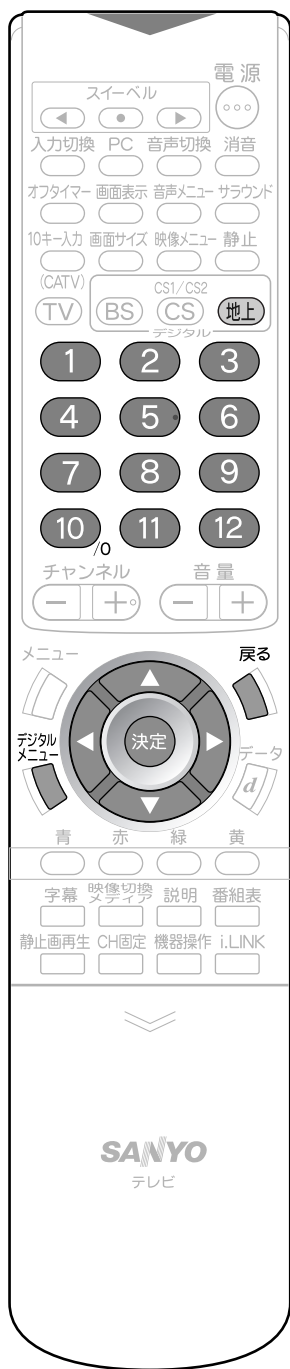
初期スキャン実行中の画面

スキャンの経過とともにバーが延びます

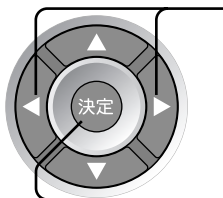
チャンネル確認の画面

- チャンネル確認画面の上部には、リモコンの1〜12ボタンに割り当てられた地上デジタル放送のチャンネルが表示されます。水色で表示されるのは未開局など受信できないチャンネルです。
- その下には、お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送が4つまで表示されます。
- ◀▶ボタンで「チャンネルを確認」を選んで決定ボタンを押すと、▲▼ボタンで別のチャンネルを確認できるようになります。

次ページへ続く

初期スキャンと再スキャン

- 「初期スキャン実行」は、スキャン結果にしたがって全チャンネルの設定を最初から行うスキャン方式です。チャンネル設定機能（☞260ページ）で空きボタンに追加したチャンネルや、入れ換えたチャンネルは解除されます。初めてチャンネル設定するときや、引っ越し先でチャンネル設定をするときは「初期スキャン実行」でスキャンします。
- 「再スキャン実行」は、すでに設定されているチャンネルはそのまま残し、新しく見つかったチャンネルを追加設定します。チャンネル設定機能（☞260ページ）で追加・変更したチャンネルは保持されます。お住まいの地域で新しい地上デジタル放送が始まったときなどに行います。

チャンネル設定を確定する

8

押して、「チャンネル設定を確定」を選び、

決定を押す

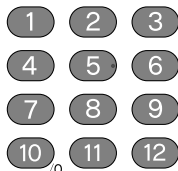
- 「居住地域：○○のチャンネルを設定しました。」と数秒表示され、表示が消えて地上デジタル放送の受信画面に変わります。

チャンネル確認の画面

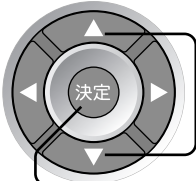
「チャンネル設定を確定」を選んで決定

数秒表示して、受信画面に変わる

9

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12

押して、地上デジタル放送のチャンネルが受信できることを確認する

設定終わり

準備と設定

地上デジタル放送のチャンネル設定（つづき）

周波数を設定して受信するとき

受信を確認するときなどのために、周波数を設定して受信できるようになっています。

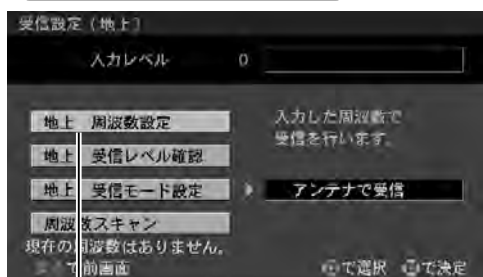
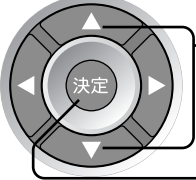
1 「受信設定（地上)」の画面を出す
- 253ページ1～5をご覧ください。

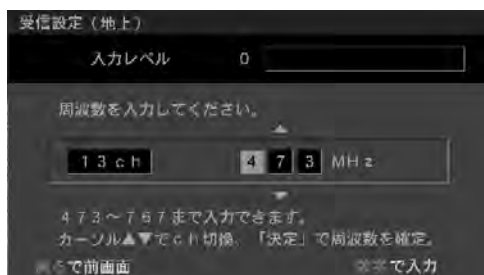
2

押して、「地上　周波数設定」を選び、

決定を押す

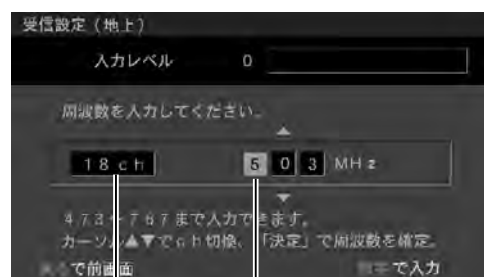
- 周波数を入力する画面に変わります。

受信設定（地上）　画面

「地上　周波数設定」を選んで決定

周波数設定　画面

13~62チャンネルを選んで受信するとき

押して、13~62チャンネルのどれかをを選び、

決定を2回押す

周波数設定　画面

13~62チャンネル　▲▼で選んで決定

周波数を入力して受信するとき

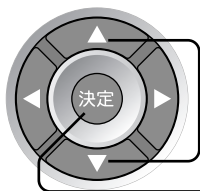
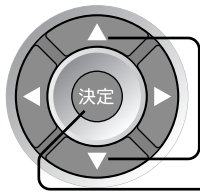
1～10ボタンで周波数を入力し、

決定を押す

周波数設定　画面

1～10ボタンで入力して決定

- 決定ボタンを押した後、「受信設定（地上)」画面に戻り、画面右上に「データを取得しています。」と表示されます。
- 受信できたときは表示が「正常に受信できます。」に変わります。
- 受信できなかったときは表示が「受信できませんでした。」に変わります。

ケーブルテレビで受信するとき

本機に搭載している地上デジタルチューナーは、VHFとケーブルテレビ（CATV）の帯域（VHF 1～12、C13～C63）をカバーしています。地上デジタル放送の電波をこれらの帯域に変換して送信しているケーブルテレビや共同受信設備などの場合、受信モードを「CATVモードで受信」に切り換えて受信できる場合があります。

ご注意

- ケーブルテレビや共同受信設備における地上デジタル放送の再送信については、ケーブルテレビ会社や共同受信設備によって方式やサービス内容が異なります。詳細はご加入のケーブルテレビ会社や共同受信設備の管理者にお問い合わせください

CATVモードでチャンネル設定する

1 「受信設定（地上）」の画面を出す

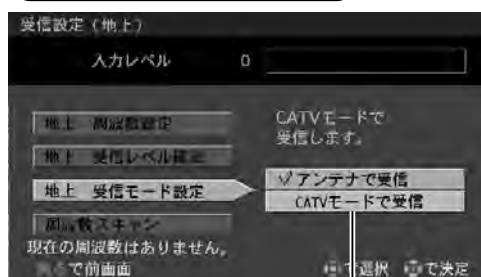
- 253ページ1～5をご覧ください。

2 押して、「地上　受信モード設定」を選び、

決定を押す

3 押して、「CATVモードで受信」を選び、

決定を押す

受信設定（地上）　画面

「CATVモードで受信」を選んで決定

- 画面に「受信モードの設定が変わりました。周波数スキャンを行ってください。」と表示されます。

254～255ページの操作6～9を行い、CATVモードで周波数スキャンを行い、チャンネルを設定します。

受信レベル確認/地上デジタル放送を受信しないとき

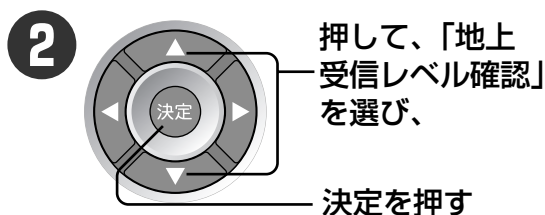
受信レベルを確認するとき

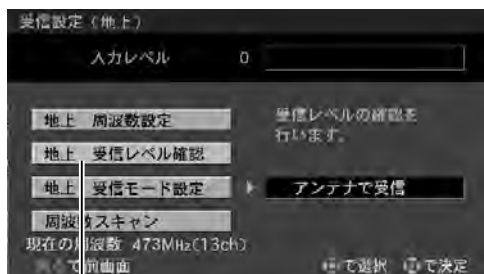
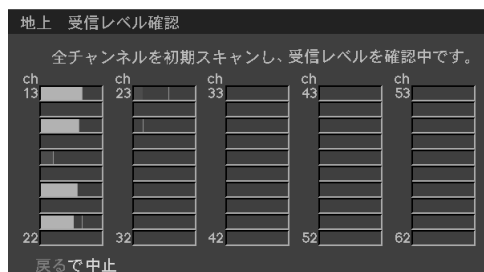
地上デジタル放送の受信レベルを、チャンネルごとに表示させることができます。

1 「受信設定（地上)」の画面を出す
- 253ページ❶～❺をご覧ください。

2

押して、「地上 受信レベル確認」を選び、

決定を押す

- 受信レベル確認画面に変わります。
- 全チャンネルをスキャンし受信レベル表示します。すべてのチャンネルの受信レベルを表示するには3分程度かかります。
- 受信レベル確認を中止するとき「戻る」ボタンを押します。

受信設定（地上） 画面

「地上　受信レベル確認」を選んで決定

ご注意

受信レベル確認画面で表示されるのは、地上デジタル放送が行われているUHF13～62チャンネル別の受信レベルです。ここで表示される受信レベルが、お住まいの地域の地上デジタル放送の、どのチャンネルに該当するかは、希望の地上デジタル放送を受信してから「受信設定」画面を出したときに表示される周波数表示で確認することができます。

地上デジタル放送を受信しないとき

地上デジタル放送が開始されていない地域などの場合、「地上受信設定」を「受信しない」に設定しておくと、地上デジタル放送の機能を固定しておくことができます。

1 「受信設定」の画面を出す
- 253ページ❶～❹をご覧ください。

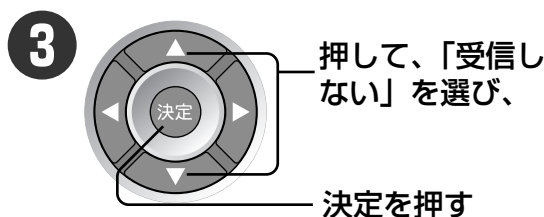
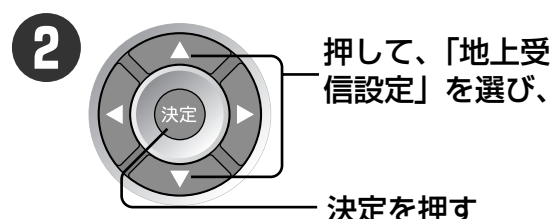
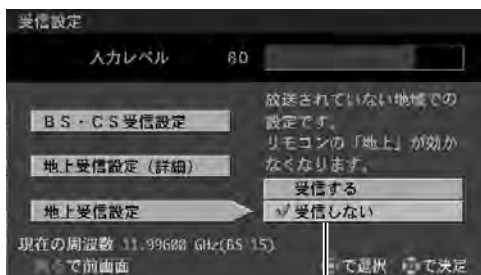
2

押して、「地上受信設定」を選び、

決定を押す

3

押して、「受信しない」を選び、

決定を押す

- 「受信しない」に設定されます。

受信設定　画面

「受信しない」を選んで決定

「受信しない」のときは

- リモコンの「地上」ボタンを押しても地上デジタル放送の画面に切り換わらなくなります。
- 「受信設定」画面の「地上受信設定（詳細)」が暗く表示され、▲▼ボタンで選べなくなります。

放送事業者領域一覧

放送事業者領域一覧

本機内部には、地上デジタル放送の電波によって送られてきた放送事業者の情報などを保管しておくメモリー領域が確保されていますが、異なる地域で何回もスキャンを行った場合など、メモリー領域がいっぱいになる場合が考えられます。そのようなときは「放送事業者領域一覧」画面でいずれかの放送事業者を削除してください。

❶ メモリー領域がいっぱいになると、画面にメッセージが表示されます。

放送事業者の領域が確保できません。デジタルメニュー、視聴者情報設定の放送事業者領域一覧を表示し、いずれかの事業者を削除してください。

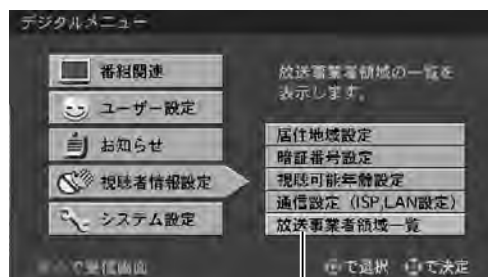
❷ 「放送事業者領域一覧」の画面を出す

①「地上」ボタンを押して地上デジタル放送の画面に切り換える。

②デジタルメニューボタンを押す。

③ ▲▼ボタンで「視聴者情報設定」を選び、決定ボタンを押す。

④▲▼ボタンで「放送事業者領域一覧」を選び、決定ボタンを押すと、「放送事業者領域一覧」が表示される。

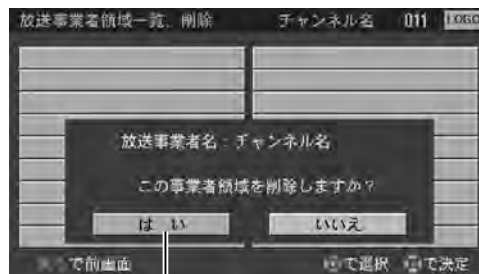
デジタルメニュー画面

「放送事業者領域一覧」を選んで決定

❸ 削除する放送事業者領域を選んで削除を実行する

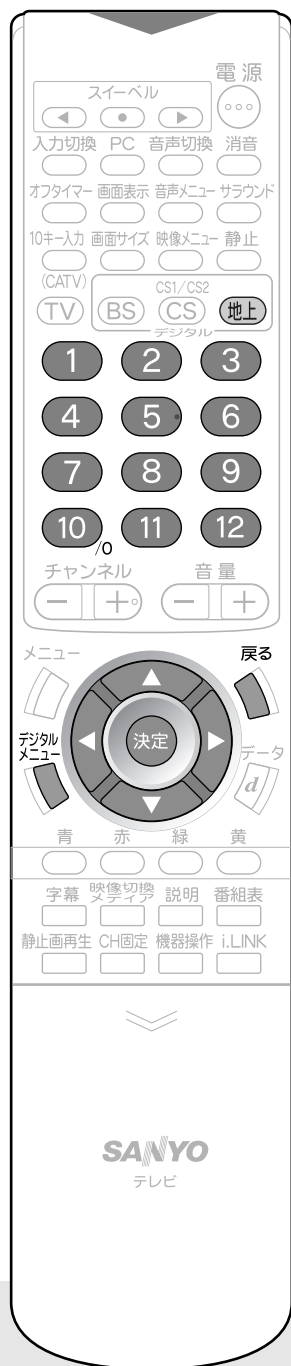
①▲▼◀▶ボタンで、以前の地域の放送局など、不要な放送事業者を選び決定ボタンを押す。

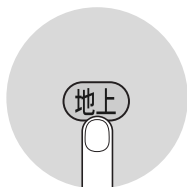
②「この事業者領域を削除しますか？」というメッセージが表示されるので、◀▶ボタンで「はい」を選んで決定ボタンを押す。

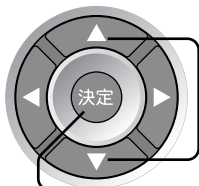
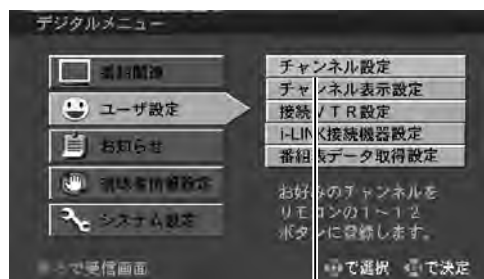
放送事業者領域一覧　画面

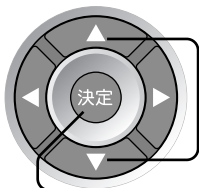
削除する放送事業者領域を選んで決定

「はい」を選んで決定

地上デジタル放送のチャンネルを追加・変更するとき

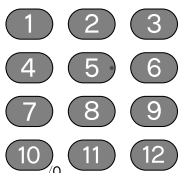
リモコンのチャンネル1～12ボタンに設定した地上デジタル放送のチャンネルを確認したり追加・変更することができます。

まず「チャンネル設定」の画面を出す

1.
押して、地上デジタル放送の画面に切り換える

2.
押して、デジタルメニューを出す

3.
押して、「ユーザー設定」を選び、
決定を押す

デジタルメニュー画面

「チャンネル設定」を選んで決定

4.
押して、「チャンネル設定」を選び、
決定を押す

- チャンネル設定の画面が表示されます。1～12のボタンに設定されているチャンネルを確認できます。

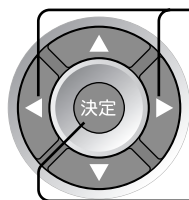
チャンネル設定画面

リモコンの1～12ボタンに設定されるチャンネルを表します

チャンネルリスト

白で表示されるチャンネル　：開局済み
水色で表示されるチャンネル：未開局

推奨されるリモコンの割り当て番号

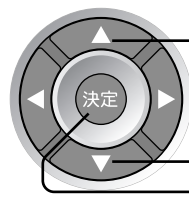
チャンネル設定を追加・変更する

5

押して、設定を変えるボタンを選び、

決定または▼を押す

- 画面上部の1～12の中でチャンネルを変えるボタンの表示を黄色に変えます。
- チャンネルを追加するときは空欄のチャンネルを選び決定ボタンを押します。
- 決定または▼ボタンを押すと、▲▼ボタンでチャンネルリストからチャンネルを選べるようになります。
- 選んだチャンネルの情報がリストの下に表示されます。

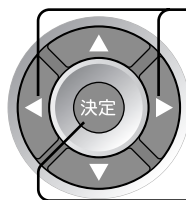
◀▶で選んで決定

6

押して、設定するチャンネルを選び、

決定を押す

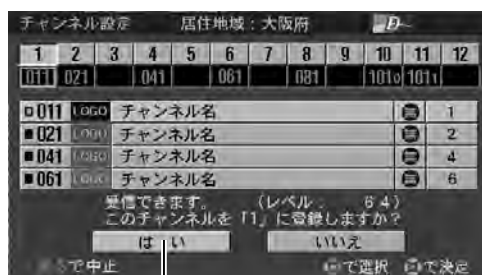
- 決定ボタンを押すと、受信レベルを確認する画面に変わり、確認後、チャンネルを登録する画面に変わります。
- ボタンに登録されているのと同じチャンネルを選んで決定を押すと登録がない状態にすることができます。

▲▼で選んで決定

7

押して、「はい」を選び、

決定を押す

- チャンネルの登録をたずねるメッセージが表示されます。◀▶ボタンで「はい」を選び決定ボタンを押すとチャンネルがボタンに登録されます。
- 他のボタンにも設定するときは、操作5～7を繰り返します。

チャンネル設定（登録）　画面

◀▶で「はい」選んで決定

インターネットの接続について

デジタル放送とインターネット

デジタル放送では、従来の電話回線によるデータ放送の双方向サービスに加え、インターネットが使用できるしくみになっています。

インターネットを使用したデジタル放送のサービスを利用するときは、それらのサービス開始後、放送局が放送画面やパンフレットなどでお知らせする、サービスの内容や注意事項をよくご確認ください。

ダイアルアップ接続とLAN接続

本機では、ダイアルアップ接続とLAN接続の2通りのインターネット接続ができます。
接続方法に合わせて下記のページにしたがって接続・設定してください。

■ダイアルアップ接続・・・☞263〜271ページ
・本機の電話回線端子を使用し、電話回線で通信します。
・付属の電話線分配器と電話回線コードで接続可能です。
・データの通信スピードは最大56kbpsです。

■LAN接続・・・☞272〜281ページ
・本機のLAN端子を使用し、ADSLなどのブロードバンド回線で通信します。
・付属の電話線分配器と電話回線コードの他、ADSLモデムやルーターなどブロードバンド接続業者が指定する機器が必要です。
・データの通信スピードは最大1Mbps〜など高速・大容量です。

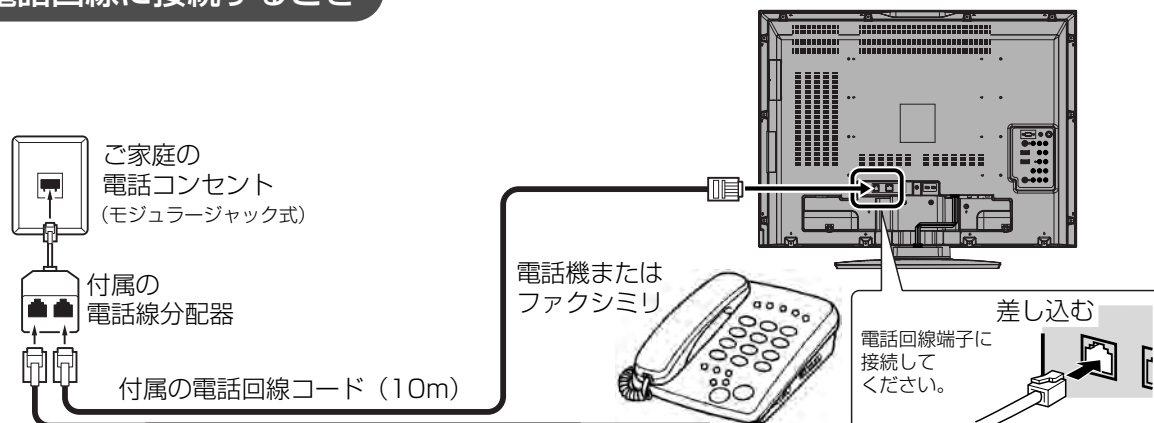
ご注意

- インターネットに接続するには、基本的に回線業者やインターネット・サービス・プロバイダーとの契約が必要です。
- 回線業者やプロバイダーとの契約内容によりますが、インターネットに接続する際には、基本的に「接続料金」と「回線の使用料」が発生します。
- 本機に搭載しているのは、インターネットを経由してデジタル放送関連のデータをやりとりする機能のみです。ホームページを見るなどの機能は搭載していません。

ダイアルアップ接続でつなぐとき

電話回線を使ったダイアルアップ接続でインターネットへ接続する場合の接続方法です。

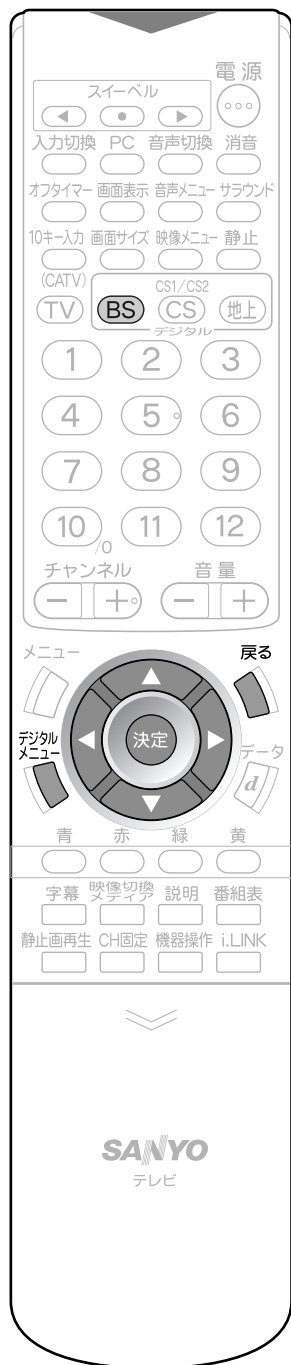
接続例

電話回線に接続するとき

- 電話回線への接続について、詳しくは 206〜207ページをご覧ください。
- ダイアルアップ接続でインターネットにつなぐ場合は、必ずISP（インターネット・サービス・プロバイダー）設定を行ってください。詳しくは 264〜271ページをご覧ください。

ご注意

- デジタル放送では、データ放送での双方向サービスや、PPV（ペイパービュー）番組購入の課金などを電話回線で行います。インターネットに接続しない場合でも、これらのサービスを利用する場合は電話回線への接続（ 206ページ）と、電話回線の設定（ 236〜241ページ）が必要です。

ダイアルアップ接続の設定

電話回線を使ったダイアルアップ接続でインターネットに接続する場合は、以下のように設定を行ってください。

「通信設定(ISP,LAN設定)」の画面を出す

1

押して、BSデジタル放送の画面に切り換える

- デジタル放送以外の画面ではデジタルメニューを表示できません。

2

押す

- デジタルメニューが表示されます。

3

押して、「視聴者情報設定」を選び、

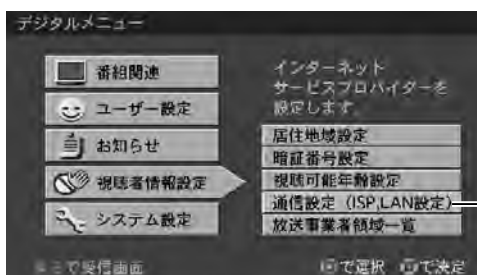
決定を押す

4

押して、「通信設定（ISP,LAN設定)」を選び、

決定を押す

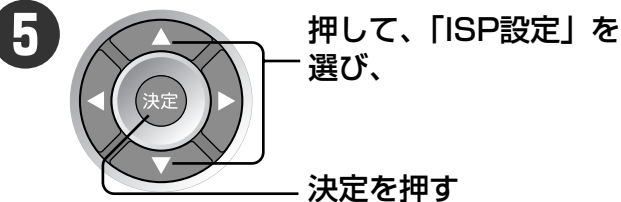
- 「通信設定」の画面に変わります。

デジタルメニュー画面

「通信設定（ISP,LAN設定)」を選んで決定

「ISPパラメータ設定1/2」画面を出す

5

押して、「ISP設定」を選び、

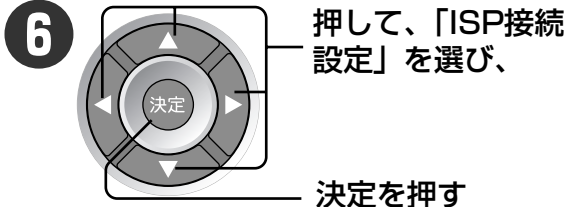
決定を押す

- ダイアルアップ接続に必要な設定を行うISP（インターネット・サービス・プロバイダー）パラメータ設定画面が表示されます。

通信設定 画面

「ISP設定」を選んで決定

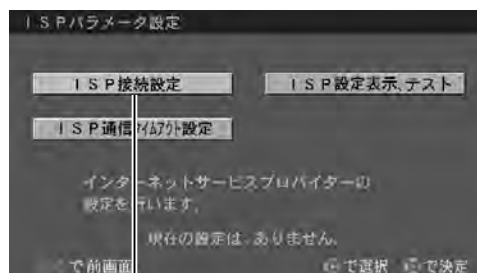
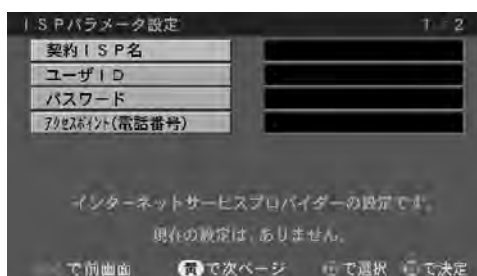
6

押して、「ISP接続設定」を選び、

決定を押す

- 「ISPパラメータ設定　1/2」画面に変わります。
- 「ISPパラメータ設定」画面は2つのページで構成されています。黄ボタンを押すと次の2/2ページに移ります。緑ボタンを押すと1/2ページに戻ります。

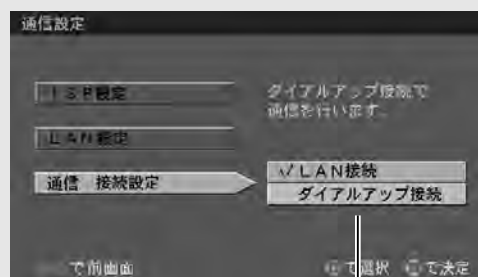
「ISP接続設定」を選んで決定

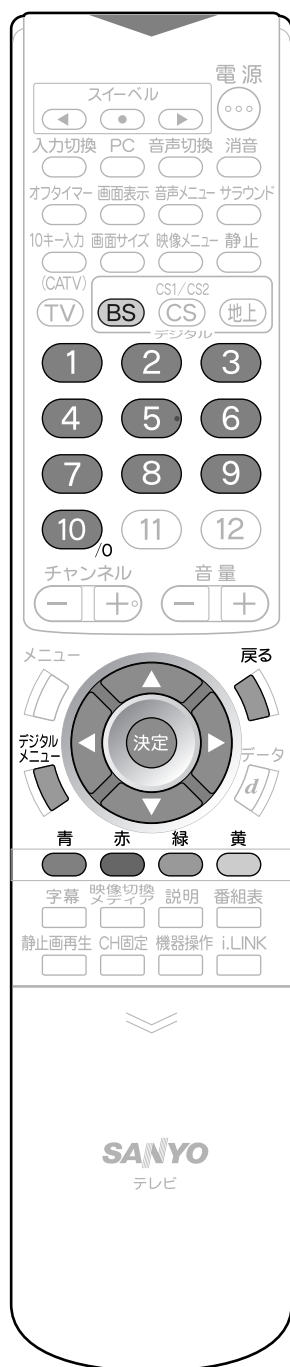
ISPパラメータ設定1/2　画面

ＩＳＰパラメータ設定　1/2
契約ＩＳＰ名
ユーザＩＤ
パスワード
ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ(電話番号)
インターネットサービスプロバイダーの設定です。
現在の設定は、ありません。
で前画面　黄で次ページ　で選択　で決定

次ページへ続く

お知らせ

通信 接続設定

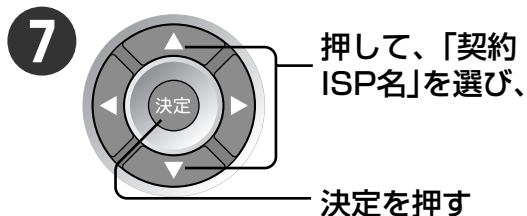
「通信 接続設定」はLAN接続とダイアルアップ接続で、優先する方を選ぶ設定です。▲▼ボタンで優先する方を選び、決定ボタンを押すと設定できます。設定した接続方法でインターネットに接続できない場合は、もう一方の方法で接続を試みるようになっています。

優先させる接続を選んで決定

ダイアルアップ接続の設定（つづき）

「契約ISP名」を設定する

契約しているISP（インターネット・サービス・プロバイダー）の名前を設定します。

7

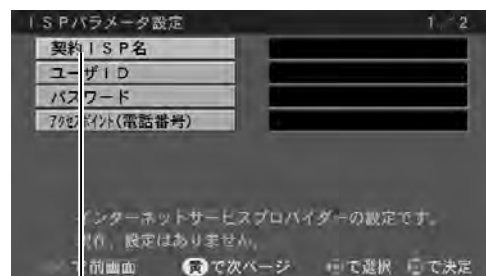
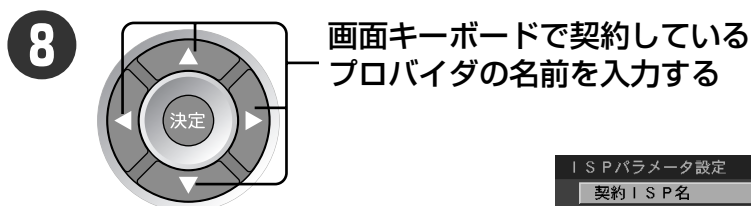
押して、「契約ISP名」を選び、

決定を押す

- 「契約ISP名」の設定わくが黄色に変わります。
- 画面キーボードが表示されます。

ISPパラメータ設定1/2　画面

「契約ISP名」を選んで決定

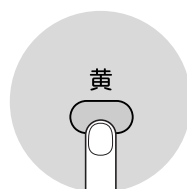
8

画面キーボードで契約しているプロバイダの名前を入力する

- 「契約ISP名」の設定では6種類の画面キーボード全部が使えます。

文字入力のしかた
282ページ

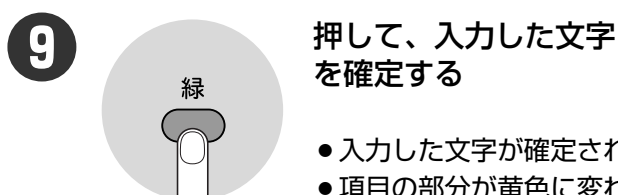
画面キーボード

契約ISP名を入力する（64文字以内）

入力を取り消すときは

押す

黄ボタンを押すと、入力わくの中身がすべて取り消され、設定項目が選べる状態になります。

9

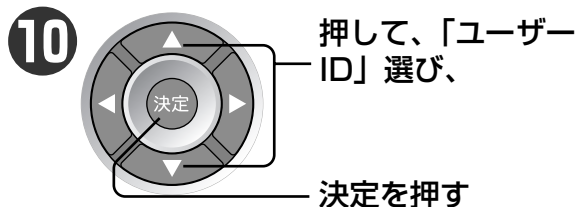
押して、入力した文字を確定する

- 入力した文字が確定されます。
- 項目の部分が黄色に変わります。

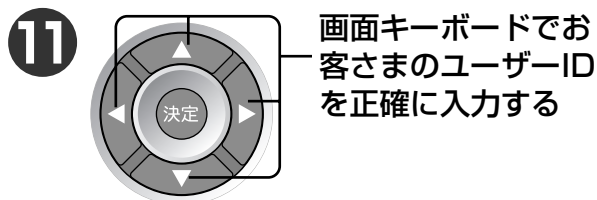
「ユーザーID」を設定する

インターネット・サービス・プロバイダーから与えられた、お客さまのユーザーIDを設定します。

10

押して、「ユーザーID」選び、

決定を押す

- 「ユーザーID」の設定わくが黄色に変わります。
- 画面キーボードが表示されます。

画面キーボードでお客さまのユーザーIDを正確に入力する

- 「ユーザーID」の設定では、誤った入力を防ぐため、半角英字と半角記号の画面キーボードしか表示されません。

ユーザーIDを入力する（64文字以内）

文字入力のしかた ☞282ページ

12

押して、入力した文字を確定する

- 入力した文字が確定されます。
- 項目の部分が黄色に変わります。

「パスワード」を設定する

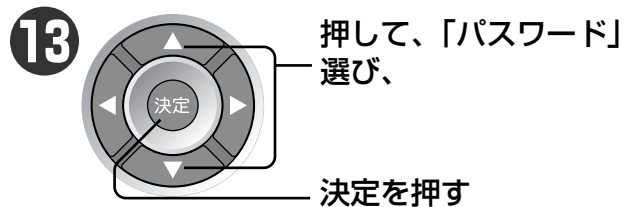
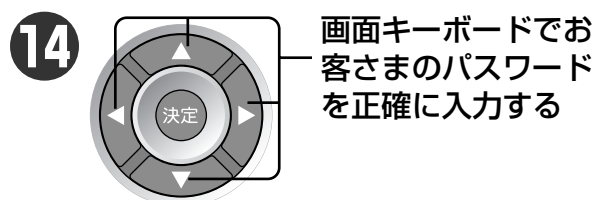
インターネット・サービス・プロバイダーから与えられた、お客さまのパスワードを設定します。

13

押して、「パスワード」選び、

決定を押す

- 「パスワード」の設定わくが黄色に変わります。
- 画面キーボードが表示されます。

画面キーボードでお客さまのパスワードを正確に入力する

- 「パスワード」の設定では、誤った入力を防ぐため、半角英字と半角記号の画面キーボードしか表示されません。
- 入力した文字は「＊」で表示されます。

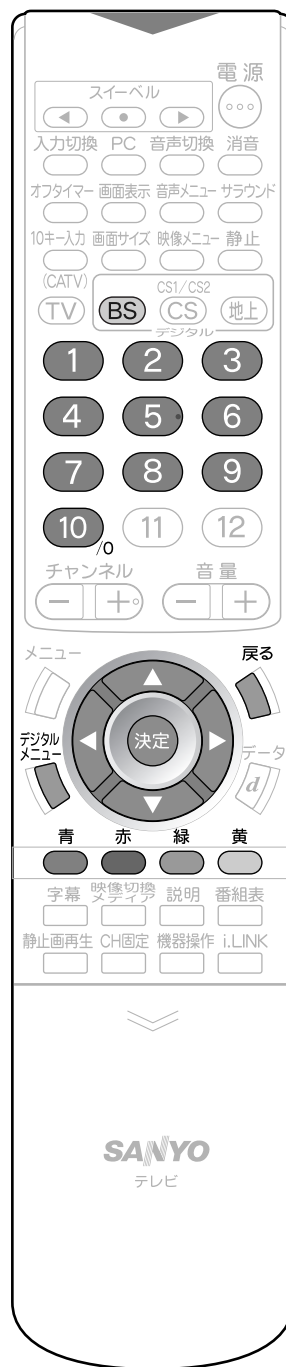
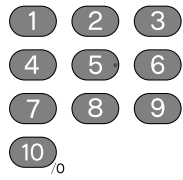
パスワードを入力する（32文字以内）

文字入力のしかた ☞282ページ

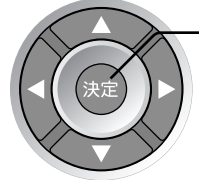
15

押して、入力した文字を確定する

- 入力した文字が確定されます。
- 項目の部分が黄色に変わります。

次ページへ続く

ダイアルアップ接続の設定（つづき）

続いてアクセスポイントの電話番号を設定します。設定後は「ISPパラメータ設定　2/2」画面に移ってDNS（DNSサーバIPアドレス）の設定を行います。

「アクセスポイント（電話番号）」を設定する

インターネット・サービス・プロバイダーのアクセスポイントで、お客さまが利用するアクセスポイントの電話番号を設定します。

16

押して、「アクセスポイント（電話番号）」を選び、

決定を押す

●「アクセスポイント（電話番号）」の設定わくが黄色に変わります。

17

1～10ボタンでアクセスポイントの電話番号を入力する

●電話番号の数字だけを続けて入力してください。
●「0」の入力には10ボタンを使います。
●外線に電話をかけるとき、「0」などの番号を付ける必要がある電話回線に接続した場合は、「電話回線の設定」の「内線発信設定（237ページ）」で「0」などの番号を設定し、この設定ではアクセスポイントの電話番号のみを入力してください。

1～10ボタンで電話番号（30文字以内）を入力して決定

18

決定を押す

●入力した電話番号が確定されます。
●項目の部分が黄色に変わります。

お知らせ

ISPパラメータ設定 2/2画面から1/2画面へ戻るときはリモコンの緑ボタンを押します。

入力を変更するとき

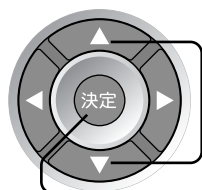
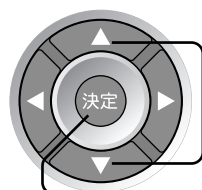
●◀▶ボタンを押して、削除する数字の後ろにカーソルを移動させ、「戻る」ボタンを押すとカーソルの前の数字が1つ取り消されます。取り消されたら1～10ボタンを押して正しい数字を入力します。
●リモコンの黄ボタンを押すと、わく内の入力が取り消され、入力を中止します。

DNS（DNSアドレス）の設定をする

DNS（DNSサーバIPアドレス）の設定は、通常はお買い上げ時の「DNSアドレス自動取得」＝「自動取得する」のままお使いください。（「自動取得する」のまま使用する場合は操作⑲〜㉔を飛ばしてください）
「DNSアドレス自動取得」を「自動取得しない」に変更して使用する場合は次のように設定します。

押して、「ISPパラメータ設定」の2/2画面を出す

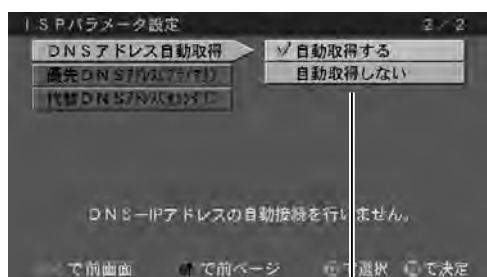
「自動取得しない」に変えるとき

「DNSアドレス自動取得」を「自動取得しない」に変更して使用する場合は、次のように設定します。

押して、「DNSアドレス自動取得」を選び、

決定を押す

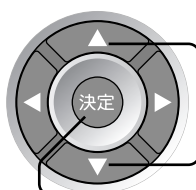
押して、「自動取得しない」を選び、

決定を押す

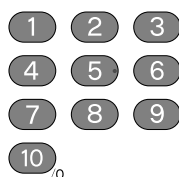
- 「優先DNSアドレス（プライマリ）」、「代替DNSアドレス（セカンダリ）」が選択・設定できるようになります。

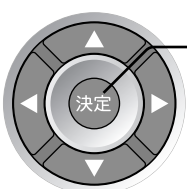
ISPパラメータ設定 2/2 画面

「自動取得しない」を選んで決定

DNSアドレスの手動設定

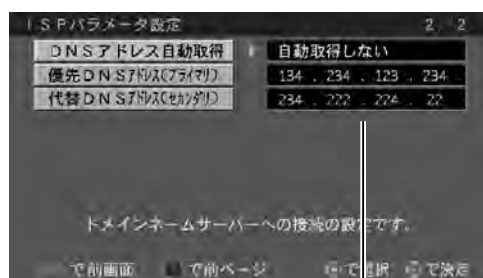
「DNSアドレス自動取得」を「自動取得しない」に設定したときは、「優先DNSアドレス（プライマリ）」、「代替DNSアドレス（セカンダリ）」を次のように設定します。

押して、設定する項目を選び、

決定を押す

- 選んだ項目の入力わくが黄色に変わります。

数字ボタンと青ボタンで入力する

- 1〜10ボタンで数字を、青ボタンでドット「.」を入力します。「0」の入力には10ボタンを使います。
- それぞれの項目には入力できる数字の範囲があります。画面に表示される範囲にしたがって入力してください。

決定を押す

- 入力が確定されます。
- 項目の部分が黄色に変わります。

㉒〜㉓を繰り返して、「優先DNSアドレス（プライマリ）」、「代替DNSアドレス（セカンダリ）」を設定します。

各項目を入力

DNSアドレスの設定を終えたら、押して「ISP パラメータ設定」画面へ戻る

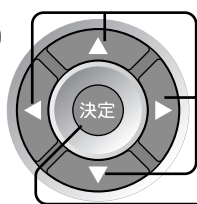
次ページへ続く

ダイアルアップ接続の設定（つづき）

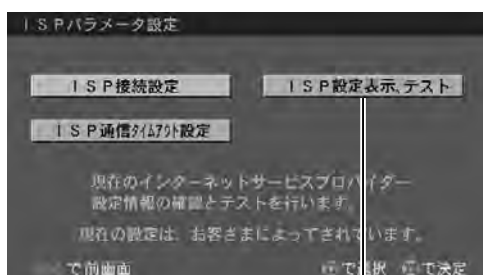
設定状態を確認し、接続テストを行う

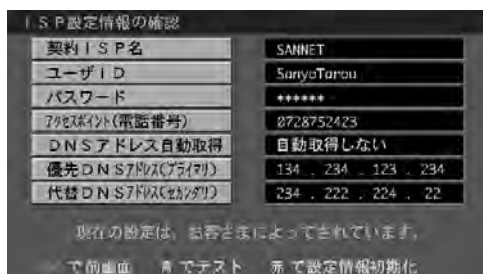
ここまでの設定を終えたら、設定内容を確認し、インターネット・サービス・プロバイダーへの接続テストを行います。

設定状態を確認する

25

押して、「ISP設定表示・テスト」を選び、

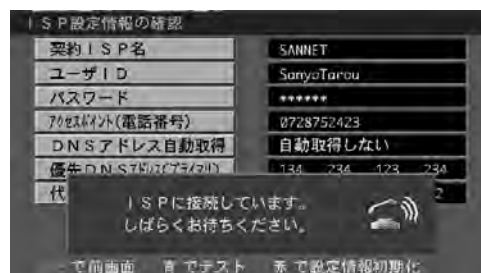
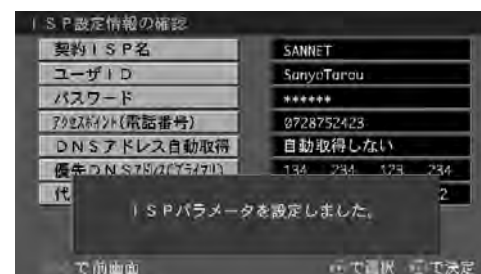
決定を押す

- 「ISP設定情報の確認」画面に変わり、設定内容が一覧表示されます。
- この画面は確認専用です。設定の変更は、「ISP パラメータ設定」画面で行ってください。

「ISP設定表示・テスト」を選んで決定

ISP設定情報の確認　画面

接続テストを実行する

26

押す

- テスト実行中の画面に変わります。

- テストが終わると結果を知らせる画面に変わります。

- プロバイダーに接続できたときは、「…ISPパラメータを設定しました。」と表示されます。（設定終わり）
- プロバイダーに接続できなかったときは、「接続できません」と表示されます。まずリモコンの「戻る」ボタンを押してテストを中止してから、設定内容などを確認し、原因を解決した後、もう一度テストを実行してください。

接続できない原因

- 電話回線に正しく接続されていない。（☞206ページ）
- 「電話回線の設定」が正しく設定されていない。（☞236ページ）
- 「ISPパラメータ設定」の内容が正しく設定されていない。（設定の抜け、文字入力の誤りなど）
- 電話機やパソコンなど、別の機器で電話回線を使用中。　… など

ご注意

プロバイダーへの接続テストを行ったときは電話料金がかかります。

設定を初期化するとき

「ISP設定情報の確認」画面を表示させ、リモコンの赤ボタンを押すと、「ISPパラメータ設定」の内容を工場出荷時の状態に初期化することができます。

ご注意

初期化するとダイアルアップ接続に関する設定が工場出荷時の状態に戻り、インターネットへ接続できなくなります。

ISP設定情報の確認　画面

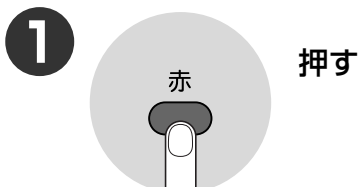
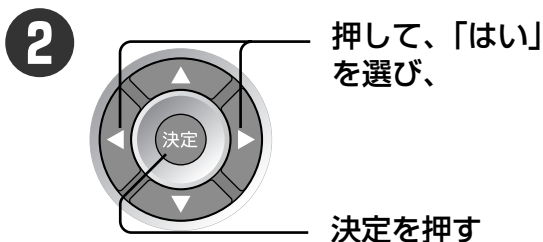
❶

押す

●初期化の実行を選ぶ表示が出ます。

❷

押して、「はい」を選び、

決定を押す

●初期化が実行されます。

「はい」を選んで決定

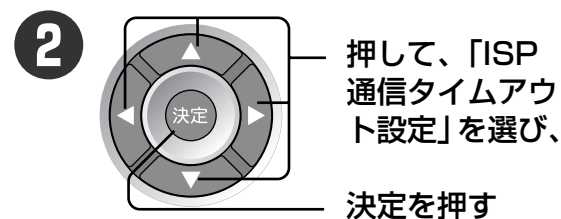
タイムアウト時間を設定するとき

一定時間の間、通信がなかったときに接続を自動で切断するタイムアウト時間を設定することができます。

❶ 「ISPパラメータ設定」の画面を出す

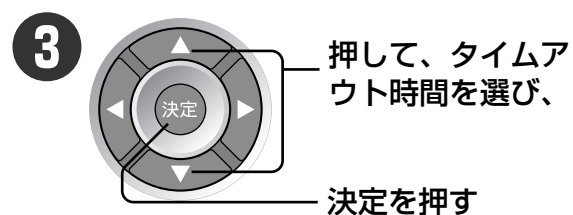
● 264〜265ページ❶〜❺をご覧ください。

❷ 押して、「ISP通信タイムアウト設定」を選び、

決定を押す

●「ISP通信タイムアウト設定」の画面に変わります。

「ISP通信タイムアウト設定」を選んで決定

❸ 押して、タイムアウト時間を選び、

決定を押す

●タイムアウト時間は1〜20分まで設定できます。

ISP通信タイムアウト設定　画面

▲▼ ボタンで時間を設定して決定

準備と設定

LAN(ブロードバンド回線)で接続するとき

ADSLなどのブロードバンド回線を本機のLAN（ラン）端子へつないでインターネットに接続する場合は、以下にしたがって接続してください。

ブロードバンドの加入契約が必要です

本機をブロードバンド回線に接続するには、ADSLなどのサービスを提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。この取扱説明書では、パソコンによるインターネット接続などで、すでにブロードバンド環境をお持ちになっていることを前提に説明を進めています。
ブロードバンド環境をお持ちでなく、これから加入契約をするお客さまは、サービスを提供する回線業者やプロバイダー、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

回線業者、プロバイダーによって必要な機器や接続方法が異なります

右ページの図は接続例のひとつです。必要な機器や接続方法は回線業者やプロバイダーによって異なります。

- 回線業者やプロバイダーとの契約内容によっては、本機やパソコンなどの端末機器を何台も接続できない場合や、接続にあたって追加料金が必要な場合があります。契約内容をご確認ください。
- 接続に必要なADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルなどは、回線業者やプロバイダーの指定された製品を使って接続や設定をしてください。
- 回線業者やプロバイダーから提供される説明書や、ADSLモデム、ブロードバンドルーターなど、製品の取扱説明書もよくお読みください。
- ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの製品について不明な点は、回線業者やプロバイダー、またはこれら製品のメーカーへお問い合わせください。
- ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムの設定は、本機ではできません。設定が必要な場合はパソコンから行ってください。
- USB接続のADSLモデムをお使いのときは回線業者やプロバイダーへご相談ください。

接続に必要な機器について

スプリッター・・・・・・・電話用の信号とブロードバンド用の信号を分ける機器です。
ADSLモデム・・・・・・・パソコンや本機などをADSLなどのブロードバンドと接続するための機器です。
ブロードバンドルーター・・パソコンや本機などの複数の端末を同時にインターネットへ接続するため、信号の割り振りをする機器です。
ハブ・・・・・・・・・・・パソコンや本機などの複数の端末を回線へ接続するための機器です。

本機のLAN端子について

本機のLAN端子は（10BASE-T）と（100BASE-TX）のどちらにも対応しています。

ご注意

- LAN端子は電話回線端子と形状がよく似ています。電話用のコード（モジュラーコード）を誤ってLAN端子へ差し込まないようにご注意ください。故障の原因となります。

接続例

ご家庭の
電話コンセント
（モジュラージャック式）

電話機または
ファクシミリ

スプリッタ

DSL端子に
接続する

TEL端子に
接続する

付属の
電話線
分配器

付属の
電話回線コード
（10m）

電話回線　LAN(10/100)

差し込む

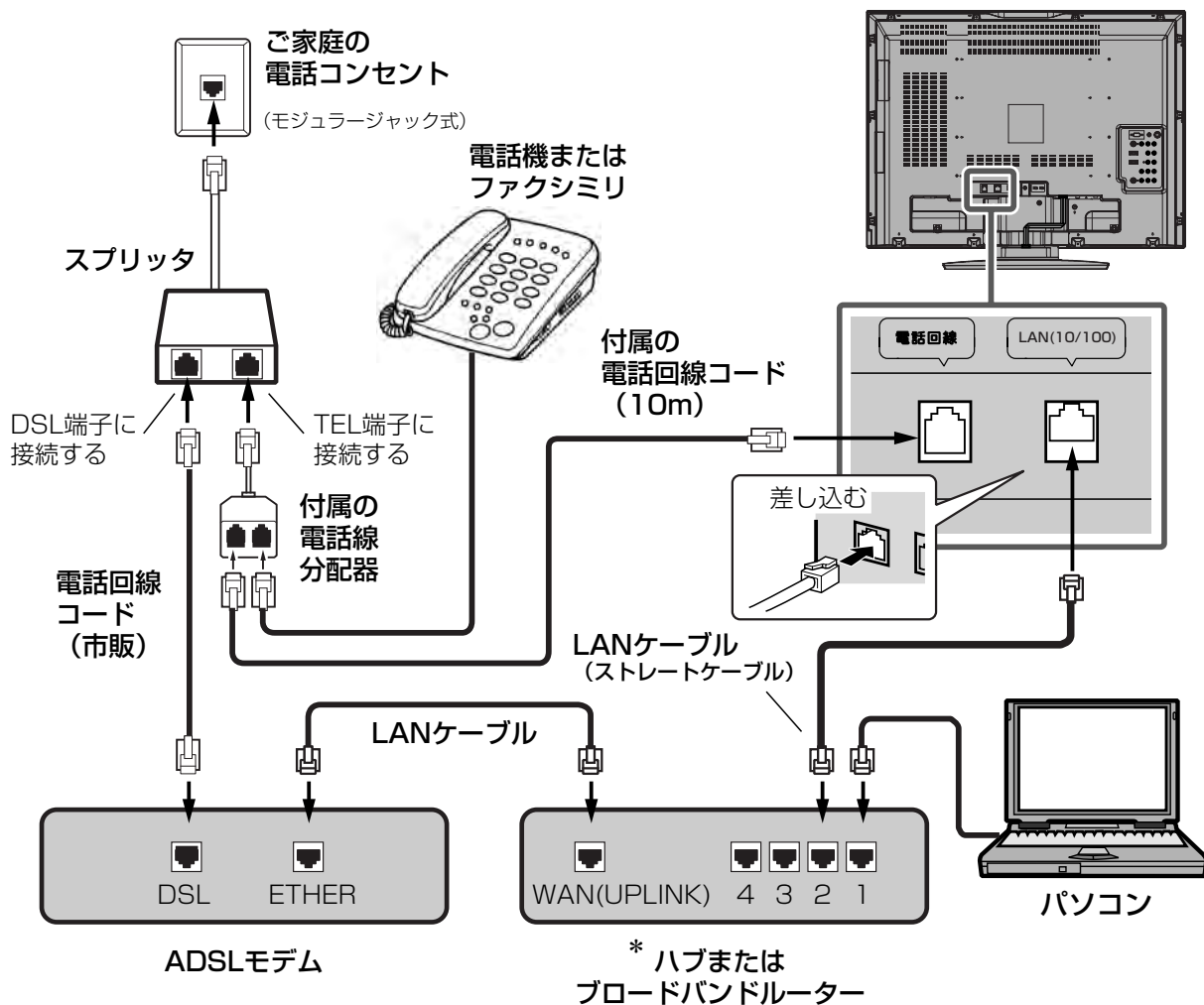
電話回線
コード
（市販）

LANケーブル
（ストレートケーブル）

LANケーブル

DSL　ETHER

ADSLモデム

WAN(UPLINK)　4　3　2　1

＊ハブまたは
ブロードバンドルーター

パソコン

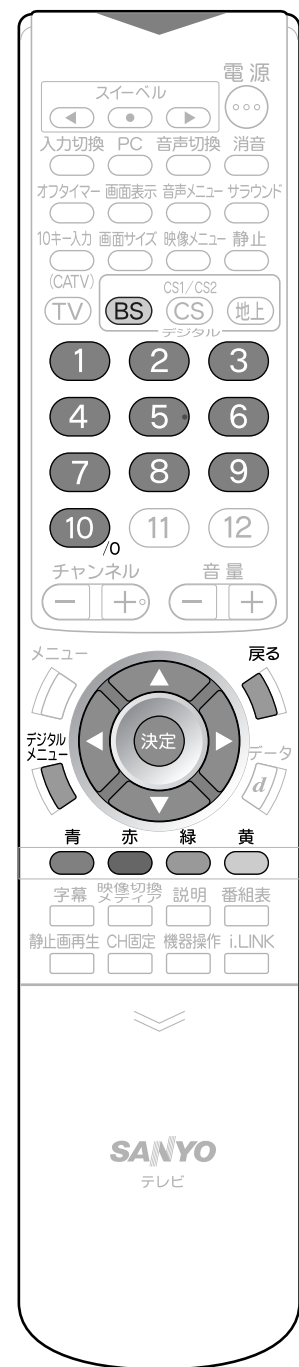
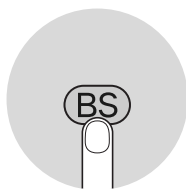
＊ADSLモデムにブロードバンドルーター機能があり、モデムポートに空きがない場合はハブを接続します。ADSLモデムにブロードバンドルーター機能がない場合はブロードバンドルーターを接続します。

LAN接続でインターネットにつなぐ場合は、必ずLAN設定を行ってください。
詳しくは☞274〜281ページをご覧ください。

ご注意

- デジタル放送では、データ放送での双方向サービスや、PPV（ペイパービュー）番組購入の課金などを電話回線で行います。これらのサービスを利用する場合は電話回線への接続（☞206ページ）と、電話回線の設定（☞236〜241ページ）が必要です。

LAN接続の設定

ADSLなどのブロードバンド回線を本機のLAN（ラン）端子へつないでインターネットに接続する場合は、以下のように設定を行ってください。

「通信設定(ISP,LAN設定)」の画面を出す

1

押して、BSデジタル放送の画面に切り換える

- デジタル放送以外の画面ではデジタルメニューを表示できません。

2

押す

- デジタルメニューが表示されます。

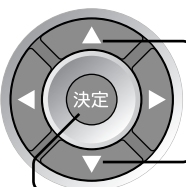
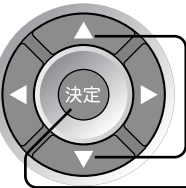
3

押して、「視聴者情報設定」を選び、

決定を押す

デジタルメニュー画面

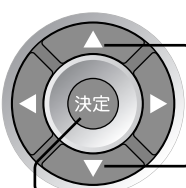
「通信設定（ISP,LAN設定)」を選んで決定

4

押して、「通信設定（ISP,LAN設定)」を選び、

決定を押す

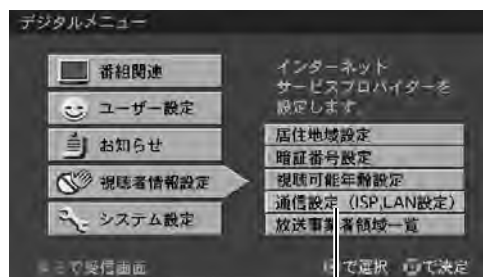
- 「通信設定」の画面に変わります。

通信設定 画面

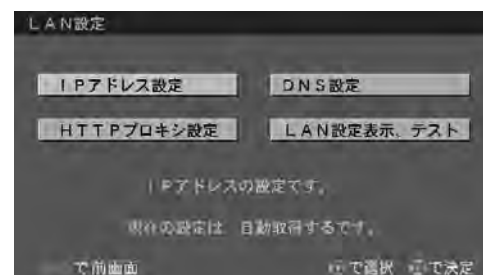
「LAN設定」を選んで決定

5

押して、「LAN設定」を選び、

決定を押す

- LAN設定画面が表示されます。

LAN設定 画面

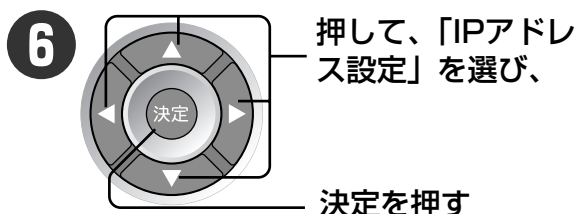
お買い上げ時の設定

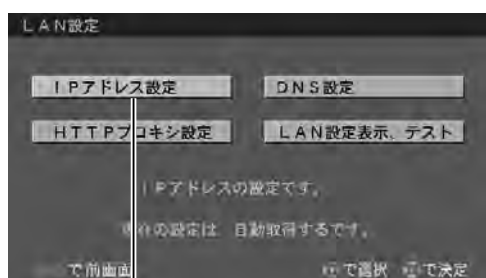
お買い上げ時、LAN設定の各項目は...
IPアドレス設定：自動取得する
DNS設定：自動取得する
HTTPプロキシ設定：使用しない
に設定されています。この設定内容のままでインターネットに接続できる場合は、☞280〜281ページの接続テストを行ってみてください。

IPアドレスを設定する

IPアドレス設定は、通常はお買い上げ時の「IPアドレス自動取得」＝「自動取得する」のままお使いください。（「自動取得する」のまま使用する場合は操作❻～⓬を飛ばしてください）
「IPアドレス自動取得」を「自動取得しない」に変更して使用する場合は次のように設定します。

6

押して、「IPアドレス設定」を選び、

決定を押す

● 「LAN設定(IPアドレス設定)」画面に変わります。

LAN設定 画面

「IPアドレス設定」を選んで決定

IPアドレス自動取得

「IPアドレス自動取得」を「自動取得しない」に変更して使用する場合は次のように設定してください。

押して、「IPアドレス自動取得」を選び、

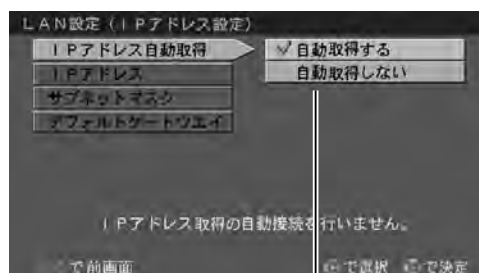
決定を押す

8

押して、「自動取得しない」を選び、

決定を押す

● 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」が選択・設定できるようになります。

IPアドレス設定　画面

「自動取得しない」を選んで決定

IPアドレスの手動設定

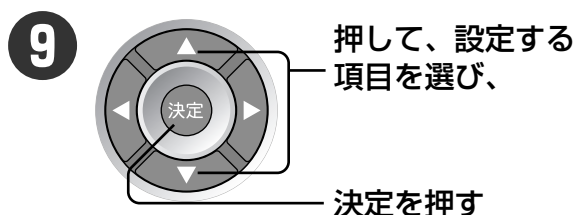
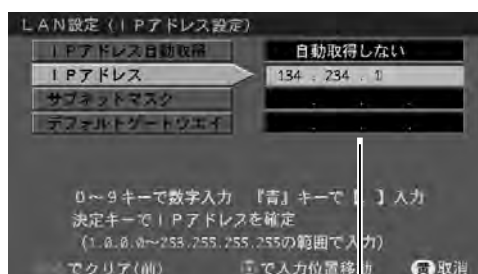
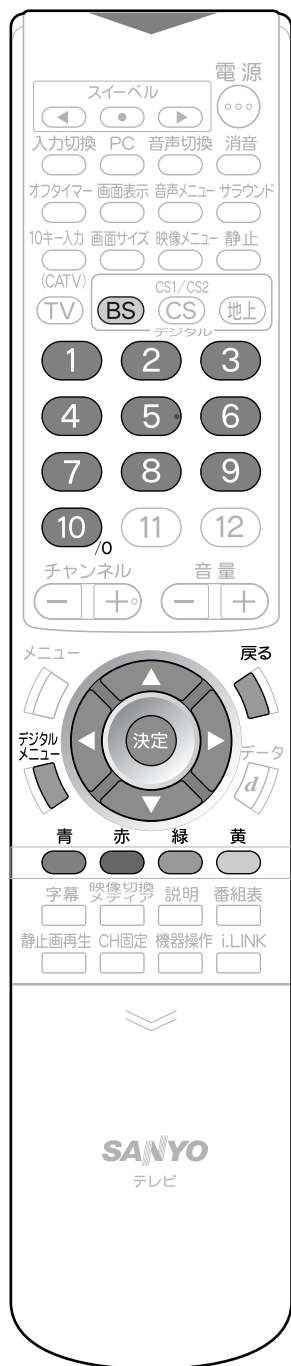
「IPアドレス自動取得」を「自動取得しない」に設定したときは、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を次のように設定します。

押して、設定する項目を選び、

決定を押す

● 選んだ項目の入力わくが黄色に変わります。

10

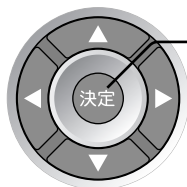
数字ボタンと青ボタンで入力する

IPアドレス設定　画面

それぞれの項目を入力する

● 1～10ボタンで数字を、青ボタンでドット「. 」を入力します。
● 「0」の入力には10ボタンを使います。
● それぞれの項目には入力できる数字の範囲があります。画面に表示される範囲にしたがって入力してください。

次ページへ続く

LAN接続の設定（つづき）

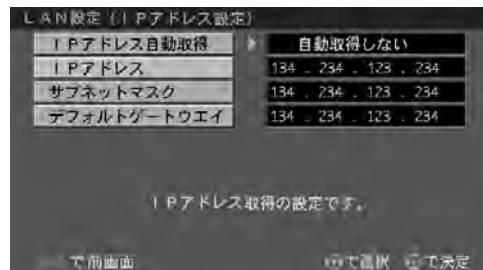
IPアドレスを設定する（つづき）

⓫

決定を押す

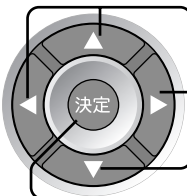
- 入力が確定されます。
- 項目の部分が黄色に変わります。

❾～⓫を繰り返して、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定します。

IPアドレス設定　画面

⓬

IPアドレスの設定を終えたら、押して「LAN設定」画面へ戻る

DNS設定を行う

DNS設定は、通常はお買い上げ時の「DNSアドレス自動取得」＝「自動取得する」のままお使いください。（「自動取得する」のまま使用する場合は操作⓭～⓳を飛ばしてください）「DNSアドレス自動取得」を「自動取得しない」に変更して使用する場合は次のように設定します。

押して、「DNS設定」を選び、

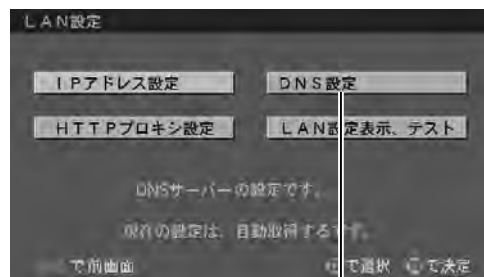
決定を押す

- 「LAN設定（DNS設定）」画面に変わります。

LAN設定 画面

「DNS設定」を選んで決定

入力を変更するとき

- ◀ ▶ボタンを押して、削除する数字の後ろにカーソルを移動させ、「戻る」ボタンを押すとカーソルの前の数字が1つ取り消されます。取り消されたら1～10ボタンを押して正しい数字を入力します。
- リモコンの黄ボタンを押すと、わく内の入力が取り消され、入力を中止します。

DNS設定を行う(つづき)

「自動取得しない」に変えるとき

「DNSアドレス自動取得」を「自動取得しない」に変更して使用する場合は、次のように設定します。

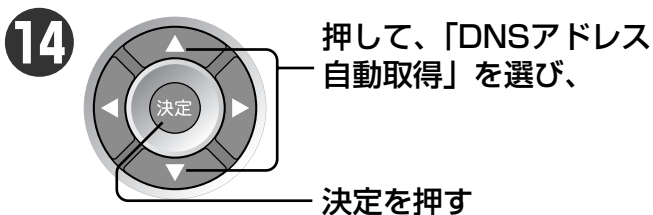
14

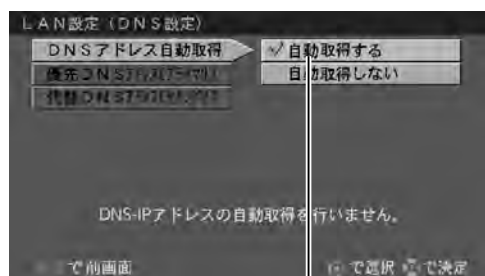
押して、「DNSアドレス自動取得」を選び、

決定を押す

15

押して、「自動取得しない」を選び、

決定を押す

- 「優先DNSアドレス（プライマリ)」、「代替DNSアドレス（セカンダリ)」が選択・設定できるようになります。

DNS設定　画面

「自動取得しない」を選んで決定

DNSアドレスの手動設定

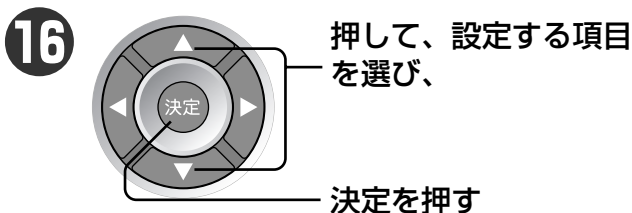
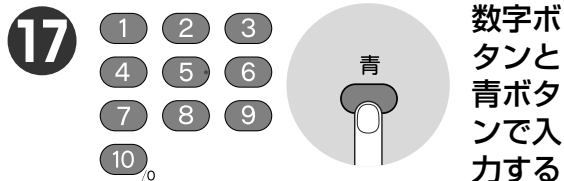
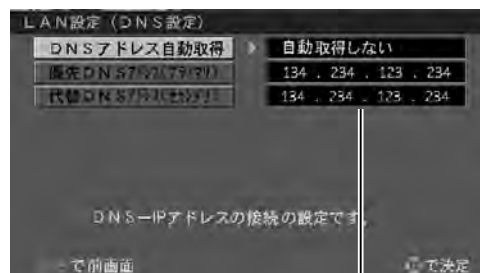
「DNSアドレス自動取得」を「自動取得しない」に設定したときは、「優先DNSアドレス（プライマリ)」、「代替DNSアドレス（セカンダリ)」を次のように設定します。

押して、設定する項目を選び、

決定を押す

- 選んだ項目の入力わくが黄色に変わります。

17

数字ボタンと青ボタンで入力する

DNS設定　画面

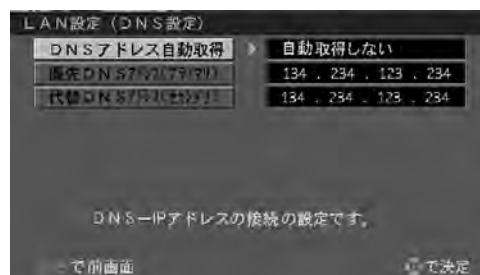
DNSアドレスを入力

- 1〜10ボタンで数字を、青ボタンでドット「.」を入力します。「0」の入力には10ボタンを使います。
- それぞれの項目には入力できる数字の範囲があります。画面に表示される範囲にしたがって入力してください。

決定を押す

- 入力が確定されます。
- 項目の部分が黄色に変わります。

16〜18を繰り返して、「優先DNSアドレス（プライマリ)」、「代替DNSアドレス（セカンダリ)」を設定します。

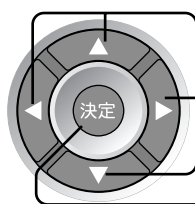
DNS設定　画面

19

DNSアドレスの設定を終えたら、押して「LAN設定」画面へ戻る

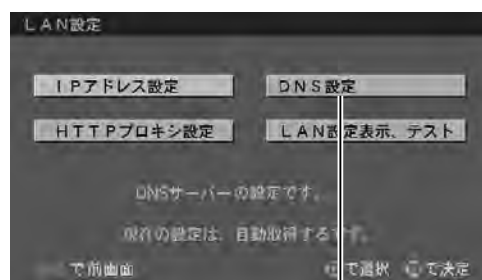
次ページへ続く

LAN接続の設定（つづき）

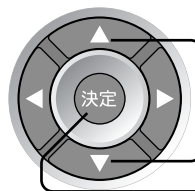
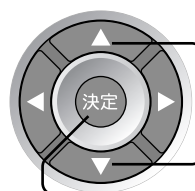
HTTPプロキシ設定を行う

HTTPプロキシ設定は、プロバイダーから指定がない場合は、お買い上げ時の「プロキシサーバー使用」＝「使用しない」のままお使いください。（「使用しない」のまま使用する場合は操作⑳〜㉕を飛ばしてください）「プロキシサーバー使用」を「使用する」に変更して使用する場合は次のように設定します。

⑳
押して、「HTTPプロキシ設定」を選び、
決定を押す

- 「LAN設定（HTTPプロキシ設定）」画面に変わります。

LAN設定 画面

「HTTPプロキシ設定」を選んで決定

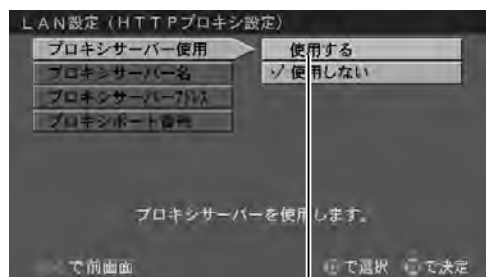
プロキシサーバー「使用する」に変えるとき

「プロキシサーバー使用」を「使用する」に変更して使用する場合は、次のように設定します。

㉑
押して、「プロキシサーバー使用」を選び、
決定を押す

㉒ 押して、「使用する」を選び、
決定を押す

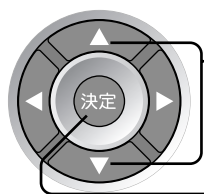
- 「プロキシサーバー名」、「プロキシサーバーアドレス」、「プロキシポート番号」が選択・設定できるようになります。

入力を変更するとき

- ◀ ▶ボタンを押して、削除する数字の後ろにカーソルを移動させ、「戻る」ボタンを押すとカーソルの前の数字が1つ取り消されます。取り消されたら1〜10ボタンを押して正しい数字を入力します。
- リモコンの黄ボタンを押すと、わく内の入力が取り消され、入力を中止します。

HTTPプロキシ設定　画面

「使用する」を選んで決定

プロキシサーバー「使用する」にしたとき

「プロキシサーバー使用」を「使用する」に設定したときは、「プロキシサーバー名」または「プロキシサーバーアドレス」、「プロキシポート番号」を次のように設定します。

押して、設定する項目を選び、

決定を押す

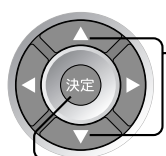
● 選んだ項目の入力わくが黄色に変わります。

24 各項目を入力する

次のように入力します。

●「プロキシサーバー名」と「プロキシサーバーアドレス」は、一方を設定すると、もう一方が自動的に「設定なし」になります。

プロキシサーバー名の入力

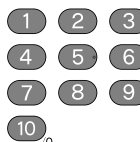
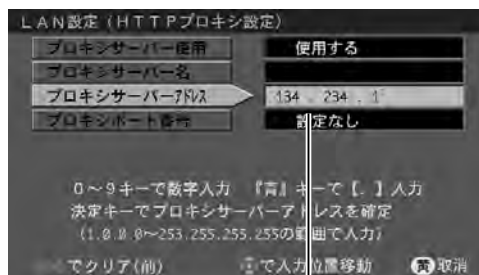
表示される画面キーボードを使い、▲▼ ◀▶ボタンと決定ボタンで入力し、緑ボタンを押して入力を確定します。（文字入力のしかた 282ページ）

押して、入力する文字を選び、

決定を押す

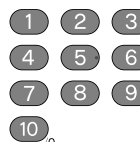
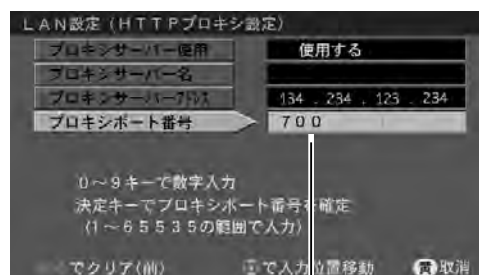
押して、入力した文字を確定する

画面キーボード　プロキシサーバー名を入力する

プロキシサーバーアドレスの入力

1〜10ボタンで数字を、青ボタンでドット「.」を入力できます。「0」の入力には10ボタンを使います。入力後は決定ボタンを押して入力を確定します。

数字ボタンと青ボタンで入力し、決定ボタンで確定する

プロキシサーバーアドレスを入力

プロキシポート番号の入力

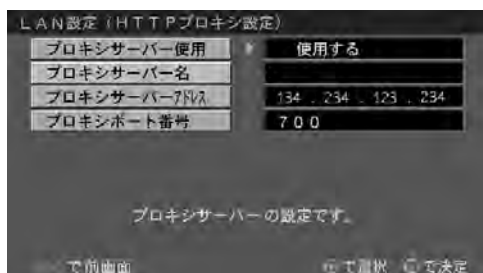
1〜10ボタンで数字を入力します。「0」の入力には10ボタンを使います。入力後は決定ボタンを押して入力を確定します。

数字ボタンで入力し、決定ボタンで確定する

プロキシポート番号を入力

次ページへ続く

LAN接続の設定（つづき）

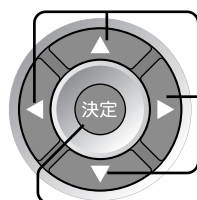
HTTPプロキシ設定（つづき）

㉓〜㉔を繰り返して、「プロキシサーバー名」または「プロキシサーバーアドレス」、「プロキシポート番号」を設定します。

HTTPプロキシ設定　画面

HTTPプロキシ設定を終えたら、押して「LAN設定」画面へ戻る

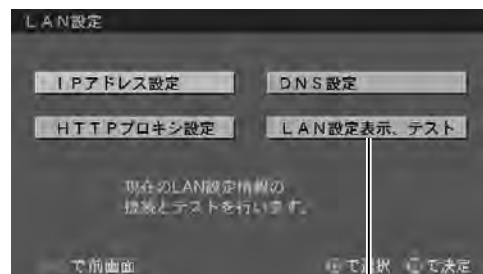
LAN設定の確認・テスト

ここまでの設定を終えたら、設定内容を確認し、LANの接続テストを行います。

設定状態を確認する

押して、「LAN設定表示・テスト」を選び、

決定を押す

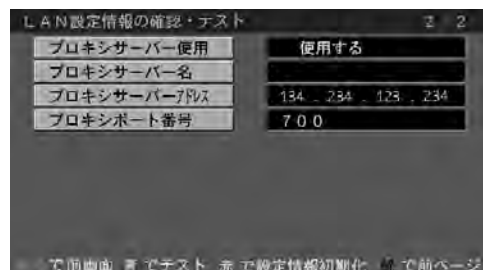
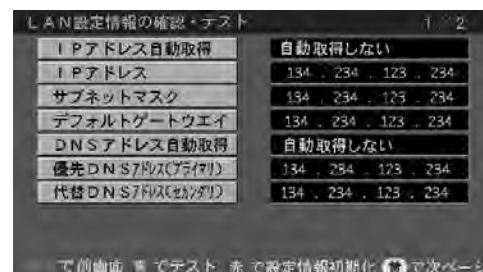
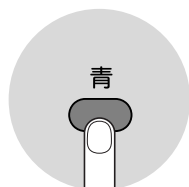
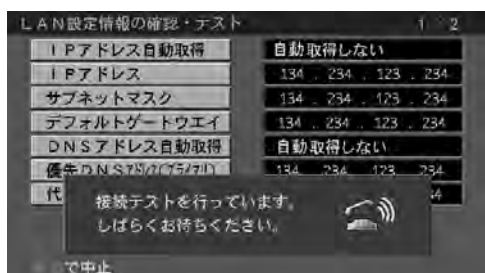
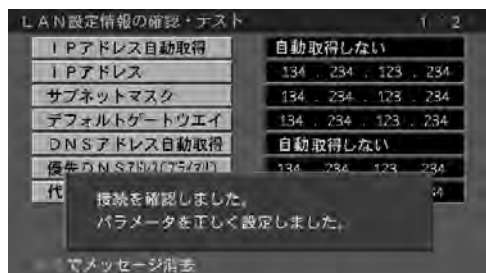
- 「LAN設定情報の確認・テスト　1/2」画面に変わり、設定内容が一覧表示されます。
- 「LAN設定情報の確認・テスト」画面は2つのページで構成されています。黄ボタンを押すと次の2/2ページに移ります。緑ボタンを押すと1/2ページに戻ります。
- この画面は確認専用です。設定の変更は、「LAN設定」のそれぞれの設定画面で行ってください。

LAN設定 画面

「LAN設定表示・テスト」を選んで決定

LAN設定情報の確認　画面

接続テストを実行する

27

押す

- テスト実行中の画面に変わります。

- テストが終わると結果を知らせる画面に変わります。

- 接続に成功したときは、「接続を確認しました。…正しく設定しました。」と表示されます。（設定終わり）
- 接続できなかったときは、「接続できません」と表示されます。まずリモコンの「戻る」ボタンを押してテストを中止してから、設定内容などを確認し、原因を解決した後、もう一度テストを実行してください。

接続できない原因

- 接続が正しく行われていない。
  （☞273ページ）
- ADSLモデムやルーターの設定が正しくない。
- 「LAN設定」の各種設定内容が正しく設定されていない。（設定の抜け、文字入力の誤りなど）

ご注意

接続テストを行った場合、定額制ではないブロードバンドの契約の場合は、別に接続料金がかかります。

設定を初期化するとき

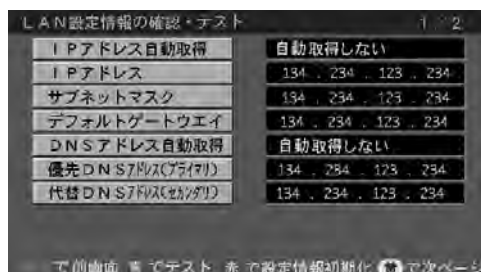
「LAN設定情報の確認・テスト」画面を表示させ、リモコンの赤ボタンを押すと、「LAN設定」の内容を工場出荷時の状態に初期化することができます。

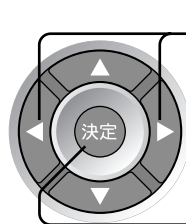
ご注意

初期化するとLAN接続に関する各種の設定が工場出荷時の状態に戻り、インターネットへ接続できなくなります。

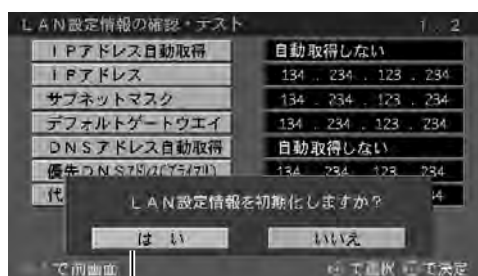
LAN設定情報の確認　画面

1

押す

- 初期化の実行を選ぶ表示が出ます。

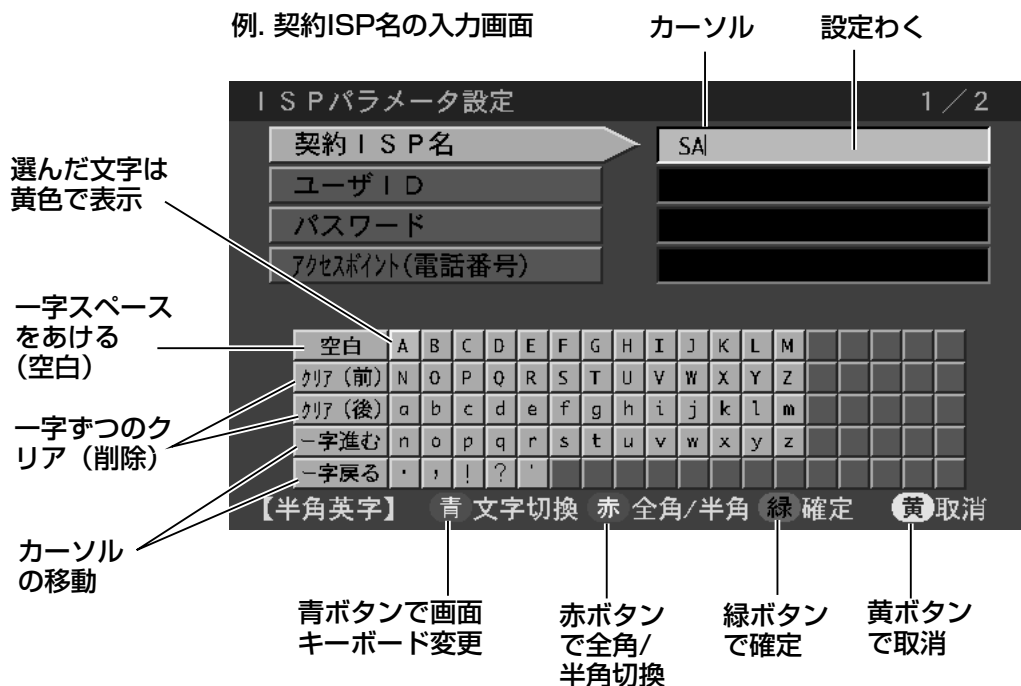
2

押して、「はい」を選び、

決定を押す

- 初期化が実行されます。

「はい」を選んで決定

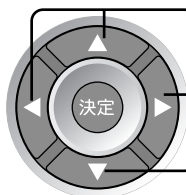
画面キーボードの使いかた

文字を入力するとき、必要に応じて表示される画面キーボードの使いかたを説明します。

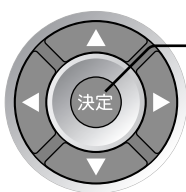
画面キーボードによる文字入力のしかた

1

押して、希望の文字がある画面キーボードに切り換える

- 押すごとに切り換わります。

2

押して、希望の文字を選ぶ

- 選んだ文字は黄色で表示されます。

3

決定を押す

- 文字が設定わくに入力されます。

操作1～3を繰り返して、ご希望の文字を設定わくに入力します。

4

押して、入力した文字を確定する

- 入力した文字が確定されます。
- 項目の部分が黄色に変わります。（設定終わり）

ご注意

- リモコンの黄ボタンを押すと、そのとき入力した文字が取り消され、画面キーボードが消えて入力が中止されますのでご注意ください。

お知らせ

- デジタル放送のデータ放送で文字入力するときは、「(緑) 確定」、「(黄) 取消」などのガイド表示が番組によって変わる場合があります。その画面に表示される指示にしたがってください。

デジタル放送のデータ放送で文字入力が必要な場合などに、自動的に画面キーボードが表示される場合があります。設定のときと同様に文字入力ができます。（デジタル放送・データ放送番組の画面に表示される指示内容などもよくお読みください）

画面キーボードの種類

【全角ひらがな】

空白	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	ぁ	ゃ	が	ざ	だ	ば	ぱ	・
クリア（前）	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ぃ	ゅ	ぎ	じ	ぢ	び	ぴ	ー
クリア（後）	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	ぅ	ょ	ぐ	ず	づ	ぶ	ぷ	「
一字進む	え	け	せ	て	ね	へ	め		れ	、	ぇ	っ	げ	ぜ	で	べ	ぺ	」
一字戻る	お	こ	そ	と	の	ほ	も		ろ	。	ぉ	ゎ	ご	ぞ	ど	ぼ	ぽ	

小文字　濁音　破裂音

【全角カタカナ】

空白	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	ァ	ャ	ヵ	ガ	ザ	ダ	バ	パ
クリア（前）	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ	ィ	ュ	ヶ	ギ	ヂ	ヂ	ビ	ピ
クリア（後）	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン	ゥ	ョ		グ	ズ	ヅ	ブ	プ
一字進む	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ		レ	、	ェ	ッ	ヴ	ゲ	ゼ	デ	ベ	ペ
一字戻る	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ		ロ	。	ォ	ヮ		ゴ	ゾ	ド	ボ	ポ

小文字　濁音　破裂音

【全角英字】

空白	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M					
クリア（前）	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
クリア（後）	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m					
一字進む	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
一字戻る																		

【半角英字】

空白	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M					
クリア（前）	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
クリア（後）	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m					
一字進む	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
一字戻る	.	,	!	?	'													

.　,

【全角記号】　～（チルダ）

空白	「	・	」	ー	、	。	-											
クリア（前）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
クリア（後）																		
一字進む																		
一字戻る																		

【半角記号】

空白	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+							
クリア（前）	,	.	/	:	;	<	=	>	?	@	−							
クリア（後）	ˆ	_	`	{	|	}	˜	[	¥	]								
一字進む	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
一字戻る																		

文字を削除・変更するには

- 画面キーボードの「一字進む」、「一字戻る」でカーソルを移動させ、「クリア（前）」、「クリア（後）」で1字ずつ削除し、入力し直してください。

空白 … カーソルの後ろに1文字分のスペースをあけます。

クリア（前） … カーソルの前の1文字をクリア（削除）します。

クリア（後） … カーソルの後ろの1文字をクリア（削除）します。

一字進む … カーソルを1文字分右に動かします。

一字戻る … カーソルを1文字分左に動かします。

- リモコンの黄ボタンを押すと、そのとき設定わくに入力した文字が取り消され、画面キーボードが消えて入力が中止されます。

デジタル放送の特殊設定／その他

この章では、デジタル放送で機能を改善するとき（ダウンロード）や、設定をお買い上げ時の状態に戻す方法などを説明しています。また、巻末には困ったときやアフターサービスに役立つ情報を掲載しています。

システム情報を確認するとき

デジタル受信部分のソフトウェアのバージョン情報などを画面で確認するときは、次のように行います。

「システム情報確認」画面を出す

1

押して、BSデジタル放送の画面に切り換える

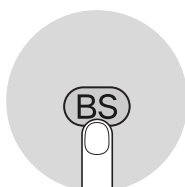
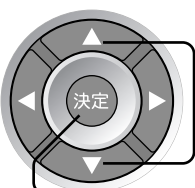
2

押す

- デジタルメニューが表示されます。

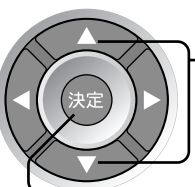
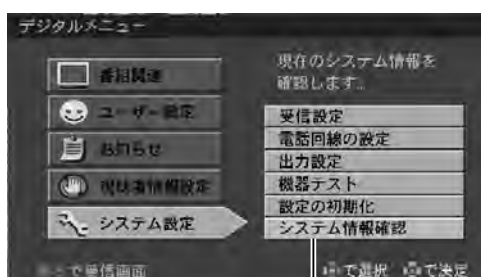
デジタルメニュー画面

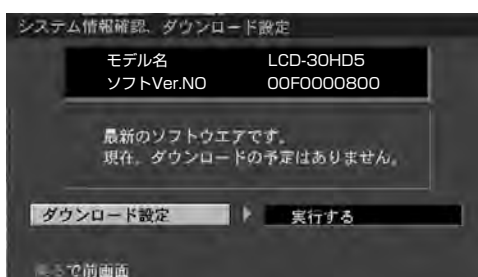
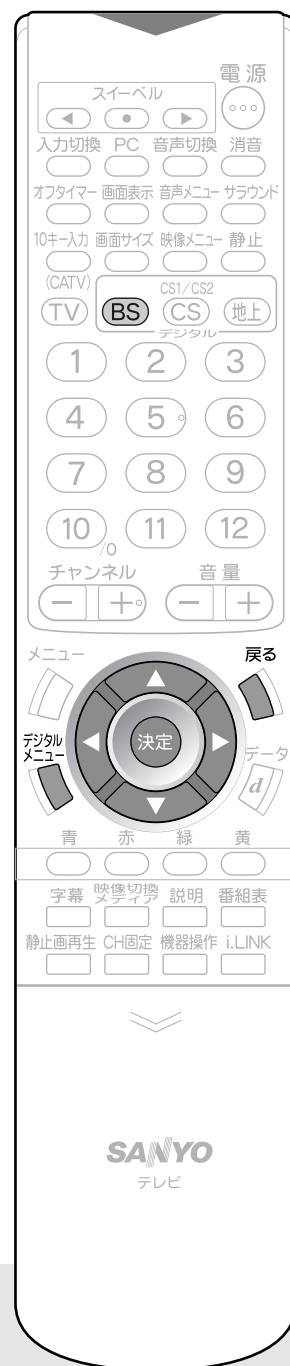
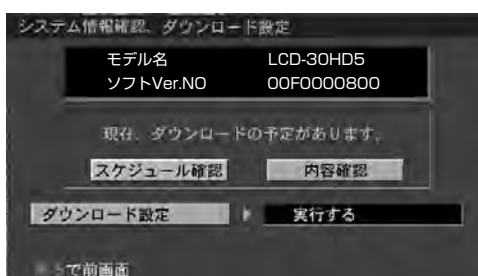
「システム情報確認」を選んで決定

3

押して、「システム設定」を選び、

決定を押す

4

押して、「システム情報確認」を選び、

決定を押す

- 「システム情報確認」の画面が表示され、ソフトウェアのバージョンナンバーなどを画面で確認できます。
- ダウンロードの予定があるときは、画面に「スケジュール確認」のボタンが表示されます。決定ボタンを押すとスケジュールを確認できます。

システム情報確認　画面

ダウンロードの予定がないとき

ダウンロードの予定があるとき

ダウンロードを行うとき

デジタル放送には、放送電波によって受信機器の内蔵ソフトウェアを書き換えて性能を改善するダウンロード機能が用意されています。本機の電源をリモコンで切った状態でダウンロード電波を受信すると、自動でダウンロードが行われ、内蔵ソフトウェアがバージョンアップされます。（ダウンロードは、放送電波にダウンロード用の信号が乗せられているときだけ可能です）

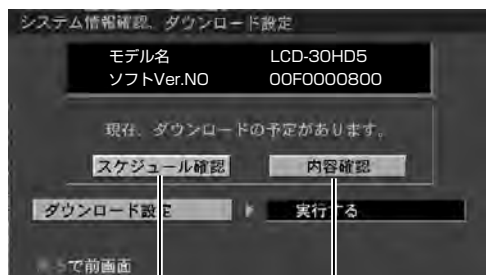
ダウンロードが可能なとき

ダウンロードを知らせる信号（告知信号）を受信したときや、告知信号を受信した後、デジタル放送の画面で電源を入れたときは、画面に次のようなメッセージが表示されます。

只今、ダウンロードが可能です。
メニューでスケジュールを確認してください。

- ダウンロードが可能なときは、デジタルメニューの「システム情報確認」画面（☞表示のしかたは左ページ参照）でダウンロードのスケジュールを見ることができます。
- 「システム情報確認」画面では、ダウンロードの予定の有無を確認することができます。

システム情報確認　画面

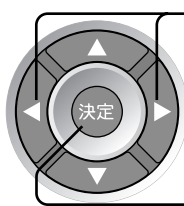
ダウンロードがあるとき

スケジュール確認　　内容確認

選んで決定を押すと、それぞれの画面に変わります。

スケジュール確認

ダウンロードが可能なときは、デジタルメニューの「システム情報確認」画面でダウンロードのスケジュールを見ることができます。

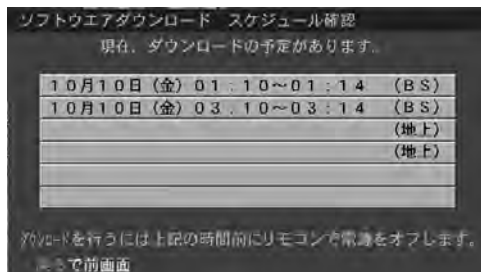
❶ ● ☞286ページ❶～❹を行い、「システム情報確認」画面を出す

- ダウンロードの予定があるときは画面に「スケジュール確認」のボタンが表示されます。
- ダウンロードの予定がないときは表示されません。

❷ 押して、「スケジュール確認」を選び、

決定

決定を押す

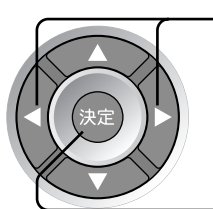
- スケジュール確認の画面に変わり、ダウンロードが行われる時間帯を確認することができます。
- ▲▼ボタンを押すと前後の時間帯も確認することができます。

スケジュール確認　画面

ご注意

- ダウンロードの有無はデジタル放送の電波で送られる告知信号で検出します。デジタル放送が受信できない状態の場合は、ダウンロードの有無、スケジュール、内容などは検出できません。

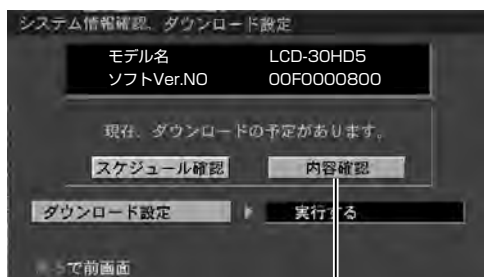
ダウンロードを行うとき（つづき）

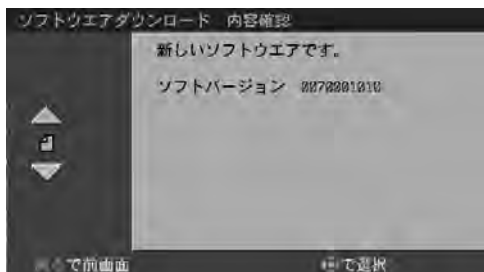
内容確認

ダウンロードの内容について送られて来ているときは、「内容確認」で見ることができます。

押して、「内容確認」を選び、

決定を押す

- 内容確認の画面に変わり、ダウンロードの内容を確認することができます。
- ▲▼ ボタンを押すと前後の内容を確認することができます。

システム情報確認　画面

内容確認を選んで決定

内容確認　画面

ダウンロードを実行する

ダウンロードの時間帯が確認できましたら、次のようにダウンロードを実行します。

押して、ダウンロードが行われる時間帯の間、本機をリモコンで電源を切った状態にしておく

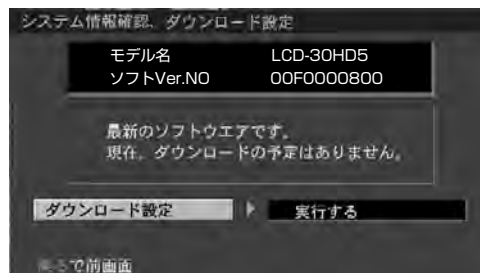
①「システム情報確認」のスケジュール確認画面で確認したダウンロードの時間帯の中で、都合のよい時間帯の前に、本機の電源をリモコンで切ります。

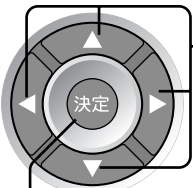
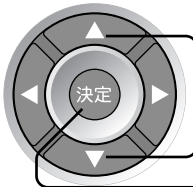
②ダウンロードの開始時間になり、ダウンロード電波を受信すると、自動でダウンロードを実行します。ダウンロード中はテレビ本体の予約ランプが点灯します。

③ダウンロードは自動的に終了します（予約ランプが消灯）。

> **ダウンロードの電波は一定時間ごと（2～4時間ごとなど）に送信されます。夜おやすみになっている間など、リモコンで電源を切った状態で長時間放置されている間にダウンロードは自動で実行されます。**

実行を確認するには

「システム情報確認」画面（☞286ページ❶～❹）を表示させると「最新のソフトウェアです。ダウンロードの予定はありません。」と表示され、ソフトＶｅｒ．ＮＯ．が更新されます。

ダウンロードしないようにするとき

お買い上げ時は「システム情報確認」画面の「ダウンロード設定」が「実行する」になっています。「実行しない」に変えるとダウンロードが実行されなくなります。

ダウンロード設定

実行する........ 本機の電源をリモコンで切った状態でダウンロード電波を受信すると、自動でダウンロードを実行します。

実行しない ... 本機の電源をリモコンで切った状態でダウンロード電波を受信しても、自動でダウンロードを実行しません。

設定を変えるには

1 ● ☞286ページ❶～❹を行い、「システム情報確認」画面を出す

2

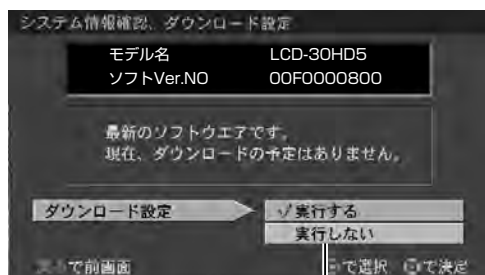
押して、「ダウンロード設定」を選び、

決定を押す

3

押して、「実行しない」を選び、

決定を押す

システム情報確認　画面

「実行しない」を選んで決定

ダウンロードについて

- ダウンロードは本機の電源が入った状態のときは実行されません。リモコンで電源を切った状態のときに実行されます。
- ダウンロードはすべての信号の読み込みに成功した時点で新しいシステムに切り換えるようになっています。天候悪化や中断などで読み込みに失敗したときは以前の状態に戻り、セットに異常をきたすことはありません。
- ダウンロードによって更新できるのはデジタル放送の関連機能に限ります。地上アナログ放送や他の機能は更新できません。
- ダウンロードには特定メーカーの機器を対象に行われるソフトダウンロード（スケジュール、内容の確認ができる）のほか、すべての受信機を対象にチャンネルのロゴマークなどを更新するために行われる共通データダウンロード（スタンバイ状態で即時実行される）があります。

ダウンロード中は次の操作をしないでください

ダウンロード中は次の操作をしないでください。ダウンロードに要する時間が長くなったり、もう一度ダウンロードが必要になったりします。

- アンテナの接続をはずさないでください。
- Ｂ－ＣＡＳカードを抜き差ししないでください。
- テレビ本体の電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。ダウンロードが中断されます。

ご注意

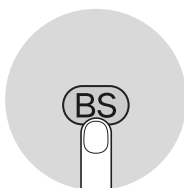
- ダウンロードはBSデジタル放送または地上デジタル放送の電波によって行われますので、これらのアンテナをつないでいないなど、電波を受信できない状態では実行できません。
- ダウンロード開始前にリモコンで電源を切るときの画面はどの画面でもかまいません。
- 電源をテレビ本体の電源スイッチで切ったり、電源プラグをコンセントから抜くとダウンロードできません。必ずリモコンの電源ボタンで切ってください。
- 「ダウンロード設定」を「実行しない」に変えた場合でも、ダウンロードの予定があるときはスケジュールや内容の確認ができます。
- ダウンロードは、1回成功すれば以後同じダウンロード電波が来ても実行しなくなります。

設定を初期化するとき

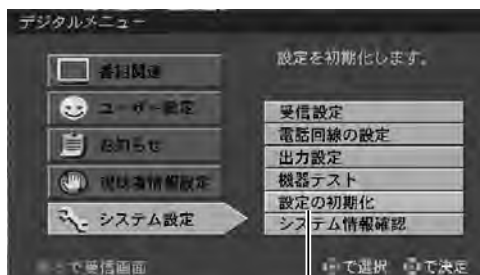
誤った設定をして放送が受信できなくなったときなど、デジタル放送の各種設定を初期化することができます。

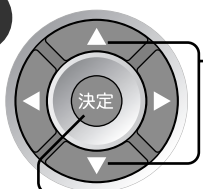
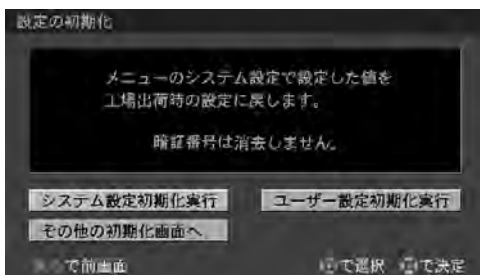
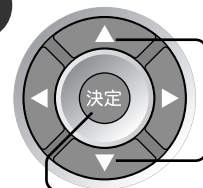
「設定の初期化」各種を行ったときに初期化される設定内容については 294ページをご覧ください。

「設定の初期化」画面を出す

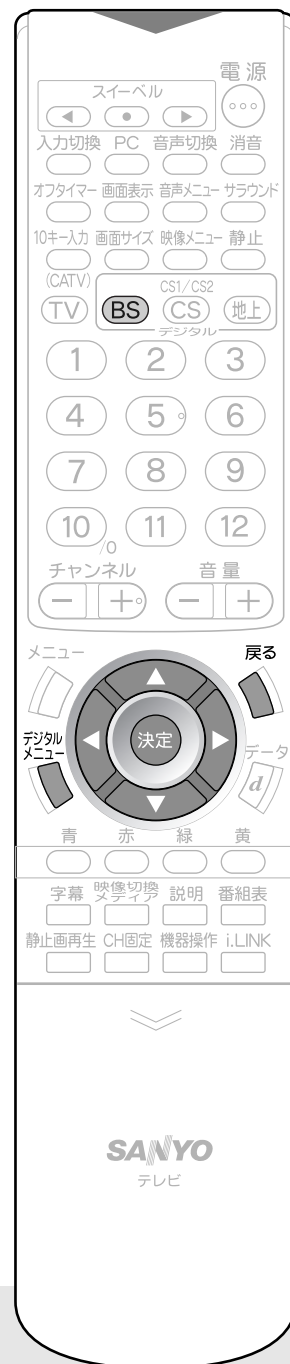
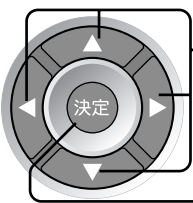
1 BS 押して、デジタル放送の画面に切り換える

- どのデジタル放送でもかまいません。

2 デジタルメニュー 押す

- デジタルメニューが表示されます。

デジタルメニュー画面

「設定の初期化」を選んで決定

3 押して、「システム設定」を選び、決定を押す

設定の初期化　画面

4 押して、「設定の初期化」を選び、決定を押す

- 「設定の初期化」の画面が表示されます。

ご注意

- 「設定の初期化」で初期化されるのはデジタルメニュー機能で行われた設定に限られます。メニュー機能で行われた地上アナログ放送のチャンネル設定などは初期化されません。
- ダウンロードによって更新された機能は初期化されません。
- 初期化を行うと設定やデータが取り消されます。必要な場合以外はむやみに初期化しないでください。
- 初期化後、デジタル放送をご覧になるときは、必要な設定を正しく行ってください。

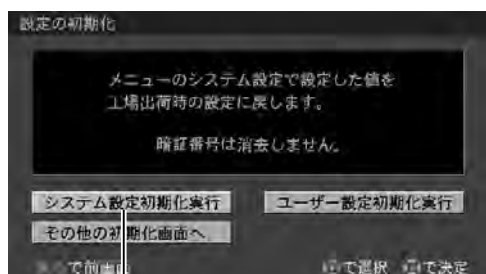
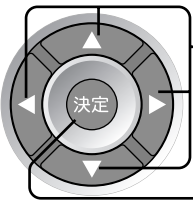
システム設定初期化実行

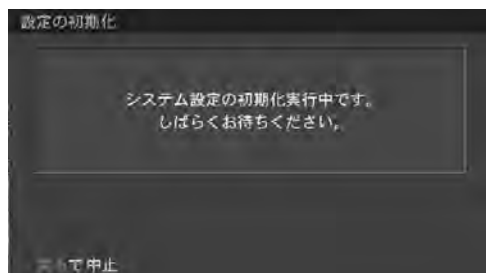
「システム設定初期化実行」を行うと、デジタルメニューの「システム設定」の中にある設定などを工場出荷時に戻します。

❶ ☞290ページの❶～❹を行い、「設定の初期化」画面を出す

押して、「システム設定初期化実行」を選び、

決定を押す

- 「システム設定の初期化実行中です。しばらくお待ちください。」と数秒表示され、初期化が実行されます。
- 初期化が終わると「システム設定を初期化しました。」と表示され、「設定の初期化」画面に戻ります。

設定の初期化　画面

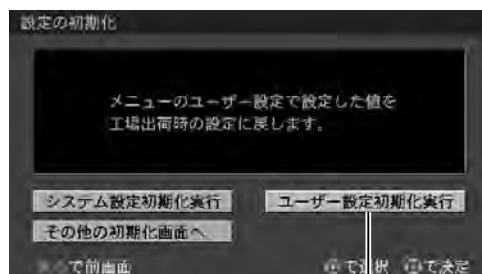
「システム設定初期化実行」を選んで決定

ユーザー設定初期化実行

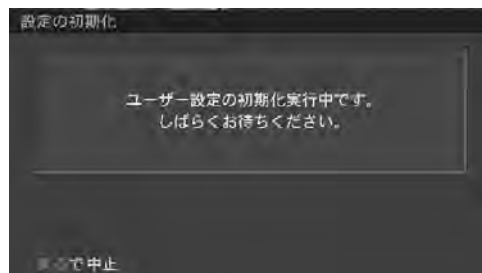
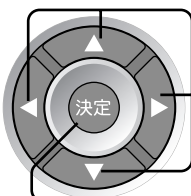
「ユーザー設定初期化実行」を行うと、デジタルメニューの「ユーザー設定」の中にある設定などを工場出荷時に戻します。

❶ ☞290ページの❶～❹を行い、「設定の初期化」画面を出す

押して、「ユーザー設定初期化実行」を選び、

決定を押す

- 「ユーザー設定の初期化実行中です。しばらくお待ちください。」と数秒表示され、初期化が実行されます。
- 初期化が終わると「ユーザー設定を初期化しました。」と表示され、「設定の初期化」画面に戻ります。

設定の初期化　画面

「ユーザー設定初期化実行」を選んで決定

設定を初期化するとき（つづき）

その他の初期化を行うとき

その他の初期化を行うときは、次のようにして「その他の設定値初期化」画面を出します。

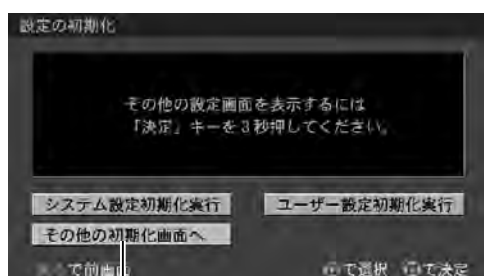
❶ ☞290ページの❶～❹を行い、「設定の初期化」画面を出す

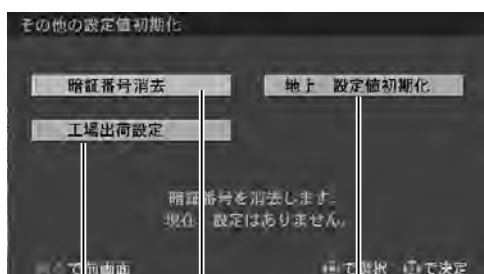
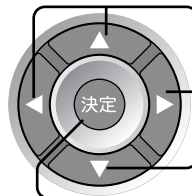
❷

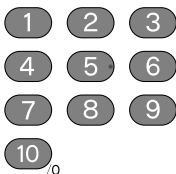
押して、「その他の初期化画面へ」を選び、

決定を3秒以上押す

- 決定ボタンは3秒以上押してください。
- 「その他の設定値初期化」画面が表示されます。

設定の初期化　画面

「その他の初期化画面へ」を選んで決定を3秒押す

その他の設定値初期化　画面

工場出荷設定

地上　設定値初期化

暗証番号消去

暗証番号消去

設定した暗証番号を消去することができます。

❶ ☞左記の❶～❷を行い、「その他の設定値初期化」画面を出す

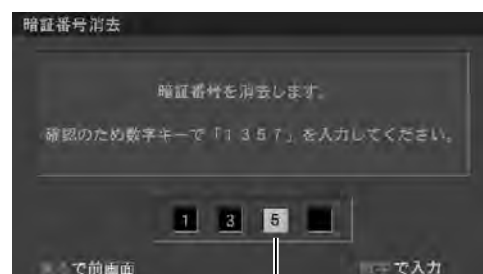
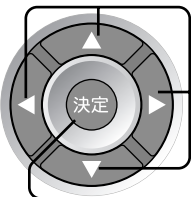
❷ 押して、「暗証番号消去」を選び、

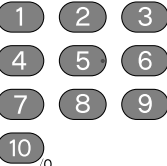
決定を押す

- 「暗証番号消去」の画面に変わります。

❸ 1〜10ボタンを押して、「1357」と入力する

- 初期化が終わると「暗証番号を消去しました。」と表示され、「その他の設定値初期化」画面に戻ります。

暗証番号消去　画面

1～10ボタンで「1357」と入力する

各種を行ったときに初期化される設定内容については ☞294ページをご覧ください。

地上設定値初期化

地上デジタル放送の受信に関連する設定だけを初期化することができます。

1 ☞292ページ左の❶～❷を行い、「その他の設定値初期化」画面を出す

2

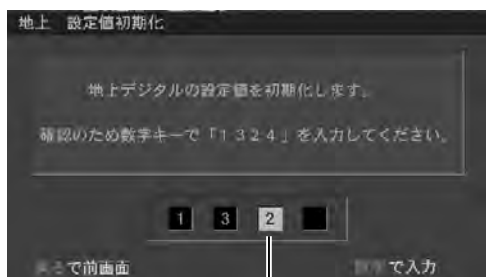
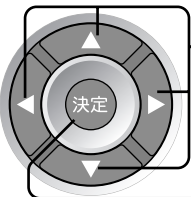
押して、「地上設定値初期化」を選び、

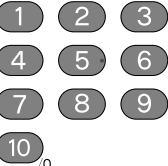
決定を押す

- 「地上　設定値初期化」の画面に変わります。

3 1～10ボタンを押して、「1324」と入力する

- 「地上デジタルの設定値を初期化しています。しばらくお待ちください。」と数秒表示され、初期化が実行されます。
- 初期化が終わると「地上デジタルの設定値を初期化しました。」と表示されます。

地上　設定値初期化　画面

1～10ボタンで「1324」と入力する

4 テレビ本体の電源スイッチを一度切って、もう一度入れる

工場出荷設定

デジタルメニューで行った各種の設定や、デジタル受信部分に保存されているデータを取消し、工場出荷状態に初期化することができます。

1 ☞292ページ左の❶～❷を行い、「その他の設定値初期化」画面を出す

2

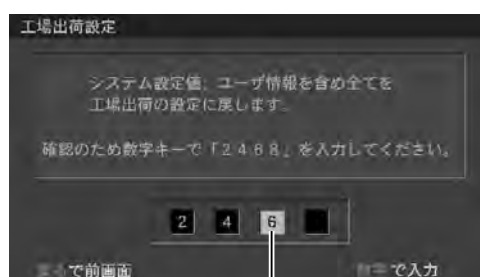
押して、「工場出荷設定」を選び、

決定を押す

- 「工場出荷設定」の画面に変わります。

3 1～10ボタンを押して、「2468」と入力する

- 「すべての設定値を工場出荷に戻しています。しばらくお待ちください。」と数秒表示され、初期化が実行されます。
- 初期化が終わると「すべての設定値を工場出荷に戻しました。」と表示されます。

工場出荷設定　画面

1～10ボタンで「2468」と入力する

4 テレビ本体の電源スイッチを一度切って、もう一度入れる

設定を初期化するとき（つづき）

「設定の初期化」各種で初期化される設定内容

種類によって下記のように初期化されます。

「ユーザー設定初期化実行」で初期化される設定

- デジタルメニュー「ユーザー設定」内の各種メニューで設定した内容
- デジタルメニュー「番組関連」内、「ジャンル検索」で設定した内容
- デジタルメニュー「視聴者情報設定」内、「居住地域設定」で設定した内容

「システム設定初期化実行」で初期化される設定

- デジタルメニュー「システム設定」内の各種メニューで設定した内容
- デジタルメニュー「視聴者情報設定」内、「通信設定（ISP,LAN設定）」で設定した内容

「暗証番号消去」で消去される設定

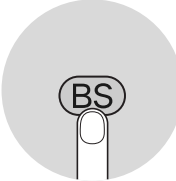
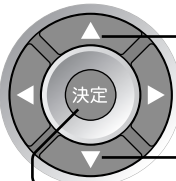
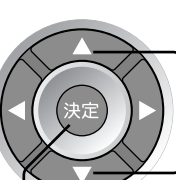
- デジタルメニュー「視聴者情報設定」内、「暗証番号設定」で設定した暗証番号

「地上　設定値初期化」で初期化される設定

- 地上デジタル放送のチャンネル設定
- デジタルメニュー「ユーザー設定」内、「チャンネル設定」で設定した内容
  （地上デジタル放送のチャンネル設定のみ初期化）
- デジタルメニュー「システム設定」内、「受信設定」の「地上受信設定（詳細）」で設定した内容
- デジタルメニュー「システム設定」内、「受信設定」の「地上受信設定」で設定した内容
  （受信する/受信しない）

「工場出荷設定」で初期化される設定

- デジタルメニューの各種メニューで設定した内容
- メール、予約番組一覧、番組購入一覧など本機の使用中に取得・蓄積したデータの消去
- データ放送の双方向サービスで取得・蓄積した得点・ポイント、会員登録の個人情報などの消去

（デジタル受信部分を工場出荷時の状態に戻します）

ご注意

- 本機を譲渡したり廃棄するときは「工場出荷設定」を行い、本機のメモリーに記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報（個人情報）を消去することをおすすめします。

機器のテストをするとき

B-CASカード（ICカード）、通信用の内蔵モデムをテストできます。

「機器テスト」の手順

1

押して、デジタル放送の画面に切り換える

- どのデジタル放送でもかまいません。

2

押す

- デジタルメニューが表示されます。

3

押して、「システム設定」を選び、

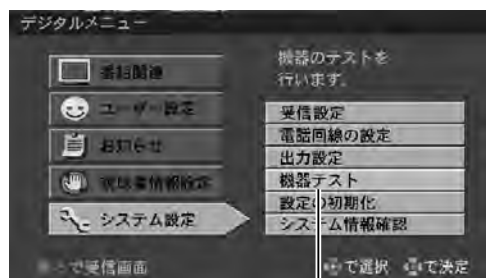
決定を押す

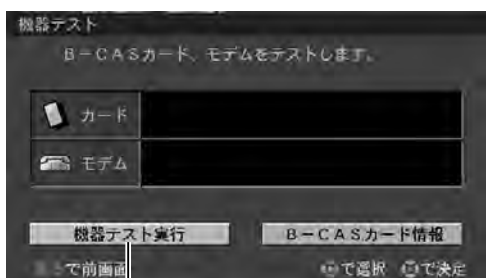
4

押して、「機器テスト」を選び、

決定を押す

- 「機器テスト」の画面が表示されます。

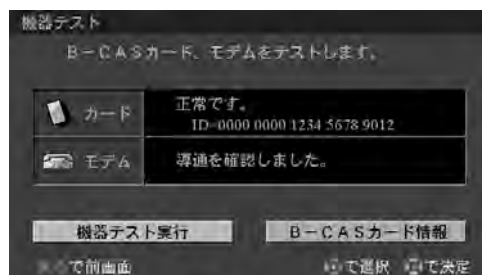
デジタルメニュー画面

「機器テスト」を選んで決定

機器テスト　画面

「機器テスト実行」を選んで決定

機器テストをするとき

押して、「機器テスト実行」を選び、

決定を押す

- 機器テストが実行されます。モデムのテストには数秒かかります。正常に動作する状態ならば「正常です。」と表示されます。

お知らせ

モデムのテストは、ダイヤルトーン（受話器を上げたときにツーと聞こえる音）の検出を確認するもので、トーンやパルスを識別するものではありません。

B-CASカードの情報を見るとき

押して、「B-CASカード情報」を選び、

決定を押す

- 本機のB-CASカード挿入口に差し込んでいる付属のB-CASカードのＩＤ番号が画面に表示されます。

保護機能が働いたとき

本機には内蔵した冷却ファンに異常が発生したときや内部の温度が上昇したとき、故障を防ぐために自動で電源を切る機能などがあります。

冷却ファンに異常が起きたとき

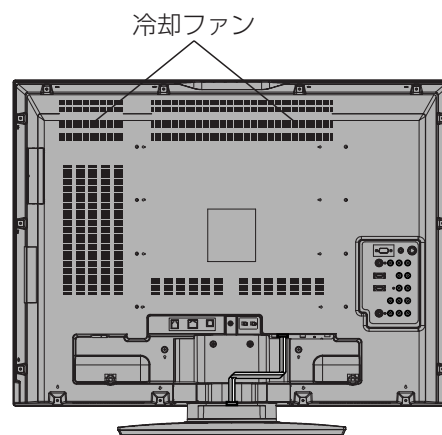
■メッセージを表示したあと自動で電源が切れます。

本機は内部を冷却するためにファンを内蔵しています。ファンは内部温度によって回転速度が変わります。動作中はファンの回転音と風切り音が発生します。
異物の挿入や故障などが原因で冷却ファンが動作しない状況で本機内部の温度が一定以上に上昇したときは、画面に右のようなメッセージを約10秒間表示したあと、保護のため自動で電源が切れます。

内部ファン異常です
セットの電源を自動的に切ります

赤で約10秒間表示後、電源オフ

■内部ファン異常が起きるときは

冷却ファンの回転を妨げる異物がないか点検し、液晶テレビ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口(314ページ)にご連絡ください。お客さまによる分解・修理は危険ですので絶対におやめください。
冷却ファンの状態は、メニューの「お知らせ」で確認できます。(「お知らせ」の見かたは右ページをご覧ください)

内部温度が異常に上昇したとき

■メッセージを表示したあと自動で電源が切れます。

冷却ファンの異常やそのほかの原因で、内部が一定温度を超えると、右のようなメッセージを約10秒間表示したあと、保護のため自動で電源が切れます。

■内部温度異常が起きるときは

内部温度異常による自動オフが働くときは、次のような理由が考えられます。点検し、液晶テレビ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口(314ページ)にご連絡ください。お客さまによる分解・修理は危険ですので絶対におやめください。
また、壁などに設置している場合の、お客さまによる取り外しや移動は危険ですので絶対におやめください。

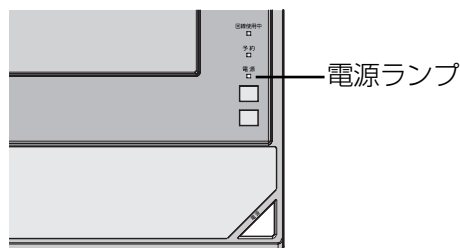
<内部温度異常の原因>

- 冷却ファンの異常(回転を妨げる異物、故障など)
- 通風孔をふさぐような設置方法
  (テーブルクロスなどをかける、狭い所での使用など。11ページ参照)
- 使用温度の範囲を超えた場所での使用(直射日光が当たる場所や熱器具の近く、暖房の吹き出し口の近くなど)

■電源を入れるときは

液晶テレビが冷えるのを待って、リモコンの電源ボタンまたは液晶テレビ本体の電源スイッチで電源を入れることができます。ただし内部温度が高いままのときは再び電源が切れます。

保護機能／電源ランプの点滅

本機の電源ランプは、液晶テレビ本体の
電源状態を知らせるほか、内部温度上昇などの
異常を知らせる働きをします。

■電源ランプが点滅して電源が入らなくなったら

電源ランプが点滅して、リモコンの電源ボタンや液晶テレビ本体の電源スイッチで電源が入らないときは、本機の保護機能が働いています。液晶テレビ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口(☞314ページ)にご連絡ください。お客さまによる分解・修理は危険ですので絶対におやめください。

■保護機能が働いたあとで電源を入れるには

電源ランプが点滅し、リモコンの電源ボタンや液晶テレビ本体の電源スイッチで電源が入らないときは、電源プラグを一度コンセントから抜いて、再び差し込むと電源が入るようになります。ただし、何らかの異常が発生して保護機能が働いたと考えられますので、すぐにお買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口(☞314ページ)にご連絡ください。

■電源ランプについて

本機は内部温度上昇などの異常個所を自己診断し、電源ランプの点滅で知らせます。
異常個所によって点滅の色と回数が異なります。

メニューの「お知らせ」機能

メニューの「お知らせ」機能を使うと、本機の内部温度や冷却ファンの状態、映像信号の種類などを知ることができます。

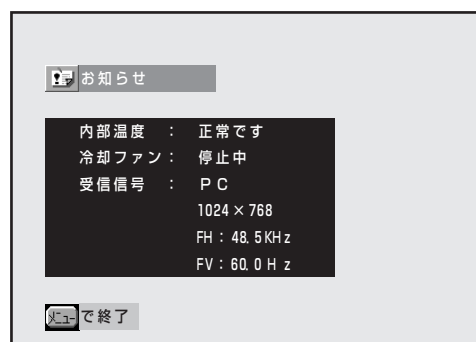
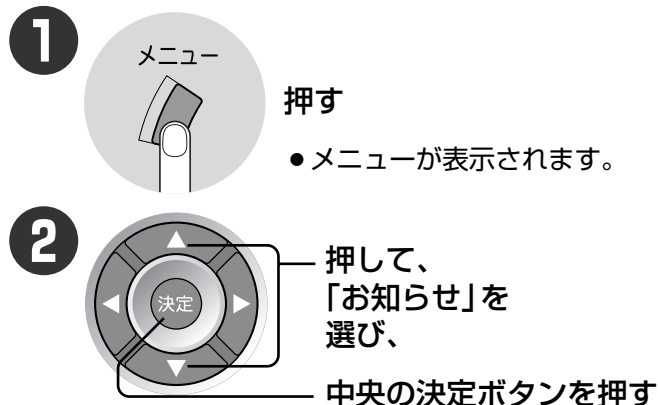
1

押す

●メニューが表示されます。

2

押して、「お知らせ」を選び、

中央の決定ボタンを押す

「お知らせ」の画面

●「お知らせ」の画面が表示されます。
●内部温度に異常があるときは「異常です」と表示されます。
●そのときの冷却ファンの動作状態が表示されます。
●受信信号には、映している信号の種類が表示されます。
●「お知らせ」表示を消すときはメニューボタンを押します。

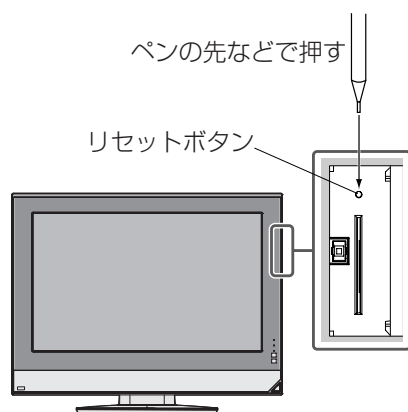
■「異常です」と表示されたとき

内部温度が「異常です」と表示されたときは、液晶テレビ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または最寄りの修理相談窓口(☞314ページ)にご連絡ください。お客さまによる分解・修理は危険ですので絶対におやめください。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼する前にご確認ください。

音声や画面が変だ/操作を受け付けなくなった

リセットのしかた

本機を制御しているマイコンに対する、外部からの雑音や妨害ノイズの影響で、音声や画面に異常が生じたり、操作を受け付けなくなることがあります。

このようなときは、右側面のとびら内にあるリセットボタンをペンの先などで押してリセットを実行してみてください。

それでも改善されないときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて数秒放置したあと、再び電源プラグを差し込み電源スイッチを入れて動作を確認してください。

これらの症状がたびたび発生するような場合は、お買い上げの販売店または当社お客さまご相談窓口へお問い合わせください。

ご注意ください。故障ではありません。

症　状	原因と処理	ページ
映像の跡が残る	液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を変えたときに残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。映す映像を変えたり、電源を切っておくと回復します。	
	本機のスクリーンセーバー機能をお試しください。	69～70
映像が尾を引くように映る	冬期など、液晶テレビが非常に冷えている状態で映像を映したとき、映像が尾を引く残像のような現象が見られることがあります。これは、低温では応答速度が鈍るという、液晶特有の性質によって起こるもので、故障ではありません。液晶パネルが暖まってくると正常に戻りますので、映像を映したまましばらくお待ちください。	
画面上に周囲と異なる点がある	液晶パネルは非常に高精度の技術で製造されており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が含まれる場合があります。故障ではありません。	
電源を入れてもなかなか映像が出ない	しばらく電源を切った状態から電源を入れたときは映像が出るまでに時間がかかることがあります。	
	入力画面によっては映像が出るまでに時間がかかるものがあります。	184
画面やチャンネルを切り換えたときに一瞬黒い画面が映る	画面やチャンネルを切り換えた瞬間に不安定な映像が映るのを防ぐため、ごく短時間、映像を映さないようにしています。	
異音がする	本機は内部を冷却するためにファンを内蔵しています。ファンは必要に応じて回転し、温度によって回転速度が変わります。ファンの回転中はファンの回転音と風切り音が発生します。	296
音が急に大きくなる	モノラル音声の番組中にステレオ音声のコマーシャルが入ったときなどに起こります。故障ではありません。	34
時々「ピシッ」と音がする	温度変化によってキャビネットなどの機構部品がわずかに伸び縮みして、音を発する場合があります。画面や音声に異常がなければ故障ではありません。	
画面が暗い	節約モードを働かせると画面が少し暗くなります。	62
操作中なのに画面表示が消える	液晶ディスプレイパネルを保護するため、本機の画面表示は数秒～約１分で消えるようになっています。（ただしデジタル放送関連の画面表示は消えません）	46
雨の日、映りが悪くなった（BSデジタル放送や110度CSデジタル放送のとき）	激しい雨のときや厚い雨雲があるときは、衛星から地上に届く電波が弱まって音声が途切れたり画面がモザイク状になるなど映りが悪くなります。天候が回復すればもとの受信状態に戻ります。お住いの地域の天候が良好でも、衛星に向けて電波を送信する放送局側の天候が悪いときは、映りが悪くなる場合があります。放送によっては降雨対応放送に切り換わります。	
デジタル放送が映らない	2004年4月以後は、B-CASカードを挿入しないとBS/地上デジタル放送が映らなくなります。B-CASカードを挿入してご覧ください。	26
デジタル放送を録画したビデオのダビングができない	2004年4月以後、デジタル放送には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。DVDレコーダーなどのデジタル録画機器では録画・複製・移動などができないことがあります。詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどでご確認ください。	148

故障かなと思ったら（つづき）

こんなときは、ここを確認してください。

症　状	原因と処理	ページ
電源が入らない（絵も音も出ない）	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源スイッチを入れてください。	☞215
	ビデオの画面になっていませんか。テレビの画面に切り換えてください。	☞31
	電源ランプが点滅している場合は、何らかの異常が生じ本機の保護機能が働いています。	☞297
リモコンが働かない	乾電池の入れかたは正しいですか。消耗していませんか。	☞23
	液晶テレビ本体のリモコン受光部に蛍光灯などの強い照明光が当たっていると、働かないことがあります。光が当たらないよう置きかたを変えてください。	
映りが悪い	アンテナ線が端子からはずれてませんか。アンテナ線のしん線と網線が接触していませんか。アンテナやアンテナ線が破損していませんか。付属の同軸ケーブルを使って接続してください。	☞200 ☞204
	チャンネル設定（プリセット）がずれていませんか。	☞216
画面に斑点が出る	自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、電気掃除機、ヘアードライヤーなどからの妨害が考えられます。アンテナやアンテナ線、テレビ本体をこれらからできるだけ離してください。	
二重三重に映る（ゴースト障害）	山や建物からの反射電波の影響が考えられます。強風などでアンテナの向きがずれて起こることもあります。アンテナの位置、高さ、方向などを変えてみてください。	
	GR（ゴーストリダクション）機能をお試しください。	☞228
色のついた模様が出る	他のテレビやラジオ、パソコン、ファクシミリから出る妨害電波の影響が考えられます。それらの電源を切ってみてください。また無線局などからの電波が混信して起こることもあります。	
色が消える	色あいや色の濃さの調節がずれていませんか。	☞50
	チャンネル設定（プリセット）がずれていませんか。微調整してみてください。	☞226
雪が降ったような画面になる（スノーノイズ）	アンテナ線が正しく接続されていますか。線が切れたり、はずれたりしていませんか。アンテナの方向が変わったり、破損したりしていませんか。	☞200 ☞204
－／＋ボタンで飛び越すチャンネルがある	受信チャンネルの設定で「スキップ設定」が「する」になっているチャンネルは飛び越します。	☞227
ビデオ画面が乱れる	本機とビデオの間で信号のループができると発振して画面が乱れます。	☞142
音が出ない	ヘッドホンを差し込んでいませんか。抜いてください。音量を上げてみてください。	☞42
	ビデオなど他の機器の音が出ない場合は、音声の接続が正しいか確認してください。	☞138
操作を受け付けなくなったとき	本機を制御しているマイコンに対する外部からの雑音や妨害ノイズの影響で、操作を受け付けなくなることがあります。側面のとびら内にあるリセットボタンをペンの先などで押してリセットを実行してみてください。それでも改善されないときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて数秒放置したあと、再び電源プラグを差し込み電源スイッチを入れて動作を確認してください。	☞298
ワイド画面の上下が欠ける	ピッタリワイドは映像を上下にも拡大しますので文字などが欠けることがあります。画面位置（上下）機能や画面縦サイズ調整機能をお試しください。また画面サイズを切り換えても映像ソフトによっては黒い帯が残ることがあります。上下の帯に対しては画面縦サイズ調整機能をお試しください。	☞58
人物が太って映る	画面サイズボタンで画面サイズを切り換えてみてください。	☞38

こんなときは、ここを確認してください。(つづき)

症　状	原因と処理	ページ
いつも同じ入力画面から始まる	拡張機能設定メニューの「ビデオ入力スタート」を設定していませんか。	66
操作していないのに電源が切れる	お買い上げ時の状態は「放送終了オフ」機能が働くようになっており、映していた地上アナログ放送が終了すると約15分後に自動で電源が切れるようになっています。拡張機能設定メニューの「無操作オフ」機能が働くよう設定されているときは3時間操作がないと自動で電源が切れます	65
パソコンの画像がうまく映らない	パソコンの接続は正しいですか。	182
	パソコン用ケーブルのピンが曲がっていませんか。	
	パソコンの電源は入っていますか。	
	パソコンが省電力状態になっていませんか。キーボードのキーのどれかを押して見てください。またマウスを動かして見てください。	
	パソコンからの信号がない場合は「PCからの信号がありません」と表示されます。	
	本機で対応できる周波数の範囲外の信号を入力している場合は「対応範囲外の信号です」と表示されます。	185
	映りが悪いときはパソコン画像の調整を行ってみてください。	188〜191
	本機で映すパソコンの画像は、各システムモードの入力信号を本機液晶ディスプレイパネルのフォーマットに変換して映すものです。システムモードによって拡大されるものや間引きされるものがありますのでくっきり映らない場合があります。	
パソコンの音が出ない	パソコンの音声の接続は正しいですか。	182
	パソコン側で音量を小さくしぼっていたりミュート（消音）にしていませんか。	
画面サイズボタンが働かない	デジタル放送の画面では画面サイズボタンが働かない場合があります。	38
	S2映像やD4映像入力端子から、画面サイズの切り換え信号を含む映像を入力したときは、画面サイズが固定され、画面サイズボタンの働きが制限されます。	39
映像の位置が動く	「表示位置移動」が「する」に設定されているときは、一定時間ごとに映像の位置が移動します。	70

故障かなと思ったら（つづき）

BSデジタル放送、110度CSデジタル放送について

症　状	原因と対応	参照ページ
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を受信できない	BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子の接続を確認してください。	202 204
	BS・CSコンバータ電源が「切」のままになっていませんか。「切」だと接続したBS・110度CSデジタルアンテナへ電源が供給されず、受信できません。「入」に設定してください。（マンションなどの共同受信では「切」のまま受信できます）	232
	BS・CSコンバータ電源がショートすると、保護のため自動でBS・CSコンバータ電源が「切」になります。原因を解決した上で「入」に再設定してください。	233
	アンテナや受信設備の性能によっては十分な受信が得られないことがあります。BS・110度CSデジタルアンテナのご使用をお勧めします。	202
	アンテナ設定画面で受信レベルが表示されているのに放送が受信されないときは、衛星周波数の再設定を行うと受信できることがあります。	234
110度CSデジタル放送を受信できない	110度CSデジタル放送の受信には、110度CSデジタル放送に対応したBS・110度CSデジタルアンテナが必要です。BSデジタル放送のみに対応したBSアンテナでは受信できません。	202
	ブースターを使用したりアンテナ線の分配・分岐をしている場合は、110度CSデジタル放送の広帯域に対応した機器が必要になります。	202
NHKを選局したときにメッセージが出る	受信確認のメッセージです。B-CASカードのユーザー登録はお済みですか？詳しくは付属のパンフレットをご覧ください。	
データ放送や番組ガイドが表示されるまでに時間がかかる	データ取得中のためです。多少の時間がかかることがあります。	
映像や音声が出なくなったりまたは時々出なくなる 映像が静止したりまたは時々静止する	アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか、またはアンテナ線の劣化などが考えられます。アンテナを調整してください。	
	着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積ると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどい場合には、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。	
有料放送の視聴ができない	B-CASカードは正しく挿入されていますか。 →B-CASカードを正しく挿入してください。	26
	有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 →視聴契約手続きをしてください。	
	電話回線の接続や設定は正しいですか。 →電話回線を接続し、「電話設定」を正しく行ってください。	206、236
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	本機とアンテナを接続するとき、110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。 →110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよい110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	202
急に画質や音質が悪くなった	降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	

地上デジタル放送について

症　状	原因と対応	参照ページ
地上デジタル放送を受信できない	チャンネル設定は行いましたか？（お買い上げ時は設定されていません）	☞250
	お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されていますか？	☞318
	UHFアンテナは設置されていますか？　向き・接続は正しいですか？	
	お使いのUHFアンテナの受信帯域が地上デジタル放送の帯域と合っていますか？合わない場合は交換が必要です。	
	アンテナからの伝送経路（ブースター、混合器、分配器、フィルター、ケーブルなど）の帯域や性能が適さない場合は交換が必要になります。	
	デジタル放送の特性として受信レベルが一定以下になると急に受信できなくなります。また電界強度が十分でもノイズが多いと受信できません。	
チャンネル設定ができない	居住地域設定が正しく設定されていますか？	☞248
	アンテナや伝送経路の状態が、地上デジタル放送に合っていますか？	☞318
	スキャン後のチャンネル確認画面やチャンネル設定画面に表示されるチャンネル番号で、水色で表示されるものは、チャンネルの割り当てはありますがまだ開局していないチャンネルです。	☞260
放送の映り具合が変わった	地上デジタル放送は小出力の電波で放送を開始し、他の放送への影響を確認しながら電波の出力を上げていく計画といわれています。電波の出力を上げていく過程で地上デジタル放送、地上アナログ放送で受信の状況が変わる場合があります。	☞318
番組表や番組詳細が表示されない、データ取得を促すメッセージが出る	地上デジタル放送はBS・110度CSデジタル放送とは異なり、そのとき受信しているチャンネルのデータしか取得できません。このため、本機がスタンバイ状態のときにチャンネルをサーチしてデータを蓄積するしくみにしていますが、最新のデータによる番組表や番組詳細を表示するにはデータの取得・更新が必要になります。そのような場合は「(黄）ボタンでデータ取得」などのメッセージを出すようにしています。画面の指示にしたがって操作するとデータを取得・更新します。データの取得中は背景の映像や音が消えます。またデータ取得には時間がかかる場合があります。	☞83、90 ☞112
	デジタルメニューの「番組表データ取得設定」で、自動でチャンネルを切り換えてデータ取得するように設定できます	☞119

デジタル放送について（共通）

症　状	原因と対応	参照ページ
チャンネルの切り換えができない	CH固定ボタンでチャンネルを固定したとき、番組予約の実行中、購入した有料番組の受信中などのときはチャンネルが固定され、他のチャンネルに切り換えられなくなります。	☞150
データ放送の双方向サービスが利用できない	本機を電話回線に正しく接続していますか？	☞206
	電話回線の設定は正しいですか？	☞236
	放送局によっては会員登録が必要な場合があります。登録はお済みですか？	☞89
ビデオコントローラーで予約録画ができない	ビデオコントローラーの接続や設定は正しいですか？	☞212、242
	ビデオのリモコン受光部位置をお確かめの上、ビデオコントローラーの発光部がビデオのリモコン受光部を向くように設置してください。	☞212
	あらかじめ設定されているメーカーのビデオでも動作しない製品があります。	☞242
電源を切っているのに内部からカチッという音がする、予約ランプがつく	デジタル放送の番組データなどを送受信するため、内部の回路が自動的に動作することがあります。	
	録画予約をした場合は予約の実行と同時に内部の回路が自動的に動作します。	☞92

故障かなと思ったら（つづき）

衛星（BS／110度CS）デジタル放送のとき（つづき）

症　状	原因と処理	ページ
本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る	一部の電話機やファクシミリで付属の電話線分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →付属の電話線分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	236
電話機にノイズ（雑音）が入る	一部の電話機やファクシミリで付属の電話線分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →市販されている自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	236
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。 再度設定をやり直してください。	287
操作できなくなった場合は…	右側面のとびら内にあるリセットボタンをペンの先などで押してリセットを実行してください。それでも改善されないときは液晶テレビ本体の電源スイッチを一度切り、電源プラグをコンセントから抜いて数秒放置したあと、再び電源プラグを差し込み電源スイッチを入れて動作を確認してください。	298

接続機器/の操作をするとき

症　状	原因と処理	ページ
i.LINK機器で録画できない、再生映像が映らない	本機に対応していないi.LINK対応機器を接続していませんか。	155
	i.LINK機器の接続は正しいですか。確認してください。	155
	数台のi.LINK機器を接続している場合、録画や再生をしようとしているi.LINK機器を選択しましたか。	96
	3台以上のi.LINK機器を接続している場合、録画や再生をしようとしているi.LINK機器をi.LINK接続機器設定で登録しましたか。 →i.LINK接続機器設定で登録を確認し、登録されていなかった場合は登録してお使いください。	158

ご注意とお願い

- 本機を利用して貴重な番組の録画などを行うときは、事前に試し録りをして、接続や設定が正しいか確認してください。
- 本機の機能や性能、不具合などによって、有料放送の受信や番組の購入、または録画の機会を逸した場合の保証についてはご容赦ください。
- 本機の機能や性能、不具合などによって、データ放送の双方向サービスにおいて、送信の機会を逸した場合の保証についてはご容赦ください。

デジタルカメラやSDメモリーカードの静止画再生のとき

症　状	原因と処理	ページ
デジタルカメラの画像が再生できない	デジタルカメラのつなぎかたは正しいですか。デジカメ端子へしっかり奥まで差し込んでください。	☞168
	デジタルカメラはパソコン接続モードにしてください。パソコン接続モードの中にも設定モードがある場合は、「カードリーダー」モードなど、デジタルカメラの画像をパソコンへ取り込むモードにしてください。	☞169
	デジタルカメラの中に複数のメモリーカードがある場合や、複数のフォルダがある場合は画面で選択してください。	☞170
SDメモリーカードの画像が再生できない	SDメモリーカードの入れかたは正しいですか。しっかり奥まで差し込んでください。	☞177
	SDメモリーカードに画像が正しく記録されていますか。	
	SDメモリーカードの中に複数のフォルダがある場合は画面で選択してください。	☞170
静止画像再生ができない	デジタル放送の画面に切り換えたうえで、リモコンの静止画再生ボタンを押してみてください。	☞178
	画像が正しく記録されていますか。	
	画像は本機で再生できる記録形式ですか。	
	記録形式などについてはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。	
	デジタル放送の予約実行中やチャンネル固定中は静止画再生できません。	
	本機では動画は再生できません。	
	静止画再生画面では音声は出ません。	
表示画面の大きさが異なる	画像の解像度（データ量の多さ）によってシングル表示やスライド表示の画面の大きさは異なります。	
画像がなかなか表示されない	画像を再生するまでには画像のデータ量に応じた読み込み時間がかかります。	
スライド再生で画像が切り換わらない	「手動再生」にしていませんか。「手動再生」の場合は自動では切り換わりません。	☞173
	「スライド表示設定」の静止画切換時間を長く設定していませんか。	☞175

メッセージ表示一覧（デジタル放送）

デジタル放送受信時は次のようなメッセージが画面に表示されることがあります。
（メッセージの種類は下記以外にもあります。また語句や表現が変更される場合があります。）

メッセージ	表示される状況	参照ページ
データが取得されていません。	地上デジタル放送で選択した番組表、番組詳細、項目記述などのデータが取得されていないときに表示されます。（黄）ボタンを押すなど、画面の指示にしたがってデータ取得すると表示できます。	90
現在、地上を受信しない設定になっています。	デジタルメニュー「システム設定」内の「受信設定」で、「地上受信設定」が「受信しない」に設定された状態で、リモコンの「地上」ボタンを押したときに表示されます。	258
居住地域が設定されていません！！	居住地域の設定が済んでいないため、地上デジタル放送のチャンネル設定ができません。居住地域を正しく設定してください。	248
地上のチャンネルリストがありません！！	地上デジタル放送のチャンネル設定が済んでいません。スキャンを実行しチャンネル設定を行ってください。	250
チャンネルが重複しています。	地上デジタル放送で同じ番号のチャンネルが重複しています。どちらかを選んで選局できます。	82
アンテナ接続が異常のためコンバータ電源を切にしました。接続をもう一度確認してください。【E209】	BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子がショートし、保護のため「BS・CSコンバータ電源」が「切」になりました。接続を確認してください。	233
信号が受信できません。【E202】	アンテナ線が外れている、降雨などで受信状態が悪いときに表示します。	
B-CASカードの交換が必要です。カスタマーセンターへ連絡してください。	B-CASカードの故障が考えられます。	319
受信レベルが低下しているため、低階層用の映像・音声に切換えます。【E201】	BS・110度CSデジタル放送の、低階層用の信号を送信しているチャンネル（ＮＨＫなど）において、降雨などにより受信レベルが低下したときに表示します。	299
現在、放送されていません。【E203】	放送休止中のときに表示します。	
B-CASカードが正しく挿入されていることを確認してください。	スクランブルがかかった放送で、視聴にB-CASカードが必要な番組にもかかわらず、B-CASカードが挿入されていないときに表示します。	98
このチャンネルは契約されていません。カスタマーセンターへご連絡ください。	スクランブルがかかった放送で、契約していないために番組を提示できないときに表示します。	98
受付時間を過ぎていますので購入できません。	PPV（ペイ・パー・ビュー）番組で、すでに購入期間が終了している（購入禁止期間）ため、番組を購入できないときに表示します。	99
まもなく予約番組に切換えます。	予約開始時刻の10秒前に表示します。（視聴中のとき）	
まもなく予約番組が始まります。B-CASカードを挿入してください。	B-CASカードが挿入されていない状態で、予約開始時刻の10秒前に表示します。（視聴中のとき）	
番組開始時間が変更されたため、予約を破棄しました。	予約番組の開始時刻に、開始時刻遅延や消失などが原因でその番組が放送されておらず、予約を破棄したときに表示します。	
信号を受信できないため、予約を破棄しました。	アンテナ線が外れている、降雨などで受信状態が悪く、予約を破棄したときに表示します。	
このキーには、プリセットの設定がされていません。	プリセット設定がされていない1～１２キーを押したときに表示します。	77、79

メッセージ	表示される状況	参照ページ
メモリーカードが挿入されていません。メモリーカードを挿入してください。	デジタルカメラが接続されていない状態（接続されていてもデジタルカメラにメモリーカードが装着されていない場合も含む）や、SDメモリーカードが挿入されていない状態で静止画再生ボタンを押したときに表示されます。接続やメモリーカードの挿入を確認して静止画再生ボタンを押してください。	☞169
メモリーカードを認識することができません。メモリーカードをご確認ください。	デジタルカメラ内部のメモリーカードや、SDメモリーカード挿入口に差し込んだSDメモリーカードを認識することができなくなったときに表示されます。デジタルカメラやSDメモリーカードを確認してください。	☞169
メモリーカードに異常が発生しました。メモリーカードをご確認ください。	デジタルカメラ内部のメモリーカードや、SDメモリーカード挿入口に差し込んだSDメモリーカードからデータを読み出す際、メモリーカード自体にエラーが発生したときに表示されます。	
ファイル異常が発生しました。メモリーカードとファイルをご確認ください。	デジタルカメラ内部のメモリーカードや、SDメモリーカード挿入口に差し込んだSDメモリーカードからデータを読み出す際、メモリーカード内のファイルにエラーが発生したときに表示されます。	
サポート外のエラーが発生しました。メモリーカードをご確認ください。	デジタルカメラ内部のメモリーカードや、SDメモリーカード挿入口に差し込んだSDメモリーカード内のファイルが、本機が対応していない画像ファイルであったり、ファイルのデータ量が大きすぎたりしたときに表示されます。	
再生できる静止画が記録されていません。メモリーカードをご確認ください。	デジタルカメラ内部のメモリーカードや、SDメモリーカード挿入口に差し込んだSDメモリーカード内に本機が対応している画像ファイルがひとつもなかったときに表示されます。	
予期せぬエラーが発生しました。もう一度メモリーカードをご確認ください。	その他のエラーが発生したときに表示されます。デジタルカメラ内部のメモリーカードや、SDメモリーカード挿入口に差し込んだSDメモリーカードを確認してください。	
機器の接続に失敗しました。機器と接続をご確認ください。	本機のデジカメ端子に対応していない機器が接続されたときや、接続に失敗したときに表示されます。	

仕　様

項目		内容
型		30V型
種　類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
液晶パネル	画面寸法	幅 64.3・高さ 38.6・対角 75.0 cm
	駆動方式	TFTアクティブマトリックス駆動方式
	画素数	水平1,280×垂直768ピクセル
	視野角	上下 170度、左右 170度　　JEITA規格準拠（コントラスト比 10：1）
	輝度	550 cd/m^2
受信チャンネル		地上アナログ放送　VHF　1～12、UHF　13～62、CATV　C13～C63、 BSデジタル放送　000～999、110度CSデジタル放送　000～999、 地上デジタル放送　UHF　13～62（CATVパススルー対応）
PCインターフェイス／対応モード		D-SUB15ピン（PC入力）、XGA、VGA、SVGA
プラグ&プレイ		VESA　DDC2B
パワーマネジメント機能		VESA　DPMS　国際エネルギースタープログラム基準
音声実用最大出力		10W＋10W（JEITA）
スピーカー		6×12 cm楕円型 2個
アンテナ		地上アンテナ入力：VHF／UHF、75Ω不平衡 地上デジタルアンテナ入力：VHF／UHF、75Ω不平衡 BS・110度CSデジタルアンテナ入力：75Ω不平衡、DC15V重畳
入出力端子		〔入力端子〕 ●D4映像入力：コンポーネント映像、ベローズタイプ14ピン（2系統、ビデオ3、4入力） ●S2映像入力：セパレートYC信号、DIN4ピン（2系統、ビデオ1、2入力） Y／1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C／0.286Vp-p（バースト信号）、インピーダンス75Ω ●映像入力：コンポジット信号、ピンジャック（ビデオ1、2入力） 1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω ●音声入力：ピンジャック、0.2Vrms、インピーダンス22kΩ以上（左：右、ビデオ2入力は左モノ） ●PC入力：（1系統1端子） 映　像：D-SUB15ピン、アナログRGB入力 音　声：ミニステレオジャック（3.5φ、左／右） ●デジカメ：USB 1.1対応、コネクタ4ピン * 〔出力端子〕 ●デジタル放送出力（1系統） S1映像：セパレートYC信号、DIN4ピン（1系統1端子） Y／1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C／0.286Vp-p（バースト信号）、インピーダンス75Ω 映　像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω 音　声：ピンジャック、0.2Vrms、インピーダンス1kΩ以下（左：右） ●モニター出力（1系統） 映　像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω 音　声：ピンジャック、0.2Vrms、インピーダンス1kΩ以下（左：右） ●デジタル音声出力（光）：光角型コネクター ●ヘッドホン：ミニステレオジャック（3.5φ） 〔その他〕 ●i.LINK（2端子）： S400、IEEE1394準拠 ●電話回線：電話回線：V.90bis（56kbps）、モジュラージャック ●LAN：10BASE-T/100BASE-TX ●ビデオコントロール：付属ビデオコントローラー用、ミニジャック（3.5φ）
電　源		AC100V50／60Hz
消費電力		158 W 節約オン時　96 W（地上アナログ放送受信時） チャンネル固定（待機）時　22 W リモコン電源/本体電源「切」時 0.5 W
外形寸法（スタンド含む）		幅 76.5 ×高さ 62.2 ×奥行 25.5 cm
質量（スタンド含む）		22.0 kg
使用温度条件		周囲温度：5℃～35℃（結露のないこと）
保存温度条件		周囲温度：-10℃～50℃（結露のないこと）
JIS C 61000-3-2 適合品		

＊デジカメ端子はUSBマスストレージクラス対応のデジタルカメラ以外には対応していません。

付属品	メインリモコン 1個(RC-483)、乾電池(単4形) 2本、 サブリモコン 1個(RC-463)、乾電池(単4形) 2本、 電源コード(3m) 1本、アンテナプラグ 1個、 アンテナケーブル(地上放送用、1.5m) 1本、中継コネクター 1個(アンテナケーブルに装着済み)、 分配器 1個、アンテナケーブル(20cm) 2本、 電話回線コード(10m) 1本、電話線分配器 1個、 B-CASカード(ICカード、台紙付き) 1枚、放送局パンフレット・加入申込書 1式 ビデオコントローラー (5m) 1個、転倒防止用フック 1個、転倒防止用バンド 2本、取付ネジ 4本、 ケーブル固定バンド 3本

※液晶テレビのV型(30V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※この液晶テレビは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでお使いになれません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※取扱説明書中の図は、わかりやすくするために誇張や省略をしています。実物とは多少異なります。

- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国の特許技術と知的財産によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の鑑賞用の使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- JBlendは株式会社アプリックスの登録商標です。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
  本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
- RSAロゴは、米国RSA Security, Inc の登録商標です。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

Licensed AAC Patents

Pat.						
5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189	5,357,594	5,752,225
5,394,473	5,583,962	5,274,740	5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671
07/640,550	5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874	98/03036
5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584	5,781,888	08/039,478	08/211,547
5,703,999	08/557,046	08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654	5,548,574	5,717,821

■寸法図(前面・側面) 単位:cm

LCD-30HD5

スタンドを含む質量　　　　　:22.0 kg
ディスプレイ本体のみの質量:19.0 kg

正しくお使いいただくために

液晶テレビを末長くお楽しみいただくために、次のことがらをお守りください。

蛍光管（バックライト）について

- 使い始めのとき、蛍光管の特性上、画面のちらつきが起こることがあります。このようなときは、テレビ本体の電源スイッチをいったん切り、再度入れ直してご確認ください。
- 本機に使用している蛍光管には寿命があります。寿命の目安は約50,000時間です。（映像メニュー「標準」時）寿命とは、明るさが当初の約半分になるまでの期間を示します。
- 蛍光管には水銀が含まれています。廃棄するときは地方自治体の条例や規則に従ってください。

故障ではありません

- 液晶パネルは非常に高精度の技術で製造されており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が含まれる場合があります。故障ではありません。
- 液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を変えたときに残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。映す映像を変えたり、電源を切っておくと回復します。
- 映す映像によっては、画面に縞模様（モアレ、干渉縞）が出る場合があります。

液晶パネルのお取り扱い

- 液晶パネルは薄いガラスの板に液体（液晶）をはさみこんだ構造になっています。衝撃や力を加えますと割れる恐れがありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。
- 液晶パネルの表面に固いものやとがったものを当てないでください。また、こすったりしないでください。傷がつく原因になります。
- 液晶パネルの表面や周辺を強く押しますと、画面に縞模様（モアレ、干渉縞）が出る原因となります。
- 直射日光が当たるところや熱器具の近く、晴天時の自動車内など高温になる場所で使用したり、放置しないでください。故障の原因になります。また高温や低温では映りが悪くなることがあります。
  - ・使用温度条件：5℃～35℃（結露のないこと）
  - ・保存温度条件：－10℃～50℃（結露のないこと）
- 液晶パネルの表面に水滴などがついた状態で放置しないでください。表示面が変色したり、シミになる原因となります。
- 液晶パネルの表面は汚れが目立ちやすいので、ふだんから、できるだけ触らないようにしてください。

上手な見かた

- 本機は広視野角の液晶パネルを搭載していますが、画面の正面が、もっとも美しく見ることができる位置です。また照明光などの当たり具合によって見えかたが変わります。ご覧になる場所に合わせて設置や角度の調節をしてください。

本機は屋外で使用できるよう設計されておりません。
必ず屋内でご使用ください。

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。
お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間が過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

298〜305ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

末長くご愛用いただくために

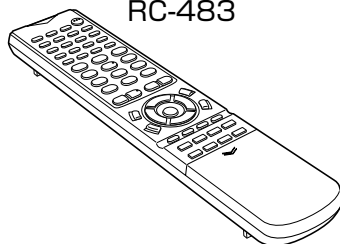
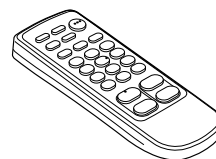
■本機を末長くお使いいただくために、次のことにご注意ください。

リモコン、取扱説明書は大切にお使いください

本機では、主な操作をリモコンで行います。リモコンが破損したり紛失したりしますと操作できなくなる機能があります。また、今お読みの取扱説明書を紛失したりしますと、操作方法がわからないために、本機の機能や性能を十分に発揮できなくなります。

リモコンや取扱説明書は大切にお使いください。

（リモコンの準備と取り扱い ☞ 23ページ）

■メインリモコン　RC-483

■サブリモコン　RC-463

■万一、破損や紛失した場合は

リモコンや取扱説明書は、サービス補修用部品としてご購入いただけます。

詳しくはお買い上げ販売店、または当社お客さまご相談窓口にお問い合わせください。

■環境にやさしい使いかた

- テレビは画面の明るさを暗くすると消費する電力が減ります。お部屋がそれほど明るくない場合は、画面の明るさを少し暗くしても十分に鮮明な映像をご覧いただけます。節約機能や映像メニューのシネマモードを利用してご覧ください。
- ディスプレイの表面にホコリが付着すると画面が暗く見えます。定期的なお手入れをおすすめします。
- 不必要に大きな音量でご覧になることは消費電力を高める原因になります。適度な音量でお楽しみください。
- ご覧にならないときはこまめに電源を切りましょう。長期間ご使用にならないときは、液晶テレビ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本製品は、ご愛用が終了したあとに再資源化の一助となるよう、主なプラスチック部品に材質表示をしています。
- この取扱説明書は再生紙を使用しています。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ...
家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は　<総合相談窓口>

受付時間：9：00～17：00まで（1月1日～3日は休ませていただきます）

◆北海道地区　札　幌　☎（011）290－1522
◆東北地区　仙　台　☎（022）714－6137
◆関東地区　東　京　☎（03）3815－1111
◆中部・北陸地区　名古屋　☎（052）533－5245
◆近畿・四国地区　大　阪　☎（06）6994－9570
◆中国地区　広　島　☎（082）297－6067
◆九州・沖縄地区　福　岡　☎（092）263－7629

※郵便・FAXでご相談される場合は
三洋電機（株）お客さまセンター　〒570－8677　大阪府守口市京阪本通2－5－5
FAX（06）6994－9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスについてのご相談は　<修理相談窓口> 三洋コンシューママーケティング（株）

受付時間：月曜日～金曜日　[9：00～18：30]
土曜・日曜・祝日　[9：00～17：30]

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東日本コールセンター　東京　☎（03）5302－3401
西日本コールセンター　大阪　☎（06）4250－8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

◆北海道地区　札幌　☎（011）833－7888
◆東北地区　仙台　☎（022）382－2213
◆長野地区　長野　☎（0263）26－1772
◆新潟地区　新潟　☎（025）285－2451
◆福島地区　福島　☎（024）945－6811

西日本コールセンターへの転送電話番号

◆北陸地区　金　沢　☎（076）237－6650
◆東海地区　名古屋　☎（052）979－3456
◆中国地区　広　島　☎（082）293－9333
◆四国地区　高　松　☎（087）844－8321
◆九州地区　福　岡　☎（092）922－9311

◆沖縄地区　沖　縄　☎（098）944－5018
受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）[9:00～12:00、13:00～17:30]

※「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日を除く）9：00～17：30

北海道地区

北海道

札幌 ☎(011) 831−9201 〒003-0013 札幌市白石区中央三条4−1−36
函館 ☎(0138) 48−8301 〒041-0824 函館市西桔梗町589−295
苫小牧 ☎(0144) 33−3421 〒053-0042 苫小牧市三光町2−2−5
旭川 ☎(0166) 22−2421 〒070-0073 旭川市曙北3条7−3−3
北見 ☎(0157) 23−4871 〒090-0037 北見市山下町4−7−14
釧路 ☎(0154) 22−1576 〒085-0021 釧路市浪花町7−7

東北地区

宮城県

仙台 ☎(022) 384−0444 〒981-1225 名取市飯野坂3−4−8

青森県

青森 ☎(017) 729−3401 〒030-0141 青森市大字上野字山辺29−5
八戸 ☎(0178) 28−9225 〒039-1103 八戸市長苗代字観音堂50−5

岩手県

盛岡 ☎(019) 635−0136 〒020-0863 盛岡市南仙北1−13−6
水沢 ☎(0197) 23−6621 〒023-0003 水沢市佐倉河字羽黒田45

山形県

山形 ☎(023) 641−1769 〒990-2432 山形市荒楯町1−21−30
酒田 ☎(0234) 23−3817 〒998-0842 酒田市亀ヶ崎6−7−16

秋田県

秋田 ☎(018) 862−6551 〒010-0925 秋田市旭南3−2−67

福島県

郡山 ☎(024) 945−6793 〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸蘭塔1−7

関東・甲信越地区

埼玉県

さいたま ☎(048) 664−2319 〒331-0812 さいたま市北区宮原町1−30
坂戸 ☎(049) 284−8900 〒350-0214 坂戸市千代田5−3−17

栃木県

栃木 ☎(028) 653−2811 〒321-0106 宇都宮市上横田町1302−12

茨城県

茨城 ☎(0298) 64−4751 〒300-3261 つくば市花畑2−15−3
水戸 ☎(029) 251−4125 〒311-4152 水戸市河和田3−2386−1

群馬県

群馬 ☎(027) 362−1151 〒370-0001 高崎市中尾町池の内441
西関東 ☎(0276) 22−7702 〒373-0015 太田市東新町72−2

新潟県

新潟 ☎(025) 285−2431 〒950-0971 新潟市近江244
長岡 ☎(0258) 24−0705 〒940-0029 長岡市東蔵王2−3−46
上越 ☎(0255) 43−3535 〒942-0074 上越市石橋2−2−9

東京都

城東 ☎(03) 3607−3191 〒125-0051 葛飾区新宿4−10−15
城北 ☎(03) 3958−1261 〒173-0021 板橋区弥生町72−5
城西 ☎(03) 3376−3361 〒151-0073 渋谷区笹塚3−1−13
武蔵野 ☎(042) 364−7721 〒183-0045 府中市美好町2−3−1

関東地区

神奈川県

戸塚 ☎(045) 827−2831 〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9−14
相模原 ☎(042) 742−2272 〒228-0805 相模原市豊町17−11
平塚 ☎(0463) 55−3926 〒254-0014 平塚市四之宮3−20−63

千葉県

千葉 ☎(043) 241−7311 〒260-0025 千葉市中央区問屋町5−20
鎌ケ谷 ☎(047) 441−0111 〒273-0105 鎌ケ谷市鎌ケ谷7−6−59

山梨県

山梨 ☎(055) 226−2561 〒400-0035 甲府市飯田4−8−23

中部地区

愛知県

名古屋 ☎(052) 979−3455 〒461-0011 名古屋市東区白壁5−41
岡崎 ☎(0564) 23−3418 〒444-0065 岡崎市柿田町1−2

岐阜県

岐阜 ☎(058) 246−3417 〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1−35

静岡県

静岡 ☎(054) 261−4151 〒420-0813 静岡市長沼885
沼津 ☎(055) 963−1000 〒410-0861 沼津市真砂町3−1
浜松 ☎(053) 461−8685 〒435-0016 浜松市和田町795−2

長野県

松本 ☎(0263) 26−1107 〒390-0835 松本市高宮東1−35
長野 ☎(026) 299−9501 〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000−2

石川県

金沢 ☎(076) 237−7811 〒920-0062 金沢市割出町627

富山県

富山 ☎(076) 422−7020 〒939-8211 富山市二口町1−13−8

福井県

福井 ☎(0776) 22−6082 〒918-8231 福井市問屋町1−17

三重県

三重 ☎(059) 228−8126 〒514-0838 津市岩田町10−3

近畿地区

大阪府

大阪 ☎(06) 6992−6235 〒570-0086 守口市竹町4−13
大阪南 ☎(06) 6761−4600 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5−1−14 三洋ビル2F
大阪東 ☎(0729) 65−1811 〒578-0903 東大阪市今米2−3−29
阪和 ☎(072) 221−8571 〒590-0959 堺市大町西3−1−16

京都府

京都 ☎(075) 672−0877 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町41
三丹 ☎(0773) 27−3458 〒620-0856 福知山市土師宮町1−66

奈良県

奈良 ☎(0744) 22−7888 〒634-0837 橿原市曲川町 7−1−31

滋賀県

滋賀 ☎(077) 545−4221 〒520-2134 大津市瀬田1−1−5

和歌山県

和歌山 ☎(073) 436−3110 〒641-0006 和歌山市中島369
田辺 ☎(0739) 22−7520 〒646-0051 田辺市稲成町南江原318

兵庫県

神戸 ☎(078) 651−3951 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2−1−11

近畿地区

阪神 ☎(06) 6432−3401 〒661-0026 尼崎市水堂町4−17−6
姫路 ☎(0792) 96−2141 〒670-0981 姫路市西庄字八町108
淡路 ☎(0799) 22−2702 〒656-0101 洲本市納字横竹308−1

中国地区

広島県

広島 ☎(082) 293−6511 〒733-0012 広島市西区中広町3−17−5
福山 ☎(084) 925−3455 〒720-0077 福山市南本庄3−1−48

岡山県

岡山 ☎(086) 245−1634 〒700-0973 岡山市下中野703−101
津山 ☎(0868) 22−6133 〒708-0002 津山市上河原239−10

鳥取県

鳥取 ☎(0857) 24−2930 〒680-0843 鳥取市南吉方3−107

島根県

浜田 ☎(0855) 22−7883 〒697-0023 浜田市長沢町3049
松江 ☎(0852) 23−1183 〒690-0017 松江市西津田4−1−14

山口県

山口 ☎(083) 973−3391 〒754-0024 山口県吉敷郡小郡町若草町2−6

四国地区

愛媛県

愛媛 ☎(089) 971−3342 〒791-8036 松山市高岡町148−1
宇和島 ☎(0895) 27−1818 〒798-0077 宇和島市保田甲934−3

香川県

香川 ☎(087) 843−1840 〒761-0104 高松市高松町2175−10

高知県

高知 ☎(088) 860−0229 〒781-5106 高知市介良乙1044

徳島県

徳島 ☎(088) 699−4131 〒771-0219 徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150−2

九州地区

福岡県

福岡 ☎(092) 928−3414 〒818-8534 筑紫野市紫6−1−1
北九州 ☎(093) 521−5286 〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2−10−28
中九州 ☎(0942) 21−3534 〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890−2

長崎県

長崎 ☎(095) 824−5628 〒850-0012 長崎市本河内3−21−43
佐世保 ☎(0956) 31−7635 〒857-1162 佐世保市卸本町17−1

熊本県

熊本 ☎(096) 357−1122 〒861-4106 熊本市南高江町3−2−88
八代 ☎(0965) 35−3483 〒866-0871 八代市田中東町12−7

大分県

大分 ☎(097) 543−3454 〒870-0822 大分市大道町3−4−32

宮崎県

宮崎 ☎(0985) 29−3441 〒880-0036 宮崎市花ケ島町観音免883

鹿児島県

鹿児島 ☎(099) 251−4615 〒890-0068 鹿児島市東郡元町11−10

沖縄地区

沖縄県

沖縄 ☎(098) 944−5018 〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。　(100604C)

索　引

英数字　ページ

あ　行　ページ

か　行　ページ

さ　行　ページ

た　行　ページ

な　行　ページ

は　行　ページ

ま　行　ページ

や　行　ページ

ら　行　ページ

地上デジタル放送の受信について

地上デジタル放送を受信するとき

受信時にはご確認ください

地上デジタル放送は全国一律にサービスが開始されるわけではなく、また放送が開始された場合でも、放送開始当初は同じ受信地域内でも放送局によって放送開始時期が異なる場合があります。受信に際しては次のことがらにご注意ください。

- お住まいの地域で地上デジタル放送が開始され電波が受信できる状態か、またどの放送局が放送を開始しているかをお確かめください。
- 地上デジタル放送のチャンネル設定を行って受信できるようになった後で、新しい地上デジタル放送局が放送を開始したときは、再スキャンを行って新しいチャンネルを設定してください。☞252～255ページ
- スキャン後のチャンネル確認画面やチャンネル設定画面に表示されるチャンネル番号で、水色で表示されるものは、チャンネルの割り当てはありますがまだ開局していないチャンネルです。

アンテナや受信設備について

UHFアンテナが必要です

地上デジタル放送はUHFの電波を使って放送されますので、受信にはUHFアンテナが必要です。

- これまでVHFのみを受信しており、UHFアンテナがないご家庭ではUHFアンテナの新設が必要です。
- 地上デジタル放送の電波が、これまで受信していたUHF放送の電波と別の方向から届く場合は、地上デジタル放送の到達方向に向けたUHFアンテナの新設が必要です。
- UHFアンテナには受信帯域が限定された狭帯域の製品があります（特定放送局受信用など）。今お使いのUHFアンテナが狭帯域のもので、地上デジタル放送の帯域と合わない場合は、UHFアンテナの交換が必要です。またアンテナからの伝送経路（ブースター、混合器、分配器、フィルター、ケーブルなど）の帯域や性能が適さない場合も交換が必要になります。
- 地上デジタル放送はまず小出力の電波で放送を開始し、他の放送への影響を確認しながら電波の出力を上げていく計画といわれています。電波の出力を上げていく過程で地上デジタル放送、地上アナログ放送で受信の状況が変わる場合があります。また伝送経路にブースターやフィルターを使用しているご家庭では、それらの交換や調整が必要になる場合があります。

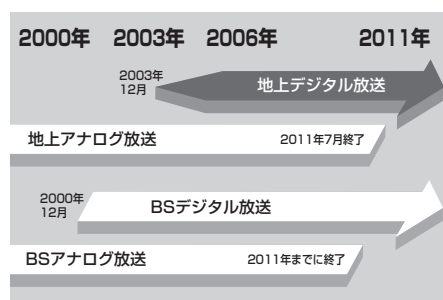
※アンテナや伝送経路の交換・調整についてはお買い上げ販売店や地域の電気店にご相談ください。

共聴・集合住宅施設における地上デジタル放送受信についてのご注意

難視対策、電波障害対策、あるいは集合住宅における共同受信施設では、地上デジタル放送受信のために、アンテナやブースターなどの機器の再調整、追加、あるいは取り替えが必要になる場合があります。詳しくは施設の管理者にお問い合わせください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

付属のB-CASカードについて

付属のB-CASカードや、B-CASカードのユーザー登録についてご不明な点は、
下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

（株）ビーエス・コンディシヨナルアクセスシステムズ
お問い合わせ先　カスタマーセンター

電話番号　0570-000-250
受付時間　10：00～20：00（年中無休）

※電話番号はお間違えのないようお願いいたします。
※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかかりません。

- B-CASカードの台紙に記載されている「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、本機の取扱説明書や保証書と一緒に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、B-CASカードのID（識別）番号の告知が必要になる場合があります。下記の便利メモにお客さまのB-CASカードのID番号をひかえておくとお問い合わせのときに役立ちます。
- 有料放送の加入契約や双方向会員の登録、放送サービスの内容についてご不明な点は、それぞれの放送事業者へお問い合わせください。

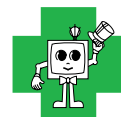
便利メモ

ID番号のひかえ	グループ識別
295ページに記載の「機器テスト」B-CASカード情報画面で確認できる「グループ識別」と「カードID」の番号を記入しておくとお問い合わせのときに役立ちます。	カードID、グループID（B-CASカード番号）

愛情点検	● 長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ● 映像が時々消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他異常や故障がある。

ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした
心づかいで
テレビの安全

お客さまメモ	
品番	LCD-30HD5
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社　www.sanyo.co.jp

コンシューマ企業グループ　AVソリューションズカンパニー
フラットパネルテレビビジネスユニット
事業推進部　国内事業推進グループ
〒574−8534　大阪府大東市三洋町１－１

1AA6P1P4611-- (N2LA)